

# 目 次

## 総合教育科目

人文科学関係 .....	3
社会科学関係 .....	3
自然科学関係 .....	4
系列外科目 .....	5

## 語学科目

英語 .....	13
ドイツ語 .....	27
フランス語 .....	30
中国語 .....	32
スペイン語 .....	35
イタリア語 .....	38
朝鮮語 .....	39
ロシア語 .....	40

## 専門科目

哲学専攻 .....	41
倫理学専攻 .....	47
哲学・倫理学専攻共通科目 .....	53
美学美術史学専攻 .....	57
日本史学専攻 .....	71
東洋史学専攻 .....	77
西洋史学専攻 .....	85
民族学考古学専攻 .....	91
国文学専攻 .....	97
中国文学専攻 .....	105
英米文学専攻 .....	109
独文学専攻 .....	123
仏文学専攻 .....	129
図書館・情報学専攻 .....	141
社会学専攻 .....	151
心理学専攻 .....	167
教育学専攻 .....	175
人間科学専攻 .....	185

全専攻共通科目 .....	197
---------------	-----

## 諸研究所設置科目

教職課程センター .....	223
言語文化研究所特殊講座 .....	224
メディア・コミュニケーション研究所 .....	229
斯道文庫 .....	246
体育研究所設置講座 .....	248
福澤研究センター設置講座 .....	256
慶應義塾大学在学研修プログラム .....	259
国際センター設置講座 .....	261
保健管理センター設置講座 .....	282
情報処理教育室設置講座 .....	284
アート・センター設置講座 .....	286
知的資産センター設置講座 .....	287
外国語教育研究センター設置講座 .....	289
グローバルセキュリティ研究所 .....	292

## < 講義要綱の表記について >

### 1 学則について

今年度の文学部は、2007年度（平成19年度）に制定された【07学則】と2004年度（平成16年度）に制定された【04学則】の2種類の学則があり、同じ授業でも登録番号が異なります。各学則の適用対象者は、以下のとおりです。

【07学則】：文学部2009年度1・2・3年生在籍者

【04学則】：文学部2009年度4年生在籍者

なお、他学部・研究科の学生および科目等履修生・特別聴講生が文学部の科目を履修・聴講する場合は、【07学則】の科目を履修・聴講してください。

### 2 科目の種類について

#### 【半期科目】

春学期か秋学期に週1コマ独立して開講される科目。半期ごとに履修可能。半期ごとに成績がつきます。

#### 【セット科目（07学則のみ）】（科目名のうしろに（セ）と表記されます）

春学期・秋学期を通して開講される科目。半期のみの履修は不可。春学期・秋学期とも年度末に成績がつきます。なお、セット科目の評語は、春学期・秋学期ともに合格[A・B・C]か、または両方不合格[D・（未受験）]のいずれかです（春が合格で秋が不合格というような成績の組合せはありません）。

#### 【通年科目】

1年間連続して週1コマ開講される科目。年度末に成績がつきます。

#### 【要件科目（07学則のみ）】（科目名のうしろに（要）と表記されます）

春学期科目（ ）を修得しなければ、秋学期科目（ ）の履修が認められない科目。半期ごとに成績がつきます。**秋学期科目（ ）の履修申告も4月（注）に行いますが、春学期科目（ ）が不合格[D・（未受験）]だった場合、秋学期科目（ ）の履修は自動的に削除されます。**

（注）科目等履修生・特別聴講生は、春学期科目（ ）が合格だった場合のみ、秋学期に秋学期科目（ ）を追加登録できます。

#### 【半期集中科目】

半期に週2コマ開講される科目。半期ごとに成績がつきます。

（表記例）

【07】英語（レベル1）（セ）（1）（春学期）	}	・・・07学則	セット科目（春・秋1単位ずつ）
【07】英語（レベル1）（セ）（1）（秋学期）			
【04】英語 A（レベル1）（2）（通年）		・・・04学則	通年科目（2単位）

（表記例）

【07】心理統計（要）（2）（春学期）	}	・・・07学則	要件科目（春・秋2単位ずつ）
【07】心理統計（要）（2）（秋学期）			
【04】心理統計（4）（通年）		・・・04学則	通年科目（4単位）

# 総合教育科目（系列科目）

## 人文科学関係

美術（2）(春学期)  
美術（2）(秋学期)

講師 中島 恵

授業科目の内容：

古代から現代にいたる西洋美術史の基礎的な理解を得ることを目的に、各時代・各地域の美術について、様式・意味解釈・社会的機能の観点から概説します。授業ではスライド（デジタル画像）や映像を使用します。テキスト：

特に使用しません。必要に応じてプリントを配布します。

参考書：

- ・『カラー版 西洋美術史』増補新装版，高階秀爾監修，美術出版社編集部・藤原えりみ編，美術出版社，2002年。
- ・『世界美術大全集 西洋編』全29巻，小学館，1992-97年。
- ・E. H. ゴンブリッチ『美術の歩み』友部直訳，上・下巻，美術出版社，1972-74年；『美術の物語』天野衛ほか訳，ファイン，2007年。
- ・H. W. ジャンソン・アンソニー・F. ジャンソン『西洋美術の歴史』木村重信・藤田治彦訳，創元社，2001年。
- ・マルシア・ポイントン『はじめての美術史』木下哲夫訳，スカイデア，1995年
- ・『新潮 世界美術辞典』新潮社，1985年。
- ・『オックスフォード 西洋美術事典』佐々木英也監修，講談社，1989年。

歴史（2）(春学期)  
歴史（2）(秋学期)  
日本中世の政治と宗教

講師 阿部 能久

授業科目の内容：

日本の中世における政治と宗教の諸相について講じます。中世の日本においては政治と宗教が密接に関連し相互補完的な関係を形成しており、互いに強い影響を及ぼしあっていました。本講義では特に、室町時代から安土桃山時代にかけての政治史を、宗教勢力の動向を視野に入れながらみることにし、両者の関係についての理解を深めていきたいと思います。

歴史の授業を前提に歴史の授業を行うので、ともに履修することが望ましいです。

テキスト：

授業中に適宜プリントを配付します。

参考書：

授業内で紹介します。

## 社会科学関係

近代思想史（2）(春学期)  
近代思想史（2）(秋学期)  
ドイツ近代社会思想における自由と共同

講師 針谷 寛

授業科目の内容：

ヨーロッパ社会思想史における「市民社会」概念の変遷を手がかりとしながら、西欧近代社会とその思想の諸問題を検討する。材料としてはカント、ヘーゲル、マルクスなどドイツ近代の思想家の社会理論を重点的に取り上げる予定。これらの理論を扱う際には歴史的なコンテキストの中で考察することに努める。

テキスト：

使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書：

講義の中で紹介する。

経済学（2）(春学期)  
経済学（2）(秋学期)

[春] 経済学部 教授 中村 慎助  
[秋] 経済学部 教授 前多 康男

【春学期】

授業科目の内容：

春学期には主としてミクロ経済学の基礎理論とその応用について述べる。

1. 消費者の行動
2. 生産者の行動
3. 市場の均衡
4. 独占と寡占

5. 市場機構と経済の効率

【秋学期】

授業科目の内容：

秋学期には主としてマクロ経済学の基礎理論とその応用について述べる。

1. マクロ経済学とは
2. 国民経済計算
3. 財市場の均衡
4. 資産市場の均衡
5. IS-LM モデル
6. 国際マクロモデル

テキスト：

講義ノートを配付する。

法学（憲法を含む）(2)(春学期)  
法学（憲法を含む）(2)(秋学期)

現代社会と法 講師 松浦 聖子

授業科目の内容：

社会構造の複雑化、財の流通の加速化により、我々を取り巻く法的环境は極めて多様化している。一人の間人は、国民として、家族として、個人として、または消費者として、あるいは専門家として様々な形で法と関わる。特に、個人が社会と関わる上で避けることのできない「契約」は、現代社会の諸問題を理解する上でも、重要なシステムである。本講義は、法学入門としての基礎知識の理解を徹底するとともに、現代社会に特徴的な法的問題に対する理解を深めることを目標とする。

テキスト：

- ・石川明編「フレームワーク法学入門」不磨書房
- ・石川明編「法学六法 09」信山社

参考書：

- ・伊藤正巳・加藤一郎編「現代法学入門」有斐閣双書
- ・碧海純一「法と社会」中公新書
- ・田中成明「法的空間」東京大学出版会

## 自然科学関係

【07】【04】基礎化学（2）(春学期)  
化学反応がなぜ起こるのか

教授 大場 茂

授業科目の内容：

周期表をみてわかる通り、この宇宙に存在する元素は高々100種類にしかなりません。そのうち水素H、炭素C、窒素N、酸素Oなど特定のものが重要な働きをしています。化学物質は単体と化合物とに分類されますが、化合物の基本単位は一般には分子です。分子中の原子は電子を媒介として結合しています。元素はその電子配置の違いにより、それぞれ個性をもっており、それが化学結合や反応性に反映します。この講義の到達ゴールは、化学の基本的な考え方（概念）がわかるようになることです。

テキスト：

講義では毎回プリントを配布します。

人類学（2）(春学期)  
人類学（2）(秋学期)

人類の過去・現在・未来 講師 吉田 俊爾

授業科目の内容：

今、人類を取り巻く問題をざっと挙げてみても、地球温暖化・人口増加・食糧不足・人種差別・民族紛争・テロリズムなど、枚挙にいとまがない。残念ながらいずれの問題もいわゆるヒトがつくり出している問題なのである。そして、各問題は有機的に関連し合っている。世界の政治・経済機構、研究・教育機関、宗教組織、そして個人までもがこれらの問題の解決を第一の課題におかずして、その解決は遠くおよばないであろう。人類を取り巻く上記の諸問題を解決できなければ、人類は滅亡に至ることは今や明白である。今日、やっと環境に関する世界会議が開催されるようになった。今後の課題としては、これからの諸問題に対して個人個人が何をしなければならぬか、何ができるかということである。そのためには、まず私達が自分自身を知ることである。そのために生物としてのヒトを探究するのが形質人類学である。授業では、基本的な人体構造の理解を軸として、形質人類学の課題（ヒトの起源と進化、変異、日本人の起源など）、日常のトピックスについて解説します。

テキスト：

片山一道、五百部裕他：「人間史をたどる」 自然人類学入門 朝倉書店

参考書：

- (1) 中原 泉著：歯の人類学 医歯薬出版
- (2) 片山一道著：「古人骨は生きている」 角川書店

数学 (2)(春学期)

数学 (2)(秋学期)

行動科学における数学

講師 松岡 勝男

授業科目の内容:

数学は、自然科学、工学はもとより、社会科学、人文科学におけるいろいろな現象の解明のための基本的な道具としての役割を果たしている。そこで、テーマとしては、

- (1) 現代数学の最も重要な基礎をなし、哲学や論理学の現代化にも著しい影響を与えている「集合論」
- (2) 確率論をはじめとして、物理学、工学、統計学、制御理論、学習理論、OR など、非常に広汎な分野に現れる「エントロピーとマルコフ連鎖」
- (3) 経済、社会、政治などで現れる競争状態の数学的モデルを扱う「ゲームの理論」

などについて、適宜選択の上、「行動科学における数学」という立場から講義する。

テキスト:

特に指定しません。

【07】【04】生命科学概論(2)(秋学期)

生命科学とはどういった学問か? 教授 金子 洋之

授業科目の内容:

分子生物学の技術発展に伴い、生物学は大きく変貌を遂げつつある。その実体として、化学、物理学、地球科学などの理学分野のみならず、生物学が医学・薬学・工学・農学などの理系の研究領域と融合した結果、生命科学という呼称が一般化してきている。すなわち、生命を探索するための枠を広げつつ、理系の学問としての再構築が新たになされている状態である。一方、生命科学は理系に限定された学問ではなく、文系を構成する経済学、法学、政治学、商学、そして文学にも深く関わるようになってきている。本講義では、「生命科学とはどういった学問か?」という切り口で、生命科学の基盤をなす多様な学問領域を体系的に紹介する。

テキスト:

使用せず(プリントを配布する)

参考書:

なし

統計学 (2)(春学期)

統計学 (2)(秋学期)

統計的「推定」と「検定」の基礎

理工学部 教授 富田 豊

授業科目の内容:

1. 皆さんの受験時の偏差値はいくらでしたか? ところで偏差値って何ですか? どうやって計算するのですか?
2. 湖にいる魚の数ってどうやって数えるんですか?
3. アンケート調査をしたいのですが、どのように質問用紙を書いたらいいのですか? また集計はどうしたらいいのですか?

こんな質問に答えられるような授業をやりたいと思っています。

テキスト:

Excelによる統計入門: 縄田和満, 朝倉書店

参考書:

推計学のすすめ: 佐藤信, 講談社ブルーバックス

## 系列外科目

【07】【04】基礎情報処理(M)(2)(春学期)

講師 丹野 貴行

授業科目の内容:

コンピュータや各種アプリケーションの操作方法について、入門レベルでの講義と実習を行います。

テキスト:

特になし

参考書:

適宜紹介します

【07】【04】映画演劇論 (2)(春学期)

映画(史)入門 講師 藤崎 康

授業科目の内容:

この講座は、「映画演劇論 (秋学期)」とは別個の科目であるが、本講座では、フランスのリュミエール兄弟以来の世界映画史をざっと概説しつつ、古今東西の重要作品をビデオや DVD で紹介する(百聞は一見に如かず・習うより慣れる)あわせて、「映画の父」D・W・グリフィス

が完成させたクローズ・アップ、ロング・ショット、切り返し、移動撮影、アイリス・イン/アウト、カット・バック(並行モンタージュ)などの映画技法を解説しながら、ハリウッド古典映画、ドイツ表現主義、イタリア・ネオレアリズモ、フランス・ヌーヴェルヴァーグ、日本映画の黄金期、中国映画、香港映画、台湾映画、イラン映画、ポルトガル映画などにも微かに言及する。しかし理想的には、「森を見せて森を見せる」のではなく、「森を見せて木を見せる」のでもなく、「木を見せて森を見せる」授業をめざしたい。この場合の森とはむしろ、「映画史」という迷宮であり、木とは1本のフィルムやその断片のことである。

テキスト:

『戦争の映画史 恐怖と快楽のフィルム学』(藤崎康・著, 朝日新聞出版)

参考書:

教室にて指示。

【07】【04】映画演劇論 (2)(秋学期)

世界映画の現在進行形

講師 藤崎 康

授業科目の内容:

この講座は、「映画演劇論 (春学期)」とは別個の科目であるが、本講座では原則的に、<映画の現在>に焦点を絞りたい。たとえば中国のジャ・ジャンクー、ニ・イン、台湾のホウ・シャオシェン、エドワード・ヤン、日本の黒澤清(明ではない)、青山真治、アメリカのガス・ヴァン・サン、M・ナイト・シャマラン、クリント・イーストウッド...等々。しかし今や、フィルム・センターその他のレトロスペクティブ、サイレント作品をはじめとする多くの古典映画のDVD化などによって(“ツタヤ”は世界映画の贅沢なアーカイブだ!), 古い映画/新しい映画という区別が不可能になったことも事実だ。すなわち、時代の文脈から解き放たれた新旧の映画を、まさに刻々と生起する<現在>として生きることが、われわれには可能になったのである...。何はともあれ、映画を、今この<事件>として体験しようではないか。時間の許すかぎり、ビデオやDVDで新旧さまざまな映画を紹介したいが、本講座における中心的な問いとは、映画の<(反テレビ的な)面白さ>とは何か、である。

テキスト:

『戦争の映画史 恐怖と快楽のフィルム学』(藤崎康・著, 朝日新聞出版)

参考書:

教室にて指示。

【07】【04】映画演劇論 (2)(春学期)

戯曲の面白さを知る

講師 佐野 語郎

授業科目の内容:

「劇的なものとは何か。劇的状況とは...」を考えながら、紀元前の古典劇から現代劇までの代表作数本を対象に、その作品構造を解き明かします。その際、上演された舞台や映画化された作品についてもビデオ上映の機会を設け、より具体的かつ多角的に鑑賞できるようにします。また、創作現場の視点から、映画と演劇のモチーフ・構成・演出の技法の違いを同一の物語を用いて比較対照することでその独自性を考え、さらに、事件史実のドラマ化の例(『アンネの日記』)も紹介します。後半には、戯曲という文学の面白さと実際に演出された作品を深く理解するために、現代劇の名作1本(『欲望という名の電車』)にじっくり取り組み、鑑賞能力を高めます。

テキスト:

講義資料プリントを配布します。文庫本1冊を使用します。

【07】【04】映画演劇論 (2)(秋学期)

創造という行為を探る

講師 佐野 語郎

授業科目の内容:

優れた舞台や映画を観た時の強い感動はどこから来るのでしょうか? まず何よりも私たち自身の内奥に潜んでいるもの、そして劇作家や映画監督などのエネルギーや精神、さらに両者が共有する時代や社会状況にその源が在るに違いありません。この講義では、観客と創作者との関係にも着目しながら、創造という行為の実際を探っていきます。まず数人の劇作家や演出家・映画監督の仕事を通じて、創作の苦闘と喜びに触れ、さらに、日本の古典芸能や外国の名作映画のいくつかを選び、その魅力を具体的に味わうために、ビデオ鑑賞もします。また、日本演劇学会/演劇教育プロジェクトにおいて発表した「単位制総合高校における演劇の授業」の実践指導内容を説明します。

テキスト:

講義資料プリントを配布します。小冊子1冊を使用します。

【07】【04】芸術と文明(2)(春学期)

「舞踊の思想」

講師 松澤 慶信

授業科目の内容:

中世ヨーロッパの大学では、基本的な三学(trivium すなわち文法、修辞、論理 trivial という英語の形容詞はここから生まれた)と四学(quadriivium すなわち算術、音楽、幾何学、天文学)を修得すれば、修士号(Magister Artium: 現在の M.A.)が与えられた。ところが現代で

は、学問が「総合から分析へ」と各方面に進歩した結果、領域の専門家とそれによる狭隘化をもたらした。今日では、本塾の文学部を例にとっても、学問は 17 の専攻に分かれ、専攻内ですらそれぞれの専門分野がより細分化している。そのため、中世のヨーロッパの知識人の目には、学生も教員も狭苦しいタコ壺の中で喘いでいるように見えるかもしれない現状を呈していることも事実であろう。

この閉鎖性を打破する試みがかなり以前から行われてきたことは確かである。比較 学と名付けられた学問の誕生もそのひとつといえよう。また文学部でも、大学の外から一流講師を招いて、「現代芸術」「詩学」と銘打った講座が設けられて来た。本講座も同様の試みとして、学問の名称にこだわることなく、文学、歴史、音楽、美術、演劇、舞踊、映画などの人文学(いや必要に応じて社会科学や自然科学の助けをも借りて)を縦横にクロスオーバーする主題を取り上げることが狙いである。

学問を総合的に見直すことが求められる今、「芸術と文明」という大きな枠組の設置には、少しでも学生、教員双方の視野を広げられればという願いが込められている。

#### 「舞踊の思想」

身体論が注目されているようである。ロゴス中心主義への批判として、感性的でも、暗黙知でもなく、今度は非・知の戦略として「身体」ということらしい。ニーチェ自身は舞踊が好きだったのだろうか。ダンカン「ツアラトストラ」が愛読書だったという。ベルグソンは舞踊について何も語ってくれていない。身体による芸術的営為である舞踊の思想とは何だろうか。身体論のモデルとしてではなく、舞踊を芸術全般の中でなんとか特化してみたい。

1. ダンスのジャンルと種類
2. テクネーとしての身体 / メタ的身体の知
3. 感性としての舞踊学 / 共振性
4. representational / ballet d'action
5. ジャンルに固有の形成法則 / 「牧神の午後」
6. roman 的なもの / 雰囲気 / 「Les Sylphides」
7. expressionism / 近代的自我の苦悩 / 「Affektos Humanos」
8. formalism / pas / Balanchine
9. post modern dance / ポスト・モダンダンス / ポストモダン・ダンス
10. 記号論的戯れ / 「Waltzer」
11. deconstructive / 「The Second Detail」
12. ニューヴェル・ダンスとフランス国家の文化政策
13. contemporary dance

#### 【07】【04】人の尊厳(社会と人権)(2)(春学期)

教授	安藤	寿康
教授	渡辺	秀樹
名誉教授	関場	武

#### 授業科目の内容:

われわれを取り巻く国内外の情勢を眺めたとき、今日ほど人の尊厳の基盤が危機に瀕している時代はないのではないだろうか。国際情勢においては民族間の葛藤と危機が、国内には少年犯罪や同和問題、性差別や児童虐待、さまざまなハラスメント、いじめなどの諸問題が、また科学の領域では遺伝子情報や生命操作に絡む倫理的危機が、そしてわが心のうちには自分自身の尊厳を見いだすことができずにさまようわれわれ一人一人の精神的・思想的危機がある。これらは一見別々の問題のようでありながら、実は互いに連動しあっている。この講義は「知識を得る」ための授業ではない。これら多様な問題に自ら立ち向かっておられるさまざまな分野の専門家に毎回登場いただき、自らの経験や問題状況を語っていただく。学生諸君には、これらの問題について考え、さらにはみずから振り返って自分自身の考え方や生き方を問い直すきっかけをつかんでいただくことが、この講義の目的である。

#### 【07】【04】死と再生 (2)(春学期)

教授	宇沢	美子
教授	岡原	正幸
教授	宮坂	敬造
准教授	大串	尚代
准教授	奈良	雅俊

#### 授業科目の内容:

生きとし生けるものは必ずや死を迎える宿命にあり、またその死ゆえに人は再生の夢を様々な形で紡いできた。死生観は各文化の核をなし、「死と再生」は、文学や芸術あるいは儀礼や宗教などの領域にとっては、まさに必須かつ伝統的な主題でありつづけている。昨今は、いろいろな文化的・社会的事象に対しても、たとえば地域経済の死やその再生といった文脈で、それは問題とされている。医科学の分野では、再生医療技術の進歩と裏腹に、死と(再)生概念は従来にないゆらぎを孕む。まわりを見渡せば、死の表象やイメージがあふれているようでありながら、かえっていま死を見据えることが難しくなっているようにも思える。そこで本講座では、コーディネーターの他、文学、芸術、生物学、医療、祭礼、経済、政治などの多様な分野の方々に講師にお招きするオムニバス形式の授業を通じて、「死と再生」を多角的多面的に考えてみたい。

#### テキスト:

なし

#### 参考書:

授業内で指示する

【07】【04】死と再生 (2)(秋学期)	教授	宇沢	美子
	教授	岡原	正幸
	教授	巽	孝之
	教授	宮坂	敬造
	准教授	大串	尚代
	准教授	奈良	雅俊

#### 授業科目の内容:

生きとし生けるものは必ずや死を迎える宿命にあり、またその死ゆえに人は再生の夢を様々な形で紡いできた。死生観は各文化の核をなし、「死と再生」は、文学や芸術あるいは儀礼や宗教などの領域にとっては、まさに必須かつ伝統的な主題でありつづけている。昨今は、いろいろな文化的・社会的事象に対しても、たとえば地域経済の死やその再生といった文脈で、それは問題とされている。医科学の分野では、再生医療技術の進歩と裏腹に、死と(再)生概念は従来にないゆらぎを孕む。まわりを見渡せば、死の表象やイメージがあふれているようでありながら、かえっていま死を見据えることが難しくなっているようにも思える。そこで本講座では、コーディネーターの他、文学、芸術、生物学、医療、祭礼、経済、政治などの多様な分野の方々に講師にお招きするオムニバス形式の授業を通じて、「死と再生」を多角的多面的に考えてみたい。

#### テキスト:

なし

#### 参考書:

授業内で指示する

#### 【04】実践自然科学(2)(秋学期)

実験要素を含む4年生のための自然科学

教授	大場	茂
商学部 教授	福澤	利彦
法学部 准教授	小林	宏充

#### 授業科目の内容:

実験やデモンストレーションなど、実験要素を取り入れて、自然科学の考え方や方法論を教えることに重点を置いた授業とします。全体説明のガイダンスの後、化学、物理学、生物学の3分野の教員が、それぞれの分野において、4回ずつ異なるテーマで授業を行います。実験要素を含むことが本科目の特徴であるため、受講生諸君が授業に参加して自ら考えることが必要となります。

#### テキスト:

特に指定しません。講義時に資料・プリントを配布します。

#### 参考書:

特に指定しません。

#### 【07】ロシア文学 (2)(春学期)

#### 【07】ロシア文学 (2)(秋学期)

#### 【04】ロシア文学(4)(通年)

ロシア文学とレトリック	理工学部 教授	金田一真澄
-------------	---------	-------

#### 授業科目の内容:

ロシア文学の中から、毎回具体的な作品を選び、そのレトリック性に注目して、メカニズムを分析する。対象とする作家・作品は、プーシキン、ゴーゴリ、トゥルゲーネフ、ドストエフスキー、トルストイ、チェーホフらの作品、およびロシアの古典作品である。

現在、レトリックは 21 世紀社会において不可欠のものとされ、情報社会のコマースやキャッチコピーに限らず、あらゆるところで使われている。一方、言語学の分野でも認知言語学的分析によって、メタファやメトニム、シネクドキといったレトリックが、人間の本性的認知の問題と結びつけて論じられるようになってきている。こうした新たな視点からのレトリックを通して、本来の修辞学的手法として文学の中で用いられてきたレトリックのメカニズムを再度検討し、レトリックが与える読者への効果の意味と、新たなレトリックの可能性を探ろうというかなり野心的試みを行うものである。

#### テキスト:

特になし

#### 参考書:

『ロシア文学への扉』金田一真澄編、慶應義塾大学出版会

#### 【07】アラビア語 (セ)(1)(春学期)

#### 【07】アラビア語 (セ)(1)(秋学期)

#### 【04】アラビア語 (2)(通年)

アラビア語の世界とその文化

講師	師岡	カリーマ、エルサムニー
----	----	-------------

#### 授業科目の内容:

アラビア語は、20 を超える国、2 億人以上の人々が話す国連公用語の一つです。この授業では、アラビア語で文章を読み、自分を表現する力を

身に付け、アラブ世界の文化や芸術、常識、メンタリティー、人々の生活などについて幅広い知識を修得してもらう事を目的としています。

テキスト：

特に指定しません。プリントを配付します。

参考書：

- ・『アラビア語入門』本田孝一（白水社）
- ・『恋するアラブ人』師岡カリマ・エルサムニー（白水社）
- ・『アジア読本／アラブ』大塚和夫編（河出書房新社）

【07】アラビア語（セ）（1）（春学期）

【07】アラビア語（セ）（1）（秋学期）

【04】アラビア語（2）（通年）

アラビア語入門

講師 栗山 保之

授業科目の内容：

アラビア語は、西アジアを中心とした諸地域で用いられている言語であり、さらに全世界に広がるイスラーム教徒の聖典コーランの言語でもあります。この授業では、このアラビア語に関して、文字の読み方、書き方からはじめて、文法（初級）を習得することを目的としています。

テキスト：

佐々木淑子『アラビア語入門』（翔文社）

参考書：

随時、紹介します。

【07】イタリア語中級A（1）（春学期）

【07】イタリア語中級A（1）（秋学期）

【04】イタリア語中級A（2）（通年）

講師 堤 康德

授業科目の内容：

対象は「イタリア語」既習者。あるいは、「初級」または「入門」を履修したのち、使用テキストの未習部分を独習した学生で、読解への意欲があれば履修可能です。

文法の知識をさらに深めること、そしてその知識を活かしながら簡単な文献を購読することを授業の目標とします。

春学期は、検定試験の受験希望者のために、過去の問題集を解きながら中級、上級文法の説明をするつもりです。

さらに、簡単なイタリア語の文章を書く練習をします。

テキスト：

プリント

【07】イタリア語中級B（1）（春学期）

【07】イタリア語中級B（1）（秋学期）

【04】イタリア語中級B（2）（通年）

講師 マツジャ、フェデリカ

授業科目の内容：

このクラスでは、基本的な会話全般を習得し、イタリアの文化について知識を深めます。

毎回の授業の目的：A. リスニングを重視しながら話し言葉の理解力をつける。B. 日々の生活のなかのテーマのプレゼンテーションを通じて、会話の演習を行う。C. イタリア語の基本的語彙と表現の増加と保持を目指す。D. 文法の基礎を固める。

クラスで：a. 2人またはグループでの会話の練習をする。b. テーマに関する表現と語彙を確認する。c. 前に出てきた表現や語彙を、ゲームやロールプレイなどの様々な練習によって定着させる。d. テーマに関連した文法と語彙について、深く掘り下げた練習をする。

教材に関しては、教科書とともに参考資料も使用する予定です。現在のイタリアの音楽と映像（映画、テレビのクイズ、コマーシャル、ドラマなどのビデオ）を使用して日常イタリア語会話を楽しみながら学んでいきます。

テキスト：

「Espresso」(ALMA)：6課 10課

【07】イタリア語上級（N）（1）（春学期）

【07】イタリア語上級（N）（1）（秋学期）

【04】イタリア語上級（N）（2）（通年）

イタリア近現代史 Storia italiana (età moderna e contemporanea)

講師 ビオンディ、マルコ

授業科目の内容：

「イタリア語 / 」あるいは「イタリア語中級」修了程度で、リスニングおよび会話力をつけたい学生が対象です。イタリアの歴史を外国人用に概説したイタリア語によるテキストのネイティブ教員によるテキストの解説と、DVDによる映像をベースに授業をすすめます。

テキスト：

Profilo di Storia italiana per stranieri (Guerra edizioni)

【07】イタリア語上級（S）（1）（春学期）

【07】イタリア語上級（S）（1）（秋学期）

【04】イタリア語上級（S）（2）（通年）

作文と表現練習 Composizione e discorso (speech)

講師 ビオンディ、マルコ

授業科目の内容：

作文力と口頭発表能力をつけることを目標とします。

原則的に、「イタリア語 / 」あるいは「イタリア語中級」で文法および基礎的会話を習得した後さらに1年でいどイタリア語に親しんだ経験のある学生を対象とします。が、各人のレベルにあわせた授業展開となるので、実力に自信はないがやる気はある、という学生は、初回の授業の折に相談してください。

担当教員が提示するさまざまなテーマ（日常生活、趣味～芸術、社会問題など）にあわせてイタリア語の文章を作成し、それを教室で口頭発表するという形態をとります。

テキスト：

教室で指示します。

【07】英語インテンシブ A（セ）（1）（春学期）

【07】英語インテンシブ A（セ）（1）（秋学期）

【04】英語インテンシブ A（2）（通年）

TOEIC総合対策

講師 高木 眞佐子

授業科目の内容：

読み、聞くのバランスのとれた授業を目指します。Part からPart までを項目別に演習し、さらに総合練習問題で点数アップを図ります。600点程度の方が年度終わりには800点程度の取得ができるように演習中心となります。

テキスト：

Longman's Preparation for the New TOEIC Test (Intermediate Course)

【07】英語インテンシブ B（セ）（1）（春学期）

【07】英語インテンシブ B（セ）（1）（秋学期）

【04】英語インテンシブ B（2）（通年）

検定英語のリーディングとリスニング

講師 星 美季

授業科目の内容：

実際に外国で暮らしたり英語でコミュニケーションを図ろうとする学生を対象に「使える英語」の習得を目指します。毎回クラスの前半はABC放送のニュースのビデオ教材を使い、リスニングを強化したり、語彙の演習問題をします。後半はTOEFLのリーディングが軸となりますが、雑誌や新聞の英語の読み方も練習します。徐々にインプットとアウトプットの英語の融合を目指します。

テキスト：

『ABC World News』金星堂 2300円

【07】英語インテンシブ C（セ）（1）（春学期）

【07】英語インテンシブ C（セ）（1）（秋学期）

【04】英語インテンシブ A（2）（通年）

Writing and Thinking in English

講師 ロンバール、ラファエル

授業科目の内容：

This course is designed to help students become proficient thinkers, readers and writers. Students will learn to tackle sophisticated materials, support their ideas with a variety of evidence, and construct a sound argumentation on paper.

As this course relies heavily on in-class participation and work, full attendance is required.

テキスト：

Oshima, Alice and Ann Hogue, eds. *Writing Academic English*, 4th Edition. New York: Pearson /

【07】英語インテンシブ D（セ）（1）（春学期）

【07】英語インテンシブ D（セ）（1）（秋学期）

【04】英語インテンシブ B（2）（通年）

Memoirs of America's Premier Japanologist

講師 ウェブスター、ダニエル

授業科目の内容：

この授業では、現在存命のもっとも優れた日本文学の英訳者と言われている Donald Keene の自伝を読み、それについて書きディスカッションをします。日本の文学だけでなく社会や文化について英語で書いたり話したりする力を向上させたい学生には、興味の持てるクラスになるのではないかと思います。

テキスト：

テキストについては、第一回目の授業の時にお話します。

- 
- 【07】古典ギリシア語初級 (セ)(1)(春学期)
  - 【07】古典ギリシア語初級 (セ)(1)(秋学期)
  - 【04】古典ギリシア語初級(2)(通年) 講師 我妻勇樹
- 

授業科目の内容：

古典ギリシア語の文法を学びます。

テキスト：

田中・松平『ギリシア語入門』(岩波全書)

参考書：

D. J. Matronarde, *Introduction to Attic Greek*, University of California Press, 1993.

- 
- 【07】古典ギリシア語中級 (1)(春学期)
  - 【07】古典ギリシア語中級 (1)(秋学期)
  - 【07】古典ギリシア語文献講読 (1)(春学期)
  - 【07】古典ギリシア語文献講読 (1)(秋学期)
  - 【04】古典ギリシア語中級(2)(通年)
  - 【04】古典ギリシア語文献講読 (2)(通年)
- 

講師 我妻勇樹

授業科目の内容：

古典ギリシア語の文献を読みます。

テキストはクセノポン『アナバシス』を予定。

テキスト：

こちらで用意します。

- 
- 【07】現代ギリシア語初級 (セ)(1)(春学期)
  - 【07】現代ギリシア語初級 (セ)(1)(秋学期)
  - 【04】現代ギリシア語初級(2)(通年)
- 

教授 西村太良  
講師 ヴォルドカ、ゾイー

授業科目の内容：

現代ギリシア語の初級文法、初級会話。今日のギリシアの日常生活に必要な表現を中心に文法の基本と語彙を学んでいく。現代のギリシアは古典ギリシアの伝統を基に地中海の様々な歴史、文化が重なり合った独特の風土を持っており、その一端に触れた者は逃れがたい魅力のとりことなるに違いない。

テキスト：

「外国人のための現代ギリシア語」(テサロニキ大学)

- 
- 【07】現代ギリシア語中級 (セ)(1)(春学期)
  - 【07】現代ギリシア語中級 (セ)(1)(秋学期)
  - 【04】現代ギリシア語中級(2)(通年)
- 

講師 ヴォルドカ、ゾイー

授業科目の内容：

初級に続いて現代ギリシア語の文法、会話を学んでいく。折に触れてギリシアの音楽や映画、文学についても紹介しながら、今日のギリシアの文化を知ってもらうことを目的としたい。

テキスト：

「外国人のための現代ギリシア語」(テサロニキ大学)

- 
- 【07】スペイン語中級 (1)(春学期)
  - 【07】スペイン語中級 (1)(秋学期)
  - 【04】スペイン語中級(2)(通年)
- 

ラテンアメリカの文化と社会 助教(有期) 井関睦美

授業科目の内容：

この授業はスペイン語を終了した学生、もしくはそれと同等の読解力を有する学生を対象とします。これまでに学習した文法や講読の知識を活用しながら、ラテンアメリカに関する理解を深めるとともに、さらなる読解力の向上を目指します。おもな作業は、中南米の歴史、文化、社会などに関する新聞・雑誌記事や書籍から抜粋した文章の講読になります。適宜、トピックに関連する視聴覚資料も使用していきます。

テキスト：

特に指定しません。

参考書：

適宜紹介します。授業には辞書を持参すること。

- 
- 【07】中国語会話 (1)(春学期)
  - 【07】中国語会話 (1)(秋学期)

- 【04】中国語会話A(2)(通年)

中国語でしゃべらナイト

講師 小松 嵐

授業科目の内容：

会話中心の初級中国語コースです。

日常生活の様々な場面において、簡単なコミュニケーションが取れることを目指します。聞く・話す力を養うために、中国語を多く用いて授業を行います。口・耳を使って繰り返し練習することにより、中国語の運用能力を身につけさせます。

テキスト：

未定

- 
- 【07】中国語会話 (1)(春学期)

- 【07】中国語会話 (1)(秋学期)

- 【04】中国語会話B(2)(通年)

講師 王 又民

授業の計画：

本課程教学主要目標は提高学生的汉语听说能力、重点在于通过多种形式的听说训练帮助学生熟练掌握汉语常用词汇、基本句型以及中国人习惯用的口语表达方法。让学生练习会话、复述课文和就某一话题进行成段以培养学生运用汉语自由表达、进行交际能力。教材拟选用北京语言大学出版社的《说汉语》。教学具体内容与教学进度将按照学生的实际水平和要求进行安排。

- 
- 【07】朝鮮語上級 (1)(春学期)

- 【07】朝鮮語上級 (1)(秋学期)

- 【04】朝鮮語上級(2)(通年)

教授 野村伸一

授業科目の内容：

映画・ドラマのシナリオを通じた朝鮮語学習。

本塾文学部設置の「朝鮮語」10単位を終えたていどの学習者を対象とします。

具体的には新聞や論文を自力で読み解けることが前提となります。授業では、映画をみながら、そのシナリオを読みます。話しことばの諸相に触れることで、表現の背後にある独特の観点、社会風土などについて理解を深めます。

時には実用的な言い回しの暗誦も勧めます。

テキスト：

2009年度前期は、郭在容監督作品『クラシック(邦訳、ラブ・ストーリー)』を取りあげます。後期はドラマ『大長今』を予定しています。

毎回、4ページほどの進捗でおこないます。各自、予習してきてください。

参考書：

「翻訳の世界 朝鮮語と日本語のばあい」韓国・朝鮮文化研究会『韓国朝鮮の文化と社会』6、風響社、2007年、149-205頁。

- 
- 【07】トルコ語 (セ)(1)(春学期)

- 【07】トルコ語 (セ)(1)(秋学期)

- 【04】トルコ語 (2)(通年)

トルコ語会話入門

講師 ギュヴェン、デヴリム・チェイン

授業科目の内容：

この授業では、言語とそれが話される国ないしは地域の間における相互作用を視野に入れながら、トルコ語という言語の基本的な発音・表現・語彙を、会話を中心に習得することを目標とします。

具体的には1)自己紹介ができる、2)日常の話題についてトルコ語圏の人たちとコミュニケーションを保つことができる、という二つを主たるターゲットとします。

また、トルコ語そのものの能力を高めるとともに、トルコの社会や文化について基本的知識を習得することにも重きをおいています。テキストのほかに、取り上げるテーマに関連する映画など映像資料も利用します。

テキスト：

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

参考書：

『エクスペストルコ語』(白水社),『トルコ語会話練習帳』(大学書林)

- 
- 【07】トルコ語 (セ)(1)(春学期)

- 【07】トルコ語 (セ)(1)(秋学期)

- 【04】トルコ語 (2)(通年)

講師 野中恵子

授業科目の内容：

トルコ語の初級文法全般を学びます。

テキスト：  
開講時に配布します。

---

【07】日本語 A(セ)(1)(春学期)  
【07】日本語 A(セ)(1)(秋学期)  
【04】日本語 A(2)(通年) 講師 菅野高志

---

授業科目の内容：  
留学生対象の日本語の授業です。  
・日本語の文章を正確に読み、内容について議論できるようになること。  
・原文の内容を400字に縮約する練習を通して、読む力、書く力を強化すること。  
以上の2つが目標です。

テキスト：  
新聞の社説を主に使います。初めのうちは、こちらで用意します。

---

【07】日本語 B(セ)(1)(春学期)  
【07】日本語 B(セ)(1)(秋学期)  
【04】日本語 B(2)(通年)  
留学生のための日本語 講師 戸所久美子

---

授業科目の内容：  
・文学部の学生として、知っておきたい日本の歴史や社会についての知識を身につける。  
・上記内容の理解、発表、討論等を通して、留学生として必要な日本語能力の習得と向上をめざす。

テキスト：  
担当者作成教材

参考書：  
授業中、適宜指示する。

---

【07】ペルシア語 (セ)(1)(春学期)  
【07】ペルシア語 (セ)(1)(秋学期)  
【04】ペルシア語 (2)(通年) 講師 ハギギ、セバンタ

---

授業科目の内容：  
この授業は初めてペルシア語を学ぶ者を対象とし、ペルシア語の文字、発音から入り初歩的なペルシア語会話の習得を目標とします。実用会話ができるようになるには基本的な文法事項の習得も必要であり、授業の前半は文法、後半では会話の練習を考えています。

テキスト：  
岡崎正孝著 『基礎ペルシア語』(大学書林)  
その他、プリントを配布します。

---

【07】ラテン語初級 (セ)(1)(春学期)  
【07】ラテン語初級 (セ)(1)(秋学期)  
【04】ラテン語初級(2)(通年)  
言語文化研究所 専任講師 小池和子

---

授業科目の内容：  
ラテン語の初等文法を学びます。名詞などの変化・動詞の活用の習得が第一の目的ですが、中級レベルにスムーズにつながるよう、文章を読む練習もできる範囲でやりたいと考えています。

テキスト：  
中山恒夫『標準ラテン文法』(白水社)

---

【07】ラテン語中級 (セ)(1)(春学期)  
【07】ラテン語中級 (セ)(1)(秋学期)  
【04】ラテン語中級(2)(通年)  
言語文化研究所 専任講師 小池和子

---

授業科目の内容：  
初等文法を一通り学び終えた学生を対象に、初等文法の知識を確認しつつ、実際のラテン語作家の作品を読む練習をする授業です。キケロー、カエサル、ネポース、セネカ、小プリーニウス、スエートニウスなどの散文作家の作品から、比較的読みやすい箇所を選んで読んで行く予定です。

テキスト：  
こちらで用意します。

参考書：  
初回の授業で紹介します(辞書、文法書など)

---

【07】ロシア語中級 (セ)(1)(春学期)  
【07】ロシア語中級 (セ)(1)(秋学期)  
【04】ロシア語中級(2)(通年)  
ロシア語中級 講師 佐野洋子

---

授業科目の内容：  
このクラスはロシア語文法を一年間でひととおり終了した方を対象とします。文法を復習しながら19世紀ロシア文学から小説の抜粋、詩を精読していき、ロシア語を正確に読む力をつけていきたいと思います。

テキスト：  
プリントを配布します。  
参考書：  
辞書(できれば博友社、岩波書店、研究社のいずれか)を用意して下さい。



# 語 学 科 目

## 英語

【07】英語 (レベル1)(セ)(1)(春学期)	火曜 5限
【07】英語 (レベル1)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル1)(2)(通年)	

基礎から学ぶ英語 教授 宇 沢 美 子

### 授業科目の内容：

やさしい小説テキストを、基礎的な英文法の知識を確認しながら精読します。丁寧に読み進めながら、文法、語彙、表現、訳出の総合的な基礎力の向上を目指します。なお春学期は特に文法の復習のため、毎回授業の冒頭に簡単なテストを課します。

### テキスト：

Daniel Keyes, "Flowers for Algernon." (プリントで配布)  
Roald Dahl, *Charlie and the Chocolate Factory* (Puffin books).

### 参考書：

William R. Smalzer, and Raymond Murphy, *Grammar in Use, Intermediate (workbook)* (Cambridge UP, 2003).

【07】英語 (レベル1)(セ)(1)(春学期)	水曜 1限
【07】英語 (レベル1)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル1)(2)(通年)	

英文法と応用読解 教授 中 村 優 治

### 授業科目の内容：

年間を通じ英文法の復習と応用読解力の充実を目標とします。春学期には特に文法の復習に力をいれながら、基礎読解の授業をおこない、秋学期には、長めのまとまった英文を読みこなしながら応用力をつけるような授業にしたいと思っています。

### テキスト：

英文法の復習には主にプリント教材を用いますが、読解用として次のテキストを使用する予定です。

Crystal, David (1997). *English as a Global Language*. Cambridge: Cambridge University Press

【07】英語 (レベル1)(セ)(1)(春学期)	金曜 1限
【07】英語 (レベル1)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル1)(2)(通年)	

英語の基礎の確認 准教授 高 橋 宣 也

### 授業科目の内容：

英語の基礎的な文法事項を確認して、確実なところから自信をつけていくことを目指します。章ごとに短めのエッセイと文法の要点がまとめられたテキストです。設問もこなしていきます。

### テキスト：

『イングリッシュ・イングリッシュ 英語学習の基礎』(朝日出版社)

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	月曜 2限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	

Sherwood Anderson を読む 講 師 黒 崎 真 由 美

### 授業科目の内容：

1920年代のアメリカ文学を代表する作家 Sherwood Anderson (1876-1941) の代表作 *Winesburg, Ohio* (1919) を読みます。英語読解力の養成が目的であるのはもちろんですが、文学作品の鑑賞をも心がけます。素朴で美しい口語体で書かれたアメリカ中西部の牧歌的な世界、そして実験的手法を用いて描かれた人間の複雑な内面心理を読み、味わいたいと思えます。

### テキスト：

Sherwood Anderson, *Winesburg, Ohio*. (Penguin Books)

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	月曜 3限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	

イギリスの高級紙を読む 講 師 石 田 名 都 子

### 授業科目の内容：

イギリスを代表する高級紙の論説文等を教材に、世界各地の最新情報に目を向けながら英語力のさらなる向上をめざします。言語表現を正確に読みとるほかに、英語のパラグラフ構成やリーディングストラテジーも同時に学びます。適宜、補助教材のプリントも使用します。

### テキスト：

*Reading the World through The Times and The Guardian* (Tsurumi Shoten, 2009)

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	月曜 4限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	

新聞や雑誌の記事を読んで読解力養成 講 師 石 田 名 都 子

### 授業科目の内容：

主にアメリカの高級紙の新聞記事や雑誌記事を読んで世界情勢を学びます。同時に、英文を正確に読みとったりパラグラフ構成を学び読解力や語彙力を高める事もこの授業の目的です。補助教材としてプリントも適宜使用します。

### テキスト：

*English Through the News Media* (Asahi Press, 2009)

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	月曜 4限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	

野球と市民権 准教授 吉 田 恭 子

### 授業科目の内容：

John "Buck" O'Neil (1911-2006) による傑作口述自伝 *I Was Right on Time: My Journey from Negro Leagues to the Majors* (1996) を通読する。「影の野球史」ともいえるニグロリーグ黄金期の生き証人 O'Neil は、Ken Burns のテレビドキュメンタリーシリーズ *Baseball* (1994) に語り部のひとりとして登場し、その人柄と話術でまたたく間に全米を魅了した。口述された本書は、生き生きとした語り口と印象的な逸話の数々が特徴で、野球選手の回顧録としてだけでなく、野球を通じた 20 世紀アメリカ史としても興味深い読み物である。

授業はテキスト読解と小テストを中心に進行するが、口頭発表や英文レポート、映像・音声資料の視聴など、読解以外のスキルも網羅する予定。時間があれば、日系アメリカ人と野球についての文章も扱いたいと考えている。

### テキスト：

Buck O'Neil, Steve Wulf, & David Conrads, *I Was Right on Time: My Journey from Negro Leagues to the Majors*. New York: Fireside, 1997.

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	火曜 2限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	

<イギリス人ウォッチング>の講読 准教授 足 立 健 次

### 授業科目の内容：

イギリスの社会人類学者が自国民の行動に潜む規則性を解読した文章を読みます。国民性をテーマにした書物は数多く見かけますが、本書の特徴は文化人類学的な問題設定と実験的方法にあります。人類学的方法の基本であるフィールドワークから得られたデータが分析されて記述されます。著者はイギリス人の行動様式を鋭い観察眼で分析すると同時に、自ら実験台となって彼らの反応を調査することで、とかく薄っぺらになりがちなくイギリス人論に厚みを加えています。

### テキスト：

Kate Fox, *Watching the English* (英宝社)

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	火曜 2限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	

小説・映画における科学 講 師 井 上 美 雪

### 授業科目の内容：

訳や文法を丁寧に見ていきます。その上で文脈をつかみ、背景を解説して、精読を行っていきます。

使用予定のテキストは、小説や映画などのポップ・カルチャーにおいて、科学技術がどのように描かれているかを解説しています。例えば「臓器移植」の章では、『フランケンシュタイン』や『シカゴ・ホープ』などの作品が取り上げられ、臓器移植のどの面がドラマを生み出しているのかを教えてください。

### テキスト：

*Science in Popular Culture* A. Bowdoin Van Riper 著 南雲堂 1800 円

### 参考書：

特になし

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	火曜3限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
＜神話学入門＞の講読 准教授 足立健次	

授業科目の内容：

文学・歴史学・心理学・社会学・人類学などの基礎をなすと言われている＜神話＞がもつ現代的意義を説いた文章を精読します。これは、様々な専攻に所属する皆さんが神話と自分の専門とのかかわりについて考えるための格好の材料となるでしょう。また、英語で原書を読むための能力向上にもつながるはずで。

テキスト：

David Leeming, *Mythology* (Kinseido)

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	火曜3限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
Read and Respond 講師 佐藤理佳	

授業科目の内容：

'Are You Happy with Your English?'

The aim of this course is to help the student enliven his/her English which has been neatly memorized and stored in his/her brain but has not had an opportunity to be practised in real life yet. We will be reading a variety of materials in English, including newspaper articles, poems and essays, in order to familiarise ourselves with the language. The emphasis will be on developing the skill of reading English. There will, however, be many opportunities to practise and improve other skills, writing, speaking and listening, by doing tasks in the textbook or having group discussion in class.

テキスト：

Simon Greenall and Diana Pye, *Cambridge Skills for Fluency: Reading 4* (Cambridge University Press, 1993)

Additional materials will be provided by the instructor.

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	火曜4限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
英米の名随筆作品を読む 教授 宇沢美子	

授業科目の内容：

論理的で堅牢な文章からやわらかいものまで、英米の作家によるいろいろなタイプの文章をとりあげます。逐語訳、文脈に沿った意識、要約、キーワード抽出など、適宜それぞれの作品にあった方法で、書き手の発想と英語の妙を味わいながら読み進んでいきます。

テキスト：

Robert Diyanni, ed., *Twenty-Five Great Essays*, third edition (Penguin, 2007).

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	火曜4限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
Readings on Contemporary Topics 講師 松原美智子	

授業科目の内容：

This is an intermediate reading course. By reading articles on various contemporary topics, such as advertising in a global world and problems related to climate change, students will learn to develop critical thinking skills and language proficiency.

テキスト：

Laurie Barton and Carolyn Dupaquier Sardinas. *North Star: Reading and Writing* (Level 3). 3rd Edition. Longman

参考書：

Students are advised to have an English-English dictionary, such as the *Oxford Advanced Learner's Dictionary*.

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	火曜5限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
論評を読む 講師 藤原雅子	

授業科目の内容：

批評家ノースロップ・フライが文学的想像力について扱った評論を読む。これはカナダ放送で行った講演の記録であり、幅広い視聴者に向けられたものであるため、比較的平易な表現で彼のエッセンスが語られている。正確な内容把握につとめるとともに、神話論、社会・文化論へと広がる彼の思想を検討する。

テキスト：

Northrop Frye, *The Educated Imagination* (鶴見書店)

参考書：

ノースロップ・フライ『批評の解剖』(法政大学出版)

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	水曜1限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
Current Topics 講師 小林亜紀子	

授業科目の内容：

英字新聞や雑誌に掲載された文章を中心に、現代社会の様々な話題を扱った記事や論説文を読みます。単に英語を日本語に置き換えるのではなく、文脈を理解しながら内容を的確に把握し、読み進めることのできる力の養成に特に重点を置きます。テキストには、イギリスを代表する二紙 *The Times* と *The Guardian* からの論説を中心に、薬物依存、ファッション業界における人種差別、思考感知技術の最先端、環境問題など、いずれも興味深い現代的問題を扱った英文が収録されています。そうした英文を素材として英文読解力向上をはかることがこの授業の主目的ですが、単に英文を読んで満足して終わらせるのではなく、読んだ英文を手掛かりとして、そこから自分なりの問題意識や関心を広げ、考察を深めることも大切にします。テキストで取り上げられた英文テーマに関連した別の英字新聞等の文章や視聴覚教材(英語ニュースなど)があればそうしたものも補助教材として取り入れながら、各テーマについてより広い見地から掘り下げた理解ができるようにしていきたいと考えています。

テキスト：

Reading the World through *The Times and The Guardian* (音羽書房鶴見書店, 2009)

(その他必要に応じて、プリント教材を配布します)

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	水曜1限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
イギリスの歴史と文化を読む 講師 高津昌宏	

授業科目の内容：

Antonia Fraser 作の "The Six Wives of Henry" (1992) を読む。著者の Fraser は伝記作家としてのみならず、推理小説の作家としても知られ、本書もフェミニズム的な新たな視点から書かれた歴史書であるばかりか、エクサイティングな娯楽読み物になっている。ヘンリー8世が最初の王妃キャサリン・オブ・アラゴンと離縁し、アン・ブーリンと再婚するために、離婚を認めない教皇と対立し、自ら英国国教会を設立してその首長になったことは、高校の世界史で習ったところだろうが、その後を迎えた妃たちについてはあまり知らない人も多いのではないかと。そこで、本年度は第四の王妃として迎えられた Anna of Cleves とその半年後に妻の座を奪うことになった Katherine Howard について書かれた箇所を読んでいき、イギリスの歴史と文化の一端を学ぶことにしよう。

テキスト：

Antonia Fraser, *The Six Wives of Henry* (Phoenix)

参考書：

- ・渡辺みどり『英国王室物語 ヘンリー八世と六人の妃』(講談社)
- ・ダイクストラ好子『王妃の闘い ヘンリー八世と六人の妻たち』(未知谷)

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	水曜2限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
John Collier の粋な短編を読む 教授 宇沢美子	

授業科目の内容：

短編の名手と呼ばれるジョン・コリアの短編集を読みます。コリア独特の人間観察と発想のおもしろさを味わいながら、総合的な英語読解力の向上をめざします。必要に応じて文法的な説明を加え、各々の作家の視点と英語表現についての理解を深めていきます。

テキスト：

John Collier, *Francis and Goodnights* (New York Review of Books, 2003).

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	水曜2限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
異文化理解を考える 講師 小林亜紀子	

授業科目の内容：

「ことば通じて意味通じず」ということがあるように、異なる言語文化的背景を持つ人々とのコミュニケーションでは、自他の文化的共通性や差異性といった文化的側面への理解が円滑なコミュニケーション成立の重要な鍵を握るといっても過言ではありません。このような認識を出発点として、この授業では、文化とコミュニケーションの密接な関係について論じたアメリカのすぐれた文化人類学者 Edward T. Hall の著書 *The Hidden Dimension* を読みます。人類学、社会学、言語学、動物学、心理学などきわめて学際的なアプローチにより、異文化に属する人々がいかに異なる「感覚世界」に住み、異なる文化の型のスクリーンを通じて外

界を捉えているかを興味深く論じたホールの英文による文化論を読みながら、自明視していた自文化を今一度客観的に見つめ直し、自他の文化に対する理解力や比較文化的視点を養っていきたい。

テキスト：

Edward T. Hall, *The Hidden Dimension* (松柏社)

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	水曜 2 限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A (レベル2)(2)(通年)	
イギリス現代劇を読む	准教授 高橋 宣也

授業科目の内容：

現代を代表する劇作家の一人、ピーター・シェーファーの『アマデウス』を読みます。映画版でも有名なこの作品が、劇場ではどのような姿を見せるのか、台本のセリフと書きを綿密に読みながら、ドラマを感じ取ることを目指します。天才作曲家モーツァルトと凡人作曲家サリエリとの確執から、普遍的なテーマが浮かび上がってきます。

テキスト：

Peter Shaffer, *Amadeus* (鶴見書店)

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	水曜 3 限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A (レベル2)(2)(通年)	
読解からエッセイへ	助教 徳永 聡子

授業科目の内容：

春学期にはさまざまなジャンルの散文で書かれた文章をプリント教材で読み、読解力向上を目指します。またパラグラフ・ライティングの基礎の習得と文法の復習を行います。

秋学期には引き続き読解力向上を目指しつつ、アカデミック・ライティングの基礎を学びます。最終的には1つのテーマについて、自分で資料を探し読み込み、英文エッセイ(5枚程度)を書けるようになることを目指します。

テキスト：

- (1) 読み物用のプリント教材(教室、あるいは keio.jp 上で配布)
- (2) 教科書 Alice Oshima and Ann Hogue, *Introduction to Academic Writing*, 3rd edn, The Longman Academic Writing Series, Level 3 (2006)

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	水曜 4 限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A (レベル2)(2)(通年)	
リーディング	講師 中川 千帆

授業科目の内容：

食糧、人口、環境、エネルギーといった現代社会の諸問題を扱ったエッセイを読んでいく。授業では基本的に多読の練習をおこない、それと同時にリスニングや内容についてのディスカッション、英語での要約練習などもおこなっていく。また TOEIC のリーディングセクションの練習問題を解き、テスト形式に慣れていくようにする。

テキスト：

David Peaty, *Confronting the Issues* (金星堂, 2009)

参考書：

授業内で随時紹介していく。

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	水曜 5 限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A (レベル2)(2)(通年)	
リーディング	講師 中川 千帆

授業科目の内容：

国際情勢や日本文化、最新の科学技術など、様々なトピックを扱ったテキストを用い、多読と精読の練習をおこなう。また TOEIC のリーディングセクションに対応した問題を解き、TOEIC の形式に慣れるとともに、英語での要約をおこなうことでテキストの内容に対する理解を深めていく。

テキスト：

Roger Pulvers, *Setting the Stage* (研究社 2005)

参考書：

授業内で随時紹介していく。

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	木曜 1 限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A (レベル2)(2)(通年)	
論説文を読む	准教授 坂本 光

授業科目の内容：

比較的短めの論説文を、その論理的構成にも目を配りながら読み取る訓練を行う。使用テキストは、雑誌記事、新聞記事、書籍からの抜粋が

中心。基本的には読解の授業だが、必要に応じて文法や語彙の点検・復習も行う予定。

テキスト：

プリントを配付する。

参考書：

文法書、辞典類などについて、必要に応じて初回講義時に紹介する。必ずしも手持ちのものを買って直す必要はない。

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	木曜 1 限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A (レベル2)(2)(通年)	
リーディング・スキルとパラグラフ・ライティングの学習	講師 佐藤 光重

授業科目の内容：

論文やエッセイの構造を理解し、正確に内容を把握する練習を積む。春学期は読解練習を中心に進めながら、適宜、短い作文練習を取り入れる。秋学期は、読解練習をもとにさまざまなパラグラフ作文に取り組み。

テキスト：

*Breakthrough Comprehension* (Learners, 2004).

参考書：

*Paragraphs That Communicate* (MacMillan, 1990).

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	木曜 1 限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A (レベル2)(2)(通年)	
	講師 白鳥 義博

授業科目の内容：

時事的な内容の、比較的短い英語のパッセージを多読する訓練を中心とした授業です。この訓練によって、人文社会系の原書購読に役立つ語彙を習得すること、そして英文を速く正確に読む力を高めることを目指します。あわせて、課題文を TOEFL 形式(要点をメモに取ることが許される)で聴き取る練習をしながら、リスニング能力の向上も狙います。必要に応じて、発展練習のために、追加のプリントを配布して、テキストの学習で習得した技術の定着と応用を図ります。

テキスト：

『メディアで学ぶ日本と世界 2009/10』(成美堂, 2009 年)

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	木曜 2 限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A (レベル2)(2)(通年)	
英文読解力の向上を目指す	講師 有賀 明子

授業科目の内容：

中級レベル以上の、書き下ろしではない“生”の英文(人生相談欄、エッセイ、評論、短編小説)を読み、さらに課外で英文多読を行うことによって、語彙力と読解力の向上を目指し、また文化や社会について考えていくことがこの授業の目標である。

毎授業時に前回の既習事項についての小テストを行った後、ウォームアップとして“Dear Abby”の人生相談欄を読み、自然な英語表現とアメリカ文化を楽しみながら学び、次に主たるテキストである“WISH”を2週間に1章の進度で発音、語彙、構文、論理すべてに目配りしながら読んでいく。(作家あるいは内容については「授業の計画」を参照)

テキスト以外にも、季節の行事(ハロウィーン、クリスマスなど)、あるいは注目に値する出来事(昨年度は「食品偽装問題」、「オバマ氏大統領選出」など)に関する英文記事を授業の一部を利用して読むほか、必要に応じて、歌、ニュース、映画などの音声・映像も教材として使用する。

課外での多読は年間最低5冊を目標とし、簡単なブックリポートを提出。各自のペースで進めてもらうが、授業中に詳しく指示する。

テキスト：

テキスト 佐久間みかよ編注, *WISH*, 研究社

テキスト Abigail Van Buren, *Dear Abby*, 鷹書房弓プレス

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	木曜 2 限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A (レベル2)(2)(通年)	
	講師 白鳥 義博

授業科目の内容：

おもに政治を中心とした時事的な内容の英文を、さまざまなアプローチから広く、深く読む練習を行い、専門的な文章を読みこなす際に役立つ語彙力や、大量の英文を速く、正確に読む力の向上を目指します。あわせて、聞き取りと音読の練習も積極的に行います。読む英文の内容はもっぱら政治に関することなので抵抗を感じる人もいますが、しかし使用するテキストは、読解や聴き取りの技法に関して、かなり細かく親切なアドバイスを与えています。ですから、もう一度基礎的な項目から英語力の向上を図りたい人には、うってつけの教材といえるでし

よう。必要に応じて、発展練習のために、さまざまな内容の追加プリントを配布して、テキストの学習で習得した技術の定着と応用を図ります。  
 テキスト：  
 『NHK ワールド・ニュースで学ぶ「聴く英語、読む英語」』(南雲堂、2009年)

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	木曜3限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
リーディング・スキルとパラグラフ・ライティングの学習	
講師 佐藤光重	

授業科目の内容：

論文やエッセイの構造を理解し、正確に内容を把握する練習を積む。春学期は読解練習を中心に進めながら、適宜、短い作文練習を取り入れる。秋学期は、読解練習をもとにさまざまなパラグラフ作文に取り組む。  
 テキスト：

Breakthrough Comprehension (Learners, 2004).

参考書：

Paragraphs That Communicate (MacMillan, 1990).

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	木曜3限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
ジェンダーを考えるための英語	
講師 波戸岡景太	

授業科目の内容：

自分とはなにか、自分らしさとはなにか。こうした、いわゆるアイデンティティというものを考える上で、言葉はとても大切な役割を果たします。この授業では、フェミニズム、ゲイ/レズビアン・スタディーズ、そしてクイア理論など、性をめぐる言葉たちを、あくまでも基本的な英語読解の力を養うことを目的としながら考えていく。

テキスト：

毎回、さまざまな文献をプリント形式で配布します。

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	木曜4限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
英文読解力の養成(言語学の文献の精読、日本文化紹介)	
講師 有光奈美	

授業科目の内容：

講義の目的：言語学の文献の精読と、日本文化紹介に関する英語に取り組むことにより、英文読解力を養成し、英語による思考力と理解力の向上を図ります。

講義を通して、語用論 (Pragmatics) とメタファーを中心とした言語学の基礎的知識の習得と、英文読解ができるようになります。

言語学の中でも、言語の実際の使用を重んじる語用論と、単なるレトリックではないメタファー研究の入門書を中心に、言語を通して、人間の発話、思考、認識の問題を考察していきます。

語用論とメタファーを中心とした言語学の基礎的知識を身につけると共に、日本文化紹介に関する英語に取り組み、英文読解における精読と速読の力を身につけることが、本講義の目標です。

テキスト：

George Yule, *Pragmatics* (Oxford University Press), 1996 (春学期)

Murray Knowles and Rosamund Moon, *Introducing Metaphor* (Routledge), 2006 (秋学期)

江口裕之・Daniel Dumas (The Japan Times), 2001

参考書：

Jenny Thomas, *Meaning in Interaction* (Longman), 1995

ジェニ・トマス「語用論入門」(研究社) 1998

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	木曜4限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
ヒップホップ・ミュージックから読み解くアメリカ	
講師 波戸岡景太	

授業科目の内容：

決して上品はないが、アメリカを理解するうえできわめて重要な文化、ヒップホップ・ミュージック。この授業では、彼(女)らの叩きつけるようなライムを「英語」の響きとして体感しつつ、関連する新聞記事やインタビューを読み込んでいくことで、基礎的かつ実践的な英語の読解力を養っていく。

テキスト：

毎回プリントを配ります。

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	木曜5限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
『ことばと文化』を英文で読む(精読による読解力の養成)	
講師 谷みゆき	

授業科目の内容：

この授業では、今までに習得した文法・語彙の知識を再確認しながら英文を正確に読むことができるようになることを目標とします。

また、1973年に出版されて以来、言語学の入門書として読まれている鈴木孝夫著『ことばと文化』の英文版をテキストに使用し、言語と文化の関係についても考えます。授業は主に精読をしてもらいながら進めますが、内容に関する自らの見解や、原文と英文との比較考察なども同時に発表してもらうことにより、単なる和訳作業ではない、内容をしっかり把握した上での読解力の養成を目指します。

テキスト：

鈴木孝夫著, Akira Miura 訳, *Words in Context: A Japanese Perspective in Language and Culture* (講談社)

参考書：

鈴木孝夫著『ことばと文化』(岩波新書)

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	金曜1限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
ペーパーバックを読もう	
講師 小路邦子	

授業科目の内容：

15世紀のフィレンツェ。ジュリアーノ・デ・メディチの暗殺が街を揺るがす。マドンナ・リサをも。10年語にジュリアーノの甥で同じ名の彼女の恋人が悲惨な死を遂げると、リサは不義の愛と裏切りと秘密の不吉な網を解きほぐすべく勇気を振り絞る。

事実とフィクションが多層をなしてひねりをきかせたモナ・リザの語る物語を通して、多読を試みたい。

テキスト：

*I, Mona Lisa*, Jeanne Kalogridis (New York : St. Marin's Griffin, 2006)

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	金曜2限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
英文エッセイで歴史に親しむ	
講師 小路邦子	

授業科目の内容：

歴史上の出来事をもしあれがこうだったら、と想像してみるの楽しいものだが、それを優れた歴史家が行なったエッセイ集が編まれている。25の「もし」、の中からいくつかを選んで読んでいくことにする。History=Storyであるということに目覚めると、歴史はにわかには面白くなる。

テキスト：

*MORE WHAT IF? Eminent Historians Imagine What Might Have Been*, ed. Robert Cowley (Pan Books, 2001)

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	金曜3限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
< 絵画の見方 > の講読	
准教授 足立健次	

授業科目の内容：

とかく美術作品は、それについての専門的な知識や深い素養がなければ鑑賞できないものと思われがちである。これとは反対の立場から、多くの実例を挙げて比較しながら、私たち門外漢を絵画の世界へと誘ってくれる文章を読みます。

テキスト：

Susan Woodford, *Looking at Pictures* (Cambridge University Press)

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	金曜4限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
リーディング	
講師 勝村仁子	

授業科目の内容：

通訳の訓練を取り入れたリーディングによって、総合的な読解力をつけることを目的とする。ただし、通訳養成を目的とした授業ではない。

テキスト：

科学、医療、歴史、音楽、美術、時事問題(政治/経済/法律)など幅広い内容のものを学術論文、LSAT(米国ロースクール適正試験)問題集、専門書、新聞・雑誌記事などから抜粋したプリント教材を用いる予定であるが、最終的なテキストの決定については、履修した学生の専攻等を考慮する。

【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(春学期)	土曜2限
【07】英語 (レベル2)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル2)(2)(通年)	
Hearnの作品を読む 英英辞典を使って	
講師 千代田 友久	

授業科目の内容:

この授業では、Lafcadio Hearnの作品を主に読みます。予習をしっかりした上で説明をよく聞き読解力を高めてほしいと思います。

また、授業中に英英辞典を用います。この授業では特に単語や熟語の意味を正確に把握し、こまかいニュアンス等に注意することで、読解能力を伸ばすことを心がけたいと思います。

テキスト:

プリントを配布します。

参考書:

OXFORD ADVANCED LEARNER'S DICTIONARY (第7版)  
略して OALD

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	月曜1限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
アメリカ環境文学の古典を読み、考える	
講師 黒崎 真由美	

授業科目の内容:

アメリカの生物遺伝学者 Rachel Carson (1907-64) の主著 *Silent Spring* (1962) を読みます。この作品は昨今頻りに議論されるようになった環境問題を最も早い時期に論じたものです。精読することによって英語読解力を養成することが第一の目的です。それと同時に、エコロジや地球環境保護の問題を考え、各自に英語でミニ・プレゼンテーションをしてみらうことで英語での発信能力養成を目指します。

テキスト:

Rachel Carson, *Silent Spring* Vol. (英宝社)

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	月曜5限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
イギリス小説講読	
講師 三馬 志伸	

授業科目の内容:

イギリスを代表する怪奇小説作家 Joseph Sheridan Le Fanu (1814-73) の短編を講読します。Dublin 生まれの Le Fanu は、「緑茶」「吸血鬼カーミラ」などの怪奇小説、あるいは『サイラス叔父』などのゴシック小説で日本でも広く親しまれています。この授業では、密室殺人を扱った 'The Murdered Cousin', および Charlotte Brontë の *Jane Eyre* に影響を与えたといわれている 'A Chapter in the History of a Tyrone Family' という二つの短編をじっくりと読み進めていきたいと考えています。

テキスト:

J. Sheridan Le Fanu, *Two Weird Mysteries* (Aegypan Press)

参考書:

その都度指示します。

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	火曜1限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
英米の短編小説を読む	
講師 井上 美雪	

授業科目の内容:

訳や文法の解説を丁寧に行います。文化的背景については教員が講義します。精読した上で、感想を発表したり、意見を交換する時間を持ちます。フィクションを楽しんで読めるように指導していきます。

テキスト:

適宜プリントで配布します。

参考書:

特になし

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	火曜2限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
'What did You Think about the Story?'	
講師 佐藤 理佳	

授業科目の内容:

The aim of this course is to give the student an opportunity to express his/her opinions and to listen to what fellow students have to say. We shall try to achieve this aim through group discussion using some short stories from the textbook. Most of the time, we will be talking about the chosen story in small groups, starting with asking each other, 'What did you think about the story?' This will thus necessitate careful preparation, read-

ing each story thoroughly and thinking about what to say in class, before each class.

From time to time, we will use handouts provided by the instructor. The materials include poems, word games and exercises to expand our vocabulary.

テキスト:

Clare West, ed., *From the Cradle to the Grave* (Oxford University Press, 1993)  
Additional materials will be provided by the instructor.

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	火曜2限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
Reading Skills Development	
講師 ラトリッジ, エラ	

授業科目の内容:

Through reading newspaper articles, essays, stories and poems, students will build their vocabulary and reading skills such as skimming, scanning, visualization, inference and prediction. About one-third of class-time will be spent on pleasure-reading to build fluency. There will also be group discussions of reading content.

テキスト:

hand-outs

参考書:

dictionaries you normally use

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	火曜3限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
INTERNATIONAL ENGLISH	
講師 ハスケル, デル R.	

授業科目の内容:

This course will focus on a variety of topics related to travel and culture in developed and developing countries. Students will improve their English communication skills through speaking, listening, reading and writing activities. This course will also enable students to develop audio-visual presentation skills, including internet research, data collection, note taking, worksheet preparation, speaking and listening skills.

テキスト:

All material used in the course will be provided by the course instructor.

Course material will include worksheets about travel and culture topics, questionnaires, video comprehension, reading comprehension, and discussion activities.

参考書:

Website references will include <[www.atlapedia.com](http://www.atlapedia.com)>, <[en.wikipedia.org](http://en.wikipedia.org)> and <[en.wikitravel.org](http://en.wikitravel.org)>

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	火曜3限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
Sharing Thoughts on Contemporary Topics	
講師 松原 美智子	

授業科目の内容:

This is a high-intermediate course with special emphasis on listening and speaking. Audio materials on contemporary topics such as sleeping disorders, animal intelligence and longevity will be used to develop critical thinking skills and language proficiency.

テキスト:

Tess Ferree and Kim Sanabria. *North Star: Listening and Speaking*. (Level 4). 3rd Edition. Longman.

参考書:

Students are advised to have an English-English dictionary, such as the Oxford Advanced Learner's Dictionary.

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	火曜4限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
Theme Music	
講師 ハスケル, デル R.	

授業科目の内容:

The focus of this course will be popular music from the 1960s to the 2000s, including rock, folk, pop, rap and reggae. We will be listening to the music of many composers, and studying social, political and cultural themes expressed in their songs. Class activities will include listening, video viewing, lyrics analysis, discussion, and presenting information and opinions in English. Homework assignments will include background reading about songs and musicians, internet research, and completion of worksheet tasks,

We will also be developing presentation skills, including data collection, note taking, worksheet design, and speaking using brief notes. Student presentations each semester will involve working with partners in song selection, data collection, worksheet preparation, presenting information and opinions in English, and responding to questions from other students.  
テキスト:

Herman Bartelen, *The Story of Popular Music*, Macmillan Language House, 2007.

Other course material will be provided by the course instructor, including song worksheets with reading comprehension, vocabulary explanation, lyrics analysis, and discussion activities.

参考書:  
Website references will include <www.allmusic.com> and <en.wikipedia.org>  
Other references will be advised during the course

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	火曜 4 限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
『フランケンシュタイン』を読む 講師 藤原 雅子	

授業科目の内容:

Mary Shelly のゴシック小説 *Frankenstein* を通読する。ストーリーを楽しむとともにアイデンティティ, 科学と生命倫理の問題, 仏革命の影響など, 作品がはらむ社会/歴史/倫理的意味についても考えたい。小説の語彙は質・量的に日常言語のものとはやや異なるが, 物語という文脈の中で言葉を覚えることは, 英語の使い手としての感覚を鋭いものにする。内容理解とともに, 語彙力強化のための訓練, 英語による内容要約を通して基礎的英語力の養成にも充分留意しながら読み進めていく。

テキスト:  
*Frankenstein* (Penguin classics)

参考書:  
廣野由美子『批評理論入門 フランケンシュタイン解剖講義』(中公新書)

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	火曜 5 限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
Reading Skills Development 講師 ラトリッジ, エラ	

授業科目の内容:

Through reading newspaper articles, essays, stories and poems, students will build their vocabulary and reading skills such as skimming, scanning, visualization, inference and prediction. About one-third of class-time will be spent on pleasure-reading to build fluency. There will also be group discussions of reading content.

テキスト:  
handouts

参考書:  
Dictionaries you normally use

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	水曜 2 限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
20世紀イギリスの名作を読む 講師 高津 昌宏	

授業科目の内容:

本年度は Ford Madox Ford の "The Fifth Queen" 三部作の第三巻 'The Fifth Queen Crowned' を読む。Modernism 文学の旗手 Ford Madox Ford も書き手としての出発点は伝統的な「物語」にあった。"The Brown Owl" や "The Queen Who Flew" などの fairy tale とともに手がけた Historical Romance "The Fifth Queen" 三部作は Henry 8 世の 5 番目の王妃となる Katharine Howard が宮廷との関わりをもつようになりきさつから若くして処刑されるまでを取り扱い, 壮麗な歴史絵巻を織り成している。Graham Greene はこの作品を "The Good Soldier", "Parade's End" とともに, 時の腐食作用に耐えうる傑作だと言って推奨している。Tudor 朝風の若干古風な英語で書かれているが, 物語自体は難解というわけではないので, 広く英国の歴史や文化に関心のある学生の受講を歓迎する。

テキスト:  
Ford Madox Ford, *The Fifth Queen* (Penguin Classics)

なお, 上記テキストが入手困難な場合には, 該当部分をプリントして配布するが, Full text of "The fifth queen crowned: a romance" が [www.archive.org/stream/fifthqueencrowne00fordrich/fifthqueencrowne00fordrich-djvu.txt](http://www.archive.org/stream/fifthqueencrowne00fordrich/fifthqueencrowne00fordrich-djvu.txt) からダウンロードできるので利用されたい。

参考書:  
・グレアム・グリーン全集 21『神・人・悪魔 八十のエッセイ』前川祐一訳(早川書房)  
・Ford Madox Ford, *England and the English* (Carcanet Press)

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	水曜 3 限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
逆説の人 G. K. Chesterton を読む 教授 宇沢 美子	

授業科目の内容:

「逆説の王子」の異名で知られた 20 世紀英国の文人 G. K. Chesterton の作品集を読みます。ひねりのきいたその文章と論理を味わいながら, この作家の議論と英語表現についての理解を深めていきます。

テキスト:  
Robert Knille ed., *A Chesterton Reader* (Regent College Publishing, 2006).

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	水曜 5 限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
英文読解 講師 佐藤 達郎	

授業科目の内容:

Bertrand Russell, *The Conquest of Happiness* を精読し, 英文読解力の向上を図るとともに, より高度な英語表現の修得をめざします。

このテキストは, 日常の題材をとりあげながら, 幸福の追求に関して考察する哲学的エッセイです。

テキスト:  
Bertrand Russell, *The Conquest of Happiness*

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	木曜 1 限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
英文読解力・表現力の向上を目指す 講師 有賀 明子	

授業科目の内容:

上級レベルのアカデミックな英文(エッセイ, 物語, 詩, 評論)を読み, 各種の問題を解きながら読むためのスキルと語彙を身につけ, 論理的思考を養うことで, さらに課外で英文多読を行うことによって, 語彙力と読解力の向上を目指すこと, また, テキストの "Writing" セクションを利用し, 各学期に一本ずつ英語エッセイを書いてもらうことで英語表現力を身につけることがこの授業の目標である。

毎授業時に前回の既習事項についての小テストを行った後, Quest 3 のテキストをおよそ 3 週間で 1 ユニット(2 章)の割合で進め, 読解ストラテジー(文脈に基づく意味の推測, 一般常識の活性化など), 批評読解を学ぶ。授業では設問の答え合わせと解説をするほか, 本文を正しく理解できているかを確認する。またテキスト以外にも, 季節の行事(ハロウィーン, クリスマスなど), あるいは注目に値する出来事(昨年度は「食品偽装問題」, 「オバマ氏大統領選出」など)に関する英文記事を授業の一部を利用して読むほか, 必要に応じて, 歌, ニュース, 映画などの音声・映像も教材として使用する。

Reading In 4 のテキストは自宅学習するものとし, 授業時には解説と解答を行う。付属 CD を聴くことが前提であり, 毎回の小テストの範囲となる。課外での多読は年間最低 5 冊を目標とし, 簡単なブックリポートを提出。

各自のペースで進めてもらうが, 授業中に詳しく指示する。

テキスト:

テキスト	Hartmann and Blass, <i>Quest 3 Reading and Writing</i> , second edition, McGraw-Hill
テキスト	Casey Malarcher, <i>Reading In 4</i> , Thomson Heinle

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	木曜 2 限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
英米の短編小説を読む 准教授 坂本 光	

授業科目の内容:

英語で書かれた文章にも色々あるが, 中でも日常使われる言葉を用い, 言葉のポテンシャルを最大限まで駆使してみせるのが小説だろう。この授業では短編小説を取り上げ, 思い切り時間を掛けて精読し, また別の機会にはスピードを上げて読み進める。文学の授業ではないので, 鑑賞のようなことは行わない。小説を読み慣れている人も, そうでない人も歓迎する。テキストに指定した短編集から, まず Frank O'Connor の "Guests of the Nation" を読む。それ以降については, 同テキストから履修者と相談の上で選んでゆく予定である。

テキスト:  
V. S. Pritchett, ed. *The Oxford Book of Short Stories* (Oxford: Oxford UP, 2001)

参考書:  
文法書, 辞典類などについて, 必要に応じて初回講義時に紹介する。必ずしも手持ちのものを買直す必要はない。

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	木曜3限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
英文読解力と発信能力の養成(言語学の文献の精読, 日本文化紹介)	
講師 有光奈美	

授業科目の内容:

講義の目的: 言語学の文献の精読と, 日本文化紹介に関する英語に取り組むことにより, 英文読解力を養成し, 英語による思考力と理解力の向上を図ります。

講義を通して, メタファーを中心とした言語学の基礎的知識の習得と, 英文読解ができるようにします。

新しいメタファー観を提唱した Lakoff and Johnson (1980) を1年かけて読み通します。

言語学の中でも, 日常言語と認知のメカニズムを中心に, 言語を通して, 人間の発話, 思考, 認知の問題を考察していきます。

メタファーを中心とした言語学の基礎的知識を身につけると共に, 日本文化紹介に関する英語に取り組み, 英文読解力と発信能力を身につけることが, 本講義の目標です。

テキスト:

Lakoff and Johnson, *Metaphors We Live By* (University of Chicago Press), 1980

江口裕之・Daniel Dumas (The Japan Times), 2001

参考書:

山梨正明「認知文法論」(ひつじ書房), 1995

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	木曜3限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
The World Today	
講師 鈴木理恵子	

授業科目の内容:

This course will focus on thinking about the world in which we live today. We will be reading articles from newspapers, magazines and books. Students will be expected to think about the issues raised by these articles and discuss them in class. We will be covering topics such as globalization, deforestation, food shortage, health care, etc.

The aim of this course is to expose the students to various kinds of writings, and to provide a platform where they can use their communicative skills to engage in discussion. It is also intended so that students will be given an opportunity to think critically about their environment.

テキスト:

Article excerpts will be provided during class.

参考書:

*Oxford English Dictionary*.

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	木曜4限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
言語について考える(読解力・プレゼンテーション能力養成)	
講師 谷みゆき	

授業科目の内容:

この授業では, 英語の文献を読み, その内容をクラス内で発表することによって, 正確な英文読解力と効果的なプレゼンテーション能力の両方を養成することを目的とします。

なお, プレゼンテーションの際には, 批判的な視点で文献を読んだ上で自らの見解を提示することが要求され, 単なる内容把握にとどまらない総合的な英語力を身につけるためのトレーニングを行ないます。

また, 言語について広く持たれている様々な考えを検証したテキストを使用し, 「言語に優劣はあるのか?」「本当に女性は男性よりもよくしゃべるのか?」など, 言語を取り巻く諸問題について考えます。

テキスト:

Laurie Bauer & Peter Trudgill eds., *Language Myths* (Penguin Books)

参考書:

授業中に適宜紹介します。

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	木曜5限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
Literary Analysis	
講師 ルイス, エイミー R.	

授業科目の内容:

This primary purpose of this course is to provide the student with the opportunity to study the basic elements of fiction through intensive reading. The selection of international authors and works will provide ample opportunity for discussion and exploration of literary themes, characteri-

zation, values, human situations, and moral dilemmas. Emphasis will be placed on literary analysis and writing effectively about literature.

テキスト:

*Sudden Fiction*: International Edition. Edited by R. Shapiro and J. Thomas.

W. W. Norton & Co.

参考書:

SUGGESTED: THESAURUS. PENGUIN PUBLICATION

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	金曜2限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
<人間を考える>の講読	
准教授 足立健次	

授業科目の内容:

著者はアメリカの高名な文化人類学者ですが, ここに取り上げたテキストは専門的な内容のものではなく, 一般向けに書かれた啓蒙書です。決して易しい英文とはいえませんが, これを丹念に読むことで, 動物界ばかりでなく人間社会にも働いている競争の原理と協調の原理について考える契機になればと思います。

テキスト:

Ashley Montagu, *On Being Human* (成美堂)

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	金曜2限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
R&D (Read and Discuss)	
講師 ベデロ, サイモン	

授業科目の内容:

This R&D course is designed to help students cultivate a more advanced ability of reading comprehension. The main focus is, thus, on reading-related skills. The course also involves discussions in small group and short individual presentations.

テキスト:

The course has one textbook titled *READY TO START-3* by Tetsuhito Shizuka and Rebecca Calman (2004: SHOHAKUSHA). Additional reading materials are also provided in order to generate a much greater deal of interaction and interest amongst students.

参考書:

Reference 1: Longman's English-English Dictionary

Reference 2: *READY TO READ MORE* by Karen Blanchard and Christine Root (2004: LONGMAN)

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	金曜5限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
『忠臣蔵』イメージーションをめぐる	
講師 勝村仁子	

授業科目の内容:

・海外の日本研究者によって書かれた論文の購読。  
・日本の江戸期を再認識し, また, 英語で日本を語るることについての認識を深める機会を提供することを目的とする。

テキスト:

論文のコピーを配布する。(Henry D. Smith, "The trouble with Terasaka: the forty-seventh rōnin and the chūshingura Imagination." *Japan Review*, no. 16, 2004: 3-65.)

参考書:

『忠臣蔵のことが面白いほどわかる本』山本博文著, 2003年, 中経出版 ¥1,470

【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(春学期)	土曜3限
【07】英語 (レベル3)(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 A(レベル3)(2)(通年)	
Maugham の作品を読む 英英辞典を使って	
講師 千代田友久	

授業科目の内容:

この授業では, W. S. Maugham の作品を主に読みます。少し難しいかもしれませんが, 予習をしっかりと上で説明をよく聴き高度な読解力を身につけてほしいと思います。

また, 作品の中から発信能力を養う上で役立つような英文を選びできるだけたくさん暗記してもらつつもりです。

なお, 授業中に英英辞典を用います。この授業では特に単語や熟語の使い方に注意し, 類語の比較等を行うことで発信能力の向上に努めたいと思います。

テキスト:

プリントを配布します。

参考書：  
 OXFORD ADVANCED LEARNER'S DICTIONARY (第7版)  
 略して OALD

【07】英語 上級(セ)(1)(春学期)	月曜2限
【07】英語 上級(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 上級A(2)(通年)	
Advanced Discussion on American Multiculturalism	
講師 ゴーリンジャー, アダム	

授業科目の内容：

The aim of this course is to develop students' awareness for cross-cultural understanding through an examination of diversity and multiculturalism in the United States. Based on a selection of readings, documentaries, and American television programs, we will analyze and discuss issues relating to race, religion, gender, region and class in the United States. Extensive homework preparation will be required as students will be called upon weekly to answer prepared questions and to present their individual interpretations in class. This course is designed for students with advanced speaking and comprehension abilities in English.

テキスト：

All materials will be provided by the instructor.

【07】英語 上級(セ)(1)(春学期)	月曜3限
【07】英語 上級(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 上級A(2)(通年)	
Reading Film	
教授 アーマー, アンドルー J.	

授業科目の内容：

This course focuses on film. Students will explore several aspects of the topic—ranging from history, technology and techniques, to editing, syntax and narrative theory—while developing film critiques for presentation in class.

テキスト：

*How to Read a Film* by James Monaco (4th edition, as soon as available)

参考書：

Other materials will be made available either in class or via a dedicated website ([www.armor.cc/film.htm](http://www.armor.cc/film.htm)).

【07】英語 上級(セ)(1)(春学期)	月曜4限
【07】英語 上級(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 上級A(2)(通年)	
Slavery in the United States	
講師 ロンベール, ラファエル	

授業科目の内容：

This course will explore the social, cultural, and economic structure of slavery through two major texts. First, *The Narrative of the Life of Frederick Douglass, an American Slave*, Written by Himself (1845) will confront students with the terrors and brutalities of bondage while also discussing the issues of authorship, readership, and censorship typifying slave narratives. Second, novelist Octavia Butler's bestseller *Kindred* (1979), which uses the science fiction technique of time travel, will take the students back to the same dreadful past while also expanding the topic toward issues of American ancestry and racial identity.

テキスト：

- Frederick Douglass: <http://sunsite.berkeley.edu/Literature/Douglass/Autobiography/Al.html>
- Butler, Octavia. *Kindred* (1979). Boston: Beacon Press, 2004

【07】英語 上級(セ)(1)(春学期)	火曜3限
【07】英語 上級(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 上級A(2)(通年)	
Thinking and Writing: Academic and Creative	
講師 ラトリッジ, エラ	

授業科目の内容：

The format of this class is group work and each student is expected to participate fully and responsibly both in class and outside by completing required assignments. Students will hone academic skills such as clear writing, observation, memory-training, debate and discussion. In addition, they will also develop creative thinking skills and have opportunities to write creative non-fiction, memoir, and stories.

テキスト：

There is no assigned textbook. "Texts" in a variety of media (newspaper articles, artwork, photographs, film) will be provided by the instructor. Students will occasionally be required to bring in similar material to use in class.

【07】英語 上級(セ)(1)(春学期)	水曜3限
【07】英語 上級(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 上級(2)(通年)	
Advanced Communication Skills	
講師 ルイス, エイミー R.	

授業科目の内容：

This course will provide the more advanced student with the opportunity to continue to reinforce good speech habits, to expand his/her active vocabulary, and to improve his/her ability to express himself/herself clearly and concisely. The course aims to improve the student's overall competence in communicative English. Class discussion will center around a variety of timely international, social, political, as well as cultural issues through the use of several mediums: printed as well as audio visual. Assignments will include independent as well as small group research projects and presentation.

テキスト：

Suggested: *A Thesaurus* (Penguin Publication).

【07】英語 上級(セ)(1)(春学期)	木曜4限
【07】英語 上級(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 上級A(2)(通年)	
Current Issues	
講師 鈴木 理恵子	

授業科目の内容：

This course will look at current issues that appear in British and American media. Students will be expected to read articles from British and American newspapers—*The Guardian*, *The Independent*, *The Times*, *The New York Times*, *Newsweek*—and the BBC and American news websites. In class, we will have a discussion on the chosen topics on which students will be asked to research beforehand.

The main aim of this course is to develop the students' communicative skills as well as to familiarize them with British and European culture and politics.

テキスト：

The articles will be chosen by both the instructor and the students.

参考書：

*Oxford English Dictionary*.

【07】英語 上級(セ)(1)(春学期)	金曜1限
【07】英語 上級(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 上級A(2)(通年)	
THE AFRICAN PERSPECTIVE	
講師 ベデロ, サイモン	

授業科目の内容：

The aim of this advanced elective course is to discuss issues of global interest as seen from Africa eyes. The course is designed to help students develop a variety of advanced communication skills. Include of listening, reading, discussion, paragraph writing and short individual presentations.

テキスト：

The course uses a textbook as basis of class activities. The book is by Clara Birnbaum and titled 'Getting Personal Using Videoclips', (2008: SHOHAKUSYA). While following the book, corresponding topics that relate to the cultures and socio-economic reality of Africa will be introduced.

参考書：

- Reference 1: *Africa* by Martin M. Phyllis and P. O' Meara in 1986  
 Reference 2: *The State of Africa* by Martin Meredith. Published by The Free Press (2005)

【07】英語 上級(セ)(1)(春学期)	金曜3限
【07】英語 上級(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 上級A(2)(通年)	
EXPRESSING ONESELF	
講師 ベデロ, サイモン	

授業科目の内容：

Expressing Oneself is an elective course designed to help students develop a variety of advanced communication skills. The language components of the course are speaking, paragraph writing and debate. Students improve on these skills through weekly projects and other interactive activities. Topics for class activities are carefully selected to generate a great deal of interaction and interest amongst students.

テキスト：

The course has no textbook. Class materials are provided for by the instructor. Students are also encouraged to visit online news sites (given below) to keep up with ongoing world affairs.

参考書：

*Longman's English-English Dictionary*



---

【07】英語 上級(セ)(1)(春学期)	水曜4限
【07】英語 上級(セ)(1)(秋学期)	
【04】英語 上級A(2)(通年)	

---

When Cultures Meet : Culture, Adaptation, and Identity Formation  
講師 横川 真理子

---

授業科目の内容:

What is culture and how is it acquired? How does it affect the way we act, think, and feel? How does switching cultures affect identity formation? By focusing on children reared and educated outside the culture of their parents (Third Culture Kids/Returnees), we will see how entering or re-adjusting to a culture affects us, especially in forming identity.

Students will be expected to participate actively through giving presentations and joining in discussions. In addition, they will be asked to write papers on topics related to culture and identity.

テキスト:

- 1) David C. Pollock and Ruth E. Van Reken. *Third Culture Kids : The Experience of Growing Up Among Worlds*
- 2) Faith Eidse and Nina Sichel. (eds.) *Unrooted Childhoods : Memoirs of Growing Up Global*

参考書:

Strunk and White, *The Elements of Style*

## ドイツ語

---

【07】ドイツ語 (D)(セ)(1)(春学期)	
【07】ドイツ語 (D)(セ)(1)(秋学期)	
【07】ドイツ語初級 (セ)(1)(春学期)	
【07】ドイツ語初級 (セ)(1)(秋学期)	
【04】ドイツ語 D(2)(通年)	
【04】ドイツ語初級(2)(通年)	

---

基礎ドイツ語会話と初級ドイツ語文法 講師 山田 史子

---

授業科目の内容:

ドイツ語初学者を対象にした授業です。この授業の第一の目標は、初級文法を習得し、それを応用して簡単な表現で自分の述べたいことを表現できるようにすることです。毎回、少しずつ新しい文法事項を学び、練習問題(特に作文)と小テスト(各課終了後)を通して理解を固めていきます。しかし、読解と作文の練習だけでは自然に話されたテンポの速いドイツ語にはなかなかついていけません。そこで、この授業では教科書の各課に2~3ある短い会話シーンを繰り返し聞くこと(発音練習を含む)と聞き取り問題を行うことによってリスニング力(および会話力)をつけることを第二の目標とします。

テキスト:

Richter / 識名 / 山田 著 *Deutschlernen durch Konversation* ,同学社, 2007年(再版), 2500円

---

【07】ドイツ語 (A)(セ)(1)(春学期)	
【07】ドイツ語 (A)(セ)(1)(秋学期)	
【04】ドイツ語 A(2)(通年)	

---

ドイツ語で言ってみよう! 講師 三ツ石 祐子

---

授業科目の内容:

授業言語は主にドイツ語です。この授業の目標は、これまで習った事を活かしてドイツ語で実際に表現してみることです。込み入ったことは無理かもしれませんが、簡単な内容であればドイツ語で表現できるようにすることに重点を置いて、練習します。口語表現の練習が中心となりますが、読解・音読・聴き取り・作文の練習も行い、その際、基礎的なところも折に触れて復習するつもりです。また、ドイツ語圏の国や文化の知識を互いに深め、かつ新たな視点を得るために、ドイツ語圏に関する何らかのテーマについて、一人15分程度、日本語でレポートしてもらいます。

テキスト:

プリントを配布します。

参考書:

必要に応じて、授業中に指示します。

---

【07】ドイツ語 (B)(セ)(1)(春学期)	
【07】ドイツ語 (B)(セ)(1)(秋学期)	
【04】ドイツ語 B(2)(通年)	

---

中級ドイツ語(読解) 講師 安川 晴基

---

授業科目の内容:

初級文法を終えた学生を対象にした授業です。

文学的な散文小品や批評、新聞の論説や学問的著作からの抜粋、書簡など、さまざまなジャンルのさまざまな文体に触れることで、ドイツ語の読解力を養います。

文法の知識を深めるために、適宜、文法事項の復習、発展練習を行います。また、テキストの音読によって、発音の確認もします。

テキスト:

岩崎英二郎編『中級ドイツ語文法読本』郁文堂、1979年

参考書:

必要に応じて紹介します。

---

【07】ドイツ語 (C)(セ)(1)(春学期)	
【07】ドイツ語 (C)(セ)(1)(秋学期)	
【04】ドイツ語 C(2)(通年)	

---

中級ドイツ語(講読中心) 講師 山口 祐子

---

授業科目の内容:

主に20世紀前半にドイツ語で書かれた文学作品を用いて、基本的な読解技術を習得することが本講座の目的です。また受講者の習熟度に応じて、初級文法後半の復習を行います(プリント使用予定)。

授業中行うのはテキストの精読です。受講者全員に毎回1ページ半から2ページ分の予習範囲を指定します。訳読の分担は原則行いません。朗読CDの入手可能な作品を読む場合は、毎回講読部分の朗読を聴きます。映画化された作品がある場合には視聴も検討します。文法事項の復習で用いるプリントは、全て予め宿題として配布します。秋学期については全て「春学期と同じ」です。発表等はありません。小テストの実施については受講者の習熟度に応じて開講後に判断します。

テキスト:

初回ガイダンス時に受講者に対して読んでみたい作品についてアンケートを実施した後、講読作品を決めます。あわせて文法事項に関してのレベル・チェックを行う予定ですので、受講予定者は必ず初回の授業に出席してください。

---

【07】ドイツ語 (D)(セ)(1)(春学期)	
【07】ドイツ語 (D)(セ)(1)(秋学期)	
【04】ドイツ語 D(2)(通年)	

---

戦争について考える 講師 渡邊 徳明

---

授業科目の内容:

アルベルト・アインシュタインとジークムント・フロイトが交わした書簡を読みます。授業では一行一行精読してゆくことになりま。したがって、事前の予習は欠かせません。こつこつと訳してください。

ゆっくりと文法事項を確認しながら読んでゆきます。ほとんど文法解説の授業のようになってゆくかもしれませんが、毎回、テキスト中の単語の小テストを行います。さほど負担はかけませんが、毎週すこずつでも語彙を増やすことを目指します。前期と後期の期末テストでは、独文和訳の問題を出す予定です。持ち込み不可ですから、単語をきちんと覚えてきてください。使用するテキストは初級者にとって必ずしも易しいものではないのですが、ゆっくりと正確に納得しながら読み進めてゆきますから心配は要りません。書画カメラでテキストを画面に写しながら、複雑な構文を解説してゆきます。

テキスト:

Albert Einstein / Sigmund Freud *Warum Krieg?* (Diogenes Verlag)

参考書:

ドイツ文法総まとめ(平尾・中島・朝倉著、白水社)

---

【07】ドイツ語 (E)(セ)(1)(春学期)	
【07】ドイツ語 (E)(セ)(1)(秋学期)	
【04】ドイツ語 E(2)(通年)	

---

講師 シュミット, ウーテ

---

授業科目の内容:

基礎文法を復習できるテキストを用い、コミュニケーション能力と読解力を養成します。日常生活のさまざまな場面を想定し、必要な分野の語彙を習得、実践的にパートナー練習を通じて、コミュニケーション能力をアップすることをめざしています。口語表現力を重視しますので、授業ではドイツ語をコミュニケーションのためのツールとして日常生活を描写したり、考えや感情を表現したりする練習を重ねます。DVD、ビデオ、CD、インターネットなどを用いて、ドイツの文化に触れる機会も設けるようにしたいと思います。

テキスト:

未定

【07】ドイツ語 (F)(セ)(1)(春学期)

【07】ドイツ語 (F)(セ)(1)(秋学期)

【04】ドイツ語 F(2)(通年)

Konversation auf Deutsch

講師 ループレヒター、ヴァルター

授業科目の内容:

ドイツ事情に関する素材(テキスト、写真、ビデオ、オーディオなど)を活用して、ドイツ語表現能力、聞き取り能力、そして文法力のための練習を行ないます。授業の重点は、1)ドイツ語圏の文化を知ること(芸術、音楽、文学、モード、デザイン)、および、2)ドイツ語圏の文化的実践(飲食、住居、買い物、旅行など)を知ること、ならびに、3)日独の文化的関係(日本におけるアインシュタイン、ウィーンにおける小澤征爾など)を知ることになります。

テキスト:

テキストはコピーで配布します。

【07】ドイツ語 (G)(セ)(1)(春学期)

【07】ドイツ語 (G)(セ)(1)(秋学期)

【04】ドイツ語 G(2)(通年)

ドイツ語コミュニケーション(口語ドイツ語)

講師 クリーク、ブリギッテ

授業科目の内容:

viel Deutsch sprechen, horen und schreiben!

様々なテーマについての話し合い、パートナー練習、CD、ビデオ等を利用しての聞き取り練習などにより、ドイツ語でのスピーキング・リスニング能力を身につけることを目標とします。

テキスト:

プリント

【07】ドイツ語 (H)(セ)(1)(春学期)

【07】ドイツ語 (H)(セ)(1)(秋学期)

【04】ドイツ語 H(2)(通年)

ドイツのニュースを読む

講師 川島 建太郎

授業科目の内容:

初級ドイツ語を履修しおえた学生のための授業です。教科書は、2008年のドイツの新聞・雑誌記事を選んで中級者向けに書き直した読本を使用します。初級文法の定着、ドイツ語文章の読解力養成、現代ドイツ文化の理解を授業の目的とします。

基本文法の復習・確認を行いながら、着実な無理のないテンポで進みますが、ドイツ語の訳読が授業の中心となりますので、かならず予習をしたうえで授業にのぞんでください。音読の練習、ネイティブ・スピーカーの吹き込んだCDによる聞き取りの練習も行います。

テキスト:

Andrea Raab・石井寿子『時事ドイツ語 08年トピックス』(朝日出版社)

参考書:

中島悠爾・平尾浩三『必携ドイツ文法総まとめ』(白水社)

三島憲一『現代ドイツ 統一後の知的軌跡』(岩波新書)

【07】ドイツ語 (I)(セ)(1)(春学期)

【07】ドイツ語 (I)(セ)(1)(秋学期)

【04】ドイツ語 I(2)(通年)

講師 會田 素子

授業科目の内容:

初級文法を学び終えた学生を対象とした、ドイツ語の読解能力を高めることを主な目的とする授業です。また、テキストの読解を通じて学んだ構文や、日常会話で用いられる重要表現を利用した作文練習もおこないます。

利用テキストとしては、グリム童話のような短編の文学的な作品や、現在日常で読まれている新聞や雑誌などに掲載されているドイツ国内の政治・社会問題に関する記事を予定しています。ここでは雑誌のシュペーゲルや各新聞もウェブ上で閲覧できるため、履修者の専攻や興味を勘案しつつ、最新の記事も教材として使用します。

テキスト:

プリントを配布します。

参考書:

適宜指示します。

【07】ドイツ語 (J)(セ)(1)(春学期)

【07】ドイツ語 (J)(セ)(1)(秋学期)

【04】ドイツ語 J(2)(通年)

読解技術の養成と日独文化比較

教授 和泉 雅人

講師 寺田 雄介

授業科目の内容:

この授業では、一通り初級文法を学んだ学生を対象とし、ドイツ語を正確に読むトレーニングをします。指定の教科書には、ドイツの地理、歴史、政治、経済、文化、衣食住などのテーマが、章ごとに平易なドイツ語でまとめられています。我々がドイツに対して抱いているイメージは果たして正しいものなのかどうか、読み進めながら一つ一つ確認していきます。必要に応じて映像資料なども用いるつもりです。また、各々のテーマについて日独を比較した発表を一回ずつしてもらいます。参加者全員で日独の類似点と相違点をあぶり出していきましょう。

しかし、授業の重点はあくまで読解技術の養成です。これまでは各々の文法事項を縦割りですんできたと思いますが、今度はそれらの知識を複層的に組みあわせることにより、ドイツ語で書かれている情報を正確に捉える術を身につけましょう。授業は基本的にテキストの音読 内容理解(和訳)の順序で進めます。初級文法の復習や語彙力増強のための小テストも適宜行う予定です。

テキスト:

Kennen Sie Deutschland? 朝日出版社

参考書:

授業の中で紹介します。

【07】ドイツ語 (K)(セ)(1)(春学期)

【07】ドイツ語 (K)(セ)(1)(秋学期)

【04】ドイツ語 K(2)(通年)

Slow German

講師 高橋 優

授業科目の内容:

ドイツ語初級文法を学んだ学生を対象とした授業です。インターネットのドイツ語学習サイト“Slow German”(http://www.slowgerman.com)を教材として使用します。ドイツに関するさまざまなコラムが平易なドイツ語で書かれています。ゆっくりと読んでくれる音声ファイルもついています。扱うコラムはその都度学生の興味に合わせて選びます。学生には、自宅、あるいは大学からインターネットにアクセスし、音声ファイルを聞き、コラムを読んで来て頂きます。自宅にネット環境の無い方には大学のアカウントを取得して頂きます。必要であればコラムは事前にコピーを配布します。授業ではプロジェクターとAV機器を用いるのでノートパソコンを用意する必要はありません。こちらで用意したパソコンでネットにアクセスし、スクリーンに表示します。インターネットを有効活用したドイツ語学習を目指します。

テキスト:

http://www.slowgerman.com

その他、必要に応じてプリントを配布します。

参考書については、授業中に指示します。

【07】ドイツ語 (L)(セ)(1)(春学期)

【07】ドイツ語 (L)(セ)(1)(秋学期)

【04】ドイツ語 L(2)(通年)

Luise Rinserの短編を読む

教授 和泉 雅人

講師 江面 快晴

授業科目の内容:

Luise Rinser(1911-2002)の短編を読む。彼女の短編には暗喩や思想的な部分がそれほど多くないため、内容的には平易ではあるが一文が長い箇所もある。そのため登場人物の行動や心情を正しく理解するには一文一文の構造を意識して精読していく必要がある。授業では初級文法項目を復習しながら、特に登場人物の気持ちを表す心態詞に着目して訳読していく。また、音読を通じて発音も随時確認する。初回のテキストはDie rote Katzeを予定している。

テキスト:

Rinser, Luise, Die rote Katze, Frankfurt, Fischer, 1981

参考書:

授業の中で紹介する。

【07】ドイツ語 (M)(セ)(1)(春学期)

【07】ドイツ語 (M)(セ)(1)(秋学期)

【04】ドイツ語 M(2)(通年)

講師 津崎 正行

授業科目の内容:

この授業では、初級文法をひととおり学び終えた学生を対象として、現在のドイツや日本に関する時事的なテキストを読みます。一年後には、辞書があればどのようなテキストでも読めるようになることを目指します。

基本的には読むことに重点を置いた授業ですが、必要に応じて発音やリスニングの練習、文法や語彙の確認も行います。また、テキストのテ

ーマと関連する映画、アニメーション、ニュース、ポッドキャストなども適宜紹介します。

授業で扱うテキストは、履修者の興味や関心も考慮して決めます。(希望や提案があれば歓迎します。)詳細については初回の授業で説明しますので、履修者はかならず出席してください。

テキスト:

プリントを配布します。最初は、ドイツの映画に関するテキストを読む予定です。

【07】ドイツ語 (N)(セ)(1)(春学期)

【07】ドイツ語 (N)(セ)(1)(秋学期)

中級ドイツ語(読解) 講師 安川 晴 基

授業科目の内容:

初級ドイツ語をすでに終えた学生を対象とした授業です。

今年度は、ドイツ生まれの気鋭の文化史家ヴォルフガング・シヴェルブシュによる『Der Kaffee und die protestantische Ethik』(『ヨーロッパ珈琲物語』)を読みます。まとまった分量のテキストを読みドイツ語の読解力を身につけることがねらいです。

初級文法の知識を定着させるために、文法事項の復習をします。またテキストを音読することで発音の確認もします。

テキスト:

赤沢元務編『ヨーロッパ珈琲物語』同友社、1989年

参考書:

適宜紹介します。

(履修上の注意点)

本授業は07学則のみの設置のため、4年生が総合教育科目として履修することはできません。

## フランス語

【07】フランス語 (D)(セ)(1)(春学期)

【07】フランス語 (D)(セ)(1)(秋学期)

【04】フランス語 D(2)(通年) 助教 築山 和也

授業科目の内容:

フランス語をゼロから学んでいきます。初級文法をひと通り学習することが第一の目標ですが、できるだけ発話や聞き取りの機会をつくってフランス語の発音やリズムも体得できるように進めていきます。

テキスト:

「新・東京 パリ、初飛行(CD付新装版)」, 藤田裕二・藤田知子・Sylvie GILLET 著, 駿河台出版社

【07】フランス語 A(セ)(1)(春学期)

【07】フランス語 A(セ)(1)(秋学期)

【04】フランス語 A(2)(通年) 准教授 岑 村 傑

助 教 井 上 櫻 子

助 教 築 山 和 也

講 師 稲 垣 正 久

講 師 岩 崎 洋 介

講 師 小 川 直 之

講 師 篠 原 洋 治

講 師 高 橋 俊 幸

講 師 鳥 居 珠 江

講 師 真 屋 和 子

授業科目の内容:

クラス指定の「フランス語 A・A」(旧学則「フランス語 A」)では、全クラス共通教材を用います。一年次に学習した文法項目を復習しながら、総合的に「聞く」「話す」「読む」「書く」力を養っていきます。教科書の各課には文法問題のほかに「聞き取り」問題や仏作文、会話練習などが含まれていますから、積極的に取り組んで文法知識の定着だけでなく実践的なフランス語能力の向上を目指しましょう。教科書付属のCDも大いに活用してください。

テキスト:

「クリック! クリケ! 2年目のフランス語」中村敦子・加藤行男著, 第三書房(各自生協で購入し, 初回授業に必ず持参すること)

【07】フランス語 B(セ)(1)(春学期) 水曜4限

【07】フランス語 B(セ)(1)(秋学期)

【04】フランス語 B(2)(通年)

ニュースを読もう 講師 篠原 洋治

授業科目の内容:

フランスのラジオ情報番組, France info の興味深いトピックをまとめた教科書を用い, フランスのアクチャリティを広く知ると同時に, 基本的な文法事項を復習することを目的とします。

最終的にはネット上の France info をリアルタイムで聞くことができるようになることを目指します。

テキスト:

アンフォ vol.1 フランス語でニュースを読む(駿河台出版社)

【07】フランス語 B(セ)(1)(春学期) 土曜2限

【07】フランス語 B(セ)(1)(秋学期)

【04】フランス語 B(2)(通年) 講師 鳥居 珠江

授業科目の内容:

フランス語テキストの読解力を身につけ, 初級文法の再確認をします。

今年度は V. Hugo の小説をやさしく書き下ろしたテキストを読みます。文法・発音を強化するための教材も使用する予定です。

テキスト:

ノートル=ダム・ド・パリ(Notre Dame de Paris)朝日出版社

【07】フランス語 B(セ)(1)(春学期) 水曜2限

【07】フランス語 B(セ)(1)(秋学期)

【04】フランス語 B(2)(通年)

或る青春の軌跡 講師 宮崎 康子

授業科目の内容:

17才で独自の詩法を編み出し, その理想を追って詩作に励んだ後, 数年後には詩を捨ててアフリカに渡り武器の商人となった天才詩人, ジャン・アルチュール・ランボーの生涯と作品について, 易しいフランス語で書かれた説明文を交えたテキストを使って読むと同時に, プリント教材を用いて, 彼の抱いた現実には達成不可能な理想と挫折, そして, その挫折の克服について考えます。

テキスト:

ランボーによるエチュード 篠澤秀夫他著 朝日出版社

参考書:

初回授業時に指示します。

【07】フランス語 B(セ)(1)(春学期) 金曜4限

【07】フランス語 B(セ)(1)(秋学期)

【04】フランス語 B(2)(通年) 講師 真屋 和子

授業科目の内容:

- ・フランス語の文章を, しっかり意味がとれるように読む練習をします。
- ・演習形式で授業をすすめます。正しく発音できるようになること, 文法を理解したうえで内容が把握できるようになることが重要です。
- ・テキストを通して基本文法の運用に習熟するとともに, 初級文法では扱われなかった学習内容を補完し, さまざまな状況で応用できるようになることを目標とします。

テキスト:

Six Contes de Maupassant 「モーパッサン小品集」前田英樹編注(三修社, 1988年, 900円)

【07】フランス語 B(セ)(1)(春学期) 木曜5限

【07】フランス語 B(セ)(1)(秋学期)

【04】フランス語 B(2)(通年)

講師 ボダン, エマニュエル

授業科目の内容:

Dans ce cours d'expression orale, nous aborderons divers aspects de la culture française à partir de documents authentiques variés (chansons, BD, videos...)

L'assiduité aux cours est requise.

L'évaluation reposera sur des tests semestriels et sur un contrôle continu.

【07】フランス語 B(セ)(1)(春学期) 月曜2限・月曜4限

【07】フランス語 B(セ)(1)(秋学期)

【04】フランス語 B(2)(通年)

講師 ベリセロ, クリスティアン・アンドレ

授業科目の内容:

Ce cours est destiné aux élèves qui ont suivi à Hiyoshi un cours de français en première année avec un manuel de niveau 1. Cette année, nous n'u-

utiliserons pas de livre mais je donnerai, le premier cours, un ensemble de photocopies que nous travaillerons pendant l'année. Avec ces photocopies, vous réviserez ce que vous avez appris en première année mais vous progresserez aussi. Dans la classe, et grâce à ces photocopies, nous travaillerons : la conversation, l'écrit, la lecture et la compréhension orale. Ce cours sera aussi une bonne pratique pour celles et ceux qui voudraient passer les examens A1 ou A2 du DELF.

テキスト :

Pas de texte à acheter.

【07】フランス語 B(セ)(1)(春学期)	水曜 4 限
【07】フランス語 B(セ)(1)(秋学期)	
【04】フランス語 B(2)(通年)	
講師 シャルコフ, スヴェトラナ	

授業科目の内容 :

フランス語の会話と発音

テキスト :

フランス人と友だちになるやさしいフランス語会話 / 三修社 / ジャンピエール・アブリアル著

成績評価方法 :

平常点 : 出席状況および授業態度による評価 (授業内試験含む)

【07】フランス語 B(セ)(1)(春学期)	月曜 1 限
【07】フランス語 B(セ)(1)(秋学期)	
【04】フランス語 B(2)(通年)	
フランス語の基本の定着とさらなる発展 講師 小川直之	

授業科目の内容 :

会話主体のフランス語の作文を出発点とすることにより, 自分で考え, 自分で気づき, 自分で納得したフランス語を身につけて下さい。文法のおさらいを授業でした後, 予習復習として聞き取りを兼ねた仏作文, 授業でそれをチェックし, 模範解答を語読していただきます。

テキスト :

松村剛『はじめての仏作文』朝日出版社 (そのほかにプリント配布します。)

参考書 :

授業時に随時紹介しますが, 購入を求めるものはありません。

【07】フランス語 B(セ)(1)(春学期)	金曜 4 限
【07】フランス語 B(セ)(1)(秋学期)	
【04】フランス語 B(2)(通年)	
講師 岩崎洋介	

授業科目の内容 :

下記の教科書を読んでゆきます。

現代フランスの様々なトピックを平易な仏語で紹介したものです。フランスの現状を知る一助となりましょう。

時間が余るようであれば適当な新聞記事を読みます。

テキスト :

ヴァリエテ・フランセーズ 2009 (朝日出版社)

【07】フランス語 B(セ)(1)(春学期)	火曜 3 限
【07】フランス語 B(セ)(1)(秋学期)	
【04】フランス語 B(2)(通年)	
講師 藤村均	

授業科目の内容 :

主要な文法事項の習得と読解力の養成を目指します。専門課程, 大学院で原書講読の予定がある者には, 特に有益だと思います。

テキスト :

Pronades En France et ailleurs 東京大学出版会

【07】フランス語 B(セ)(1)(春学期)	月曜 5 限
【07】フランス語 B(セ)(1)(秋学期)	
【04】フランス語 B(2)(通年)	
フランス語リスニング入門 講師 高橋俊幸	

授業科目の内容 :

フランス語学習者にとって常に高い壁であるフランス語の聴取力のレベルアップを目指します。外国語は聴き取りができなければ, 決して喋れるようにはなりません。毎回フランス語の文章を聴いて, それに関する設問に答えたり, 書き取りなどをしてもらいます。

テキスト :

コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門 (白水社)

## 中国語

【07】中国語 (D)(セ)(1)(春学期)	
【07】中国語 (D)(セ)(1)(秋学期)	
【07】中国語初級 (セ)(1)(春学期)	
【07】中国語初級 (セ)(1)(秋学期)	
【04】中国語 D(2)(通年)	
【04】中国語初級(2)(通年)	講師 表野和江

授業科目の内容 :

初級文法を学習します。ナチュラルスピードの中国語を大量に聞き, 発音することで, 中国語の文型や語順を覚えることに重点を置きます。

テキスト :

『新・聞こえる中国語』(楊達ほか, 南雲堂)

【07】中国語 A(セ)(1)(春学期)	金曜 3 限・金曜 4 限
【07】中国語 A(セ)(1)(秋学期)	
【04】中国語 A(2)(通年)	講師 山下一夫

授業科目の内容 :

中級リーダーテキストを用い, ディクテーションや暗唱なども行いながら, 中国語の読解能力を養ってゆきます。

テキスト :

名和又介『中国語中級テキスト ビデオで学ぶ中国文化』金星堂

参考書 :

山下輝彦『中国語の入門』白水社

【07】中国語 A(セ)(1)(春学期)	火曜 3 限・火曜 4 限
【07】中国語 A(セ)(1)(秋学期)	
【04】中国語 A(2)(通年)	講師 藤井敦子

授業科目の内容 :

初級で学習した文法事項を復習しながら, やや長い文章の読解を通じ, 更なる中国語力の向上を目指します。

また, テキストのテーマに関連したプリントを適宜配布し, 中国に対する理解をより深めてもらいたいと思います。

テキスト :

『中国ってこんな国! 素顔の“漢流”生活』(池上貞子・張国璿著, 朝日出版社)

参考書 :

授業時に適宜紹介します。

【07】中国語 A(セ)(1)(春学期)	火曜 2 限・火曜 4 限
【07】中国語 A(セ)(1)(秋学期)	
【04】中国語 A(2)(通年)	
中国語を学ぶと同時に, 中国文化を知る 講師 平井 徹	

授業科目の内容 :

初級中国語を一年間学習した既習者を対象とする。一年間の勉強を通して, ある程度まとまった文章を読めるようになることを目標とする。

基礎的文法事項をチェックしながら語彙を増やす一方で, 発音にも絶えず注意し, リスニング能力を訓練することにも重点をおきたい。テキスト付属のDVDも活用してほしい。

具体的には, 中国の文化と伝統に関する文章を扱う。文章を丁寧に読解することで, 基礎的理解を確実に定着させ, 応用力を養うのがねらい。また, 異国の文化や習慣を知ることが, 言語の上達にも欠かせない要素であり, 学習の楽しみにもなるだろう。授業中は学生を指名し, 読みと和文訳をしてもらう。文脈をしっかりとつかみ, 言葉の句切りを意識した読みができるように。

DVD 準拠の教材なので, 関連する映像資料も活用し, また担当者自身の史蹟踏査の経験なども交えて, 広汎な知識が深められる授業になるよう心がけたい。背景についての説明もなるべく加えて, 読む楽しみを広げたいと考えている。

テキスト :

名和又介著『CCTV で学ぶ中国文化』(金星堂)

参考書 :

授業中に適宜紹介する。辞書は今使用しているもので可。

【07】中国語 A(セ)(1)(春学期)	水曜 5 限
【07】中国語 A(セ)(1)(秋学期)	
【04】中国語 A(2)(通年)	講師 阿部順子

授業科目の内容 :

中国語の文章読解と文法を学びます。

教科書に収録されている文章の内容は、現代中国の文化、風俗、伝統習慣、流行、社会現象、時事問題、日常生活など多岐にわたっています。これらの文章を日本語に訳していく作業を経て、文章読解の力を養っていきます。

各課の本文の後は文法ポイントと練習問題が設けられています。文法ポイントでは文章でよく用いられる常用表現や、やや難しい文法を学び、練習問題でそれらの復習と応用練習をします。また、文法ポイントと練習問題の文にはピンインと声調符号がまったくついていません。発音記号に頼ることなく、中国語の文を読んでいく練習にもなります。

テキスト：

『中国を語る～文化と生活～』（山下輝彦・蘇英霞著、金星堂刊）

【07】中国語 A(セ)(1)(春学期)	水曜 4限
【07】中国語 A(セ)(1)(秋学期)	
【04】中国語 A(2)(通年)	講師 伊藤 晋太郎

授業科目の内容：

一年次に学んだ文法や表現法をふまえ、読解を中心とした授業を行います。教科書の課文は、いずれも中国人の一般的な生活や習慣を紹介したものです。中国語の勉強と同時に、中国人の生活はどのようなものか、日本人とはどう違うのかについても理解を深めてもらいたいと思います。

また、中国語の歌を紹介したり、受講生の習熟度に応じて補助教材を使用したりする予定です。

テキスト：

張継濱・小川文昭『中国ってどんな国？ 生活風景点描』白水社

【07】中国語 B(セ)(1)(春学期)	木曜 5限
【07】中国語 B(セ)(1)(秋学期)	
【04】中国語 B(2)(通年)	講師 袁 英明

授業科目の内容：

基礎を身につけた学習者を対象に、中級レベルの会話をトレーニングし、コミュニケーションと表現力の向上を目的とする。会話練習を中心に進め、基本的な文型と表現の習得、発音の矯正と聴解力の強化、語彙の活用と応用力の育成などにより、目標達成を目指す。

テキスト：

董燕、遠藤光暁『話す中国語 北京篇3』朝日出版社

参考書：

随時指示する。

【07】中国語 B(セ)(1)(春学期)	水曜 5限
【07】中国語 B(セ)(1)(秋学期)	
【04】中国語 B(2)(通年)	講師 陳 浩

授業科目の内容：

この授業は、中国語に必要な初歩的な日常会話の表現を身につけることに始まり、正確な発音を再確認しながら、いろいろな場面に必要な会話の練習を通じて、聞く能力と話す能力を同時にレベルアップさせていくことを目指しています。

テキスト：

陳浩他著『中国語会話 ステップアップ』郁文堂

【07】中国語 B(セ)(1)(春学期)	火曜 4限
【07】中国語 B(セ)(1)(秋学期)	
【04】中国語 B(2)(通年)	講師 陳 淑梅
コミュニケーション中国語	

授業科目の内容：

中級中国語の第一歩として、文法システムに沿って応用を展開していく。会話形式のテキストを使用する。既習の文法や文型を復習しながら、新たなフレーズを覚え、中国語の円滑なレベルアップをはかる。

また、中国でのホームステイをテーマに、いろいろな場面設定をして、授業の中で多くのグループ会話を行う予定。活発な授業を行いたいので積極的に質問したり、会話練習に取り組んでほしい。

テキスト：

守屋・陳・劉『メグの中国ホームステイ』同学社

参考書：

授業中に提示

【07】中国語 B(セ)(1)(春学期)	木曜 1限・木曜 2限
【07】中国語 B(セ)(1)(秋学期)	
【04】中国語 B(2)(通年)	講師 費 燕
コミュニケーション中国語	

授業科目の内容：

すでに学んだ文法を復習しながら、中国語の会話、普通の中国人のスピードで話す中国語が聞き取れる練習を中心に授業を進める。

会話練習は、学生を主体に毎回与えるテーマに応じて、寸劇を作り、発表する。

授業はできるだけ中国語を使い、最終的にはすべて中国語で行う。

一年を通して、聞き取り、会話能力アップを目指すことが本講義の目標。

テキスト：

塚本慶一、劉穎著『ヒアリング入門 中国語を聞き取る12のレッスン』（語研 2000 円）

参考書：

特に指定なし。必要な資料を随時プリント配布する。

【07】中国語 B(セ)(1)(春学期)	木曜 4限・木曜 5限
【07】中国語 B(セ)(1)(秋学期)	
【04】中国語 B(2)(通年)	講師 黄 漢青

授業科目の内容：

1年次の学習内容を復習しながら、中級レベルの会話能力を身につけることを目指します。

授業は会話を中心として、中国映画やドラマによる聞き取りの練習も行う予定です。テキストに沿って授業を進めますが、時間の許す限り、中国事情も紹介します。

テキスト：

「大学生のための現代中国 12 話」(白帝社、2008 年)

参考書：

初回の授業で提示します。

【07】中国語 B(セ)(1)(春学期)	金曜 5限
【07】中国語 B(セ)(1)(秋学期)	
【04】中国語 B(2)(通年)	講師 趙 暉
もっと自由に中国語を話しましょう。	

授業科目の内容：

一年次で学習した単語・文法等基本的な知識を復習しながら、中国語表現力の更なる向上を目指す。授業の進め方としては、教科書を中心に実用会話を勉強すると同時に、授業の進み具合に応じて関連資料をプリントで配布する予定である。

テキスト：

守屋宏則・柴森『中国語フィットネスエイト 14』(CD 付)朝日出版社(本体価格 2200 円+税)

参考書：

『日中辞典』もしくは電子辞書

【07】中国語 上級A(セ)(1)(春学期)	
【07】中国語 上級A(セ)(1)(秋学期)	
【04】中国語 上級A(2)(通年)	講師 道上 知弘

授業科目の内容：

やや高度な中国語会話のテキストを読みながら「中国語らしい」表現を身につけてゆくことを目指します。会話表現を豊かにするとともに、その骨格となる中国語文法概念も同時に学んでゆきます。

受講者にはあらかじめ基礎的な文法知識や語彙力が求められます。中級以上の実力があることを前提に授業を進めますので、授業初回時に指定する参考書の中から各自適宜を選んで熟読してください。

テキスト：

潘建華編著『漢語口語習慣用語教程』北京語言大学出版社

参考書：

随時指示します。

【07】中国語 上級A(セ)(1)(春学期)	
【07】中国語 上級A(セ)(1)(秋学期)	
【04】中国語 上級A(2)(通年)	教授 山下 輝彦
時事中国語	

授業科目の内容：

上級レベルを修了し、中国語の会話力、読解力とも相当レベルの実力のある学生を対象とする授業である。

このような学生でも、ラジオやテレビの中国語が聞き取れない者が多い。マスコミで使っていることは時事用語が多く、普通の中国語学習と異なる方法で勉強しなければ身につかないものだからである。そこで本授業では、時事中国語を中心に学習を進め、また、ただ聴いて理解するだけでなく、自分の口で言えるよう、テーマを選びそれについて中国語でディスカッションし、学習した知識を確実に身につけてもらう。

テキスト：

プリント使用

参考書：

授業時に指示する

【07】中国語 上級B(セ)(1)(春学期)  
【07】中国語 上級B(セ)(1)(秋学期)  
【04】中国語 上級B(2)(通年)  
【04】中国語上級(2)(通年)  
中国語上級会話と聴力 講師 吳 敏

授業科目の内容:

「生きた」中国語を気楽に学べるように、絵を見ながら書き取りしたり、言葉で描写したりする教材を利用する予定。内容は病院の診察、人の外観と部屋の様子など日常生活に関わることを中国語で表現すること。問答法のほか、グループに分けて対話や討論、ロールプレイといった方法を利用して授業の活発化をはかる。

テキスト:

プリント資料: 『中級汉语听与说』(北京语言文化大学汉语学院汉语系编 北京语言文化大学出版社出版)

【07】中国語 上級B(セ)(1)(春学期)  
【07】中国語 上級B(セ)(1)(秋学期)  
【04】中国語 上級B(2)(通年)  
読解と翻訳 講師 蔣 文明

授業科目の内容:

この講義は中国語の文章の読解と日本語の文章を中国語への翻訳を通じて、中国語の作文力を身につけることを目標にしています。

手紙や日記など身近な文章から、新聞や雑誌の記事、エッセイ、評論といった高度な文章まで、多様な文章の読解と実践的な翻訳の練習によって語彙を増やし、文法をより確かなものにして、中国語らしい文章を書けることを目指します。

また、日本語から中国語への翻訳を通じて、二つの言語を比較しながら、それぞれの特徴と「同と異」についても考えていきたい。

テキスト:

プリントを使用

参考書:

授業中に指定する

## スペイン語

【07】スペイン語 (D)(セ)(1)(春学期)  
【07】スペイン語 (D)(セ)(1)(秋学期)  
【07】スペイン語初級 (1)(春学期)  
【07】スペイン語初級 (1)(秋学期)  
【04】スペイン語 D(2)(通年)  
【04】スペイン語初級(2)(通年) 講師 菅原 昭江

授業科目の内容:

この授業は、既に初級文法を一通り学習した学生及び初めてスペイン語を学ぶ学生を対象として、スペイン語文法の要点を確実に習得することを主な目標とします。既習者にとっては文法事項の総復習となり、また初心者にとってはスペイン語文法の大枠を学ぶとともにスペイン語圏理解の第一歩となる授業になります。いずれの学生にとっても、この科目の履修後に日常的な語彙で書かれた文章の内容を辞書をひきながら把握できるようになることを目指して授業を進めていきます。

テキスト:

初回の授業で指示します。初級文法(接続法まで)を学習できる構成になっている教科書を使用する予定です。

参考書:

初回の授業で指示します。

【07】スペイン語 (A)(セ)(1)(春学期)  
【07】スペイン語 (A)(セ)(1)(秋学期)  
【04】スペイン語 A(2)(通年)  
スペインの美術館と芸術家たち 教授 坂田 幸子

授業科目の内容:

スペインを代表する芸術家たち(主に画家)を取り上げ、その伝記や作品解説を読むことによって、スペイン文化への理解を深め、読解力の向上をはかる授業です。今年度は特に、美術館に焦点を当てます。スペイン美術の殿堂であるプラド美術館はもちろんのこと、ユニークな個性あふれる美術館にも目を向け、その歴史や由来について記したテキスト、あるいはガイドブックなどを読むことにより、美術だけではなく、スペインの歴史、地理、社会についても学びます。比較的平易なテキストから、本格的・専門的なものに至るまで、様々な文章を取り上げ、文脈を適切に把握し、文法的に正しく読む訓練をします。また、履修者の方には、それぞれ1回ずつ、短い発表をしていただく予定です。

テキスト:

プリントで配布します。

参考書:

授業中に紹介します。

【07】スペイン語 (B)(セ)(1)(春学期)  
【07】スペイン語 (B)(セ)(1)(秋学期)  
【04】スペイン語 B(2)(通年) 講師 佐伯 朝彩子

授業科目の内容:

本授業では、初年度に習得したスペイン語の文法知識を応用・発展させて文章を読解する力を鍛錬することを目的に据えています。ですから、結果としてある程度まとまった分量のスペイン語の文章を読むことになるでしょう。講読を通じてスペイン語の持つ言葉のリズムを楽しめるようになってもらえたら理想です。

講読するテキストの内容は、スペインにおいて営まれてきたさまざまな形態の「ヒトと動物の関係」にまつわるものです。スペインの人びとの胃袋を満たし、その食卓に彩りを添えてきた料理や食材の中の肉、競馬、闘牛、動物園、ペットについて書かれた文章などを取り上げる予定です。

スペイン語の文章の文法的な解析に意識を向けることと同時にその時々のお話の内容にも関心を持って取り組んでほしいと思います。スペインにおけるヒトと動物の関係のあり方について書かれた文章に触れることで、動物観の探求を目指しましょう。

また、授業では可能なかぎりオーディオビジュアルも活用します。

テキスト:

適宜プリント教材を配布いたします。

【07】スペイン語 (C)(セ)(1)(春学期)  
【07】スペイン語 (C)(セ)(1)(秋学期)  
【04】スペイン語 C(2)(通年)  
スペイン語会話 講師 イサベル・ガラ、カルロス

授業科目の内容:

この授業の目的は、一年次に学習した文法と語彙とを実践に移すことです。現在、過去、未来の時制を復習し、日常生活のさまざまな場面で効果的にコミュニケーションを行なうことができるよう会話練習をします。

テキストのそれぞれの課は、ある場面(例:買い物、食事、旅行など)もしくは、あるテーマ(例:予定、計画、経験など)を設定しており、以下のような構成です。

上記の場面やテーマで使用する文法事項の復習

役に立つ語彙の紹介

リスニング練習

ペアもしくはグループによる会話練習

スペイン語圏の文化に関する短い読み物

テキスト:

Nuevo ELE Inicial 2. Editorial SM

【07】スペイン語 (D)(セ)(1)(春学期)  
【07】スペイン語 (D)(セ)(1)(秋学期)  
【04】スペイン語 D(2)(通年)  
スペイン語会話 講師 イサベル・ガラ、カルロス

授業科目の内容:

この授業の目的は、一年次に学習した文法と語彙とを実践に移すことです。現在、過去、未来の時制を復習し、日常生活のさまざまな場面で効果的にコミュニケーションを行なうことができるよう会話練習をします。

テキストのそれぞれの課は、ある場面(例:買い物、食事、旅行など)もしくは、あるテーマ(例:予定、計画、経験など)を設定しており、以下のような構成です。

上記の場面やテーマで使用する文法事項の復習

役に立つ語彙の紹介

リスニング練習

ペアもしくはグループによる会話練習

スペイン語圏の文化に関する短い読み物

テキスト:

Nuevo ELE Inicial 2. Editorial SM

【07】スペイン語 (E)(セ)(1)(春学期)  
【07】スペイン語 (E)(セ)(1)(秋学期)  
【04】スペイン語 E(2)(通年)  
ラテンアメリカの人と社会 講師 敦賀 公子

授業科目の内容:

スペイン語圏の中でも特にラテンアメリカについての様々な話題の読み物を精読することで、初年度で習得した文法知識を確認・応用し、より実践的な読解力と表現力を高めつつ、ラテンアメリカの人と社会についての理解を深めることを目標とします。

私達の生活には古来、スペイン、ラテンアメリカの様々な文化要素が存在し、また現代では、移民、出稼ぎ労働、自由貿易市場、国際協力が

ど、より身近に接点が見られるようになっていきます。この授業では、このような私達の生活の視座から興味深いテーマを取り上げ、可能な限り関連の映像も活用する予定です。

テキスト：

『トピックスで学ぶスペイン語世界 El mundo hispano a través de diecisiete temas』坂東省次、森直香、D. Q. ガルシア編著（白水社）

参考書：

授業時に指示します。

【07】スペイン語 (F)(セ)(1)(春学期)

【07】スペイン語 (F)(セ)(1)(秋学期)

【04】スペイン語 F(2)(通年) 助教(有期) 井 関 睦 美

授業科目の内容：

この授業は、論理的文章の読解力と表現力を高めることを目標に、講読と作文を中心にすすめていきます。これらの作業を通して、スペイン語、日本語、日本語、スペイン語という構文的な置き換えだけでなく、コンテキストを理解し、自分の言葉で説明する訓練をしていきます。講読用のテキストには、スペイン語圏や日本の歴史、文化、社会などに関する短い説明文を数多く取り上げる予定です。

テキスト：

講師がハンドアウトを用意します。

参考書：

- ・西和辞書（小学館西和辞典、白水社現代スペイン語辞典）
- ・和西辞書（白水社、三省堂）

【07】スペイン語 (G)(セ)(1)(春学期)

【07】スペイン語 (G)(セ)(1)(秋学期)

【04】スペイン語 G(2)(通年)

スペイン社会と文化・習慣 講師 菅原昭江

授業科目の内容：

この授業は、まとまった内容の文章を読解していく力を身につけるとともに、スペイン社会と文化・習慣に対する理解を深めていくことを主な目標としています。講読する文章の内容は、スペイン語とスペインの公用語、食生活、家族のあり方、余暇の過ごし方、礼儀作法、スポーツ、お祭りや祝日などを予定しています。また、読解力の習得と同時に、内容に関連した語彙の練習問題や重要な文法事項の練習問題も適宜行い、語彙力アップと既習の文法事項の定着も目指していきます。

テキスト：

プリント教材を配布します。

参考書：

授業中に適宜紹介します。

【07】スペイン語 (H)(セ)(1)(春学期)

【07】スペイン語 (H)(セ)(1)(秋学期)

【04】スペイン語 H(2)(通年)

ラテンアメリカによる自己認識の変遷をたどります。

講師 前田 伸 人

授業科目の内容：

この授業は、スペイン語の初級文法を一通り修了した学生を対象に、独立以後のラテンアメリカ思想史を扱った教科書を精読することで、スペイン語の読解力や表現力を固め、中級スペイン語の完成を目指します。

授業の柱は三つあります。一つ目は、これまでに修得した文法を読解にどう活用するか、そのコツを会得することです。二つ目は、専門的な文章の言い回しや単語に慣れ、自分でスペイン語を読む姿勢を築くことです。そして、三つ目は、ラテンアメリカによる自己認識の歴史を回顧することで、同地域の未来を考察することにあります。

新自由主義が小康状態になる中、反米色を薄めたラテンアメリカが相互に協調・統合しながら、積み残してきた問題をどう解決するかは、私たちに尽きせぬ興味を与えてくれます。自然保護、資源開発、自然災害、人権、先住民、領海紛争などの問題ばかりです。この授業で扱う思想家たちは狭い意味での哲学者ではなく、こうした問題を的確に摘出し、論じた文明史家と言えます。ですから、彼らの文章は、古びるところか、却って時宜を得たものに感ぜられるはず。そのメッセージを読み解くことで、言語とともにラテンアメリカを好きになってください。

テキスト：

松下マルタ・松下洋 『ラテンアメリカ思想史 (Las corrientes del pensamiento latinoamericano)』(大学書林、1300 円)

参考書：

さしあたり、レオポルド・セア著 『現代ラテンアメリカ思想の先駆者たち』(刀水書房、2002 年)や増田義郎編 『ラテンアメリカ史』(山川出版社、1999 ~ 2000 年)を挙げておきます。他にも授業中適宜紹介します。また、必要に応じてスペイン語や英語などで書かれた資料をも配布します。一年次に使用したスペイン語教科書も持参すること。

【07】スペイン語 (I)(セ)(1)(春学期)

【07】スペイン語 (I)(セ)(1)(秋学期)

【04】スペイン語 I(2)(通年) 講師 佐伯朝彩子

授業科目の内容：

このクラスでは、初年度に学習したスペイン語の文法知識を活用して、2つの方向からスペイン語の世界にアプローチします。

[ スペイン語を聞く耳を鍛える ]

毎回の授業に際してディクテーションを行い、「スペイン語を聞く耳」を鍛えます。聴解力は急激に向上するものではありませんが、地道な練習を繰り返すなかでコツが徐々に分かってきます。と同時に文法の知識がいかに大事であるかということも体感されると思います。

聞きとった文章を「聞きっぱなし」しておくほどもったいないことはありません。自分の口を実際に動かし音声に合わせて読み上げる練習もしてもらいます。スペイン語の響きを自分の体を使って作ってみるという経験が次にスペイン語を聞く時の力となるのです。

[ スペイン語を読む力を鍛える ]

上述したの練習と並行してスペイン語で書かれた文章を読解する練習も行います。目的は文章を論理的に解析し、それを適切な言葉できちんと説明できるようになることです。一年生の時に習得した文法に関する知識が文章の中に織り込まれていることを発見する喜びを味わってください。

講読する文章は未定ですが、詩を読むかもしくは映画の原作となった小説を取り上げます。後者の場合には、小説と映画との比較も試みます。

上記のと のトレーニング効果を相互に作用させることを心がけ、スペイン語力を向上させましょう。

テキスト：

適宜プリント教材を配布いたします。

【07】スペイン語 (J)(セ)(1)(春学期)

【07】スペイン語 (J)(セ)(1)(秋学期)

現代ラテンアメリカ現状についてスペイン語で語ってみましょう。

講師 ロメロ=ホシノ、イサミ

授業科目の内容：

この授業の基本的な目的は、一年次に学習したスペイン語の文法知識を活用して、スペイン語の読解力を向上させ、スペイン語でのディスカッション能力を鍛えることです。具体的には、ラテンアメリカの音楽、文化、スポーツ、政治、社会問題を中心にいきます。その際、三つのタスクを中心にいきます。

1) スペイン語の文章の読解：毎回の授業の為に、あらかじめ小論文を渡します。小論文の言語は基本的にスペイン語です。受講生はそれについて、日本語で 1200 時程度の短いレポートを書き、授業二日前までに講師にメールで送らなければなりません。このレポートでは、小論文の単なる要約をするのではなく、個人的な感想、受講生が現在興味を持っているテーマと関連付けて日本との比較を行なうことを期待しています。小論文の単なる要約だけを提出した場合は無効となります。気をつけてください。

2) ディスカッション：毎回の授業でグループ・ディスカッションを行います。すべてのディスカッションはスペイン語で行います。まず、予め読んできた小論文に関して分からなかった語彙や難しいフレーズについて講師が説明を行います（日本語で行います）。次に、講師が、スペイン語で、予め読んできた小論文で扱われたテーマについて短い発表を行います。続いて学生たちには、読んできた小論文についてディスカッションを行ってもらいます（使用言語はスペイン語のみ）。発音、文法間違い、フレーズの正しい使い方について講師が指導します。

3) 発表：学期末に各学生は自分がラテンアメリカについて興味を持っているテーマについてスペイン語で発表します。発表の時には、レジュメを履修者全員分、用意して配布します。（レジュメに日本語を使うことは可能）。人数によって変更があると思いますが、10分程度の発表になると思います。その後、他の学生と講師が発表についてコメントします

テキスト：

毎回プリントを配布します。

参考書：

必要な時に授業で紹介いたします。

## イタリア語

- 【07】イタリア語 (D)(セ)(1)(春学期)
- 【07】イタリア語 (D)(セ)(1)(秋学期)
- 【07】イタリア語初級A (1)(春学期)
- 【07】イタリア語初級A (1)(秋学期)
- 【04】イタリア語 D(2)(通年)
- 【04】イタリア語初級A(2)(通年) 講師 武田 好

### 授業科目の内容:

イタリア語の構造を学びながら、1年間で基本的なコミュニケーションの力をつけることが目標です。文法の各項目にそって発話・聞き取り・作文・翻訳の各作業を反復練習します。新出事項の理解を深め、知識を定着させるために授業では演習形式をとります。

### テキスト:

白崎容子著「らくらくマスターイタリア語」(郁文堂, 2200円)

### 参考書:

ポケットプログレッシブ伊和・和伊辞典(小学館)

- 【07】イタリア語 (D)(セ)(1)(春学期)
- 【07】イタリア語 (D)(セ)(1)(秋学期)
- 【07】イタリア語初級C (1)(春学期)
- 【07】イタリア語初級C (1)(秋学期)
- 【04】イタリア語 D(2)(通年)
- 【04】イタリア語初級C(2)(通年)

### 休講

- 【07】イタリア語 (D)(セ)(1)(春学期)
- 【07】イタリア語 (D)(セ)(1)(秋学期)
- 【07】イタリア語初級B (1)(春学期)
- 【07】イタリア語初級B (1)(秋学期)
- 【04】イタリア語 D(2)(通年)
- 【04】イタリア語初級B(2)(通年) 講師 フォルミサノ, カルラ

### 授業科目の内容:

Espresso 1課 5課

- 1課: 挨拶
- 2課: 自己紹介
- 3課: 食事(注文の仕方)
- 4課: 余暇の過ごし方
- 5課: ホテルの予約
- 初級文法
- 会話練習(パターン/ロールプレイ)

### テキスト:

「Espresso」Luciana Ziglio, Giovanna Rizzo 著 Alma 出版

### 参考書:

「ポケットプログレッシブ伊和・和伊辞典」小学館

- 【07】イタリア語 A(セ)(1)(春学期)
- 【07】イタリア語 A(セ)(1)(秋学期)
- 【04】イタリア語 A(2)(通年)
- 【07】イタリア語 B(セ)(1)(春学期)
- 【07】イタリア語 B(セ)(1)(秋学期)
- 【04】イタリア語 B(2)(通年)
- [A] 教授 白崎容子  
講師 武田好  
講師 堤康徳
- [B] 訪問講師 ジェズアート, マリーア=カティア  
講師 ビオンディ, マルコ  
講師 フォルミサノ, カルラ

### 授業科目の内容:

昨年度のイタリア語, にひきつづき, A系列では文法を終えたのちに読解練習を, B系列では発話・聴きとりと作文練習を行います

### テキスト:

- [A] 《Nuovo passo a passo》(「イタリア語 / 」で使用) 補遺+プリント
- [B] 《Espresso 1》(「イタリア語 / 」で使用) 後半

## 朝鮮語

- 【07】朝鮮語 (D)(セ)(1)(春学期)
- 【07】朝鮮語 (D)(セ)(1)(秋学期)
- 【07】朝鮮語初級 (セ)(1)(春学期)
- 【07】朝鮮語初級 (セ)(1)(秋学期)
- 【04】朝鮮語 D(2)(通年)
- 【04】朝鮮語初級(2)(通年) 講師 崔 鶴山

### 授業科目の内容:

日常的に使う韓国語のための基礎文法知識を習得する授業です。まず、発音と文字体系、文の仕組みになれるようにします。「ハングル」という馴染みのない文字を使う韓国語は一見難しく見えますが、文の構造や語順、漢字語などは日本語のそれととてもよく似ているため、特に日本人には意外と早い上達が期待できる言語です。一年間の学習により、自己紹介、日常の簡単なやりとり、日記などの基本的な口頭表現及び文章表現ができるようになります。平常点、出席を重視します。

### テキスト:

「はじめての韓国語」崔鶴山著, 白水社

- 【07】朝鮮語 (A)(セ)(1)(春学期)
- 【07】朝鮮語 (A)(セ)(1)(秋学期)
- 【04】朝鮮語 A(2)(通年) 教授 野村伸一

### 授業科目の内容:

中級レベルのこの授業では1学年に続き、日常的な場面をテーマにした各課のシチュエーションを学習することで、状況に応じた表現方法を習得するとともに、韓国人の会話スタイルについても理解を深めていきます。そのほか、時には映画やドラマ、新聞などを素材にして、生きた韓国語に慣れ、韓国の文化や社会事情に対する理解も高めていきます。

これと関連し、授業では受講生の発表の時間を取るようにします。一週間に二回の授業は、講師は交代しても、同一教材を用いて進めます。各課修了ごとに小テストをして、達成度を測ります。

出席、応用問題の回答提出と小テストは一年時と同様に重要です。

授業進捗の詳細は初回の授業の時にプリントで示します。

### テキスト:

慶應義塾外国語学校編『朝鮮語 - 初級 - 』(前年度, 日吉における教科書)  
慶應義塾外国語学校編『朝鮮語 - 中級 - 』

- 【07】朝鮮語 (B)(セ)(1)(春学期)
- 【07】朝鮮語 (B)(セ)(1)(秋学期)
- 【04】朝鮮語 B(2)(通年) 講師 李 泰文

### 授業科目の内容:

中級レベルのこの授業では1学年に続き、日常的な場面をテーマにした各課のシチュエーションを学習することで、状況に応じた表現方法を習得するとともに、韓国人の会話スタイルについても理解を深めていきます。そのほか、時には映画やドラマ、新聞などを素材にして、生きた韓国語に慣れ、韓国の文化や社会事情に対する理解も高めていきます。これと関連し、授業では受講生の発表の時間を取るようにします。一週間に二回の授業は、講師は変わっても、同一教材を用いて進めます。各課ごとに小テストをして、達成度をはかります。

出席、応用問題の回答提出と小テストは一年時と同様に重要です。

授業進捗の詳細は初回の授業の時にプリントで示します。

### テキスト:

慶應義塾外国語学校編『朝鮮語 中級』

## ロシア語

- 【07】ロシア語 (D)(セ)(1)(春学期)
- 【07】ロシア語 (D)(セ)(1)(秋学期)
- 【07】ロシア語初級 (セ)(1)(春学期)
- 【07】ロシア語初級 (セ)(1)(秋学期)
- 【04】ロシア語 D(2)(通年)
- 【04】ロシア語初級(2)(通年) 講師 佐野洋子

### 授業科目の内容:

このクラスは初めてロシア語を学ぶ人を対象とし、一年間で現代文を読む上で必要なロシア語文法をすべて習得します。中級レベルの文を辞書を用いて読む力をつけることを目的とします。最終的には、各自の専門に従って、独学でもロシア語を続けていける基礎学力をつけたいと思います。



テキスト：

教材は、初回の授業で配布します。

参考書：

辞書が必要になりますが、初回の授業で説明します。

---

【07】ロシア語 (A)(セ)(1)(春学期)

【07】ロシア語 (A)(セ)(1)(秋学期)

【04】ロシア語 A(2)(通年) 講師 金沢大東

---

授業科目の内容：

初級で学習した語形変化と基礎単語力を足がかりとして、この中級コースでは、文型を扱う。特にロシア語の複文の内の従属複文を重点的に学習する。

テキスト：

《白い金》A. ナコルチェフスキー，金沢大東共著，慶応大学出版

---

【07】ロシア語 (B)(セ)(1)(春学期)

【07】ロシア語 (B)(セ)(1)(秋学期)

【04】ロシア語 B(2)(通年)  
教授 ナコルチェフスキー，アンドリイ

---

授業科目の内容：

ロシア語の構文論，標準的な表現手段の学習

テキスト：

ナコルチェフスキー・アンドリイ・金沢大東 「白い金」慶応義塾大学出版会

# 専 門 科 目

## 哲学専攻

### 必修科目

- 【07】哲学倫理学原典講読 (独)(2)(春学期)
- 【07】哲学倫理学原典講読 (独)(2)(秋学期)
- 【04】哲学倫理学原典講読(独)(4)(通年)

教授 樽井正義

#### 授業科目の内容:

独語で書かれた哲学・倫理学の文献を読解するための基本的な能力の取得が、この授業の目的です。

独文を音読し、文章構造を解し、言葉の変化・活用を覚え、意味の広がりを知る、これによって書かれていることを理解する。文章毎に、時間毎にこの積み重ねです。結果として、日本語とも英語とも異なる言語があることを、人の多様性の一つとして確認できればと考えています。

#### テキスト:

春学期のテキストは担当者が用意します。秋学期は、履修者が希望するテキストを購読します。

- 【07】哲学倫理学原典講読 (仏)(2)(春学期)
- 【07】哲学倫理学原典講読 (仏)(2)(秋学期)
- 【04】哲学倫理学原典講読(仏)(4)(通年)

教授 岡田光弘

#### 授業科目の内容:

哲学・思想関係のテキストをフランス語で講読する訓練を行う。内容については初回授業の時に説明する。使用するテキストはプリントして配布する。

#### テキスト:

プリントして配布

#### 参考書:

授業時に指定

- 【07】哲学倫理学原典講読 (露)(2)(春学期)
- 【07】哲学倫理学原典講読 (露)(2)(秋学期)
- 【04】哲学倫理学原典講読(露)(4)(通年)

教授 谷 寿美

#### 授業科目の内容:

受講者の語学力に応じたテキストを講読します。

受講希望者は必ず初回講義時に出席すること。

#### テキスト:

語学力に応じて選択します。

#### 参考書:

基礎的な語学力がある場合は、初めから思想、哲学系のテキストを講読します。

受講生にまだ十分な語学力が伴わない場合は、基礎的なテキストから始めます。

- 【07】哲学概論 (2)(春学期)
- 【07】哲学概論 (2)(秋学期)
- 【04】哲学概論(4)(通年)

教授 西脇与作

#### 授業科目の内容:

哲学がどのようなものかを概説した上で、哲学の主要なテーマについて具体的に説明していきます。哲学、倫理学専攻の二年生を主に対象にし、哲学全般への入門授業と考えて下さい。この授業で哲学の基本的な事柄を知り、哲学の各論への準備にして下さい。

#### テキスト:

『現代哲学入門』西脇与作、慶應義塾大学出版会、2002

- 【07】西洋哲学倫理学史 (2)(春学期)
- 【07】西洋哲学倫理学史 (2)(秋学期)
- 【04】西洋哲学倫理学史 (4)(通年)

Archaeologyとしての哲学

教授 堀江 聡

#### 授業科目の内容:

日本語で独習できる哲学者は省き、初学者にはアクセスしにくい思想家を採り上げる。「拡大された中世哲学」の建て増し部分に重点を置き、なるべく興味ある話題を提供しようと思う。「拡大された」というのは、従来、西洋中世哲学史のなかに含まれなかった、或いは触れることが

できるほど学問が進歩していなかったという意味である。具体的には、フランスの哲学史家として著名なアラン・ド・リベラの枠組みに沿って、東方イスラーム、西方イスラーム、中世ユダヤ思想、ビザンツ帝国の哲学に踏み込んでみる。その基礎となるのが、思想としては紀元 3-6 世紀の新プラトン主義であり、道具としては、古代ギリシア語、アラビア語、ヘブライ語、ラテン語である。

#### 参考書:

- ・アラン・ド・リベラ『中世哲学史』(阿部一智・永野潤・永野拓也訳)、新評論、1999年。
- ・『中世思想原典集成 11. イスラーム哲学』(竹下政孝 監訳)、平凡社、2000年。
- ・伊東俊太郎『12世紀ルネサンス 西欧世界へのアラビア文明の影響』岩波セミナーブックス 42、1993年。
- ・水谷智洋『古典ギリシア語初歩』、岩波書店、1990年。
- ・小脇光男『聖書ヘブライ語文法』、青山社、2001年。
- ・佐々木淑子『アラビア語入門』、青山社、2000年。
- ・内山勝利・中川純男編著『西洋哲学史〔古代・中世編〕』、ミネルヴァ書房、1996年。

- 【07】西洋哲学倫理学史 (2)(春学期)

- 【07】西洋哲学倫理学史 (2)(秋学期)

- 【04】西洋哲学倫理学史 (4)(通年)

西洋近代の哲学・倫理学

准教授 柘植尚則

#### 授業科目の内容:

この講義では、西洋近代の哲学・倫理学の歴史を概説します。哲学専攻・倫理学専攻の2年生を主な対象とし、学生が専門の研究に必要な基礎を習得することを目標としています。受講者は、3・4年生向けに開講される専門科目に備えて、西洋の哲学・倫理学に関する幅広い知識を身に付け、それを自らのテーマに活かせるように努めてください。

#### テキスト:

柘植尚則編『西洋哲学史入門 6つの主題』(梓出版社、2006年)

#### 参考書:

授業の中で紹介します。

- 【07】論理学入門 (2)(春学期)

- 【07】論理学入門 (2)(秋学期)

- 【04】論理学入門(4)(通年)

記号論理学の基礎

講師 弓削隆一

#### 授業科目の内容:

現代の記号論理学の基礎である、命題論理・述語論理について解説する。具体的内容としては、推論の妥当性を前提・結論の真理条件から規定しようとする方法(意味論)と、「証明」の体言に基づいて規定しようとする方法、およびこの両者の関係(完全性定理)についての解説を含める予定。

#### テキスト:

『明解論理学』

弓削隆一・佐々木昭則著

ミネルヴァ書房

2009年3月出版予定

#### 参考書:

授業中適宜指示する。

- 【07】科学の哲学 (2)(春学期)

- 【07】科学の哲学 (2)(秋学期)

- 【04】科学の哲学(4)(通年)

古典的世界像について

[春]講師 安藤道夫

科学哲学入門

[秋]教授 西脇与作

#### 【春学期】

#### 授業科目の内容:

この授業では、古典的世界像について考えることにします。古典的世界像は、ニュートンを代表とする近代物理学者によって形成された世界像であり、私たち現代人の常識とも関連が深いと思われるものです。このような世界像が成立するようになった歴史的経緯、その内容と特徴、さらに私たちの常識への影響などについて考えることにしたいと思います。

#### テキスト:

西脇与作『科学の哲学』慶應大学出版局

#### 参考書:

授業中に紹介します。

#### 【秋学期】

#### 授業科目の内容:

秋学期は科学の哲学の各論で、テキストの量子力学、進化生物学を中心に説明する予定です。

#### テキスト:

『科学の哲学』西脇与作、慶應義塾大学出版会、2004

- 【07】中級論理学 (2)(春学期)  
 【07】中級論理学 (2)(秋学期)  
 【04】中級論理学(4)(通年) [春]講師 竹村 亮  
 [秋]講師 佐々木 昭 則

授業科目の内容:

本講義は、論理学入門をすでに終え、記号を用いた論理推論にある程度慣れ親しんでいる人(あるいは同等の知識を持つ人)を対象にした数理論理学の中級コースです。

- 【07】知識の哲学 (2)(春学期)  
 【07】知識の哲学 (2)(秋学期)  
 【04】知識の哲学(4)(通年)

休講

- 【07】形而上学 (2)(春学期)  
 【07】形而上学 (2)(秋学期)  
 【04】形而上学(4)(通年)  
 古代神智学の発掘に向けて 教授 堀江 聡

授業科目の内容:

チュービンゲン大学図書館蔵の一写本で唯一残存するがゆえに、『チュービンゲン神智学』の名で呼び習わされるギリシア語神智学文献は恐らく6世紀に遡るもので、神託などによるエジプト・ペルシア・ギリシアの異教の哲学的宗教的智恵とキリスト教の啓示が一致することを示そうとする点で現代的意義を有している。「テオソフィア」(神智)なる言葉は、3世紀末のポルフュリオス『断肉論』(肉食主義擁護論)において、古代密儀宗教の祭司ならびに、インドの修行者の智恵と関連づけられている。以後古代末期では連綿と、イアンプリコス(の俗称『エジプト人の秘儀』、プロクロス『プラトン神学』、ダマスキオス『第一始原論』)に用例が散見される。この異教哲学の伝統とキリスト教がぶつかり合う接点である6世紀初頭の擬ディオニシオス文書にごく近い知的ミリュエに、最新版の校訂者ベアトリーチェは、『チュービンゲン神智学』の起源を求めている。エジプト、ギリシア、インド、中東の智恵は調和しつつ、一つの神的神実在を果たして開示するのか、文献学的推理の妙味も味わいつつ探らんとする人よ、来たれ。

テキスト:

*Anonymi Monophysitae Theosophia. An Attempt at Reconstruction*, by Pier Franco Beatrice, Brill, 2001.

参考書:

*Theosophorum Graecorum Fragmenta*, ed. H. Erbse, Leipzig: Teubner, 1995.

- 【07】現代論理学の諸問題 (2)(春学期)  
 【07】現代論理学の諸問題 (2)(秋学期)  
 【04】現代論理学の諸問題(4)(通年) 教授 岡田 光 弘  
 現代論理とその応用 講師 竹村 亮

授業科目の内容:

現代論理学の諸問題と修士課程(哲学特殊)との共通証明論、線形論理等を中心とした現代論理学的手法の導入と、論理哲学、情報科学、認知科学、AI等への応用を行う。又、フッサール論理哲学、アリストテレスの論理学等についても現代論理的観点から検討する。

テキスト:

プリントして配布を予定

参考書:

授業時に指定

- 【07】心の哲学 (2)(春学期)  
 【07】心の哲学 (2)(秋学期)  
 【04】心の哲学(4)(通年)  
 [春]講師 室田 憲 司  
 [秋]講師 木原 弘 行

【春学期】

授業科目の内容:

春学期は、室田が心身関係の諸理論(心身二元論、行動主義、心脳同一説、機能主義など)について概説します。存在論的枠組に注意を払いつつ、心的現象と物的現象との関係について考えていきたいと思ひます。

テキスト:

特に指定しません。プリントを配布する予定です。

参考書:

必要に応じて授業中に紹介します。

【秋学期】

授業科目の内容:

心が(いわゆる)物に対して、どのように働きかけたり、働きかけられたりするののかという問題について考えていきたいと思ひます。特に心の内容が因果的な効力をどうしてもつのか、また因果関係の連鎖のなかで自由意志はどうなるのかといったことを中心に扱うつもりです。

テキスト:

指定しません。必要に応じてプリントを配布します。

参考書:

内容にあわせて紹介します。

- 【07】言語の哲学 (2)(春学期)  
 【07】言語の哲学 (2)(秋学期)  
 【04】言語の哲学(4)(通年)  
 日本語の論理と意味 教授 飯田 隆

授業科目の内容:

最近20年間の言語哲学および言語学(とくに形式意味論)の分野で蓄積されてきた知見をもとに、量化をはじめとする論理的操作が日本語でどのように実現されているかを探究します。

テキスト:

ありません。

参考書:

その都度、授業のなかで指示します。

- 【07】現象学 (2)(春学期)  
 【07】現象学 (2)(秋学期)  
 【04】現象学(4)(通年)  
 『イデー』を読む 教授 斎藤 慶典

授業科目の内容:

フッサール『純粋現象学と現象学的哲学のための諸考案・第1巻』(通称『イデー』, 1913年刊)より、今年度はその第4編「理想と現実」、第1章「イエマの意味と、対象への関係」、第2章「理性の現象学」、第3章「理性論的な問題 探究の普遍性と諸段階」を取り上げ、「現象学」という発想の全体像を検討します。授業は、あらかじめ分担を定められた担当者によるテキスト当該部分のレジュメと問題提起をもとに、参加者全員によるディスカッションを中心に行ないます。テキストは以下の邦訳版を使用し、必要に応じて原著を参照します(ただし、受講者のドイツ語能力を前提にはしません)。

テキスト:

フッサール『イデー』(渡辺二郎訳、みすず書房、1979年)から該当部分ならびにそれにかかわる原注、訳注部分を、各自何らかの仕方で用意してください。また他に課題図書(「授業の計画」の項参照)として、斎藤慶典『フッサール 起源への哲学』(講談社・選書メチエ、2002年)が必要です。

- 【07】宗教の哲学 (2)(春学期)  
 【07】宗教の哲学 (2)(秋学期)  
 【04】宗教の哲学(4)(通年)  
 信仰と理性 教授 中川 純 男

授業科目の内容:

宗教への主体的な関わりを信念や倫理の問題であると考え、形而上学や哲学から追放するのは近世的な理性であるが、この授業においてはこのような近世的理性概念の批判を行う。神の存在論証や世界の永遠性についての論証を取り上げ、それらのもつ哲学的な意味はなにか、それはいかなる意味での論証なのかを考える。

テキスト:

Web上でPDFファイルとして配付する。

参考書:

授業中に指示する。

- 【07】哲学原典研究 (独)(2)(春学期)  
 【07】哲学原典研究 (独)(2)(秋学期)  
 【04】哲学原典研究 (独)(4)(通年)  
 フィヒテ研究に寄せて 教授 堀江 聡

授業科目の内容:

昨年度に引き続き、「知識学」と称する独自の哲学領域を切り拓き、ドイツ観念論を主導したフィヒテ(1762-1814)を読み込みたい。自我と非我および絶対者との関わり、理論と実践との交錯、光と像のメタファー等を独逸語原典で正確に辿りつつ、古代末期アカデメイア最後の学頭ダマスキオスの懐疑論法並びに、イスラーム神秘哲学の泰斗スフラワルディーの光の形而上学とも突き合わせて、フィヒテに触発されて自我の底を深く深く掘削することが私自身の課題である。

テキスト:

初回に人数を確認のうえ、テキストのコピーを配布する。知識学の構想は、フィヒテ自身の手で幾度も幾度も塗り替えられる。今年度は、1804年の『知識学』を念頭に置いている。

【07】哲学原典研究 (仏)(2)(春学期)	
【07】哲学原典研究 (仏)(2)(秋学期)	
【04】哲学原典研究 (仏)(4)(通年)	
ダストゥールのデリダ論	理工学部 専任講師 荒金直人

授業科目の内容:

フランソワーズ・ダストゥール Françoise Dastur の有名な論文《Pour une zoologie 'privative' ou Comment ne pas parler de l'animal》を精読する。ダストゥール曰く、「このテキストは、ハイデガーのある講義のデリダによる読解に対する批判を旨とするが(そしてそのことがまさに理由なのかもしれないが)、その副題がすでに十分に示すように、ジャック・デリダに多くを負っており、しかも彼に捧げられている。動物性の問いは、形而上学の脱構築を試みるデリダの思想の中で、極めて重要な位置を占めている。その動物性の問いに関して、デリダはハイデガーを批判的に分析する。ダストゥールは、ハイデガーを擁護しつつ、この問いを掘り下げ、それに新たな光を投げかける。デリダ、ハイデガー、動物性、この三つがダストゥールの論文のテーマ。

テキスト:

Françoise Dastur, 《Pour une zoologie 'privative' ou Comment ne pas parler de l'animal》, in *Alter, revue de phénoménologie*, n°3: 《L'animal》, 1995, pp. 281-317.

参考書:

次の著作にダストゥールの論文への言及がある。エリザベート・ド・フォントネ著、石田和男・小幡谷友二・早川文敏訳、『動物たちの沈黙「動物性」をめぐる哲学試論』、彩流社、2008年、特に pp. 710-714.

【07】哲学原典研究 (英)(2)(春学期)	
【07】哲学原典研究 (英)(2)(秋学期)	
【04】哲学原典研究 (英)(4)(通年)	
クワインを読む	教授 飯田 隆

授業科目の内容:

Willard Van Orman Quine (1908-2000) の論文集 *Ontological Relativity and Other Essays* (1977) に収められている論文を読みます。

テキスト:

Willard Van Orman Quine, *Ontological Relativity and Other Essays*. Columbia University Press.

【07】哲学原典研究 (古典)(2)(春学期)	
【07】哲学原典研究 (古典)(2)(秋学期)	
【04】哲学原典研究 (古典)(4)(通年)	
ライプニッツのテキストを読む	講師 田子山 和歌子

授業科目の内容:

17世紀の哲学者ライプニッツのラテン語テキストを購読します。

テキスト:

第一回目の授業で話し合い、決定したいと思います。

参考書:

ラテン語辞書、ラテン語文法書

【07】哲学倫理学特殊 (原典研究 (露))(2)(春学期)	
【07】哲学倫理学特殊 (原典研究 (露))(2)(秋学期)	
【04】哲学倫理学特殊 (原典研究 (露))(4)(通年)	

休講

【07】哲学研究会 (1)(春学期)	
【07】哲学研究会 (1)(秋学期)	
【07】哲学研究会 (1)(春学期)	
【07】哲学研究会 (1)(秋学期)	
【04】哲学研究会 (2)(通年)	
【04】哲学研究会 (2)(通年)	
穴と境界 分析的形而上学入門	教授 飯田 隆

授業科目の内容:

加地大介『穴と境界 存在論的探究』をテキストに、「分析的形而上学」と呼ばれる現代哲学の一分野で、どのような問題が議論されているかをみます。

テキスト:

加地大介『穴と境界 存在論的探究』春秋社

【07】哲学研究会 (1)(春学期)	
【07】哲学研究会 (1)(秋学期)	
【07】哲学研究会 (1)(春学期)	
【07】哲学研究会 (1)(秋学期)	
【04】哲学研究会 (2)(通年)	
【04】哲学研究会 (2)(通年)	
情報と認知の論理と倫理	教授 岡田 光弘

授業科目の内容:

論理思考に関わる学際テーマに対して哲学、論理学、情報科学、認知科学、脳科学の観点も含めて議論していくが、具体的な研究会の詳しい進め方については初回に参加者と話し合って決定する。特に、研究会参加者に論理的に議論したり、論理的に思考するスキルを身に付けて頂けるようなディスカッションを進めていきたい。

テキスト:

初回授業時に参加学生の興味やテーマをお聞きした上で、指定する。

参考書:

授業時に指定する

【07】哲学研究会 (1)(春学期)	
【07】哲学研究会 (1)(秋学期)	
【07】哲学研究会 (1)(春学期)	
【07】哲学研究会 (1)(秋学期)	
【04】哲学研究会 (2)(通年)	
【04】哲学研究会 (2)(通年)	
プロティノス最長論文の統一的理解に向けて	教授 堀江 聡

授業科目の内容:

前年度秋学期に始まった、プロティノスの全論攷のうちで最も長く原文で57頁に及ぶ、第6論集第7論文[38]「アイデアの群れがいかんして存立したか」の演習を継続する。魂の顕在能力と潜在能力、知性界の多層構造、知性と一者の関係、われわれと最高善との関連、魂の絶対者との神秘的合一、神の不可知性など、さまざまな個別的問題を解きほぐしつつも、この論攷トータルでプロティノスがいったい何を目ざしていたのかを明るみに出すことが最終目標となる。

テキスト:

『プロティノス全集』第四巻、水地宗明訳、中央公論社、1987年。授業初回に人数を確認の上、複写にて配布する。

参考書:

Plotin, *Traité 38-41*, *Traité 38* ( , 7), présentation, traduction et notes par Francesco Fronterotta, Paris: Flammarion, 2007; Georg Siegmann, *Plotins Philosophie des Guten*, Eine Interpretation von Enneade 7, Würzburg, 1990.

【07】哲学研究会 (1)(春学期)	
【07】哲学研究会 (1)(秋学期)	
【07】哲学研究会 (1)(春学期)	
【07】哲学研究会 (1)(秋学期)	
【04】哲学研究会 (2)(通年)	
【04】哲学研究会 (2)(通年)	
	教授 中川 純男

授業科目の内容:

トマス・アクィナスの『真理論』をテキストとして分析する。テキストは邦訳を配布する。秋学期は、受講者の研究発表を行う。

四年生は、卒論で扱うテーマについて発表することが求められる。

テキスト:

プリントを配布する。ラテン語テキストについても必要があれば配布する。

参考書:

授業中に指示する。

【07】哲学研究会 (1)(春学期)	
【07】哲学研究会 (1)(秋学期)	
【07】哲学研究会 (1)(春学期)	
【07】哲学研究会 (1)(秋学期)	
【04】哲学研究会 (2)(通年)	
【04】哲学研究会 (2)(通年)	
知ること、わかること	教授 西脇 与作

授業科目の内容:

何かを知り、わかることの仕組みやわかったことの正しさ等は認識論として、そして最近では認知科学として扱われてきたものです。「知る、わかる」ことについての哲学の基本的な文献を読みながら、受講者の間で議論し合うのが内容です。

- 【07】哲学研究会 (1)(春学期)
- 【07】哲学研究会 (1)(秋学期)
- 【07】哲学研究会 (1)(春学期)
- 【07】哲学研究会 (1)(秋学期)
- 【04】哲学研究会 (2)(通年)
- 【04】哲学研究会 (2)(通年)

現象学研究

教授 齋藤慶典

授業科目の内容：

広い意味で現象学に関わるテキスト(今年度はヘーゲル『精神現象学』の「A 意識」「1 感覚的確信」以下)を取り上げ、事前に指定された担当者による報告と問題提起、それに基づく全員によるディスカッションを行ないます。夏休みの終わりに授業の一環としてゼミ合宿を行ない、四年生に卒論の中間発表を・三年生にはその特定質問者をつとめていただきます。秋学期には三年生にも各自の問題意識にしたがった発表をしていただき、全員で議論します。また年度末には(例年2月初旬)、提出された卒論に基づく公開の卒論発表会を行ない、ここでも3年生に特定質問者をつとめていただきます。

なお、卒論提出予定者は初回授業時にテーマ登録をしていただきますので、必ず出席して下さい(やむを得ない事情で出席できない場合は事前にたとえばガイダンス時 申し出て下さい)。この登録のない者は履修を認めませんので注意して下さい。

テキスト：

ヘーゲル『精神現象学』上、櫻山鉄四郎訳、平凡社ライブラリー

- 【07】哲学研究会 (1)(春学期)
- 【07】哲学研究会 (1)(秋学期)
- 【07】哲学研究会 (1)(春学期)
- 【07】哲学研究会 (1)(秋学期)
- 【04】哲学研究会 (2)(通年)
- 【04】哲学研究会 (2)(通年)

古代ギリシアの「魂」論 アリストテレス『魂について』を読む

教授 納富信留

授業科目の内容：

古代ギリシアの哲学は「魂(プシュケー)とは何か?」という問を展開させ、とりわけ、人間のあり方をめぐる考察の中核をなした。本演習では、アリストテレスの主著『魂について』(De Anima)を取り上げ、その議論を読み解くことで古代ギリシアの中核的問に迫ってみたい。

テキスト：

アリストテレス『魂について』、中畑正志訳、京都大学学術出版会(西洋古典叢書)

参考書：

授業時に紹介する

## 選 択 科 目

- 【07】印度哲学 (2)(春学期)
- 【07】印度哲学 (2)(秋学期)
- 【04】印度哲学(4)(通年)

インド的「知」の諸相

講師 齋藤直樹

授業科目の内容：

西暦紀元前 1300 年頃に西からヒンドゥークシュ山脈を越えて西北インドに侵入しパンジャブ地方を占領したひとびとは、みずからをアーリヤと呼んだ。この「高貴なるもの」たちは、『リグ・ヴェーダ』を嚆矢とするおびただしい数の典籍を語りついできた。この講義をつうじて「ヴェーダ」すなわち「知」を源流とする、アーリヤ人の思索のあとの一端をたどれば、かの地ではぐくまれた多様で豊穡な思想(ダルシヤナ)の世界への入り口へと目をむけることができるかもしれない。その「知」のキーワードのひとつが「解脱」であることのうちに、インド的思想の難解さとよそよそしさが根ざしている。「聖と俗」「有と無」「超越と内在」「遍在と局在」「永遠と瞬間」「精神と物質」などといった人間の「生と死」にかかわるもろもろの重大な対立の超克として「解脱」が目ざされているからである。それでも「解脱」という究極へと接近するために語りつがれた「ことば」(サンスクリット)のいくつかを読みとき、理解することによって、インド的な「知」の諸相を相対化することをこの講義の基本的な態度とする。そこから他の世界のさまざまな思想へのパースペクティブがひらかれることをのぞんで。

テキスト：

なし。

参考書：

授業中に適宜紹介する。

- 【07】宗教学 (2)(春学期)

- 【07】宗教学 (2)(秋学期)

- 【04】宗教学(4)(通年)

現代社会における宗教とスピリチュアリティ

講師 弓山達也

授業科目の内容：

本講義の目標は、現代宗教をめぐるホットなテーマについて学習し、(人数によるが)議論を通じて、現代人の精神状況や社会・時代について見識を深めていくことにある。宗教教団は学生諸君にとっては縁遠い存在かもしれないが、今流行のスピリチュアルや生命観は私たちの宗教意識と深く結びつきつつ、時代や社会の変化とともにその姿を変えている。こうした「見えざる宗教性」を浮かび上がらせるのが本講義のねらいである。

テキスト：

なし

参考書：

講義中に指示する。

# 倫理学専攻

## 必修科目

- 【07】倫理学概論 (2)(春学期)  
【07】倫理学概論 (2)(秋学期)  
【04】倫理学概論(4)(通年) 教授 樽井正義

### 授業科目の内容:

倫理学とはどのような科学ないし学問であるのかを理解することが、この時間の課題です。そのために、倫理学の基本概念である「善い(good)」と「正しい(right)」,そして「自由(free)」と「平等(equal)」といった主要概念の意味を、主として西欧近代および現代の実践哲学に即して考察します。あわせてそうした理論と、現代の医療倫理、環境倫理、情報倫理などにおいて取り込まれている倫理的諸課題とを、双方をつきあわせること(reflective equilibrium)を通じて検討します。

### テキスト:

ありません。

### 参考書:

小松光彦他編, 倫理学案内・慶應義塾大学出版会 2006  
他は授業中に指示します。

- 【07】【04】倫理学の基礎 (2)(春学期)  
教授 山内志朗

### 授業科目の内容:

倫理学の基礎テキストを読んでいく。古代ギリシアから西洋中世, 近代, 現代に及ぶ倫理学の基本テキストの中から, 毎回1回で扱えるものを選び, 分析していく。テキストは翻訳を用い, 長い著作の場合には重要な部分について, また論文の場合には, 1本を単位として扱う。出席者は, 候補リストの中から関心のあるものを選び, 担当する回のときに, それについてレジュメを作成した上で, 報告することが求められる。

参加者の数や希望分野(日本倫理思想やキリスト教・仏教・イスラーム教に関連するテキストを扱いたい学生がいた場合には別途リストを作成する)によって, 以下に挙げる文献候補リストは変わる場合がある。

### テキスト:

特になし。

### 参考書:

授業中に紹介する。

- 【07】【04】倫理学の基礎 (2)(秋学期)  
教授 山内志朗

### 授業科目の内容:

倫理学の基礎テキストを読んでいく。古代ギリシアから西洋中世, 近代, 現代に及ぶ倫理学の基本テキストの中から, 毎回1回で扱えるものを選び, 分析していく。テキストは翻訳を用い, 長い著作の場合には重要な部分について, また論文の場合には, 1本を単位として扱う。出席者は, 候補リストの中から関心のあるものを選び, 担当する回のときに, それについてレジュメを作成した上で, 報告することが求められる。

参加者の数や希望分野(日本倫理思想やキリスト教・仏教・イスラーム教に関連するテキストを扱いたい学生がいた場合には別途リストを作成する)によって, 以下に挙げる文献候補リストは変わる場合がある。

### テキスト:

特になし。

### 参考書:

授業中に紹介する。

- 【07】哲学倫理学原典講読 (独)(2)(春学期)  
【07】哲学倫理学原典講読 (独)(2)(秋学期)  
【04】哲学倫理学原典講読(独)(4)(通年) 教授 樽井正義

### 授業科目の内容:

独語で書かれた哲学・倫理学の文献を読解するための基本的な能力の取得が, この授業の目的です。

独文を音読し, 文章構造を解し, 言葉の変化・活用を覚え, 意味の広がりを知る, これによって書かれていることを理解する。文章毎に, 時間毎にこの積み重ねです。結果として, 日本語とも英語とも異なる言語があることを, 人の多様性の一つとして確認できればと考えています。

### テキスト:

春学期のテキストは担当者が用意します。秋学期は, 履修者が希望するテキストを購読します。

- 【07】哲学倫理学原典講読 (英)(2)(春学期)  
【07】哲学倫理学原典講読 (英)(2)(秋学期)  
【04】哲学倫理学原典講読(英)(4)(通年)  
近代イギリスのモラリストたち 准教授 柘植尚則

### 授業科目の内容:

この授業では, 近代イギリスのモラリスト(道徳思想家)のうち著名な人物をいくらか取り上げて, その思想を紹介しながら原典(抜粋)を講読します。

### テキスト:

プリントを配布します。

### 参考書:

柘植尚則『イギリスのモラリストたち』(研究社, 2009年)  
その他, 授業の中で紹介します。

- 【07】哲学倫理学原典講読 (仏)(2)(春学期)  
【07】哲学倫理学原典講読 (仏)(2)(秋学期)  
【04】哲学倫理学原典講読(仏)(4)(通年)  
教授 岡田光弘

### 授業科目の内容:

哲学・思想関係のテキストをフランス語で講読する訓練を行う。内容については初回授業の時に説明する。使用するテキストはプリントして配布する。

### テキスト:

プリントして配布

### 参考書:

授業時に指定

- 【07】哲学倫理学原典講読 (露)(2)(春学期)  
【07】哲学倫理学原典講読 (露)(2)(秋学期)  
【04】哲学倫理学原典講読(露)(4)(通年)  
教授 谷寿美

### 授業科目の内容:

受講者の語学力に応じたテキストを講読します。

受講希望者は必ず初回講義時に出席すること。

### テキスト:

語学力に応じて選択します。

- 【07】西洋哲学倫理学史 (2)(春学期)  
【07】西洋哲学倫理学史 (2)(秋学期)  
【04】西洋哲学倫理学史 (4)(通年)  
Archaeologyとしての哲学 教授 堀江 聡

### 授業科目の内容:

日本語で独習できる哲学者は省き, 初学者にはアクセスしにくい思想家を採り上げる。「拡大された中世哲学」の建て増し部分に重点を置き, なるべく興味ある話題を提供しようと思う。「拡大された」というのは, 従来, 西洋中世哲学史のなかに含められなかった, 或いは触れることができるほど学問が進歩していなかったという意味である。具体的には, フランスの哲学史家として著名なアラン・ド・リベラの枠組みに沿って, 東方イスラーム, 西方イスラーム, 中世ユダヤ思想, ビザンツ帝国の哲学に踏み込んでみる。その基礎となるのが, 思想としては紀元3~6世紀の新プラトン主義であり, 道具としては, 古代ギリシア語, アラビア語, ヘブライ語, ラテン語である。

### 参考書:

- ・アラン・ド・リベラ『中世哲学史』(阿部一智・永野潤・永野拓也訳), 新評論, 1999年。
- ・『中世思想原典集成 11. イスラーム哲学』(竹下政孝 監訳), 平凡社, 2000年。
- ・伊東俊太郎『12世紀ルネサンス 西欧世界へのアラビア文明の影響』岩波セミナーブックス 42, 1993年。
- ・水谷智洋『古典ギリシア語初歩』, 岩波書店, 1990年。
- ・小脇光男『聖書ヘブライ語文法』, 青山社, 2001年。
- ・佐々木淑子『アラビア語入門』, 青山社, 2000年。
- ・内山勝利・中川純男編著『西洋哲学史〔古代・中世編〕』, ミネルヴァ書房, 1996年。

- 【07】西洋哲学倫理学史 (2)(春学期)  
【07】西洋哲学倫理学史 (2)(秋学期)  
【04】西洋哲学倫理学史 (4)(通年)  
西洋近代の哲学・倫理学 准教授 柘植尚則

### 授業科目の内容:

この講義では, 西洋近代の哲学・倫理学の歴史を概説します。哲学専攻・倫理学専攻の2年生を主な対象とし, 学生が専門の研究に必要な基礎を習得することを目標としています。受講者は, 3・4年生向けに開講さ

れる専門科目に備えて、西洋の哲学・倫理学に関する幅広い知識を身につけ、それを自らのテーマに活かせるように努めてください。

テキスト：

柘植尚則編『西洋哲学史入門 6つの主題』(梓出版社, 2006年)

参考書：

授業の中で紹介します。

【07】【04】倫理学の課題 (2)(春学期)

原典で読む生命倫理 准教授 奈良 雅 俊

授業科目の内容：

生命倫理学という学際的領域に倫理学がどのような貢献ができるのかを検討することが、この時間の課題です。この領域が成立した歴史的背景、そこで確認されてきた倫理原則や重要概念について知るために、欧米のリーディングスに収録されている重要な論文を英語あるいは邦訳で読みます。また、論文の背景や意義について解説します。

テキスト：

論文のコピーを配布します。

参考書：

- ・赤林朗編『入門・医療倫理』頤草書房 2005年
- ・Helga Kuhse & Peter Singer (eds), Bioethics: an anthology Blackwell, 1999.

【07】【04】倫理学の課題 (2)(秋学期)

原典で読む環境倫理 准教授 奈良 雅 俊

授業科目の内容：

地球環境問題の解決に倫理学がどのような貢献ができるのかを検討することが、この時間の課題です。環境倫理学の考え方や主張について知るために、欧米のリーディングスに収録されている重要な論文を英語あるいは邦訳で読みます。また、論文の背景や意義について解説します。

テキスト：

論文のコピーを配布します。

参考書：

- ・ジョゼフ・R・デ・ジャルダン, 新田功/生方卓/蔵本忍/大森正之 訳『環境倫理学 環境哲学入門』人間の科学新社, 2005年
- ・Robert Elliot (ed.), Environmental Ethics, Oxford U.P., 1995.

【07】【04】倫理学の課題 (2)(春学期)

エイズを知る 講師 池上 千寿子

授業科目の内容：

エイズは「社会を映す鏡」といわれます。たかが25年の間に21世紀にもちこされた最大課題となったエイズ。なぜそうなったのかエイズのリアリティとは何かを考えることによって、社会のもつ具体的な倫理的課題についても考察し、エイズと共に生きることはいかなることかを理解することを目標とします。

テキスト：

エイズ&ソサエティ研究会「エイズを知る」角川書店, 2001, 600円

【07】【04】倫理学の課題 (2)(秋学期)

「戦争倫理」の研究 講師 中川 雅 博

授業科目の内容：

近年、倫理学の領域で戦争や紛争についての研究が進んでいます。しかし、大半が欧米の戦争観を紹介するにとどまっています。この現状を打破するため、本講義では、西洋の戦争観と比較しながら、日本の戦争観について考えます。日本の戦争観といっても、古代から現代まで幅広く扱うことはできないので、本年は太平洋戦争に影響したと考えられる仏教思想について各種のテキストを分析しながら考えます。

テキスト：

なし

参考書：

小松光彦・樽井正義・谷寿美編  
『倫理学案内～理論と課題』(慶應義塾出版会)

【07】哲学概論 (2)(春学期)

【07】哲学概論 (2)(秋学期)

【04】哲学概論(4)(通年) 教授 西脇 与 作

授業科目の内容：

哲学がどのようなものかを概説した上で、哲学の主要なテーマについて具体的に説明していきます。哲学、倫理学専攻の二年生を主に対象にし、哲学全般への入門授業と考えて下さい。この授業で哲学の基本的な事柄を知り、哲学の各論への準備にしてください。

テキスト：

『現代哲学入門』西脇与作, 慶應義塾大学出版会, 2002

【07】日本倫理思想 (2)(春学期)

【07】日本倫理思想 (2)(秋学期)

【04】日本倫理思想(4)(通年)

日本の道徳理論 講師 菅野 覚 明

授業科目の内容：

古代から近代に至る日本の道徳思想を、主に徳論の観点から概観する。

テキスト：

特に指定しない。適宜プリントを配布する。

参考書：

講義時にその都度紹介する。

【07】東洋倫理思想 (2)(春学期)

【07】東洋倫理思想 (2)(秋学期)

【04】東洋倫理思想(4)(通年)

中国古代理・中世倫理思想史入門 講師 森 由 利 亜

授業科目の内容：

この授業では古代から10世紀頃に至るまでの中国の倫理思想の歴史の展開を概説します。特に、儒教、道教、中国仏教をはじめとする中国の思想的、宗教的伝統における倫理観について、最も基本的な点を平易に解説します。中国の倫理や哲学、宗教に興味ある方にとっては無論のこと、中国以外の地域における倫理思想に関心のある方に対してはも役立つような適切な知識を提供する場にしていくことを目指します。

テキスト：

プリントを配付します。

参考書：

溝口雄三・丸山松幸・池田知久編『中国思想文化事典』東京大学出版社。他は授業中にお示しします。

【07】キリスト教概論 (2)(春学期)

【07】キリスト教概論 (2)(秋学期)

【04】キリスト教概論(4)(通年) 教授 谷 寿 美

授業科目の内容：

この時間は、二千年の歴史と各地域の風土的な差異を介して多様な発現を見、今も新たな展開途上にあるキリスト教のその源流的な側面に触れることを目的としている。そのため、展望する域としては限定的とならざるを得ない。が、今なお教えの源泉として読み継がれるキリスト教初期の基本文献を時間軸に沿って辿り直すことにより、教えの核となるもの、キリスト教がキリスト教である所以のその教えの独自性、不可代替性が何らか直感的にも感受されることを目指している。キリスト教にこれまで触れることのなかった人を基本的な対象として、旧約新約の概説的紹介から始め、教会教父の諸文献のプリントを通して、その精神性の軌跡を追う予定である。

春学期は、キリスト教成立以前から第七回公会議まで、教理面の形成過程を含めて見ていく。

秋学期は、そのようなキリスト教の精神がより原初的な形で継承されていると言われる東方キリスト教にまずは重心を置き、その一方でキリスト教の根本精神を体現した人々、あるいは、その精神を踏まえて、新たなキリスト教的共同体の理想を構想した人々の声に耳を傾ける予定である。が、時間の許す限り、西方教会においても輩出したキリスト教信仰の現代の優れた実践者にも目を向けたいと考えている。

テキスト：

授業時に随時指示します。

【07】倫理学研究会 (3年)(1)(春学期)

【07】倫理学研究会 (3年)(1)(秋学期)

【07】倫理学研究会 (4年)(1)(春学期)

【07】倫理学研究会 (4年)(1)(秋学期)

【04】倫理学研究会 (3年)(2)(通年)

【04】倫理学研究会 (4年)(2)(通年)

Ethics undergraduate course 31-1 倫理学研究会

[通年]教授 樽井 正義

[通年]准教授 エアトル, ヴォルフガング

授業科目の内容：

We will explore basic issues of moral theory and of (mostly contemporary) political philosophy. In the spring term the focus will be on moral theory and standard accounts of it, such as Utilitarianism, Kantianism and Natural Law Theory. In the autumn term we will turn to political philosophy, in particular to questions about liberal equality, multiculturalism and others. The seminar will be conducted in English and Japanese.

テキスト：

Timmons, Mark: *Moral Theory. An Introduction*. Rowman & Littlefield: Lanham 2004.

Kymlicka, Will: *Contemporary Political Philosophy. An Introduction*. Second Edition. Oxford, New York: OUP 2002.

## 選 択 科 目

【07】倫理学研究会	(3年)(1)(春学期)	
【07】倫理学研究会	(3年)(1)(秋学期)	
【07】倫理学研究会	(4年)(1)(春学期)	
【07】倫理学研究会	(4年)(1)(秋学期)	
【04】倫理学研究会	(3年)(2)(通年)	
【04】倫理学研究会	(4年)(2)(通年)	
現代フランス道徳哲学研究		准教授 奈良 雅 俊

### 授業科目の内容：

この研究会は、現代フランスの道徳哲学に関する個人研究を行うことを最終目標としています。授業では、学生による報告と20世紀以降のフランスの道徳哲学のテキストの講読を行います。本年度はベルクソン「笑い」を取り上げます。フランス語版と英語版も使用します。

### テキスト：

Henri Bergson, *Le rire*, PUF, 2007

### 参考書：

授業の中で紹介する

【07】倫理学研究会	(3年)(1)(春学期)	
【07】倫理学研究会	(3年)(1)(秋学期)	
【07】倫理学研究会	(4年)(1)(春学期)	
【07】倫理学研究会	(4年)(1)(秋学期)	
【04】倫理学研究会	(3年)(2)(通年)	
【04】倫理学研究会	(4年)(2)(通年)	教授 谷 寿 美

### 授業科目の内容：

ロシアの宗教哲学、倫理想を手がかりとして、自己及び他者との関係性の問題を考えます。

### テキスト：

1991  
N.O. Lossky: *History of Russian Philosophy* London 1952

### 参考書：

授業の中で指示します。

【07】倫理学研究会	(3年)(1)(春学期)	
【07】倫理学研究会	(3年)(1)(秋学期)	
【07】倫理学研究会	(4年)(1)(春学期)	
【07】倫理学研究会	(4年)(1)(秋学期)	
【04】倫理学研究会	(3年)(2)(通年)	
【04】倫理学研究会	(4年)(2)(通年)	
近代イギリス道徳哲学研究		准教授 柘 植 尚 則

### 授業科目の内容：

この研究会は近代イギリス道徳哲学の個人研究を最終の目標としています。受講者は各自でテーマを決めて思想家を選び、原典を読んで研究し、その成果を研究会で発表して論文を作成します(テーマは自由ですが、思想家については近代イギリスに限ります)。なお、必要に応じて個別指導も行います。

### テキスト：

柘植尚則『イギリスのモラリストたち』(研究社, 2009年)

### 参考書：

授業の中で紹介します。

【07】倫理学研究会	(3年)(1)(春学期)	
【07】倫理学研究会	(3年)(1)(秋学期)	
【07】倫理学研究会	(4年)(1)(春学期)	
【07】倫理学研究会	(4年)(1)(秋学期)	
【04】倫理学研究会	(3年)(2)(通年)	
【04】倫理学研究会	(4年)(2)(通年)	教授 山 内 志 朗

### 授業科目の内容：

和辻哲郎の『倫理学』(全4冊, 岩波文庫)を読破する。卒論指導も加味して授業を進めます。和辻の『倫理学』を読破するためには、毎回膨大な量を読む必要がある。回数が不足する場合には合宿を行い、万難を排して読破する。

### テキスト：

和辻哲郎『倫理学』(岩波文庫, 全4冊)

### 参考書：

授業中に紹介する。

【07】倫理学洋書講読	(2)(春学期)	
【07】倫理学洋書講読	(2)(秋学期)	
【04】倫理学洋書講読	(4)(通年)	
Advanced Readings in Ethics 倫理学洋書講読		准教授 エアトル, ヴォルフガング

### 授業科目の内容：

This course is meant to provide an opportunity for reading and discussing passages from some of the major works of the Western ethical tradition in English. In the spring semester we shall focus on normative ethics and take on selections from Plato's *Gorgias*, Aristotle's *Nicomachean Ethics*, Aquinas's *Summa Theologiae*, Kant's *Grundlegung zur Metaphysik der Sitten* and Mill's *Utilitarianism*. These texts illustrate many different approaches to the ethical key question as to how we should live and therefore they help us understand what normative ethics is about.

In the autumn term we will turn to metaethics. Metaethics tries to solve quite different, rather abstract problems. For example, it tries to determine what a moral property, such as goodness, is and how we can know about it. Is goodness similar to redness or squareness or is it something completely different? How can we know about goodness? If something is good, do we automatically have a reason to pursue it or is there no such connection. Metaethicists also investigate whether morality might be a huge illusion with no place in a world accounted for by natural science.

We shall read texts by Moore, Ayer, Mackie, as well as passages from recent papers by Blackburn and McDowell.

### テキスト：

A selection of relevant texts will be announced in the first class.

### 参考書：

Blackburn, Simon: *Being Good. A short introduction to ethics*. Oxford, New York: OUP 2001

【07】中国哲学	(2)(春学期)	
【07】中国哲学	(2)(秋学期)	
【04】中国哲学	(4)(通年)	
中国近世哲学史入門		講師 森 由 利 亜

### 授業科目の内容：

この授業では、10世紀以降の中国思想の歴史を概説します。日本をはじめ東アジア世界にも大きな影響を与えた朱子学と陽明学を中心としつつ、それらと交渉をもつ近世の様々な宗教思想や倫理想を論じます。さらに近世の思想がどのように中国の「近代」へと継承されていったのかを考えます。

### テキスト：

プリント教材を配付します。

### 参考書：

溝口雄三・丸山松幸・池田知久編『中国思想文化事典』東京大学出版社。他は授業中にお示しします。





【07】哲学倫理学特殊 (2)(春学期)

【07】哲学倫理学特殊 (2)(秋学期)

【04】哲学倫理学特殊(4)(通年)

様相論理入門～意味論を中心に～ 講師 串田 裕彦

授業科目の内容：

現代の様相論理の意味論的側面を中心に、基礎から発展的内容までを概観する。S4, S6 など基礎的な論理体系に関する可能世界モデルに習熟し、いくつかのメタ定理のモデルを使った証明を理解する。そして最近の発展的な話題として、Prior に淵源するハイブリッド論理、Artemov の証明の論理(正当化の論理)や Beklemichev による(様相論理の)算術証明論への応用などを取り上げ、論理的諸問題を検討する。

テキスト：

B.F.Chellas, *Modal Logic: an Introduction*, Cambridge University Press, 1980.

参考書：

Handbook of Modal Logic,  
edited by P. Blackburn, J. F. van Benthem, F. Wolter, Elsevier Science, 2007.

Sergei Artemov,  
Explicit provability and constructive semantics, *Bulletin of Symbolic Logic*, 7(1), 2001, pp. 1-36.

【07】哲学倫理学特殊 (2)(春学期)

【07】哲学倫理学特殊 (2)(秋学期)

【04】哲学倫理学特殊(4)(通年)

『純粋理性批判』研究 講師 山根 雄一郎

授業科目の内容：

イマヌエル・カントの著『純粋理性批判』(第二版)演繹論(§13以下)のドイツ語原典を精読し、彼の「批判哲学」の骨格をなす批判的認識論のアウトラインを理解することを目指します。演習形式で行います。ドイツ語未修者は英訳書(例えばケンブ・スミス訳, ガイヤー訳)で参加しても結構ですが、この機会にドイツ語を習得する意志を有することを条件とします。

テキスト：

Felix Meiner 社刊行の *Philosophische Bibliothek* (略称 PhB. 通称「哲学文庫」)所収の Immanuel Kant: *Kritik der reinen Vernunft* を使用します。旧版でも結構です。

参考書：

上記テキスト巻末の文献一覧を参照して下さい。

【07】哲学倫理学特殊 (2)(春学期)

【07】哲学倫理学特殊 (2)(秋学期)

【04】哲学倫理学特殊(4)(通年)

インド古典文献学入門 講師 齋藤 直樹

授業科目の内容：

この授業はサンスクリット文献の原典講読をつうじてインド古典文献学への案内となることを目指すものである。テキストとして、大乘仏教の教理的な規範をきざしたナーガールジュナ(ca. 150-250 A. D.)の『中論』とそれへの注釈を使用する予定である。ただし、受講者の希望があれば他の典籍を取り上げることに支障はない。『中論』にかんしていえば、この書はとくに中観派とよばれる学統の根本教書と見なされるのみならず、仏教の言説にたいする基本的な指針をあたえたものとして捉えることもできる。そこで展開される議論が、おもに「空性」「無自性」「縁起」といった、大乘的な思想の根幹をなす概念にかかわるからである。

テキスト：

校訂出版されているサンスクリットテキストとその和訳のコピーを授業中に配布する。

参考書：

辻直四郎『サンスクリット文法』岩波全書

【07】哲学倫理学特殊 (2)(春学期)

【07】哲学倫理学特殊 (2)(秋学期)

【04】哲学倫理学特殊(4)(通年)

自由意志 特別研究准教授 小川 芳範

授業科目の内容：

自分の行為は自分次第である。自分の行為にはコントロールをもって。通常、私たちはそう考えている。しかし、これは本当なのだろうか？そして、そもそも自分の行為が「自分次第」とあるとはどういうこ

となのだろうか？本講義においては、いわゆる「自由意志」をめぐる哲学的諸問題について、Pink 書の精読を通じて、理解を深めることを主眼とする。また、自由意志問題に対して、Pink が試みるリバータリアニズムの立場からの「解決」について、分析哲学および認知科学における近年の成果を参照しつつ、その成否を批判的に考察したい。

テキスト：

Thomas Pink, *Free Will: A Very Short Introduction*, Oxford University Press, 2004

参考書：

Daniel C. Dennett, *Elbow Room*; Daniel Wegner, *The Illusion of Conscious Will*; Thomas Pink, *The Psychology of Freedom* など

【07】哲学倫理学特殊 (2)(春学期)

【07】哲学倫理学特殊 (2)(秋学期)

【04】哲学倫理学特殊(4)(通年)

ドゥルーズ哲学研究 講師 國分 功一郎

授業科目の内容：

ジル・ドゥルーズ(1925-1995)の哲学について解説していきます。

また、ドゥルーズを通じて、いわゆる「フランス現代思想」の課題が何であったのかについても考えていきます。

テキスト：

特に指定しません。

参考書：

特に指定しません。

【07】哲学倫理学特殊 (2)(春学期)

【07】哲学倫理学特殊 (2)(秋学期)

【04】哲学倫理学特殊(4)(通年)

東方キリスト教ヘーシュカスト(ヨーガ行者?)の知性観・身体観 教授 堀江 聡

授業科目の内容：

後期ギリシア教父の伝統に連なるグレゴリオス・パラマス(1296-1359年)の『聖なるしかたで静寂修道する人々の擁護論』をギリシア語原典から抜粋して講読する。これまで、擬ディオニュシオス・アレオパギテースの『神名論』『神秘神学』『天上位階論』、マクシモス・コンフェッソール(580-662)の『アンビグア』を採りあげ、神から発し神へと還る動きのうちに万有を洞観し、「超越に貫かれたもの」として人間を捉える思想系譜を辿ってきた。その潮流に掉さすものとして、しばらくは、訪れる人として稀なこの東方師父の霊性の泉に静かに釣瓶を落としてみたい。同書三部のそれぞれが三章からなるというエンネアディック(9つ組)な構成であり、さらにその各章は順に、(23/12/52)+(44/30/78)+(41/27/16)節を含む総計323節の大著となっている。このパラマスの著者が擁護するギリシアのアトス山の修道士における神を観るための祈りの方法は、顎を胸につけ、呼吸を整え、臍(臍下丹田?)を凝視するといったヨーガを彷彿させる身体的実践を伴う点で、既知のギリシア哲学的知性観・身体観の変革を迫るものであることが予想される。

テキスト：

Grégoire Palamas, *Défense des saints hésychastes*, introduction, texte critique, traduction, et notes, 2 tomes, ed. Jean Meyendorff, Louvain, 1959.

参考書：

大森正樹『エネルギーと光の神学』, 創文社, 2000年。

【07】哲学倫理学特殊 (2)(春学期)

【07】哲学倫理学特殊 (2)(秋学期)

【04】哲学倫理学特殊(4)(通年)

道徳心理学と原則なき倫理学の可能性

講師 河野 哲也

授業科目の内容：

従来、倫理学は、カント主義せよ功利主義にせよ、道徳性を法に近いものとして、原則を有すべきものとして理解してきました。しかしながら、道徳性を、行為を事後に裁く原則としてではなく、日々の行動なかで行為を導くものとして考えたならば、むしろ原則は道徳的行動を阻害する非現実的なものなのではないでしょうか。

本講義では、善悪に関して個別主義的な実在論の立場を展開し、道徳性の実在論、規範性の起源、道徳性と人間心理の関係などのテーマを考察しながら、人間に道徳的行動を促す原則なき倫理学の可能性について論じていきたいと思います。

テキスト：

河野哲也『善悪は実在するか』(講談社メチエ)

参考書：

河野哲也『エコロジカルな心の哲学』『環境に広がる心』(共に勁草書房)

- 
- 【07】哲学倫理学特殊 (2)(春学期)  
【07】哲学倫理学特殊 (2)(秋学期)  
【04】哲学倫理学特殊(4)(通年) 教授 納 富 信 留  
プラトン『国家』中心巻を読む 教授 堀 江 聡
- 

授業科目の内容:

プラトンの主著とされる『国家』は、その哲学的射程において西洋哲学でもっとも重要な著作に数えられてきた。本授業では、その『国家』の中心巻(7~8巻)を原文にそくして読み解き議論していく。そこでは、哲学者教育と国制墮落論が論じられており、古代哲学だけでなく、およそ哲学を学ぶ者には必読の議論である。訳書を自分で読むことは難しくないが、原テキストと向き合いそこでじっくりと徹底的に思索することは、哲学の何よりの訓練となるはずである。

本授業では毎回一定量のギリシア語を正確に読み進めることを目標とし、ギリシア語初級を終えた者は毎回数行ずつ担当する。ギリシア語未習得でプラトン哲学の内容に関心がある者は、授業と並行してギリシア語の習得を進めること。第1巻から7巻前半までの議論は、各自が訳書でおさらいしておく。

テキスト:

- ・プラトン『国家』、藤沢令夫訳、全二巻、岩波文庫
- ・S. R. Slings, *Platonis Respublica*, Oxford Classical Texts, 2003
- ・J. Adam, *The Republic of Plato*, 2nd ed. Vol.2, Cambridge University Press, 1975

参考書:

授業時に紹介する。

- 
- 【07】哲学倫理学特殊 (2)(春学期)  
【07】哲学倫理学特殊 (2)(秋学期)  
【04】哲学倫理学特殊(4)(通年)  
心の哲学と現代形而上学 講師 小 山 虎
- 

授業科目の内容:

心の哲学、特に分析哲学で行われている心の哲学では、現代形而上学に依拠した概念が広く活用されているため、議論の内容を正確に把握するためには現代形而上学について一定の知識を持っていることが不可欠になりつつあります。本講義では、現代形而上学との関連をできるだけ詳しく説明しながら、心の哲学の諸問題を概説します。春学期は心身問題から始まる「心はどのような存在なのか?」という問いを中心に扱います。秋学期は行為論とそれに関連する問題を主に扱います。目標とするのは、心の哲学と現代形而上学の関係を理解すること。特に様相の形而上学がどのような役割を果たしているかを理解することです。

テキスト:

特に指定しません。資料を配布します。

参考書:

講義中で紹介します。

- 
- 【07】哲学倫理学特殊 (2)(春学期)  
【07】哲学倫理学特殊 (2)(秋学期)  
【04】哲学倫理学特殊(4)(通年)  
プロタゴラス研究 - 古代ギリシア哲学資料研究論 -  
教授 納 富 信 留
- 

授業科目の内容:

古代ギリシア哲学を研究するにあたり、現代までに伝承された資料の成り立ちの分析と現存資料から元の思想の復元は、きわめて重要な側面をなす。それは考古学からの歴史復元にもたとえられるが、地道な作業と慎重な方法論の実践が必要となる。本研究では、担当者が近年従事しているギリシアの思想家プロタゴラスに関する資料を対象とし、そのソフィストとしての活動や徳論、神論、「相対主義」といった学説を精緻に検討していく。狭くギリシア哲学に限らない、哲学への文献学的・歴史学的アプローチの訓練ともなる。

授業では伝承された証言資料の検討を主に行うが、プラトン『プロタゴラス』『テアイテトス』も検討対象とする。毎回、基本テキストを読み解くことで(ギリシア語原文と日本語または英語の翻訳)その哲学的含意を議論する。基本的に講義形式であるが、活発な議論による演習的な要素も取り入れる。

テキスト:

基本テキストはコピーで配布するが、必要に応じて指定の本を買ってもらうことがある。

参考書:

内山勝利編『ソクラテス以前哲学者断片集』(第5分冊、岩波書店)

- 
- 【07】哲学倫理学特殊 (2)(春学期)  
【07】哲学倫理学特殊 (2)(秋学期)  
【04】哲学倫理学特殊(4)(通年)  
旧約聖書ヘブル語原典研究(詩文テキスト)  
講師 津 村 俊 夫
- 

授業科目の内容:

春学期は、詩篇を講読しながら、ヘブル詩の並行法について学び、秋学期には、雅歌の原典講読を行なう。

テキスト:

*Biblia Hebraica Stuttgartensia* (ハードカバー) ¥6733 (ペーパーバック) ¥3320.

参考書:

Brown-Driver-Briggs, *Hebrew and English Lexicon* (Hendrickson, 1996) \$23.

- 
- 【07】哲学倫理学特殊 (2)(春学期)  
【07】哲学倫理学特殊 (2)(秋学期)  
【04】哲学倫理学特殊(4)(通年)  
幸福をめぐる問題 商学部 教授 成 田 和 信
- 

授業科目の内容:

この授業では、現代の英語圏での議論を参照しながら、「幸福」をめぐる問題を検討します。現代の英語圏では、「幸福とは何か」をめぐる提出されている理論を、心的状態説、欲求実現説、客観説の3つに分類しています。まずは、この3つの説がどのようなものなのかを、Shelly KaganやDerek Parfitの文献を読むことで概観し、議論の出発点となる枠組みを獲得します。その後、春学期には、欲求実現説を検討します。秋学期には、客観説を吟味します。さらに、「個人的関係」や「生きがい」や「主観的価値」といった周辺概念へも話を拡大し、考察を深めていければよいと思っています。

テキスト:

プリントを配布します。

- 
- 【07】哲学倫理学特殊 (2)(春学期)  
【07】哲学倫理学特殊 (2)(秋学期)  
【04】哲学倫理学特殊(4)(通年)  
自己の探求 ルソーを思想史的コンテクストのなかで読む  
講師 坂 倉 裕 治
- 

授業科目の内容:

自己の探求は、西洋哲学の重要な問いのひとつであり続けている。この講義では、18世紀フランスで活躍した思想家ルソーのテキストを、思想史的コンテクストのなかに置き直して読み解く。この作業を通じて、近代思想の特徴について考察するとともに、思想史研究の方法(作法)について学ぶ。本年度は、神と人間の関係に注目して、17・18世紀の神学論争を通じて蓄積された「神への愛」と「自己愛」の関係をめぐる道徳論議とつきあわせながら、ルソーの著作を読み解いていく。講義とテキストの講読を組み合わせながらすすめる予定である。

テキスト:

フランス語の原典テキスト(抜粋)はプリントを配布する。日本語訳のあるものについては随時紹介するので、必要であれば購入すること。

参考書:

必要に応じて指示する。

# 美学美術史学専攻

## 必修科目

【07】芸術研究基礎 (セ)(1)(春学期)	
【07】芸術研究基礎 (セ)(1)(秋学期)	
【04】芸術研究基礎(2)(通年)	教授 大石 昌史 教授 遠山 公一 准教授 内藤 正人 アート・センター 准教授(有期) 渡部 葉子

### 授業科目の内容:

3年間の専門課程の勉強を開始する2年生に、本専攻学生として必要不可欠な常識、基礎知識、方法論を習得してもらう必修科目である。基本的には芸術学的な方法に基づいて、素材・芸術区分・ジャンル・時代区分・様式・主題(図像)について述べ、それぞれのアプローチの仕方、参考文献の調べ方などを講じる。実際に作品のディスクリプション(形態記述)や見学旅行(美学旅行)を通して、実際の作品を見て、実地の調査を行う。

### テキスト:

授業中にプリントを配布。

### 参考書:

『美学事典』弘文堂

【07】美学美術史学原典講読 (英)A(セ)(1)(春学期)	
【07】美学美術史学原典講読 (英)A(セ)(1)(秋学期)	
【04】美学美術史学原典講読 (英)A(2)(通年)	名著を通して学ぶ17世紀イタリアのバロック美術 准教授 金山 弘昌

### 授業科目の内容:

本講義では、英語で著された美学美術史学の基本的著作や論文を読みこなす能力の養成を第一の目的とします。そしてテキストの講読を通じて個々の研究テーマや方法論についての理解を深めることを第二の目的とします。本年度は、17世紀イタリアのバロック美術をテーマとし、関連する以下のテキストを読んでいきます(実際に使用する版については授業で指示します)。

Rudolf Wittkower, *Art and Architecture in Italy 1600-1750*, 1st ed., Harmondsworth, 1958.

### テキスト:

特に指定しません。教材はプリントとして配布します。

### 参考書:

授業中に指示します。

【07】美学美術史学原典講読 (英)B(セ)(1)(春学期)	
【07】美学美術史学原典講読 (英)B(セ)(1)(秋学期)	
【04】美学美術史学原典講読 (英)B(2)(通年)	准教授 後藤 文子

### 授業科目の内容:

英語で書かれた美術史に関する文献を読む演習です。内容を理解する力を身につけ、またあわせて基本的な文献・資料の探し方や活用法、美術史に関わる基本概念、時代の動向、方法論等について学びます。授業では、あらかじめ分担者を決めテキストの翻訳を行い、適宜、テキスト中で言及される重要な作家や作品等について小レポートを準備してもらう機会なども設けたいと思います。テキストとそこから派生するさまざまな問題の理解にとって必要な参考文献は適宜紹介します。講読テキストはいずれも、近年ニューヨーク近代美術館で開催された近代のドローイングに関する展覧会図録所収論文です。1)については本論に関連するトピックス15項目(Mark, Disegno, Ground, Uncanny, Informe, Expressionなど)も並行して講読します。

### テキスト:

1) Jodi Hauptman, *Drawing from the Modern. Imagination without Strings*, New York 2004, 2) Luis Pérez-Oramas, *An Atlas of Drawings. Transforming Chronologies*, New York 2006 いずれの教材もコピーで配布します。

### 参考書:

適宜、授業中に指示します。

【07】美学美術史学原典講読 (英)C(セ)(1)(春学期)	
【07】美学美術史学原典講読 (英)C(セ)(1)(秋学期)	
【04】美学美術史学原典講読 (英)C(2)(通年)	教授 大石 昌史

### 授業科目の内容:

美学あるいは芸術理論に関する文献の講読を通じて、基本的な芸術研

究の方法の習得を目的とする。授業形態は、テキストの論訳(翻訳)、注釈的解説、問題点の指摘、それに対する参加者の討論という形をとる。

### テキスト:

Arthur C. Danto, "The transfiguration of the commonplace"(コピー配付)

【07】美学美術史学原典講読 (英)D(セ)(1)(春学期)	
【07】美学美術史学原典講読 (英)D(セ)(1)(秋学期)	
【04】美学美術史学原典講読 (英)D(2)(通年)	教授 遠山 公一 講師 神谷 久美子

### 授業科目の内容:

論文の読み方、文献の記述の仕方、註の付け方などを、英文による学術論文を講読することを通じて学ぶ。

### テキスト:

Emma Barker, Nick Webb, and Kim Woods (eds.), *The Changing Status of the Artist*, Yale University Press, New Haven-London.

【07】美学美術史学原典講読 (英)E(セ)(1)(春学期)	
【07】美学美術史学原典講読 (英)E(セ)(1)(秋学期)	
【04】美学美術史学原典講読 (英)E(2)(通年)	准教授 西川 尚生

### 授業科目の内容:

西洋音楽史の基本的な文献を読み、音楽史および音楽学の基本的な概念と方法論を学ぶ。春学期は *The New Harvard Dictionary of Music*, Harvard University Press, 1986 の主要項目("Baroque", "Romantic", "Sonata form", "Symphony", "Opera", "Mass", "Absolute music", "Program music", "Twelve-tone music など)を読み、音楽史の基礎知識を身につけてもらう。秋学期はそれを踏まえて、音楽通史(*The New Oxford History of Music*)もしくは個別の論文を読む予定である。秋学期のテキストに関しては、履修者と相談の上決定したい。

### 参考書:

授業中に指示する。

【07】美学美術史学原典講読 (英)F(セ)(1)(春学期)	
【07】美学美術史学原典講読 (英)F(セ)(1)(秋学期)	
【04】美学美術史学原典講読 (英)F(2)(通年)	講師 藤井 孝一

### 授業科目の内容:

バレエ、ミュージカル、オペラなど、近現代の舞台芸術、およびポピュラー音楽に関する英語の文献を購読する。

### テキスト:

春学期はまず下記の2つの音楽事典から、舞台芸術に関する項目を抜粋して購読することから始める。(初回授業時に指示する。)

Stanley Sadie and John Tyrrell (eds), *The New Grove Dictionary of Music and Musicians*, 2nd ed., London: Macmillan; New York: Grove's Dictionaries, 2001.

Alison Latham ed., *The Oxford companion to music*, Oxford: New York: Oxford University Press, 2002.

### 参考書:

授業中に基本的なリファレンスのリストを配布する。その他、適宜指示する。

【07】美学美術史学演習 (セ)(1)(春学期)	
【07】美学美術史学演習 (セ)(1)(秋学期)	
【04】美学美術史学演習(2)(通年)【春】	講師 佐藤 サアラ
【秋】	教授 林 温

### 【春学期】

### 授業科目の内容:

足利將軍家の同朋衆によって著された『君台観左右帳記』をテキストとします。本書は、中国からはいつてきた文物について、従来のように盲目的に受け入れるにとどまらず、初めて日本的な解釈を加えた書ともいべきものです。これを購読してゆくことによって日本人の価値観の成立をみてゆきます。画人録、座敷飾り、器物の三部から成っていますが、授業では座敷飾りと器物の部を扱います。毎回受講者2~3人ひと組による発表形式で進めます。

### テキスト:

『茶道古典全集 第二巻』収録の「君台観左右帳記」をコピーしてテキストとします。

### 参考書:

適宜支持します。

### 【秋学期】

### 授業科目の内容:

日本美術史を学ぶ上で必要な事項について解説します。現代では近世以前の日本美術に接する機会が極端に減っており、日本美術が制作され

た社会的・思想的な背景や人々に共有されていた教養・禁忌などが、もはや常識ではなくなっています。それらの知識を抜きにして日本美術を味わうことは美的体験あるいは文学的企図として可能ですが、人文科学とはいえません。美術史学は美術がどのようにして生まれ、享受され、維持されてきたのかを作品から読み解く作業です。この授業では、特に日本古代中世の美術を学ぶ上で不可欠な「仏教」に注目し、美術作品の中でどのように現れ、関わっているのか具体的に説明します。

テキスト：

適宜、授業中に配布する。

参考書：

『日本美術館』(小学館)『原色図典 日本美術史年表』(1997 集英社)

【07】美学美術史学演習 (セ)(1)(春学期)

【07】美学美術史学演習 (セ)(1)(秋学期)

【04】美学美術史学演習(2)(通年)

音楽学の基礎訓練

教授 三宅幸夫

授業科目の内容：

本演習では、西洋の芸術音楽を研究する際に避けて通れない作品を具体例として、楽譜を読み解く基礎的な能力を養います。作曲技法や時代様式の把握が主たる目的ですが、さらに音楽をその時代の文化のなかに位置づけることも試みます。音楽の基礎知識(「楽典」程度)を有していることが前提となりますので、これが欠けている受講生は遅くとも連休明けまでに「楽典」を自学自習しておく必要があります。

テキスト：

毎回、楽譜資料のプリントを配布します。

参考書：

授業時に適宜指示します。

【07】美学美術史学演習 (セ)(1)(春学期)

【07】美学美術史学演習 (セ)(1)(秋学期)

【04】美学美術史学演習(2)(通年)

西洋美術史通史

准教授 金山弘昌

授業科目の内容：

専門性の高い各論に至る前に必要な西洋美術史の基礎知識(建築・彫刻・絵画)を一通り身につけることを目的とします。古典古代から19世紀近代までの西洋美術の通史を、駆け足で見えていくこととなります。様式史が基本となりますが、図像学の知識、図像解釈学の実例、作品の社会的機能やパトロンについてなど社会的コンテクストにおける美術の役割にも言及します。これによって、各時代についての必要な知識と問題意識が学べるはずで

テキスト：

毎回、プリントを配布します。

参考書：

ゴンブリッチ『美術の歩み』美術出版社(新訳『美術の物語』フィンドン)、高階・三浦編『西洋美術史ハンドブック』新書館、『新潮世界美術事典』、小学館『世界美術大全集』、ジェームズ・ホール『西洋美術解説事典』河出書房新社など。その他、適宜授業中に指定します。

【07】美学美術史学演習 (セ)(1)(春学期)

【07】美学美術史学演習 (セ)(1)(秋学期)

【04】美学美術史学演習(2)(通年)

教授 大石昌史

授業科目の内容：

春学期には、カントの『判断力批判』の「美的判断力の批判」について、秋学期には、ヘーゲルの『美学講義』について、翻訳テキストを読解しつつ、解説する。

テキスト：

・カント『判断力批判』(上)(牧野英二訳、岩波書店『カント全集』第8巻)

・ヘーゲル『美学講義』(上中下)(長谷川宏訳、作品社)

参考書：

授業中に指示する。

【07】美学美術史学原典講読 (伊)(セ)(1)(春学期)

【07】美学美術史学原典講読 (伊)(セ)(1)(秋学期)

【04】美学美術史学原典講読 (伊)(2)(通年)

講師 細野喜代

授業科目の内容：

イタリア語で書かれた西洋美術史に関する論文を読み、その内容を理解する力を身につけることを目的とします。下記のテキストを中心に訳読していきますが、その他のイタリア・ルネサンス絵画に関する論文、著作も適宜用います。

テキスト：

L'ultimo Tiziano e la sensualità della pittura, a cura di Sylvia Ferino-Pagden, Catalogo della Mostra, Venezia, 2008.

参考書：

授業中に指示します。

【07】美学美術史学原典講読 (独)(セ)(1)(春学期)

【07】美学美術史学原典講読 (独)(セ)(1)(秋学期)

【04】美学美術史学原典講読 (独)(2)(通年)

教授 大石昌史

授業科目の内容：

ドイツ語で書かれた美学あるいは芸術理論に関する文献の講読を通じて、基本的な芸術研究の方法の習得を目的とする。授業形態は、テキストの輪読(翻訳)、注釈的解説、問題点の指摘、それに対する参加者の討論という形をとる。ドイツ語の読解能力の習得も本授業の目的である故、基本的な文法事項の解説も合わせて行われる。

テキスト：

Wilhelm Dilthey, "Die Einbildungskraft des Dichters"(コピー配付)

【07】美学美術史学原典講読 (日)(セ)(1)(春学期)

【07】美学美術史学原典講読 (日)(セ)(1)(秋学期)

【04】美学美術史学原典講読 (日)(2)(通年)

江戸期の版本を読む

准教授 内藤正人

授業科目の内容：

江戸期に出版された地誌書や文学書、絵本など、美術史と関連の深い史料を講読する。テキストには、当時の変体仮名で書き記された原本(例、歌書や地誌書など)を複製して使用する。したがって、本授業ではくずし字読解の基礎を身につけると同時に、その内容の理解を図るものである。

テキスト：

随時配布する。

参考書：

随時指示する。

【07】美学美術史学原典講読 (仏)(セ)(1)(春学期)

【07】美学美術史学原典講読 (仏)(セ)(1)(秋学期)

【04】美学美術史学原典講読 (仏)(2)(通年)

講師 望月典子

授業科目の内容：

フランス語で書かれた美術史に関わる文献を読む演習です。美術史研究に欠かすことのできない基本的なレファレンス・ブック、展覧会カタログ、カタログ・レゾネ、研究論文、批評、同時代資料など、様々な文脈で書かれたテキストを適宜用いながら、フランス語で文献を読み、内容を理解する力を身につけます。同時に、卒論に向けて具体的な研究方法と文献の探し方・活用の仕方も学びます。主に17世紀~19世紀前半のフランス美術に関連する文章を取り上げます。

テキスト：

プリントで配布します。web サイトからもダウンロードできます(URLは授業中に指示)

参考書：

F. Giboulet et M. Mengelle-Barilleau, La Peinture, Paris, 1998; N. Laneyrie-Dagen, Live la peinture, 2 vols, Paris, 2006 2007.その他、授業中に指示します。

【07】美学概論 (セ)(2)(春学期)

【07】美学概論 (セ)(2)(秋学期)

【04】美学概論(4)(通年)

教授 大石昌史

授業科目の内容：

春・秋学期を通じて、以下の4部14項目について講義する。

春学期：第 部：美学の方法と対象(美学と芸術学、美学の主要な流れ、美とその位相、自然・芸術・技術) 第 部：芸術の体系(芸術概念の歴史の変遷、芸術の体系的分類、芸術史の概要)

秋学期：第 部：芸術現象の原理的考察(芸術現象の構成要素、表現と創造、芸術作品の存在論、美的体験と作品解釈) 第 部：現代の芸術状況(芸術と社会、芸術記号論、芸術の終焉)

参考書：

授業中に指示する。

【07】【04】芸術学(2)(春学期)

美術作品への基礎的アプローチ

講師 望月典子

授業科目の内容：

本講では、芸術学(Kunstwissenschaft)の主要分野である造形芸術に関する原理的、歴史的研究方法、すなわち、美術史学の方法論について概観します。春学期は、美術作品への基礎的アプローチとして、形式分析・様式論、精神史としての美術史、心理学的・精神分析学の方法、社会史的方法および作品の題材と主題・意味内容に関わる図像学(イコノグラフィ)・図像解釈学(イコノロジー)を取り上げ、具体的な作品分析例を参照しつつ、それぞれの方法論の特徴とその成果および限界を検

討します。

テキスト：

特に指定しません。

参考書：

授業中に指示します。

【07】【04】芸術学(2)(秋学期)

美術作品へのアプローチの多元化 講師 望月典子

授業科目の内容：

春学期に引き続いて、芸術学(Kunstwissenschaft)の主要分野である美術史学の方法論について概観します。近年、伝統的な美術史学を批判的に乗り越えようとする「新しい美術史学」(ニュー・アート・ヒストリー)が展開し、美術作品へのアプローチがますます多元化していきました。秋学期では、社会的・社会学的方法の発展と深化と言えるコンテキスト論、視覚文化史、受容研究、作品の機能論、さらには記号論、ジェンダーの視点を取り入れた解釈について紹介し、絵画ジャンルに沿った具体的な作品解釈例の検討を通して、新旧それぞれの方法論の有効性と限界を探ります。また、美術制度、パトロネージ、美術市場など、美術と社会の具体的な関わりに注目し、芸術学のアクチュアルな側面として、美術館での美術教育について考えます。

テキスト：

特に指定しません。

参考書：

授業中に指示します。

【07】東洋美術史概説 A(セ)(2)(春学期)

【07】東洋美術史概説 A(セ)(2)(秋学期)

【04】東洋美術史概説A(4)(通年)

休講

【07】東洋美術史概説 B(セ)(2)(春学期)

【07】東洋美術史概説 B(セ)(2)(秋学期)

【04】東洋美術史概説B(4)(通年)

江戸期の個性豊かな絵画世界 准教授 内藤正人

授業科目の内容：

日本美術史のうち、近世期、江戸時代に開花した個性的な絵画作品について考察する。昨今、江戸時代の絵画の魅力があらためて見直され、その特異な造形が海外をも含む数多くの人々の関心を集めている。ここでは、江戸時代を象徴する絵画芸術として、二つの断面を設定し、その詳細をみていきたい。

春学期は京都画壇研究として、江戸後期の写生画派・円山応挙とその一門、奇想派・伊藤若冲らについて論じる。

秋学期は浮世絵研究として、幕末の名所絵師として知られる歌川広重の、多様な作品群について論じる。

テキスト：

随時指示する。

参考書：

随時指示する。

【07】西洋美術史概説 A(セ)(2)(春学期)

【07】西洋美術史概説 A(セ)(2)(秋学期)

【04】西洋美術史概説A(4)(通年)

キリスト教図像学 教授 遠山公一

授業科目の内容：

美術史の主題研究をイコノグラフィ(図像学)と呼ぶ。この授業では、クロノロジカルな通史としてではなく、むしろルネサンスの絵画・彫刻を中心として、主題別にその物語の順序に従い、キリスト教美術の優れた作品を見ていく。その主題はイエス伝である。テキスト(福音書、外典・偽典、予型論)との関わり、象徴・記号表現、パトロンや寄進者、祭壇画・墓などのオリジナルの機能の問題などについても論ずる。

テキスト：

新約聖書(福音書)、配布プリント。

参考書：

J・ホール『西洋美術解説辞典』(吉川弘文館)、柳・中森(編)『キリスト教美術図典』(吉川弘文館)、ルーロフ・ファン・ストラテテン『イコノグラフィ入門』(ブリュッケ)、『世界美術大全集』(小学館)

【07】西洋美術史概説 B(セ)(2)(春学期)

【07】西洋美術史概説 B(セ)(2)(秋学期)

【04】西洋美術史概説B(4)(通年)

「フィレンツェの建築」 准教授 金山弘昌

授業科目の内容：

本講義は、西洋建築史の観点から、イタリアの名高い古都フィレンツェについて概観するものです。扱う時代範囲は、ローマの植民市として

のその起源から、中世の繁栄を経て、この都市が世界史の中心に置かれる15世紀のルネサンス、それに続くトスカーナ大公国時代、最後にリゾルジメントによる仮首都時代と20世紀の到来までを予定しています。授業は、主に建築家と個別の建築事例の紹介を中心に、スライドを使用して行います。概説授業ですので、併せて西洋建築史の基本知識、語彙、様式史の説明もおこないます。

テキスト：

特に使用しません。授業でプリントを配布します。

参考書：

B・ジョヴァネッティ、R・マルトゥッチ『建築ガイド5 フィレンツェ』野口昌夫、石川清訳、丸善株式会社、1995。

森田義之『メディチ家』講談社現代新書、1999。

G. Fanelli, *La città nella storia d'Italia, Firenze*, 6.a ed., Editori Laterza(Roma-Bari), 1997.

【07】西洋音楽史概説 A(セ)(2)(春学期)

【07】西洋音楽史概説 A(セ)(2)(秋学期)

【04】西洋音楽史概説A(4)(通年)

J. ハイドンと古典派の時代 准教授 西川尚生

授業科目の内容：

今年、没後200年を迎えた作曲家ヨーゼフ・ハイドン(1732-1809)の生涯と作品を概観し、音楽史上の古典派について考える。前回のメモリアル・イヤーであった1982年以降、ハイドン研究はさまざまな分野で飛躍的な進展を遂げたが、本講義ではそうした新しい研究成果を紹介しながら、ハイドンの音楽とそれを取り巻く政治、社会状況について考察してみたい。

参考書：

J. P. ラールセン(中野博詞、西川尚生訳)『ヨーゼフ・ハイドン』『ニューグローヴ世界音楽大事典』第12巻、講談社、1994年。

中野博詞『ハイドン復活』春秋社、1995年。

中野博詞『ハイドン交響曲』春秋社、2002年。

N. ザスロー編(樋口隆一監訳)『啓蒙時代の都市と音楽』音楽之友社、1996年。

【07】西洋音楽史概説 B(セ)(2)(春学期)

【07】西洋音楽史概説 B(セ)(2)(秋学期)

【04】西洋音楽史概説B(4)(通年)

ワーグナー《ローエングリン》 教授 三宅幸夫

授業科目の内容：

リヒャルト・ワーグナー(1813-1883)のロマン的オペラ《ローエングリン》を主たる対象として、台本と音楽の関係を読み解き、音楽が音楽外の思想・文学・美術・演劇等といかに関わっているかを明らかにします。

テキスト：

授業時に対訳を配布します。

参考書：

授業時に適宜指示します。

【07】美学特殊 A(2)(春学期)

【07】美学特殊 A(2)(秋学期)

【04】美学特殊A(4)(通年)

[春] デイドロの絵画論 [秋] 文藝作品とレトリック

[春] 講師 佐々木健一

[秋] 講師 松尾大

【春学期】

授業科目の内容：

デイドロは近代美術評論の先駆者の1人に数えられる。それは主として歴大なサロン評に基づく評価だが、かれにはその批評経験に立脚し、その基礎づけを行なった『絵画論』がある。そこに展開されている思想は、デイドロの哲学全体と深く連関し、更に時代の思潮、その中での美学の位置の問題へとつながる射程をもっている。この授業では、テキストを丹念に読みつつ、そこに含まれる問題を掘りおこし、最後に『絵画論』の美学の総括を試みる。

テキスト：

『デイドロ』『絵画について』(佐々木健一訳、岩波文庫)

参考書：

佐々木健一『フランスを中心とする18世紀美学史の研究 ウアターからモーツァルトへ』(岩波書店)

【秋学期】

授業科目の内容：

文藝において働いているレトリックを美学的に考察する。

- 【07】美学特殊 B(2)(春学期)  
 【07】美学特殊 B(2)(秋学期)  
 【04】美学特殊B(4)(通年)  
 「自然」の美的経験/イメージの修辞学 講師 西村 清和

授業科目の内容:

前期:「自然」の美的経験 芸術を主題として展開してきた近代美学では、自然美をめぐる問題は十分に議論されてこなかった。だが1970年代以降、エコロジーや環境倫理が問題になると並行して、美学の領域でも、自然美の問題や環境美学が注目を集めるようになる。本講義では、「自然」概念の可能なかぎり妥当な定義を試みたのちに、自然についての美的な経験とはどういうことなのかを論じる。

後期:イメージの修辞学 ことばとイメージの関係をめぐる古典的な問題は再考を要する。講義では、読書に際してのイメージ形成の問題を論じる。

テキスト:  
なし

参考書:  
授業中に指示する。

- 【07】美学特殊 C(2)(春学期)  
 【07】美学特殊 C(2)(秋学期)  
 【04】美学特殊C(4)(通年)  
 現実・虚構・意味 講師 藤田 一 美

授業科目の内容:

アリストテレスの詩学や弁論術、ホラティウスの詩論などの基礎的概念、あるいは西洋近現代哲学、中国や日本の思想などにも目配りしつつ、われわれの現実感覚とは何か、歴史的地平における虚構の存在理由とは何か、さらには世界、そして世界に住まう人間との関わりにおける芸術的なものの意味とは何か、を考察してゆきます。

テキスト:  
必要に応じて配布します。

参考書:  
プラトン『国家論』、アリストテレス『詩学』、『弁論術』、カント『判断力批判』など

- 【07】美学特殊 D(2)(春学期)  
 【07】美学特殊 D(2)(秋学期)  
 【04】美学特殊D(4)(通年) 講師 村山 康 男

授業科目の内容:

春学期は、現代芸術の多様な展開を概観し、その根底にある美学思想を明らかにする。

秋学期は、現代社会の消費社会・情報化社会としての側面に注目し、消費社会、及び情報化社会に特有の様々な現象をピック・アップした上で、それらの現象が芸術の体験をどのように変化させることになるのかを明らかにする。

テキスト:  
プリント類はこちらで用意し、随時配布する。

参考書:  
授業時に随時指摘する。

- 【07】美学特殊 E(2)(春学期)  
 【07】美学特殊 E(2)(秋学期)  
 【04】美学特殊E(4)(通年)  
 舞踏の芸術学 その生成と展開 講師 森下 隆

授業科目の内容:

戦後の日本に生まれた「舞踏」は、日本では創造された芸術表現として、世界の舞台芸術の一潮流となりました。当初、日本的な身体表現として受け入れられた舞踏ですが、今日では国際化し、舞踏フェスティバルなど舞踏をめぐる活動も、むしろ海外でさかんになり、舞踏研究も外国人が担うようになっていきます。

授業では、まずアヴァンギャルド芸術としての舞踏が、1950年代から60年代にかけて、どのような社会史的背景と欧米の思潮との葛藤のもとで生成したのかを舞踏の創始者である土方巽の生の軌跡とともに見てみます。

ついで、土方巽の活動と表現が同時代の前衛美術家たちとの、交流やコラボレーションを超えて、互いの創造に大きな影響力をもって展開していることから、戦後日本の前衛美術の流れのなかに、アヴァンギャルドとしての舞踏の表現と位相を求め、解説します。

そして、土方巽の舞踏の変遷をたどりながら、舞踏のメソッドとスタイル、構造を解説し、20世紀の世界の思想史のコンテクストのなかでの、舞踏の表現と身体思想の特殊性と普遍性について考えます。

以上をふまえて、世界における舞踏の活動と研究の実際を俯瞰しつつ、外国人の舞踏への関心と理解の様相をあわせて考察します。ことに2009年は「舞踏50年」の記念の催しが内外で開催されるので、その成果を

検討します。

テキスト:  
講義資料としてプリントやDVDを配布します

参考書:  
・『土方巽全集』普及版・全2巻(河出書房新社)  
・Stephen Barber 著『HIJIKATA: Revolt of Body』  
・Sondra Fraleigh and Tamah Nakamura 著『Hijikata Tatsumi and Ohno Kazuo』

- 【07】美術史特殊 A(2)(春学期)  
 【07】美術史特殊 A(2)(秋学期)  
 【04】美術史特殊A(4)(通年)  
 バウハウスと近代芸術 准教授 後藤 文子

授業科目の内容:

近代の実験的な造形教育学校バウハウス(1919-1933)について概説します。春学期は、設立の背景にある社会・芸術の動向(19世紀総合芸術、ドイツ改革教育運動、芸術家コロニー等)を踏まえた上で、イッテン、アルバース、クレー、カンディンスキー、モホリ＝ナジらによる基礎教育の取り組みを、彼らの芸術理論との関わりにおいて概観します。秋学期は、まず主要な工房活動を取り上げます。その際、それらが同時代芸術に与えた影響や議論に眼を向けながら考察します。また学期の後半では、校長を務めた三人の建築家グロピウス、マイヤー、ミース・ファン・デル・ローエを中心にバウハウスと近代建築の問題と、バウハウスにおける玩具制作や子供部屋の構想などに顕著な、近代における子供への関心についても触れたいと思います。

テキスト:  
特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

参考書:  
『バウハウス:ワイマール/デッサウ/ベルリン/シカゴ』ハンス・M・ウィンクラー編著・バウハウス翻訳委員会翻訳、造型社、1969年  
『バウハウス50年展』(図録)東京国立近代美術館・阿部公正編、東京国立近代美術館発行、1971年  
そのほか随時、授業時に紹介します。

- 【07】美術史特殊 B(2)(春学期)  
 【07】美術史特殊 B(2)(秋学期)  
 【04】美術史特殊B(4)(通年)  
 建築史・建築論・建築家論  
 政策・メディア研究科 准教授 小林 博 人  
 講師 伊藤 喜彦  
 講師 和田 菜穂子

授業科目の内容:

本授業では、2学期に亘って西欧・日本の建築史を俯瞰するとともに、建築作品を通して建築論、建築家論を展開する。

講師として西洋建築史に中世建築を専門とする伊藤喜彦氏、日本建築史に近代生活史を専門とする和田菜穂子氏を招き、それぞれの専門的視点から時代時代における建築技術の発展の過程を追いながら、建築行為の果たして来た社会的役割と意味を考える。また建築の歴史を通して得られる知見が、現代社会に対していかに寄与しうるかを考察する。

一方、時代を横断して、各種の建築およびその構想を取り上げ、建築そのものの有する意味や力を考えるとともに設計行為とは何かを考える。そして建築家の建築設計行為から、建築家の職能について検討を加える。

テキスト:  
適宜授業中に示す。

参考書:  
適宜授業中に示す。

- 【07】美術史特殊 C(2)(春学期)  
 【07】美術史特殊 C(2)(秋学期)  
 【04】美術史特殊C(4)(通年)  
 鎌倉彫刻継承論 講師 山本 勉

授業科目の内容:

実証的な立場からの日本彫刻史の講義です。鎌倉時代、13世紀20年代から60年代頃までの、鎌倉彫刻の第二世代・第三世代の動向を中心に論述します。冒頭には日本彫刻の鑑賞法、日本彫刻史の研究法について概論し、さらに今回の講義の時期までの日本彫刻史の展開について概説します(新見解もふくめながら述べるので、前年度からの継続受講者にも聴講を希望します)。その後、運慶らによって完成された鎌倉時代様式が運慶次世代の仏師や他派の仏師によって継承され、普及していった様相を中心に論述します。鎌倉時代彫刻史の現在の研究水準を理解することが本講義の目標です。

テキスト:  
特に指定しません。講義時に参考文献表・年表等のプリントを配布します。

参考書:  
・水野敬三郎監修『カラー版日本仏像史』(美術出版社)

- ・水野敬三郎他編『運慶と快慶 鎌倉の建築・彫刻』(『日本美術全集』10, 講談社)
- ・水野敬三郎他編『日本彫刻史基礎資料集成』鎌倉時代造像銘記篇1~7, 中央公論美術出版)
- ・山本勉『仏像のひみつ』『続 仏像のひみつ』(朝日出版社)

- 【07】美術史特殊 D(2)(春学期)
- 【07】美術史特殊 D(2)(秋学期)
- 【04】美術史特殊D(4)(通年)

[春]モダンアート・万博・ミュージアム  
[春]講師 宮崎 克己  
[秋]名誉教授 前田 富士男

**【春学期】**

授業科目の内容:

19世紀後半の主としてフランスと日本の博覧会・展覧会・ミュージアムを、年代を追って検討しながら、モダンアート(近代美術)の歩みとその環境を総合的にとらえる。フランスの印象派・ポスト印象派など、そして高橋由一以後の近代日本の美術に、同時代の国際政治経済、文化的制度、「美術」の概念、市民たちの意識、ジャーナリズム、コレクションなどの問題が関連づけられ説明される。

テキスト:

特に指定しません。

参考書:

宮崎克己『西洋絵画の到来』(日本経済新聞出版社)

**【秋学期】**

授業科目の内容:

20世紀初頭は、近代芸術の革命期であった。抽象絵画、オブジェ、写真、パフォーマンス、デザイン、生活環境などなど、先端的な表現活動がこぞって前衛性を競った。この講義では、その多様な現れを展覧会・美術館に即して検討してゆく。

- 【07】美術史特殊 E(2)(春学期)
  - 【07】美術史特殊 E(2)(秋学期)
  - 【04】美術史特殊E(4)(通年)
- 古代・中世の日本絵画 名誉教授 河合 正朝

授業科目の内容:

ここで言う「古代」とは、7世紀・飛鳥時代から12世紀後半まで、「中世」とは13世紀後半以降16世紀までの室町時代、安土桃山時代を含む。このうち、本講義では、8世紀から16世紀後半までの日本美術史、なかんずく、絵画を中心とした美術の特質と歴史的展開について論述する。

但し、宗教絵画には最低限触れるにとどめ、鑑賞性を第一義とする、いわゆる世俗画(障子絵・障壁画、絵巻、肖像画、水墨画など)をその検討対象としたい。

テキスト:

とくに無いが、必要に応じて参考になるプリントを配布する。

参考書:

とくに無い。

- 【07】美術史特殊 F(2)(春学期)
  - 【07】美術史特殊 F(2)(秋学期)
  - 【04】美術史特殊F(4)(通年)
- 曼荼羅の歴史的発展 講師 田中公明

授業科目の内容:

平安時代の初頭に最澄・空海らによって伝えられた両界曼荼羅は、日本における仏教図像の中心となったばかりでなく、その後の日本文化全般にも大きな影響を与えた。本講義では、インドにおける仏教図像の成立から説きおこし、仏教図像の集大成ともいべき曼荼羅の成立と歴史的発展を概観する。

一昨年から従来の講義を、しだいにスライドからパワーポイントに転換してきたが、本年度からは、ほとんどの講義が、パワーポイントを用いたものとなる予定である。昨年度の『仏教の図像学』とは異なり、仏教図像の哲学的・思想的解釈にも触れることになるので、美学・美術史だけでなく、哲学・宗教系の学生諸君の受講も歓迎したい。

テキスト:

田中公明著『両界曼荼羅の誕生』(春秋社, 2004年)

- 【07】美術史特殊 G(2)(春学期)
  - 【07】美術史特殊 G(2)(秋学期)
  - 【04】美術史特殊G(4)(通年)
- 美術と先端技術 [春]講師 布山 毅  
[秋]講師 内田 まほろ

**【春学期】**

授業科目の内容:

デジタルメディアのもたらした表現の変容について、事例研究とワー

クショップを通じて多角的に学ぶ。春学期は「つくるプロセス」に焦点をあて、コンピュータという道具/マテリアル/メディアを手にした作り手の意識の変化を解き明かすことに力点を置く。

テキスト:

適宜

参考書:

適宜

**【秋学期】**

授業科目の内容:

本講義では新しいメディア、マテリアルがもたらす新しい美術(空間、写真、デザインを含む)の枠組み、作品、アーカイブ方法、キュレーションのあり方を実践的なレベルでとらえる知識、技術、能力を身につけることを目的とする。

講義ではデジタルメディアの基本概念を理解するとともに、それらを利用した作品、扱い方、キュレーション、批評方法を、具体的な例や実践的なワークショップを通して身につける。後半のワークショップでは履修者の専門研究対象をもとにアーカイブの作成、キュレーション、プレゼンテーションを行う。

テキスト:

適宜

参考書:

適宜

- 【07】美術史特殊 H(2)(春学期)
  - 【07】美術史特殊 H(2)(秋学期)
  - 【04】美術史特殊H(4)(通年)
- 13~14世紀のイタリア美術 名誉教授 末吉 雄二

授業科目の内容:

この授業はジョットの絵画の成立とその展開を出来る限り詳細にたどってゆくことを目的としている。昨2008年には、13世紀半ば以降のイタリアの彫刻、ニコラ・ピサーノ、ジョヴァンニ・ピサーノ、アルノルフォ・ディ・カンピオを考察し、続いているアッシジのサン・フランチェスコ聖堂の壁画をテーマを中心に見た。今2009年度は、前期にはサン・フランチェスコ聖堂上堂の聖フランチェスコ伝28場面を中心に検討し、パドヴァのスクロヴェーニ礼拝堂の壁画と比較することで、14世紀の壁画制作をめぐる諸問題を考えたい。後期はアッシジのサン・フランチェスコ聖堂下堂のジョットとジョットの工房に帰属される礼拝堂壁画、フィレンツェのサンタ・クロチェ聖堂の壁画、およびアッシジの下堂のシモーネ・マルティエーニ、ピエトロ・ロレンツェッティによる壁画を鑑賞する。

テキスト:

特に指定しません。授業では参考資料のプリントを配布します。

参考書:

『イタリア・ルネサンスの文化』ブルクハルト著。『ジョットの芸術スクロヴェーニ礼拝堂壁画を中心として』と『聖痕印刻 ジョットの後期壁画をめぐる』佐々木英也著、中央公論美術出版。『中世末期の図像学』エミール・マール著、国書刊行会。『ルネサンス画人伝』白水社。そのほか、一般的な美術史として『ルネサンスの春』パノフスキー著、などを参照してほしいし、美術作品の見方を教えるものとして示唆に富む『美術への洞察』オットー・ペヒト、岩波書店。など。貪欲に読書して欲しい。

- 【07】美術史特殊 I(2)(春学期)
  - 【07】美術史特殊 I(2)(秋学期)
  - 【04】美術史特殊I(4)(通年)
- 中国陶磁史 [春]講師 佐藤 サアラ  
[秋]講師 金子 賢治

**【春学期】**

授業科目の内容:

本講義は中国陶磁史をまなびます。作品は多くを語るものであり、作品を理解することはその背後にある歴史や文化の理解につながります。講義の中心は中国陶磁ですが、地域として日本、西アジア、ヨーロッパに、また漆器や金属器などの工芸にも言及していくことになります。本講義の目標とするところは二つあり、一つは講義を通じた作品の歴史的理解であり、もう一つは、レポート課題として展覧会を随時見に行くことを指示しますが、実際の作品を見て、その作品が「長いときを経てなお今に残った意味」を知るといことです。

参考書:

平凡社版 中国の陶磁(1~12)

**【秋学期】**

授業科目の内容:

近現代陶芸史を、縄文土器一万二千年の歴史を持つ日本の工芸、もの作り、技術の歴史の中で眺める。その中で、産業ではない近代作家の個性を表現する「表現の工芸」の成立と展開という視点を「工芸的造形」という言葉で表し、その歴史を辿る。その際重要な視点の一つに西洋近



代の「craft」の歴史と概念との比較検討ということがある。その際の重要な言葉が「studio craft」であり、それと「表現の工芸」との位置関係をも考察する。

テキスト：

「近代工芸案内」(東京国立近代美術館)

参考書：

金子賢治「現代陶芸の造形思考」(阿部出版)

【07】美術史特殊 J(2)(春学期)

【07】美術史特殊 J(2)(秋学期)

【04】美術史特殊J(4)(通年)

北方ルネサンス美術 講師 森 洋子

授業科目の内容：

16世紀ネーデルラント、ドイツ美術を概説する。それぞれ時代の様式的な特色、新しい主題の抬頭とその図像学的な意味を概説する。

テキスト：

授業中に適宜配布する。

参考書：

Herman Libaers and others, *Flemish Art, From the Beginning till Now*, 1991.

Roger H. Marijnissen and P. Ruyffelaere, *Bosch*, 1985

James Snyder, *Northern Renaissance Art*, 1985

海津忠雄『クラナハにおける主題と伝統』1978

前川誠郎『デューラー』1990

森洋子『ブリューゲル全作品』1988, 2008

授業中、適宜紹介する。

【07】美術史特殊 K(2)(春学期)

【07】美術史特殊 K(2)(秋学期)

【04】美術史特殊K(4)(通年)

近代日本美術史の諸問題 講師 古田 亮

授業科目の内容：

近代日本美術史のうち絵画を中心に概観し、その学問的方法や実践について解説します。

前期は、幕末から昭和初期までを中心に、具体的な作品の分析から美術史全体の問題が浮かび上がることが理解できるようにします。

後期は、いくつかのテーマを設定し、近代美術史の様々な問題点について解説することで、受講生が近代美術に関してより深い関心をもって接することができるようにします。

テキスト：

特に指定しません。必要な資料は講義中に配布します。

参考書：

古田亮著『狩野芳崖・高橋由一』(ミネルヴァ書房, 2006年, 2940円)

【07】美術史特殊 L(2)(春学期)

【07】美術史特殊 L(2)(秋学期)

【04】美術史特殊L(4)(通年)

戦後日本美術史 理工学部 准教授 近藤 幸夫

授業科目の内容：

第二次世界大戦後のアメリカにおける美術の動きについては知っているても、同じ時期に日本で何が起こっていたかを知っている人は少ないのではないのでしょうか。本講義は、このような欠落した知識を埋めるべく構成されています。具体的にはアメリカやヨーロッパの同時代の動きと比較しつつ日本の前衛的傾向を跡づけていくとともに、そこに含まれる基本的な問題についても考えていきます。本年度は特に1970年代の動きを中心にしたいと思っています。

テキスト：

特にありません

参考書：

授業中に適宜指示します

【07】音楽史特殊 A(2)(春学期)

【07】音楽史特殊 A(2)(秋学期)

【04】音楽史特殊A(4)(通年)

ドイツ・ロマン派の歌曲 [春]講師 伊藤 綾  
[秋]教授 美山 良夫

【春学期】

授業科目の内容：

ドイツの芸術歌曲「リート」は、作品の中で文学と音楽がせめぎあう独特の芸術分野であり、聴き手には詩と音楽双方の理解が求められる。古典派の時代に先駆的な作品が生まれ、ロマン派の時代に頂点をむかえたリートは、十二音技法による調性の崩壊を経て20世紀に至るまで受け継がれた。本講義では、リートが確立・発展するまでの変遷を、ロマン派の作品を中心に読み解いていく。

テキスト：

なし。授業時に毎回プリントを配布します。

参考書：

授業時に指示します。

【秋学期】

授業科目の内容：

3人の詩人(ボードレー、ヴェルレーヌ、マラルメ)、ふたりの音楽家(フォーレ、ドビュッシー)の交感から生まれた歌曲。近代絵画やドイツ音楽の影響を受けながら生まれた歌曲の解釈が秋学期のテーマです。19世紀後半から20世紀にかけてのフランス芸術の精華である芸術歌曲の成立と特質を考えます。

くわしい内容は下記の授業の計画を参照。

参考書：

授業内で指示する

【07】音楽史特殊 B(2)(春学期)

【07】音楽史特殊 B(2)(秋学期)

【04】音楽史特殊B(4)(通年)

バロック時代のイタリア音楽 講師 今谷 和徳

授業科目の内容：

17、18世紀のバロック時代のイタリア音楽について概観する。ヨーロッパの音楽は、一般にバッハから始まり、ドイツを中心に展開したといわれるが、それは誤りで、実際には中世の時代からフランスを中心に展開されてきた。16世紀からはイタリアも重要な音楽活動の中心地になっていったが、17世紀になると新しいバロックの音楽がイタリアで展開されはじめ、やがてその影響がバッハにも及んでゆくのである。ここではその時期のイタリア音楽を、当時の政治的、社会的背景を踏まえながら考えてゆきたい。

テキスト：

使用しない。

参考書：

開講時に紹介する。

【07】音楽史特殊 C(2)(春学期)

【07】音楽史特殊 C(2)(秋学期)

【04】音楽史特殊C(4)(通年)

20世紀音楽史における非ヨーロッパの台頭 講師 檜崎 洋子

授業科目の内容：

20世紀初頭から20世紀末にかけての音楽史を解説します。1.ヨーロッパ、2.日本の作曲界、3.日本の演奏界、4.日本以外の非ヨーロッパ(アメリカ、南米、イギリス、北欧、中国、韓国等)、の4つの項目別に、10年ごとに主だった動向をCD、DVDの視聴覚資料を参照しながら紹介し、ヨーロッパと非ヨーロッパ間、および作曲界と演奏界間にどのような影響関係があったのかを解説します。20世紀音楽史の概要を把握するとともに、それを各履修者が記述できるようになることを目的とします。

テキスト：

特に指定しません。関連する文献表を配布します。

参考書：

久保田慶一ほか『はじめての音楽史』(音楽之友社)、柴田南雄『西洋音楽史 印象派以後』(音楽之友社)、日本戦後音楽史研究会編『日本戦後音楽史』上下(平凡社)、石田一志『モダニズム変奏曲』(朔北社)

【07】音楽史特殊 D(2)(春学期)

【07】音楽史特殊 D(2)(秋学期)

【04】音楽史特殊D(4)(通年)

ベートーヴェンの同時代者シューベルトの音楽表現：  
古典主義とロマン主義 講師 平野 昭

授業科目の内容：

音楽史の時代区分にはさまざまな考え方がありますが、18世紀の最後の四半世紀から19世紀の最初の四半世紀までの50年、その前後に5年を加えた1770~1830年をBeethoven Ageと呼ぶことがある。前半はハイドン、モーツァルトが中心となり、後半はベートーヴェンとシューベルトが中心となる。ややウィーンに偏向した見方ではあるが、事実この時代、特に後半の19世紀初頭にはウィーン楽派が絶大な影響力をもち、19世紀音楽の方向性を決定付けて行ったようにも思える。

今年度は、前記4人の作曲家の作品に焦点を充てながら、時代様式としての共通性、個人様式としての個性などを浮き彫りしながら、古典主義様式とロマン主義様式の特徴を見てゆきたい。特に、シューベルトに焦点を充てながら、同時代者ベートーヴェンとの比較、あるいはシューベルト初期のアマチュアリズムの中に見えるハイドンやモーツァルトからの影響なども再確認したい。

テキスト：

特に使わない。講義時にレジュメなどをできるだけ配布する。

参考書：  
講義内で紹介する。

- 
- 【07】音楽史特殊 E(2)(春学期)
  - 【07】音楽史特殊 E(2)(秋学期)
  - 【04】音楽史特殊E(4)(通年)  
(春学期)世界の中の日本の音楽
  - (秋学期)アジアの中の日本の音楽 講師 千葉優子
- 

授業科目の内容：

日本人の音楽的感性や美意識、またそれに基づく能や歌舞伎などの伝統芸能について、西洋やアジア諸国と比較しながら考察する。日本の伝統的な音楽では、リズムや音階はもとより、音楽を構成する第一歩である音自体、つまり音色に対する嗜好までもが、西洋のいわゆるクラシック音楽とは全く異なる。西洋音楽では楽音が基本だが、日本人は噪音的要素を多く含んだ音色を好むが、こうした傾向は、絵画など日本の美術にも相通する美意識によるものである。さらに、西洋と日本では音楽史のあり方、脳における音の認知の仕方なども異なる。春学期では、なぜこうした違いが生ずるのかについて、日本人の自然観、言語、生活様式などから検証し、秋学期では、日本の音楽・芸能についてアジア諸民族との比較で論ずる。

テキスト：

千葉優子著「日本音楽がわかる本」(音楽之友社、2005年)

参考書：  
授業内で適宜指示。

- 
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
  - 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年)
  - 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年)
- 東洋美術史の研究法 [春] 准教授 内藤 正人  
[秋] 教授 林 温
- 

授業科目の内容：

東洋・日本美術史学を専攻する3,4年生を対象とする研究会。学生の主体的参加により、相互研鑽しつつ研究方法を学びます。授業は小グループによる研究発表と、4年生個人による卒業論文作成の経過報告となります。4年生を対象とする卒業指導では、前期と後期に少なくとも一回は発表してもらいます。

テキスト：

特になし

参考書：  
適宜、授業中に指示する。

- 
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
  - 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年)
  - 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年) 教授 美山 良夫
- 

授業科目の内容：

音楽および音楽をともなった舞台芸術諸分野(オペラ、バレエなど)を対象とする研究会。内容が多岐にわたるため、自発的に多くのジャンルについて関心をもち体験を重ねる努力が必要。また上演芸術の研究資料はわが国では検索入手が困難であることも多く、相当の時間と熱意が欠かせない。

参考書：

ウェンジェル『音楽の文章術』春秋社1994

- 
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
  - 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年)
  - 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年) 准教授 内藤 正人
- 

授業科目の内容：

美術史学の方法論をもとに、作品・作家の研究、あるいは様式研究などをおこなう。

前半は、おもに日本美術史研究の概説と、四年生の発表とを行う予定。後半は、これに加えて三年生が個別の関心事からテーマを選び、関連する先行研究のまとめや史・資料の調査をおこなう。これらを踏まえて両学年ともに口頭発表や討論・指導を重ねることで、最終的に卒業論文へと結実させる。

テキスト：

随時指示する

参考書：  
同上

- 
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
  - 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年)
  - 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年)
- 演劇学/演劇史 理工学部 教授 小菅 隼人
- 

授業科目の内容：

上演芸術のうち、特に演劇を対象とする研究会。演劇芸術の境界内であれば、各自の関心による対象・テーマの自由度を最大限に認めます。演劇上演の実践に携わる諸君の参加を歓迎しますが、アカデミズムの立場から演劇研究を志す学生諸君のための研究会ですから、資料調査・資料批判論文作成のための地道な作業を覚悟して参加して下さい。本研究会においては、参加者による報告と討論を通して、問題点を明確にしてゆく作業の積み重ねを授業の中心にします。1回程度、一緒に観劇をします。

テキスト：

- ・『ベスト・プレイズ』(相田書房、2007)。
- ・ジョセフ・ジバルディ、原田敬一監修、『MLA 英語論文の手引き(第6版)』(北星堂、2005)。

参考書：  
授業中に指示します。

- 
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
  - 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年)
  - 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年) 教授 大石 昌史
- 

授業科目の内容：

美ならびに芸術一般に関する原理的研究を主題とする研究会。個々の作品解釈や作家研究ではなく、芸術思想・芸術理論の研究を行う。それ故、哲学者(美学者)や芸術理論家の著作が研究対象の中心となる。

授業形態は、講読および討論演習の形をとり、問題提起となるテキストや参加者の口頭発表に対して、全員で討論する。

- 
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
  - 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年)
  - 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年) 准教授 後藤 文子
- 

授業科目の内容：

西洋美術(主に近代以降を中心に)の研究会です。卒業論文作成のために必要な調査・研究の方法を学び、口頭発表や討議の機会を通じて各自の研究関心を深めることを目的とします。テーマを設定したレポート作成、展覧会見学も行う予定です。

テキスト：

特に使用しません。

参考書：  
授業中に適宜指示します。

- 
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
  - 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
  - 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年)
  - 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年)
- 音楽学の方法論 教授 三宅 幸夫
- 

授業科目の内容：

本演習は、音楽学で卒業論文を書くための研究会です。論文の題目は自由ですが、基礎的や方法論を身につけるためには、批判に値する先行研究がある分野が望ましいと思います。また必要な場合は、卒業論文の個別指導もおこないます。

テキスト：

特に指定しません。

参考書：  
授業時に適宜指示します。

- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
- 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年)
- 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年)教授 遠山 公一

授業科目の内容：

西洋美術に関する卒論作成のために必要な知識や方法を学ぶ。  
 担当者の専門は、ルネサンス美術の特に絵画と彫刻であるが、なるべく専門にとらわれずに指導を行いたい。卒論作成のために発表を4年生だけでなく全員に課す。また、作品のディスクリプション、参考文献表を全員に提出してもらうほか、3年生には学期末にレポートを出してもらう。

テキスト：

授業中にプリントを配布

参考書：

授業中に指示

- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
- 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年)
- 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年)准教授 金山 弘昌

授業科目の内容：

本研究会では、卒業論文作成のために必要な方法を学びます。具体的には、受講者各人が、絵画・彫刻・建築・工芸など造形芸術の歴史や、それに関わる各種の社会・文化的テーマについて研究し、文献紹介、研究発表、質疑応答などをおこないます。各人の研究テーマは、担当者と相談の上、個々の関心に依りて決定します。また併せて原典講読や見学会なども適宜おこないたいと思います。なお担当者の専門は17世紀イタリア美術・建築ですが、専門にとらわれない指導をおこないます。

テキスト：

特に使用しません。

参考書：

授業中に適宜指示します。

- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
- 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年)
- 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年)
- 近・現代美術研究会 理工学部 准教授 近藤 幸夫

授業科目の内容：

近・現代美術についての研究会です。卒業論文作成のための指導に主眼を置きますが、また一方で各自が自分のテーマだけではなく、広く近・現代美術一般についての知識をもつことも目的とします。

戦後美術についての基本的知識を確認するため3年生は春学期に与えられたテーマで発表することが義務づけられます。また3年生は年間を通じて毎回レポートを提出しなければなりません。

4年生は卒業論文研究に集中してもらいます。テーマは作家研究が望ましく、時間をかけて丁寧に文献資料を収集して下さい。実際の論文作成のプロセスは、レポート、口頭発表により段階的に論点を明確にしていく方法をとります。

またサブゼミとして実際に作家と接したり、展覧会制作に関わったりする機会を設けたおいたと思いますので、こちらの方にも積極的に参加する学生の履修を希望します。

テキスト：

特にありません。

参考書：

授業中に適宜指示します。

- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(春学期)
- 【07】美学美術史学研究会 (セ)(1)(秋学期)
- 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年)
- 【04】美学美術史学研究会 (2)(通年)准教授 西川 尚生

授業科目の内容：

西洋音楽を対象とする研究会。音楽研究に必要な調査・研究の方法を学ぶとともに、卒業論文作成のための個別指導を行なう。

履修者には春学期・秋学期に各1回、各自の興味に即したテーマで口頭発表をしてもらう予定であるが、履修者数が多い場合は、3年生に関してはグループ発表になる可能性もある。これらの発表を元に、学生間で

討論を重ねることで、音楽作品へのさまざまなアプローチの方法を学んでもらうので、履修者には積極的に発言することが求められる。毎回発表の前には、必ず指導教授の個人面接を受け、研究テーマや楽譜・文書資料の検索・収集の手順について相談してもらいたい。

参考書：

- ・R. J. ウィンジェル(宮沢淳一ほか訳)『音楽の文章術』春秋社,1994年。
  - ・久保田慶一『音楽の文章セミナー』音楽之友社,2006年。
  - ・U. エーコ(谷口勇訳)『論文作法』而立書房,1991年。
- そのほか授業の中で指示する。

# 日本史学専攻

## 必修科目

- 【07】史学概論 (2)(春学期)
- 【07】史学概論 (2)(秋学期)
- 【04】史学概論(4)(通年)

[春] 経済学部 教授 矢野 久  
[通年] 教授 神田 順司

### 西洋史学専攻参照

- 【07】日本史史料講読 A(セ)(1)(春学期)
- 【07】日本史史料講読 A(セ)(1)(秋学期)
- 【04】日本史史料講読A(2)(通年)
- 【07】日本史史料講読 B(セ)(1)(春学期)
- 【07】日本史史料講読 B(セ)(1)(秋学期)
- 【04】日本史史料講読B(2)(通年)

[春] 教授 田代 和生  
[春] 准教授 中島 圭一  
[秋] 教授 井奥 成彦  
[秋] 教授 三宅 和朗

### 【春学期】【秋学期】

#### 授業科目の内容:

古代・中世・近世・近代の史料(刊本)の講読と、史料解読のための基本ツールの利用法を修得する。

#### テキスト:

授業の際に配布する。

#### 参考書:

授業の際に指示する。

- 【07】日本史概説 (2)(春学期)
- 【07】日本史概説 (2)(秋学期)
- 【04】日本史概説 (4)(通年)

律令国家の形成と東アジアの国際情勢 教授 長谷山 彰

#### 授業科目の内容:

7世紀以降の律令国家形成の過程を東アジアの国際情勢との関連で辿る。今年度は大化改新前夜の東アジア情勢や国内の動きからはじまり、大化改新、白村江の戦い、壬申の乱を経て律令国家が成立するまでの過程と、初期律令国家の諸制度や国家機構を支えた人々についてみてゆく。テキスト:

無し。適宜資料プリントを配布する。

#### 参考書:

笹山晴生『日本古代史講義』(東京大学出版会)  
吉田孝『古代国家の歩み』(小学館:大系日本の歴史)  
熊谷公男『大王から天皇へ』(講談社:日本の歴史)  
岩波講座日本通史古代3・4(岩波書店)  
野村忠夫『大化改新』(吉川弘文館:研究史シリーズ)  
小山田和夫『入門史料を読む』『史料による日本の歩み』(いずれも吉川弘文館)

- 【07】日本史概説 (2)(春学期)
- 【07】日本史概説 (2)(秋学期)
- 【04】日本史概説 (4)(通年)

近世 近代の日本~経済史的視角から~

教授 井奥 成彦

#### 授業科目の内容:

2年にわたり、幕藩体制の成立から昭和戦前期までの日本の歴史の流れを経済史的視角から見ていく。本年度は幕藩体制成立期から明治初期までを扱う予定である。

#### テキスト:

井奥成彦ほか著『日本経済史 1600-2000 歴史に読む現代』(慶應義塾大学出版会, 2009年)

- 【07】古文書学 (2)(春学期)
- 【07】古文書学 (2)(秋学期)
- 【04】古文書学(4)(通年)

近世文書を読む 講師 鶴田 啓

#### 授業科目の内容:

近世文書を、その古文書学的特徴と当時の社会との関係に留意しながら読んで行けるようにすることが、この講義の目標です。

#### 参考書:

『概説古文書学』(吉川弘文館, 1989), 『日本史史料(3) 近世』(岩波

書店, 2006)

- 【07】古文書学 (2)(春学期)
- 【07】古文書学 (2)(秋学期)
- 【04】古文書学(4)(通年)

准教授 中島 圭一

#### 授業科目の内容:

日本史の研究を進めるにあたって、その材料となるのが、古文書を初めとする様々な史料です。したがって、ある時代の歴史を学び、研究するには、その時代の史料の特色を知っておくことが、不可欠の前提となります。本講義では、主に古代~中世における古文書の様式の移り変わりについて、当時の政治や社会の動向と関連させながら、解説していきます。

#### テキスト:

佐藤進一『新版古文書学入門』法政大学出版局

#### 参考書:

伊木寿一『古文書学』慶應義塾大学出版会

- 【07】日本史特殊 (2)(春学期)
- 【07】日本史特殊 (2)(秋学期)
- 【04】日本史特殊(4)(通年)

[春] 東アジア世界のなかの中世日本  
[秋] 東アジア世界のなかの近世日本

[春] 講師 米谷 均  
[秋] 教授 田代 和生

### 【春学期】

#### 授業科目の内容:

「日韓関係とは業(ごう)の塊だ」...ある外相経験者の弁である。最近話題の竹島(独島)問題を見ても、日韓/日朝関係は、まこと複雑なしがらみに満ちている。本講義は、かかる歴史的しがらみの背景を理解するため、日朝両国の間にはさまれた対馬(つしま)を中心に、中世日朝関係史を概説する。韓国では最近「対馬もかつて韓国領だった」という発言が、冗談ではなく真面目に論じられて来ている。何故このような言説が生じたかについては、まさにこの中世日朝関係に原因が求められる。それらについても論じたい。

#### テキスト:

特に無し。授業用プリントを毎回配布いたします。

#### 参考書:

荒木和憲『中世対馬宗氏領国と朝鮮』(山川出版社, 2007年)

### 【秋学期】

#### 授業科目の内容:

近世日本と朝鮮の交流史を縦軸に東アジア史の視点から日本史を考える。朝鮮通信使の来日に代表される江戸時代の日朝関係は、実は複雑な構造の上になりたっていた。そのころ「鎖国」時代であったにもかかわらず、日本人は朝鮮釜山の倭館へ渡航し、外交実務および貿易を行っていた。幕府の厳しい対外政策のなかで、それがなぜ可能であったのか。このことを理解するには、豊臣秀吉による文禄・慶長の役後の関係修復、対馬宗家の特殊な役割といった一連の歴史的背景を探らなくてはならない。

授業では、日朝関係史にかかわる最新の学説を紹介するとともに、必要に応じて書画カメラによる画像史料を用いて、東アジア世界の中の近世日本をわかりやすく講義する。

#### テキスト:

田代和生『倭館』(文芸春秋社)

#### 参考書:

田代和生『日朝交易と対馬藩』(創文社), 同『江戸時代朝鮮薬材調査の研究』(慶應大学出版会)

- 【07】日本史特殊 (2)(春学期)
- 【07】日本史特殊 (2)(秋学期)
- 【04】日本史特殊(4)(通年)

近世の市場構造と江戸地廻り経済 講師 白川部 達夫

#### 授業科目の内容:

近世の市場構造とその変容を踏まえつつ、江戸地廻り経済の展開について解説します。18世紀初頭には江戸は100万人を越える人口をもつ巨大都市に成長しました。しかし江戸の周辺農村には、米穀や蔬菜、薪炭などの他はその需要を満たすだけの加工業が発達していませんでした。このため京・大坂よりの下り荷にたよることが大きく、その供給をめぐる中央市場の構造ができあがりました。同じ頃、関東農村でも江戸への出荷をめざす加工業が開始され、地廻り経済が発展するようになりま。講義では、この過程を紹介しながら、19世紀の市場の変化を検討します。これらにより近世経済史の基礎を学びます。

#### テキスト:

とくに指定しません。講義資料をプリントして配ります。

#### 参考書:

中井信彦『幕藩社会と商品流通』(塙書房, 1960年)  
林玲子『近世の市場構造と流通』(吉川弘文館, 2000年)  
白川部達夫『江戸地廻り経済と地域市場』(吉川弘文館, 2001年)

【07】日本史特殊 (2)(春学期)  
【07】日本史特殊 (2)(秋学期)  
【04】日本史特殊(4)(通年)  
社会通念・常識から時代を読む 講師 若尾政希

授業科目の内容:

人の意識・思想に焦点をあてた歴史研究を、私は思想史研究と呼んでいます。ただし、人の意識・思想に焦点をあてた歴史研究といっても、「ある人はこう考えていた」「別のある人はこう考えていた」という個別事例のられつに終わってしまえば、永遠に時代像を結ぶことはできない。では人の意識・思想に焦点をあてて時代を読み取るには、どうしたらよいか。私が今注目しているのは、「社会通念・常識」という視角です。ある時代・社会の人々にとっての社会通念・常識とはどのようなものか。それはどのようにして社会通念・常識となったのであろうか。またいかにして社会通念・常識でなくなったのか。このような、社会通念・常識の歴史的形成と破綻という視角を導入することによって、時代をいきいきと描くことができるのではと考えています。本講義は、春学期では食文化の問題を、秋学期では『太平記』を素材として、このような視角から見えてくる日本史像を提起することにより、皆さんを斯界に誘おうとするものです。

テキスト:

春学期: なし  
秋学期: 若尾政希『「太平記読み」の時代』(平凡社選書, 1999)

参考書:  
講義中に適宜指摘する。

【07】日本史特殊 (2)(春学期)  
【07】日本史特殊 (2)(秋学期)  
【04】日本史特殊(4)(通年)  
古代の人々の心性を探る 教授 三宅和朗

授業科目の内容:

『古事記』『日本書紀』『風土記』『日本霊異記』『今昔物語集』などの古代史料から古代の人々の心性や感性を探る試みを講義したい。具体的には春学期には時間を、秋学期には樹木の問題を取り上げて論じていく。

テキスト:

授業時に適宜プリントを配布する。

【07】日本史特殊 (2)(春学期)  
【07】日本史特殊 (2)(秋学期)  
【04】日本史特殊(4)(通年)  
都市鎌倉と北条氏 講師 秋山哲雄

授業科目の内容:

この授業では、鎌倉幕府のあり方を再検討してその性格をとらえ直す。春学期には、都市鎌倉における北条氏や御家人の存在形態を明らかにすることで、鎌倉幕府の特質にせまる。秋学期は、北条氏が寡占したといわれている各国の守護を扱う。具体的には、若狭国、播磨国、長門国の守護について再検討し、通説に疑義を呈する。そして年間を通して、鎌倉幕府に対する新たな評価を導き出す。

テキスト:

特に指定しない

参考書:  
秋山哲雄『北条氏権力と都市鎌倉』(吉川弘文館, 2006年)

【07】日本史特殊 (2)(春学期)  
【07】日本史特殊 (2)(秋学期)  
【04】日本史特殊(4)(通年)  
戦国から近世初期の西洋思想文化の移入 講師 川村信三

授業科目の内容:

春学期は、東西交渉史、キリシタン史の主なテーマをとりあげながら、マクロなアプローチをおこなう。ヨーロッパ史との関連、イエズス会、戦国日本とキリスト教、日本の宗教集団(特に浄土真宗)との比較など。

秋学期は、春学期に概論した諸テーマの原典購読を試みる。  
ペトロ・ゴメス『講義要綱』、『どちなきりしたん』、『こんちりさんのりやく』、  
フロイス、『日欧文化比較』、ヴァリニャーノ『礼法指針』など。

テキスト:

テキストは各回に適宜プリント配布する。

参考書:  
川村信三、『キリシタン信徒組織の誕生と変容』(教文館, 二〇〇三年)、  
海老沢有道他編、『キリシタン書・排耶書』(日本思想大系 25)(岩波書店, 一九七五年)。

【07】日本史特殊 (2)(春学期)  
【07】日本史特殊 (2)(秋学期)  
【04】日本史特殊(4)(通年)  
移動とアイデンティティ生成 教授 柳田利夫

授業科目の内容:

近現代における人の移動とアイデンティティ生成について、具体的名事例によって議論する。明治初頭の国内移住、その後の海外移住の流れと移動した人々のアイデンティティ生成のあり方を考察する。

参考書:

授業で指示する。

【07】日本史特殊 (2)(春学期)  
【07】日本史特殊 (2)(秋学期)  
【04】日本史特殊(4)(通年)  
古代日本の文物と東アジア 講師 川崎晃

授業科目の内容:

中国で生まれた漢字・漢文を、倭(日本)ではどのように受容し、伝習、展開していったらうか。このような点に着目し、5世紀から8世紀に至る列島の歴史を概観するが、『日本書紀』・『続日本紀』といった史書に描かれた歴史像を検証するためのさまざまな素材(金石文・木簡、『万葉集』、東大寺開田園)の分析の視角と方法を考えていきたい。

テキスト:

講義資料を授業で配布する。

参考書:

授業で指示する。

【07】日本史演習 (セ)(1)(春学期)  
【07】日本史演習 (セ)(1)(秋学期)  
【04】日本史演習(2)(通年)  
日本統治期台湾の植民地近代について考える 講師 和泉司

授業科目の内容:

日本統治期(1895-1945)の台湾における近代化について考える演習。日清戦争後、日本の植民地となった台湾では、植民地支配の下でいわゆる「植民地近代」が訪れた。そこでは、製糖業に代表される大規模な農工業開発や、鉄道等のインフラ整備、そして日本語教育を中心とする近代学校制度の導入などが進められた。このような「植民地近代」は、同時に台湾人に対する「同化(=日本化)の強制も招き、台湾社会は「近代」の訪れとともに、深刻なアイデンティティ・クライシスを迎えていた。

本演習は、これらの台湾社会の「植民地近代」から受けた衝撃を示す日本語テキスト(同時代の台湾で発表されたものを中心に)を読み、日本統治期台湾の「植民地近代」について考察することを目標とする。

テキスト:

適宜コピーを配布する。

参考書:

必要の際は授業中に伝える。

【07】日本史演習 (セ)(1)(春学期)  
【07】日本史演習 (セ)(1)(秋学期)  
【04】日本史演習(2)(通年)  
武田信玄・勝頼の家臣たち、その文書を読む 講師 鴨川達夫

授業科目の内容:

戦国時代の武士たちは、いくさに備えて、また領地を経営するために、多種多様な手紙や書類、つまり文書(もんじょ)を作成した。それらはどのように作られ、どのようなことが書かれているのか、具体的にふれながら実感してもらいたい。本年は武田信玄・勝頼の家臣たち(信玄・勝頼の親族も含む)が作成した文書を取り上げる。

テキスト:

『山梨県史』資料編より必要な文書を選んでプリントを作り、初回または第二回に配布する。

参考書:

鴨川達夫『武田信玄と勝頼』(岩波新書, 2007)

【07】日本史演習 (セ)(1)(春学期)  
【07】日本史演習 (セ)(1)(秋学期)  
【04】日本史演習(2)(通年)  
中世史料を読む 准教授 中島圭一  
講師 大薮海

授業科目の内容:

日本史を研究するために歴史資料は不可欠であり、その歴史資料の中心をなすものが文献史料です。この授業では、中世史料を講読します。中世史料の多くは、いわゆる「くずし字」で書かれ、しかも本来の漢

文と異なる文法を持つ和様漢文で書かれています。研究に際しては、この「くずし字」を判読する能力と、独特の和様漢文を正確に解釈する能力が必要となります。近年は未刊史料の活字化が進み、「くずし字」を判読する機会も減少しましたが、活字化により失われてしまう情報は多く、原史料を知ることの重要性に変わりはありません。したがってこの授業では、写真版を用いて原史料に親しみ、活字化された史料からは得難い情報(料紙・筆跡・形態など)に数多く触れ、史料に対する鑑識眼を養ってもらうことを目的とします。併せて、写真版や活字史料を用いて、和様漢文を正確に解釈する能力も身に付けてもらう予定です。

テキスト:

適宜プリントを配布します。

参考書:

- ・児玉幸多編『くずし字用例辞典』(東京堂出版)
- ・児玉幸多編『くずし字解読辞典』(東京堂出版)
- ・佐藤進一『新版 古文書学入門』(法政大学出版局)

【07】日本史演習 (セ)(1)(春学期)

【07】日本史演習 (セ)(1)(秋学期)

【04】日本史演習(2)(通年)

『風土記』を読む

教授 三宅和朗

授業科目の内容:

奈良時代のはじめに成立したとされる風土記のうち、『豊後国風土記』と『肥前国風土記』を講読する。本史料を読むことによって古代の地域社会像、古代の伝承世界を具体的に検討していきたい。『新編日本古典文学全集 風土記』や『日本古典文学大系 風土記』の注なども参照しながら読み進めていく。

テキスト:

沖森卓也他編著『豊後国風土記・肥前国風土記』(山川出版社, 2008年)

参考書:

『新編日本古典文学全集 風土記』(小学館), 『日本古典文学大系 風土記』(岩波書店)

【07】日本史演習 (セ)(1)(春学期)

【07】日本史演習 (セ)(1)(秋学期)

【04】日本史演習(2)(通年)

古代法制史料の講読

教授 長谷山 彰

講師 十川 陽一

授業科目の内容:

弘仁・貞観・延喜の三代の格を集大成した『類聚三代格』を講読する。

特に巻19 禁制事に収められた格を対象として、京内外で起こるさまざまな社会事象について律令国家がどのような対応を示したのかを明らかにすると共に、政策決定の背景について考察してみたい。

テキスト:

新訂増補国史大系『類聚三代格』(コピーを配布する)

参考書:

- ・日本思想大系『律令』(岩波書店)
- ・『国史大系書目解題』上(吉川弘文館)
- ・小山田和夫『入門史料を読む』(吉川弘文館)
- ・池田温編『日本古代史を学ぶための漢文入門』(吉川弘文館)

【07】日本史演習 (セ)(1)(春学期)

【07】日本史演習 (セ)(1)(秋学期)

【04】日本史演習(2)(通年)

近世古文書講読(初級クラス)

講師 田原 昇

授業科目の内容:

近世古文書講読の初級クラスである。初めは「ひらがな」の読み方からはいり、漢字交じりの平易な文章からさらに難度の高いものへと進んでいく。史料はできるだけ書体の異なったものを選び、初心者が古文書に慣れることに主眼をおきたい。この間、解読辞典のひき方を指導し、さらに近世史への関心を深めるために、講読史料と関連するテーマについての、討論や発表をあわせておこなう。第一回目の授業でテキストの配布と使用辞書の説明などをおこなうので、受講希望者は必ず出席すること。

テキスト:

授業中にプリントを配布する。

参考書:

- ・児玉幸多編『くずし字解読辞典』(東京堂出版)
- ・児玉幸多編『くずし字用例辞典 普及版』(東京堂出版)

【07】日本史演習 (セ)(1)(春学期)

【07】日本史演習 (セ)(1)(秋学期)

【04】日本史演習(2)(通年)

近代史料解読

教授 柳田利夫

授業科目の内容:

近代史の原史料を解読する能力を養成する

テキスト:

授業で配布する

参考書:

授業で指示する

【07】日本史演習 (セ)(1)(春学期)

【07】日本史演習 (セ)(1)(秋学期)

【04】日本史演習(2)(通年)

休講

【07】日本史演習 (セ)(1)(春学期)

【07】日本史演習 (セ)(1)(秋学期)

【04】日本史演習(2)(通年)

近代文書の解読

教授 井奥成彦

授業科目の内容:

比較的やさしいくずし字の史料を通してくずし字に慣れることから始め、しだいに高度な史料も読めるようにトレーニングしていく。素材としては近代の農家、商家、企業の文書を用いる。原史料を整理する機会も設ける。

テキスト:

プリントを配布、あるいは原文書をこちらで用意する。

参考書:

『くずし字用例辞典』(東京堂出版)

【07】日本史演習 (セ)(1)(春学期)

【07】日本史演習 (セ)(1)(秋学期)

【04】日本史演習(2)(通年)

近世古文書講読(上級クラス)

講師 高山慶子

授業科目の内容:

近世古文書講読の上級クラスである。ある程度古文書が読めることを前提とし、数多くの文字に触れて応用力をつけることを目標とする。古文書解読能力の向上は何より量である。さらに近世史の理解を深めるため、講読史料と関連するテーマについての、討論や発表をあわせておこなう。第一回目の授業でテキストの配布と使用辞書の説明等を行なうので、受講希望者は必ず出席すること。

テキスト:

授業中にプリントを配布する。

参考書:

『くずし字解読辞典』(東京堂出版), 『くずし字用例辞典』(東京堂出版)

【07】日本史研究会 (A)(セ)(1)(春学期)

【07】日本史研究会 (A)(セ)(1)(秋学期)

【07】日本史研究会 (A)(セ)(1)(春学期)

【07】日本史研究会 (A)(セ)(1)(秋学期)

【04】日本史研究会 (A)(2)(通年)

【04】日本史研究会 (A)(2)(通年)

近現代民衆意識研究

教授 柳田利夫

授業科目の内容:

文献講読と卒業論文の作成

【07】日本史研究会 (B)(セ)(1)(春学期)

【07】日本史研究会 (B)(セ)(1)(秋学期)

【07】日本史研究会 (B)(セ)(1)(春学期)

【07】日本史研究会 (B)(セ)(1)(秋学期)

【04】日本史研究会 (B)(2)(通年)

【04】日本史研究会 (B)(2)(通年)

鎖国時代の国際関係

教授 田代和生

授業科目の内容:

この研究会の目的は、江戸時代の政治・経済・文化など多方面にわたる課題と取り組みながら、近世史研究を行なうための基礎能力を養うことにある。具体的な研究方法としては、年度ごとの共通テーマ(今年度は「鎖国時代の国際関係」)を設定し、グループでの発表・討論を中心に、専門文献や史料への接近の仕方、あるいはそれらの評価・活用法などを学ぶ。またこれと並行して、四年生の卒業論文指導、三年生の個別テーマのレポート作成指導を行なう。なお三年生は、近世古文書講読の初級クラス(日本史演習)を必ず履修すること。

テキスト:

田代和生『倭館』(文芸春秋社)

- 【07】日本史研究会 (C)(セ)(1)(春学期)
- 【07】日本史研究会 (C)(セ)(1)(秋学期)
- 【07】日本史研究会 (C)(セ)(1)(春学期)
- 【07】日本史研究会 (C)(セ)(1)(秋学期)
- 【04】日本史研究会 (C)(2)(通年)
- 【04】日本史研究会 (C)(2)(通年) 教授 三宅和朗

授業科目の内容：

4年生については、各自の報告に基づいて卒業論文作成の指導を行う。  
3年生は、春学期を中心に各自のテーマについて報告し、卒業論文作成に向けて準備をする。

- 【07】日本史研究会 (D)(セ)(1)(春学期)
- 【07】日本史研究会 (D)(セ)(1)(秋学期)
- 【07】日本史研究会 (D)(セ)(1)(春学期)
- 【07】日本史研究会 (D)(セ)(1)(秋学期)
- 【04】日本史研究会 (D)(2)(通年)
- 【04】日本史研究会 (D)(2)(通年) 教授 長谷山 彰

授業科目の内容：

4年生については各自の報告をもとに卒業論文作成の指導を行う。  
3年生も各自のテーマについて研究報告を行い、授業の場で討論する。  
他に合宿にむけて共通のテーマによる史料講読、資料の作成も予定している

- 【07】日本史研究会 (E)(セ)(1)(春学期)
- 【07】日本史研究会 (E)(セ)(1)(秋学期)
- 【07】日本史研究会 (E)(セ)(1)(春学期)
- 【07】日本史研究会 (E)(セ)(1)(秋学期)
- 【04】日本史研究会 (E)(2)(通年)
- 【04】日本史研究会 (E)(2)(通年) 准教授 中島圭一

授業科目の内容：

中世史料の講読に、適宜、各自のテーマに基づく報告を交えながら、研究と論文執筆の能力を養ってもらいます

テキスト：

初回の授業で提示します。

- 【07】日本史研究会 (F)(セ)(1)(春学期)
- 【07】日本史研究会 (F)(セ)(1)(秋学期)
- 【07】日本史研究会 (F)(セ)(1)(春学期)
- 【07】日本史研究会 (F)(セ)(1)(秋学期)
- 【04】日本史研究会 (F)(2)(通年)
- 【04】日本史研究会 (F)(2)(通年)

休講

- 【07】日本史研究会 (G)(セ)(1)(春学期)
- 【07】日本史研究会 (G)(セ)(1)(秋学期)
- 【07】日本史研究会 (G)(セ)(1)(春学期)
- 【07】日本史研究会 (G)(セ)(1)(秋学期)
- 【04】日本史研究会 (G)(2)(通年)
- 【04】日本史研究会 (G)(2)(通年) 教授 井奥成彦

授業科目の内容：

日本近代史に関する文献・史料の講読、関連施設への見学、史料調査、4年生の卒論発表及び3年生の自由研究発表を内容とする。史料調査は合宿形式で行う。

参考書：

随時紹介する。

- 【07】日本史洋書講読 (1)(春学期)
  - 【07】日本史洋書講読 (1)(秋学期)
  - 【04】日本史洋書講読 (2)(通年)
- モザイクの国カナダと日本人移民 講師 飯野 彩

授業科目の内容：

関連するDVDなどを使って、日本とカナダの関係を、主に、多民族・多文化国家カナダの歴史、カナダへ渡った日本人の歴史と、モザイクの国カナダにおける各国からの移民、日系カナダ人などに目を向けながら学びます。これから、日本、または海外で活躍する皆さんに役立つ授業を行います。

テキスト：

Jean R. Burnett, and Howard Palmer. "Coming Canadians": An Introduction to a History of Canadian Peoples. Toronto: McClelland and Stewart, 1988.

参考書：

[春学期]

- ・綾部恒雄・飯野正子編著『カナダを知るための60章』(明石書店, 2003年)
- ・日本カナダ学会編『史料が語るカナダ』(有斐閣, 1997年)
- ・J. M. Bumstead. *A History of the Canadian Peoples*. Oxford University Press, 2007.
- ・H. V. Nelles. *A Little History of Canada*. Oxford University Press, 2004. [秋学期]  
映像(DVD)  
・Between (43 min 43 sec.) 2005. Colour. National Film Board of Canada.  
・Crash (112min.) 2005. Colour. Lion Gate Films.  
・From Far Away (6min. 39 sec.) 2000. Colour. National Film Board of Canada.  
・Minoru: Memory of Exile (18 min. 45 sec.) 1992. Colour. National Film Board of Canada.

# 東洋史学専攻

## 必修科目

- 【07】史学概論 (2)(春学期)
- 【07】史学概論 (2)(秋学期)
- 【04】史学概論(4)(通年)

[春] 経済学部 教授 矢野 久  
[通年] 教授 神田 順司

### 西洋史学専攻参照

- 【07】東洋史研究入門 (セ)(1)(春学期)
- 【07】東洋史研究入門 (セ)(1)(秋学期)
- 【04】東洋史研究入門(2)(通年)

教授 桐本 東太  
教授 坂本 勉  
教授 長谷部 史彦  
教授 山本 英史  
教授 吉原 和男

### 授業科目の内容:

東洋史ほど間口が広く、かつ奥行き深い分野は少ないのではないのでしょうか。どの地域、どの時代、いかなる方法で歴史を学んで行くか思い悩んでいる人も多はずです。こうしたことを考慮して設けたのがこの授業です。研究会(ゼミ)を担当する教員がオムニバス形式でこの講義を進めますが、多様な内容の中から将来の道をさぐるヒントを見つけてもらいたいと思います。講義は、以下のように、地域は東アジアから中東・イスラーム世界へ、時代は基本的に古いほうから新しいほうへとどうかたちになっています。

#### 東洋史の「組み立て方」

一般に「東洋史」の名前でくられる時代と空間は、想像を絶する深みと広がりを持っているが、本講ではその中から、私の力がおよぶ領域を選択し、「東洋史」に取り組む際の研究方法を具体的に説明しようと思います。こちらがある事例の解析法を示し、それにならって学生諸君に他の事例を同じ視角から分析するとどのようになるかを考えてもらう、といった授業の進め方を予定しています。(桐本東太)

#### 中国近世近代史研究法

中国の近世近代史を中心に、なぜ中国の歴史を学ぶのか、中国近世近代史研究の過去と現在、中国近世近代史のための史料、実践:史料読解 歴史はどのように作られるのか、という4つのテーマで講じます。(山本英史)

#### 華僑華人およびアジア移民の研究史

日本における中国人移民の研究についての主要文献を紹介しながら、アジア移民研究における方法と課題を論じます。(吉原和男)

#### 中東・イスラーム世界史への誘い

宗教としてのイスラームの概要、それに中東・イスラーム世界史研究法の基礎について簡単に解説した上で、「聖地とワクフ」、「スーフィズム・聖者信仰」、「人の移動と越境」、「欧化とイスラームの改革」といった中東・イスラーム世界史の重要テーマについて少し掘り下げて論じてみたいと思います。(長谷部史彦)

#### 日本からイスラーム世界の歴史を考える

外国史の研究は、日本との関係をつねに意識していないとその興味、関心を持続させることがなかなかむずかしいのではないのでしょうか。こうしたことを考慮して、ヴィジュアルな映像資料も活用しながら日本とイスラーム世界との関係について話し、中東イスラーム世界について考えていく目を養っていきます。(坂本 勉)

- 【07】東洋史講読 A(セ)(1)(春学期)
  - 【07】東洋史講読 A(セ)(1)(秋学期)
  - 【04】東洋史講読A(2)(通年)
- アラブ史研究入門 講師 高橋 圭

### 授業科目の内容:

本講義では、まずこれからアラブ史を学習・研究する上で最低限必要な手続きについて基礎的なトレーニングを行います。具体的には、テーマ設定から始まり、関連する文献の調査・収集、その読解と分析、そして最終的にレポートや論文といった形で表現するまでの作業を実習形式で学びます。またアラブ史に関する学術論文を輪読しながら研究文献の読み方を学びます。なお取り上げる文献は講義中に受講者と相談して決めてゆきます。

#### テキスト:

受講者と相談の上で決めます。

#### 参考書:

随時紹介します。

- 【07】東洋史講読 B(セ)(1)(春学期)
- 【07】東洋史講読 B(セ)(1)(秋学期)
- 【04】東洋史講読B(2)(通年) 講師 石丸 由美

### 授業科目の内容:

13世紀以降、東地中海世界に君臨したオスマン帝国は、その中に多くの民族集団と宗教集団を抱えることになった。19世紀以降これら集団は国民国家を形成し、オスマン帝国から離反し、その後の自国史においてオスマン時代を暗黒の時代と捉え、否定する傾向にあった。しかし近年、各国の研究者によりこうした偏った歴史観を見直そうとする動きがある。この授業ではそうした動きの成果とも言える英文文献の講読を通して、特にバルカンにおけるオスマン帝国の足跡を見ていきたい。

前期はバルカンにおけるオスマン支配を概観し、後期はオスマン支配下のバルカンでも特にアルバニアに焦点を当てて見ていきたい。

#### テキスト:

B. Jelavich, History of the Balkans (Cambridge, 1983)  
G. Gawrych, The Crescent and the Eagle (New York, 2006)

#### 参考書:

鈴木重『オスマン帝国』(講談社現代新書)、林佳世子『オスマン帝国の時代』(山川世界史リブレット)

- 【07】東洋史講読 C(セ)(1)(春学期)
- 【07】東洋史講読 C(セ)(1)(秋学期)
- 【04】東洋史講読C(2)(通年)

華人の世界史 教授 吉原 和男

### 授業科目の内容:

中国人の国際移動の歴史を考える。

#### テキスト:

The Encyclopedia of the Chinese Oversease

#### 参考書:

Monique Avakian, Atlas of American History. Checkmark Books. 2002 (春学期)  
秋学期のテキストは未定です。

- 【07】東洋史講読 D(セ)(1)(春学期)
- 【07】東洋史講読 D(セ)(1)(秋学期)
- 【04】東洋史講読D(2)(通年)

漢文史料の講読 講師 水野 卓

### 授業科目の内容:

歴史を勉強する上で、史料の読解は欠かすことができません。中国史においては漢文史料が中心となりますので、本講義ではその漢文を読む訓練をしていきます。読む史料は基本的に『史記』や『論語』などの中国古典を取り上げていくつもりですが、履修者とも相談していききたいと思います。なお漢文を輪読することが授業の中心となりますが、それに伴う古代中国に関する基礎的な知識も解説していくつもりです。

#### テキスト:

適宜配布します。

#### 参考書:

特に指定しません。

- 【07】東洋史講読 E(セ)(1)(春学期)
- 【07】東洋史講読 E(セ)(1)(秋学期)
- 【04】東洋史講読E(2)(通年)

中国宗教関連文献講読 講師 鈴木 健郎

### 授業科目の内容:

中国宗教(道教・民間宗教)に関する中国語文献・論文を講読する。成績評価方法:

- ・レポートによる評価
- ・平常点:出席状況および授業態度による評価

- 【07】東洋史概説 (セ)(2)(春学期)
- 【07】東洋史概説 (セ)(2)(秋学期)
- 【04】東洋史概説 (4)(通年)

中国古代史概説 教授 桐本 東太

### 授業科目の内容:

中国最初の統一国家である秦漢帝国の歴史について概説する。基本的には文献史学の立場からの講義であるが、最新の考古学的な成果も、ふんだんに取り入れてゆきたい。

#### テキスト:

なし

#### 参考書:

適宜指示する



【07】東洋史概説 (セ)(2)(春学期)

【07】東洋史概説 (セ)(2)(秋学期)

【04】東洋史概説 (4)(通年)

[春]近現代中国の歴史 [春]教授 山本英史

[秋]近現代中国の歴史と社会 [秋]教授 吉原和男

#### 【春学期】

授業科目の内容：

春学期の講義では、近現代中国のわかりにくい構造を歴史学によって理解してもらうことを目的にその概説を行う予定です。伝統の中で形成された中国とは何か、西洋化・近代化の中でそれがいかに変化したかを考えていきたいと思っています。

テキスト：

『現代中国の履歴書』慶應義塾大学出版会 2003

#### 【秋学期】

授業科目の内容：

中国における家族と親族の構造的特色がどのように形成され伝えられてきたかを概説し、現代の中国大陸、台湾、香港、そして海外の華人社会における家族・親族組織について考察する。

テキスト：

吉原和男ほか編『「血縁」の再構築』風響社、2006年版。他にプリントも配布する。

参考書：

・平田茂樹・遠藤隆俊・岡元司編『宋代社会の空間とコミュニケーション』汲古書院、2006年

・井上徹・遠藤隆俊編『宋明宗族の研究』汲古書院、2005年

・瀬川昌久『中国社会の人類学』世界思想社、2004年

・吉原和男・鈴木正崇 編『拡大する中国世界と文化創造』弘文堂、2002年

【07】東洋史概説 (セ)(2)(春学期)

【07】東洋史概説 (セ)(2)(秋学期)

【04】東洋史概説 (4)(通年)

宗教・民族からみるイスラーム世界史 教授 坂本 勉

授業科目の内容：

イスラーム世界とは多様な民族とエスニック集団からなる広大な歴史的世界である。宗教的にもイスラームのみならずそれと兄弟関係にあるセムの一神教たるユダヤ、キリスト教を内を含みつつ共存をはかってきたところである。この講義ではこうしたイスラーム世界の多様性と複合性を春学期においてはアラブ、トルコ系諸民族の15世紀あたりまでの歴史を軸に焦点をしばりながら話をしていく。ついで秋学期では16世紀から近代の時期にかけてのオスマン帝国の歴史を例にトルコ、アラブ、バルカンの人びとがいかにして民族の意識をもつようになってきたのか、その文化的、政治的ナショナリズムの過程について国際関係を視野に入れながら考えていくことにしたい。他専攻、他学部の学生でも理解できるようにできるだけみくみく話すつもりである。また、政治史に偏らずに社会史、文化史にも重点をおいていく。イスラーム世界についての知識はこれからますますグローバル化する国際社会で生きていく上で絶対に必要な分野であると思われる。志のある学生を歓迎したい。

テキスト：

坂本勉『トルコ民族の世界史』(慶應義塾大学出版会、2006年)

【07】東洋史特殊 (A)(2)(春学期)

【07】東洋史特殊 (A)(2)(秋学期)

【04】東洋史特殊A(4)(通年)

東アジアにおける伝統文化の「復興」 講師 水口 拓 寿

授業科目の内容：

我々の住む東アジアでは、特に20世紀後半以来、一旦は衰退した(させられた)ように見えた伝統文化が、次々と「復興」に向かっている。それはどんな理由によるのか。以前の姿とは、どう違った形で「復興」しているのか。先人が残した「負の遺産」の部分は、克服できるのか。春学期は「儒教」を取り上げ、その変化のパロメーターとして、各地の孔子廟で行われる儀礼に注目する。秋学期は、都市・住居・墓などを造営するにあたり、地形や方位の吉凶を占う「風水」を取り上げる。両学期とも、中国大陸・香港・台湾の事例に多く言及するが、日本・朝鮮半島の事例も扱う。また、儒教や風水の現在だけを語るのではなく、2000年を超えるそれらの歴史を俯瞰した上で、今日状況を認識できるような授業とする。

テキスト：

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

参考書：

中島隆博他編『中国伝統文化が現代中国で果たす役割』(UTP刊)、水口拓寿『風水思想を儒学する』(風響社刊)他にも授業中に紹介します。

【07】東洋史特殊 (B)(2)(春学期)

【07】東洋史特殊 (B)(2)(秋学期)

【04】東洋史特殊B(4)(通年)

[春] 海域東南アジア史研究

[秋] 近代華南沿海世界の変動と華人

[春] 講師 弘末 雅 士

[秋] 講師 村 上 衛

#### 【春学期】

授業科目の内容：

東西海洋交通路の要衝に位置した東南アジアの港市が、東西世界を結びつけつつ、独自の地域世界や海域世界を構築したことを解説します。前近代から近代における港市支配者や港市住民の果たした役割を考察することが、本講義の目的です。

テキスト：

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

参考書：

弘末雅士『東南アジアの港市世界 地域社会の形成と世界秩序』(岩波書店、2004年)

#### 【秋学期】

授業科目の内容：

19世紀から20世紀前半にかけての時期は、世界的な関係の密接化にともない、華南沿海地域の社会・経済が大きく変容するとともに、華南からの華人移民が世界各地に拡大し、移民の数も増大していく時代であった。本講義では、こうした近代における華南沿海の変動と華人移民を関連づけながら、華人をめぐるいくつかの重要なテーマを取り上げて考察していきたい。

テキスト：

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

参考書：

斯波義信『華橋』(岩波書店、1995年)

【07】東洋史特殊 (C)(2)(春学期)

【07】東洋史特殊 (C)(2)(秋学期)

【04】東洋史特殊C(4)(通年)

[秋] 中国明清時代の地方官とその生活

[春] 教授 吉原和男

[秋] 教授 山本英史

#### 【春学期】

授業科目の内容：

東南アジア諸国とりわけ中国系住民の人口が多いタイ、マレーシア、シンガポールに、第二次世界大戦後に中国大陸から伝えられた民衆宗教を主な事例として、華人の信仰・儀礼・諸活動を考察する。現地調査によって入手した文献資料を用いて考察する。

スライドを使用した補足説明を数回おこなう。

テキスト：

特になし。

参考書：

・吉原和男「タイ華人社会の民衆教団」青木保ほか編『宗教の現代』岩波書店、1997年

・吉原和男「タイ国に伝えられた徳教とその変容：適応戦略と背景」宮家準編『民俗宗教の地平』春秋社、1999年

・吉原和男、クネヒト・ペトロ編『アジア移民のエスニシティと宗教』風響社、2001年

・吉原和男『中国人の宗教：儒教に注目して』関一敏・大塚和夫『宗教人類学入門』弘文堂、2004年

#### 【秋学期】

授業科目の内容：

この講義では明清時代の地方行政とその執行者である地方官について話すことを予定しています。北京に住む一人の皇帝が全中国を専制的に支配することを前提とする明清時代の中国では、各地方において皇帝に替ってその政治を実現するのは「地方官」とよばれる官僚でした。しかし、彼らは現実の地方政治を実行するに当たって様々な障害と矛盾に直面しました。それをいかに克服したか。それを考えることで中国の国家と社会の構造を明らかにしたいと思っています。

テキスト：

そのつどプリントを配布します。

参考書：

西沢敦男『代官の日常生活 江戸の中間管理職』講談社選書メチエ 2004年、1600円

【07】東洋史特殊 (D)(2)(春学期)	
【07】東洋史特殊 (D)(2)(秋学期)	
【04】東洋史特殊D(4)(通年)	東南アジア史の諸問題 言語文化研究所 教授 嶋尾 稔

授業科目の内容：

東南アジアの歴史について様々な視座から実証的に検討する。前半は、東南アジア全体に関わる問題を概論的に取り扱う。「地域概念」「自然環境」「外文明」など。後半は、ベトナム史に焦点を当てる。「朝貢と抵抗」「華人・華僑」「東南アジアの中のベトナム史」「科学・儒者」「女性道徳」「民間信仰」

テキスト：

特に指定しません。講義中に資料プリントを配布します。

参考書：

上智大学アジア文化研究所編『新版・入門東南アジア研究』(めこん、1999年)

【07】東洋史特殊 (E)(2)(春学期)	
【07】東洋史特殊 (E)(2)(秋学期)	
【04】東洋史特殊E(4)(通年)	アラブ文学の世界 講師 師岡カリーマ、エルサムニー

授業科目の内容：

アラブ文学といえば、世界一有名なファンタジー、そして SF の原点とも言われる「千夜一夜物語」がまず浮びますが、同時にアラブの文化は詩人の文化であり、豊かな詩の遺産を誇るだけでなく、今も数々のスター詩人を生んでいます。当講義ではその多彩な詩の歴史に始まり、「千夜一夜」に代表される語り文化、中世の旅行文学、クルアーンといった古典に加え、現代小説や演劇、映画、音楽を通して、アラブ人の表現の世界を探求します。

テキスト：

特に指定しません。プリント等を配布します。

参考書：

『恋するアラブ人』師岡カリーマ・エルサムニー(白水社)『イスラームから考える』師岡カリーマ・エルサムニー(白水社)

【07】東洋史特殊 (F)(2)(春学期)	
【07】東洋史特殊 (F)(2)(秋学期)	
【04】東洋史特殊F(4)(通年)	イラン近現代史 講師 貫井万里

授業科目の内容：

イランは、世界第4位の産油国であり、政治的には、イスラーム共和制をとり、外交的には、アメリカと対立関係にある数少ない国の一つである。報道では十分に紹介されることの少ないイランの歴史的事件の中には、現代国際政治を理解する重要な鍵が隠されている。本講義では、現代史の二つの重要なキーワードである「ナショナリズム」と「宗教復興」を先駆的な形で体験したイラン社会の歴史を講義する。具体的には、19世紀末のタバコ・ボイコット運動、立憲革命、石油国有化運動に連なるナショナリズム運動の歴史と、1979年のイラン革命と革命後のイラン社会について学ぶ。

テキスト：

高橋和夫『燃え上がる海 湾岸現代史』(東京大学出版会、1995年)

参考書：

桜井啓子『現代イラン』(岩波書店、2001年)  
Abrahamian, Ervand, *Iran Between Two Revolutions*, Princeton University Press, Princeton, 1982.

【07】東洋史特殊 (G)(2)(春学期)	
【07】東洋史特殊 (G)(2)(秋学期)	
【04】東洋史特殊G(4)(通年)	オスマン帝国の社会と経済 講師 松井真子

授業科目の内容：

最盛期にはアジア、アフリカ、ヨーロッパの三大陸にわたる広大な領土を支配し、600年以上の歴史を誇ったオスマン帝国。多宗教・多民族の共存する多様な社会は、地域毎の独自性を保ちつつも帝国下でイスラーム秩序を基盤とする一つの「経済圏」を構成し、西欧やロシア、イランなど隣接する諸経済圏と密接な関係を結びながら発展しました。特に近代を決定づけたヨーロッパ資本主義経済との関係では、その誕生に寄った初期から、最終的には経済的な従属を余儀なくされる末期まで常に重要な役割を果たした本講義ではこうした世界経済史における帝国の歴史的意義を考えながら、オスマン経済圏の変容過程を基本的な政治史もふまえて検討します。春学期は草創期から18世紀前半までを、秋学期は18世紀後半から20世紀初頭の帝国解体までの時期をとりあげる予定です。

テキスト：

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

参考書：

講義の内容に即して適宜提示します。

【07】東洋史特殊 (H)(2)(春学期)	
【07】東洋史特殊 (H)(2)(秋学期)	
【04】東洋史特殊H(4)(通年)	中世・近世・近代のアラブ世界とヨーロッパ 教授 長谷部 史彦

授業科目の内容：

「レコンキスタ」や十字軍運動がはじまる西暦11世紀から第1次世界大戦前後までを対象として、特にシリア、エジプト、アラビア半島、紅海、ペルシア湾に注目しながら、アラブ地域・ヨーロッパ関係の歴史的な展開について考えます。可能な限り多様な視角を設定し、両世界の対立・葛藤・外交・文化の交流と摩擦、越境的な人の移動、異界観などを明らかにして行きます。

テキスト：

なし

参考書：

佐藤次高編『西アジア史 アラブ』山川出版社、2002年  
その他、授業で紹介いたします。

【07】東洋史特殊 ( ) (2) (春学期)	
【07】東洋史特殊 ( ) (2) (秋学期)	
【04】東洋史特殊I(4)(通年)	漢籍書誌学・目録学概説 斯道文庫 教授 山城 喜憲

授業科目の内容：

漢籍とは、中国人が、中国人の為に著した書物のことを言います。先秦・漢代より以来、夥しい量の漢籍が累積蓄積されてきましたが、そのことが、中国の学術・文化の根底を支えてきたといえるでしょう。のみならず、日本を含め、周辺の諸国に伝わり、大きな影響を及ぼしてきました。その漢籍の流別、言いかえれば学派の淵源と伝来、特徴を考えるのが、目録の学で、あらゆる学問の基礎となる非常に大切なものと言われてきました。東洋史を学ぶ上でも目録学について理解しておくことは重要なことと考えます。その目録学について概説します。

テキスト：

特に指定しません。適宜、資料プリントを配布します。

参考書：

内藤湖南『支那目録学』(内藤湖南全集第十二巻所収)、長澤規矩也『古書のはなし 書誌学入門』

【07】東洋史特殊 (J)(2)(春学期)	
【07】東洋史特殊 (J)(2)(秋学期)	
【04】東洋史特殊J(4)(通年)	中国簡牘学の世界 講師 高村 武幸

授業科目の内容：

近年の中国古代史の研究では、各地で発掘された「出土史料」を用いた研究が一般化しており、特に、木や竹の板に文字を記した「簡牘」は、数量・内容共に豊富であるため、有名な『史記』などの文献史料と肩を並べる史料として扱われている。この状況を踏まえ、本授業では簡牘について取り上げる。まず順牘を史料として扱う際の基礎知識や、主要内容とその内容ならびに研究の現状を概観する。その上で、記載内容にとどまらず、簡牘の形自体が持つ意味や、再利用の実態など、紙とはことなる素材ならではの特徴に注目する(以上春学期)。次に、簡牘を用いた歴史研究の一例として、前漢時代に遊牧民・匈奴と接していた西北辺境「河西」の実態を木簡から再現し、文献の示す状況との比較検討を試みる(以上秋学期)。可能であれば、機会を設けて簡牘を受講者に読解してもらおうとも考えている

テキスト：

特になし。資料を適宜配布します。

参考書：

春学期：富谷至『木簡・竹簡の語る中国古代』岩波書店  
秋学期：初山明『漢帝国と辺境社会』中公新書

【07】東洋史特殊 (K)(2)(春学期)	
【07】東洋史特殊 (K)(2)(秋学期)	
【04】東洋史特殊K(4)(通年)	南アジア近現代史の諸問題 講師 中里 成章

授業科目の内容：

南アジア近現代史とは、インド、バングラデシュ、パキスタン、スリランカ、ネパール等の諸国がある地域の18世紀半ば以降の歴史をいいます。この授業は、総花的な概説になるのを避け、研究上の主なテーマを分かりやすく解説し、南アジア近現代史の構造を理解してもらうことを目標にします。

テキスト：

とくに指定しません。随時講義資料プリントを配布します。

参考書：

スミット・サルカール『新しいインド近代史 下からの歴史の試み』2巻（研文出版，1993年）

- 【07】東洋史研究会 (A)(3年)(セ)(1)(春学期)
- 【07】東洋史研究会 (A)(3年)(セ)(1)(秋学期)
- 【07】東洋史研究会 (A)(4年)(セ)(1)(春学期)
- 【07】東洋史研究会 (A)(4年)(セ)(1)(秋学期)
- 【04】東洋史研究会 A(3年)(2)(通年)
- 【04】東洋史研究会 A(4年)(2)(通年)

休講

- 【07】東洋史研究会 (B)(3年)(セ)(1)(春学期)
  - 【07】東洋史研究会 (B)(3年)(セ)(1)(秋学期)
  - 【07】東洋史研究会 (B)(4年)(セ)(1)(春学期)
  - 【07】東洋史研究会 (B)(4年)(セ)(1)(秋学期)
  - 【04】東洋史研究会 B(3年)(2)(通年)
  - 【04】東洋史研究会 B(4年)(2)(通年)
- イスラーム社会史への途 教授 坂本 勉

授業科目の内容：

まず最初に共通のテキストとして生活観にあふれた社会史文化史について扱う本と一緒に読んでいながら中東イスラーム世界についての認識を深めていきたい。これが済んだ後、出席者にそれぞれ自由課題を与え、その結果をレジュメにして発表していくという形式で授業をすすめていくことにする。このゼミに出席する者は、まず自分が何をやるうとしているのか、徹底的に考えてほしい。そして、しかるのちにやるべき事柄にかんする周到なビブリオグラフィーをつくりそれにもとづく意欲的な発表を期待する。

- 【07】東洋史研究会 (C)(3年)(セ)(1)(春学期)
  - 【07】東洋史研究会 (C)(3年)(セ)(1)(秋学期)
  - 【07】東洋史研究会 (C)(4年)(セ)(1)(春学期)
  - 【07】東洋史研究会 (C)(4年)(セ)(1)(秋学期)
  - 【04】東洋史研究会 C(3年)(2)(通年)
  - 【04】東洋史研究会 C(4年)(2)(通年)
- 中東・イスラーム世界史研究 教授 長谷部 史彦

授業科目の内容：

イスラームの形成とその多彩な社会的潮流，日々のくらしのなかのイスラームに注目しながら，現代イスラーム世界において圧倒的な重要性をもち続けるアラブ諸地域を中心に，中東の社会・文化・政治について歴史的に考えます。「イスラーム」や「民族」をめぐる固定的なイメージ，非歴史的な理解に揺さぶりをかけることを目標のひとつとします。また，卒業論文の作成に向け，研究技法の面についても，講義や話し合いのなかで徐々に理解を深めて行きます。春学期の途中から，前近代と現代を扱う下記の文献より重要な章をいくつか抜き出して少しずつ講読し，討論を試みるつもりですが，これについては学期のはじめに参加者と相談のうえ決定します。秋学期は卒業論文の作成に向けて研究報告や質疑応答に多くの時間を割く予定です。

民族運動・異文化・宗教間の交渉や葛藤，都市の社会と文化，マイノリティ，移動と交流，ヨーロッパとイスラーム世界の歴史的な関係など中東・イスラーム世界史の諸テーマに興味をもつ諸君の参加を歓迎します。

- テキスト：
- ・Jonathan P. Berkey, *The Formation of Islam: Religion and Society in the Near East, 600-1800*, Cambridge: Cambridge University Press, 2003
  - ・Roger Owen, *State, Power and Politics in the Making of the Modern Middle East*, London & New York: Routledge, 1992

参考書：

・小杉泰，林佳世子，東長靖編『イスラーム世界研究マニュアル』名古屋大学出版会，2008年

- 【07】東洋史研究会 (D)(3年)(セ)(1)(春学期)
  - 【07】東洋史研究会 (D)(3年)(セ)(1)(秋学期)
  - 【07】東洋史研究会 (D)(4年)(セ)(1)(春学期)
  - 【07】東洋史研究会 (D)(4年)(セ)(1)(秋学期)
  - 【04】東洋史研究会 D(3年)(2)(通年)
  - 【04】東洋史研究会 D(4年)(2)(通年)
- 東アジア近世・近代史研究 教授 山本 英史

授業科目の内容：

この研究会では中国を中心とする東アジアの近世・近代を歴史文献を通して研究することを目的としています。3年生は専門研究を行う上で必要な知識の習得を技術の訓練を，4年生は3年生の時に身につけた資産を活かした卒業論文作成のための準備訓練を行います。

テキスト：  
プリントを配布します。

参考書：

『中国近現代史研究のスタンダード』（田中比呂志・飯島沙編）研究出版，2005，1800円

- 【07】東洋史研究会 (E)(3年)(セ)(1)(春学期)
- 【07】東洋史研究会 (E)(4年)(セ)(1)(春学期)
- 【07】東洋史研究会 (E)(4年)(セ)(1)(秋学期)
- 【07】東洋史研究会 (E)(4年)(セ)(1)(春学期)
- 【07】東洋史研究会 (E)(4年)(セ)(1)(秋学期)
- 【04】東洋史研究会 E(3年)(2)(通年)
- 【04】東洋史研究会 E(4年)(2)(通年)

中国人ならびにアジア人の国際移動 教授 吉原 和男

授業科目の内容：

- (1)アジアにおける，あるいはアジアから他地域への国際人口移動の歴史人類学的研究を行う。中国人だけではなく，日本人および日系人，韓国人，東南アジアの人々，インド人なども視野にいれて比較研究する。移民の故郷，移民に関する法制，プロセス，適応と文化変容，エスニシティなどについて総合的に考える。たとえば，グローバリゼーション，トランスナショナルリズム，華僑華人，チャイナタウン，移民の宗教，外国人労働者，難民などがキーワードである。
- (2)中国の近・現代史において中国人の国際移動と関連する事象の研究
- (3)北米，ヨーロッパ，東南アジア，オーストラリアそして日本などにおける中国系以外のアジア移民の研究
- (4)今年度から港区三田におけるアジア移民の生活・就労実態調査を行なう。

テキスト：

未定

参考書：

- ・岩波講座文化人類学第7巻『移動の民族誌』岩波書店，1996年
- ・岩波講座世界歴史第19巻『移動と移民』岩波書店，1999年
- ・五十嵐武士編『アメリカの多民族体制』東京大学出版会，2000年
- ・吉原ほか編『血縁の再構築：東アジアにおける父系出自と同姓結合』風響社，2000年
- ・吉原ほか編『アジア移民のエスニシティと宗教』風響社，2001年
- ・吉原ほか編『拡大する中国世界と文化創造』弘文堂，2002年

- 【07】東洋史研究会 (F)(3年)(セ)(1)(春学期)
- 【07】東洋史研究会 (F)(3年)(セ)(1)(秋学期)
- 【07】東洋史研究会 (F)(4年)(セ)(1)(春学期)
- 【07】東洋史研究会 (F)(4年)(セ)(1)(秋学期)
- 【04】東洋史研究会 F(3年)(2)(通年)
- 【04】東洋史研究会 F(4年)(2)(通年)

中国古代史の諸問題 教授 桐本 東太

授業科目の内容：

中国古代史で卒論を書きたいと思っている人の研究会。特定のテキストを選んで講読したり，学生諸君に発表してもらったりしながら授業を進めたい。

テキスト：

なし

参考書：

適宜指示する

## 選 択 科 目

【07】東洋史演習 (A)(セ)(1)(春学期)

【07】東洋史演習 (A)(セ)(1)(秋学期)

【04】東洋史演習A(2)(通年)

世界史における異文化交流 イスラーム世界を中心に

講 師 宮 武 志 郎

授業科目の内容：

世界史は様々な文化の交流と融合の上に成立している。その典型的な場面は地中海世界であろう。この演習では地中海を中心にイスラーム、キリスト教、ユダヤ教等の文化が交流と融合を繰り返し、世界史を形成していった過程を学んでいく。後期の後半には、15世紀以降のアジアとヨーロッパの勢力関係も考察する予定である。また、必要があれば、現在の国際情勢の変化に関する歴史的考察も行う。

テキスト：

適宜プリントして配布する。

参考書：

授業中に指示する。

【07】東洋史演習 (B)(セ)(1)(春学期)

【07】東洋史演習 (B)(セ)(1)(秋学期)

【04】東洋史演習B(2)(通年)

アラブ地域史資料講読

教 授 長谷部 史 彦

授業科目の内容：

この講義では、アラブ・イスラーム世界、地中海イスラーム圏の歴史的な展開に興味を持つ諸君を対象に、専門的な研究文献や史料の読解能力の向上をめざします。

本年度は、18・19世紀のパレスティナの都市社会史に関する下記の英語文献の講読からはじめ、秋学期にはできれば英訳のあるアラビア語史料の部分的講読も試みたいと思っています。具体的な進め方については参加者と相談のうえ決定しますので、とりあえず初回の講義に出席してください。

テキスト：

Beshara Doumani, *Rediscovering Palestine: Merchants and Peasants in Jabal Nablus, 1700-1900*, Bekeley: University of California Press, 1995, その他。

参考書：

講義の中で紹介します。

【07】東洋史演習 (C)(セ)(1)(春学期)

【07】東洋史演習 (C)(セ)(1)(秋学期)

【04】東洋史演習C(2)(通年)

『史記』孔子世家の講読

教 授 桐 本 東 太

授業科目の内容：

孔子は名前を孔丘といった。「丘」は文字通り「おか」の意である。それではなぜ孔子は孔丘と名づけられたのか。「孔子世家」を読みながら、孔子の生涯をたどるとともに、中国古代のフォークロアについても言及してゆきたい。

テキスト：

『史記』孔子世家(コピー配布する)

参考書：

適宜指示する。



# 西洋史学専攻

## 必修科目

- 【07】史学概論 (2)(春学期)
- 【07】史学概論 (2)(秋学期)
- 【04】史学概論(4)(通年)

[春] 経済学部 教授 矢野 久  
[通年] 教授 神田 順司

授業科目の内容:

歴史の「事実」とは何か。それは揺るぎなき真実として発見されるのか、それとも歴史家の解釈によって作られるのか。もし歴史が歴史家の解釈の産物だとすれば、その「事実」認識の客観性はいかに保障されるのか、また実証研究はいかなる意味を持つのか。歴史の個別研究から一步退いて、歴史がどのように認識されるのかを考えてみる時、われわれは様々な理論的問題に直面する。本講義では、そのような歴史学における認識論の諸問題を取り上げ、それらを実証研究との連関において考察する。

本年度は、歴史学におけるポスト・モダニズムの問題性について現代社会史の立場から矢野が史学史的考察を通して問題提起をおこない、それを受けて神田が歴史の認識論と客観性の問題について論ずる。

テキスト:

E. H. カー、『歴史とは何か』岩波新書

参考書:

授業の中で提示する。

- 【07】西洋史学原典講読 (セ)(1)(春学期)
- 【07】西洋史学原典講読 (セ)(1)(秋学期)
- 【04】西洋史学原典講読(2)(通年) 教授 藤田 苑子

授業科目の内容:

西洋史の勉強に役立つように英語の文献を読む練習をします。そのためには、まずは辞書を例文を含めてよく読む習慣をつけ、さらに内容をよく理解するためにほかの事典や日本語の文献も調べることをこころがけましょう。

- 【07】西洋史学原典講読 (セ)(1)(春学期)
- 【07】西洋史学原典講読 (セ)(1)(秋学期)
- 【04】西洋史学原典講読(2)(通年) 教授 神崎 忠昭

授業科目の内容:

Brenda Bolton, *The Medieval Reformation*, London, 1983, 126p. を講読します。なお、この本は12世紀ヨーロッパ、特に教皇インノケンティウス3世治下における宗教的革新を論じています。

参考書:

授業において、そのつど指示します。

- 【07】西洋史学原典講読 (セ)(1)(春学期)
- 【07】西洋史学原典講読 (セ)(1)(秋学期)
- 【04】西洋史学原典講読(2)(通年) 教授 清水 祐司

授業科目の内容:

西洋史研究に不可欠な洋書の読み方を指導する授業です。テキストの講読を通じて、辞書、辞典、事典などの使い方に慣れ、洋書を理解するためには語学力はもとより、その洋書に直接、間接に関わる十分な知識(場合によっては学説史に関わる知識も含まれます)がなければ読みこなせないことを認識してもらうことが目標です。

テキスト:

昨年度と同じく、M. Ashley, *England in Seventeenth Century*, new edition, London, 1978 を使用します。

参考書:

- 【07】西洋史演習 (伊)(セ)(1)(春学期)
- 【07】西洋史演習 (伊)(セ)(1)(秋学期)
- 【04】西洋史演習(伊)(2)(通年) 講師 三森 のぞみ

授業科目の内容:

中世・ルネサンス期のイタリア史に関する文献を講読します。

テキスト:

プリントを配布します。

参考書:

授業中に適宜紹介します。

- 【07】西洋史演習 (西)(セ)(1)(春学期)
- 【07】西洋史演習 (西)(セ)(1)(秋学期)
- 【04】西洋史演習(西)(2)(通年) 教授 山道 佳子  
スペイン近現代史の史料を読む

授業科目の内容:

春学期には18世紀スペインの社会風俗などを描写した史料(あるいは文献)、秋学期には20世紀スペインの政治史に関する論文をとりあげる予定です。

テキスト:

プリントを配布する。なお各自が使用している辞書を毎回持参すること。

参考書:

授業中に指示する。

- 【07】西洋史演習 (独)(セ)(1)(春学期)
- 【07】西洋史演習 (独)(セ)(1)(秋学期)
- 【04】西洋史演習(独)(2)(通年) 教授 神田 順司

授業科目の内容:

以下のテキストの講読を通してドイツにおける反ユダヤ主義の成立史を学ぶ。

テキスト:

Elenore Sterling, *Judenhaß. Die Anfänge des politischen Antisemitismus in Deutschland (1815-1850)*, Frankfurt am Main: Europäische Verlagsanstalt 1969.

参考書:

授業の中で指示する。

- 【07】西洋史演習 (仏)(セ)(1)(春学期)
- 【07】西洋史演習 (仏)(セ)(1)(秋学期)
- 【04】西洋史演習(仏)(2)(通年) 教授 藤田 苑子  
フランス語文献講読

授業科目の内容:

フランスのアンシアン・レジーム社会にかんする基礎的な知識を得ることを目的として、専門の文献を講読します。

テキスト:

コピーを配布します。

参考書:

辞書を指定します。大修館『新スタンダード仏和辞典』電子辞書の使用は禁止します。

- 【07】西洋史演習 (露)(セ)(1)(春学期)
- 【07】西洋史演習 (露)(セ)(1)(秋学期)
- 【04】西洋史演習(露)(2)(通年) 講師 田辺 三千広  
ロシア史に関するロシア語文献の講読

授業科目の内容:

ロシア史に関するロシア語文献の講読を行います。今年度は、  
(古代からのロシア史)をテキストとして使用します。

- 【07】西洋史概説 (2)(春学期)
- 【07】西洋史概説 (2)(秋学期)
- 【04】西洋史概説 (4)(通年) 教授 神崎 忠昭  
西欧中世世界の展開

授業科目の内容:

古典古代末期から近世初頭までの西欧の歴史を概観します。

参考書:

授業において、そのつど指示します。

- 【07】西洋史概説 (2)(春学期)
- 【07】西洋史概説 (2)(秋学期)
- 【04】西洋史概説 (4)(通年) 教授 藤田 苑子

授業科目の内容:

時代としては16世紀から18世紀を、地域としてはフランスを中心にしながら、西ヨーロッパの歴史を概観する。

テキスト:

『世界歴史体系ドイツ史1』『世界歴史体系フランス史2』『世界歴史体系イギリス史2』山川出版社  
ピエール・グベール『歴史人口学序説』岩波書店

【07】西洋史概説 (2)(春学期)

【07】西洋史概説 (2)(秋学期)

【04】西洋史概説 (4)(通年)

ヨーロッパ近代を考える

教授 山道佳子

授業科目の内容:

18世紀後半の啓蒙主義改革から20世紀の全体主義の勃興までのヨーロッパ近現代史を概観します。各学期に3つから4つ程度のテーマを設定し、それぞれのテーマに関して、1)テーマの概観および近年の歴史研究で注目されている視点や研究方法の紹介 2)そのテーマに関する必読文献の解説 3)担当者の専門であるスペイン史/政治文化史からの実例の紹介という順で授業を展開していきます。

これらの全体を通して、ヨーロッパにとって近代とは何か(春学期)、近代化の矛盾を受けて歴史はどのように展開したか(秋学期)を考え、理解することを目標とします。

テキスト:

指定しない。講義資料はプリントを配布。

参考書:

授業の中で紹介する。

【07】西洋史特殊 (A)(2)(春学期)

【07】西洋史特殊 (A)(2)(秋学期)

【04】西洋史特殊A(4)(通年)

ヴァイマル期のドイツの社会と社会政策

講師 柳沢のどか

授業科目の内容:

ヴァイマル期(1918年-1933年)はドイツ版福祉国家である「社会国家」の創成期と捉えられている。本講義では、当時の社会層の動向や社会経済的現象、さらには、社会政策の展開に着目することによって、ヴァイマル期「社会国家」の可能性と限界を考察する。

春学期は、ヴァイマル期「社会国家」を規定していた諸要因を理解する。秋学期は、当時、最も本格的にとりこまれた社会政策である住宅政策を中心にトピックとして取りあげ、「社会国家」の特徴を理解する。

テキスト:

指定しない。

参考書:

授業中に適宜紹介する。

【07】西洋史特殊 (B)(2)(春学期)

【07】西洋史特殊 (B)(2)(秋学期)

【04】西洋史特殊B(4)(通年)

植民地からみたスペイン現代史

講師 飯島みどり

授業科目の内容:

言うまでもなく、我々の生きる現在は過去の集積の上に成り立っている。好むと好まざるとに関わらず国民国家体制の下で生きる我々にとっては何となく、近過去を振り返ることが必要である。本講義ではスペインの20世紀をその植民地(旧植民地)の側から検討し、言語や歴史の単位として一元視されがちな国家(「日本国家」を含む)という存在そのものを再考する。前期は主としてスペインのアメリカ植民地(ラテンアメリカ)から、後期はアフリカ植民地(カナリア、モロッコ)を軸に講義する。通年での受講が望ましい。

テキスト:

特になし

参考書:

永原陽子編『世界史における植民地責任』(青木書店 2009)ほか適宜紹介する。

【07】西洋史特殊 (C)(2)(春学期)

【07】西洋史特殊 (C)(2)(秋学期)

【04】西洋史特殊C(4)(通年)

中世・ルネサンス期のイタリア

講師 三森のぞみ

授業科目の内容:

初期中世からおおよそ16世紀初頭(いわゆるルネサンス期を含む)までのイタリア史の流れをたどり、その基本的な理解を得た上で、諸都市が活発な活動を展開したイタリアの中でも特異な発展を遂げたフィレンツェを取り上げ、フィレンツェが14世紀から15世紀にかけてコムーネ都市から領域国家へと至る過程を考察するとともに、ルネサンス文化が生み出された契機を検討します。政治、経済、社会、文化の諸側面をできるだけ有機的に捉え、イタリア都市社会の特質を総合的に考えることを目指します。

テキスト:

特に指定しません。プリントを配布します。

参考書:

授業中に適宜紹介します。

【07】西洋史特殊 (D)(2)(春学期)

【07】西洋史特殊 (D)(2)(秋学期)

【04】西洋史特殊D(4)(通年)

宗教改革期の思想と社会

講師 野々瀬浩司

授業科目の内容:

16世紀初頭のドイツ・スイスの社会・経済・思想状況について説明しながら、宗教改革という社会運動を社会史的な視点から解明したいと考えます。前半は、ルター、ツヴィングリ、ミュンツァーなどの思想について考察し、後半は、それらの思想を、それぞれの社会層(貴族、市民、農民)や連邦国家がどのように受容、拒絶したのかについて講義します。途中で何回かビデオを用いて、ドイツやスイスの文化を視覚的に理解できるように解説します。

テキスト:

特に使用しません。大量にプリントを用います。

参考書:

ペーター・ブリックレ『ドイツの宗教改革』(教文館)、ベルント・メラ『帝国都市と宗教改革』(教文館)、野々瀬浩司『ドイツ農民戦争と宗教改革』(慶大出版会)

【07】西洋史特殊 (E)(2)(春学期)

【07】西洋史特殊 (E)(2)(秋学期)

【04】西洋史特殊E(4)(通年)

古代ギリシア・ローマ世界の実態

講師 長谷川 岳 男

授業科目の内容:

本講義においては従来、西洋世界の源流と位置づけられてきた古代ギリシア、ローマ世界を扱う。1980年代より、この「源流」という位置づけへの疑義が高まり、違った視点からの考察が進められている近年の研究動向をふまえて、新たなギリシア・ローマ像を紹介したうえで、本年度ではギリシア人のコミュニティの実態についてローマ支配下までを視野に入れて通時的に考察する。

テキスト:

使用しない

参考書:

講義中に随時、指示する。

【07】西洋史特殊 (F)(2)(春学期)

【07】西洋史特殊 (F)(2)(秋学期)

【04】西洋史特殊F(4)(通年)

近現代フランスの教育・国家・社会 講師 前田 更子

授業科目の内容:

本講義では、18世紀末~20世紀のフランスの学校を扱います。この200年ほどのあいだに学校の様子やその社会のなかでの役割はどのように変化したのでしょうか。こうした問題について考察を深めることは、同時にフランス社会・国家のあり方、さらには子ども観や家族観の変化をみてゆくことにつながるはずで、というも、学校は、一方では、あるべき社会を模索する国家の指導者たちの理念・思想がもっとも端的に反映される場であり、他方では、移り変わる社会のニーズに連動して常に変化を続けてきた領域だからです。本講義では、学校教育をめぐる諸問題を扱いながら、近現代フランスの社会や国家に関する理解を深めることを目的とします。

テキスト:

テキストはありません。

参考書:

講義の進行にあわせて、随時、提示します。

【07】西洋史特殊 (G)(2)(春学期)

【07】西洋史特殊 (G)(2)(秋学期)

【04】西洋史特殊G(4)(通年)

考古学から見た中世初期フランス社会 講師 堀越 宏一

授業科目の内容:

中世フランス社会を対象とした考古学研究は、20世紀後半に飛躍的に発展し、それまでの古文書中心の中世史研究のあり方を大きく変えていった。1年間の講義のなかで、さまざまな分野に及ぶその成果のなかから、中世初期フランク社会に関する成果を紹介することを通じて、この時代のフランス社会そのものを多角的に描き出したい。

具体的なテーマとしては、中世初期の教会と墓地と農村における定住地の問題を論じる。

テキスト:

なし

参考書:

教科書は指定せず、関連史料はプリントして配布する。

参考書としては、堀越宏一『中世ヨーロッパ生活誌(NHKカルチャーアワー・歴史再発見)』日本放送出版協会、2008年。

【07】西洋史特殊 (H)(2)(春学期)  
【07】西洋史特殊 (H)(2)(秋学期)  
【04】西洋史特殊H(4)(通年)  
アメリカ合衆国史におけるヴィジランティズム  
講師 綾 辺 昌 朋

授業科目の内容:

アメリカ史の伝統の一つであるヴィジランティズム(vigilantism)について考えてゆきます。ヴィジランティズムは定義の困難な概念ですが、授業では暫定的に大まかな定義をしてできる限り多くの興味深い事例(主に19世紀~20世紀初め)を取り扱いたいと考えています。主にリンチャ鞭打ちといった暴力的自警団活動の背景を探ります。

テキスト:  
特にありません。

【07】西洋史特殊 ( ) (2)(春学期)  
【07】西洋史特殊 ( ) (2)(秋学期)  
【04】西洋史特殊 (4)(通年)  
東欧史  
講師 川 名 隆 史

授業科目の内容:

ポーランドを中心に、東欧の歴史から興味深い(と思われる)様々なトピックを拾い出して解説して行きます。東欧は西欧の辺境でもなければ、得体のしれない異界でもありません。東と西の世界が様々な形で交流し合い、混淆して出来上がった独特の雰囲気を持った世界です。本講義では、宗教、民族、政治、その他多様な観点から、この東欧の歴史をひも解いてゆくつもりです。

テキスト:  
特定のテキストは使用しません。最低限必要な材料は、配布するかWeb上に公開します。

参考書:  
基本的に東欧に関する書物はすべて参考書と考えてください。その他必要があれば講義中に示します。

【07】西洋史特殊 (J)(2)(春学期)  
【07】西洋史特殊 (J)(2)(秋学期)  
【04】西洋史特殊J(4)(通年)  
自然 から見るドイツ社会史  
講師 森 涼 子

授業科目の内容:

自然 という言葉から、我々は緑豊かな風景、咲き乱れる草花を連想する。しかし歴史の中の自然は、決して自然だったのではない。自然は、支配と抵抗がぶつかりあう場であり、集合心性が表象される場であり、それぞれの時代における現実問題解決の夢を託す場であった。今日ドイツは環境先進国として知られているが、そこにいたるまでの矛盾にみちた紆余曲折の経緯は、日本ではあまり明らかにされていない。近代以前のドイツ人がいかに自然の脅威と対峙し、かつ資源として利用しようとしてきたか。近代になって自然への憧憬が高まる時代背景は何だったのか。帝政期以降の様々な担い手による自然保護運動にはどのような政治情勢が反映しているのか。このような疑問に答えるべく授業を進めたいと考えている。

テキスト:  
特に指定しない。  
参考書:  
授業中に挙げる。

【07】西洋史研究会 (A)(3年)(セ)(1)(春学期)  
【07】西洋史研究会 (A)(3年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】西洋史研究会 (A)(3年)(2)(通年)  
教授 神 田 順 司

授業科目の内容:

本年度は「マルクスの思想」を取り上げ、それについての歴史的批判的考察を試みる。

社会主義の崩壊以来「グローバル化」の名の下にアメリカ流の新自由主義が世界を席捲し、公共財の私有化と投機マネーに依存するその脆弱な体制から、危機に直面して今や急速に凋落し、世界経済に大混乱をまねいている。わが国でも競争の激化や非正規労働者の大量解雇によって社会的格差が拡大している。そのような不安定雇用や低賃金による貧困化から、若年層の間で小林多喜二の『蟹工船』が読まれ、また「マルクスの再読」が叫ばれるようになっている。しかし思想の再評価とは、冷徹な歴史的研究なしにはあり得ない。たんに現代の要請にしたがって「再読」したとしても、「また読んだ」にすぎず、何ら新たな知見を得ることはできない。改良主義を拒絶する革命的ファナティズム、規範的思想や民族理論の欠如など、マルクス主義にも多くの問題性が含まれている。スターリン主義や社会主義崩壊の遠因はすでにマルクスの思想の中にあると言ってもよい。

当研究会ですぐれたテキストの講読を前提として、三月前期の政治

と社会、ヘーゲルやヘーゲル左派の思想、フランス社会主義の影響、ドイツの職人社会主義、1884年革命前夜の状況などと連関させながら『共産党宣言』に至るまでのマルクスの思想形成を主要なテーマごとに実証的、批判的に考察する。マルクスの著作についてはほとんどが和訳されているので、上記テーマに関する主要なものを講読する機会も作る。学生諸君には、テキストを中心に出来るだけ幅広く参考文献を読み、議論に参加することを望みたい。

テキスト:

Karl Marx and Friedrich Engels, *The Communist Manifesto*. With an Introduction and Notes by Gareth Stedman Jones, Penguin Books 2002. 本書所収のIntroduction(約180ページ)を読む。

参考書:  
良知 力, 『マルクスと批判者群像』平凡社 1971年  
同 『資料ドイツ初期社会主義 義人同盟とヘーゲル左派』平凡社 1974年  
同 『ヘーゲル左派と初期マルクス』岩波書店 1987年  
神田順司, (良知, 広松編)『ヘーゲル左派論叢』  
第二巻「解説」御茶の水書房 2006年  
同 「国家・法・人格 マルクス『ヘーゲル法哲学批判』の問題性について」川越, 植村, 野村編, 『思想史と社会史の弁証法 良知力追悼論集』御茶の水書房 2007年  
その他, 個々のテーマに関する参考文献については授業の中で提示する。

【07】西洋史研究会 (C)(3年)(セ)(1)(春学期)  
【07】西洋史研究会 (C)(3年)(セ)(1)(秋学期)  
【07】西洋史研究会 (C)(4年)(セ)(1)(春学期)  
【07】西洋史研究会 (C)(4年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】西洋史研究会 (C)(3年)(2)(通年)  
【04】西洋史研究会 (C)(4年)(2)(通年)  
教授 神 崎 忠 昭

授業科目の内容:

よりよい卒業論文が書けることを目的にします。3年生には、テーマを絞って、文献検索のいろはを習い、「読むこと」を学び、発表することを経験してもらいます。それらを基礎にして、4年生には卒業論文を仕上げてもらいます。「青春のモニュメント」になるような卒業論文を期待しています。

【07】西洋史研究会 (D)(3年)(セ)(1)(春学期)  
【07】西洋史研究会 (D)(3年)(セ)(1)(秋学期)  
【07】西洋史研究会 (D)(4年)(セ)(1)(春学期)  
【07】西洋史研究会 (D)(4年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】西洋史研究会 (D)(3年)(2)(通年)  
【04】西洋史研究会 (D)(4年)(2)(通年)  
教授 藤 田 苑 子

授業科目の内容:

日本語および英語あるいはフランス語の文献や論文を読むかわら、各自が卒論の準備をします。執筆の進捗状況に応じて、数回の報告をします。  
テキスト:  
そのつど指定します。

【07】西洋史研究会 (E)(3年)(セ)(1)(春学期)  
【07】西洋史研究会 (E)(3年)(セ)(1)(秋学期)  
【07】西洋史研究会 (E)(4年)(セ)(1)(春学期)  
【07】西洋史研究会 (E)(4年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】西洋史研究会 (E)(3年)(2)(通年)  
【04】西洋史研究会 (E)(4年)(2)(通年)  
教授 吉 武 憲 司

授業科目の内容:

授業中に中世史に関する英語の論文を講読しつつ、卒業論文作成のための指導をおこないます。

【07】西洋史研究会 (F)(3年)(セ)(1)(春学期)  
【07】西洋史研究会 (F)(3年)(セ)(1)(秋学期)  
【07】西洋史研究会 (F)(4年)(セ)(1)(春学期)  
【07】西洋史研究会 (F)(4年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】西洋史研究会 (F)(3年)(2)(通年)  
【04】西洋史研究会 (F)(4年)(2)(通年)

休講



- 
- 【07】西洋史研究会 (G)(3年)(セ)(1)(春学期)  
【07】西洋史研究会 (G)(3年)(セ)(1)(秋学期)  
【07】西洋史研究会 (G)(4年)(セ)(1)(春学期)  
【07】西洋史研究会 (G)(4年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】西洋史研究会 (G)(3年)(2)(通年)  
【04】西洋史研究会 (G)(4年)(2)(通年)

近世ヨーロッパ政治文化史(スペインと周辺諸国)

教授 山道佳子

---

授業科目の内容：

春学期には近代ヨーロッパ政治文化史を学ぶ上での基本文献の講読を行います。

秋学期には各自の卒論のテーマ決定に向けて、個別テーマによる報告とそれをもとにした議論を中心に進めます。

なお、4年生には適宜卒論にむけての研究経過をゼミで発表してもらおう他、時間外に個別指導を行います。

テキスト：

開講時に履修者と相談の上決定する。

参考書：

授業中に指示する。

---

- 【07】西洋史研究会 (B)(4年)(セ)(1)(春学期)  
【07】西洋史研究会 (B)(4年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】西洋史研究会 (B)(4年)(2)(通年)

教授 清水祐司

---

授業科目の内容：

本年度は4年生だけですので、昨年度の蓄積を踏まえて、さらに関連文献を読み、卒論の完成をめざします。

テキスト：

なし

参考書：

授業中にその都度紹介します。

# 民族学考古学専攻

## 必修科目

- 【07】史学概論 (2)(春学期)
- 【07】史学概論 (2)(秋学期)
- 【04】史学概論(4)(通年)

[春] 経済学部 教授 矢野 久  
[通年] 教授 神田 順司

### 西洋史学専攻参照

- 【07】民族学考古学原典講読 (要)(2)(春学期)
- 【07】民族学考古学原典講読 (要)(2)(秋学期)
- 【04】民族学考古学原典講読(2)(通年)

[春] 教授 杉本 智俊  
[秋] 教授 佐藤 孝雄

### 授業科目の内容:

民族学・考古学に関する英文文献を講読する。春学期はオリエント考古学に関する概説書, 秋学期には第四紀学や環境考古学に関する入門書をテキストとし, 学術的な英文の読解力向上を図り, 考古学と関連諸科学の基本用語を日英両語で習得することを目指す。履修者全員が毎回の分を読んだ上で授業に臨んでもらう。予習に際しては, 英和辞典のみならず, 考古学事典や, 地形学, 生物学, 生態学, 建築学など関連諸学の事典にも当て内容の把握に努めて欲しい。

### テキスト:

初回の講義時に指示する。

### 参考書:

講義中に随時指示する。

- 【07】民族学考古学研究法 (セ)(1)(春学期)
- 【07】民族学考古学研究法 (セ)(1)(秋学期)
- 【04】民族学考古学研究法(4)(通年)

[春] 教授 山口 徹  
[秋] 准教授 安藤 広道

### 【春学期】

#### 授業科目の内容:

文化研究におけるフィールドワークの方法論は B. マリノフスキーにはじまる。現地に長期間滞在し, そこに生きる人々の生活に密着しながら調査を進める参与観察法である。ところが, 歴史学のフィールドは, ものごとが起きるまさにその現場ではない。遺跡や遺物といった過去の文化を対象とする考古学は, その痕跡を残した過去の人々との直接的なコミュニケーションを望めないものである。それゆえに, ケンブリッジ大学の高名な考古学者 . ホダーは, 「移植ゴテのひとつかきから我われの解釈が始まる」と注意をうながす。考古学のフィールドワークに従事するものは, 独断的な解釈に陥らないよう文化人類学以上に注意を払わなければならないということだ。

そのためには, 発掘現場だけでなく, その現場を取り囲む広い範囲に足を運び, 地形や動植物相の観察, 古環境を復元するための自然科学的分析, 史料の活用, 現在そこに生きる人びととの対話を通して, さまざまな情報を蓄積していかねばならない。こうして初めて, 自らの研究対象を解釈するための「分厚いコンテキスト」が手に入るのである。本講義では, そのブラクティクスとして, 三田キャンパス空間を対象にした観察と対話の調査を実施し, 歴史学のためのフィールドワーク方法論を受講生とともに構築していきたい。また塾内外で活躍する多様な分野の「フィールドワーカーたち」を招聘し, その力仕事ぶりをうかがう回を設ける予定である。

### テキスト:

使用しない。

### 参考書:

適宜, 紹介する。

### 【秋学期】

#### 授業科目の内容:

考古学・民族学のフィールドワークで得られた, 記録や資料(遺物など)は, 研究室で整理, 分析が行われる。秋学期は, 民族学考古学研究室に保管されている考古学資料を用い, 発掘調査によって収集された考古学資料の整理・分析の方法を学んでもらう, 実物の考古学資料を自ら手に取って, 接合・復元から, 観察記録や実測図の作成, 写真撮影までを行い, その成果を, 民族学考古学展示室における展示や図録にまとめる。

### 参考書:

- ・鈴木公雄 1988 『考古学入門』東京大学出版会
- ・鈴木公雄 2005 『考古学はどんな学問か』東京大学出版会

- 【07】民族学考古学研究法 (セ)(1)(春学期)
- 【07】民族学考古学研究法 (セ)(1)(秋学期)
- 【04】民族学考古学実習(2)(通年)

教授 佐藤 孝雄  
教授 山口 徹  
准教授 安藤 広道

### 授業科目の内容:

【07】民族学考古学研究法 (セ)(1)(春学期)・(セ)(1)(秋学期),  
【04】民族学考古学研究法(4)(通年)と同じ

- 【07】民族学考古学特殊 (2)(春学期)
- 【07】民族学考古学特殊 (2)(秋学期)
- 【04】民族学考古学特殊 A(4)(通年) 講師 小宮 孟

### 授業科目の内容:

最終氷期末から後氷期にかけての急激な気候変動は, 地形や海流, 気流, 動植物相などに大きな影響を及ぼした。現在までに明らかな証拠によれば, 完新世初頭の中緯度地域で暮らす人類の多くは, 食料調達のために移動をくり返す狩猟採集から栽培植物や家畜をもつ生活に移行し, 沿岸部では水産資源を開発することで新しい環境に適応したと考えられている。この時期, 日本列島に住んだ人々は広葉樹を中心とする森林生態系に適応したと考えられ, 縄文時代早期中葉には貝塚がつくられ, 家畜としてのイヌが登場する。しかし, 当時の人々の生活の実像はまだ不明な点が多い。講義では, 縄文時代の遺跡から発掘採集した動物遺存体をもつ情報性に注目し, そこから復元しよう縄文人の生活について考えてみたい。

- 【07】民族学考古学特殊 (2)(春学期)
- 【07】民族学考古学特殊 (2)(秋学期)
- 【04】民族学考古学特殊 B(4)(通年)

近世考古学概論 准教授(有期) 石神 裕之

### 授業科目の内容:

本講義では充実した資料的蓄積を持ちつつも, 未だ十分に学問的な存在意義を示し得ていない近世考古学に焦点を絞り, その研究領域と方法論について概説する。具体的には陶磁器・玩具などの生活財や出土銭貨, 石造遺物といった個々の遺物研究の事例をはじめ, 墓制や上水, 塵芥処理などの都市論的課題といった多様なテーマを素材として, 近年の調査・研究動向を紹介していきたい。近世考古学は, 単なる近世風俗史の解明を行う立場にとどまらず, 都市史, 社会経済史, 民間信仰史, 村落社会史など, 多様な近世史の研究テーマにアプローチ可能な素材と分析手法を備えている。また考古資料の分析・解釈にあたっては, 人文科学のみならず自然科学の諸学問との協業を行うことが不可欠であり, そうした考古学における学際的な研究の方法論的な問題点を整理・検証するうえでも, 近世考古学は有効な検討作業を行うことができる。以上のような点を踏まえつつ, 近世考古学の研究法と幅広い研究可能性を理解してもらうことが, 本講義のねらいである。

授業は講義形式を基本とするが, 履修者の人数によって現地調査や遺跡見学などを行うことも考えている。

### テキスト:

使用しない。

### 参考書:

必要に応じて講義の中で紹介する。

- 【07】民族学考古学特殊 (2)(春学期)
- 【07】民族学考古学特殊 (2)(秋学期)
- 【04】民族学考古学特殊 C(4)(通年)

『聖書考古学』概説 教授 杉本 智俊  
講師 徳永 里砂

### 授業科目の内容:

南レヴァント(イスラエルなど東地中海地域)は, その後の世界文化に大きな影響を与えた聖書の発生した地として知られている。本講座では, まずこの地域の考古学的研究の現状を編年的に紹介する。その上で, それらと聖書の文献学的研究, 古代近東文書研究の成果を合わせて聖書の背景となった世界の復元を試みる。いわゆる『聖書考古学』である。出エジプト, ダビデ・ソロモンによるイスラエル王国建設, ヤハウェー神教の成立, パピロニア捕囚, 死海文書, イエスの墓などのトピックについても適宜取り上げたい。

徳永は, アラビア半島地域の考古学を中心に講義する。前期・後期に分かれているが, 継続して授業をとることが望ましい。

### テキスト:

杉本智俊『図説: 聖書考古学』(河出書房新社)

### 参考書:

A. マザール『聖書の世界の考古学』(リトン)

- 【07】民族学考古学特殊 (2)(春学期)  
 【07】民族学考古学特殊 (2)(秋学期)  
 【04】民族学考古学特殊 D(4)(通年)

教授 佐藤 孝雄  
 講師 姉崎 智子

授業科目の内容：

遺跡から出土する動物遺体から過去の人々の活動や行為、心性を読み解く「動物考古学(Zoarchaeology)」の方法論を概説する。主に前期を資料の採集や同定・分析法の説明に、後期を個別・具体的な調査・研究事例の紹介に当てたい。講義に際しては、実物を含めた標本資料と画像を数多く提示し、また時折、実習的な内容を盛り込むことも考えている。ともすれば、「ゴミ扱い」されかねない骨や貝殻も、扱い次第では貴重な文化財となり得る。この点を理解してもらおうことが本講義の狙いである。

テキスト：

使用しない。

参考書：

講義中に適宜指示する。

- 【07】民族学考古学特殊 (2)(春学期)  
 【07】民族学考古学特殊 (2)(秋学期)  
 【04】民族学考古学特殊 E(4)(通年)  
 楽園イメージの歴史人類学(春学期)  
 絡み合う人と自然の歴史学(秋学期)

教授 山口 徹  
 講師 山野 博哉

授業科目の内容：

オセアニア(南太平洋)の島々はしばしば楽園として語られる。しかし、そのイメージは南太平洋の島嶼世界を楽園として「発見」した西欧の表象に由来することを忘れてはならない。すなわち、コロニアルヒストリーやポストコロニアルヒストリーの文脈のなかでイメージ形成の歴史的過程を理解することが必要となる。同時に、南太平洋の旅先で我々が目にする「楽園」の景観は、島に備わる自然の営力と人間の営為の絡み合いが生み出した歴史的産物である。数千年にわたる絡み合いの歴史を読み解くためには、地形学・気候学・生物学といった自然科学と協働する考古学的視点と、コロニアルな資源開発の歴史を解明する環境史の視点を接続することが求められる。

参考書：

講義にて適宜指示する。

- 【07】民族学考古学特殊 (2)(春学期)  
 【07】民族学考古学特殊 (2)(秋学期)  
 【04】民族学考古学特殊 F(4)(通年)

比べ考える 史道文庫 教授 大沼 晴暉

授業科目の内容：

- 山尾三省「アミズムという希望」(琉球大学での集中講義録・野草社)を読みながら、アニミズムについて考える。
- 金関丈夫の著作(法政大学出版局など)を読みながら、博物・人類学について考える。

このどちらかかと思っています。参加する学生との話し合いの上で決めます。

- 【07】民族学考古学特殊 (2)(春学期)  
 【07】民族学考古学特殊 (2)(秋学期)  
 【04】民族学考古学特殊 G(4)(通年)

縄文時代・弥生時代資料の分析方法 准教授 安藤 広道

授業科目の内容：

主に慶應義塾所蔵資料を用いて、縄文時代・弥生時代・古墳時代の土器や石器・金属器などの基礎的な分析方法を解説する。

テキスト：

使用しない。

参考書：

必要に応じて講義の中で紹介する。

- 【07】民族学考古学特殊 (2)(春学期)  
 【07】民族学考古学特殊 (2)(秋学期)  
 【04】民族学考古学特殊 H(4)(通年)

考古学と大衆文化(考古学者はどのように描かれたか) 講師 櫻井 準也

授業科目の内容：

現代社会において遺跡や考古学者は多くの映画やアニメ、ゲームなどで取り上げられている。それらの中には我々考古学者からみると現実とかけ離れたものが多くみられるが、それらを娯楽作品であるからとして無視することはできない。それらの作品はその当時に遺跡や考古学者が

どのようなイメージで捉えられているかを知る絶好のテキストであり、現代社会における映像メディアの影響力の大きさを知る契機となるからである。本講義では、映像資料として映画『猿の惑星』から『インディーズ・ジョーンズ クリスタル・スカルの王国』まで、『フーテンの寅さん』から『まぼろしの邪馬台国』まで、アニメ(『となりのトトロ』から『ふたりはプリキュア』まで)、テレビドラマやドキュメンタリー(『プロジェクトX』から『鹿男あをによし』まで)を検討することによって、遺跡がどのように描かれているか、そして考古学者のイメージが時代によってどのように変化したか探してみたい。

テキスト：

使用しない

参考書：

Holtorf, C. 2005 *From Stonehenge to Las Vegas: Archaeology as Popular Culture*. ALTAMTLA.

- 【07】民族学考古学特殊 (2)(春学期)  
 【07】民族学考古学特殊 (2)(秋学期)  
 【04】民族学考古学特殊 I(4)(通年)

物質文化研究～現代における考古学・民族学～

講師 朽木 量

授業科目の内容：

近年、物質文化への注目が高まっている。本講義では人文・社会科学と比較しながら理論考古学の流れを理解し、それらを欧米で注目されてきている物質文化研究という新たな形に発展させていきたいと考えている。より具体的なテーマとしては、近現代考古学や欧米の Material Culture Studies を取りあげ、モノと人の関わりを多角的に論じていく。モノから生活文化をいかに読むかという問題は考古学・民俗学・民族学・民具学・社会学など様々な学問で論じられてきた。本講義ではこうした諸学の成果を踏まえつつ、我々の身の回りのモノ(植木鉢やランプなどの生活財、家の構造など)の実態を具体的に検討する。ともすれば定式化しがちな考古学や民俗学の解釈を物質文化研究という形で「脱構築」していきたいと考えている。また、考古学が単に掘ればよいという時代でなくなってきた現代において文化財の活用する手段と地域の文化政策のあり方についても触れる。

考古学・民族学だけでなく、社会学や文献史学の動向もふまえながら広く講義していく予定である。

テキスト：

特に指定しない

参考書：

詳細なリストを初回授業時に提示する

- 【07】民族学考古学特殊 (2)(春学期)  
 【07】民族学考古学特殊 (2)(秋学期)  
 【04】民族学考古学特殊 J(4)(通年)

古代メソポタミアの言語と歴史 講師 依田 泉

授業科目の内容：

古代西アジアのメソポタミアについて、歴史と地理を概観した後に、当地域から発見された文献資料にもとづき、言語・宗教・文学・政治・法律・経済などさまざまな文化の状況を説明します。

テキスト：

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

参考書：

参考となる書籍および論文については、必要に応じて提示します。

- 【07】民族学考古学特殊 (2)(春学期)  
 【07】民族学考古学特殊 (2)(秋学期)  
 【04】民族学考古学特殊 K(4)(通年)

「変化」の研究法：中南米の歴史と文化を通して

助教(有期) 井関 睦美

授業科目の内容：

中南米の歴史には、一般に先スペイン期(マヤ、アステカ、インカ文明など)、スペインとその他ヨーロッパ諸国による植民地時代、独立後～現代という、大きく分けて3つの時代区分があります。本講義では、先スペイン期をおもなフィールドとし、さまざまな文化・社会現象や制度など(例：宗教、政治、交易、生産・消費活動)における歴史的な変化を考察していきます。近年の認知科学に関連する分野では、「変化」とは、人々がいかに歴史や環境を経験し消費してきたかということの現れである、という考え方があります。そして人々の経験や消費は、言葉、画像、物質文化、祝祭などの表現媒体を通して分析できると考えられます。このような方法論に基づき、具体的な事例における「人々の経験と変化の過程」というものに焦点を当てながら、中南米の歴史と文化について考えていきたいと思えます。

参考書：

授業内に適宜指示します。

【07】考古学 (セ)(2)(春学期)	
【07】考古学 (セ)(2)(秋学期)	
【04】考古学(4)(通年)	教授 阿部 祥人

授業科目の内容：

考古学の基礎的な講義を行う。

特に、日本列島における先史考古学な研究の流れや特殊性に触れる。また、自然界におけるヒトの歴史の研究という視点から、この分野の研究の枠組みや方法について述べる。

テキスト：

鈴木公雄「考古学入門」東京大学出版会

参考書：

初回の授業で示す。

【07】民族学 (セ)(2)(春学期)	
【07】民族学 (セ)(2)(秋学期)	
【04】民族学(4)(通年)	教授 山口 徹

授業科目の内容：

民族学は、人間や文化の総合的な理解を求める学問である。前期は、民族学と関連諸学とのつながりに目配りしながら、文化研究における「歴史」の取り扱いについて複数のアプローチを解説する。次いで後期は、さまざまな事象の背後にある「目に見えないもの」への視座として「文化の諸理論」を解説する。

参考書：

講義にて適宜指示する。

【07】人類学概論 (セ)(2)(春学期)	
【07】人類学概論 (セ)(2)(秋学期)	
【04】人類学概論(4)(通年)	教授 高山 博
人類進化学概説	

授業科目の内容：

ヒト (*Homo sapiens*) の進化について、実際の標本 (骨格標本、化石模型、生体など) を用いて考えてゆく。講義は隔年で、「人体各器官から見たヒトの成り立ち」と、「化石人類の発見史から見たヒトの進化」とを行っている。本年度は、後者の「化石人類発見史とヒトの進化」をテーマに講義を進める。18世紀半ばに、進化論とともに現代人とは異なる化石人類が確認され始め、種々の化石人類の発見により、21世紀に至る150年の間、人類進化の解釈はつぎつぎと書きかえられてきた。新たな化石の発見と再評価によって、進化論と人類進化がどのように変化してきたか、を追いながら、ヒトの進化とヒト科、ヒト属、ヒト(種)の特異性について学ぶ講義としたい。

テキスト：

指定しません。

参考書：

指定しません。適宜プリントを配布します。

【07】民族学考古学研究会 (A)(3年)(要)(1)(春学期)	
【07】民族学考古学研究会 (A)(3年)(要)(1)(秋学期)	
【07】民族学考古学研究会 (A)(4年)(要)(1)(春学期)	
【07】民族学考古学研究会 (A)(4年)(要)(1)(秋学期)	
【04】民族学考古学研究会 (A)(3年)(2)(通年)	
【04】民族学考古学研究会 (A)(4年)(2)(通年)	教授 阿部 祥人

授業科目の内容：

4年生に関しては卒業論文の指導を行う。3年生以下については、各自の目ざす専門分野で特に注目すべき内容や興味のある分析方法などを含む最近の論文を取り上げてもらい、それに対するコメント等を土台として演習を行う。

【07】民族学考古学研究会 (B)(3年)(要)(1)(春学期)	
【07】民族学考古学研究会 (B)(3年)(要)(1)(秋学期)	
【07】民族学考古学研究会 (B)(4年)(要)(1)(春学期)	
【07】民族学考古学研究会 (B)(4年)(要)(1)(秋学期)	
【04】民族学考古学研究会 (B)(3年)(2)(通年)	
【04】民族学考古学研究会 (B)(4年)(2)(通年)	教授 山口 徹

授業科目の内容：

卒業論文に向けた実践的な研究指導を軸に据える。受講生にとって文化研究にかかわる多様なテーマの設定が可能だが、研究会における議論のための共通基盤として、フィールドワーク、ブックワーク、調査報告、歴史研究の要素が各人に求められる。報告に際しては、フィールドで自ら記録した写真等の映像資料を提示することが望ましい。

【07】民族学考古学研究会 (C)(3年)(要)(1)(春学期)	
【07】民族学考古学研究会 (C)(3年)(要)(1)(秋学期)	
【07】民族学考古学研究会 (C)(4年)(要)(1)(春学期)	
【07】民族学考古学研究会 (C)(4年)(要)(1)(秋学期)	
【04】民族学考古学研究会 (C)(3年)(2)(通年)	
【04】民族学考古学研究会 (C)(4年)(2)(通年)	教授 佐藤 孝雄

授業科目の内容：

4年生に対しては、卒業論文の作成指導を行う。3年生以下の諸君には、それぞれ関心のある事象に関する先行研究を整理・批判する作業を課す。履修者には順次自らの調査・研究成果を報告してもらおう。毎回各人の発表を受け、皆で討論を行う形をとるので、積極的な発言を期待する。

参考書：

授業中に随時指示する。

【07】民族学考古学研究会 (D)(3年)(要)(1)(春学期)	
【07】民族学考古学研究会 (D)(3年)(要)(1)(秋学期)	
【07】民族学考古学研究会 (D)(4年)(要)(1)(春学期)	
【07】民族学考古学研究会 (D)(4年)(要)(1)(秋学期)	
【04】民族学考古学研究会 (D)(3年)(2)(通年)	
【04】民族学考古学研究会 (D)(4年)(2)(通年)	教授 杉本 智俊

授業科目の内容：

古代オリエントおよびヘレニズム・ローマ世界の考古学に関心のある学生を中心に論文作成の指導を行なう。学術論文のめざすもの、資料検索の仕方、論文の構成などに関する解説を行なうとともに、各自の論文を演習形式で育てていく。自分の研究発表のときだけでなく、必ず毎回参加し、積極的に討論に加わることが期待される。

参考書：

杉本智俊『図説：聖書考古学』(河出書房新社)

【07】民族学考古学研究会 (E)(3年)(要)(1)(春学期)	
【07】民族学考古学研究会 (E)(3年)(要)(1)(秋学期)	
【07】民族学考古学研究会 (E)(4年)(要)(1)(春学期)	
【07】民族学考古学研究会 (E)(4年)(要)(1)(秋学期)	
【04】民族学考古学研究会 (E)(3年)(2)(通年)	
【04】民族学考古学研究会 (E)(4年)(2)(通年)	准教授 安藤 広道

授業科目の内容：

2年生：それぞれの興味・関心を考慮した課題を与える。1年間その課題に取り組み、成果を発表してもらおう。

3年生：それぞれの興味・関心に基づき、卒論を視野に入れた課題を自ら設定して取り組み、やはり成果発表をしてもらう。

4年生：主に卒業論文の指導をする。

テキスト：

使用しない。

参考書：

必要に応じて講義の中で紹介する。



【07】国文学原典講読 (A)(セ)(1)(春学期)

【07】国文学原典講読 (A)(セ)(1)(秋学期)

【04】国文学原典講読(A)(2)通年

〔春学期〕徒然草

〔春〕准教授 小川 剛 生

〔秋〕教 授 佐 藤 道 生

#### 〔春学期〕

授業科目の内容：

著名な古典作品である徒然草を精読し、研究方法の基礎を習得する。

テキスト：

稲田利徳『校注 徒然草』和泉書院(1050円)

参考書：

『字典かな』笠間書院(380円)その他、講義中に紹介する。

#### 〔秋学期〕

授業科目の内容：

平安・鎌倉期の文学作品を取り上げ、古写本を用いて講読する。毎回、翻字の小テストを行うことは例年どおり。

【07】国文学原典講読 (B)(セ)(1)(春学期)

【07】国文学原典講読 (B)(セ)(1)(秋学期)

【04】国文学原典講読(B)(2)(通年)

〔春〕教 授 佐 藤 道 生

〔秋〕教 授 屋 名 池 誠

#### 〔春学期〕

授業科目の内容：

平安・鎌倉期の文学作品を取り上げ、古写本を用いて講読する。毎回、翻字の小テストを行うことは例年どおり。

#### 〔秋学期〕

授業科目の内容：

江戸後期の戯作を読む

江戸後期の戯作、式亭三馬『浮世床』の版本を講読する。変体仮名に慣れ親しむとともに、身近な現代語とも、高校までになじんできた古文とも異なる文章に触れ、日本語の多様なあり方に目を開いてもらいたい。

テキスト：

教室で指示する。

参考書：

教室で指示する。

【07】国文学原典講読 (C)(セ)(1)(春学期)

【07】国文学原典講読 (C)(セ)(1)(秋学期)

【04】国文学原典講読(C)(2)(通年)

〔春〕教 授 屋 名 池 誠

〔秋〕教 授 石 川 透

#### 〔春学期〕

授業科目の内容：

江戸後期の戯作を読む

江戸後期の戯作、式亭三馬『浮世床』の版本を講読する。変体仮名に慣れ親しむとともに、身近な現代語とも、高校までになじんできた古文とも異なる文章に触れ、日本語の多様なあり方に目を開いてもらいたい。

テキスト：

教室で指示する。

参考書：

教室で指示する。

#### 〔秋学期〕

授業科目の内容：

短編室町物語講読

室町物語(御伽草子)は、室町から江戸時代前期に制作された物語の総称である。そのうちいくつかの作品を取り上げ、写本か刊本かを影印版で講読する。

テキスト：

室町物語(御伽草子)は、室町時代から江戸時代前期に制作された物語の総称である。そのうちいくつかの作品を取り上げ、写本か刊本かを影印版で講読する。

【07】国文学原典講読 (D)(セ)(1)(春学期)

【07】国文学原典講読 (D)(セ)(1)(秋学期)

【04】国文学原典講読(D)(2)(通年)

〔春〕教 授 石 川 透

〔秋〕准教授 小川 剛 生

#### 〔春学期〕

授業科目の内容：

短編室町物語講読

室町物語(御伽草子)は、室町時代から江戸時代前期に制作された物語の総称である。そのうちいくつかの作品を取り上げ、写本か刊本かを影印版で講読する。

テキスト：

最初の授業時に指示する。

#### 〔秋学期〕

授業科目の内容：

秋学期は著名な古典作品である徒然草を精読し、研究方法の基礎を習得する。

テキスト：

稲田利徳『校注 徒然草』和泉書院(1050円)

参考書：

『字典かな』笠間書院(380円)その他、講義中に紹介する。

【07】【04】国語学 (2)(春学期)

日本語の地域差

講 師 篠 崎 晃 一

授業科目の内容：

方言には日本語の古い姿が残されており、貴重な言語資料である。全国に広がる様々な語の分布から、ことばの生成・発展・衰滅のプロセスをたどっていく。

テキスト：

プリント配布

参考書：

小林隆・篠崎晃一編『ガイドブック方言研究』、『ガイドブック方言調査』ひつじ書房

【07】【04】国語学 (2)(秋学期)

日本語の地域差

講 師 篠 崎 晃 一

授業科目の内容：

日本の各地域社会では共通語の侵入によって伝統的な方言が崩壊しつつある。小方言から中核方言への統合という現象も現れつつある。一方では衰退する伝統方言に代わって若い世代を中心に新しい方言が各地で発生し、広まっているという実態もある。こうした状況をふまえ、共通語との接触による方言の変容、それに伴う方言の運用や意識の問題についても考えていく。

テキスト：

プリント配布

参考書：

小林隆・篠崎晃一編『ガイドブック方言研究』、『ガイドブック方言調査』ひつじ書房

【07】国語学 (2)(春学期)

教 授 屋 名 池 誠

授業科目の内容：

日本語の文字・表記は世界的に見て、もっとも複雑な部類に属するといえる。多様性に富んだ日本語の実態を検討してゆくことを通じて、人類の言語における文字の位置・役割という本質的な問題を考える手がかりをえることをめざす。

国語学 と は一連の内容なので、国際学 も続けて受講のこと。国際学 では、日本語を例として文字・表記の一般的な問題を概観する。

国語学 ・ 表記 は、日本語の音声・音韻 と 日本語の文字・表記 を隔年で交互にあつかい、同じ担当者の「日本語文法 ・ 」とあわせて、日本語学の主要分野について一通りを概観する予定。日本語学専攻を希望する者は3種とも履修することが望ましい。

テキスト：

使用しない。

参考書：

樺島忠夫『日本の文字』(岩波新書 品切)

【07】国語学 (2)秋学期

教 授 屋 名 池 誠

授業科目の内容：

日本語の文字・表記は世界的に見て、もっとも複雑な部類に属するといえる。多様性に富んだ日本語の実態を検討してゆくことを通じて、人類の言語における文字の位置・役割という本質的な問題を考える手がかり

をえることをめざす。

国語学 で学んだ内容を前提とするので、国語学 から続けて受講のこと。国語学 では日本語の文字・表記の各論をあつかう。

国語学 ・ は 日本語の音声・音韻 と 日本語の文字・表記 を隔年で交互にあつかい、同じ担当者の「日本語文法 ・ 」とあわせて、日本語学の主要分野について一通りを概観する予定。日本語学専攻を希望する者は3種とも履修することが望ましい。

テキスト：

屋名池誠『横書き登場』(岩波新書)

参考書：

樺島忠夫『日本の文字』(岩波新書 品切)

【07】国文学 (2)(春学期)

【07】国文学 (2)(秋学期)

【04】国文学 (4)(通年)

枕草子の沈黙と飛躍を読む 講師 三田村 雅子

授業科目の内容：

枕草子の記事には意図的に沈黙のかたちで残された部分がちりばめられている。関白道隆の死・清原元輔の死・定子の死・定子の出産などである。それらが沈黙のまま残されることで、枕草子のテキストはどのような変容を余儀なくされているか。そのことの効果は何なのかについて考察していきたい。

テキスト：

角川文庫「枕草子」上・下

参考書：

『清少納言』藤本宗利著(新典社)

『ガイドブック 枕草子』三田村雅子 2009年刊行(ひつじ書房)

【07】国文学 (2)(春学期)

【07】国文学 (2)(秋学期)

【04】国文学 (4)(通年)

折口学とアジアの文化 講師 伊藤 好英

授業科目の内容：

折口信夫の学問は、学生時代に朝鮮語・モンゴル語を熱心に学習していることから伺えるように、最初、日本語を含めたアジアの言語の比較を基礎に据えた言語学を指向するところから始まった。従ってその国文学・民俗学も、その根底には日本文化の形成を他文化との接触の結果とみる視座が常に存在している。本講義では、そのような折口が書いた論文を足がかりとして、日本の文化とアジアの他の地域の文化との接触・交流の歴史を立体的に考えてゆく。そして、その考察が国文学に対するより広い視野の獲得に繋がることを目指す。

春学期は、折口信夫の学問形成がどのように行われ、それがどのような理論に結実していくかをまず概観し、その理論の最も中核に位置する「まれびと」論の意義を、日本(ヤマト)・琉球・韓国・中国をはじめとするアジアに残る民俗の比較を通して考える。

秋学期は、「稲むらの蔭にて」「琉球の宗教」「琉球国王の出自」などの折口の論文を足がかりとして、東アジアに広がる稲作文化とそれに伴う宗教、ならびに民俗文化と王朝文化との関わりなどについて考察する。具体的な文化形成の実例としては、琉球のそれを中心に据える。

テキスト：

プリントを使用

参考書：

伊藤好英『折口学が読み解く韓国芸能 まれびとの往還』慶應義塾大学出版会、2006年

【07】国文学 (2)(春学期)

【07】国文学 (2)(秋学期)

【04】国文学 (4)(通年)

万葉の歌を知る 教授 藤原 茂樹

授業科目の内容：

万葉集はおおよそ4500あまりの歌が集まる歌集で、日本の古い時代の息吹を広く深く宿す最大の存在である。独りで学習するには、万葉集はあまりに膨大であるため、この授業では、はじめて万葉集をよむひとを想定して、毎週3-5首選んで紹介しつつ、万葉びとの恋や自然や風景がどう詠まれているかなどを通してみえるこころのありかたや、当時の人々のものの見方について知ろうと思う。

今年は、12月までの一年間NHK教育テレビ「日めくり万葉集」(朝5:00-5:05午後1:55-2:00)を放映している。この二年をかけて、丁寧に作成してきたその映像を紹介しながら、万葉集を好きだが、専門の研究者ではない各界の人の歌の見方を紹介しつつ、正すべきは正し、聞くべきは聞いて、日本人の先祖たちが歌にどのような思いをこめていたかを味わっていく。(なお、この授業は昨年も同内容のものを扱っている。前年と紹介する歌に重なりもあり得る。)

テキスト：

和泉書院『新校萬葉集』井手至 毛利正守 他に原文表記されている

る本であればなんでもよい。

参考書：

「日めくり万葉集」月刊1~続刊中 講談社

【07】国文学 (2)(春学期)

【07】国文学 (2)(秋学期)

【04】国文学 (4)(通年)

中世の書物と学問 時代を変えた書物 准教授 小川 剛生

授業科目の内容：

時代を劃した和漢の書物に焦点を当てる。狭義の文学には含まれないものを取り上げ、その成立と享受の様相を具体的に探る。とりわけ、歴史書・法制書・官職制度書・艶書文例集・蹴鞠伝書・類題和歌集など、武家政権と係わりの深い書物を中心に据える。その際には書写、印刷、校勘、注釈、蒐集といった面にも着目し、書物文化から中世文学の特色を探りたい。

テキスト：

コピーを配布する。

参考書：

随時講義中に紹介する。

【07】国文学 (2)(春学期)

【07】国文学 (2)(秋学期)

【04】国文学 (4)(通年)

「蟹工船」とプロレタリア文学 講師 島村 輝

授業科目の内容：

2003年は小林多喜二生誕100年、没後70周年にあっていた。この年あたりを節目として、小林多喜二と、彼が属していたプロレタリア文学についての再評価の動きが活発になり、2008年には「蟹工船」がリバイバルブームを巻き起こして爆発的な売れゆきを示し、一種の社会現象にもなった。本授業では「蟹工船」がブームとなった背景を解明しながら、日本近代史の上でプロレタリア文学が同世代の文学や文化と切り結び、どのように展開していったのかについて、今日状況と関わらせつつ述べていく。

テキスト：

『蟹工船・党生活者』(新潮文庫)ほか、授業中に指示します。

参考書：

小林多喜二名作集「近代の貧困」(祥伝社)ほか、授業中に指示します。

【07】国文学 (2)(春学期)

【07】国文学 (2)(秋学期)

【04】国文学 (4)(通年)

絵巻・絵本の世界 教授 石川 透

授業科目の内容：

日本の絵巻と絵本について、その実例や画像を見ながら考察する。

テキスト：

授業時に指示する。

参考書：

授業時に指示する。

【07】国文学 (2)(春学期)

【07】国文学 (2)(秋学期)

【04】国文学 (4)(通年)

教授 川村 晃生

授業科目の内容：

人はどう生きたか。古典文学・近代文学を問わず、日本人を主とする生き方や思想を検討しつつ、それらが今を生きる私たちにどのような意味を持っているのかを考察したい。しばしば文学の域を脱することがあるかもしれないが、あらかじめ了解されたい。

テキスト：

プリントの配布。

参考書：

必要に応じてふれる。

【07】国文学 (2)(春学期)

【07】国文学 (2)(秋学期)

【04】国文学 (4)(通年)

鏡花の代表作を読む - 作品と研究 - 講師 鈴木 啓子

授業科目の内容：

2008年度は、「狂気」「自死」「殺意」「悪夢」「怪異」をテーマに、他の近代作家に目を配りつつ、『夜行巡査』『外科室』『琵琶伝』『化銀杏』『化鳥』『湯島詣』『高野聖』『註文帳』等の鏡花作品を扱った。2009年度は、これら明治20年代末から30年代半ばまでの展開を振り返りつつ、鏡花文学における「狂気」の表象を、『草迷宮』『歌行燈』『革靴の怪』『唄立山心中一曲』『夜叉ヶ池』『天守物語』『眉かくしの霊』等々の、明治40

年代から大正期の代表作にたどりたい。作品の解釈鑑賞を行うとともに、研究史や研究方法についても講じたい。作品の映画化・舞台化についても適宜紹介する。

テキスト：

プリントを配布するとともに、適宜文庫本を紹介する。

参考書：

授業の展開に応じて適宜紹介する。

【07】国文学 (2)(春学期)

【07】国文学 (2)(秋学期)

【04】国文学 (4)(通年) 講師 内田 保 廣

授業科目の内容：

19世紀の小説である読本を中心に江戸時代初期から末期にかけての小説作品について講じる。散文が中心となり韻文についてほとんど触れることはない。また歌舞伎・浄瑠璃は小説の題材として、あるいは翻案作品として見ることもある。読本は挿絵をとまなうので浮世絵などの知識も必要になる。講談や近世軍記、たとえば『忠臣蔵』や『太閤記』などにも触れる。こうした幅広い江戸時代文化について講義することになるので、講義の内容を追いかけながら関連する作品等を読んでいく事が大切である。

テキスト：

なし

参考書：

随時指示

【07】国文学 (2)(春学期)

【07】国文学 (2)(秋学期)

【04】国文学 (4)(通年) 教授 松村 友 視  
漱石文学とその時代

授業科目の内容：

明治末年以降の近代日本文学において、夏目漱石はつねにひとつの指標でありつづけている。近代日本の歩みを漱石文学が本質的かつ批判的に反映している点はその背景にはあるが、その一方で、過度に神話化された漱石像の見直しも、近年、始まっている。

本講義では、漱石の作品系譜をたどりながら、それぞれの時代状況・文学状況との関わりを考える。

テキスト：

コピー資料を配付する。

参考書：

講義中に示す。

【07】国文学 (2)(春学期)

【07】国文学 (2)(秋学期)

【04】国文学 (4)(通年) 教授 佐藤 道 生  
平安時代の漢文学

授業科目の内容：

日本は古来、中国文化の影響を強く受けながら自国の文化を形成してきた。それゆえ日本の漢文学(日本人の著した漢詩文)は一般に中国文学の支流として捉えられている。しかし日本人が中国文学を摂取するに当たって、日本人の美意識にしたがってそこに取舍選択を加えたこともまた紛れもない事実である。また平安時代には日本固有の文化も花開いて、それが漢文学に与えた影響も少なくなかった。平安時代の漢文学には中国文学からの影響だけでは捉えられない面があるのである。

本講義では、平安時代に成立した総集『本朝文粹』(藤原明衡撰)、『本朝続文粹』(撰者未詳)、『朝野群載』(三善為康撰)などに収められている作品を読みながら、当時の漢文学を研究する上で欠かすことのできない基礎知識、たとえば以下の諸事項について説明する。

1、漢籍の本文系統 2、大学寮制度と家庭教育 3、幼学書(その一)『千字文』『百二十詠』『蒙求』 4、詩会と詩序 5、詩体 句題詩と無題詩 6、幼学書(その二)『和漢朗詠集』と「朗詠注」 7、和歌の題詠と句題詩 8、法会と願文 9、各種文体の文章構造 10、中国故事と本邦故事

【04】国文学 (4)(通年)

休講

【04】国文学 (4)(通年)

休講

【04】国文学 (4)(通年)

休講

【04】国文学 (4)(通年)

休講

【07】【04】国文学史 (2)(春学期)

環境文学史 教授 川村 晃 生

授業科目の内容：

古典文学から近代文学に至る各時代の文学作品を検討しつつ、過去の日本人と自然との関係、及び現代の日本人と自然との関係を考え、現在我々が抱えている環境問題への対処の仕方を模索したい。話題はしばしば文学の領域を脱することがあるかもしれないが、あらかじめ了解せられたい。

テキスト：

なし

参考書：

必要に応じてふれる。

【07】【04】国文学史 (2)(秋学期)

教授 川村 晃 生

授業科目の内容：

国文学史 (春学期)の続きです。

テキスト：

なし

参考書：

必要に応じてふれる。

【07】【04】国文学史 (2)(春学期)

物語文学史 教授 石川 透

授業科目の内容：

物語文学の歴史を概説するとともに作品の特徴について考察する。

テキスト：

授業時に指示する。

参考書：

授業時に指示する。

【07】【04】国文学史 (2)(秋学期)

物語文学史 教授 石川 透

授業科目の内容：

物語文学の歴史を概説するとともに作品の特徴について考察する。

テキスト：

授業時に指示する。

参考書：

授業時に指示する。

【07】【04】国文学史 (2)(春学期)

古代文学史概論と散文 教授 藤原 茂 樹

授業科目の内容：

古代文学史を概観する。

基本文献が少ない時代のため、講読のようなかたちをとることが多くなる。

春学期は韻文を中心としつつ、そこに潜む古代人の心のありようを眺め、日本人の心の原点をみつめる。また、その足元にあるくらしや信仰についての断片的な事情を拾い、整理しながら後の民俗につながってゆく道筋をながめてみる。

ことに、万葉や古事記の現在の研究は、歌人や編者の個人的意識や、当時の社会状況や制度に目を向ける研究が大多数となっているが、この講義ではそうした研究方法に魅力を感じない。

意識の向こうにあるものを見出す努力を試みる。折口信夫・池田弥三郎の研究に学びつつ、文学作品を動機づける普遍性あるところを、目前の資料の読解をもって、確かめつつ進む。

テキスト：

日めくり万葉集 VOL1~4(7まで続く予定)

参考書：

和泉書院『新校注 万葉集』井手至

【07】【04】国文学史 (2)(秋学期)

教授 藤原 茂 樹

授業科目の内容：

古代文学史を概観する。

基本文献が少ない時代のため、講読のようなかたちをとることが多くなる。



春学期は韻文を中心としつつ、そこに潜む古代人の心のありようを眺め、日本人の心の原点をみつめる。また、その足元にあるくらしや信仰についての断片的な事情を拾い、整理しながら後の民俗につながってゆく道筋をながめてみる。

ことに、万葉や古事記の現在の研究は、歌人や編者の個人的意識や、当時の社会状況や制度に目を向ける研究が大多数となっているが、この講義ではそうした研究方法に魅力を感じない。

意識の向こうにあるものを見出す努力を試みる。折口信夫・池田弥三郎の研究に学びつつ、文学作品を動機づける普遍性あるところを、目前の資料の読解をもって、確かめつつゆっくりと進む。

テキスト：

古事記（原文が掲載されているものならば可）

【07】国文学史（2）（春学期）

古代日本語の諸問題

講師 肥 爪 周 二

授業科目の内容：

奈良時代から平安時代の日本語について、音韻、文字・表記、文法、語彙、文体など、さまざまな分野の問題に言及しつつ、概観する。ただし、講義の展開上、鎌倉時代以降の日本語や、現代共通語・現代諸方言についても触れることが多くなるので、あわせて国文学史を受講することが望ましい。

テキスト：

毎講義時に必要なプリントを配布する。

参考書：

講義の中で随時紹介する。

【07】国文学史（2）（秋学期）

近代日本語の諸問題

講師 肥 爪 周 二

授業科目の内容：

鎌倉時代から明治時代頃までの日本語について、音韻、文字・表記、文法、語彙、文体など、さまざまな分野の問題に言及しつつ、概観する。ただし、講義の展開上、平安時代以前の日本語についても触れることが多くなるので、あわせて国文学史を受講することが望ましい。

テキスト：

毎講義時に必要なプリントを配布する。

参考書：

講義の中で随時紹介する。

【07】国文学史（2）（春学期）

中央と地方の文学史

教授 松 村 友 視

授業科目の内容：

明治新政府によって「東京」と改称された空間に西洋近代文明を導入することで創り出された中央の一極集中化は、同時に地方との関係を大きく変容させる。こうした状況を背景に生まれた近代日本文学の根底には、つねに中央と地方の落差や関係性が横たわっており、さらにそこに、西欧近代社会という中央に対する地方としての日本の関係が複合的に重なることになる。

このような観点から、同時代の状況を視野に入れながら、明治から大正期に至る主要な文学作品・文学的事象を外観し、その文化史的な意味を考える。

テキスト：

コピー資料を配付する。

参考書：

講義中に示す。

【07】国文学史（2）（秋学期）

中央と地方の文学史

教授 松 村 友 視

授業科目の内容：

明治新政府によって「東京」と改称された空間に西洋近代文明を導入することで創り出された中央の一極集中化は、同時に地方との関係を大きく変容させる。こうした状況を背景に生まれた近代日本文学の根底には、つねに中央と地方の落差や関係性が横たわっており、さらにそこに、西欧近代社会という中央に対する地方としての日本の関係が複合的に重なることになる。

このような観点から、同時代の状況を視野に入れながら、明治から大正期に至る主要な文学作品・文学的事象を外観し、その文化史的な意味を考える。

テキスト：

コピー資料を配付する。

参考書：

講義中に示す。

【07】国文学演習（セ）（1）（春学期）

【07】国文学演習（セ）（1）（秋学期）

【04】国文学演習（2）（通年）

古代文学におけるくらしとところ

教授 藤 原 茂 樹

授業科目の内容：

万葉集や古事記から各自興味をもる言葉や素材を見つけ、扱われ方の累計と特徴を見出し、ことばの背後にあるくらしや心の在り方を探る。

参考書：

池田弥三郎『日本文学の素材』

【07】国文学演習（セ）（1）（春学期）

【07】国文学演習（セ）（1）（秋学期）

【04】国文学演習（2）（通年）

室町物語講読

教授 石 川 透

授業科目の内容：

約四百編現存する室町物語（御伽草子）、あるいは、その周辺の作品のうち、二編以上の作品を、影印版で講読する。

テキスト：

最初の授業時に指示する。

【07】国文学演習（セ）（1）（春学期）

【07】国文学演習（セ）（1）（秋学期）

【04】国文学演習（2）（通年）

室町期の書簡文例集

准教授 小 川 剛 生

授業科目の内容：

南北朝時代から室町時代にかけて、当代の学者が著した書簡文例集（いわゆる往来物）を輪読形式で精読し、そこに凝縮されている中世文化のエッセンスを読み解く。同時に変体漢文に馴れる。今年度は二条良基の『思露（おもいのつゆ）』ないし、一条兼良の作といわれる『尺素往来（せきそおうらい）』を取り上げる予定である。

テキスト：

写真版のコピーを利用する。

参考書：

随時紹介する。

【07】国文学演習（セ）（1）（春学期）

【07】国文学演習（セ）（1）（秋学期）

【04】国文学演習（2）（通年）

教授 川 村 晃 生

授業科目の内容：

統一テーマとして「暴力から平和へ」を提示します。ここで言う暴力は、戦争、環境破壊、差別、人権問題などですが、それらを文学作品に触れながら説明し、それをなくすために自分は何ができるのかを述べていただきたい。

テキスト：

なし

参考書：

必要に応じてふれる。

【07】国文学演習（セ）（1）（春学期）

【07】国文学演習（セ）（1）（秋学期）

【04】国文学演習（2）（通年）

森鴎外「青年」

教授 松 村 友 視

授業科目の内容：

『青年』（明治43～44）は、作家志望のために上京した一青年を視点人物としながら、執筆当時の鴎外の思索を反映して、同時代の文化・思想・社会に関する幅広い視野をもつ作品である。本演習では、作中の語句や事項に綿密な注釈をほどこし、同時代状況との関わりを視野に入れながら、決してわかりやすいとはいえないこの作品を可能な限り具体的に読解していくことを目指す。

テキスト：

岩波文庫『青年』

参考書：

開講時に示す。

【07】国文学演習（セ）（1）（春学期）

【07】国文学演習（セ）（1）（秋学期）

【04】国文学演習（2）（通年）

『本朝続文粹』会読

教授 佐 藤 道 生

授業科目の内容：

平安後期の漢詩文のアンソロジー『本朝続文粹』巻一に収められてい

る三首の長篇詩、大江匡房「参安楽寺詩」、同「西府作」、藤原敦光「初冬述懐百韻」を会読する。匡房の二首は太宰権帥として大宰府に赴任中の作であり、彼の地の当時の習俗が興味深く描かれている。敦光の作は「博奕の徒」を主題とした異色の作であり、当時の都の風俗の意外な一面が垣間見られる点で面白い。詩の読解を通して、当時の社会の一端に触れてみたい。

- 【07】国語学演習 (セ)(1)(春学期)  
【07】国語学演習 (セ)(1)(秋学期)  
【04】国語学演習 (2)(通年)

平安時代語研究 教授 屋名池 誠

授業科目の内容：

中学・高校と学んできた「古文」は実は平安時代の京都方言という、特定の時代、特定の地域の日本語である。研究の方法を学び、自分で調べ、自分で考えることで「古文」を現代語と同様生きた日本語として身近なものにしてもらいたい。研究の対象は平安時代の日本語であり、テキストは当時の日本語全般を考察してゆくための手がかりである。テキストの文学的な研究をおこなうのではないので、その点留意のこと。

テキスト：

『天福本 伊勢物語』(武蔵野書院)  
石田穰二訳注『新版 伊勢物語』(角川文庫)

参考書：

教室で指示する

- 【07】日本語文法 (1)(春学期)  
【07】日本語文法 (1)(秋学期)  
【04】日本語文法 (2)(通年)

現代日本語の文法 教授 屋名池 誠

授業科目の内容：

高校までに習った伝統的な国文法を離れて、新しい立場から、現代日本語の文法現象を考える。身のまわりのありふれた表現の中にも、精密で整った規則性が存在することに目を開き、母語を客観視できる力を養うことを目標とする。

同じ担当者の「国語学」は日本語の音声・音韻と日本語の文字・表記を隔年で交互にあつかい、この日本語文法とあわせて、日本語学の主要分野について一通りを概観する予定である。日本語学専攻を希望する者は3種とも履修することが望ましい。

テキスト：

使用しない。

参考書：

『基礎日本語文法(改訂版)』(くろしお出版)

- 【07】漢文講読 (1)(春学期)  
【07】漢文講読 (1)(秋学期)  
【04】漢文講読 (2)(通年)

教授 佐藤道生

授業科目の内容：

中国・日本の漢語文献を読解するために必要な基礎知識を修得することを目的とする。春学期には『史記』高祖本紀を、秋学期には白居易の「新楽府」を講読する。

- 【07】国文学研究会 (A)(セ)(1)(春学期)  
【07】国文学研究会 (A)(セ)(1)(秋学期)  
【04】国文学研究会 (2)(通年)

古代文学・民俗・芸能の研究 教授 藤原茂樹

授業科目の内容：

万葉集・古事記を中心とした古代文学研究を進める。

テキスト：

「日めくり万葉集」講談社(授業のはじめに相談)

- 【07】国文学研究会 (B)(セ)(1)(春学期)  
【07】国文学研究会 (B)(セ)(1)(秋学期)  
【04】国文学研究会 (2)(通年)

教授 川村晃生

授業科目の内容：

古典文学、近代文学の別を問わず、文学作品の中に見られる自然環境、人権・差別、戦争・平和といった、いわば人間や社会の根本的な問題をとり上げ、そうした問題に先人たちがどう関わってきたか、またそれについて私たちが何を考えるべきなのか、といった点を中心的なテーマとして論文を書かれることに共感します。

- 【07】国文学研究会 (C)(セ)(1)(春学期)  
【07】国文学研究会 (C)(セ)(1)(秋学期)  
【04】国文学研究会 (2)(通年)

教授 佐藤道生

授業科目の内容：

卒業論文指導。諸芸道を含め、古典文化に関わるテーマで執筆しようとする者を対象とする。論文指導は授業時間外に個別に行ない、授業では文献資料の調査方法について教授する。

- 【07】国文学研究会 (D)(セ)(1)(春学期)  
【07】国文学研究会 (D)(セ)(1)(秋学期)  
【04】国文学研究会 (2)(通年)

休講

- 【07】国文学研究会 (E)(セ)(1)(春学期)  
【07】国文学研究会 (E)(セ)(1)(秋学期)  
【04】国文学研究会 (2)(通年)

卒業論文指導 教授 石川 透

授業科目の内容：

古典文学を中心に論文を書こうとする者を対象とする。これら以外では、絵巻物等の絵画資料と文学との関わり、昔話等の伝承資料と文学との関わり、古典と現代文化との関わり、等の異文化と文学との接点について書こうとする者も対象とする。

- 【07】国文学研究会 (F)(セ)(1)(春学期)  
【07】国文学研究会 (F)(セ)(1)(秋学期)  
【04】国文学研究会 (2)(通年)

教授 屋名池 誠

授業科目の内容：

卒業研究として、日本語の語学的研究を行おうとする者を対象とする。日本語についてであれば、時代や地域、分野は問わない。

卒業論文として結実する、問題発見、先行研究の探索、研究方法・資料の選択、調査・分析、考察・立論、論文執筆などの能力・技法を、演習形式で実践的に身につけてゆくことを目的とする。

- 【07】国文学研究会 (G)(セ)(1)(春学期)  
【07】国文学研究会 (G)(セ)(1)(秋学期)  
【04】国文学研究会 (2)(通年)

近・現代の文学・文化を対象とする卒業論文指導  
教授 松村友視

授業科目の内容：

テーマの決定、資料調査、参考文献の整理、研究方法の選択、論の構築等、卒業論文作成にいたるまでの基本的な手続きについて、各自のテーマや方法を相互に検討する。

## 選 択 科 目

- 【07】【04】日本語学 (2)(春学期)  
日本語・日本文化教育センター准教授 木村 義之

授業科目の内容：

日本語について考えるための基礎的な知識を学び、日本語を客観的に見つめる態度を養うことを目的とする。そのために、音韻・語彙・文法・表記などの面から日本語を概観し、その特質を理解するようにしたい。必要に応じて、歴史的な変化にも触れることもある。

テキスト：

沖森卓也・木村義之・陳力衛・山本真吾共著『図解 日本語』(三省堂)

参考書：

教場で指示する。

- 【07】【04】日本語学 (2)(春学期)  
「学校文法」と日本語教育文法の比較  
日本語・日本文化教育センター准教授 大場 美穂子

授業科目の内容：

日本の初等・中等教育の国語科で教えられている「学校文法」と、ノン・ネイティブの教育を目的とする場合の日本語文法とでは、若干の違いが見られる。本講義では、両者を比較することによって、一般言語学的な視点を獲得することを目標とする。

テキスト：

村田水恵 2007『入門日本語の文法 日本語を一から学び直したい人へ』アルク

参考書：

授業時に，テーマごとに紹介する。

---

【07】【04】日本語教授法 (2) 秋学期

日本語・日本文化教育センター准教授 木村 義之

---

授業科目の内容：

現代日本語の語彙と待遇表現に関する基本的事項を理解することを目的とする。そのうえで，日本語教育における語彙と待遇表現の扱いについて注意すべき点を考える。

テキスト：

沖森卓也・木村義之・陳力衛・山本真吾共著『図解 日本語』(三貴堂)

参考書：

教場で随時指示する。

---

【07】【04】日本語教授法 (2) 秋学期

補助動詞の用法と導入の手順を考える

日本語・日本文化教育センター准教授 大場 美穂子

---

授業科目の内容：

補助動詞は，文中でさまざまな使用方法があり，日本語学習者にとっては修得の難しいものの一つである。本講では，これを題材にして，(1)用法を広く集めて整理する方法，(2)それらを学習者に分かりやすいように提示する方法について考察する。参加者数によっては，グループ・ディスカッションなどを行うことがある。

テキスト：

村田水恵 2007『入門日本語の文法 日本語を一から学び直したい人へ』アルク

参考書：

授業後に，テーマごとに紹介する。

# 中国文学専攻

## 必修科目

- 【07】中国古典文学史 (セ)(2)(春学期)  
【07】中国古典文学史 (セ)(2)(秋学期)  
【04】中国文学史 (4)(通年)  
中国古典文学通史 教授 八木章好

### 授業科目の内容:

先秦から清代に至るまでの中国古典文学を詩・文・小説・戯曲に分けて、各ジャンルの主要な項目を時代順に概説する。概説に加えて、代表的な作品を選読する。取り上げる項目は以下の通り。

- (1) 詩経 (2) 楚辞 (3) 漢代の詩 (4) 魏晉の詩 (5) 陶淵明 (6) 南北朝の詩 (7) 初唐・盛唐の詩 (8) 李白 (9) 杜甫 (10) 中唐・晩唐の詩 (11) 宋代以後の詩 (12) 論語 (13) 孟子・荀子 (14) 老子・莊子 (15) 史記 (16) 十八史略 (17) 辞賦・駢文・古文 (18) 文言小説 (19) 白話小説 (20) 戯曲

### テキスト:

八木章好編著『中国古典文学二十講』(白帝社)

- 【07】中国現代文学史 (セ)(2)(春学期)  
【07】中国現代文学史 (セ)(2)(秋学期)  
【04】中国文学史 (4)(通年)  
20世紀の中国文学を概観する。 教授 関根 謙

### 授業科目の内容:

清末から21世紀を迎えるまでの中国文学の流れを追っていく。

### テキスト:

中国文芸研究会編『中国20世紀文学(解説と資料)』白帝社

### 参考書:

藤井省三、大木康著『新しい中国文学史(近世から現代まで)』ミネルヴァ書房

- 【07】中国語学概論 (セ)(2)(春学期)  
【07】中国語学概論 (セ)(2)(秋学期)  
【04】中国語学概論 (4)(通年)  
中国語という言葉についての概説 教授 山下輝彦

### 授業科目の内容:

声調言語である中国語は、シナチベット語族に属し、皆さんが勉強してきた英語や日本語とかなり異なる性質を持つ言語です。この授業では、中国語の音韻、文法、語彙の三つの面について概説します。音韻については、現代語の音韻体系のみならず、中国語の音韻の歴史についても触れたいと思っています。

### 参考書:

藤堂明保・相原茂『新訂中国語概論』1985年大修館書店

- 【07】中国文学特殊 (2)(春学期)  
【07】中国文学特殊 (2)(秋学期)  
【04】中国文学特殊 (4)(通年)  
『訳注聯珠詩格』を読む。 講師 新谷雅樹

### 授業科目の内容:

柏木如亭が信州中野の晚晴吟社において門弟たちに教えたテキスト『聯珠詩格』を用いて、中国古典詩を江戸人がどう理解したか探っていくしたいと思います。

### テキスト:

講義資料プリントを配布します。

### 参考書:

『三体詩』をよく読んで下さい。

- 【07】中国語学特殊 (2)(春学期)  
【07】中国語学特殊 (2)(秋学期)  
【04】中国語学特殊 (4)(通年)  
現代中国語文法論 講師 石村 広

### 授業科目の内容:

現代中国語文法論の基礎を学びます。文献や資料を読みながら、世界の諸言語からみた中国語の言語的特徴は何か、これまでの研究では中国語の文法構造をどのように捉え、記述しようとしてきたか、といった問題を中心に授業を行います。

### テキスト:

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

### 参考書:

北京大学中文系(編)『現代中国語総説』三省堂、2004年

- 【07】中国語表現演習 (1)(春学期)  
【07】中国語表現演習 (1)(秋学期)  
【04】中国語表現演習 (2)(通年)  
日中文化比較を楽しもう! 講師 陳 淑梅

### 授業科目の内容:

ある話題について自分の意思や見解を自由自在に述べることを練習する。コトバのみならず中国文化にも多く触れていく。テキストの日中文化に関する中国語エッセイを聞き、それについて議論を展開していく。またテーマを決め、討論会を行う予定。

ヒアリングと会話を中心とする授業なので積極的に発言したり、質問したり、討論に参加してほしい。

### テキスト:

陳淑梅著『小点心』NHK出版

### 参考書:

授業中に提示

- 【07】中国語表現演習 (1)(春学期)  
【07】中国語表現演習 (1)(秋学期)  
【04】中国語表現演習 (2)(通年)  
提高听说能力 講師 王 又民

### 授業科目の内容:

本课程教学主要目标是提高学生的汉语听说能力,通过词汇学习,句型操练,会话练习以及话题讨论,使学生学会比较得体正确地运用汉语进行表达,并可以就某一话题展开比较深入的对话和讨论。教材拟选用北京大学出版社出版的<中级汉语口语>。教学具体内容与教学进度将按照学生的实际水平和要求进行安排。

### テキスト:

发讲义

### 参考書:

将在课堂上介绍

- 【07】中国語表現演習 (1)(春学期)  
【07】中国語表現演習 (1)(秋学期)  
【04】中国語表現演習 (2)(通年)  
中国語水平更上一层楼 講師 王 又民

### 授業科目の内容:

本课程教学主要目标是提高学生的汉语听说能力,重点在于通过多种形式的听说训练帮助学生掌握汉语常用词汇,基本句型以及中国人习惯的口语表达方法。让学生练习会话,复述课文和就某一话题进行成段以培养学生运用汉语自由表达,进行交际的能力。教材拟选用北京语言大学出版社出版的<说汉语>。教学具体内容与教学进度将按照学生的实际水平和要求进行安排。

### テキスト:

发讲义

### 参考書:

将在课堂上介绍

- 【07】中国語表現演習 (1)(春学期)  
【07】中国語表現演習 (1)(秋学期)  
【04】中国語表現演習 (2)(通年)  
中国語研究文献講読 教授 山下輝彦

### 授業科目の内容:

中国語の特質や言語と文化との関わりを理解する上で必要と思われる中国語の文献を講読します。今年度は、前期は音韻論に関する文献を、後期は、文法や中国語の本質について書かれた文献を読みます。順番と範囲を決めて、一人ずつ当ててやってもらいます。

### テキスト:

プリント使用

- 【07】中国文学演習 (1)(春学期)  
【07】中国文学演習 (1)(秋学期)  
【04】中国文学演習 (2)(通年)  
中国古典詩(漢魏六朝詩)講読 講師 平井 徹

### 授業科目の内容:

いわゆる「漢詩」の中で、漢魏六朝期の代表的な作品を丁寧に読解することを通じて、さまざまな視点から、詩を読むとはどういうことかを考え

てみたい。関連する映像資料も活用し、また担当者自身の史蹟踏査の経験なども交えるなど、広汎な知識が深められる授業になるよう心がけたい。背景についての説明もなるべく加えて、読む楽しみを広げたいと考えている。

テキスト：  
開講時に指示する（遼欽立輯『先秦漢魏晉南北朝詩』、呉雲・冀宇選注『漢魏六朝詩三百首注』の二書の中から適宜摘出してプリント配布の予定）、参考書：

斯波六郎『中国文学における孤独感』（岩波文庫）、川勝義雄『魏晉南北朝』（講談社学芸文庫）

- 【07】中国文学演習 (1)(春学期)
  - 【07】中国文学演習 (1)(秋学期)
  - 【04】中国文学演習 (2)(通年)
- 唐宋詩文講読 教授 八木章好

授業科目の内容：

中国古典詩文の代表的作品を演習形式で読み進める。特に唐宋の詩人の中から、李白・杜甫・白居易・蘇軾を中心に取り上げる。現代中国語で注釈を施したテキストを用いるため、中国文学専攻以外の受講者は、中国語学習歴のある者に限る。

テキスト：  
プリント配布

- 【07】中国文学演習 (1)(春学期)
  - 【07】中国文学演習 (1)(秋学期)
  - 【04】中国文学演習 (2)(通年)
- 助教 吉永壮介

授業科目の内容：

中国の古典小説は、文語体で書かれた文語小説と、口語体に近い白話小説とに大別できます。当演習では、白話小説の『三国志演義』から幾つかの場面を選んで精読し、『三国志』『資治通鑑』等の史書の内容や文体とも比較しつつ、白話小説の特質について考えます。授業は本文の読解を中心としつつ、辞書や工具書の紹介も随時行います。

テキスト：  
プリント教材を使用します。  
参考書：  
初回授業時に提示します。

- 【07】中国文学演習 (1)(春学期)
  - 【07】中国文学演習 (1)(秋学期)
  - 【04】中国文学演習 (2)(通年)
- 中国筆記小説を読む 教授 渋谷誉一郎

授業科目の内容：

中国古典文学の筆記小説から作品を選んで講読します。筆記小説については最初の授業時に概説します。大まかに言えば随筆やエッセイの一種ですが、内容は多岐にわたります。例えば文言小説の志怪小説や伝奇小説も含まれます

テキスト：  
プリント教材  
参考書：  
初回の授業時に紹介します。

- 【07】中国文学演習 (1)(春学期)
  - 【07】中国文学演習 (1)(秋学期)
  - 【04】中国文学演習 (2)(通年)
- 教授 杉野元子

授業科目の内容：

中国の現代文学作品のなかから、適宜選んで講読する。

テキスト：  
プリント使用。

- 【07】中国文学演習 (1)(春学期)
  - 【07】中国文学演習 (1)(秋学期)
  - 【04】中国文学演習 (2)(通年)
- 魯迅を読む 雑文を中心に 経済学部 教授 竹内良雄

授業科目の内容：

この授業では魯迅の雑文を読んでいくことにしたい。作品は数多くの翻訳があるが、受講者はピンインを調べ、発音して訳をつけ、それをプリントして配布してもらう。それと同時に、魯迅が雑文を書いた時期の時代背景、他の作品なども調べながら授業を進めていきたい。

テキスト：  
プリント  
参考書：  
必要なときに知らせます。

- 【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(春学期)
  - 【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(春学期)
  - 【04】中国現代文学研究会 (A)(1)(春学期)
  - 【04】中国現代文学研究会 (A)(1)(春学期)
- 教授 関根謙

授業科目の内容：

20世紀の中国文化について多角的に検討する。  
小説・詩歌・戯曲などの文学作品を中心とする。  
中国に関するものであれば、映像芸術や舞台芸術などの文化現象一般も対象に含める。  
授業を通じて口頭発表の仕方、論文作成などを学ぶ。

- 【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(春学期)
  - 【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(春学期)
  - 【04】中国古典文学研究会 (A)(1)(春学期)
  - 【04】中国古典文学研究会 (A)(1)(春学期)
- 教授 八木章好

授業科目の内容：

古典文学を中心に学ぶ者を対象とした研究会。学生による研究発表と討論を主とし、兼ねて卒業論文指導を行う。

- 【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(春学期)
  - 【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(春学期)
  - 【04】中国古典文学研究会 (B)(1)(春学期)
  - 【04】中国古典文学研究会 (B)(1)(春学期)
- 教授 渋谷誉一郎

授業科目の内容：

中国古典文学を学ぶ者を対象とした研究会。学生による研究発表と討論を主とし、兼ねて卒業論文指導を行う。

- 【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(春学期)
  - 【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(春学期)
  - 【04】中国現代文学研究会 (B)(1)(春学期)
  - 【04】中国現代文学研究会 (B)(1)(春学期)
- 教授 杉野元子

関根謙教授の研究会の講義要綱と同じ

- 【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(春学期)
  - 【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(春学期)
  - 【04】中国語学研究会 (1)(春学期)
  - 【04】中国語学研究会 (1)(春学期)
- 教授 山下輝彦

授業科目の内容：

中国語という言語について様々な角度からその特質を検討し、次にあげるテーマの中で各々が興味あるものを選択し、さらに理解を深め研究することを希望する場合、資料収集の方法、文献の扱い方などについて指導する。

- (1)文法：現代文法、歴史文法、日中対照研究など
- (2)語彙：外来語などの特徴や文化と関係の深い問題など
- (3)音声：特に現代語の発音の諸問題
- (4)方言：豊かな中国の方言に関する諸問題

- 【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(春学期)
  - 【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(春学期)
  - 【04】中国古典文学研究会 (C)(1)(春学期)
  - 【04】中国古典文学研究会 (C)(1)(春学期)
- 助教 吉永壮介

授業科目の内容：

中国古典文学を学ぶ者を対象とした研究会。学生による研究発表と討論を主とし、兼ねて卒業論文指導を行う。

- 【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(秋学期)
  - 【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(秋学期)
  - 【04】中国現代文学研究会 (A)(1)(秋学期)
  - 【04】中国現代文学研究会 (A)(1)(秋学期)
- 教授 関根謙

授業科目の内容：

中国現代文学研究会 (A), (A)を参照

---

【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(秋学期)

【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(秋学期)

【04】中国古典文学研究会 (A)(1)(秋学期)

【04】中国古典文学研究会 (A)(1)(秋学期)

教授 八木章好

---

授業科目の内容：

古典文学を中心に学ぶ者を対象とした研究会。学生による研究発表と討論を主とし、兼ねて卒業論文指導を行う。

---

【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(秋学期)

【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(秋学期)

【04】中国古典文学研究会 (B)(1)(秋学期)

【04】中国古典文学研究会 (B)(1)(秋学期)

教授 渋谷 誉一郎

---

授業科目の内容：

中国古典文学研究会 (B), (B)を参照

---

【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(秋学期)

【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(秋学期)

【04】中国現代文学研究会 (B)(1)(秋学期)

【04】中国現代文学研究会 (B)(1)(秋学期)

教授 杉野元子

---

授業科目の内容：

中国現代文学研究会 (B), (B)を参照

---

【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(秋学期)

【07】中国語学・中国文学研究会 (1)(秋学期)

【04】中国語学研究会 (1)(秋学期)

【04】中国語学研究会 (1)(秋学期)

教授 山下輝彦

---

授業科目の内容：

中国語学研究会 , を参照

---

【07】中国語学・中国文学研究会 (1)秋学期

【07】中国語学・中国文学研究会 (1)秋学期

【04】中国古典文学研究会 (C)(1)秋学期

【04】中国古典文学研究会 (C)(1)秋学期

助教 吉永壮介

---

授業科目の内容：

中国古典文学研究会 (C), (C)を参照



# 英米文学専攻

## 必修科目

【07】英語史 (要)(2)(春学期)

【07】英語史 (要)(2)(秋学期)

【04】英語史(4)(通年) 教授 スカヒル, ジョン・デミエン

授業科目の内容:

This course will show how the history of English explains features of Present-Day English, and give practice in reading texts from earlier periods.

テキスト:

N. Schmitt & R. Marsden, *Why is English Like That?* (University of Michigan Press)

参考書:

6 class tests + 2 examinations

【07】英文学史 (要)(2)(春学期)

【07】英文学史 (要)(2)(秋学期)

【04】英文学史(4)(通年) [春]教授 松田 隆美  
[秋]教授 河内 恵子

### 【春学期】

授業科目の内容:

中世から17世紀までのイギリス文学史。フランス、イタリアなどの大陸文学からの影響、教会美術や絵画などの視覚芸術との相関性、文学のメディアとしての書物文化などに注目することで、イギリス文学の時代的展開をそれぞれの時代の文化的文脈のなかで理解することを目的とする。

テキスト:

Greenblatt, Stephen, ed., *The Norton Anthology of English Literature*, 2 vols., 8th ed., New York: Norton, 2006.

参考書:

教室で指示する。

### 【秋学期】

授業科目の内容:

18世紀から20世紀までのイギリス文学史。

イギリス社会や文化を理解したうえで、文学史を具体的に理解してほしい。

テキスト:

Greenblatt, Stephen, ed., *The Norton Anthology of English Literature*, 2 vols., 8th ed. New York: Norton, 2006.

参考書:

教室で指示する。

【07】米文学史 (要)(2)(春学期)

【07】米文学史 (要)(2)(秋学期)

【04】米文学史(4)(通年) [春]准教授 大串 尚代  
[秋]教授 巽 孝之

### 【春学期】

授業科目の内容:

植民地時代から南北戦争前後にかけてのアメリカ文学史を概観する。社会的・文化的・思想的背景との関連性を理解したうえで、個々の文学作品の意義を考える。

テキスト:

High, Peter. *An Outline of American Literature*. New York: Longman, 1986.

George McMichael, ed. *Concise Anthology of American Literature*. 6th ed. Upper Saddle River: Prentice Hall, 2006

参考書:

巽孝之『アメリカ文学史 駆動する物語の時空間』(慶應義塾大学出版会, 2003年)

### 【秋学期】

授業科目の内容:

ピューリタン植民地時代からポストモダン文学の時代へ至る「アメリカ文学史の常識」をふまえながら、その準拠からはこぼれ落ちかねない多様な「非常識の文学史」をも考察していく。

テキスト:

・Peter High, *An Outline of American Literature* (New York: Longman, 1986)

・George McMichael, ed., *Concise Anthology of American Literature*

(Upper Saddle River: Prentice Hall, 2006).

参考書:

巽孝之『アメリカ文学史 駆動する物語の時空間』(慶應義塾大学出版会, 2003年)

【07】現代英語学 (要)(2)(春学期)

【07】現代英語学 (要)(2)(秋学期)

【04】現代英語学(4)(通年) 教授 井上 逸兵

授業科目の内容:

言語学の観点から現代英語の諸相について講義する。

テキスト:

授業のホームページ, 生協, および掲示で指示する。

参考書:

授業中および授業のホームページ上で指示する。

【07】英語英米文学基礎講読 (A)~(G)(要)(1)(春学期)

【07】英語英米文学基礎講読 (A)~(G)(要)(1)(秋学期)

【04】英語英米文学基礎講読(A)~(G)(2)(通年)

(A)[春]教授 スカヒル, ジョン・デミエン

[秋]教授 井出 新

(B)[春]准教授 高橋 勇

[秋]教授 スカヒル, ジョン・デミエン

(C)[春]教授 井上 逸兵

[秋]准教授 高橋 勇

(D)[春]教授 河内 恵子

[秋]教授 井上 逸兵

(E)[春]准教授 大串 尚代

[秋]教授 河内 恵子

(F)[春]教授 松田 隆美

[秋]教授 巽 孝之

(G)[春]教授 井出 新

[秋]教授 松田 隆美

授業科目の内容:

第3学年において、学生は各々が専門とする研究会に所属するが、いずれの分野にあっても英語文献を読むことは研究の基本となる。「英語英米文学基礎講読」は基礎的な文献を正確に読み、内容を分析する能力を養うための演習科目として設置されており、担当者によって扱うテキストは異なるものの、その授業目的は同一である。また、秋学期に共通テストが実施される。

なお、本授業のクラス分けは4月初旬に発表されるので、必ずそれに従って履修登録をすること。

【07】古代中世英語学 (要)(2)(春学期)

【07】古代中世英語学 (要)(2)(秋学期)

【04】古代中世英語学(4)(通年) 教授 松田 隆美

授業科目の内容:

この講義の目的は、Old English, Middle English のテキストに実際に触れることで、イギリス中世の文学とその思想的背景について具体的に学ぶことである。春学期には、Old English への導入をするとともに、アングロ・サクソン期のイギリス文学についてテキストを実際に読みつつ解説する。秋学期には、Middle English の特徴を説明し、チャーサーなどの作品を通じて、中世後期イギリス文学とその背景について、さまざまな角度から考察する。

テキスト:

(春)プリントを配布する。

(秋)Chaucer, Geoffrey, *The Canterbury Tales*, selected and ed. by V. A. Kolve and Glending Olson, 2nd edn (New York: W. W. Norton, 2005)

【07】英語音声学 (要)(2)(春学期)

【07】英語音声学 (要)(2)(秋学期)

【04】英語音声学(4)(通年) 教授 スカヒル, ジョン・デミエン

授業科目の内容:

This course will introduce the fundamental concepts of phonetics and phonology, and analyse the vowels, consonants, stress, rhythm and intonation of English.

テキスト:

ビーター・ローチ著『英語音声学・音韻論』(大修館書店)



【07】英語学演習 (1)(春学期)  
【07】英語学演習 (1)(秋学期)  
【04】英語学演習 A(2)(通年)  
書誌学研究とは何か～中世からシェイクスピアまで～  
商学部 教授 英 知 明

授業科目の内容:

文学作品を「物理的な存在としての書物」として捉え、その誕生や印刷工程、出版や流通を研究対象とする「書誌学(Bibliography)」への入門編。中世の目も眩む色彩鮮やかな手書きの写本時代から、手動印刷機の誕生を経て、作品が出版物として文芸の世界へと普及していくエリザベス朝までを扱う。特に作者原稿が劇場用台本へと姿を変え、最終的に書物として出版されるに至ったシェイクスピア時代の演劇作品を中心に、書誌学理論と実践、及び問題点を考察する。論文、研究書の講読とともに、履修者による個人発表も予定している。書物への愛情と精緻な学問への関心を持ち、積極的に授業に取り組む学生を歓迎。

テキスト:

授業時に配布、または指示する。

【07】英語学演習 (1)(春学期)  
【07】英語学演習 (1)(秋学期)  
【04】英語学演習 B(2)(通年)  
教授 スカヒル, ジョン・デミエン

授業科目の内容:

Students will learn the elements of Old English, and read simple texts against the background of Anglo-Saxon culture.

テキスト:

C. Hough & J. Corbett, *Beginning Old English* (Palgrave)

【07】英語学演習 (1)(春学期)  
【07】英語学演習 (1)(秋学期)  
【04】英語学演習 C(2)(通年)  
言語の起源を探る 講師 唐須 教光

授業科目の内容:

言語人類学の観点から、言語の起源と発展について考える。そうすることによって言語の本質を探ることが出来ると思うからである。

テキスト:

Robins Burling: *The Talking Ape*. OUP 2005

【07】英語学演習 (1)(春学期)  
【07】英語学演習 (1)(秋学期)  
【04】英語学演習 D(2)(通年)  
社会言語学 講師 阿部 圭子

授業科目の内容:

本講では、話し手と聞き手の人間関係やコミュニケーションにおける言語の果たす役割を、その背景となる社会、文化との関わりから明らかにする。

テキスト:

初回の授業で紹介する。

参考書:

- ・唐須教光(編)『開放系言語学への招待』(慶應義塾大学出版会, 2008)
- ・小池生夫(編)『応用言語学事典』(研究社, 2003)
- ・John Gumperz(著)井上逸兵 他 訳『認知と相互行為の社会言語学 ディスコース・ストラテジー』(松柏社, 2004)

【07】英語学演習 (1)(春学期)  
【07】英語学演習 (1)(秋学期)  
【04】英語学演習 E(2)(通年)  
教育的文体論基礎文献講読・教育的文体論の実践 - 教材開発 -  
講師 奥 聡一郎

授業科目の内容:

春学期は教育的文体論の基本文献である H. G. Widdowson. *Stylistics and the Teaching of Literature* (1975) から Mick Short (1998), Ronald Carter eds. (1989), Michael Toolan (1998), Hall (2005), Watson eds. (2007) などの抜粋を講読し、教育的文体論の流れを概観する。秋学期には前期の知見を踏まえ、実際に文学テキストを教材化し評価する。文体論的なアプローチが教科書、GCSE 等にどのように応用されているか、タスクや学習成果の分析を行い、教育現場で文学テキストを教材として効果的に活用できるところまで演習したい。

テキスト:

プリントを配布する予定。

参考書:

斎藤兆史(2001)「英語の作法」 東京大学出版会

【07】英語学演習 (1)(春学期)  
【07】英語学演習 (1)(秋学期)  
【04】英語学演習 F(2)(通年)  
外国語教授法概論 講師 平賀 優子

授業科目の内容:

江戸時代から現代に至るまでに日本に紹介された外国語教授法を概観します。1回の授業につき1つの教授法を取り上げ、学生によるプレゼンテーションにより授業を進めていきます。プレゼンテーションの内容は、各教授法の理論・背景の説明とロールプレイ(教師、生徒、観察者役に分かれ、実際のその教授法による授業を行う)で、最後にその長所、短所、問題点等について議論します。

テキスト:

初回の授業で参考文献リストを配布します。

【07】英語学演習 (1)(春学期)  
【07】英語学演習 (1)(秋学期)  
【04】英語学演習 G(2)(通年)  
Creative Writing in English. 講師 コネリー, マーティン C.

授業科目の内容:

This is basically a writing course in English, with a focus on creative self-expression. We will study a number of forms: essay, short-story, poem, dialogue and journal. How can we describe people, places and things effectively? How can we get our ideas across effectively? How can we keep the reader's attention?

There will be an emphasis on production: learning by writing. A lot of the contents will be related to students' interests.

テキスト:

No set textbook - handouts will be provided.

参考書:

None.

【07】英語学演習 (1)(春学期)  
【07】英語学演習 (1)(秋学期)  
【04】英語学演習 H(2)(通年)  
社会言語学 教授 井上 逸兵

授業科目の内容:

社会言語学のうち、談話分析的アプローチの文献を講読する。詳細は授業のホームページを参照のこと(<http://www.flet.keio.ac.jp/~ipinoue/enshu-h.htm>)

テキスト:

授業のページ及び生協で知らせる。

参考書:

授業のページ及び生協で知らせる。

【07】英文学演習 (1)(春学期)  
【07】英文学演習 (1)(秋学期)  
【04】英文学演習 A(2)(通年)  
ロマン派の詩を読む 准教授 高橋 勇

授業科目の内容:

英国ロマン派の詩を精読・味読しながら、英語で詩を読むということを実際に体験してもらいます。各学期とも、初めのうちは詩の文法やリズムについての解説から入り、詩を詩として読めるレベルに到達することを目標とします。内容上は講義科目「英文学 A / . . . 」と対になる科目です。

テキスト:

Stephen Greenblatt, ed., *The Norton Anthology of English Literature*, 8th edn, 2 vols (New York: Norton, 2005)

【07】英文学演習 (1)(春学期)  
【07】英文学演習 (1)(秋学期)  
【04】英文学演習 B(2)(通年)  
イギリス小説を愉しく論じるには?! 教授 河内 恵子

授業科目の内容:

この授業では「小説の論じ方」について考える。

中心となる作品は20世紀を代表する作家 Susan Hill の *Strange Meeting* (1971) であるがこの他にもさまざまな作品を用いて、時間、空間、語り手、構造 etc. といったアスペクトから小説世界の分析を試みる。

テキスト:

Susan Hill, *Strange Meeting*, Harmondsworth: Penguin, 1982.

参考書:

教室で指示する。

【07】英文学演習 (1)(春学期)

【07】英文学演習 (1)(秋学期)

【04】英文学演習 C(2)(通年)

イギリス・ルネサンスの詩の世界 教授 松田 隆美

授業科目の内容：

Spenser, Shakespeare, Donne, Marvell, Milton など、16-17世紀を代表する詩人の作品を、抒情詩を中心に精読することで、ルネサンス期の詩の主題的特徴、詩的コンベンション、視覚芸術との密接な関連などについて考察します。

テキスト：

プリント配布。

参考書：

*Norton Anthology of English Literature*, vol. 1.

【07】英文学演習 (1)(春学期)

【07】英文学演習 (1)(秋学期)

【04】英文学演習 D(2)(通年)

18世紀英文学の精読演習を通じて、近・現代の出発点を確認する  
講師 原田 範行

授業科目の内容：

イギリス 18世紀の文学作品の精読・演習を通じて、まず、当時の英文学作品の原典を正確に読みこなせる実力を培うこと、そしてその上で、文学研究の基本的な方法や論点を整理し、作品解釈の可能性についての思考力を養ってもらうことが本演習の目標です。18世紀は、詩、小説、伝記、批評などのさまざまな文学ジャンルが変化、分化、確立してくる時期であり、また印刷出版文化(ジャーナリズムや著作権論争を含む)が今日の相貌を帯び始める時期でもありますから、履修者の皆さんは、本演習を通じて、英語力の向上とともに、近・現代文学と文化の出発点を確認することができると思います。本年度は小説発生の最重要作品の一つであり、世界的名作として知られるダニエル・デフォーの『ロビンソン・クルーソー』を取り上げます。

テキスト：

Daniel Defoe, *Robinson Crusoe* を教材とします。使用する版については、開講時に指示します。

参考書：

開講時に詳しく説明します。

【07】英文学演習 (1)(春学期)

【07】英文学演習 (1)(秋学期)

【04】英文学演習 E(2)(通年)

英国ヴィクトリア朝の詩を読む 講師 阿部 公彦

授業科目の内容：

英詩入門の授業です。英詩を読み、語るためのコツを勉強します。今年の教材は、英国ヴィクトリア朝の詩で、テニスン、アーノルド、ロセッティ兄妹、ハーディといったヴィクトリア朝を代表する詩人の作品を中心に読む予定です。授業では、なるべく英語の詩を英語のまま読むことをこころがけ、また詩について議論する練習もします。ペースは授業一回に作品ひとつ。担当者によるコメント・ディスカッションによる応答 全体でのディスカッション グループ・ディスカッションという順番で進めます。評価は平常点と期末レポートです。扱う作品についてはハンドアウトを配りますが、アンソロジーとして次のものを手に入れておくとう便利です。

*The Penguin Book of Victorian Verse*, ed. by Daniel Karlin (New York: Penguin, 1999)

*The Norton Anthology of Poetry*, 4th ed., ed. by Margaret Ferguson... etc. (New York: Norton, 1996)

テキスト：

授業時にハンドアウトを配ります。

参考書：

授業科目の内容参照。

【07】英文学演習 (1)(春学期)

【07】英文学演習 (1)(秋学期)

【04】英文学演習 F(2)(通年)

中世・初期近代の短詩研究 講師 小林 宜子

授業科目の内容：

中世から初期近代にかけて書かれた様々な短詩を、その背景となる文学的伝統や作品が生み出された当時の歴史的状況などを考察しながら原文で精読します。短詩と一口に言っても、その種類は作者不詳の中世詩歌(宗教詩もしくは恋愛詩)、中世後期のバラード、「嘆きの歌」、ソネットなど多岐にわたります。それぞれの詩の形式的特徴を理解したうえで、どのような文学的伝統に則って書かれているのか、どのような形で流布したのか、いかなる意味を伝え、いかなる情緒を表現しているのか、ど

のような社会的役割を果たしているのか、どのような政治的意図がその裏に隠されているのかなど、二次資料を用いながら多角的な視点から解釈を試みます。

テキスト：

*Chaucer: An Anthology of Writings in English, 1375-1575*, edited by Derek Pearsall (Blackwell, 1999) 等から必要箇所(原文テキストおよび注釈)を抜粋してプリントで配布します。

参考書：

授業内に指示します。

【07】英文学演習 (1)(春学期)

【07】英文学演習 (1)(秋学期)

【04】英文学演習 G(2)(通年)

シェイクスピアを立体的に読む 教授 井出 新

授業科目の内容：

この演習では前・後期を通して『ヴェニスの商人』を精読し、シェイクスピアの台本を読むための基礎力習得を目指す。詩や小説とは違って、シェイクスピアの台本は殆どが舞台で上演されることを前提に書かれたテキストであるため、我々の想像力をフルに働かせて、舞台上での役者たちの動きや表情をシミュレーションしつつ、テキストを読む必要がでてくる。しかも台詞は美しい修飾をちりばめたものから卑猥なダジャレのオンパレードまで実に多種多様。それが台詞の苦勞するところでもあり、面白いところでもある。テキストは本文校訂と学問的注釈がきちんと施されたものを選び、本文はもちろん注釈についても丁寧に目を通してもらうことになるだろう。それによって受講者には、ルネサンス演劇研究の初歩的な知識を身につけ、シェイクスピアを読みこなすための技術を習得してほしい。

テキスト：

Jay L. Halio, ed. *The Merchant of Venice* (Oxford: Oxford Univ. Pr., 1993).

参考書：

随時、授業の中で紹介する。

【07】英文学演習 (1)(春学期)

【07】英文学演習 (1)(秋学期)

【04】英文学演習 H(2)(通年)

トールキンと異界の楽園 准教授 辺見 葉子

授業科目の内容：

トールキンが描く不老不死の楽園の背後には、ブリテン諸島で継承されてきた、異界の楽園にまつわる重層的なイメージが広がっている。トールキンの作品群、およびその背景にある神話・伝承のテキストを読み、トールキンの異界観を探る。

テキスト：

Keio.jp から各自ダウンロード・プリントアウトして下さい。

参考書：

授業中に適宜紹介します。

【07】英文学演習 (1)(春学期)

【07】英文学演習 (1)(秋学期)

【04】英文学演習 I(2)(通年)

イギリスモダニズム文学とジェンダー 講師 遠藤 不比人

授業科目の内容：

モダニズム文学を「ジェンダー」あるいは「セクシュアリティ」という視点から考察する。このテーマのために編集されたアンソロジーを使用し、複数の作家のテキストを精読したい。またその基礎知識として、最近のジェンダー/セクシュアリティ論についても講義する。

テキスト：

Bonnie Kime Scottd., *Gender in Modernism* (U of Illinois P, 2007)

参考書：

必要なものを複数授業中に紹介する。

【07】英文学演習 (1)(春学期)

【07】英文学演習 (1)(秋学期)

【04】英文学演習 J(2)(通年)

講師 高橋 和久

授業科目の内容：

春学期は Thomas Hardy, *Far from the Madding Crowd* を通読する。長編小説を読むことに習熟するのが目標。

秋学期は Hardy の代表作、*Tess* についての批評文献を読み、作品批評のコツを学ぶ。

テキスト：

Thomas Hardy, *Under the Greenwood Tree* (Penguin)

- 【07】英文学演習 (1)(春学期)  
 【07】英文学演習 (1)(秋学期)  
 【04】英文学演習 K(2)(通年)

Gothic Fiction in Britain & Japan

教授 アーマー, アンドルー J.

授業科目の内容:

The focus of this course in comparative literature is the Gothic tradition in Britain and Japan.

テキスト:

Students will be presented with materials in class and via a dedicated website ([www.armour.cc/goth.htm](http://www.armour.cc/goth.htm)).

参考書:

References will be listed on the class website ([www.armour.cc/goth.htm](http://www.armour.cc/goth.htm)).

- 【07】米文学演習 (1)(春学期)  
 【07】米文学演習 (1)(秋学期)  
 【04】米文学演習 A(2)(通年)

休講

- 【07】米文学演習 (1)(春学期)  
 【07】米文学演習 (1)(秋学期)  
 【04】米文学演習 B(2)(通年)

19世紀アメリカ詩

商学部 教授 朝比奈 緑

授業科目の内容:

19世紀アメリカの代表的な詩人である Emily Dickinson と Walt Whitman の詩を精読する。

また、両詩人を論じたエッセイを読み、アメリカの歴史・文化の文脈のなかで、比較検討をする。

テキスト:

春学期 Emily Dickinson: *Selected Poems* (Oxford UP)

秋学期 *Selected Poems of Walt Whitman* (Kenkyusha)

その他プリントによる。

参考書:

新倉俊一訳編『ディキンソン詩集』(思潮社)

酒本雅之訳『草の葉』(岩波文庫)

- 【07】米文学演習 (1)(春学期)  
 【07】米文学演習 (1)(秋学期)  
 【04】米文学演習 C(2)(通年)

翻訳実技演習

講師 嶋田 洋一

授業科目の内容:

小説の英日翻訳を実際に体験してもらい、英語読解力と日本語表現力の向上を目指します。前期は長篇を、後期は短篇を題材として扱います。

テキスト:

コピーを配布します。

- 【07】米文学演習 (1)(春学期)  
 【07】米文学演習 (1)(秋学期)  
 【04】米文学演習 D(2)(通年)

19世紀アメリカ女性文学

准教授 大串 尚代

授業科目の内容:

Nathaniel Hawthorne, Ralph Waldo Emerson, Henry David Thoreau, Herman Melville などの男性作家が活躍したアメリカ 19世紀は、同時に女性作家たちが文学市場を席巻した時代でもあった。Hawthorne が “a d-d mob of scribbling women” と呼んだ女性作家たちは、いったいどのような作品で当時の読者を魅了していったのか、それらの作品がなぜ伝統的な文学史から排除されていったのかを具体的な作品を読みながら考察する。

春学期は Catherine Maria Sedgwick, Lydia Maria Child, Fanny Fern, Margaret Fuller, Harriet Beecher Stowe らの作品を扱う。

秋学期は Elizabeth Stuart Phelps, Frances Harper, Rebecca Harding Davis, Louisa May Alcott らの作品を扱う。

テキスト:

(春・秋共通) Showalter, Elaine, ed. *Scribbling Women: Short Stories by 19th Century American Women*. New Brunswick: Rutgers UP, 1997.

(春) Stowe, Harriet Beecher. *Uncle Tom's Cabin*. 1852. New York: Penguin, 1981.

(秋) Alcott, Louisa May. *Little Women*. 1868. New York: Norton, 2003.

参考書:

適宜指示する。

- 【07】米文学演習 (1)(春学期)  
 【07】米文学演習 (1)(秋学期)  
 【04】米文学演習 E(2)(通年)

近代化の時代の小説を読む

講師 上西 哲雄

授業科目の内容:

19世紀半ばの南北戦争から20世紀初めの第一次世界大戦前後にかけて、アメリカ合衆国は日本の明治時代のように近代化に邁進する。急激な近代化を人々の心がどのように受け止めたのかを同時代の小説に読み解くことが、この授業の大雑把な内容である。

アメリカ文学史の中で19世紀後半はリアリズムの時代と呼ばれ、代表する作家と言えば Mark Twain をまず挙げるのには異論の無いところであろう。にもかかわらず、Twain の取り上げる題材や舞台には、自然や歴史といったひと昔前のロマン主義の好むものが少なくない。今回の授業では、Twain の「歴史もの」を作家生活の前期のものとは後期のものから春学期、秋学期それぞれ一冊ずつ取り上げて精読・調査する。こうしたジャンルの扱われなどに留意しながら、近代化と人々の心がどのように交錯するのを探ることを目指す。

詳細は初回の授業で説明するが、授業はテキストの中に問題を探し調査を通じてその答を推論するという、議論を作る作業を軸に行う。最終的に受講者ひとりひとりが各自の作品論を展開するための材料として、様々な読み方の蓄積を受講者全員で共有することを目指す。

テキスト:

(春学期) Mark Twain. *The Prince and the Pauper*

(秋学期) Mark Twain. *No. 44, The Mysterious Stranger*

いずれも最初の授業で販売するか購入方法を指示する。

参考書:

授業内で適宜紹介する。

- 【07】米文学演習 (1)(春学期)  
 【07】米文学演習 (1)(秋学期)  
 【04】米文学演習 F(2)(通年)

アメリカン・ドラマを読む

法学部 教授 常山 菜穂子

授業科目の内容:

アメリカ演劇は、植民地時代から19世紀末までの長い大衆演劇の時代を経て20世紀に開花しました。本演習では、現代アメリカ演劇を代表する戯曲を精読します。演劇の解釈はテキストの精読だけでは足りず、そのテキストがいかなる時代にいかなる条件の下で上演されたのかといった社会的要素も考慮しなければなりません。作品を、制作当時の国家国民、政治経済、思想イデオロギーを考察しながら原文で読み解くことによって、ひいては、舞台に意識的/無意識的に反映されたアメリカの人と社会を浮き彫りにします。

テキスト:

下記の作品をペーパーバックで講読します。使用する版は初回授業で指定します。

- 【07】米文学演習 (1)(春学期)  
 【07】米文学演習 (1)(秋学期)  
 【04】米文学演習 G(2)(通年)

アフリカ系アメリカ文学

法学部 教授 奥田 暁代

授業科目の内容:

各学期ともアフリカ系アメリカ人作家による小説を通読する。毎週20ページぐらい読んでくれることが宿題となる。アフリカ系アメリカ人の辿ってきた歴史や現在おかれている状況などを理解してもらうために、アメリカ史あるいは文化に関する講義を行ったり、学生による発表を取り入れたりする。

授業では、アフリカ系アメリカ文学の流れをつかむために、まず初期の詩、小説や奴隷体験記などの抜粋から読んでもらう。扱う作家として、Phyllis Wheatley, Frederick Douglass, Harriet Jacobs, Francis E. W. Harper, Booker T. Washington, Charles W. Chesnut, W. E. B. DuBois, Langston Hughes, Jean Toomer, Zora Neale Hurston などを検討している。彼らの作品をとおして、アフリカ系アメリカ文学という枠組みやアメリカ主流文学との関わりについて考察する。そのうえで、前期は現在活躍中の女性作家による小説、後期は男性作家による小説を読んでいく。

テキスト:

前期は Toni Morrison, *The Bluest Eye* (Vintage, 1970)

後期は Ernest Gaines, *A Lesson Before Dying* (Vintage, 1993)

【07】米文学演習 (1)(春学期)

【07】米文学演習 (1)(秋学期)

【04】米文学演習 H(2)(通年)

トマス・ピンチョンの *Gravity's Rainbow* を読む

講師 波戸岡 景太

授業科目の内容：

1973年に刊行された Thomas Pynchon の *Gravity's Rainbow* を読む。Pynchon はベトナム戦争を境とするポストモダン小説を理解するうえで最重要作家の一人。本授業では、彼の代表作を、大胆に縮約 (abridge) することで、Pynchon 文学を楽しみつつ、現代アメリカ文学の可能性を探っていく。

テキスト：

Pynchon, Thomas. *Gravity's Rainbow*. New York: Viking, 1973.

実際に使用する版は、初回授業で決定します。

参考書：

授業内で指示します。

【07】英語学研究会 (3年)(要)(1)(春学期)

【07】英語学研究会 (3年)(要)(1)(秋学期)

【07】英語学研究会 (4年)(要)(1)(春学期)

【07】英語学研究会 (4年)(要)(1)(秋学期)

【04】英語学研究会 (3年)(2)(通年)

【04】英語学研究会 (4年)(2)(通年)

教授 スカヒル, ジョン・デミエン

授業科目の内容：

This course will look at change in English by focusing on one genre, journals and diaries.

【07】英語学研究会 (3年)(要)(1)(春学期)

【07】英語学研究会 (3年)(要)(1)(秋学期)

【07】英語学研究会 (4年)(要)(1)(春学期)

【07】英語学研究会 (4年)(要)(1)(秋学期)

【04】英語学研究会 (3年)(2)(通年)

【04】英語学研究会 (4年)(2)(通年)

教授 井上 逸兵

授業科目の内容：

英語学・言語学の卒論準備指導

テキスト：

なし

参考書：

適宜授業中に指示する

【07】英文学研究会 (3年)(要)(1)(春学期)

【07】英文学研究会 (3年)(要)(1)(秋学期)

【07】英文学研究会 (4年)(要)(1)(春学期)

【07】英文学研究会 (4年)(要)(1)(秋学期)

【04】英文学研究会 (3年)(2)(通年)

【04】英文学研究会 (4年)(2)(通年)

卒業論文研究発表・卒業論文指導 准教授 高橋 勇

授業科目の内容：

英文学・イギリス文化関係で卒業論文を執筆する学生のためのゼミナール演習

テキスト：

『MLA 英語論文の手引』第6版または最新版(北星堂)

【07】英文学研究会 (3年)(要)(1)(春学期)

【07】英文学研究会 (3年)(要)(1)(秋学期)

【07】英文学研究会 (4年)(要)(1)(春学期)

【07】英文学研究会 (4年)(要)(1)(秋学期)

【04】英文学研究会 (3年)(2)(通年)

【04】英文学研究会 (4年)(2)(通年)

卒業論文指導 教授 河内 恵子

授業科目の内容：

18世紀から現代にいたるイギリス文学に関連する卒業論文を提出する学生のためのゼミナール演習。

(研究発表, コメントシート作成, 面接が中心。)

参考書：

教室で指示する。

【07】英文学研究会 (3年)(要)(1)(春学期)

【07】英文学研究会 (3年)(要)(1)(秋学期)

【07】英文学研究会 (4年)(要)(1)(春学期)

【07】英文学研究会 (4年)(要)(1)(秋学期)

【04】英文学研究会 (3年)(2)(通年)

【04】英文学研究会 (4年)(2)(通年)

教授 松田 隆美

授業科目の内容：

イギリス文学に関する卒業論文を執筆する学生を対象として、研究発表を主体とした論文指導を行う。授業計画は、学期毎にプリントで知らせる。

テキスト：

アンドルー・アーマー, 河内恵子, 松田隆美, ウィリアム・スネル『アカデミックライティング応用編 文学・文化研究の英語論文作成法』(慶應義塾大学出版会, 1999年)

【07】米文学研究会 (3年)(要)(1)(春学期)

【07】米文学研究会 (3年)(要)(1)(秋学期)

【07】米文学研究会 (4年)(要)(1)(春学期)

【07】米文学研究会 (4年)(要)(1)(秋学期)

【04】米文学研究会 (3年)(2)(通年)

【04】米文学研究会 (4年)(2)(通年)

[春] 准教授 大串 尚代

[秋] 教授 巽 孝之

授業科目の内容：

春学期はアメリカ文学研究の基礎理論修得に費し、4年の卒業制作経過報告に重点を置く。

秋学期より3年の卒業制作準備段階に入る。英語圏学術誌を含め少なからぬ文献を読むことになるため、相当の覚悟が必要。

テキスト：

Jonathan Culler, *Literary Theory* (New York: Oxford UP, 1997).

参考書：

・巽孝之 & 渡部桃子編『物語のゆらめき アメリカン・ナラティブの意識史』(南雲堂, 1998年)

・ジョナサン・カラー『文学理論』(岩波書店, 2003年)ほか『MLA 英語論文の手引』など。

【07】米文学研究会 (3年)(要)(1)(春学期)

【07】米文学研究会 (3年)(要)(1)(秋学期)

【07】米文学研究会 (4年)(要)(1)(春学期)

【07】米文学研究会 (4年)(要)(1)(秋学期)

【04】米文学研究会 (3年)(2)(通年)

【04】米文学研究会 (4年)(2)(通年)

卒業論文制作

准教授 大串 尚代

授業科目の内容：

アメリカ文学研究および文化研究をテーマにして卒業論文を制作する学生のための演習を行う。

テキスト：

Gibaldi, Joseph. *MLA Handbook for Writers of Research Papers*. 6th ed. New York: MLA, 2003.

参考書：

適時指示する。

## 選 択 科 目

【07】英語学 (2)(春学期)

【07】英語学 (2)(秋学期)

【04】英語学 A(4)(通年)

英語教育の中の現代英語学・コミュニケーションの英語学

講師 奥 聡一郎

授業科目の内容：

春学期は英語教育の観点から現代英語学の全体像について概観する。言語学、記号学を中心となる概念から英語学の諸相と英語教育への貢献について考察する。また、英語教育の現場で必要な英文法の概説書の講読もあわせて行う。秋学期は英語教育の中心的な目標とされるコミュニケーション能力の育成について、英語学の観点から諸分野の成果と展望を踏まえながら講義を行う。英語教育に携わる上で知っておかないといけない専門用語については小テスト(平常点)を頻繁に行うので欠席と遅刻はしないこと。

テキスト：

春学期：特に指定しない。プリントを配布する。

秋学期：唐須教光編（2008）『開放系言語学への招待 文化・認知・コミュニケーション』慶應義塾大学出版会

参考書：

Huddleston & Pullum. *A student's introduction to English Grammar*. (Cambridge UP, 2005) の 1. Introduction 2. A rapid overview 3. Verbs, tense, aspect, and mood を講読予定。Akmajian et al. *Linguistics: An Introduction to Language and Communication*. (Boston: The MIT Press, 2001)

【07】英語学 (2)(春学期)

【07】英語学 (2)(秋学期)

【04】英語学 B (4)(通年)

社会言語学

講師 阿部 圭子

授業科目の内容：

本講では社会言語学の起源と定義，研究方法，変異研究，言語行動，社会的ステレオタイプ，多言語主義，相互作用社会言語学などに関する諸論文を取り上げ考察する。

テキスト：

初回の授業で紹介する。

参考書：

- ・ Ronald Wardhaugh 著 『社会言語学入門』(リーベル出版, 1994)
- ・ 小池生夫 (編) 『応用言語学事典』(研究社, 2003)
- ・ 唐須教光 (編) 『英語学文献解題言語学』(研究社, 2000)

【07】英語学 (2)(春学期)

【07】英語学 (2)(秋学期)

【04】英語学 C (4)(通年)

英語教育学

講師 平賀 優子

授業科目の内容：

英語教育学に関する基本的な知識を身につけることを目標にします。前期は英語教育学全般，後期は英語教育史に焦点を当て，学生のプレゼンテーションにより授業を進めていきます。

テキスト：

(仮)

- 前期 高梨庸雄・高橋正夫著 『新・英語教育学概論』金星堂, 2007年
- 後期 伊村元道著 『日本の英語教育 200年』大修館書店, 2003年

【07】英語学 (2)(春学期)

【07】英語学 (2)(秋学期)

【04】英語学 D (4)(通年)

後期中英語の統語論と形態論 医学部 教授 児馬 修

授業科目の内容：

後期中英語(特に15世紀の英語)で書かれた書簡を精読しながら現代英語と異なる文法的(統語法・語形成などの)特徴を観察し，それらの特徴を共時的かつ通時的に考察・分析する力を養うことを目標とする。

テキスト：

プリントを配布する。

参考書：

授業時に指示する。

【07】英語学 (2)(春学期)

【07】英語学 (2)(秋学期)

【04】英語学 E (4)(通年)

現代英語を知るための英語史 講師 堀田 隆一

授業科目の内容：

英語という言葉の特徴を理解するためには，それがたどってきた歴史を学ぶことが不可欠である。英語の起源はどこにあるのか，英語に見られる不規則性は何に由来するのか，英語は将来どうなっていくのか，などの問題に歴史的・通時的な視点からアプローチすることで，多面的な英語観を形成することが本授業の目標である。春学期は古英語までを，秋学期は中英語以降を扱う。

本授業で明らかになる現代英語の疑問点を数例挙げておく。

- ・ 英語はラテン語，フランス語，ドイツ語などどのような関係にあるのか
- ・ なぜ foot の複数形は feet なのか
- ・ なぜ SVO の語順なのか
- ・ なぜ三単現の s がつくのか
- ・ なぜ A を [ei] と発音するのか
- ・ なぜ英語は世界語となりえたのか

テキスト：

- (1) 菊池清明・唐澤一友・堀田隆一・貝塚泰幸 『英語史：現代英語の特質を求めて 多文化性と国際性』，関西人文科学出版会，2008年。
- (2) 菊池清明監修，唐澤一友・小池剛史・堀田隆一・福田一貴・貝塚

泰幸・松崎武志著 『英語学：現代英語をより深く知るために 現代英語の諸相と英語学術語解説』，浪漫書房，2008年。

参考書：

寺澤盾 『英語の歴史：過去から未来への物語』，中公新書，2008年。

【07】英語学 (2)(春学期)

【07】英語学 (2)(秋学期)

【04】英語学 F (4)(通年)

英語(言語)の使用と社会的側面 教授 井上 逸兵

授業科目の内容：

社会言語学の基本文献(やさしい，という意味ではない)をテキストとして英語の使用の諸側面を論ずる。

テキスト：

<http://www.flet.keio.ac.jp/~ipinoue/eigogaku-fx.htm> 及び生協にてお知らせします。

参考書：

授業中および授業のホームページ(上記)で指示する。

【07】英語学 (2)(春学期)

【07】英語学 (2)(秋学期)

【04】英語学 G (4)(通年)

認知言語学入門 講師 谷 みゆき

授業科目の内容：

本講義では認知言語学に関する基本的な知識を身につけることを目的とします。具体的には，春学期にテキストを使用して認知言語学の理論を支えるフレームワークを概観し，秋学期は春学期に学習した基礎をもとに，いくつか論文を取り上げ，実際に認知言語学の枠組みを通して言語について考えます。

テキスト：

春学期：Lakoff, George. 1987. *Women, Fire, and Dangerous Things: What Categories. Reveal About The Mind*, Chicago University Press.

秋学期：プリントを配布します。

参考書：

- ・ 河上誓作 編著 『認知言語学の基礎』(研究社)
  - ・ 辻幸夫 編 『認知言語学キーワード事典』(研究社)
- この他，初回授業で参考文献リストを配布します。

【07】英文学 (2)(春学期)

【07】英文学 (2)(秋学期)

【04】英文学 A (4)(通年)

英国「ロマン派」のコンテクスト 准教授 高橋 勇

授業科目の内容：

18世紀末から19世紀初めにかけて登場した，いわゆる「ロマン派」の文学，とくに詩の系譜をたどりつつ，同時に英詩一般についての入門的講義としてゆく予定です。小説にその座を取って代わられるまで，西欧においては最重要の文学ジャンルであった詩ですが，その「失墜」への分岐点として，この時代の文化的背景を探ります。

テキスト：

Stephen Greenblatt, ed., *The Norton Anthology of English Literature*, 8th edn, 2 vols (New York: Norton, 2005)

【07】英文学 (2)(春学期)

【07】英文学 (2)(秋学期)

【04】英文学 B (4)(通年)

シェイクスピアの受容と変容 商学部 准教授 大矢 玲子

授業科目の内容：

400年前のイギリスで活躍した劇作家，ウィリアム・シェイクスピアの作品は，時代と国境を越えて多くの人々に愛されているのみならず，さまざまな批評家や芸術家による再評価，再創造が続いています。この授業ではシェイクスピアの戯曲の登場人物たちに注目し，時代につれて彼らがさまざまに姿を変えてきた新たな生命を得てきた過程を検討します。それぞれに魅力ある登場人物たちの死後の生(arterlife)を，舞台，絵画，映画，小説など多様な媒体のなかにたどることで，文化のダイナミックスの一側面に光をあてるのが，この授業の目標です。

テキスト：

授業中に配布します。

参考書：

William Shakespeare, *Complete Works*. Gen ed. Richard Proudfoot, Ann Thompson, and David Scott Kastan. The Arden Shakespeare. (London, 2001)

【07】英文学 (2)(春学期)

【07】英文学 (2)(秋学期)

【04】英文学 C(4)(通年)

18世紀, 19世紀イギリス女性作家 講師 中村 哲子

授業科目の内容:

摂政時代が始まる1811年から、『フランケンシュタイン』を書いたことで知られるメアリ・シェリーが亡くなった1851年までの時期に焦点を当て、女性作家の描いた小説世界とその歴史的、文化的背景について学びます。背景に関わる18世紀関連の事象やテキストにも触れます。

テキスト:

プリントを配布します。

参考書:

川本静子『ガヴァネス ヴィクトリア時代の<余った女>たち』みすず書房2008年。

木村正俊・中尾正史編『スコットランド文化事典』原書房2006年。

風呂本武敏編『アイルランド・ケルト文化を学ぶ人のために』世界思想社2009年。

【07】英文学 (2)(春学期)

【07】英文学 (2)(秋学期)

【04】英文学 D(4)(通年)

ゴシック小説の迷宮 准教授 坂本 光

授業科目の内容:

ゴシック小説では、しばしば登場人物が閉塞的な状況に追い込まれ、恐れおののきながら出口を探してさ迷う様子が描かれる。古城や大修道院が文字通りの迷路となることもあれば、重大な秘密や葛藤が、登場人物を閉じ込める迷宮と化すこともある。多くの場合こうした迷宮は、作品を支配する恐怖の姿そのものに他ならない。この授業では、18世紀のホレス・ウォルポールから20-21世紀のステイブン・キングやアン・ライズ等まで、ゴシック小説の主要な作家を取り上げ、作品に描かれた様々な迷宮を論じ、それがもたらす恐怖の働きと成立の背景を検討する。

参考書:

David Punter, *The Literature of Terror: A History of Gothic Fictions from 1765 to the Present Day*, 2nd ed., 2 vols. (London: Longman, 1996)

【07】英文学 (2)(春学期)

【07】英文学 (2)(秋学期)

【04】英文学 E(4)(通年)

私家版イギリス・ルネサンス演劇史 教授 井出 新

授業科目の内容:

本講はウィリアム・シェイクスピアの作品をはじめ、1560年代から1610年代までに上演された重要な演劇作品を取り上げ、各々の作品が成立した政治的・社会的環境に注目しながら、初期近代イギリスにおける様々な演劇ジャンルの盛衰を歴史的に追う。議論を整理するため、(1)地方都市、(2)大学、(3)ロンドン、(4)宮廷、というロケーションを設定し、それぞれの環境において、演劇がどのように政治や宗教と結びつきながら制作・上演され、社会的影響力を帯びていったかを検証したい。その際、出来る限り最近の演劇史研究の成果を紹介・参照しつつ、イギリス・ルネサンス演劇研究の圧倒的な面白さを受講者と共有し、さらに受講者の歴史や文化に対する洞察力や批判的思考力を養うことができればと思っている。

テキスト:

適宜ハンドアウトを配布する。

参考書:

講義時に適宜、研究書・学術雑誌論文を多数紹介する。

【07】英文学 (2)(春学期)

【07】英文学 (2)(秋学期)

【04】英文学 F(4)(通年)

アーサー王物語の魅力 名誉教授 高宮 利行

授業科目の内容:

アーサー王伝説の起源と発展、現代における受容の諸相を、歴史、文学、音楽、美術、映画などを通して多角的に扱う。

テキスト:

高宮利行『アーサー王物語の魅力』秀文インターナショナル

参考書:

高宮利行『アーサー王 歴史と伝説』東京書籍、『アーサー王伝説万華鏡』新中央公論社

高宮利行・松田隆美編『中世イギリス文学入門』雄松堂出版

【07】英文学 (2)(春学期)

【07】英文学 (2)(秋学期)

【04】英文学 G(4)(通年)

20世紀のイギリス小説 教授 河内 恵子

授業科目の内容:

20世紀のイギリス小説を文学史の重要項目を軸に考察する。

いわゆる「canonの作品」の裏に存在する作品にも触れ、20世紀のイギリス小説を多角的にとらえるのが目的である。

「歴史のなかの文学」を具体的に考察していきたい。

テキスト:

プリントを配布する。

参考書:

教室で指示する。

【07】英文学 (2)(春学期)

【07】英文学 (2)(秋学期)

【04】英文学 H(4)(通年)

教授 松田 隆美

授業科目の内容:

〔春学期〕イギリス文学と絵画

ルネサンス期には詩と絵画を姉妹芸術とみなす伝統が存在したが、文学と絵画はしばしば題材やモチーフを共有し、また書物においてテキストと挿絵は相互補完的な関係を保ってきた。この講義では、中世から19世紀のイギリス文学を対象として、文学と絵画(写真を含む)との主題の共有、作品中に登場する美術品の役割、書物(中世写本を含む)における挿絵とテキストの関係、図像学的アプローチの文学研究への有効性など、さまざまなトピックについて具体例を挙げつつ考える。文学と絵画との比較研究のための様々な方法論を学ぶことを目的とする、講義形式の授業。

〔秋学期〕「イギリス文学とイタリア」

中世以来、イギリス文学にとって、イタリアは様々な意味でインスピレーションであり続けてきた。イギリスにとって、14世紀のイタリアはダンテやペトルカを輩出した文芸の先進国であったが、宗教改革の16世紀になると、その爛熟した文化はカトリシズムやマキャヴェリズムのような「危険思想」の温床ともみなされるようになった。17, 18世紀には、イタリアは「グランド・ツアー」の最終目的地となり、また19世紀のロマン派以降はノルタルジックな憧憬の対象となる。イタリアを舞台としたイギリス文学、イタリア旅行記、近代イタリアの風景画などを素材として、イタリアがイギリス文学の展開にいかにか影響を与え、また受容されてきたかを具体的に考察する講義形式の授業。

テキスト:

プリントを配布。

【07】米文学 (2)(春学期)

【07】米文学 (2)(秋学期)

【04】米文学 A(4)(通年)

ピューリタン思想とネイチャー・ライティング

講師 佐藤 光重

授業科目の内容:

春学期は、ピューリタン入植史とピューリタン文学を解説する。秋学期は、魔女狩り、超絶主義文学、自然文学を取り上げる。自然文学の講義では H. D. Thoreau の *Walden* (邦訳『森の生活』)を中心に、R. Carson, A. M. Lindbergh, G. White らの作品を扱う予定である。

テキスト:

・プリント配布(春学期)

・H. D. Thoreau, *Walden* (Dover版)(秋学期)

参考書:

巽孝之『ニューアメリカニズム 米文学思想史の物語学』(青土社, 2005年)

【07】米文学 (2)(春学期)

【07】米文学 (2)(秋学期)

【04】米文学 B(4)(通年)

ハーレム・ルネサンス期の黒人モダニズム文学

講師 新田 啓子

授業科目の内容:

本講は、1910年代後半から1940年代初頭までのアメリカ黒人芸術動向を現す「ハーレム・ルネサンス」の時代における文芸創作を扱うものである。ハーレム・ルネサンスは、南北戦争後に解放された黒人奴隷が南部から北部へ大量に移住し、シカゴやハーレムなどで都市文化を築き上げた結果、花開いた。それは、近代化を加速させる米国の歴史的・文化的背景を伴って、広くモダニズム芸術と呼ばれる潮流の一部として、かつまたそれに対する抵抗として進展した。前期の授業ではまず、こうした潮流が必然的に連動させた商業文化・芸術・政治の諸相をテーマ敵に

読み解いていく。そして後期の授業では、ハーレム・ルネサンス文芸におけるキーパーソンとかれらの作品を取り上げながら、前期に得た基礎知識の深層を、さらに具体的に掘り下げて行く。

テキスト：

初回クラスで指示

参考書：

初回クラスで指示

【07】米文学 (2)(春学期)

【07】米文学 (2)(秋学期)

【04】米文学 C(4)(通年)

表象文化：オリエンタリズム再考 講師 村上 由見子

授業科目の内容：

今再び「オリエンタリズム」を考え、私たちを取り巻く状況を併せて考えていきます。サイードの著書をテキストにし、授業では特に「アラブ・ムスリムをめぐる表象」について、文学、絵画、写真、ハリウッド映画など欧米の表象文化史から具体的に検証していく予定です。私たちの知らないアラブ・ムスリムを探る機会とし、9・11以降のアメリカと世界状況にも目線を広げて考えたいと思います。

テキスト：

エドワード・W・サイード『オリエンタリズム(上)(下)』(平凡社ライブラリー、各1500円)

【07】米文学 (2)(春学期)

【07】米文学 (2)(秋学期)

【04】米文学 D(4)(通年)

アメリカ20世紀女性作家 准教授 大串 尚代

授業科目の内容：

主に1960年代から現代にかけて活躍した(している)女性作家に焦点をあて、彼女たちが発表してきた作品の意義を考察する。春学期はBetty Friedanの*Feminine Mystique* (1963)に始まる第二派フェミニズムを概観し、春学期はMargaret Atwood, Ursula K. Le Guin, Maxine Hong Kingston, Alice Walker, Jamaica Kincaidらの短編を扱い、秋学期はMarilyn French *The Women's Room*, Ira Levin *The Stepford Wives*, Margaret Atwood *The Edible Woman*などの長編作品を扱う予定。

テキスト：

【春学期】プリントを配布する予定。

【秋学期】Atwood, Margaret. *The Edible Woman*. 1969. Anchor, 1998. Levin, Ira. *The Stepford Wives*. 1972. New York: Harper, 2002.

参考書：

適宜指示する

【07】米文学 (2)(春学期)

【07】米文学 (2)(秋学期)

【04】米文学 E(4)(通年)

現代アメリカ詩 講師 渡部 桃子

授業科目の内容：

日本ではあまり読まれなくなった詩、それも特に読む人がきわめて限られているように思われるアメリカの現代詩をこの授業では紹介していく。初めにアメリカ詩の流れと現在のアメリカ詩の状況を概観した後、モダニズム・モダニズム以後の詩人たちの作品を読んでいく。

テキスト：

プリントを配布

参考書：

初回の授業で提示

【07】米文学 (2)(春学期)

【07】米文学 (2)(秋学期)

【04】米文学 F(4)(通年)

大衆詩と音楽 講師 舌津 智之

授業科目の内容：

19世紀、20世紀のアメリカにおける大衆詩を概観します。前衛詩やエリートの芸術詩ではなく、広く大衆的想像力に訴える作品を取りあげます。その際、ポピュラー音楽の歌詞も一種の大衆詩と捉え、文学と音楽、さらには演説や映画など、ジャンルを横断するアメリカ的な詩学の可能性を探ります。

テキスト：

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

参考書：

必要に応じて授業中に指示します。

【07】アカデミック・ライティング A (要)(1)(春学期)

【07】アカデミック・ライティング A (要)(1)(秋学期)

【04】アカデミック・ライティング A(2)(通年)

Academic Writing A 教授 スネル, ウィリアム J.

授業科目の内容：

The aim of this course is to introduce and develop skills in academic written English for students who are required to complete their graduation thesis in that language.

テキスト：

A. Armour, 河内恵子, 松田隆美, W. Snell 『アカデミックライティング 応用編 文学・文化研究の英語論文作成法』慶應義塾大学出版会

In addition to this text, photocopied materials will be used.

参考書：

To be announced at an early stage in the course.

【07】アカデミック・ライティング B (要)(1)(春学期)

【07】アカデミック・ライティング B (要)(1)(秋学期)

【04】アカデミック・ライティング B(2)(通年)

Writing on Literature 准教授 吉田 恭子

授業科目の内容：

論旨が通りかつ形の整った英語エッセーを書くための技術を習得するのがこの授業の目的です。そのためパラグラフライティングの演習、論文形式の習得、書誌の作成や資料収集など多角的な学習を行うなかで、この授業は自分や人の書いた文章を分析し見直し添削する作業を通して、推敲技術の習得に特に力を入れます。

テキスト：

William Strunk Jr. & E. B. White, *The Elements of Style*. Longman, 2000.

【07】アカデミック・ライティング C (要)(1)(春学期)

【07】アカデミック・ライティング C (要)(1)(秋学期)

【04】アカデミック・ライティング C(2)(通年)

講師 松川 祐子

授業科目の内容：

この講座では、どのようにして自分の意見を明確な英文にして読み手を説得するのかを勉強し、練習します。与えられたテーマについての自分の意見や主張を探るためのアイデア引き出し方法から始め、その次に意見と分析方法を示す thesis statement の書き方、段落の構造、論の組み立て方、結論の書き方等を学びます。その他には読者説得術、引用方法や参考文献リストの作成法、自分の文章の手直し方法なども取り上げます。授業では、ディスカッションに加え、個人及びグループでの作業を行います。前期はスキル習得、後期はその実践を中心に勉強します。

テキスト：

未定。(履修者と相談の上、適切なものを選び、教室で販売します。)

授業中に教材のプリントも配付します。

参考書：

ジョゼフ・ジバルディ著 原口敬一監修 樋口昌幸訳編『MLA 英語論文の手引き』第6版 北星堂書店、2007年。ISBN: 978-4-590-01170-7

【07】アカデミック・ライティング D (要)(1)(春学期)

【07】アカデミック・ライティング D (要)(1)(秋学期)

【04】アカデミック・ライティング D(2)(通年)

講師 白鳥 義博

授業科目の内容：

アカデミック・ライティングの基本となるパラグラフ・ライティングの基礎を、徹底的に、集中的に練習する授業です。パラグラフはどのような内容のセンテンスからはじめられるべきか。あるいは、ひとつのパラグラフの中にセンテンスをどのように配置すべきなのか。こうした基礎的な項目を、前期は講師の与えるテーマに従って、後期は各自の選んだテーマに従って書く演習を通して、学習します。パラグラフ内の文の関係性や配置法を学ぶことは、論文全体の中でのパラグラフの配列を考えることにも実はつながります。ですから、英語の論文を初めて書く3年生だけではなく、いまひとつアカデミック・ライティングの力に自信を持ってない4年生の諸君の受講も歓迎します。

テキスト：

プリント教材を用意します。

【07】アカデミック・ライティング E (要)(1)(春学期)

【07】アカデミック・ライティング E (要)(1)(秋学期)

【04】アカデミック・ライティング E(2)(通年)

英語で論文を書く 講師 狩野 みき

授業科目の内容：

英語で論文を書くための演習クラスです。テキストに載っているエウ

ササイズを解いていく，という方式はとりません。英語による論文の仕組みや論文独特の表現などを習得しつつ，ある程度の長さの英文を毎回，積極的に書いてもらいます。春学期の末にはイントロダクションを，秋学期の末にはチャプターを一つ書き上げるのが目標です。受講生の積極的な参加を希望します。

本講座で行なう作業の手順は以下の通りです：

- 1) テーマを決める
- 2) アウトラインを作成する
- 3) アウトラインにそって本文を少しずつ書き進める（毎週 2-3 パラグラフずつ書いて提出してもらいます）
- 4) 他の受講生の提出物を検討し，どうすればよりよい論文になるかを話し合う（peer reviewing）
- 5) 必要とあれば随時アウトラインやリード（第一パラグラフ）を書き直しつつ全体を完成させる

テキスト：

なし（必要な場合はプリントを配布します）

参考書：

なし





## 独文学専攻

### 必修科目

- 【07】テキスト研究中級 (1)(春学期)  
【07】テキスト研究中級 (1)(秋学期)  
【04】テキスト研究中級(2)(通年)

上級への道

教授 和泉雅人

#### 授業科目の内容:

ドイツ語のテキストを読みながら、いわゆる中級から上級への道を歩いていく手助けをする授業です。中級とは言っても、まだ文法などが一通り終わったばかりの諸君は、これからどのくらいデータを頭に入れていくかによってドイツ語の力のつき方が変わってきます。やみくもに勉強するのもいいですが、やはり教室でいるいろいろなコツや勉強法、何を読むか、などの情報を得ながらやっていくのが近道でもあり、そのためにこそ高い授業料を払っているわけです。

この授業では従って、初級文法の復習から、中級・上級文法・語法のコツや要点などを教えていきます。小テストなどもする予定にしておりますので、ご了承ください。

何を素材として学んでいくかについては、ガイダンスのみに説明することにします。できればペーパーバックの適度な厚さのものを一冊読み終えられればと思います。

前期・後期とも同じ素材、同じスタイルで授業は進みますが、前期のみ、あるいは後期のみ受講者も歓迎します。

#### テキスト:

ガイダンスのときの説明を聞いてください

#### 参考書:

これについては開講時に詳しく説明します。

- 【07】ドイツ文学史 (要)(2)(春学期)  
【07】ドイツ文学史 (要)(2)(秋学期)  
【04】ドイツ文学史(4)(通年)

教授 斎藤 太郎

#### 授業科目の内容:

ドイツ語圏の文学がたどった歴史を概観します。ルターの宗教改革から現代にいたる流れのなかで、さまざまな文芸思潮の興亡のゆくえを、政治や社会、思想や文化の動きと関連づけながら見てゆきます。ドイツ語圏文学についての基礎知識を身につけてもらうことを第一の目標としますが、たんに「文学史的知識」を獲得するだけでなく、できるだけ多くの作品が「体験」できるよう配慮するつもりです。

#### テキスト:

手塚富雄・神品芳夫『ドイツ文学案内』岩波文庫 1993年

#### 参考書:

授業内で指示します。

- 【07】ドイツ文化史 (2)(春学期)  
【07】ドイツ文化史 (2)(秋学期)  
【04】ドイツ文化史(4)(通年)

ドイツ中世の文学と思想

教授 香田 芳樹

#### 授業科目の内容:

この授業は、中世ドイツを代表する文学作品を、従来とは違った文化的な視点から解説していくことを目的としています。とくに中世を「脱神話化の時代」と位置づけ、作家たちが民族固有の神話的素材をどのように文学へと作りかえていったかをみていきます。またそれと平行して、現代の芸術作品(ファンタジー文学・音楽・演劇)に中世の英雄叙事詩、恋愛叙情詩、神秘思想が与えた影響についても考察します。できるだけ多くの原典(翻訳)に当たり、映像資料も使って、ヨーロッパ文化に今も息づく意識の古層に迫りたいと思います。

#### テキスト:

講義資料のプリントを配布します。

#### 参考書:

ヨアヒム・ブムケ『中世の騎士文化』(平尾浩三他訳)

- 【07】ドイツ語学研究 (2)(春学期)  
【07】ドイツ語学研究 (2)(秋学期)  
【04】ドイツ語学研究(4)(通年)

ドイツ語史入門: パウル『ドイツ語辞典』講読

理工学部 准教授 横山 由広

#### 授業科目の内容:

ドイツ語彙の歴史的な変遷を記述した語義辞典の代表的なもののひとつである、Hermann Paul: *Deutsches Wörterbuch* から、いくつかの項目を抜粋して講読することで、ドイツ語の歴史に親しむとともに、ドイツ

語のテキストを正確に読む能力を高めることを目指します。

#### テキスト:

Hermann Paul: *Deutsches Wörterbuch. Bedeutungsgeschichte und Aufbau unseres Wortschatzes.* 10., überarbeitete und erweiterte Auflage von Helmut Henne, Heidrun Kämper und Georg Objartel. Tübingen 2002.

#### 参考書:

授業中に随時指示します。

- 【07】現代ドイツ研究 (2)(春学期)  
【07】現代ドイツ研究 (2)(秋学期)  
【04】現代ドイツ研究入門(4)(通年)

戯曲にみるドイツ現代社会(春学期)、メランコリー論(秋学期)

准教授 平田 栄一郎

#### 授業科目の内容:

ドイツの戯曲は時代の鏡として社会の出来事を反映しつづけているので、ドイツの戯曲史はドイツ社会の歴史とともに展開してきたといえるでしょう。とりわけ 18 世紀の市民階級の台頭以来、社会が個人に及ぼす影響と諸問題が多く重要な作品において扱われてきました。春学期は、戯曲を粗上にして、ドイツ社会の問題とその克服のあり方を論じ、戯曲からみたドイツ社会の編纂を辿ります。秋学期は、芸術作品にみられるメランコリーのモチーフを足掛かりに、この精神的象徴と社会の関わりについて歴史的かつ理論的に論じます。メランコリーはドイツ・ヨーロッパの精神史と芸術史に密接に関わっており、古代ギリシアの時代から多くの芸術作品に取り上げられてきました。その多くは、喪失、不可能性、死といったテーマと関連づけられてきましたが、20 世紀になるとメランコリー理論は大きな変化を遂げ、社会学で扱われたり、自己批判的な論が登場してきます。このように古代から現代にいたるメランコリーのモチーフと理論を時代ごとに辿っていきたいと思います。

- 【07】現代ドイツ研究 (2)(春学期)  
【07】現代ドイツ研究 (2)(秋学期)  
【04】現代ドイツ研究(4)(通年)

Festkultur im Spiegel der deutschen Literatur

教授 フルンケス、ヨーゼフ

#### 授業科目の内容:

Ob Weihnachten, Karneval, Ostern oder Pfingsten, ob Nationalfeiertag oder 1. Mai, ob Geburtstag, Hochzeit, Jubiläum oder Beerdigung - in allen Kulturen teilen Feste durch ihre zyklische Wiederkehr den Ablauf des Jahres wie den der menschlichen Lebenszeit in sinnfälligen Abschnitten ein. Nach Sigmund Freud ist ein Fest ein gestatteter, vielmehr ein gebotener Exzess, ein feierlicher Durchbruch eines Verbotes, "(Totem und Tabu", 1913)

Europäische Festkultur als ritueller Ausdruck von Lebensfreude und Gemeinschaftsgefühl hat Wurzeln in Antike und Christentum, in mittelalterlicher Festfrömmigkeit und höfischer Repräsentationskultur. Die heutige Trivialisierung des Festes durch Feiertag, Event, Party und Freizeitkonsum ist Anstoß zur Reflexion, die im Spiegel der deutschen Literatur vollzogen werden soll.

#### テキスト:

Texte: Hans-Joachim Simm (Hg): *Das Fest. Ein Lesebuch vom Feiern.* Carl Hanser Verlag München 1981.

Texte und Materialien werden auf Wunsch als Kopien zur Verfügung gestellt, weitere Literatur wird zu Beginn angegeben.

- 【07】テキスト研究上級 (1)(春学期)  
【07】テキスト研究上級 (1)(秋学期)  
【04】テキスト研究上級 A(2)(通年)

ヤン・アスマンを読む

教授 桑川 麻里生

#### 授業科目の内容:

ヤン・アスマンは、エジプト学の泰斗であるとともに、現代ドイツにおける記憶論、文明論の中心人物のひとりでもあり、文学研究・文化研究にも大きな影響を及ぼし続けています。本講座では、アスマンの短い論文を精読することで、「一神教」をめぐる議論の一端に触れたいと思います。

#### テキスト:

コピーで配布します。

#### 参考書:

『「太陽の哲学」を求めて』(吉村作治・梅原猛, PHP 研究所, 2008年)

- 【07】テキスト研究上級 (1)(春学期)  
【07】テキスト研究上級 (1)(秋学期)  
【04】テキスト研究上級 B(2)(通年)  
ヘルマン・ヘッセ「Knulp」を読む 教授 大宮 勲一郎

授業科目の内容：

Hermann Hesse の「Knulp」は、平易なドイツ語で書かれた小説で、ドイツ語中級者でも、辞書を引ながら味読することができます。また、上級者にとっては、スピードをつけて読む練習に格好の素材です。本授業は、中～上級へのステップとして位置づけてください。

テキスト：

Hermann Hesse: Knulp (郁文堂・教科書版を用います)

参考書：

ドイツ文学史の様々なテキスト

- 【07】ドイツ語作文初級 (1)(春学期)  
【07】ドイツ語作文初級 (1)(秋学期)  
【04】ドイツ語作文初級(2)(通年)

Schreiben für Anfänger

訪問准教授(招聘) ドゥッペル - タカヤマ, メヒティルド

授業科目の内容：

In diesem Kurs lernen die Teilnehmer, kurze Texte auf Deutsch zu schreiben: Gedichte, Reportagen, Geschichten, Briefe und E-Mails. Wir machen ein Projekt mit dem Ausland, und am Ende des Jahres soll eine Zeitschrift veröffentlicht werden.

テキスト：

プリントを配布します。

- 【07】ドイツ語作文中級 (1)(春学期)  
【07】ドイツ語作文中級 (1)(秋学期)  
【04】ドイツ語作文中級(2)(通年) 講師 シュミット, ウーテ

授業科目の内容：

ドイツ語の表現力のアップを目指し、小テキスト作成の練習をします。Zentrale Mittelstufenprüfung のときに試験の一部としてプライベートな手紙・オフィシャルな手紙・読者の意見・小レポートを書くことが要求されます。このテキストの種類を作成するための書き方や表現も練習します。ネタになるドイツ語のテキスト・グラフ・表などはドイツの新聞やインターネットから取りまますので、時事ドイツ語に役立ちます。テキストを書くことはどうしても時間がかかりますのでテキストの作成は宿題となります。テキストの長さは長い場合 A4 1 枚までです。提出した宿題は評価します。試験はありません。

In diesem Kurs soll das Verfassen von kurzen Texten geübt, wie sie z. B. auch bei Prüfung des Goethe-Instituts verlangt werden. Textformen sind dabei persönlicher Brief, offizieller Brief, Leserbrief oder Referat, worin Sie Ihre Meinung ausdrücken oder einen bestimmten Sachverhalt darstellen müssen. Die dazu notwendigen Formen bzw. Redewendungen werden im Unterricht vermittelt und geübt. Als Material werden aktuelle Texte aus Zeitungen oder dem Internet verwendet. Eine schriftliche Abschlußprüfung mache ich nicht, aber die Teilnehmer müssen als Hausaufgabe Texte erstellen, die ich dann bewerte. Keine Angst, die Texte müssen nicht lang sein (bis A4 1 Seite).

テキスト：

コピー

参考書：

なし

- 【07】コミュニケーション・ドイツ語中級 (1)(春学期)  
【07】コミュニケーション・ドイツ語中級 (1)(秋学期)  
【04】コミュニケーション・ドイツ語中級 A(2)(通年)

Deutsche Konversation für fortgeschrittene Anfänger

訪問准教授(招聘) ドゥッペル - タカヤマ, メヒティルド

授業科目の内容：

ドイツ語を一通り学習した学生のためのドイツ語会話のコースです。日常生活に必要なドイツ語の復習をしながら、様々なテーマについて自分の意見をドイツ語で表現できるようになるのが目標です。

テキスト：

Projekte (同学社, 2005 年, 2,625 円)

- 【07】コミュニケーション・ドイツ語中級 (1)(春学期)  
【07】コミュニケーション・ドイツ語中級 (1)(秋学期)  
【04】コミュニケーション・ドイツ語中級 B(2)(通年)  
Deutsche Konversation für fortgeschrittene Anfänger  
訪問准教授(招聘) ドゥッペル - タカヤマ, メヒティルド

授業科目の内容：

ドイツ語を一通り学習した学生のためのドイツ語会話のコースです。

テキスト：

Projekte (同学社, 2005 年, 2,625 円)

- 【07】コミュニケーション・ドイツ語上級 (1)(春学期)  
【07】コミュニケーション・ドイツ語上級 (1)(秋学期)  
【04】コミュニケーション・ドイツ語上級 A(2)(通年)

Konversation und Aufsatz für Fortgeschrittene

教授 フュルンケース, ヨーゼフ

授業科目の内容：

Ziel der Übung ist die mündliche und schriftliche Kommunikationsschulung. Ausgehend vom Hörverständnis und Lesevermögen sollen die Sprechfähigkeiten und Schreibfertigkeiten der Teilnehmer verbessert werden.

Durch den produktiven und reproduktiven Umgang mit aktuellen Themen und Texten aus Deutschland sollen auch die Diskursformen der deutschen Bildungssprache, wie sie in Presse und Medien erscheinen, näher gebracht werden. Thematische Anregungen von seiten der Teilnehmer sind willkommen.

テキスト：

Die Ausgangstexte werden als Kopien vor dem / im Unterricht verteilt.

- 【07】コミュニケーション・ドイツ語上級 (1)(春学期)  
【07】コミュニケーション・ドイツ語上級 (1)(秋学期)  
【04】コミュニケーション・ドイツ語上級 B(2)(通年)

Kommunikationskurs Mittelstufe

訪問准教授(招聘) ドゥッペル - タカヤマ, メヒティルド

授業科目の内容：

ドイツ語の総合的な力を高め、Zertifikat Deutsch (ZD) レベルのドイツ語を身につけることが本講義の目標です。日常生活に即したテーマに関して、ドイツ語の表現を学び、様々な種類のテキストを読み、自分の考えを相手に伝える練習をしていきます。コミュニケーション能力を高めるために、キャンパス案内ツアーのプロジェクトも行います。

テキスト：

プリントを配布します。

- 【07】ドイツ文法研究 (1)(春学期)  
【07】ドイツ文法研究 (1)(秋学期)  
【04】ドイツ文法研究(2)(通年) 教授 中山 豊

授業科目の内容：

ドイツ語を英語と対比することによって両者の特徴を考察し、同時にドイツ語、言語学の基本的な方法や術語を学びます。扱う領域は以下の中から参加者との話し合いで選択していきます：

- 1) Laut und Schrift
- 2) Wortschatz
- 3) Wortform und Wortbedeutung
- 4) Der grammatische Bau
- 5) Variation im Englischen und Deutschen
- 6) Der Einfluß des Englischen auf das Deutsche

参考書：

Ernst Leisi (1999): Das heutige Englisch: Wesenszüge und Probleme. Heidelberg: C. Winter.

- 【07】演劇・メディア研究 (2)(春学期)  
【07】演劇・メディア研究 (2)(秋学期)  
【04】メディア研究(4)(通年)

ドイツ演劇学入門(春学期), メディア学入門(秋学期)

准教授 平田 栄一郎

授業科目の内容：

ドイツの演劇学とメディア研究はともに 1980 年代以降、新しい視点と方法により独自のスタイルを確立し、ドイツの人文科学研究のなかでもっとも活発な探究が進められています。この成果と可能性について、春学期は演劇学を中心に、秋学期はメディア学を中心に紹介します。春学期は、戯曲と作家を重んじる従来の研究方法の意義と限界を踏まえた上で、振興してきた演劇・パフォーマンス・ダンス研究のあり方について概説を行います。同時に 18 世紀以降のドイツ演劇の歴史的展開も視野

に入れ、重要な劇作家・作品などもその都度紹介します。秋学期は、メディア学の全貌を俯瞰した上で、概念、メディア史、活版印刷・写真・映画といった「個別メディア」の成立背景、メディアが人間の知覚や思考パラダイムにもたらす影響、メディア美学などを論じます。以上のような試みにより、演劇とメディアへの学問的アプローチの基本が習得できるように図りたいと思っています。

【07】ゲーテ時代研究 (2)(春学期)

【07】ゲーテ時代研究 (2)(秋学期)

【04】ゲーテ時代研究(4)(通年)

「メルヘンの文化史」 名誉教授 柴田 陽 弘

授業科目の内容：

「メルヘン」がキーワードのゲーテ時代(十八世紀～十九世紀)の文化史。映像を多用する「映像論」「サブカルチャー論」「テキスト論」でもあ

ります。

まずは「マンガ」と「アニメーション」を横断的、縦断的に取り上げます。

1. メルヘン研究史(ゲーテ時代とは何か、グリム以前グリム以後、グリム受容の今日)
  2. シンデレラ症候群(シンデレラ、母親の靈魂、またはシンデレラがいじめられる本当の理由)
  3. 赤ずきんの秘密(赤ずきんちゃんは森を抜けて)
  4. 眠れる森の美女にさよならのキスを(だれがいばら姫を起したのか、もうひとつのいばら姫)
  5. 白雪姫、殺したのはあなた
  6. 美女と野獣(テキストとイメージの変遷)
  7. 昔話の魔力(その美学と人間像)
  8. お姫さまとジェンダー(メルヘンのラブストーリー、シンデレラの子供たち)
  9. マンガの歴史(漫画からマンガへ、コミック学)
  10. アニメ(現代日本のアニメ、ファンタジーの文法)
  11. 天使と悪魔、そして魔女たち(ファウスト、魔術思想と異教)
  12. ドラキュラ、フランケンシュタイン、狼男(闇の文化史)
- 映画「シンデレラ」「白雪姫」「スノーホワイト」「美女と野獣」「ローマの休日」「麗しのサブリナ」「プリティ・プリンセス」「プリティ・ウーマン」「メイド・イン・マンハッタン」「エバー・アフター」「ブラザーズ・グリム」「王子と踊り子」「王様とわたし」「マイ・フェア・レディ」「ロミオとジュリエット」「恋におちたシェイクスピア」「ヴィレッジ」「わが谷は緑なりき」「クルーシブル」「シンデレラマン」などを取り上げる予定。
- また漫画では、島津郷子「シンデレラの森」たらさわみち「バイエルンの天使」手塚治虫「ネオ・ファウスト」「ファウスト」「ルードヴィヒ・B」「パンパイア」「舞踏会にきた悪魔」池田理代子「オルフェウスの窓」「女帝エカテリーナ」「ベルサイユのばら」三上のぼる「メフィスト」萩尾望都「トーマの心臓」「11月のギムナジウム」松本零士「ニーベルングの指環」田中満智子「ニーベルングの指環」あずみ棕「ニーベルングの指環」倉橋りか「シンデレラは眠れない」氷栗優「ルードヴィヒ 世」森川久美「ジークフリート」山本英夫「ホムンクルス」松本あきら(零士)「緑の天使」木原敏江「杖と翼」一条ゆかり「砂の城」など。

テキスト：

『恋の研究』(柴田陽弘編著、慶應義塾大学出版会、2005年)

参考書：

『ユートピアの文学世界』(柴田陽弘編著、慶應義塾大学出版会、2008年)

『風景の研究』(柴田陽弘編著、慶應義塾大学出版会、2007年)

『ミッキー・マウス』(柴田陽弘監訳、現代思潮新社、2002年)

『漫画原論』(四方田犬彦著、ちくま学芸文庫、1999年)

『日本漫画史』(石子 順、現代教養文庫、1988年) etc.

【07】ドイツ文化研究 (2)(春学期)

【07】ドイツ文化研究 (2)(秋学期)

【04】ドイツ文化研究 (4)(通年)

ドイツ文化を考えるための様々なテキスト

教授 大宮 勲一郎

授業科目の内容：

「ドイツ文化」を形づくるのは、ドイツの中で自生してきた考え方や行動規範だけではありません。本授業では、他の文化圏からどのようなものがドイツに流れ込んできたのかを、具体的なテキストを例に論じてゆきます。

テキスト：

授業内に指示します。

【07】ドイツ文化研究 (2)(春学期)

【07】ドイツ文化研究 (2)(秋学期)

【04】ドイツ文化研究 (4)(通年)

ベンヤミンの言語論

教授 桑川 麻里生

授業科目の内容：

じつに多彩な側面を持つ哲学的批評家ヴァルター・ベンヤミンの思想の出発点には、独特の言語哲学がありました。本講義では、ベンヤミンの言語哲学的エッセイを読みながら、その基本的発想や重要概念を紹介してゆきます。ヴァイトゲンシュタイン、クワインといった、20世紀の重要な言語哲学者とも比較しながら、ベンヤミンの言語思想が何をめぐって展開されたのかを、できるだけ具体的に描出することを試みたいと思います。

テキスト：

コピーで配布します。

参考書：

随時教室で紹介いたします。

【07】ドイツ文化研究 (2)(春学期)

【07】ドイツ文化研究 (2)(秋学期)

【04】ドイツ文化研究 (4)(通年)

ウィーンの光と闇 ウィーン文化を知る

教授 和泉 雅人

授業科目の内容：

今年度は、ウィーン文化に焦点を絞って、ウィーンを知る、ということを中心とします。わたくし自身、ウィーンに一年留学していたとき、さまざまなウィーンならではの都市の相貌に触れて、考えさせられることが多かった経験をもっています。この講義では一緒にウィーンのABCから学んでいくことにしましょう。ウィーンにいったときに役立つ知識も学ぶことにします。港区にあるはずのオーストリア大使館の人にきてもらってお話をうかがうのもいいかもしれません(まだ交渉はしていませんが)。

いずれにせよウィーンについての知識と感性を高めるということを目指したいと思います。ウィーンを知るということはヨーロッパの歴史を知るということでもあり、またオーストリアや東欧世界についての理解の鍵も、まさにウィーンにあると思います。そういう意味で、ウィーンにかかわる文化的知識を蓄積することはとても重要なことです。

授業ではウィーン初心者向けに基本的なところから丁寧に扱っていきたいと考えています。都市ウィーンの歴史や地誌、名物、食物、ウィーンを中心とした政治経済、東欧との政治的・文化的関係、ウィーンと東欧のユダヤ人文化、ついでにオーストリアの他の諸都市(ザルツブルク、リンツなど)についての基礎知識、ハープスブルク宮廷とその文化、モーツァルトらの音楽とその周辺、ウィーンを中心とした芸術運動(ゼセッション、クリムト、シーレ、ウィーン工房、ワグナーらの建築など)、あるいはウィーンモデルネ、そしてカフェやシュターツオーバー、美術史美術館とその収蔵作品、ウィーン大学、フロイトやウィーン学団などなど、について学んでいく「予定」です。なにごとでも受講生次第です。担当者次第でもありますが、いま掲げたテーマの全部はできませんので、受講生といくつかのテーマ選択については相談したいと思います。

ドイツ語の知識は必須です。ドイツ語テキストをかなり読みます。少人数クラスでしょうから、各人にレフェラートをかなりしてもらおうことになりま。そのおつもりで。

テキスト：

テキストは購入してもらう必要があるかもしれませんが、未定です。ガイダンスで説明します。本に金を出すのが惜しい人にはきついかもありません。まだわかりませんが。

参考書：

これについては無数にありますので、開講時以降、その都度説明します。

【07】プロゼミナール (要)(2)(春学期)

【07】プロゼミナール (要)(2)(秋学期)

【04】ドイツ文学研究入門(4)(通年)

研究法入門

教授 和泉 雅人

授業科目の内容：

この授業ではドイツ文学や芸術、文化を研究していくさいの方法論、文献知識、基本事項、についての基礎知識を学んでいくことになります。対象は独文の2年生です。文学・芸術・文化の研究に定まった方法論という便利なものは存在しませんが、研究対象によってその分析の仕方は異なります。この授業で習うのはこの分析の仕方、というものです。ある対象を分析するために、さまざまなツールが使えるようになること、これが前期・後期の授業目標です。注意しなくてはならないのは、事典類に関する知識などと並んで、さまざまな外国語の知識もまた分析ツールのひとつであるということです。ドイツ語はかなりの頻度で使用しますので、受講生はドイツ語の基礎知識を要求されます。授業形式は演習形式となりますので、予習は必須です。

テキスト：

ガイダンスのときの説明を聞いてください。資料はおおむねコピーで配布します。

参考書：

これについては開講時に詳しく説明します。

【07】ドイツ語学文学ゼミナール (1)(春学期)

【07】ドイツ語学文学ゼミナール (1)(秋学期)

【04】ドイツ語学文学ゼミナール (2)(通年)

„Aufklärung für Kinder“. Walter Benjamins Rundfunkgeschichten (1929-1932) 教授 フュルンケース, ヨーゼフ

授業科目の内容：

Unter dem Titel „Aufklärung für Kinder“ sind die gesammelten Rundfunkgeschichten Walter Benjamins (1892-1940) zuerst 1985 publiziert worden. Hinter der Sprechmaske des Geschichtenerzählers zeigen sie den bedeutenden Literatur- und Kulturkritiker als modernen Aufklärer von jung und alt.

Das gründliche Lesen ausgewählter Geschichten und das begleitende Hören von neuen Audio-Aufnahmen (Originalaufnahmen sind leider nicht erhalten) sollen zu sachlichem Kommentar und methodisch gesicherter Interpretation veranlassen.

テキスト：

Text: Walter Benjamin: Aufklärung für Kinder. Rundfunkvorträge. Hg. v. Rolf Tiedemann, Suhrkamp (es 1317) Frankfurt am Main 1985.

Kopien werden auf Wunsch zur Verfügung gestellt.

【07】ドイツ語学文学ゼミナール (1)(春学期)

【07】ドイツ語学文学ゼミナール (1)(秋学期)

【04】ドイツ語学文学ゼミナール (2)(通年)

19世紀末からナチの時代へ 教授 和泉雅人

授業科目の内容：

今年度は、上記のタイトルで、いわゆる世紀末から 20 年代後半にいたるさまざまな文化現象をさぐっていく。現代にまで影響を及ぼしているこの時代こそが、ドイツ文化の黄金期と呼んでもいいだろう。しかしこの時代はさまざまな芸術潮流、思想、政治が錯綜し、それを概観するのは至難の業である。この講義ではそういった概観を得る努力をしながら、個別の事項について学んでいく。話題は多岐にわたることが予想され、またテーマの性質上、完結的結論が得られない場合が普通となることが予想される。現在(頭の中で)予定しているテーマとしては、建築(ペーレンスからパウハウスへ)、ウィーン世紀末、未来派からノイエ・ザハリヒカイトへの芸術潮流、表現主義、映画(ウーファ)文化、裸体文化とワンダーフォーゲル、メディア論、ロシアからの亡命者たちとその芸術、ワールブルク、カフェ文化、戦争と革命と反革命(ローザルクセンブルクとその暗殺)、ナチにおける政治の美学化、リーフェンシュタール、ユダヤ人とドイツ文化、差別のテクノロジー、万博の美学、30年代とは何か、日本の大正末期から昭和初期までのモダニズム、などがある。これらのいくつかは講義されない可能性もあるので、あらかじめご了承願いたい。受講生同士あるいは受講生と担当者があたらしく議論する形式が望ましい。ドイツ語の知識は必須である(中級以上)。受講生には各テーマについて、レフェラートをしてもらう予定である。授業で使用するメディアとしては AV などを使用するよう努力したい(講義担当者の技術的能力による)。

テキスト：

ガイダンスのときの説明を聞いてください。

参考書：

これについては開講時に詳しく説明します。

【07】ドイツ語学文学ゼミナール (1)(春学期)

【07】ドイツ語学文学ゼミナール (1)(秋学期)

【04】ドイツ語学文学ゼミナール (2)(通年)

教授 中山 豊

授業科目の内容：

現代ドイツ語に色々な角度から光を当てた論集と、それに関連した Duden の文法書を読むことにより、ドイツ語学の基本的知識を身につけることを目標とします。

テキスト：

三瓶裕文/成田節(2008)『ドイツ語を考える 言葉についての小論集』三修社

【07】ドイツ語学文学ゼミナール (1)(春学期)

【07】ドイツ語学文学ゼミナール (1)(秋学期)

【04】ドイツ語学文学ゼミナール (2)(通年)

ゲーテ『若きヴェルター』を読む

教授 斎藤 太郎

授業科目の内容：

『若きヴェルター』(1774年)といえば言わずと知れたドイツ最大の文豪ゲーテ若き日の出世作です。当時ヴェルターを模倣して自殺する若者が続出したこと、多くの教会が危険図書に指定したこと、ナポレオンがエジプト遠征のさいに携行し繰り返しこれを読んだこと等々の有名エピソードにともなわれて、この作品の衝撃度と重要性はいやというほど強調されてきました。とはいえ、わたしたちが今日『ヴェルター』を読むとき、主人公の悲運に共感しつつも、どこか居心地の悪さ、もといえれば気恥ずかしさを感じてしまうことはないでしょうか?たしかに18世紀末のドイツと21世紀初頭の日本の懸隔を考えれば作品に対する感受性に大きな違いがあるのもあたりまえでしょう。しかし、この授業ではあえてゲーテの同時代人になったつもりで『ヴェルター』を読み、当時のこの作品が与えた衝撃を追体験してみたいとおもいます。そのためには当時のドイツにおける社会状況やメンタリティの状況を再構成する作業が必要になるでしょう。

テキスト：

Goethe, Johann Wolfgang: Die Leiden des jungen Werthers. Text und Kommentare. Frankfurt a.M. (Suhrkamp BasisBibliothek) 2008

参考書：

授業内に指示します。

【07】ドイツ語学文学ゼミナール (1)(春学期)

【07】ドイツ語学文学ゼミナール (1)(秋学期)

【04】ドイツ語学文学ゼミナール (2)(通年)

プレヒトの戯曲(春学期)、現代ドイツ戯曲

准教授 平田 栄一郎

授業科目の内容：

ベルトルト・プレヒトが20世紀の世界演劇を代表する劇作家であることは言うまでもないでしょう。悲劇・感情移入・三統一といった近代西洋演劇の伝統を打破し、叙事的演劇・教育劇・「ソング」・「身振り」といった新しい演劇手法を確立したからです。春学期は、伝統的な西洋演劇における美学的かつドラマトゥルギーの特徴を押さえた上で、プレヒト演劇の新しい意義を個々の作品を通じて検証していきます。また取り上げる作品の映像資料も参照し、演劇実践上の特徴も把握できるようにしたいと思います。

秋学期は、プレヒト以後の劇作家の作品に触れることで、20世紀後半から現在にいたる重要な戯曲を取り上げます。デュレンマット、フリッシュ、H. ミュラーはプレヒトの影響を受けつつ独自の戯曲スタイルを確立しましたが、とりわけ1990年代以降、プレヒトすら聖域として触れなかった戯曲の伝統を大胆に破壊し、オープンさと多層性を重視する「演劇テクスト」と呼ばれる作品が散見されるようになりました。このようなラジカルな作劇法の作品も取り上げることで、アクチュアルなドイツ戯曲にまでたどり着きたいと思っています。

【07】ドイツ語学文学ゼミナール (1)(春学期)

【07】ドイツ語学文学ゼミナール (1)(秋学期)

【04】ドイツ語学文学ゼミナール (2)(通年)

教授 大宮 勘一郎

授業科目の内容：

フランツ・カフカのテキスト群は、20世紀のドイツ文学を、さらにはあらゆる現代文学を考える上で避けて通れないものである。しかし、それらと向き合うためには、読者の側に求められることがいくつかある。例えば「逐語的に」(＝一字一句にこだわりながら)読むこと、などがそうであり、解釈の自由が得られるのは、この条件を一旦満たした上でのことである。この授業では、予め幾つかの短いテキストを選び、皆でまずドイツ語原文を輪読する。そのうえで考える作業を皆で行う。

テキスト：

Franz Kafka: Josefine, die Sängerin oder das Volk der Mäuse (08年度からの継続); Der Jäger Gracchus; Das Schweigen der Sirenen...など。(コピーにて配布)

参考書：

各種翻訳

- 
- 【07】ドイツ語学文学ゼミナール (1)(春学期)  
【07】ドイツ語学文学ゼミナール (1)(秋学期)  
【04】ドイツ語学文学ゼミナール (2)(通年)  
「ヴィルヘルム・マイスター」を読む 教授 桑川麻里生
- 

授業科目の内容：

ゲーテの長編小説『ヴィルヘルム・マイスターの修行時代』と『ヴィルヘルム・マイスターの遍歴時代』を読みます。「教養小説」の典型とされるこの作品ですが、そこには「普遍」、「根源」、「原型」を求めるゲーテの知的意思が貫かれています。ゲーテが「人間にとっての普遍」をどう描こうとしたのか、じっくり考えてみましょう。長い作品ですので、翻訳で全体を掴みつつ、重要な箇所や興味深い場面をドイツ語で読みます。併せて、関連論文を読んだり、ディスカッションをしてゆきます。

テキスト：

『ヴィルヘルム・マイスターの修行時代』(上・中・下)(山崎章甫訳, 岩波文庫)

『ヴィルヘルム・マイスターの遍歴時代』(上・中・下)(山崎章甫訳, 岩波文庫)

ドイツ語原文はコピーで配布します。

参考書：

教室で紹介します。

- 
- 【07】ドイツ語学文学ゼミナール (1)(春学期)  
【07】ドイツ語学文学ゼミナール (1)(秋学期)  
【04】ドイツ語学文学ゼミナール (2)(通年)  
ヘッベルの戯曲『ニーベルンゲン』を読む  
教授 香田芳樹
- 

授業科目の内容：

フリードリヒ・ヘッベルが1860年に書いた戯曲『ニーベルンゲン』を読みます。『ニーベルンゲンの歌』は1200年頃に書かれたドイツ中世の英雄叙事詩ですが、これの戯曲化をヘッベルは長年夢みてきました。そして生前最後の作となったこの作品で彼はシラー賞を受賞しています。作品は英雄伝説のダイナミズムと北欧神話特有の幽玄さをあわせもつ名品です。骨のおれる文体ですが、コツコツ読み進んでいきましょう。

テキスト：

Friedrich Hebbel: “*Die Nibelungen*” (授業開始後一括注文します。)



# 仏文学専攻

## 必修科目

【07】【04】フランス語学演習 (X)(1)(春学期)  
教授 荻野安奈

授業科目の内容:

初級文法の復習を兼ねて、さまざまな文学作品を少しずつ味わってみましょう。レトルト食品(文法)にお湯をかけて3分間待つ方法の学習です。

テキスト:

「レクチュールの冒険」, 柏木隆雄他編, 朝日出版社

【07】【04】フランス語学演習 (Y)(1)(春学期)  
仏検2,3級を目指して 教授 川口順二

授業科目の内容:

初級文法の復習と、テキスト講読をします。

テキスト:

松浪未知世著『スファンクス 2年目のフランス語』駿河台出版社

【07】【04】フランス語学演習 (Z)(1)(春学期)  
読みながら覚えよう 准教授 市川 崇

授業科目の内容:

初級文法を学んだ者のために易しくリライトされた、現代フランスの社会に関する雑誌記事を読んで行きます。同時に、テキストの内容を短いフランス語で要約する練習、また学習した語彙を用いて作られた簡単な文章の聞き取りも行います。フランス語の検定試験受験を考えている皆さんにとって格好の練習の機会となるでしょう。

テキスト:

やさしい時事フランス語 2009, 大津俊克, Christian Beaumelou 編著, 朝日出版

【07】【04】フランス語学演習 (X)(1)(秋学期)  
教授 荻野安奈

授業科目の内容:

講読には、2つの方向性があります。

少量を精読。

多量に目を通す。

そろそろの練習に入りましょう。同時に でテキストをきちんとした日本語に置きかえる練習(和文和訳)も。

テキスト:

プリントを配布します。

【07】【04】フランス語学演習 (Y)(1)(秋学期)  
仏検2,3級を目指して 教授 川口順二

授業科目の内容:

初級文法の復習と、テキスト講読をします。

テキスト:

松浪未知世著『スファンクス 2年目のフランス語』駿河台出版社

【07】【04】フランス語学演習 (Z)(1)(秋学期)  
読みながら覚えよう 准教授 市川 崇

授業科目の内容:

初級文法を学んだ者のために易しくリライトされた、現代フランスの社会に関する雑誌記事を読んで行きます。同時に、テキストの内容を短いフランス語で要約する練習、また学習した語彙を用いて作られた簡単な文章の聞き取りも行います。フランス語の検定試験受験を考えている皆さんにとって格好の練習の機会となるでしょう。

テキスト:

やさしい時事フランス語 2009, 大津俊克, Christian Beaumelou 編著, 朝日出版

【07】【04】フランス語表現演習 (X)(1)(春学期)  
講師 西部 由里子

授業科目の内容:

フランス語の表現力向上を目指す授業です。仏作文のテキストを用いて、単文から複文へと、フランス語の文章構造を説明しながら、演習を進めていきます。テキスト以外にも、プリントを配布して、間違えやす

い表現を確認したり、プロの翻訳家による和文仏訳の実例を紹介したりする予定です。

テキスト:

滝川好庸(他)『書くフランス語 考え方と練習』白水社

【07】【04】フランス語表現演習 (Y)(1)(春学期)  
准教授 喜田 浩平

授業科目の内容:

フランス語を書く能力を高める授業です。和文仏訳を中心に、正確なフランス語を書く練習をします。

テキスト:

教室で指示します。

参考書:

- ・『ラルース・やさしい仏辞典 NIVEAU 1』『ラルース・やさしい仏辞典 NIVEAU 2』駿河台出版社
- ・松原秀治, 松原秀一『フランス語らしく書く』白水社
- ・原田早苗(他)『コレクション・フランス語7書く』白水社
- ・クロード・ロベルジュ(他)『21世紀フランス語表現辞典』駿河台出版社
- ・『白水社ラルース仏和辞典』白水社

【07】【04】フランス語表現演習 (Z)(1)(春学期)  
助教 井上 櫻子

授業科目の内容:

教科書 *Taxi! 2* を用いて、「フランス語表現演習 (Z)」ご担当のブランクール先生とリレー形式で授業を進めてゆきます。

教科書の課題に取り組みやすくするため、必要に応じて語彙や文法事項を補足するプリントを配布いたします。

テキスト:

*Taxi! 2, Méthode de français, Hachette 2003*

参考書:

授業中に指示します。

【07】【04】フランス語表現演習 (X)(1)(秋学期)  
講師 西部 由里子

授業科目の内容:

フランス語の表現力向上を目指す授業です。仏作文のテキストを用いて、単文から複文へと、フランス語の文章構造を説明しながら、演習を進めていきます。テキスト以外にも、プリントを配布して、間違えやすい表現を確認したり、プロの翻訳家による和文仏訳の実例を紹介したりする予定です。

テキスト:

滝川好庸(他)『書くフランス語 考え方と練習』白水社

【07】【04】フランス語表現演習 (Y)(1)(秋学期)  
准教授 喜田 浩平

授業科目の内容:

フランス語を書く能力を高める授業です。和文仏訳を中心に、正確なフランス語を書く練習をします。

テキスト:

教室で指示します。

参考書:

- ・『ラルース・やさしい仏辞典 NIVEAU 1』『ラルース・やさしい仏辞典 NIVEAU 2』駿河台出版社
- ・松原秀治, 松原秀一『フランス語らしく書く』白水社
- ・原田早苗(他)『コレクション・フランス語7書く』白水社
- ・クロード・ロベルジュ(他)『21世紀フランス語表現辞典』駿河台出版社
- ・『白水社ラルース仏和辞典』白水社

【07】【04】フランス語表現演習 (Z)(1)(秋学期)  
助教 井上 櫻子

授業科目の内容:

春学期に引き続いて、教科書 *Taxi! 2* を用いて、「フランス語表現演習 (Z)」ご担当のブランクール先生とリレー形式で授業を進めてゆきます。

教科書の課題に取り組みやすくするため、必要に応じて語彙や文法事項を補足するプリントを配布いたします。

テキスト:

*Taxi! 2, Méthode de français, Hachette, 2003*

参考書:

授業中に指示します。



【07】【04】フランス語表現演習 (X)(1)(春学期)

Parlons et écrivons!

講師 ベリセロ, クリスティアン・アンドレ

授業科目の内容:

Ce cours vous permettra de pratiquer la communication orale et écrite en faisant des conversations françaises avec un Français, c'est-à-dire moi!

De plus vous pourrez écrire de petites rédactions sur des sujets divers.

Chaque semaine le sujet de la conversation et de la rédaction seront différents et chaque mois nous regarderons un film qui sera aussi un sujet de conversation!

Ce cours est aussi utile pour celles et ceux qui voudront passer les épreuves du DELF A1 et A2.

テキスト:

Pas de texte, mais des photocopies.

【07】【04】フランス語表現演習 (Y)(1)(春学期)

講師 ボダン, エマニュエル

授業科目の内容:

Dans ce cours d'expression orale, nous aborderons divers aspects de la culture française à partir de documents authentiques variés (chansons, BD, vidéos...)

L'assiduité aux cours est requise.

L'évaluation reposera sur des tests semestriels et sur un contrôle continu.

【07】【04】フランス語表現演習 (Z)(1)(春学期)

Pratique du français écrit et oral

訪問准教授(招聘) ブランクール, ヴァンサン

授業科目の内容:

Entraînement à l'expression orale et écrite. Conversation, exercices grammaticaux, rédaction...

Ce cours vous aidera à mettre en pratique vos connaissances linguistiques afin d'améliorer vos compétences orales et écrites.

Le cours sera mené conjointement avec celui de Mme Inoue (フランス語表現演習 (Z)) où le même manuel sera utilisé.

テキスト:

TAXI ! 2 Méthode de français, Hachette, 2003

【07】【04】フランス語表現演習 (X)(1)(秋学期)

Parlons et kuromaruecrivons!

講師 ベリセロ, クリスティアン・アンドレ

授業科目の内容:

Ce cours vous permettra de pratiquer la communication orale et écrite en faisant des conversations françaises avec un Français, c'est-à-dire moi!

De plus vous pourrez écrire de petites rédactions sur des sujets divers. Chaque semaine le sujet de la conversation et de la rédaction seront différents et chaque mois nous regarderons un film qui sera aussi un sujet de conversation! Ce cours est aussi utile pour celles et ceux qui voudront passer les épreuves du DELF A1 et A2.

Ce cours est aussi utile pour celles et ceux qui voudront passer les épreuves du DELF A1 et A2.

テキスト:

Pas de texte, mais des photocopies.

【07】【04】フランス語表現演習 (Y)(1)(秋学期)

講師 ボダン, エマニュエル

授業科目の内容:

Dans ce cours d'expression orale, nous aborderons divers aspects de la culture française à partir de documents authentiques variés (chansons, BD, vidkuromarueos...)

L'assiduité aux cours est requise.

L'évaluation reposera sur des tests semestriels et sur un contrôle continu.

テキスト:

Pas de texte, mais des photocopies.

【07】【04】フランス語表現演習 (Z)(1)(秋学期)

Pratique du français écrit et oral

訪問准教授(招聘) ブランクール, ヴァンサン

授業科目の内容:

Entraînement à l'expression orale et écrite. Conversation, exercices grammaticaux, rédaction...

Ce cours vous aidera à mettre en pratique vos connaissances linguistiques afin d'améliorer vos compétences orales et écrites.

Le cours sera mené conjointement avec celui de Mme Inoue (フランス語表現演習 (Z)) où le même manuel sera utilisé.

テキスト:

TAXI ! 2 Méthode de français, Hachette, 2003

【07】【04】フランスの文化と歴史 (2)(春学期)

フランスの過去と現在をよりよく知るために

教授 小倉孝誠

授業科目の内容:

フランスの文化, 歴史, 社会について, 過去から現代までを概観する授業です。どのような分野であれフランスに興味がある, フランスのことを勉強している(あるいはしたい)という人のために, フランスに関する一通りの知識を身につけてもらうことを目的とします。必要に応じてビデオ, DVD, 絵画, 映画などを見ます。

テキスト:

プリントを配布します。

参考書:

- ・都立大学フランス文学研究室編『フランスを知る』(法政大学出版局, 2003年)
- ・クウルツイウス『フランス文化論』(みすず書房, 1976年)
- ・小倉孝誠『パリとセーヌ川』(中公新書, 2008年)
- ・小倉孝誠『近代フランスの誘惑』(慶應義塾大学出版会, 2006年)

【07】【04】フランスの文化と歴史 (2)(秋学期)

教授 小倉孝誠

授業科目の内容:

春学期の続き。

【07】【04】フランス文学史 (2)(春学期)

教授 荻野安奈

助教 井上櫻子

授業科目の内容:

中世から18世紀までの通史です。

テキスト:

『新版フランス文学史』(白水社)

【07】【04】フランス文学史 (2)(秋学期)

はじめてのフランス文学史

准教授 市川 崇

助教 築山 和也

授業科目の内容:

秋学期は19世紀から20世紀のフランス文学史を, 適宜作品の抜粋を読みながら時代順にたどって行きます。

テキスト:

『新版フランス文学史』(白水社)

【07】【04】フランス文学と近代 (2)(春学期)

教授 牛場 暁夫

授業科目の内容:

春学期は, 目下, フランス文学教室のスタッフは, 斬新な『フランス文学史』を共同で執筆中ですが, その編集方針や, 実際の具体例などについて語ります。従来の類書とはかなり異なる本になりますが, その新機軸などについて語ります。秋学期は, おもに20世紀のフランス文学について講義を行います。「フランス文学の現代性とはどのようなものであるのか?」, から現代フランス文化全般までに射程は広がるはずですが。

【07】【04】フランス文学と近代 (2)(秋学期)

教授 牛場 暁夫

授業科目の内容:

春学期は, 目下, フランス文学教室のスタッフは, 斬新な『フランス文学史』を共同で執筆中ですが, その編集方針や, 実際の具体例などについて語ります。従来の類書とはかなり異なる本になりますが, その新機軸などについて語ります。秋学期は, おもに20世紀のフランス文学について講義を行います。「フランス文学の現代性とはどのようなものであるのか?」, から現代フランス文化全般までに射程は広がるはずですが。

【07】【04】フランス文学と近代 (2)(春学期)  
フランス 1880 年代の文学と絵画 助教 築山和也

授業科目の内容:

『さかしま』の作者ユイスマンスは優れた鑑識眼を持った美術批評家としても知られ、同時代の芸術活動に関する文章を少なからず残しています。この授業ではおもに 1880 年代のユイスマンスの作品と批評を考察の対象として、マネ、モロー、ドガ、ルドン、ロップスなどユイスマンスが論じている画家たちの作品をスライドで見ながら、当時の文学や絵画の状況を紹介していきます。また、ゾラやミルボーなど他の文学者の美術批評にも言及します。

テキスト:

プリントを配布

参考書:

J・K・ユイスマンス『さかしま』河出書房新社(河出文庫)  
マリナ・フェレッティ『印象派[新版]』白水社(文庫クセジュ)

【07】【04】フランス文学と近代 (2)(秋学期)  
ダンディズムとは何か 助教 築山和也

授業科目の内容:

「ダンディズム」という言葉は一般的に衣服や身だしなみに関するこだわりのようなものとして理解されていますが、ボードレールはそれをあゝる種の精神主義に高め、近代社会に生きる人間の在り方として示しました。この授業ではバルザック、バルベール・ドールヴィエール、ボードレールが語るダンディズム論や十九世紀(とくに世紀末)に活躍した作家・詩人たちの作品とその生き様の紹介をとあして、そうした存在論的自己規定としてのダンディズムについて検討していきます。

テキスト:

プリントを配布

参考書:

シャルル・ボードレール『ボードレール批評 2』ちくま書房(ちくま学芸文庫)  
生田耕作『ダンディズム 栄光と悲惨』中央公論新社(中公文庫)  
山田勝『ダンディズム 貴族趣味と近代文明批判』日本放送出版協会(NHK ブックス)

【07】【04】フランス文学と現代 (2)(春学期)  
1930 年~40 年代の文学と思想 准教授 市川 崇

授業科目の内容:

1930 年~40 年代におけるフランスの社会と文学との関係を考察することを目的とした授業です。当時の社会、文化の諸側面をできるだけ忠実に検証することと同時に、現代の哲学者の解釈を手助けに、社会、文化現象の背後を流れる思想潮流を探ることも試みます。授業は以下の 4 つの柱から構成されます。1) 歴史家の考証を参考にした政治、社会的事件の紹介。2) 当時の政治思想家、哲学者、社会学者による人間と社会の関係についての論考の分析。3) プルトン、バタイユ、ブランショ、らの作品に見る同時代の政治、社会的事件の表象および彼らによる解釈の検証。4) ナンシー、ブランショ、デリダ、パディウらによる「共同体」論に照らした当時の文人たちにとっての理想社会の意義の考察。

テキスト:

プリントを配布します。

参考書:

フランス文学講座 5「思想」大修館, La France des années 30, Serge Berstein, Armand Colin, ジャン=ポール・サルトル「嘔吐」,「壁」人文書院, モーリス・ブランショ「踏み外し」,「謎の男トマ」現代思潮社,「明かしえぬ共同体」朝日出版, ジャン=リュック・ナンシー「無為の共同体」朝日出版, ジョルジュ・バタイユ「ドキュマン」二見書房, アンドレ・ブルトン「シュールレアリスム宣言」現代思潮社。大澤真幸「ナショナリズムの由来」講談社。柴田陽弘編著,「ユートピアの文学世界」所収 市川崇「ウトボスからアトボスへ」慶応大学出版。

【07】【04】フランス文学と現代 (2)(秋学期)  
1930~40 年代の文学と思想 准教授 市川 崇

授業科目の内容:

1930~40 年代のフランスにおける社会と文学との関係を考察することを目的とした授業です。当時の社会、文化の諸側面をできるだけ忠実に検証することと同時に、現代の哲学者の解釈を手助けに、社会、文化現象の背後を流れる思想潮流を探ることも試みます。授業は以下の 4 つの柱から構成されます。1) 歴史家の考証を参考にした政治、社会的事件の紹介。2) 当時の政治思想家、哲学者、社会学者による人間と社会の関係についての論考の分析。3) プルトン、バタイユ、ブランショらの作品に見る同時代の政治、社会的事件の表象、および彼らによる解釈の検証。4) ナンシー、ブランショ、デリダ、パディウらによる「共同体」論に照らした当時の文人たちにとっての理想社会の意義の考察。

テキスト:

授業中にプリントを配布

参考書:

フランス文学講座 5「思想」大修館, Serge Berstein, La France des années 30, Armand Colin, ジャン=ポール・サルトル「嘔吐」人文書院, モーリス・ブランショ「踏み外し」,「謎の男トマ」筑摩書房,「明かしえぬ共同体」朝日出版, ジャン=リュック・ナンシー「無為の共同体」朝日出版, ジョルジュ・バタイユ「ドキュマン」二見書房, アンドレ・ブルトン「シュールレアリスム宣言」現代思潮社。大澤真幸「ナショナリズムの由来」講談社。柴田陽弘編著,「ユートピアの文学世界」所収 市川崇「ウトボスからアトボスへ」慶応大学出版。

【07】【04】フランス文学史 (2)(春学期)  
フランス近代詩入門 教授 宮林 寛

授業科目の内容:

シャルル・ボードレールからギヨーム・アポリネールまでのフランス詩の流れを概観し、定型詩の理解に欠かせない詩法の手ほどきをします。

テキスト:

手塚伸一編『近代フランス名詩選』(駿河台出版社)

参考書:

安藤元雄・入沢康夫・渋沢孝輔『フランス名詩選』(岩波文庫)

【07】【04】フランス文学史 (2)(秋学期)  
ベルギーのフランス語文学 教授 宮林 寛

授業科目の内容:

ベルギーはワロン地域(公用語はフランス語)、フランドル地域(公用語はオランダ語)、そしてブリュッセル首都圏(フランス語・オランダ語併用)に分かれた連邦国家です。地域ナショナリズムに揺れ、言語問題が泥沼化した現在のベルギーからは考えにくいことですが、この国にはかつてフランス語による「ベルギー文学」を模索する文学者集団がありました。文語として確立したフランス語と、自身もその一員である文化圏とが必ずしも一致しない環境にあって、「ベルギーのフランス語文学」を成り立たせるにはどうすればよいのか? この問いに対して対照的ともいえる答えを出した 19 世紀末の象徴派と、1920 年代のシュールレアリスムをとりあげ、多言語国家における国民文学の問題を考えてみたいと思います。

テキスト:

指定せず。

参考書:

授業中に指示します。

【07】【04】フランス語学 (2)(春学期)  
准教授 喜田 浩平

授業科目の内容:

フランス語を言語学的に研究するための入門的授業です。一般言語学のような方法論、操作概念などをフランス語の具体例をあげながら紹介します。

テキスト:

プリントを配布します。

参考書:

教室で指示します。

【07】【04】フランス語学 (2)(秋学期)  
准教授 喜田 浩平

授業科目の内容:

フランス語を言語学的に研究するための入門的授業です。一般言語学のような方法論、操作概念などをフランス語の具体例をあげながら紹介します。

テキスト:

プリントを配布します。

参考書:

教室で指示します。

【07】【04】フランス語学演習 (1)(春学期)  
教授 小倉 孝誠

授業科目の内容:

フランス語で書かれたテキストを徹底的に読む訓練をします。文法の復習を兼ねながら、読解力を高めることをめざします。受講者には、毎回教室で一つのテキストを辞書参照で日本語に訳してもらい、それを教員(小倉)が添削して翌週に返却し、解説します。

テキスト:

プリントを配布します。

参考書:

授業中に指示します。

【07】【04】フランス語学演習 (1)(秋学期)  
《ラヴレター》を読む 教授 小倉孝誠

授業科目の内容:

恋文(ラヴレター)は書くのも、受け取るのも胸がときめくもの(たぶん・・・)。現代の若者はEメールや携帯メールで愛を告白したり、恋心を伝えたりするのですが、かつてであれば手紙がそのための重要な手段でした。この授業では主に19,20世紀の作家が書いた恋文(情熱的な恋文、せつない恋文、醒めた恋文、別れの手紙などいろいろです)を、注のついた教科書版で読んでいきます。

テキスト:

『恋文』(小倉孝誠・小倉和子,第三書房)

参考書:

ダニエル・ヴォル(編)『愛の手紙』(小沢書店)  
宇佐美育『作家の恋文』(筑摩書房)

【07】【04】フランス語学演習 (1)(春学期)  
現代作家講読 教授 川口順二

授業科目の内容:

現代作家の小説の抜粋を講読しながら、フランス語の文法・語彙の知識の向上を目指します。また映画などを用いて話し言葉の実際を学習してもらいます。

テキスト:

プリントで配布します。

【07】【04】フランス語学演習 (1)(秋学期)  
現代作家講読 教授 川口順二

授業科目の内容:

春学期のフランス語学演習と同様、現代作家の小説の抜粋を講読しながら、フランス語の文法・語彙の知識の向上を目指します。映画などを使った話し言葉の学習も春学期の継続です。

テキスト:

プリントで配布します。

【07】【04】フランス語学演習 (1)(春学期)  
Pratique de l'oral et de l'écrit  
A la découverte de la société et de la littérature françaises  
訪問准教授(招聘) ブランクール, ヴァンサン

授業科目の内容:

Le but de ce cours est double :

- pratiquer et améliorer son français à l'écrit et à l'oral
- mieux connaître et comprendre la société et la culture françaises

Les documents proposés seront très divers : articles de journaux, vidéos - extraits de film, d'émission télévisées ou publicités -, chanson, extraits de bande dessinée, ou extraits de textes littéraires.

Ils feront l'objet d'une analyse précise pour mieux en comprendre le sens et leur étude sera suivie d'exercices afin de mieux maîtriser les expressions nouvelles rencontrées.

La pratique de l'écrit passera par la rédaction régulière de devoirs à la maison.

Des activités extérieures au cours pourront être envisagées (visite du lycée franco-japonais de Tokyo, ...)

テキスト:

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【07】【04】フランス語学演習 (1)(秋学期)  
Pratique de l'oral et de l'écrit  
A la découverte de la société et de la littérature françaises  
訪問准教授(招聘) ブランクール, ヴァンサン

授業科目の内容:

Le but de ce cours est double :

- pratiquer et améliorer son français à l'écrit et à l'oral
- mieux connaître et comprendre la société et la culture françaises

Les documents proposés seront très divers : articles de journaux, vidéos - extraits de film, d'émission télévisées ou publicités -, chanson, extraits de bande dessinée, ou extraits de textes littéraires.

Ils feront l'objet d'une analyse précise pour mieux en comprendre le sens et leur étude sera suivie d'exercices afin de mieux maîtriser les expressions nouvelles rencontrées.

La pratique de l'écrit passera par la rédaction régulière de devoirs à la maison.

Des activités extérieures au cours pourront être envisagées (visite du lycée franco-japonais de Tokyo, ...)

テキスト:

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【07】【04】フランス語表現演習 A(1)(春学期)  
講師 シャルコフ, スヴェトラナ

授業科目の内容:

会話と発表を行う。(発表は年2回)  
コミュニケーションスキルを上げるため。

【07】【04】フランス語表現演習 B(1)(春学期)  
翻訳のアトリエ 教授 宮林 寛

授業科目の内容:

ある日突然、フランス語文献の翻訳を頼まれたとします。もちろん依頼主はフランス語が読めない人です。講読の授業でおなじみの仏文和訳では依頼主を満足させることができません。一般読者を対象とした訳文の作成は講読とはまったく違う作業なのです。この授業では「こなれた」訳文を作る技術を学んでもらうことを目指し、課題提出と教室での共同作業を繰り返します。

テキスト:

指定せず。

参考書:

必要に応じて指示します。

【07】【04】フランス語表現演習 A(1)(秋学期)  
講師 シャルコフ, スヴェトラナ

授業科目の内容:

会話と発表を行う。(発表は年2回)  
コミュニケーションスキルを上げるため。

【07】【04】フランス語表現演習 B(1)(秋学期)  
翻訳のアトリエ 教授 宮林 寛

授業科目の内容:

春学期と同じ。

テキスト:

指定せず。

参考書:

必要に応じて指示します。

【07】【04】フランス語表現演習 A(1)(春学期)  
Pratique de l'oral et de l'écrit  
訪問准教授(招聘) ブランクール, ヴァンサン

授業科目の内容:

Ce cours est destiné en particulier aux étudiants de troisième année  
Il a pour but de continuer l'apprentissage de la langue fait en deuxième année en insistant sur la pratique de l'oral, sans oublier l'écrit.

Le manuel choisi propose de nombreux documents sonores et offre aux étudiants de nombreuses occasions de prendre la parole.

テキスト:

STUDIO 60 (niveau 2)

Didier, 2002

【07】【04】フランス語表現演習 B(1)(春学期)  
准教授 喜田 浩平

授業科目の内容:

高いレベルのフランス語の文章を書くための技法を学びます。

テキスト:

プリントを使用します。

参考書:

仏仏辞典(類義語, シソーラス, コロケーション)

【07】【04】フランス語表現演習 A(1)(秋学期)  
Pratique de l'oral et de l'écrit  
訪問准教授(招聘) ブランクール, ヴァンサン

授業科目の内容:

Ce cours est destiné en particulier aux étudiants de troisième année  
Il a pour but de continuer l'apprentissage de la langue fait en deuxième année en insistant sur la pratique de l'oral, sans oublier l'écrit.

Le manuel choisi propose de nombreux documents sonores et offre aux étudiants de nombreuses occasions de prendre la parole.

テキスト：  
STUDIO 60 (niveau 2)  
Didier, 2002

【07】【04】フランス語表現演習 B(1)(秋学期)  
准教授 喜田 浩平

授業科目の内容：  
高いレベルのフランス語の文章を書くための技法を学びます。  
テキスト：  
プリントを使用します。  
参考書：  
仏仏辞典(類義語, シソーラス, コロケーション)

【07】【04】フランス文学演習 A(1)(春学期)  
教授 荻野 安奈

授業科目の内容：  
「フランス文学史」に具体性を与えるための授業です。同時履修がお勧めです。文庫で入手可能な作品(和文)を中心に、プリントを随時配布します。  
テキスト：  
授業で指示

【07】【04】フランス文学演習 B(1)(春学期)  
ディドロの短編講読 講師 稲垣 正久

授業科目の内容：  
Ceci n'est pas un conte を講読します。  
文学作品を精読する作業を通して、その魅力を味わってもらおう一方、フランス語の読解力の向上を目指します。  
特に辞書の引き方を徹底的に訓練します。  
テキスト：  
プリントにて配布します。  
参考書：  
授業中に指示します。

【07】【04】フランス文学演習 A(1)(秋学期)  
教授 荻野 安奈

授業科目の内容：  
前期の続きですが、後期だけの履修も可能です。  
テキスト：  
授業中に指示

【07】【04】フランス文学演習 B(1)(秋学期)  
ディドロの短編講読 講師 稲垣 正久

授業科目の内容：  
Madame de La Carlière を講読します。  
内容、指針は春学期のフランス文学演習 (B) に準じます。  
テキスト：  
プリントにて配布します。  
参考書：  
授業中に指示します。

【07】【04】フランス文学演習 A(1)(春学期)  
描写の根源 准教授 岑村 傑

授業科目の内容：  
「よく書けている。」文学賞の評などで、褒めことばとして使われることの多い表現だが、それはどのような意味なのだろう。ひとつには「描写が巧みだ」ということだろうが、では、巧みな描写はなぜ巧みなのか。現実世界をありのままに写生しているからだろうか。だが、ありのままの世界というものなど存在するのだろうか。  
19世紀、20世紀の小説を中心に取り上げて、そのなかの特徴的な描写を分析します。その風景描写なり人物描写なりの巧みさの根源を探求していきます。  
演習授業ですから、講義のみの授業にはなりません。フランス文学読解の実践力養成にも重点を置いて、訳文作成、要約、論述などの訓練を多く行います。  
テキスト：  
授業時にプリントで配布します。  
参考書：  
授業時に適宜紹介し、必要に応じてプリントを配布します。

【07】【04】フランス文学演習 B(1)(春学期)  
短編小説の愉しみ 講師 平松 尚子

授業科目の内容：  
20世紀・21世紀の短編小説を精読しながらフランス語の基礎的な読解力をつけることがこの授業の目的です。M. Yourcenar, M. Tournier, J. M. G. Le Clézio, P. Modiano, T. Benacquista, M. Barbery などの作品を扱う予定で、比較的簡単な短編から難易度の高い短編へと読み進めていきます。テキストは日本語に訳していきませんが、授業の主眼は構文をきちんと把握して原文の意味を正確に理解する作業にあるため、構文や文法事項の確認に時間をかけながら基礎的な読解力をつけるための練習を行います。また短編小説のスピード感や作家独自の文体を体感するためにテキストの音読練習も行います。学期末には授業で扱った作品や作家あるいは主題などからテーマを選び、単独あるいはペアで発表をしてもらいます。  
テキスト：  
プリントを配布します。  
参考書：  
授業中に適宜指示します。

【07】【04】フランス文学演習 A(1)(秋学期)  
ジュネの20世紀(続) 准教授 岑村 傑

授業科目の内容：  
1910年に生まれ1986年に没した作家ジャン・ジュネの生涯は、20世紀全体を覆っています。エドモンド・ホワイトによるジュネの伝記に導かれながら、ジュネという特異な存在を織りなす20世紀の社会、風俗、芸術、思想、政治における諸問題と向き合うことを目指します。ジュネ自身の作品のみならず、他の多くの文学者、芸術家、思想家の文章を参照することになるでしょう。  
2008年度秋学期に終えた続きから読解を進めますが、昨年度受講してなくても、今年度の受講に支障はありません。  
テキスト：  
Edmund White, Jean Genet, Paris, Gallimard, 1993. 授業時に必要箇所をプリントで配布します。  
参考書：  
授業時に適宜紹介し、必要に応じてプリントを配布します。

【07】【04】フランス文学演習 B(1)(秋学期)  
短編小説の愉しみ 講師 平松 尚子

授業科目の内容：  
春学期のフランス文学演習 B(1)と同様に、20世紀・21世紀の短編小説を精読しながらフランス語の基礎的な読解力をつけることがこの授業の目的です。M. Yourcenar, M. Tournier, J. M. G. Le Clézio, P. Modiano, T. Benacquista, M. Barbery などの作品を扱う予定で、比較的簡単な短編から難易度の高い短編へと読み進めていきます。テキストは日本語に訳していきませんが、授業の主眼は構文をきちんと把握して原文の意味を正確に理解する作業にあるため、構文や文法事項の確認に時間をかけながら基礎的な読解力をつけるための練習を行います。また短編小説のスピード感や作家独自の文体を体感するためにテキストの音読練習も行います。学期末には授業で扱った作品や作家あるいは主題などからテーマを選び、単独あるいはペアで発表をしてもらいます。  
テキスト：  
プリントを配布します。  
参考書：  
授業中に適宜指示します。

【07】【04】フランス文学演習 A(1)(春学期)  
教授 牛場 暁夫

授業科目の内容：  
読書とは？ 翻訳とは？ さらにには書簡とは？  
春学期は、マルセル・ブルースト「読書について」を読みます。あまりむずかしくはありません。彼の文学観の誕生に立ち会うことができます。  
秋学期は、そこからさらに広げて、読むことと密接に関係する書くという作業についても考えます。また、書簡体小説や、創作にもつながるはずの翻訳という行為についても考えます。

【07】【04】フランス文学演習 B(1)(春学期)  
ジャン＝ジャック・ルソーの『新エロイズ』を読む 助教 井上 櫻子

授業科目の内容：  
ルソーが作家、思想家として円熟期を迎える時期に制作した『ジュリ、あるいは新エロイズ』は、18世紀のベストセラーです。また、19世紀のフランス文学の発展にも多大なる影響を与えました。この書簡体小説を読み進めながら、ルソーの人間論、美学のみならず、広く18世紀の

文学, 思想について学んでゆくことがこの授業の目的です。

ルソーは第一論文『学問芸術論』において, 学芸の発展こそが習俗の退廃をもたらしたという大胆な論を展開し, 一躍文壇の寵児となりました。このように, 学問, 芸術全般を厳しく糾弾したルソーが, なぜ小説を手がけたのでしょうか。また, なぜ『新エロイズ』は出版直後, フランス文学界に一大センセーションを巻き起こしたのでしょうか。このような問題について検討すべく, 『ジュリ』を当時の文脈におき直して読んでみたいと思います。

授業では, 訳文作成, 要約, プレゼンテーションの練習をおこないます。  
テキスト:

プリントを配布します。

参考書:

授業中に指示します。

【07】【04】フランス文学演習 A(1)(秋学期)  
教授 牛場 暁夫

授業科目の内容:

読書とは? 翻訳とは? さらに書簡とは?

春学期は, マルセル・ブルースト「読書について」を読みます。あまりむずかしくはありません。彼の文学観の誕生に立ち会うことができます。

秋学期は, そこからさらに広げて, 読むことと密接に関係する書くという作業についても考えます。また, 書簡体小説や, 創作にもつながるはずの翻訳という行為についても考えます。

【07】【04】フランス文学演習 B(1)(秋学期)  
ジャン=ジャック・ルソーの『新エロイズ』を読む  
助教 井上 櫻子

授業科目の内容:

ルソーが作家, 思想家として円熟期を迎える時期に制作した『ジュリ, あるいは新エロイズ』は, 18世紀のベストセラーです。また, 19世紀のフランス文学の発展にも多大なる影響を与えました。この書簡体小説を読み進めながら, ルソーの人間論, 美学のみならず, 広く18世紀の文学, 思想について学んでゆくことがこの授業の目的です。

ルソーは第一論文『学問芸術論』において, 学芸の発展こそが習俗の退廃をもたらしたという大胆な論を展開し, 一躍文壇の寵児となりました。このように, 学問, 芸術全般を厳しく糾弾したルソーが, なぜ小説を手がけたのでしょうか。また, なぜ『新エロイズ』は出版直後, フランス文学界に一大センセーションを巻き起こしたのでしょうか。このような問題について検討すべく, 『ジュリ』を当時の文脈におき直して読んでみたいと思います。

授業では, 訳文作成, 要約, プレゼンテーションの練習をおこないます。  
テキスト:

プリントを配布します。

参考書:

授業中に指示します。

【07】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
【07】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
【04】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
【04】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
教授 牛場 暁夫

授業科目の内容:

4年生のための卒論指導の年となりますが, 同時にフランス語のテキストを使い, その要点を集中的に読みます。また, ディスカッションや, 個別指導なども同時に平行して行ってゆきます。

【07】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
【07】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
【04】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
【04】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
准教授 岑村 傑

授業科目の内容:

フランスの19世紀から21世紀にいたるまでの小説を中心としつつ, 文化, 社会, 思想, 政治, 歴史の問題にも広く開かれた研究会です。受講者は, 各自の研究の主題たりうる問題を発見し, それについての資料を調査し, 自分独自の見解を提出すべく思考し, 最終的には第三者を説得する論述(=卒業論文)をまとめ上げることを目指します。

テキスト:

授業時にプリントで配布します。

参考書:

授業時に適宜紹介し, 必要に応じてプリントを配布します。

【07】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
【07】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
【04】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
【04】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
フランス語学, フランス文化と中世仏語と仏文学  
教授 川口 順二

授業科目の内容:

フランス語とフランス文化を学ぶ研究会ですが, 中世に興味を持つ方にも開かれています。

フランス語については, 単語や熟語の意味, 冠詞・時制・モダリティなどの文法や語用論の問題, 話し言葉, 若者ことば英語からの借用語・識字など社会と言語の関係, フランス語教育などフランス語に関することなら何でも扱います。

他に衣食住その他のフランス文化をカバーします。

また, 中世に興味のある方も歓迎します。

【07】フランス語学文学研究会 (1)(秋学期)  
【07】フランス語学文学研究会 (1)(秋学期)  
【04】フランス語学文学研究会 (1)(秋学期)  
【04】フランス語学文学研究会 (1)(秋学期)  
教授 荻野 安奈

授業科目の内容:

私の専門は16世紀文学です。

後期集中で週2回の当ゼミは, 卒論指導が中心となります。いかにして興味の対象を絞り込み, 文献を整理し, プランを作成し, 論に説得力を持たせるか。石ころひとつでも(比喩です)フランス的に論じることが可能だ, という信念のもと, 迅速に, 効率よく, 卒論という名の精神的自画像を仕上げるお手伝いをしたいと思います。

テキスト:

指定せず。

【07】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
【07】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
【04】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
【04】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
准教授 喜田 浩平

授業科目の内容:

3年生を中心とした研究会です。フランス語そのものを研究対象とし, 様々な角度からアプローチします。狭義の言語学的問題だけではなく, 「言語と社会」「言語と文化」「言語と芸術(文学, 美術, 音楽)」「レトリック」「文体論」「翻訳論」「フランス語教育」などのテーマも扱います。

今年度は特に翻訳について色々考えたいと思います。日仏・仏日翻訳を観察し, また各自が実践することを通じて, 両言語の言語的特徴や文体的差異などについて議論してみたいと思います。

テキスト:

プリントを配布します。

参考書:

授業中に指示します。

【07】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
【07】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
【04】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
【04】フランス語学文学研究会 (1)(春学期)  
准教授 市川 崇

授業科目の内容:

20世紀のフランス文化, 文学, 思想に関心のある人たちのための研究会です。僕自身はジョルジュ・バタイユの思想を主な研究対象にしていますが, 実存主義からポスト構造主義にいたる現代思想の流れに関心のある履修者や, 30年代以降のフランス文化, 社会現象に関心のある履修者も歓迎します。他方, バタイユ, プランショ, バルト, デリダらによる「書くこと」を巡っての論考への関心を受講者全員が共有し, 活発な議論の場を持ちたいと願っています。

テキスト:

授業中にプリントを配布します。

参考書:

サルトル「文学とは何か」人文書院, バタイユ「文学と悪」ちくま学芸文庫, プランショ「踏み外し」筑摩書房, デリダ「エクリチュールと差異」, 「哲学の余白」法政大学出版

【07】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【07】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)

休講

【07】フランス語学文学研究会	(1)(春学期)
【07】フランス語学文学研究会	(1)(春学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(春学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(春学期)

教授 宮林 寛

授業科目の内容：

履修者が「自分でも納得のいく卒論」を完成させるための相談役に徹します。

詩を中心にした19世紀フランス文学のほか、絵画、映画などに興味のある学生諸君を歓迎します。

テキスト：

指定せず。

参考書：

授業中に指示します。

【07】フランス語学文学研究会	(1)(春学期)
【07】フランス語学文学研究会	(1)(春学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(春学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(春学期)

教授 小倉 孝誠

授業科目の内容：

近代(とくに19世紀から20世紀前半)の文学と文化史を学びたい人のためのゼミです。文学はそれが書かれた時代と社会を映し出すという側面をもっているため、文学(とりわけ小説)をつうじて歴史、社会、文化を全体的に読み解こうというのがねらいです。身体、ジェンダー、メディア、歴史、風景、絵画と文学などの問題を考えていきますが、受講生には各自の関心におうじて自由にテーマを見つけてもらいたいと思います。ときにビデオ、DVDなどの映像資料を用いている予定です。

テキスト：

バルザック『あら皮』(藤原書店)

参考書：

・都立大学仏文研究室編『フランスを知る』(法政大学出版局、2003年)

・平島正郎ほか『19世紀の文学・芸術』(青土社、2000年)

これ以外は授業時に指示する。

【07】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【07】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)

教授 小倉 孝誠

授業科目の内容：

春学期の続き。

【07】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【07】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)

教授 牛場 暁夫

授業科目の内容：

4年生のための卒論指導の年となりますが、同時にフランス語のテキストを使い、その要点を集中的に読みます。また、ディスカッションや、個別指導なども同時に平行して行ってゆきます。

【07】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【07】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)

教授 宮林 寛

授業科目の内容：

春学期と同じ。

テキスト：

指定せず。

参考書：

授業中に指示します。

【07】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【07】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)

教授 川口 順二

授業科目の内容：

フランス語とフランス文化を学ぶ研究会ですが、中世に興味を持つ方にも開かれています。

フランス語については、単語や熟語の意味、冠詞・時制・モダリティなどの文法や語用論の問題、話し言葉、若者ことば英語からの借用語・識字など社会と言語の関係、フランス語教育などフランス語に関わることなら何でも扱います。

他に衣食住その他のフランス文化をカバーします。

また、中世に興味のある方も歓迎します。

【07】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【07】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)

教授 荻野 安奈

授業科目の内容：

フランス語学文学研究会 ・ と同じ

【07】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【07】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)

准教授 市川 崇

授業科目の内容：

20世紀のフランス文化、文学、思想に関心のある人たちのための研究会です。僕自身はジョルジュ・バタイユの思想を主な研究対象にしていますが、実存主義からポスト構造主義にいたる現代思想の流れに関心のある履修者や、30年代以降のフランス文化、社会現象に関心のある履修者も歓迎します。他方、バタイユ、ブランショ、バルト、デリダらによる「書くこと」を巡るの論考への関心を受講者全員が共有し、活発な議論の場を持ちたいと願っています。

テキスト：

授業中にプリントを配布します。

参考書：

サルトル「文学とは何か」人文書院、バタイユ「文学と悪」ちくま学芸文庫、ブランショ「踏み外し」筑摩書房、デリダ「エクリチュールと差異」、「哲学の余白」法政大学出版

【07】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【07】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)

休講

【07】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【07】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)
【04】フランス語学文学研究会	(1)(秋学期)

准教授 喜田 浩平

授業科目の内容：

3年生を中心とした研究会です。フランス語そのものを研究対象とし、様々な角度からアプローチします。狭義の言語学の問題だけでなく、「言語と社会」「言語と文化」「言語と芸術(文学、美術、音楽)」「レトリック」「文体論」「翻訳論」「フランス語教育」などのテーマも扱います。

今年度は特に翻訳について色々考えたいと思います。日仏・仏日翻訳を観察し、また各自が実践することを通じて、両言語の言語的特徴や文体的差異などについて議論してみたいと思います。

テキスト：

プリントを配布します。

参考書：

授業中に指示します。

---

【07】フランス語学文学研究会 (1)(秋学期)  
【07】フランス語学文学研究会 (1)(秋学期)  
【04】フランス語学文学研究会 (1)(秋学期)  
【04】フランス語学文学研究会 (1)(秋学期)  
准教授 岑 村 傑

---

授業科目の内容：

フランス語学文学研究会 ・ を参照。

テキスト：

授業時にプリントで配布します。

参考書：

授業時に適宜紹介し、必要に応じてプリントを配布します。

【07】【04】図書館・情報学基礎(2)(春学期)  
教授 上田 修一

授業科目の内容:

図書館・情報学専攻では、「情報という角度から問題を見つけて解決できる人材」の養成を目指しています。この科目は、受講者が「情報」について考えること、情報を伝達するための情報メディア、蓄積された情報にアクセスするための情報検索、情報メディアの収集、提供、保存のための社会制度である図書館について基礎的な知識を得ることを目的としています。

テキスト:

毎回、プリントを配布します。  
日本図書館情報学会『図書館情報学用語辞典第3版』丸善

- 【07】図書館・情報学文献講読 (A)(B)(C)(1)(春学期)  
 【07】図書館・情報学文献講読 (A)(B)(C)(1)(秋学期)  
 【04】図書館・情報学原典講読 (A)(B)(C)(2)(通年)  
 (A) 講師 越塚 美加  
 (B) 講師 須賀 千絵  
 (C) 助教 安形 麻理

授業科目の内容:

各クラス少人数で、図書館・情報学分野におけるトピックをとりあげた英語文献を講読します。図書館・情報学分野の基礎的な用語や概念の理解と、専門的な文献を読みこなせる英語力の習得を目指します。基本的に、毎回履修者が発表を行い、適宜必要な補足を行う形で授業を進めていきます。

(A)(B)(C)の3クラスでは、同じテキストを使い、ほぼ同じ進捗で授業を進めます。試験も共通問題です。各クラスへの振り分けは4月の専攻別ガイダンスの時に発表しますので、各自確認のうえ、必ず指示されたクラスを履修してください。また、専攻別ガイダンスの時に初回のテキスト(下記の1)を配布しますので、初回の授業までに予習してきてください。

履修は原則として図書館・情報学専攻の学生に限ります。

テキスト:

Shenton, Andrew; Jackson, Maureen. Educational practices and information literacy. Udata. 2008, vol. 7, no. 10, p. 42-44.  
これ以降の文献に関しては、授業において指示します。

【07】【04】情報サービス基礎(2)(春学期)  
社会における図書館の存在意義とその役割  
教授 系賀 雅児

授業科目の内容:

この科目は、原則として図書館・情報学専攻2年生の必修科目であり、基礎科目の一つとして各種の図書館における情報サービスの概要と意義を学びます。そして、秋学期に開講される「情報サービス基礎」と一体となって、3年次以降に設置される図書館コースへの入門科目となるように位置づけられています。

テキスト:

授業の進行に応じて、読むべき文献を順次指示しますので、事前にしっかり読んでください。事前に読んでこないことには、授業が面白いわけはありません。

参考書:

- ・久慈 力『図書館利用の達人』現代書館, 2008年
- ・千野信浩『図書館を使い倒す!』(新潮新書), 2005年
- ・井上真琴『図書館に訊け!』(ちくま新書)筑摩書房, 2004年
- ・菅谷明子『未来をつくる図書館 ニューヨークからの報告』(岩波新書)岩波書店, 2003年

【07】【04】情報サービス基礎(2)(秋学期)  
教授(有期) 三浦 逸雄

授業科目の内容:

本科目は「情報サービス基礎」を踏まえた図書館情報学全体への入門的役割を果たす科目として位置づけられる。図書館及びその他の情報サービス提供機関をひとつの社会的システムとして捉え、記録された情報・知識の生産・流通、選択・収集、組織・蓄積、提供・利用システムといった広いコンテキストにおいて図書館・情報サービスの諸問題を論じる。

テキスト:

授業においてプリント資料を適宜配布する。

参考書:

最初の授業で参考文献を指示する。

【07】【04】情報検索基礎(2)(秋学期)  
教授 岸田 和明

授業科目の内容:

情報と情報システム、情報検索の過程、検索手法、検索のしくみ、検索評価、データベース、索引、情報検索関連用語、さらに図書館目録、分類など書誌コントロールについての基礎的理解を得ることを目的とした授業内容です。

テキスト:

授業時にプリントを適宜、配布します。

参考書:

情報科学技術協会編『情報検索の基礎知識 新訂版』2006

- 【07】【04】情報検索基礎(A)(B)(C)(2)(春学期)  
 (A) 教授 岸田 和明  
 (B) 講師 中島 玲子  
 (C) 准教授 原田 隆史

授業科目の内容:

図書館・情報学の研究に必要な基本技能であるコンピュータの操作および倫理について習熟することを目標として、各種アプリケーションとネットワークの利用を中心に講義と演習を並行します。

テキスト:

テキストは授業時に配布します。

【07】【04】情報メディア基礎(2)(秋学期)  
教授 倉田 敬子

授業科目の内容:

図書、雑誌、新聞等の印刷メディアを中心に、情報メディアの特性、生産・流通のプロセスについて概説します。電子メディアに関しても、印刷メディアとの比較を通して触れます。毎回、プリントを配布し、それに基つき授業を進めます。

参考書:

授業時に指示します

- 【07】【04】情報メディア基礎(A)(B)(C)(2)(春学期)  
 (A)(C) 教授 田村 俊作  
 (B) 講師 杉江 典子

授業科目の内容:

目録、書誌、索引というかたちで実現されている資料組織の基本的考え方を学ぶため、目録、主要な書誌・索引類、書誌データベース、参考図書の概説を行うと共に、それらを使った基礎的な資料探索の方法の修得を目指します。

テキスト:

プリントを配布します。

参考書:

長澤雅男・石黒祐子『情報源としてのレファレンスブックス 新版』日本図書館協会 2004

- 【07】【04】図書館・情報学研究法(2)(秋学期)  
 教授 上田 修一  
 教授 田村 俊作  
 教授 系賀 雅児  
 教授 倉田 敬子  
 教授 岸田 和明  
 教授(有期) 三浦 逸雄

授業科目の内容:

各担当者が、別個に授業を行います。それぞれの担当者の内容については、6月に説明をし、6月末に志望票を提出して頂きます。7月はじめに、発表しますので、それに従ってください。なお、4年次の図書館・情報学研究会にと継続します。

- 【07】図書館・情報学研究会(A)(セ)(1)(春学期)  
 【07】図書館・情報学研究会(A)(セ)(1)(秋学期)  
 【04】図書館・情報学研究会(A)(2)(通年)  
 教授 上田 修一

授業科目の内容:

図書館・情報学分野の課題に関する研究および卒業論文執筆のための指導を行ないます。



- 【07】図書館・情報学研究会 (B)(セ)(1)(春学期)  
 【07】図書館・情報学研究会 (B)(セ)(1)(秋学期)  
 【04】図書館・情報学研究会 (B)(2)(通年)  
 卒業論文の研究指導 教授 糸賀 雅児

授業科目の内容：

卒業論文の執筆に向けて、テーマの選択、研究の進め方、論文執筆の技術的な助言などを、逐次行っていきます。

- 【07】図書館・情報学研究会 (C)(セ)(1)(春学期)  
 【07】図書館・情報学研究会 (C)(セ)(1)(秋学期)  
 【04】図書館・情報学研究会 (C)(2)(通年)

休講

- 【07】図書館・情報学研究会 (D)(セ)(1)(春学期)  
 【07】図書館・情報学研究会 (D)(セ)(1)(秋学期)  
 【04】図書館・情報学研究会 (D)(2)(通年)  
 教授 岸田 和明

授業科目の内容：

卒業論文の指導を行います。テーマの選択、先行研究の調べ方、調査や実験の計画、データの分析、論文執筆など、順次、指導していきます。

- 【07】図書館・情報学研究会 (E)(セ)(1)(春学期)  
 【07】図書館・情報学研究会 (E)(セ)(1)(秋学期)  
 【04】図書館・情報学研究会 (E)(2)(通年)  
 教授 田村 俊作

授業科目の内容：

図書館におけるレファレンス・サービスやその他の利用者サービス、図書館史などの図書館に係わる問題、読書・情報探索行動など図書館利用者・利用に関連する諸問題をテーマとする学生のための卒論指導を行います。

- 【07】図書館・情報学研究会 (F)(セ)(1)(春学期)  
 【07】図書館・情報学研究会 (F)(セ)(1)(秋学期)  
 【04】図書館・情報学研究会 (F)(2)(通年)  
 准教授 原田 隆史

授業科目の内容：

卒業論文の指導のための研究会です。テーマの設定、調査・実験、論文執筆といった卒業論文の作成の各過程での助言を行っていきます。情報検索や情報システムに関わるテーマを中心と考えていますが、学生諸君の興味にできるだけ応じたいと思っています。

- 【07】図書館・情報学研究会 (H)(セ)(1)(春学期)  
 【07】図書館・情報学研究会 (H)(セ)(1)(秋学期)  
 【04】図書館・情報学研究会 (H)(2)(通年)  
 教授(有期) 三浦 逸雄

授業科目の内容：

論文テーマの選択、研究・調査の進め方、資料・データの処理・分析、論文の構成、文章の書き方など、卒業論文の執筆に向けての指導を行う。

テキスト：

なし

参考書：

なし

## 選 択 科 目

- 【04】図書館概論(2)(秋学期) 教授 糸賀 雅児  
 教授 田村 俊作

授業科目の内容：

これまで図書館について学んだことを踏まえ、社会における図書館、生涯学習と図書館、図書館に関わる法と制度(以上糸賀担当)、情報技術と図書館、場としての図書館、サービスの新たな展開(以上田村担当)といったトピックについて論じます。

- 【07】【04】図書館の計画と経営(2)(春学期)  
 教授(有期) 三浦 逸雄

授業科目の内容：

利用者の多種多様な要求に応じて情報や資料を提供する機関の中で、特に図書館に焦点をあて、その使命や役割を遂行するための経営管理機

能について基本的な理解を目指す。講義においては大学図書館および公共図書館を中心に管理運営、計画策定、人的資源、財政と行った側面を取り上げる。

テキスト：

授業においてプリント資料を適宜配布する。

参考書：

授業で適宜指示する。

- 【07】【04】レファレンス・サービス論(2)(春学期)  
 教授 田村 俊作

授業科目の内容：

図書館のレファレンス・サービスについて、理論と実際に学びます。レファレンス・サービスの基本的な考え方、歴史、サービス内容、技術を概観します。講義で得た知識をもとに、レファレンス・サービスの実態の分析を各人が試みます。また、講義と並行して、事例問題によって、問題発生から解決までの調査法の実際を演習し、それを通して調査手順の修得をめざします。

参考書：

- ・長澤雅男『レファレンス・サービス』丸善 1995
- ・長澤雅男、石黒祐子『問題解決のためのレファレンスサービス 新版』日本図書館協会 2007
- ・伊藤松彦編『新図書館学校教育資料集成 4：参考業務』教育資料出版会 1989
- ・阪田蓉子編『新編図書館学教育資料集成 4：情報サービス論 補訂版』教育史料出版会 2003

- 【07】【04】図書館資料論(2)(春学期)  
 教授(有期) 三浦 逸雄

授業科目の内容：

図書館のコレクション形成・管理の視点から資料の生産・流通・選択・収集、コレクション評価・保存などを一つのプロセスとして捉えて講義をすすめる。また現在、情報技術の進展に伴って急速に増大している電子情報源(あるいは電子図書館)についてもコレクション形成・管理およびアクセス提供の側面から取り上げる。

テキスト：

なし

参考書：

- 三浦逸雄・根元彰著『コレクションの形成と管理』1999年(再版)雄山閣
- 三浦逸雄・野末俊比古編『専門資料論』日本図書館協会 2005年
- その他の関連文献は授業で適宜指示する。

- 【07】【04】資料組織論(2)(春学期)  
 教授 上田 修一

授業科目の内容：

この科目では、図書館目録の意義を述べ、目録規則、目録法、分類、件名、目録機械化、MARC、書誌ユーティリティ、オンライン目録など図書館目録の基本について講じます。

テキスト：

初回に配布します。

- 【07】【04】コミュニケーション史(2)(秋学期)  
 英国ヴィクトリア時代の書物と社会  
 講師 武者小路 信和

授業科目の内容：

19世紀の英国では、人口の増大・識字率の上昇などの要因によって、読書人口が急激に拡大していきました。この急激に拡大するマーケットを狙って、印刷・出版・製本などの分野でさまざまな企画・新機軸や書物・読書に関わる新しいビジネス・組織が生み出されました。この授業では、書物・読書をめぐってダイナミックな動きの見られたヴィクトリア時代のイギリスを対象に、書物と社会との関わり、コミュニケーション事情について解説します。

テキスト：

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

参考書：

その都度、授業時に紹介します。

- 【07】児童サービス論(2)(秋学期)  
 【04】児童資料論(2)(秋学期) 講師 汐崎 順子

授業科目の内容：

本講義では、子供に本を提供する最も基本的な機関である公共図書館の児童サービスについて考えていきます。児童サービスの意義と目的を理解するとともに、利用者である子どもにも提供する本(=児童資料)の実質的な理解を深めること、子どもと本を結びつける効果的な方法について学ぶことを目指します。上記の児童資料は、個々の子どもの能力や

興味に対応する形で存在し、その内容や分野は多岐に渡っています。子ども時代の読書はそれぞれの人格形成に深く関わるものであり、子どもに本を手渡す立場である児童図書館員には、まず各種児童資料に精通していることが求められます。授業では様々な分野の児童資料を実際に数多く紹介し、受講生にも実際に本を手にとって「読む・比較する・検討する」作業を求めます。

テキスト：

特になし。授業の時に適宜資料を配布します。

参考書：

中多泰子・穴戸宏・塩 順子共著「改訂版 児童サービス論」樹村房(2004)

【07】図書館実習 (セ)(1)(春学期)

【07】図書館実習 (セ)(1)(秋学期)

【04】図書館実習(2)(通年)

図書館・情報学におけるインターンシップ科目

教授 岸田和明

授業科目の内容：

図書館・情報学専攻の学生で、司書資格を取得し、図書館への就職を希望する者のみを対象としたインターンシップ科目です。インターンシップとは「学生が自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」とされています。したがって、この科目では各種の図書館や資料室、メディアセンター等においてインターンとして実務を経験することになります。

実習ガイダンスを3～4回開催(第1回は4月9日)しますので、履修者は全てのガイダンスに必ず出席してください。

【07】【04】図書館活動論 (公共図書館)(2)(秋学期)

公共図書館の活動・サービス・法制度

教授 糸賀雅児

授業科目の内容：

「地域の情報拠点」「生涯学習の拠点」としての公共図書館の活動やサービス、そしてそれらを支える法制や基準、政策などを学びます。なお、事例集やスライド、ビデオを教材として併用することで、国内外の公立図書館活動の実態について理解が深まるよう配慮します。

テキスト：

町村図書館活動推進委員会編『図書館による町村ルネッサンス Lプラン21』日本図書館協会、2001年。

参考書：

『これからの図書館像～地域を支える情報拠点をめざして～(報告)』文部科学省、2006年

([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/18/04/06032701/009.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/18/04/06032701/009.pdf))

【07】【04】図書館活動論 (大学図書館)(2)(秋学期)

講師 酒井由紀子

授業科目の内容：

大学図書館の運営と実務に関する基礎的知識について学びます。

参考書：

1. 岩猿敏生, 大城善盛, 浅野次郎. 大学図書館の管理と運営. 東京, 日本図書館協会, 1992. 247p.
2. 逸村裕, 竹内比呂也編. 変わりゆく大学図書館. 東京, 勁草書房. 2005. 232p.
3. B.L.ホーキンス, P.バッティン編. デジタル時代の大学と図書館: 21世紀における学術情報資源マネジメント. 町田, 玉川大学出版部, 2002. 370p.
4. Budd, J.M. The changing academic library. Englewood, Libraries Unlimited, 2005. 323p.
5. Brophy, Peter. The academic library. 2nd ed. London, Library Association, 2005. 233p.

【07】【04】図書館活動論 (学校図書館)(2)(秋学期)

学校図書館の果たす役割とは 講師 小林路子

授業科目の内容：

情報技術の進展著しい現代社会において、学校教育で求められているのは、子どもたちに、自ら新たな知識を求めて学ぶ姿勢を培うことであり、確かな言語能力を養うことである。今後の社会を形成していく、こうした人材の育成に、学校図書館の果たす役割は大きいと言える。

この講義では、学校図書館の理念や現在の施策を知り、学校図書館を活用した学習活動や読書活動の実践について学びながら、学校図書館活性化の方策を探る。

テキスト：

特に使用しない

参考書：

「新学校図書館通論」改訂版(学芸図書) 図書館教育研究会  
「学習社会・情報社会における学校図書館」(風間書房) 塩見昇他 著

「インターネット時代の学校図書館」(東京電機大学出版局) 根本彰監修 堀川照代・中村百合子編著

【07】【04】図書館活動論 (国立図書館)(2)(秋学期)

講師 平野美恵子

授業科目の内容：

わが国の国立国会図書館を中心に、国立図書館の活動に見られる特徴と最近動向を紹介しつつ、国立図書館活動の意義と方法の理解を目指す。

テキスト：

授業において配布する。

【07】情報メディア概説(2)(春学期)

【04】情報メディア概説(2)(春学期)

教授 上田修一

教授 倉田敬子

授業科目の内容：

前半では、情報メディアをどのように考えるかの理論的根拠と情報メディアの歴史の変遷について概説します。情報メディアとは、社会の中で情報を生産し、流通させ、利用する際に必須のものであるという立場から、その技術的側面、社会的機能、言語的特徴を総合的に考えます。

後半では、情報メディアの利用やメディアを誰が利用しているかを扱います。基本的に信頼性の高い情報メディア利用調査を取り上げて、現代のメディア利用の実態を示します。さらに受講者自身が集めたデータを分析し、現代人が、意識しないうちに、様々な情報メディアの依存状態にあることを明らかにします。

【04】情報メディア概説(2)(秋学期)

教授 倉田敬子

授業科目の内容：

インターネットの出現によってもたらされた電子メディアであるが、急激に利用者を増やしている電子メディアがある一方で、必ずしも多くの人に利用されることなく、普及していない電子メディアもある。また、利用を増やしている電子メディアでも、必ずしも当初想定された利用がなされているわけではない。電子メディアという新しい技術が社会がいかに受け入れるのかのプロセスについて、この授業では検討してみたい。取り上げるのは、学術情報流通において、大変な成功をおさめている電子ジャーナルと、普及が進んでいない電子ブックである。また、学術情報に関わらない電子ジャーナルと電子ブックについても、簡単に触れていく。

なお、本科目は図書館・情報学専攻の04学則適用者の学生で、情報メディア概説の履修が必要な学生に対してのみ開講される科目であるので、それ以外の学生の履修は認められない。

参考書：

学術情報流通とオープンアクセス, 倉田敬子, 2007. 勁草書房

【07】情報メディアの構造と分析(2)(秋学期)

【04】情報メディアの構造と分析(2)(秋学期)

教授 倉田敬子

助教 安形麻理

授業科目の内容：

情報メディアは、独自の物理的・技術的特性および社会的場としての機能を持ち、さらにそのメディアに特定のな方法で情報を伝達しています。個々の情報メディアが固有に持つその形式的・構造的な特性についてまとめるとともに、その特性を具体的に分析する方法を概説します。具体的には「新聞および新聞記事」、「図書」、「マンガ」を扱います。分析方法の概説の後、実際に新聞記事やそのレイアウト、写真やマンガ作品を分析してもらいます。

【04】情報メディアの構造と分析(2)(春学期)

教授 上田修一

授業科目の内容：

テキストからなるメディア(新聞記事や論文)から映像までを扱い、それぞれのメディアが、本来持っている構造とその構造を表現するマークアップ手法、それに付与索引法、メタデータなどの検索手段を取り上げます。

【07】【04】情報認識の基礎(2)(春学期)

人間にとって心地よい情報環境をデザインするために

教授 糸賀雅児

授業科目の内容：

現代社会には情報が洪水のようにあふれていると言われますが、あふれているのは単に電気的な信号や物理的な記号だけではないのでしょうか? いまあなたが手にしているこの「講義要綱」にしても、たくさんの情報が載っているように見えますが、よく考えてみると、炭素と水素の化

化物である紙の上に、ところどころ黒いインクのシミで何かが描かれているだけにすぎません。それを前にして、あれこれ悩んだりしているのは、ある意味ではきわめて不思議な現象なのです。

人間が信号や記号を入手し、利用し、理解してはじめて、そうしたモノたちは意味をもった情報になります。そう考えると、情報の存在と人間の存在の間には相互作用がはたらくこととなります。では、人間にとって記号と情報、メディアの相互関係は、どのように捉えたらよいのでしょうか。さらには、メッセージの意味はどこから生まれてくるのでしょうか。同じメッセージを受け取っても人によって異なった情報を受け取るのはなぜでしょうか、小説や絵画、音楽は本当に情報と呼べるのでしょうか、……？

この科目では、こうした人間の情報認識に関わる基本的な問題を提起しながら、学生とともにヒューマンサイズの情報を扱うための本質的な視点を探っていきます。こうした過程を経て、これからの時代にふさわしい、人間の情報環境デザインができる人間を育てたいと考えています。ですから、単なるnote-takingや教科書の理解よりも、常識に対する批判的まなざしと深い思索、そして何よりもディスカッションへの積極的参加が求められます。

テキスト：

池上嘉彦『記号論への招待』(岩波書店, 1984年)

他に、授業の進行に応じて、読むべき文献を順次指定しますので、事前に読んでください。事前に読んでこないことには、ディスカッションへ積極的に参加できません。1回の授業で論点を2つずつ、それも事前に示していく予定です。

参考書：

- ・渡辺保史『情報デザイン入門』平凡社, 2001年
- ・西垣通『聖なるヴァーチャル・リアリティ』岩波書店, 1995年
- ・西垣通『こころの情報学』筑摩書房, 1999年
- ・日高敏隆『動物と人間の世界認識』筑摩書房, 2003年

【07】印刷メディア(2)(秋学期)

【04】情報メディア特殊(本)(2)(秋学期)

「モノ」としての書物がもつ表現可能性

講師 武者小路 信和

授業科目の内容：

私たちは本を読んでいるとき、印刷された文章の意味だけを読みとっている訳ではなく、意識してるか否かは別にして、書体、文字組み、紙質、造本構造などからも同時に「読みとっている」はず。この授業では、物理的な「モノ」としての書物がもつ表現可能性について、タイプグラフィ、ブック・デザイン、造本構造などの面から解説します。

テキスト：

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

参考書：

その都度、授業時に紹介します。

【07】デジタルメディア(2)(春学期)

【04】情報メディア特殊(電子媒体)(2)(春学期)

WWW情報の共有と再利用のための基礎技術と応用

講師 神崎 正英

授業科目の内容：

WWWの普及によって、誰もががつかない規模の情報入手できるようになったものの、その中から本当に必要な情報資源を見つけたのは簡単ではありません。また、利用者環境の多様化や国際化が進む中で、情報のアクセシビリティ、相互運用性、再利用可能性を考慮しないコンテンツが氾濫し、有益な活用の妨げになっています。

WWWは本来、異なる環境での情報共有、さらにコンピュータの力を利用して効率的で的確な情報探索・活用を目指していました。これを実現するためには、コンテンツの記述、データの表現と交換に関する基本ルールを踏まえることが重要です。この講座では、こうした観点で、WWWの基礎からRDFによるデータの記述方法とその応用までを取り上げます。

テキスト：

授業資料はウェブ上で配布します。また各技術仕様書の原典(英文)からエッセンスとなる部分を指定し、授業中に読解します

参考書：

神崎正英『セマンティック・ウェブのためのRDF/OWL入門』(2005, 森北出版)

【07】学術情報メディア論(2)(春学期)

【04】情報メディア特殊(科学コミュニケーション)(2)(春学期)

学術コミュニケーション 教授 倉田 敬子

授業科目の内容：

学術コミュニケーションは、送り手も受け手も研究者という閉鎖的な集団内におけるコミュニケーションであり、一般のコミュニケーションとは異なる特性を持っています。ここでは研究者達が学術研究という社会的行為を、学術コミュニケーションを通じていかに実現させているかを検討します。特に現在、学術コミュニケーションにおいては、「電子

化」が非常に注目されています。電子化によって、従来の学術コミュニケーションのあり方が、根本的に変容しつつあるからです。電子化については、いまだ全貌が見えたとはいえない状況ではありますが、技術の電子化がいかなる社会的変化を引き起こしているのか、基本的にはテキストとして指定した著作の順序で概説していきます。テキストに含まれる図表に関しては、プリントは配布しません。最新の状況や事例に関しては、別途プリントを配布します。

テキスト：

倉田敬子著『学術情報流通とオープンアクセス』勁草書房 2007

【07】社会情報論(2)(秋学期)

【04】情報メディア特殊(社会と情報)(2)(秋学期)

休講

【07】【04】情報検索概説(2)(春学期)

教授 岸田 和明

授業科目の内容：

この講義は情報検索に関する基本的なことから概説することを目的とし、図書や雑誌論文を収録したデータベースに対する検索を実現・実行するための伝統的な手法を中心に、基礎・中級レベルの内容を解説しています。さらに、このようないわゆるテキスト検索の特徴をよりよく理解するために、関係データベースを利用したデータ管理・検索の方法についても学びます。また、最近のインターネットのサーチエンジンでは、伝統的な検索方式とは異なる原理が使用されており、これについても説明します。

テキスト：

授業時にプリントを適宜、配布します。

参考書：

岸田和明『情報検索の理論と技術』勁草書房 1998

【07】【04】情報検索概説(2)(秋学期)

教授 上田 修一

授業科目の内容：

この科目では、情報検索システムとデータベースを取り上げます。まず、情報検索システムの発展期のトピックをいくつか取り上げて、繰り返し同じ問題が起きてきたことを明らかにします。その問題の一つは索引です。専門的で、大量ではない情報の検索には、人が付与した索引が有効であるという観点から、ニュース、映像、画像、ウェブページなど様々な対象の構造を明らかにし、索引作業とシソーラスを論じます。

【07】【04】情報探索行動(2)(秋学期)

教授 田村 俊作

授業科目の内容：

人々がどんなときに、どのようにして情報を求め、利用するのか、それがこの講義のテーマとなります。人々が情報を求める社会的文脈および情報探索・利用の過程についての検討を中心に、情報リテラシーや探索のスキル等について考えてみます。

テキスト：

特に使用しません。適宜プリントを配布します。

参考書：

- ・Varlejs, j. ed. 『情報の要求と探索』勁草書房 1993
- ・田村俊作編『情報探索と情報利用』勁草書房 2001
- ・三輪真木子『情報検索のスキル』2003(中公新書)
- ・Case, D. O. Looking for Information. 2nd ed. Academic Press, 2007
- ・Fisher, K. E. et. al. ed Theories of Information Behavior. Information Today, 2005
- ・Choo, C. W. The Knowing Organization. 2nd ed. Oxford University Press, 2005

【07】データベース論(2)(秋学期)

【04】情報検索研究(2)(秋学期) 教授 岸田 和明

授業科目の内容：

情報を蓄積し、効率的かつ効果的に検索可能とするには、それらをデータベースとして組織化する必要があります。この授業では、このためのデータベース構築の理論や技術について学びます。始めに、現在の標準的なデータベースである関係データベースと、その機能を拡張するためのオブジェクト指向の技術について勉強します。次に、テキスト型データを表現するためのXML技術とその応用について学びます。最後に、これらを基礎として、目録あるいはメタデータを蓄積し、検索するためのデータベース検索システムを実装する方法について勉強していきます。

テキスト：

授業時にプリントを適宜、配布します

参考書：

授業時に適宜、指示します。

【04】データベース検索(2)(春学期)

准教授 原田 隆史

授業科目の内容:

卒業論文や各種レポートなどを作成していくなかで、過去の研究を参照するために、各種のデータベースを検索していく必要があります。この授業では、自分でデータベース検索を行うことができる知識と技術の習得を目的とします。パソコン教室で有料データベース検索サービスやインターネット上の情報検索サービスを使った実習を行います。

テキスト:

指定しません。必要に応じて資料プリントを配布 または Web で公開します。

参考書:

授業で適宜指示します。

【07】デジタルアーカイブ論(2)(秋学期)

【04】情報検索システム(2)(秋学期)

助教 安形 麻理

授業科目の内容:

書誌データベースの作成と資料のデジタル化を中心に情報検索システムを扱います。具体的には、データベースと情報検索システムの基本的な問題から、簡単な文字処理を行ったり、データベースソフトを用いた書誌データベース、画像、テキストアーカイブを作成する演習を行います。

テキスト:

指定しません。講義資料プリントを配布します。

【07】【04】情報処理技術(2)(春学期)

准教授 原田 隆史

授業科目の内容:

図書館・情報学分野の学習や研究に必要な基礎技術であるコンピュータを少し高めレベルで使いこなせるようになることを目標とし、例題をもとに学習します。とりあげるテーマは Web ページによる情報発信に関わるものですが、一般的なコンピュータの利用にも応用できるように心がけるつもりです。講義に加えて、PC を用いた演習を行い、単なる知識だけではなく実践的な能力を身につけることを目指します。

テキスト:

必要に応じて、適宜プリントを配布します。

【07】【04】自然言語処理の基礎(2)(春学期)

教授 岸田 和明

授業科目の内容:

情報の検索・分類・抽出・要約を効果的かつ効率的におこなうための自然言語処理の理論や技法の基礎を学ぶことがこの講義の目標です。例えば、大規模な文献データベースを効果的に検索するには、検索質問や各文献の標題・抄録(または全文)に対する的確な解析が必要ですが、これにはさまざまな自然言語処理の技法を応用することができます。この講義では、このような目的で文献のテキストを解析するための統計的な方法や、形態素解析・構文解析・意味解析・文脈解析の方法を解説します。さらには、テキストの自動分類、テキストからの情報の自動抽出、テキストの自動要約などにも焦点を当て、そのなかでどのように自然言語処理の方法(統計的方法を含む)が活用されているのかを学んでいきます。なお、講義においては、統計学や言語学などのごく初歩的な知識から解説していくので、これらについての予備的な知識がなくとも受講することは可能です。

テキスト:

授業中にプリントを適宜、配布します。

参考書:

長尾真編『自然言語処理』岩波書店 1996(岩波講座ソフトウェア 15)

【07】【04】画像・映像処理の基礎(2)(秋学期)

准教授 原田 隆史

授業科目の内容:

近年、コンピュータを用いて画像や映像を加工していくことが非常に容易になってきました。この授業では、身近にある素材を用いて様々な加工を行う演習を通じて画像・映像処理の基礎的な技法について学びます。さらに、画像・映像データベースに関する理論と技術についても説明していきます。授業では講義に加えてPCを用いた演習も行い、単なる知識だけではなく実践的な能力を身につけることを目指します。

テキスト:

必要に応じて、適宜プリントを配布 または Web 上で公開します。

【07】【04】書誌学(東洋)(2)(春学期)

和漢古典籍の書誌学 斯道文庫 教授 高橋 智

授業科目の内容:

和書・漢書、和装・洋装など、内容・形態両面から、古典籍の実態の概要を把握し、図書館学における古典籍の位置と効用についての理解を深める。

テキスト:

講義プリントを用意します。

参考書:

「長澤規矩也著作集」(昭和57 汲古書院)

【07】【04】書誌学(西洋)(2)(秋学期)

助教 安形 麻理

授業科目の内容:

物理的な「モノ」としての書物の研究および文献伝達の研究である。分析書誌学(analytical bibliography)の基礎について概説します。西洋の印刷本を主な対象として、書物の形態、材料、活字、挿絵、製本などの特徴と、本造りの各工程を説明します。さらに、そうした造本工程によって生じる本文の異同についても取り上げます。授業中には、実例として慶應義塾大学図書館所蔵の貴重書の実物やデジタル画像、活字などの「モノ」の回覧や、ビデオ鑑賞を行って、理解の助けとします。

テキスト:

指定しません。講義資料プリントを配布します。

参考書:

授業に持って来たり買ったりする必要はありませんが、できれば適宜参照してください。

- ・Carter, John. 西洋書誌学入門. 横山千晶訳. 東京, 図書出版社, 1994, 428p. (こちらは残念ながら品切れ中です)
- ・高野彰. 洋書の話(増補版). 東京, 丸善, 1995, 225p.

【04】図書館・情報学特殊(A)(2)(春学期)

[春]休講



# 社会学専攻

## 必修科目

【07】社会学概論 (セ)(2)(春学期)				
【07】社会学概論 (セ)(2)(秋学期)				
【04】社会学概論(4)(通年)	[春]	教授	浜	日出夫
	[通年]	教授	岡	田 あおい
		教授	岡	原 正 幸
		教授	藤	田 弘 夫
教職課程センター		准教授	竹	村 英 樹
		准教授	長	尾 真 理

### 授業科目の内容：

見えない社会を見るためのレッスン(浜)

1. 電車のなかで社会学(1)
  2. 電車のなかで社会学(2)
  3. 電車のなかで社会学(3)
  4. 電車のなかで社会学(4)
- 社会的不平等・差別論(岡原)

1. 制度として「見る」社会学/制度としての社会学
2. 調査することの倫理性(観察と介入)
3. 新しい潮流(障害学/ゲイ・スタディーズ/ポストコロナリズムなど)の立ち位置
4. 他者を見ること、自己を見ること

都市・国家・公共性(藤田)

1. 近代化と都市化
2. 都市の比較社会学
3. 伝統国家と近代国家
4. 公共性の比較社会学

家族・親族・村落(岡田)

1. 家族の定義をめぐって
2. 現代の家族
3. 過去の家族
4. 村落研究

発達と教育の社会学(竹村)

1. 教育拡大の理論(1)
2. 教育拡大の理論(2)
3. 学歴社会学
4. 発達と社会化

現代社会と医療(長尾)

1. 患者の権利
2. 先端医療(1)
3. 先端医療(2)
4. 科学技術と人間

### 参考書：

『社会学』(長谷川, 浜, 藤村, 町村著 有斐閣), 『社会学をつかむ』(西澤, 渋谷著 有斐閣), 『社会学小辞典』(有斐閣)など多数ありますが, 図書館や書店で自ら探するのが原則です。

【07】社会心理学概論 (セ)(2)(春学期)				
【07】社会心理学概論 (セ)(2)(秋学期)				
【04】社会心理学概論(4)(通年)				
個人と個人, 個人と集団, 個人と社会の関係および集合行動について論じる		教授	榊	博文

### 授業科目の内容：

まず, 社会心理学の対象と方法, 歴史, 心理学的社会心理学, 社会学的社会心理学について触れ, 対人認知, 対人魅力, リーダーシップ, 攻撃行動, 援助行動, 社会的態度, 個人空間, 集団と個人, 社会的相互作用, 集団の構造と機能, 異文化コミュニケーション, 群集, 流行, デマ, パニック, マスコミ, 広告効果, 模倣行動など集合現象等の, 社会心理学の低位分野における主要な概念や理論, 及び個々の実証的研究を講義する。

更に, 「説得」, 集合現象の一部である「普及」, それを説明する「異文化間屈折理論」, 「再発明概念」, 「あらかじめ屈折理論」等についても言及する。

### テキスト：

青池・榊編著「現代社会心理学」慶應大学出版会

### 参考書：

榊博文「社会心理学がとってよく分かる本」(東京書店)

【07】文化人類学概論 (セ)(2)(春学期)				
【07】文化人類学概論 (セ)(2)(秋学期)				
【04】文化人類学概論(4)(春学期集中)		教授	鈴木	正 崇

### 授業科目の内容：

文化人類学(民俗学)の基本的な概念や考え方について述べる概論である。最初に文化や民族の概念について検討し, 主要な学説や重要な人類学者の学説の検討も行って, 各論に入る。個別の主題としては, 親族, ジェンダー, 宗教, 経済, 開発などを取り上げる。日本民俗学への目配りもする。一・二限連続の前期集中の講義なので履修に注意すること。テキスト：

綾部恒雄編『文化人類学 20 の理論』弘文堂, 2006。

### 参考書：

- ・関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂, 2004。
- ・山下晋司・船曳建夫編『文化人類学キーワード』有斐閣, 1997。
- ・綾部恒雄編『文化人類学最新述語 100』弘文堂, 2002。
- ・山下晋司編『文化人類学入門』弘文堂, 2005。
- ・『文化人類学文献事典』弘文堂, 2004。
- ・『文化人類学辞典』丸善, 2009。

【07】社会学史 (セ)(2)(春学期)				
【07】社会学史 (セ)(2)(秋学期)				
【04】社会学史(4)(通年)	[春]	教授	浜	日出夫
	[通年]	教授	岡	田 あおい
		教授	岡	原 正 幸
		教授	藤	田 弘 夫
		准教授	長	尾 真 理

### 授業科目の内容：

19世紀の社会と社会学(藤田)

1. 社会概念化と社会学の誕生 社会主義・社会科学・社会学
2. 社会思想と社会の概念 社会有機体説とマルクス
3. 社会調査と社会の概念 ブース, ル・プレー, ゲテス
4. 日本における欧米の社会思想の受容

5. (付論) アンソニー・ギデンズとイギリス社会学

デュルケム, ウェーバー, ジンメル(浜)

1. 1890年代の世代
2. 理解社会学 M. ウェーバー
3. 社会学主義 E. デュルケム
4. 形式社会学 G. ジンメル
5. 官僚制・アノミー・文化の悲劇

象徴的相互作用論・シカゴ学派(岡原)

1. シカゴ学派と自我論 クーリー, トマス, ミード
2. 象徴的相互作用論 現実構成・レイベリング・参与観察
3. ゴフマン 印象管理・自己呈示・アイデンティティの政治
4. エスノメソドロジー 構築主義 言説分析
5. 現代思想と社会学 フーコー, イリイチ, サイド

フランクフルト学派・ルーマン(長尾)

1. 批判理論の成立 M. ホルクハイマー W. ベンヤミン
2. 近代合理性の行方 Th. アドルノ H. マルクューゼ E. フロム
3. 批判的理性とコミュニケーション J. ハーバーマス
4. 社会秩序とシステム N. ルーマン
5. 精神医学は社会科学に何をもたらしたか。

人口と家族の社会学

1. アナール学派の視点と家族史研究
2. ケンブリッジグループ社会構造研究
3. 歴史人口学の現在
4. 家と村落研究(1)
5. 家と村落研究(2)

【07】社会調査 (セ)(1)(春学期)				
【07】社会調査 (セ)(1)(秋学期)				
【04】社会調査 (2)(通年)		教授	李	光 鎬

### 授業科目の内容：

この授業では社会現象や人間行動を計量的な方法で実証的に把握, 検証するための諸技法について, 適宜演習を交えながら, 講義を行う。春学期においては, サーベイ法を中心に調査の企画・デザインから, 調査票の作成, 調査対象者の抽出, 調査の実施, データの収集にいたる一連の過程において必要となる知識や技法について学習する。また社会調査における倫理的な問題についても理解を深める。秋学期においては, 調査によって集められたデータを集計・分析する統計的な技法とそれらの技法の背後にある論理について学ぶ。

### テキスト：

特に指定しない。

### 参考書：

授業中に示す

- 【07】社会調査 (セ)(1)(春学期)  
 【07】社会調査 (セ)(1)(秋学期)  
 【04】社会調査 (2)(通年) 講師 梅屋 潔

授業科目の内容:

社会調査のうち、質的方法あるいは定性的方法の実際を基礎から学ぶ。聞き書き、インタビュー、参与観察、事例研究、会話分析といった方法を中心とする文化人類学・民俗学・社会学などで一般に ethnographic (民族誌的・民俗誌的)といわれる方法である。目的や現場の状況に合わせたノート、カードなど筆記用具の選び方、写真や映像の撮影方法、質問の構成の仕方、録音のとりかた、録音資料の書き起こし transcription の実際など担当者のフィールドワークの経験(新潟県 1990-、東北地方 2005-、東アフリカ・ウガンダ共和国 1997-)に即した具体的事例の紹介を交えつつ、実習的なグループワークを多くとり入れて実施する。

参考書:

- 松田素二・川田牧人編『エスノグラフィー・ガイドブック現代世界を複眼で見る』嵯峨野書院、2002年、2,940円  
 佐藤郁哉『フィールドワークを持って街へ出よう』新曜社、1992年、2,310円  
 佐藤郁哉『フィールドワークの技法 問いを育てる、仮説をきたえる』新曜社、2002年、3,045円  
 須藤健一編『フィールドワークを歩く 文科系研究者の知識と経験』嵯峨野書院、1996年、3,500円+税  
 他にも講義中に適宜紹介する。

- 【07】医療社会学 (セ)(2)(春学期)  
 【07】医療社会学 (セ)(2)(秋学期)  
 【04】医療社会学(4)(通年) 准教授 長尾 真理

授業科目の内容:

今日先端医療技術は、バイオテクノロジーや情報処理技術の発達に支えられ飛躍的な発展を遂げている。しかし同時に、生命の誕生や死をめぐる問題を含め、従来の社会通念からは予測できない多くの難問が引き起こされている。また先進諸国での高齢化問題は、「医療資源の運用と配分」とも絡んで深刻さを増している。講義では、こうした現代医療に関わる様々な問題を取り上げ検討する。また秋学期には、各々の問題関心に基づくグループ・ワーク、研究発表を行う。受講者は、以上の講義形式を了承のうえ受講すること。

テキスト:

講義資料・プリントを使用する。

参考書:

- ・岩波講座 現代社会学 14『病と医療の社会学』岩波書店 1996年  
 ・進藤・黒田編『医療社会学を学ぶ人のために』世界思想社 1999年  
 ・加藤・加茂編『生命倫理学を学ぶ人のために』世界思想社 1998年  
 ・市野川容孝編『生命倫理学とは何か』平凡社 2002年

- 【07】家族・親族論 (セ)(2)(春学期)  
 【07】家族・親族論 (セ)(2)(秋学期)  
 【04】家族・親族論(4)(通年) 教授 岡田 あおい

授業科目の内容:

今日、少子高齢化、晩婚化・未婚化、夫婦別姓、児童虐待、育児ノイローゼ、離婚、老親介護など、家族に関わる社会問題が噴出している。今、家族に何が起きているのだろうか。

本講義は、家族社会学の基本理論と基本概念を整理し、現代日本におけるさまざまな家族問題にアプローチすることを目的とする。

春学期は、主に家族社会学の基本理論、家族史研究および歴史人口学の基本的な視点、研究方法などについて学説史的にたどり、受講者に家族社会学・家族史研究の視点と研究方法の基本的な理解をはかりたい。

秋学期は、春学期に構築した視点、考え方にに基づき、「結婚」をキータムとし、人口学やジェンダー論の視点も紹介しながら、具体的な家族問題について考察する。

テキスト:

なし

参考書:

その都度指示する

- 【07】教育社会学 (セ)(2)(春学期)  
 【07】教育社会学 (セ)(2)(秋学期)  
 【04】教育社会学(4)(通年) 教職課程センター 准教授 竹村 英樹

授業科目の内容:

本授業では、教育社会学を教育現象の社会的文脈を解明する学問ととらえ、その概要を講義します。社会的文脈の解明といっても、教育現象を巨視的にみるのか、微視的にみるのか、また、機能的にみるのか、解釈的にみるのかによって、様々な研究があります。本講義で

は、多くの研究成果を取り上げて、研究対象の多様さとその背後にある複数の理論および方法論を示すことに努めます。

まず、学史からスタートし、対象と方法を概観することでおおまかな見取り図を示した後、各論に入ります。春学期は、マクロ教育社会学を中心に講じます。具体的には、社会階層と教育機会の不平等等、その家族的背景等をテーマとして取り上げます。秋学期は、教育を担う社会集団(たとえば、家族、学級、学校)、その集団の中の間人間関係(教師生徒関係、親子関係等)等を取り上げ、それ自体をひとつの社会としてみ、その教育的特徴を考察します。いわば、ミクロ教育社会学です。両学期を通じて、これらの考察は現代日本社会を念頭において行われますが、歴史的視点、比較社会的視点も大切に考察を進めます。

社会学理論が教育現象にどう適用されるのかを知ることで、履修者の皆さんが既に学んだ社会学理論の面白さを再発見することを目指します。また、実証研究の方法論(社会調査論)との接合も視野に入れて、データを分析するプロセスも大切にしたいと考えています。

テキスト:

なし

参考書:

別途指示します。

- 【07】現代社会学 (セ)(2)(秋学期)  
 【07】現代社会学 (セ)(2)(秋学期)  
 【04】現代社会学(4)(秋学期集中) 現代社会を映像化する 教授 岡原 正幸

授業科目の内容:

「感情」をテーマにした映像・映画を製作します。企画、コンセプト、シナリオから、スタッフ、キャスト、撮影、編集、上映までを、参加者全員の共同作業として行います。企画案やコンセプト案のプレゼンおよび決定は、夏休み前に行う予定です(掲示や岡原研究会のHP <http://wikiwiki.jp/teamoka/>に注意してください)。制作費用は参加者による折半です。機材などは可能な限り学内のものを使用します。参加人数により、採用企画数や製作本数は変わりますが、チーム単位の制作だとしても各チーム最低10名の構成にします。従って、一人もしくは数名での制作はできません。チームの協働過程そのものが現代社会の構築そのものだからです。また演技、デザイン、サウンドなどの専門スタッフとして設置されたすべての製作チームに関わり、アドバイスを素材、作品を提供する役割を果たすこともできます。

テーマである感情および現代社会についての解釈を先に共有するつもりです。そのため既存の現代社会学論や感情社会学に関する書物を読解してそれを脚本化する試みを行います。

また、映画や写真に関わる実践家を講師としてお呼びすることも考えています。

- 【07】コミュニケーション学 (セ)(2)(春学期)  
 【07】コミュニケーション学 (セ)(2)(秋学期)  
 【04】コミュニケーション学(4)(通年) 教授 李 光 鎬

授業科目の内容:

この授業では、我々の社会を織り成しているコミュニケーション過程の諸側面について講義を行う。春学期においては、対人コミュニケーションを中心にコミュニケーションと対人関係の形成、コミュニケーション・ネットワーク、小集団状況におけるコミュニケーションなどを取り上げ、これまでの研究で明らかにされた知見を学んで行く。さらにインターネット上で展開される様々な種類のCMC(computer mediated communication)についても検討して行く。秋学期においては、マス・コミュニケーションを中心とし、マスメディアによるメッセージの生産過程、メッセージにおける傾向的特性、マス・コミュニケーションの影響・効果過程などについて理解して行く。

テキスト:

特に指定しない

参考書:

授業中に示す

- 【07】宗教社会学 (セ)(2)(春学期)  
 【07】宗教社会学 (セ)(2)(秋学期)  
 【04】宗教社会学(4)(通年) 近現代日本における宗教と社会 講師 芳賀 学

授業科目の内容:

宗教社会学では、まず、アイデンティティの維持(または変更)とのかかわりで宗教を捉える視角を提示し、その上で、日本社会の近代化プロセスを事例として、ライフスタイルや人びとの意識の変化と新宗教の拡大との関係性を分析することによって、社会と宗教との密接な結びつきを明らかにします。一方、宗教社会学では、その宗教が1980年代以降の現代日本社会においてどのような変化・展開を遂げているのかを社会学の観点から概説します。このことを通じて、受講生個々が「宗教を理解し、社会とのかかわりを読み解く力」の養成と向上を目指します。

テキスト：

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

参考書：

講義の中で適宜指示します。

【07】対人影響論 (セ)(2)(春学期)

【07】対人影響論 (セ)(2)(秋学期)

【04】対人影響論(4)(通年) 教授 榊 博文

授業科目の内容：

説得的コミュニケーションの効果に関する研究は独自の研究の系譜を持ってあります。まず、その流れに基づいてテキストを参照しながら授業をすすめていく。次に、集団、マスコミ効果、広告、宣伝、大衆操作、流行、普及、模倣犯罪などの集団的・社会的影響に関する問題を扱う。その過程で、従来の諸研究によって既に明らかにされている部分と、未だ解明されていない部分を十分理解する。又、自由討議の時間を設けるので積極的に参加して下さい。

テキスト：

榊 博文『トップ営業が使う説得学』ダイヤモンド社

参考書：

特になし

【07】知識社会学 (セ)(2)(春学期)

【07】知識社会学 (セ)(2)(秋学期)

【04】知識社会学(4)(通年)  
記憶と歴史の社会学 [春]教授 浜 日出夫  
[秋]講師 石 井 清輝

授業科目の内容：

人間にとって過去とはなんであるのか、社会にとって歴史とはなんであるのか、人間と時間のかかわり、社会と歴史のかかわりについて社会学的に考察する。春学期は人間と時間のかかわりについて理論的に考察する。秋学期は春学期の理論編を踏まえて、メディアと記憶、場所と記憶などをテーマに、具体的な事例を題材に社会と歴史の関係について考察していく。併せて、記憶のポリティクスについても検討する。

参考書：

講義時間内に紹介する。

【07】都市社会学 (セ)(2)(春学期)

【07】都市社会学 (セ)(2)(秋学期)

【04】都市社会学(4)(通年) 教授 藤田 弘夫

授業科目の内容：

都市は言語とともに、人間が創り出したもっとも複雑で偉大な作品である。都市は人間が生み出した最大の便益を、最小の空間に納めるよう文明の産物を凝縮し、時感して伝達しようとしたものである。この点で、都市は人びとにとって、未来に向けて汲み尽くすことができないほどの「意味」が記号化されている“小宇宙”なのである。都市はさまざまな秩序を隠し持っている。本講義は社会の多様な姿を都市に焦点をあてて析出するとともに、都市の社会学的分析について基本的な力を身につけることを目的としています。

テキスト：

藤田弘夫編『都市社会学』有斐閣 2006年

参考書：

藤田弘夫『奥井復太郎 都市社会学と生活論の創始者』東信堂 2000年

藤田弘夫『路上の国柄』「ゆらく官尊民卑」文藝春秋 2006年

【07】日本社会論 (セ)(2)(春学期)

【07】日本社会論 (セ)(2)(秋学期)

【04】日本社会論(4)(通年) 名誉教授 平野 敏政

授業科目の内容：

日本社会論、日本文化論ではヨーロッパ社会との相違を強調し、日本社会、文化の特殊性を強調する視点がしばしば採用されている。本講義では、なぜそうした特殊性が近代日本社会においても再生産されているのか、という問いに立ち返って、そうした再生産過程の基礎に日本社会におけるイエ的原理の作用が存在しているとの視点に立ち、有賀喜左衛門の「イエ」理論を援用し「全体的相互給付」原理との関連の下に日本社会について考える。

参考書：

平野敏政編著「家族・都市・村落生活の近現代」慶応義塾大学出版会 2009年

【07】比較文化論 (セ)(2)(春学期)

【07】比較文化論 (セ)(2)(秋学期)

【04】比較文化論(4)(通年) 教授 鈴木 正 崇

授業科目の内容：

南アジアでのフィールドワークの成果を中心として民族・宗教・国家の問題を考える。対象地域はインド・スリランカで、1980年代から歩き続けてきた成果に基づいた事例研究を主体とする。極めてミクロな事例を通じて普遍性に至る道筋を求める人に履修を勧める。出席を重視する。

テキスト：

『アジア読本 インド』河出書房新社、1995。

『神話と芸能のインド』山川出版社、2008。

参考書：

『スリランカの宗教と社会』春秋社、1996。

『ラーマヤナの宇宙』春秋社、1978。

【07】普及学 (セ)(2)(春学期)

【07】普及学 (セ)(2)(秋学期)

【04】普及学(4)(通年) 名誉教授 青池 慎一

授業科目の内容：

あらゆる時代や社会において普遍的に存在しているコミュニケーション・プロセスの一つがイノベーションの普及である。イノベーション(新製品、新しいスタイル、新知識など)が発明、創造され、その源泉やエージェントから人々に送り出され普及している。そして、人々の生活や社会、文化はイノベーションの普及によって変容していくのである。いうまでもなく送り出されたイノベーションの全てが普及していくものではないが、このようなイノベーション普及過程がどのようなものであり、いかなる要因がかかわりあっているかを明らかにしていくものである。

テキスト：

青池慎一著「イノベーション普及過程論」慶應義塾大学出版会、2007年

参考書：

授業時に適宜示します。

【07】文化社会学 (セ)(2)(春学期)

【07】文化社会学 (セ)(2)(秋学期)

【04】文化社会学(4)(通年)  
文化と権力と社会学 教授 藤田 弘夫

授業科目の内容：

本講義の目的は、われわれが社会生活のなかで生み出すとともに、その社会生活を背後から秩序づけている文化の多様な形態を析出することである。この作業を通じて、文化社会学のダイナミックな分析と論理を教授できればと考えています。

テキスト：

藤田弘夫・西原和久編『現代人の社会学入門』(増補版)有斐閣 2000年

藤田弘夫『社会を見る・読む・考える』有斐閣(2009年秋予定)

参考書：

・藤田弘夫『都市の論理』中公新書 1151番 1993年

・藤田弘夫『路上の国柄』「ゆらく官尊民卑」(文藝春秋社)

【07】社会学特殊 (セ)(2)(春学期)

【07】社会学特殊 (セ)(2)(秋学期)

【04】社会学特殊(4)(通年)  
環境社会学の勃興と制度化 講師 堀川 三郎

授業科目の内容：

この講義は、日本における環境問題の展開を踏まえながら、「環境社会学」という学問領域の現段階について概説することを目的としています。内容と対象が広範にわたるため、前期の「社会学特殊」では、「環境問題の社会学」に焦点をあてて、環境破壊や健康被害をめぐる深刻な対立・紛争が起こっている状況をとらえてゆきます。水俣病や足尾鉾毒事件といった具体例を取り上げて検討することになるでしょう。後期の「社会学特殊」では「環境共存の社会学」を取り扱います。これは、人々の環境との上手な折り合いの付け方・作法といった共存の文化を、具体的な空間の中に見出してゆく指向を持った領域です。具体的な事例や問題としては、古い町家の保存問題の国際比較などを予定しています。「環境問題の社会学」と「環境共存の社会学」の両者が合わさって、環境社会学が成り立っています。

本講義の特徴は、先ず詳細な事例研究を行って「環境問題」の内実をよく理解しようとする点にあるでしょう。その上で、そうした「環境問題」を学問的に把握・分析しようとして生み出されてきた諸理論(被害構造論、社会的ディレンマ論、生活環境主義、歴史的環境の社会学)を詳しく検討してゆきます。このように、事例研究の基盤の上に理論的検討が為されるという講義の構成は、いわば、問題の発生に促されて形成されてきた環境社会学の成立過程を追体験するという隠れた意図を体現



したものでもあります。未曾有の公害に直面した時、既存の知の枠組みが対応できずにいたのはなぜか、そこにどのような人と言葉（概念）が集って新たな学問を創り上げてきたのか、講義ではこうした重要な問いを、受講生と一緒に考えてゆきたいと考えています。

テキスト：

特に指定しません。必要に応じてプリントを配布します。

参考書：

講義中に適宜指示しますが、差し当たり、下記を挙げておきます。

飯島伸子（1993）『環境問題と被害者運動』〔改訂版〕学文社。

緒方正人・辻信一（1996）『常世の舟を漕ぎて：水俣病私史』世織書房。

船橋晴俊・飯島伸子編（1998）『環境』（講座社会学第 12 巻）東京大学出版会。

片桐新自編（2000）『歴史的環境の社会学』（シリーズ環境社会学第 3 巻）新曜社。

栗原彬編（2000）『証言 水俣病』（岩波新書新赤版 658）岩波書店。

飯島・鳥越・長谷川・船橋編（2001）『環境社会の視点』（講座環境社会学第 1 巻）有斐閣。

鳥越皓之編（2001）『自然環境と環境文化』（講座環境社会学第 3 巻）有斐閣。

George, Timothy S.(2001) *Minamata: Pollution and the Struggle for Democracy in Postwar Japan* (Harvard East Asian Monographs 194). Cambridge, MA: Harvard University Asia Center.

原田正純・花田昌宣編（2004）『水俣学研究序説』藤原書店。

【07】社会学特殊 (セ)(2)(春学期)

【07】社会学特殊 (セ)(2)(秋学期)

【04】社会学特殊 (4)(通年) 講師 佐藤典子

授業科目の内容：

ブルデューは、日常性の中にこそ権力や差別の問題が潜んでいると指摘しました。本講義では、ブルデュー、フォーコーをはじめとしたフランスの社会学者や思想家などの理論をたどりながら、家族やジェンダー、現代医療に関する問題、記号と消費について考えます。

テキスト：

・佐藤典子著『看護職の社会学』専修大学出版局 2007 年（春学期・秋学期）

・佐藤典子編著『現代人の社会とこころ 家族・メディア教育・文化』弘文堂 2009 年（春学期・秋学期）

・荻野昌弘編『日仏社会学叢書第 3 巻 ブルデュー社会学への挑戦』恒星社厚生閣 2005 年（秋学期）

参考書：

宇都宮京子編『よくわかる社会学』ミネルヴァ書房 2006 年

【07】社会学特殊 (セ)(2)(春学期)

【07】社会学特殊 (セ)(2)(秋学期)

【04】社会学特殊 (4)(通年) 教授 岡田 あおい  
家族の歴史人口学

授業科目の内容：

伝統家族の社会学的研究は、有賀・喜多野論争に見られるような家・同族団・親族に関する理論的検討、及び家の制度・構造の解明をその中心に据え、家・親族組織を、村落構造の規定要素として捉える。しかし、理論的基盤となる一連の実証研究は、社会上層の視点に立ったものであり、中下層の農民家族に視点のウエイトが置かれているとはいえない。これらの研究は、研究当時の家の実態を明確にすることが主な目的でありながら、解明されたのは上層農民の家の実態であったにすぎない。本講義では、歴史人口学の研究手法を取り入れることで、伝統家族の社会学的研究の弱点を克服する、その可能性について考えていきたい。具体的には、歴史人口学の視点、史料、分析方法などを分かりやすく解説し、江戸時代の農民家族に関する実証研究の成果を紹介しながら、江戸時代の中下層を含めた農民の家族生活に迫りたい。

テキスト：

なし

参考書：

速水融編『歴史人口学と家族史』藤原書店

岡田あおい『近世村落社会の家と世帯継承 家族類型の変動と帰郷』知泉書館

【07】社会学特殊 (セ)(2)(春学期)

【07】社会学特殊 (セ)(2)(秋学期)

【04】社会学特殊 (4)(通年) 講師 棚橋 訓  
ことばの文化人類学、ふたたび

授業科目の内容：

本年度は、ことばをめぐる諸問題について文化人類学の立場からこれを講じる。ことばをめぐる総合的知見、ことばと文化の関係、資源としてのことば、ことばと環境、等々、なるべく広い視点と素材からことばの問題をとりあげ、21 世紀の今と将来を考えるうえでの重要な鍵としてのことばの存在を問題化したい。

テキスト：

テキストは指定しないが、以下の参考書は授業にそなえて通読しておくことが望ましい。

参考書：

加賀野井秀一ほか監修『あたらしい教科書 3 ことば』プチグラフィック、2006 年（ISBN4-903267-25-3、本体 1500 円）他の参考書については講義時に適宜指示する。

【07】社会学特 (セ)(2)(春学期)

【07】社会学特殊 (セ)(2)(秋学期)

【04】社会学特殊 (4)(通年)

アニメと事件から読み解く現代社会の諸相とその対策

講師 正木 晃

授業科目の内容：

この講義では、「アニメ・映画」ならびに「事件」を手掛かりとして、現代社会の病理とその対策を考えていく。とりあげるアニメ作品は、「千と千尋の神隠し」をはじめとする宮崎アニメ、庵野秀明『エヴァンゲリオン』や押井守『GHOST IN THE SHELL』、大友克洋『AKIRA』、P・K・ディック原作『スキャナー・ダークリー』など。また映画作品としては『レイマン』をとりあげる。そして、これらの作品を、現代社会のさまざまな問題を、もっとも象徴的かつ的確に表現している媒体として把握し、その内実を読み解いていく。

増加する不可解な犯罪、薬物乱用、あるいは心身の病理など、現代社会がかかえる難問を正しく把握するためには、従来の社会学的な知見では十分ではないという認識にもとづき、ごく初歩ながらも、ぜひとも知っておきたい精神医学上の知識と情報を提供したい。

キーワードは、自然と人間（アニミズム）・生と死・心と体・人間の条件（脳・魂・身体）を想定。

本講義では、問題をただ単に指摘するだけでなく、解決に導く可能性をばらむ視点やコンセプトを伝統的な智慧、とりわけ宗教的な智慧から学ぼうと思う。その一環として、心身の極限に挑む過酷な修業の一端なども紹介する。

テキスト：

正木晃『仏教にできること』（大法輪閣、2007 年、1995 円）

参考書：

・正木晃『お化けと森の宗教学』（春秋社、2002 年、1890 円）

・正木晃『裸形のチベット』（サンガ、2008 年、892 円）

【07】社会学特殊 (セ)(2)(春学期)

【07】社会学特殊 (セ)(2)(秋学期)

【04】社会学特殊 (4)(通年)

演劇の人類学 [ Theatre Anthropology ] 講師 宮尾 慈 良

授業科目の内容：

演劇を人類学の視点から考察してみる。とくにアジア民族が伝承する演劇・舞踊・映画の表現形態を理解するには隠れた世界観の文化解読が必要である。演劇を研究していくのに必要なフィールドワークの方法、文献資料の解読、図像学からの分析、映像人類学としての記録法、身体動作の記譜法などから探求してみる。

テキスト：

テキストは授業時に指示する。

参考書：

・宮尾慈良『舞踊の民族誌』彩流社。『世界の民族舞踊』新書館。『アジア舞踊の人類学』Parco出版。

・インド演劇理論書『ナーチャシャーストラ Nattyasastra』, Brandon "Theatre in Southeast Asia "

【07】社会学特殊 (セ)(2)(春学期)

【07】社会学特殊 (セ)(2)(秋学期)

【04】社会学特殊 (4)(通年)

現代中国論 講師 西園寺 一 晃

授業科目の内容：

中国が存在感を増している。21 世紀後半は「米中の時代」になるかもしれない。日本は中国とどのような関係を構築するのか、選択を迫られるだろう。中国は目覚ましい勢いで生成・発展しているが、一方で格差の拡大、エネルギー不足、環境の悪化など「歪み」に悩まされている。本講義では、急成長する中国の光と影の部分を探り、全体像に迫ることによって、今後の日中関係のあり方を考える。

テキスト：

特に指定しない。毎回講義資料を配布する。

参考書：

特になし。必要に応じて指定。

【07】社会学特殊	(セ)(2)(春学期)		
【07】社会学特殊	(セ)(2)(秋学期)		
【04】社会学特殊	(4)(通年)	農業・農村の近現代	講師 原山 浩介

授業科目の内容：

本講義では、農業及び農村社会の近代化過程を、理論と実態の推移の両面から捉えていく。

農村社会に関する理論枠組みとして、「イエ・ムラ論」がある。これは、農村社会を理解するために蓄積されたものであると同時に、とりわけ太平洋戦争後、日本の社会をどう捉え、方向づけるのかという問題関心に支えられて議論された。「イエ・ムラ論」を考えることの現代史的意義と今日の意義を探ることが、本講義の目的のひとつである。

しかし、こうした事柄を考える上では、農村と農業が日本社会のなかで、あるいは世界のなかで、どのような位置にあるのかを考える必要がある。また、農村・農業と関わって起こった社会運動や、農業労働の現場に関わる知識も必要になる。

それゆえ本講義は、農業経済学・農村社会学・社会運動論・近現代史といった、いくつかの領域を横断しながら、農村・農業をめぐる概念的な要素を盛り込んでいく。

テキスト：

池上甲一・岩崎正弥・原山浩介・藤原辰史『食の共同体』ナカニシヤ出版

【07】社会学特殊	(セ)(2)(春学期)		
【07】社会学特殊	(セ)(2)(秋学期)		
【04】社会学特殊	(4)(通年)	異文化コミュニケーション	講師 塚田 文子

授業科目の内容：

広範囲に進展するグローバル化の中で文化的背景の異なる人々が接触したとき、彼らの言語・非言語コミュニケーション活動に何が起き、それが同文化圏で行われるものとどのように異なるのか考察します。長年親しんだ環境を離れて新しい文化環境に入っていく際に現地でのように対応するのかという適応の問題についても事例を挙げながら考察していきます。考察の対象としては、海外駐在員、外国人労働者、その配偶者と家族、現地の従業員、地域在住日本人、国際協力に関係する人びとなどに焦点を当てます。新しい文化の流入が人びとの生活にどのように影響するのかについても考えます。また、異文化トレーニングの学習を通じた組織における多文化共生能力の養成を考え、多様性を活用し、より活性化した組織の構築や、文化的要因に起因する問題を解決する組織構成員の対応についても考察を進めます。

本授業では、異文化に対する相互理解、積極的・肯定的態度の構築、新価値を創造するための多様性活用・環境について考え、異文化トレーニングの技能を習得した人材育成を目的とします。

テキスト：

古田暁監修/石井敏・岡部朗一・久米昭元著「異文化コミュニケーション-新・国際人への条件[改定版]」(有斐閣選書 2001年1700円+税)

参考書：

講義中に紹介します

【07】社会学特殊	(セ)(2)(春学期)		
【07】社会学特殊	(セ)(2)(秋学期)		
【04】社会学特殊	(4)(通年)	広告プランニングの理論と実際	講師 岸 志津江

授業科目の内容：

この授業では企業などの組織が市場に対して行うマーケティング・コミュニケーション戦略の立案過程について、広告を中心に学ぶ。多くの人々に到達できるマスメディアを使うことが広告の特徴とされてきたが、インターネットに代表される情報環境の変化を踏まえて、マスメディア広告に限定されないコミュニケーション方法を学ぶ。また、短期的な販売促進を目的とする方法だけでなく、長期的ブランド構築を目的とするコミュニケーション方法についても学ぶ。

授業では広告を見ることよりも、広告が企画され、効果を生むまでの目に見えない過程を理解することを目的とする。受講者が少人数であれば授業中にディスカッションを取り入れるが、そうでない場合にも適宜、テーマに関連した事例を紹介しながら進める。それにより、「コミュニケーションにより企業の課題解決をする能力」を修得してほしい。

テキスト：

岸志津江・田中洋・嶋村和恵(2008)『現代広告論(新版)』有斐閣。

参考書：

必要に応じて、授業中に紹介する。

【07】社会学特殊	(セ)(2)(春学期)		
【07】社会学特殊	(セ)(2)(秋学期)		
【04】社会学特殊	(4)(通年)	“自我・自己”の理解	講師 土屋 明夫

授業科目の内容：

“Man is mortal.”、我々人間は、この限りある自分の人生を自分が納得できる状態で送れるか否かは、この世に生を受けた人々に課せられた課題である。

ところで、この課題を考える上で大切なことの一つは、その主役である“自分自身(自己・自我)”についての理解を深めることである。そこで本講義は、“自我・自己”の問題を、発達心理学、認知心理学や比較文化的視点、さらに Well-being の視点なども考慮しながら解説してみることにする。

テキスト：

特に指定しません。

参考書：

- ・土屋明夫編著「発達と学習」(八千代出版, 2005, 1800円)
- ・田之内, 土屋, 和田, 伊坂, 鎌田共著「ガイド・社会心理学」(北樹出版, 2006, 1900円)
- ・南 博著「日本的自我」(岩波新書, 1983)
- ・必要に応じ、授業時に指示します。

【07】社会学特殊	(セ)(2)(春学期)		
【07】社会学特殊	(セ)(2)(秋学期)		
【04】社会学特殊	(4)(通年)	高齢化社会と私たちの生き方	講師 小倉 康嗣

授業科目の内容：

高齢化社会という現実が、その実われわれに問いかけているものはなんなのか 私たちはこの問いに十分向き合ってきたでしょうか? 「老い」とは、若い私たちにとって、しよせん他人事なのでしょうか?

この授業では、高齢化社会を私たち一人ひとりの「生き方/ものの見方/人間観」が根本的に問われてくる歴史の変革期として理解し、そういった歴史的社会的状況のなかで岐路に立っている現代人の生き方を見据えながら、一人ひとりの生き方の問い直しをこれからの社会への展望につなげていく術を模索します。

テキスト：

春学期は、毎回レジュメを配布します。秋学期は、以下のテキストのライフストーリーをグループワークに活用します。

小倉康嗣『高齢化社会と日本人の生き方 岐路に立つ現代中年のライフストーリー』(慶應義塾大学出版会, 2006年)

参考書：

授業のなかで適宜紹介します。

【07】【04】社会学特講	(2)(秋学期)	データ分析の概要とSPSS演習	講師 金 鐵 鎔
---------------	----------	-----------------	----------

授業科目の内容：鑽鐵

本講義は、調査や実験などで得られたデータを分析する一連の過程について解説します。データ分析技法の概要を学習するとともに、データを使った実際の演習を通じてデータ分析方法を身につけることが本講義の目標です。すなわち、主に実際の統計解析に関わる分析技法を習得することが目的です。適切なデータ分析のための準備作業、データ分布の全体的な傾向の把握、統計解析の理論に基づいたデータ分析に至るまでのデータ処理を行うことによって、分析結果の解釈や予測を導くことができます。

本講義では、主に社会科学分野で広く使われている統計解析ソフトウェア SPSS の使い方、その分析結果の解釈について理解できるようにします。具体的には、データの整理、ファイルの取り扱い、調査データの集計(度数分布表)、平均値、分散、標準偏差などの基礎統計量、各種グラフの作成、変数間の関連性の検定(カイ二乗検定、相関分析)、平均値の比較(t検定、分散分析)多変量解析(因子分析、主成分分析、重回帰分析、判別分析、数量化理論)など具体的にデータを使用し紹介します。

テキスト：

特に指定しない。講義資料を適宜配布する。

【07】【04】社会学特講	(2)(春学期)	民族音楽学	講師 伏 木 香 織
---------------	----------	-------	------------

授業科目の内容：

ある芸能が、ある地域の特定の時代に成立するのはなぜか。本講義は、芸能を行う人々とそれをとりまく社会、特に地域との関係に注目し、なぜその地にその芸能が生まれたのかを探る。また芸能やそれを行う人々、その集団と社会、歴史などとの関連性を探り、それが芸能そのものにも与えた影響についてアジアや日本の事例を中心に考えたい。

題材としてとりあげようと考えている地域と芸能は以下のとおりである。インドネシア(バリ島のガムラン、ポピュラー音楽)

シンガポール(チャイニーズ・ストリート・オペラ)  
アルジェリア(ライ)

日本(おわら)

テキスト:

授業中に指示する。

参考書:

授業中に指示する。

---

【07】【04】社会学特講 (2)(春学期)

都市社会と民俗文化

講師 八木橋 伸 浩

授業科目の内容:

狭い島国とされる日本ではあるが、異なる環境や風土のもとで育まれてきた社会や文化は画一的なものではない。近代化の波をくぐり、都市化の影響を受けることで、ともすれば均質的な社会や文化を安易に想定しがちだが、現実とはそれほど単純ではない。本講義では民俗学的アプローチを中心に、都市社会、都市と対置される農村社会、都市社会で認められる民俗文化の諸相について具体的な事例を交えて講述します。

テキスト:

特に指定しません。必要に応じて講義資料プリントを配布します。

参考書:

八木橋伸浩『都市周縁の考現学』(言叢社, 1995年)

その他、発揚に応じて講義時に指示します。

---

【07】【04】社会学特講 (2)(春学期)

現代アフリカ世界への人類学的アプローチ

講師 坂 本 邦 彦

授業科目の内容:

文化人類学・社会人類学の研究のなかで蓄積されてきた民族誌のなかから主にアフリカをフィールドとするものを取りあげ、文化のコンテクストにそってさまざまなものの考え方を理解していくとはどういうことかを考えていく。これを通じて、多元の様相を呈している現代世界を読み解くための人類学的発想法に触れていきたい。

講義の中心はアフリカに関係することになるが、アフリカに限らずとこかでフィールドワークをやってみたいと考えている学生の受講を期待する。視聴覚資料をできるだけ使用していく予定である。

テキスト:

使用せず。講義資料プリントを配布。

参考書:

川田順造編著『アフリカ入門』(新書館, 1999年, 2400円)

宮本正興編著『新書アフリカ史』(講談社, 1997年, 1400円)

和田正平編『アフリカ女性の民族誌』(明石書店, 5665円)

福井勝義『認識と文化』(東京大学出版会, 2472円)

富永智津子『ザンジバルの笛』(未来社, 2200円)

---

【07】【04】社会学特講 (2)(秋学期)

民族音楽

講師 山 本 宏 子

授業科目の内容:

世界のさまざまな地域・民族の音楽から、社会と文化の相互関係を学ぶ。

テキスト:

プリントを配布

参考書:

山本宏子『日本の太鼓, アジアの太鼓』(青弓社 2002, 1600円)

---

【07】【04】社会学特講 (2)(春学期)

宗教とジェンダー

講師 小 林 奈 央 子

授業科目の内容:

ジェンダーとは、社会科学において、男はこうあるべき、女はこうあるべきというような、社会や文化によって決められた性のありようをいう。本講義の主眼は、このジェンダーの視点を通して宗教を見ていくと、いかなる事象や問題が見えてくるかを探ることにある。宗教は、神のような人間を超越した聖なる存在をしばしば規定する。そしてそれゆえに、封建的な思考、支配的な価値観と結びつきやすい性格を帯びてきた。また、その神が「父なる神」などというように、男性として捉えられることが多く、それが人間の男女の序列にも投影され、家父長的な社会を助長してきた面がある。しかしながら一方で、多くの社会にある搾取や差別を否定し、人々のエンパワーメントの源になってきたのも宗教なのである。このような宗教とジェンダーの複雑な関係を考えてみる機会にして頂ければと思う。

テキスト:

特に指定ありません。

参考書:

『混在するめぐみ』川橋範子・黒木雅子(人文書院, 2004) / 『ジェンダーで学ぶ宗教学』田中雅一・川橋範子編(世界思想社, 2007)

---

【07】【04】社会学特講 (2)(春学期)

拡大するインド世界

講師 関 口 真 理

授業科目の内容:

宗教や文化といった古典的なイメージに急速な経済発展、IT産業など新しい顔が知られるようになったインドを考えるため、現代インドの様々な事象をとり上げて検討します。トレンドカルチャー社会現象、ヨーガや食など世界に広まった「インド」的なもの、海外のインド人移民など、幅広くトピックを拾い出していきます。インドについて初めて学ぶ人のために、インドの基礎的な情報も押えます。参加者の関心を持つ「インド」のテーマについてもとり上げる可能性があります。

テキスト:

特になし

参考書:

必要に応じて提示します。

## 選 択 科 目

- 【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学研究会 (3年)(2)(通年)

[春]教授 浜 日出夫  
[秋]教授 岡 原 正 幸  
講 師 田 中 大 介

授業科目の内容：

- (1) 全体テーマ  
今年度の全体テーマは「東京」である。  
(2) サブゼミ  
全体テーマの下にいくつかのサブゼミを設け、サブゼミごとに共同研究を行なう。  
(3) 個人研究  
各自テーマを決めて個人研究を行ない、3年生はゼミ論(12000字以上)、4年生は卒論(40000字以上)を作成する。

テキスト：

開講時に指示する。

参考書：

講義時間内に紹介する。

- 【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学研究会 (3年)(2)(通年)  
designing emotions 教授 岡 原 正 幸

授業科目の内容：

team Oka による実験的社会プロジェクトあるいは社会彫刻の実践です。ゼミの WEB, <http://wikiwiki.jp/teamoka/> を参考にしてください。とくに「三田の家」「芝の家」を拠点にした活動です。

このスペースは、この「講義要綱」にあって特異ではないでしょうか。というのは、今年度の「研究会」すなわちゼミを履修する学生はすでに選抜を経て、決定済みだからです。その時点で授業の内容もすでに大方は知られてあります。つまり、履修するはずの学生にとっては、このスペースの説明内容は全く冗長ですし読まなくても構わないものでしょう。さらに、この要綱は新学期が始まってからの緊急事態に対応できる印刷物でもありません。だから「研究会」については、この要綱、履修にあたっての情動的な価値はまさにゼロだといえようがありません。だとしたら、なぜこの部分書かれるのでしょうか。僕は、こう思うのです。このスペースに置かれる言説は、「社会学研究会」を現に履修する者に対してではなく、研究会を「履修しない者」に対して、向けられているのです。この逆説…。たしかに、それぞれの研究会が順次説明されることによって、研究会どうしの「差異」に基づく、個々の研究会ひいては担当教員の「意味」が効果として提出されることはあるかもしれませんが。とはいえ、この逆説、ストレートに考えましょう。「履修しない」とは、時間化すれば、「未だ履修しない」ということであり、そこには、将来的な履修可能性を担った学生、たとえば二年生が含まれます。だとしたら、いたって簡単、このスペースは今年度の講義要綱にあるにもかかわらず、実質、来年度以降の講義要綱だということです。つまり一年先の予告編。そしてもうひとつ。履修しないには、「決して履修しない」が含まれるでしょう。その人たちにこのスペースが向けられれば、それは呼びかけ、示威行為あるいは煽動ではないでしょうか。僕も、この後者の意味で、偶然ここに目を留めたあなたに、呼びかけたいと思います。もしあなたが、感情・身体、アート・パフォーマンス、セクシュアリティ・ライフスタイル、差別・社会的不平等に、自分の魂を震わせるなら、「既存の」「まっとうな」「常識的な」生き方に嘔吐するなら、「権威ある」「正当化された」「善良な」ことがらを「とにかく・取り敢えず・まずは、壊してみたい」と欲するなら、僕を研究室(225号 内線 23074)に訪ねてください。何か方策を一緒に考えてみましょう。

- 【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学研究会 (3年)(2)(通年) 教授 岡 田 あおい

授業科目の内容：

本研究会は、家族および家の理論の理解を深め、わが国における現代社会の諸問題を家族、および家の視点から分析、考察することを中心的なテーマとする。

テキスト：

その都度指示する。

- 【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学研究会 (3年)(2)(通年)  
都市と観光の比較社会学 教授 藤 田 弘 夫

授業科目の内容：

- (1) テキストの輪講  
(2) 各人の研究テーマの深化  
(3) フィールド調査

テキスト：

各自の発表です。

参考書：

友枝敏雄・山田真茂編『Do! ソシオロジー』有斐閣 2007年

- 【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学研究会 (3年)(2)(通年) 教授 鈴 木 正 崇  
講 師 弓 山 達 也

授業科目の内容：

文化人類学を専門とするゼミである。宗教学や日本研究(民俗学を主体とする)も取り込んで構成する。半期ごとに特定の主題を設定して、専門書や論文を報告し討論を行なう。4年生は数度の間発表を行い卒業論文作成の指導を行なう。

- 【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学研究会 (3年)(2)(通年) 教授 野 村 伸 一

授業科目の内容：

東アジアの地域研究をめざします。

この研究会では各自が自由に地域と問題を設定して、最後に、卒業論文という作品を生み出すことをめざします。

- 【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学研究会 (3年)(2)(通年)  
教育社会学研究 教職課程センター 准教授 竹 村 英 樹

授業科目の内容：

3年生の研究会は、教育に関する社会学的研究を行なう。本年度は「学校社会学」をテーマとする。まずは、文献研究を中心に進めるが、各自が関心ある研究テーマを見つけ、フィールドを持ち、4年時の卒業論文執筆に向けてスタートができるように、支援していきたい。理論的研究と経験的研究をバランスよく取り上げ、教室だけの勉強にとどまらず、各種の見学・観察を取り入れ、進めていきたい。また、共同研究を課し、三田祭で発表する。

テキスト：

別途指示します。

参考書：

別途指示します。

- 【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学研究会 (3年)(2)(通年) 教授 鈴 木 正 崇

授業科目の内容：

文化人類学を専門とするゼミである。宗教学や日本研究(民俗学を主体とする)も取り込んで構成する。半期ごとに特定の主題を設定して、専門書や論文を行なう。4年生は数度の間発表を行い卒業論文作成の指導を行なう。

- 【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学研究会 (3年)(2)(通年)  
現代社会とところをめぐる諸問題 准教授 長 尾 真 理

授業科目の内容：

現代社会は、心理的・社会的なストレス要因にあふれている。これらの中には深刻な心的障害を引き起こすケースも少なくない。このように、現代人が日常生活の中で避けることのできない ところ の問題を取り上げ、多角的に検討することがこの研究会の中心テーマである。

秋学期以降は、受講者の研究テーマ別にグループ・ワークを行い、更に卒業論文の完成をめざして指導する。

受講者には明確な問題意識と共に、自らの研究テーマに主体的に取り組む姿勢が望まれる。

【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学研究会 (3年)(2)(通年) 教授 榊 博文

授業科目の内容:

態度変容, 説得, 对人的影響, 社会的影響, 又, 広告・普及などの集合現象を主たる研究テーマとするゼミですが, 社会心理学と関連するテーマなら幅広く取り扱いますので, 対人魅力, 援助行動, マスコミ, 流行などのテーマを研究することも可能です。研究方法としては, 実験, 調査などの量的データによる方法を主としますが, 観察, インタビュー, 文献研究, その他の質的データによる研究方法を用いても構いません。又, 質的データを量的データに変換して分析することも自由です。

テキスト:

榊博文『説得と影響 交渉のための社会心理学』ブレーン出版

参考書:

適宜指示します。

【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学研究会 (3年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学研究会 (3年)(2)(通年) 教授 李 光 鎬

授業科目の内容:

春学期には, メディアとコミュニケーションに関する研究書を輪読・発表しながら基礎的な概念や理論について学ぶ, またグループ・ワークの形で調査, 実験, 内容分析などの実証的な研究を行い, その成果を発表する。秋学期には専門的な研究論文を読みながら, 4年次の卒業論文のテーマについて考えて行く。

テキスト:

授業の中で適宜指定する。

参考書:

授業の中で適宜示す

【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学研究会 (4年)(2)(通年)

[春] 教授 浜 日出夫

[秋] 教授 岡 原 正 幸

講師 田 中 大 介

授業科目の内容:

(1) 全体テーマ

今年度の全体テーマは「東京」である。

(2) サブゼミ

全体テーマの下にいくつかのサブゼミを設け, サブゼミごとに共同研究を行なう。

(3) 個人研究

各自テーマを決めて個人研究を行ない, 3年生はゼミ論(12000字以上), 4年生は卒論(40000字以上)を作成する。

テキスト:

開講時に指示する。

参考書:

講義時間内に紹介する。

【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学研究会 (4年)(2)(通年)

都市と観光の比較社会学 教授 藤 田 弘 夫

授業科目の内容:

(1) テキストの輪読

(2) 各人の研究発表

(3) 画像資料論

テキスト:

橋本他編『世界の都市社会計画』東信堂 2008年

J.アーリ『観光のまなざし』法政大学出版局

参考書:

マルク・ボワイエ『観光のラビンス』法政大学出版会 2006年

【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学研究会 (4年)(2)(通年) 教授 鈴 木 正 崇  
講師 弓 山 達 也

授業科目の内容:

文化人類学を専門とするゼミである。宗教学や日本研究(民俗学を主体とする)も取り込んで構成する。半期ごとに特定の主題を設定して, 専門書や論文を報告し討論を行なう。4年生は数度の中間発表を行い卒業論文作成の指導を行なう。

【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学研究会 (4年)(2)(通年) 教授 李 光 鎬

授業科目の内容:

メディアとコミュニケーションに関する実証研究を行い, 卒業論文としてまとめる。

テキスト:

特になし

参考書:

授業の中で適宜示す

【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学研究会 (4年)(2)(通年)

名誉教授 平 野 敏 政

授業科目の内容:

家族および家の理論の理解を深め, わが国の近・現代社会における諸問題を家族, および家の視点から分析, 考察することを中心的テーマとしています。

【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(春学期)

【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(秋学期)

【04】社会学研究会 (4年)(2)(通年)

designing emotions 教授 岡 原 正 幸

授業科目の内容:

team Oka による実験的社会プロジェクトあるいは社会彫刻の実践です。ゼミの WEB, <http://wikiwiki.jp/teamoka/> を参考にしてください。および個人もしくは共同での卒業制作(論文形式以外の多様な手法を認めています)

【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(春学期)

【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(秋学期)

【04】社会学研究会 (4年)(2)(通年)

卒業論文指導 教職課程センター 准教授 竹 村 英 樹

授業科目の内容:

卒業論文研究について12月までに最低4回の発表を行なう。

【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(春学期)

【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(秋学期)

【04】社会学研究会 (4年)(2)(通年) 教授 野 村 伸 一

授業科目の内容:

東アジアの地域研究をめざします。

この研究会では各自が自由に地域と問題を設定して, 最後に, 卒業論文という作品を生み出すことをめざします。

参考書:

随時, 口頭, メールなどで提示します。

【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(春学期)

【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(秋学期)

【04】社会学研究会 (4年)(2)(通年) 教授 榊 博文

授業科目の内容:

態度変容, 説得, 对人的影響, 社会的影響, 又, 広告・普及などの集合現象を主たる研究テーマとするゼミですが, 社会心理学と関連するテーマなら幅広く取り扱いますので, 対人魅力, 援助行動, マスコミ, 流行などのテーマを研究することも可能です。研究方法としては, 実験, 調査などの量的データによる方法を主としますが, 観察, インタビュー, 文献研究, その他の質的データによる研究方法を用いても構いません。又, 質的データを量的データに変換して分析することも自由です。

テキスト:

榊博文『説得と影響 交渉のための社会心理学』ブレーン出版

参考書:

適宜指示します。

【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(春学期)

【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(秋学期)

【04】社会学研究会 (4年)(2)(通年)

現代社会とところをめぐる諸問題 准教授 長 尾 真 理

授業科目の内容:

現代社会は, 心理的・社会的なストレス要因にあふれている。これらの中には深刻な心的障害を引き起こすケースも少なくない。このように,

現代人が日常生活の中で避けることのできない ところ の問題を取り上げ、多角的に検討することがこの研究会の中心テーマである。

秋学期以降は、受講者の研究テーマ別にグループ・ワークを行い、更に卒業論文の完成をめざして指導する。

受講者には明確な問題意識と共に、自らの研究テーマに主体的に取り組む姿勢が望まれる。

- 
- 【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学研究会 (4年)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学研究会 (4年)(2)(通年) 教授 鈴木 正 崇
- 

授業科目の内容：

文化人類学を専門とするゼミである。宗教学や日本研究(民俗学を主体とする)も取り込んで構成する。半期ごとに特定の主題を設定して、専門書や論文を報告し討論を行なう。4年生は数度の中間発表を行い卒業論文作成の指導を行なう。

- 
- 【07】社会学原典講読 (英)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学原典講読 (英)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学原典講読(英)(2)(通年)  
エスニシティから捉える同時代世界 講師 小西 公 大
- 

授業科目の内容：

世界中の国境が曖昧になり、いわゆるトランスナショナルな状況が発生している同時代世界において、自らをどこに位置づけるか、また「他者」をどのように捉えるかといった問題はますますその重要度を増している。また、自/他の位置づけをめぐる政治学的な側面が浮き彫りとなってくるような世界に、我々は生きている。本講義は、こうした現代の複雑な社会状況を捉えるための基本的な分析的枠組みや視点を学び、身につけていくことを目的とする。起点として、集合的アイデンティティと深く結び付いている「エスニシティ」概念を置き、同概念をめぐる多様な議論を概観していくことで、より幅広い社会科学的なセンスを養っていくことを目指す。テキストは初学者向けのオムニバス論集であるハッチンソン & スミスの『Ethnicity』(下記)を用いる。各回一人の報告者を決め、担当する小論の内容を報告し、問題点や論点を提起してもらう。副読本や、具体的な資料は適宜指示する。世界の状況を肌で感じることのできるような映像資料の鑑賞も行う。

テキスト：

Hutchinson, J. and Anthony D. Smith (eds.), 1996, *Ethnicity*, Oxford University Press.

参考書：

エリクセン, T.H. 2006 『エスニシティとナショナリズム 人類学の視点から』明石書店  
井上俊・伊藤公雄(編) 2008 『社会学ベーシックス 自己・他者・関係』世界思想社

- 
- 【07】社会学原典講読 (英)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学原典講読 (英)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学原典講読(英)(2)(通年)  
ナショナリズムとグローバリゼーション  
講師 望月 要子
- 

授業科目の内容：

ベネディクト・アンダーソンは、4半世紀前に、ナショナリズム研究の最重要書のひとつといえる『想像の共同体』を著しました。本講義のテキストには、国民国家分析やナショナリズム研究において必ずと言っていいほど引用される、Benedict AndersonのImagined Communitiesを使用します。1年を通じてグローバリゼーションの下でのナショナリズムという大きな問いと向き合います。

テキスト：

Anderson, Benedict (2006). *Imagined Communities: Reflections on the Origin And Spread of Nationalism* (Revised Edition). London & New York: Verso Books. (1983年のオリジナル版, 1991年の改訂版もありますが、2006年版の購入をお勧めします)

参考書：

ベネディクト・アンダーソン(著), 白石さや・白石隆(訳) 『定本想像の共同体 ナショナリズムの起源と流行』出版:書籍工房早山 発売:図書新聞 ISBN:978-4-88611-508-9 発行年月:2007年7月

- 
- 【07】社会学原典講読 (英)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学原典講読 (英)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学原典講読(英)(2)(通年)  
マス・コミュニケーション研究の主要理論を原語で学ぶ  
講師 大坪 寛子
- 

授業科目の内容：

この授業では、毎回、担当者による発表と、全員による議論という形式で、1年間をかけて1冊のテキストを読み進めていきます。全受講生が、発表に向けて各担当部分をじっくりと読み込み、さらに毎回の議論に参

加することで、内容の理解を深めていくことを狙いとしています。各受講生がマス・コミュニケーション研究の主要理論についてしっかりと理解し、原語で研究論文を読みこなせるようになることが、この授業の最終的な目標です。

テキスト：

Perry, D. K. (2002) *Theory and Research in Mass Communication: Context and Consequence*, Mahwah, NJ: Lawrence Erlbaum Associates.

参考書：

スタンリー・J・バラン, デニス・K・デイビス, 宮崎寿子監訳(2007) 『マス・コミュニケーション理論(上)(下)』新曜社

- 
- 【07】社会学原典講読 (独)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学原典講読 (独)(セ)(1)(春学期)  
【04】社会学原典講読(独)(2)(春学期集中)  
ドイツ語圏の著作に関心を寄せる 教授 岡原 正 幸
- 

授業科目の内容：

ドイツ語圏の著作を読解すること、およびその内容を他のメディアで伝えるべく編集すること。場合によっては、そこから一本の脚本を書き上げる。

- 
- 【07】社会学洋書講読 (英)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学洋書講読 (英)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学洋書講読(英)(2)(通年) 准教授 長尾 真理
- 

授業科目の内容：

英語の学術文献を直接読み解くことによって、英文の読解力向上と、的確な論旨の把握をめざす。講義では、あらかじめ割り当てられた担当部分を訳出・要約する。テキスト等については、初回の講義で指示する。

- 
- 【07】社会学洋書講読 (仏)(セ)(1)(春学期)  
【07】社会学洋書講読 (仏)(セ)(1)(秋学期)  
【04】社会学洋書講読(仏)(2)(通年)  
M・フーコーを読む 講師 佐々木 中
- 

授業科目の内容：

M・フーコーのテキストは、その盛名にもかかわらず、断片的かつ恣意的な読解に国内外にわたって曝されつづけている。ここでは特に『監獄の誕生』以後の後期フーコーに力点を置きながら、動揺や混乱をも来して進むフーコーの歩みをいささかなりとも精緻に追い、受講者の思考の一助としたい。

参考書：

佐々木中『夜戦と永遠 フーコー・ラカン・ルジャンドル』, 以文社, 2008年



# 心理学専攻

## 必修科目

【07】知覚心理学 (要)(2)(春学期)	
【07】知覚心理学 (要)(2)(秋学期)	
【04】知覚心理学 (4)(通年)	教授 増田 直衛

### 授業科目の内容:

知覚心理学における基本的な概念, 方法論, 事実を紹介しながら, 心理学としての知覚研究を理解することにあります。春学期は基礎編として, 知覚心理学の基本的な方法論について学びます。秋学期は具体的な事実に触れながら, 知覚心理学における様々なアプローチを紹介します。供覧実験や, AV 機器をできるだけ多く用いて, 知覚心理学における具体的な事実を体験しながら理解を得られるようにします。

### テキスト:

授業で使用するスライドは pdf にして keio.jp 教育支援システムにアップロードします。

### 参考書:

その都度紹介しますが, 一般的に参考になるものを以下に挙げておきます。

- ・大山 正(編)「講座心理学4 知覚」東京大学出版会
- ・柿崎祐一・牧野達郎(編)「心理学1 知覚・認知」有斐閣
- ・松田隆夫(著)「知覚心理学の基礎」培風館

【07】発達心理学 (要)(2)(春学期)	
【07】発達心理学 (要)(2)(秋学期)	
【04】発達心理学 (4)(通年)	教授 山本 淳一
発達科学の基礎と臨床	

### 授業科目の内容:

- (1) 発達心理学と発達臨床についての広範囲の知識を得ることを目的とする。まず, 「理論」および, それを支えている「事実(実験, 観察, 事例)」を理解していく。
- (2) ヒトの心的機能の発達を生み出している条件を, 「環境と個体の相互作用」という観点から詳細に検討する。運動, 知覚, 認知, 言語, 社会性, 情動, などの発達の基礎と, 発達過程の中で子どもたちがもつ様々な問題とその支援方法を検討していく。実験発達心理学という領域への展開を探っていく。
- (3) 発達障害の基礎と最先端の支援方法を詳細に分析していくことで, 臨床発達心理学の視座を学ぶ。

### テキスト:

資料を配布する。

### 参考書:

「発達心理学辞典」(1995) ミネルヴァ書房

【07】行動分析学 (要)(2)(春学期)	
【07】行動分析学 (要)(2)(秋学期)	
【04】行動分析学 (4)(通年)	講師 堀 耕治
実験的行動分析の基礎と展開	

### 授業科目の内容:

行動分析は, 概念体系においても方法においても, 現代心理学の柱の1つとして位置づけることができる行動の科学である。扱う問題は基礎, 応用の両方にわたっている。この講義では行動分析の考え方や概念, 方法を理解するとともに, 基礎領域を中心として行動分析が明らかになってきた諸事実を学ぶ。春学期は行動分析の全体像を平易に語り, 秋学期は春学期の内容を踏まえていくつかのトピックについて詳細な講義をおこなう。

### テキスト:

メイザー「メイザーの学習と行動 日本語版第3版」二瓶社

### 参考書:

随時紹介する。

【07】認知心理学 (2)(春学期)	
【07】認知心理学 (2)(秋学期)	
【04】認知心理学 (4)(通年)	[春]教授 伊東 裕司 [秋]准教授 梅田 聡
記憶研究の最前線	

### 【春学期】

### 授業科目の内容:

本講義では, 1年を通じて, 認知心理学の考え方, および研究方法の理解を目指す, 認知のさまざまな視点からの研究に焦点を当てる。

春学期は, 人間の記憶, 知識, 論理的推理学習に関する基礎的な研究と, それらの応用研究としての目撃証言研究, ブランド知識研究について論じる。

### テキスト:

市川, 伊東(編)(1996) 認知心理学を知る プレーン出版

### 参考書:

初回の授業時にリストを配布します。

### 【秋学期】

### 授業科目の内容:

春学期に引き続き, 認知の基礎的な研究に焦点を当てる。秋学期は, 主に記憶と意識, 感情, 学習, 問題解決, 社会的認知, 認知発達などに焦点を当て, やや専門的な視点からこれまでの研究を概観する。

### テキスト:

授業中に指定する。

【07】生物心理学 (2)(春学期)	
【07】生物心理学 (2)(秋学期)	
【04】生物心理学 (4)(通年)	[春]教授 渡辺 茂 [秋]准教授 川畑 秀明

### 【春学期】

### 授業科目の内容:

生物心理学では心を 1) 神経系の機能として, 2) 進化の産物として, 捉えます。そのため最初の何時間かは神経科学の基礎を学びます。その後, 前期は主として動物に関する講義を行います。

### 参考書:

カールソン「神経科学テキスト」丸善 渡辺茂・小嶋祥三「脳科学と心の進化」岩波書店

### 【秋学期】

### 授業科目の内容:

ヒトを対象にした脳機能計測の基礎, ヒト脳の仕組み(脳の構造, モジュラリティ), 感覚・知覚(特に視覚と聴覚)や注意・運動制御に関する神経基盤を中心に紹介する。特に, 刺激情報のモジュール化された処理とその統合, 制御に関する心理学・神経科学の事項について, 乳幼児の視覚発達を含む行動研究や脳機能画像研究, 脳損傷の研究をもとに紹介する。毎回いくつかのデモンストレーションを交えて, 心理現象を体感し, その背景にある脳の仕組みについて講義する。

### 参考書:

田中啓治(編)『認識と行動の脳科学』東京大学出版会  
クリストフ・コッホ『意識の探究 神経科学からのアプローチ』上・下 岩波書店  
その他授業において紹介します。

【07】【04】心理測定論(2)(春学期)	准教授 川畑 秀明
-----------------------	-----------

### 授業科目の内容:

心理学で用いられる測定の中で, 心理的側面を数値化する方法について学ぶ。測定の対象としては, 主に人を対象とした, 感覚・知覚, 認知(記憶・注意など), 性格, 知能, 好ましさ, などを取り上げるが, 測定方法はこれら以外の対象についても応用可能なものである。とりわけ, 実験心理学で取り扱われている精神物理学的測定法と, 反応時間や正答率を扱った行動指標を中心に学ぶ。

### テキスト:

なし

### 参考書:

市川伸一(編著)『心理測定法への招待 測定からみた心理学入門』サイエンス社  
海保博之・加藤隆(編著)『認知研究の技法』福村出版  
繁樹算男(編著)『新版 心理測定法』財団法人 放送大学教育振興会

【07】【04】心理学史(2)(春学期)	教授 渡辺 茂
----------------------	---------

### 授業科目の内容:

心理学には長い過去と短い歴史がある, というのが心理学史の講義の枕の定番であるが, 僕に可能な範囲で過去についても言及したい。とはいっても, やはり実験心理学の成立を中心に, 1960年くらいまでの心理学の歴史を勉強することになる。できる限り原典の一部を読んで一次資料から歴史を考えてみたい。実験科学としての心理学の勉強と歴史科学としての心理学史の勉強は大変異質なもので, 僕自身歴史科学の正規教育を受けていないが, これまた僕のできる範囲で単なる学説の変遷ではなく, 歴史科学としての授業を目指してみたい。

### 参考書:

最初に一覧表を渡します。



- 【07】心理統計 (要)(2)(春学期)
- 【07】心理統計 (要)(2)(秋学期)
- 【04】心理統計(4)(通年) 助教 大森 貴 秀

授業科目の内容:

心理学実験や調査に最低限必要と考えられる統計学の論理,技法を習得することを目標とします。春学期は記述統計,秋学期は推測統計を中心に授業を進めていく予定です。

テキスト:

山内光哉 1998 心理・教育のための統計法 第2版,サイエンス社 2500円

参考書:

授業内で随時紹介します。

- 【07】心理学原典講読 (1)(春学期)
- 【07】心理学原典講読 (1)(秋学期)
- 【04】心理学原典講読(2)(通年)[春]助教 大森 貴 秀
- [秋]准教授 川畑 秀 明

### 【春学期】

授業科目の内容:

心理学を学ぶ上で必要となる英文文献の読解力習得を目的とする。春学期は実験論文を精読することで心理学英語文献の論理,専門用語,特有の表現について基礎的な知識を学ぶ。

テキスト:

学期開始時の授業内で指示する。

### 【秋学期】

授業科目の内容:

春学期に引き続き,心理学の研究を進める上で必要とされる専門用語の基礎知識や論文構成の理解などを目的として,英語で書かれた専門書を精読する。心理学を学ぶ上で必要となる英文文献の読解力習得を目的とする。

テキスト:

初回授業時に指定する。

参考書:

アメリカ心理学会編『APA論文作成マニュアル』医学書院

- 【07】心理学実験 (要)(2)(春学期)
- 【07】心理学実験 (要)(2)(秋学期)
- 【04】心理学実験 (2)(通年)
- 【04】心理学実験 (2)(通年) 准教授 梅田 聡
- 准教授 川畑 秀 明
- 助教 大森 貴 秀
- 講師 篠塚 一 貴
- 講師 丹野 貴 行

授業科目の内容:

心理学の基礎的実験法と実験心理学で研究された基礎的事実についての実験実習を行う。この授業は実験心理学の根幹をなし,且つ卒業実験を行う為に必須の知識・技術の習得を計るものであるから,受講者はそれなりの覚悟を持って授業に臨まねばならない。心理学専攻の学生以外は履修できない。

- 【07】心理学研究会 (要)(1)(春学期)
- 【07】心理学研究会 (要)(1)(秋学期)
- 【04】心理学研究会 (2)(通年) 教授 山本 淳一

授業科目の内容:

発達心理学(発達科学,実験発達心理学,臨床発達心理学)に関する,最先端の知識を吸収するために,英語の学術論文を読み,発表し,討議する。このことを通して,短い時間での論文内容の把握,レポートの作成方法,プレゼンテーションやディスカッションの進め方を学んでゆく。

テキスト:

資料を配布します。

参考書:

資料を配布します。

- 【07】心理学研究会 (要)(1)(春学期)
- 【07】心理学研究会 (要)(1)(秋学期)
- 【04】心理学研究会 (2)(通年)
- 知覚の心理学 教授 増田 直 衛

授業科目の内容:

知覚心理学研究における基本的考え方を身につけることを目的とする。

参考書:

・柿崎祐一「心理学的知覚論序説」培風館

- ・Goldstein, E. B. Sensation and Perception. Brooks/Cole Publishing Company
- ・Fineman, M. The Inquisitive Eye. Oxford University Press.

- 【07】心理学研究会 (要)(1)(春学期)
- 【07】心理学研究会 (要)(1)(秋学期)
- 【04】心理学研究会 (2)(通年)
- 人間の認知・記憶研究 教授 伊東 裕 司

授業科目の内容:

人間の認知・記憶に関する最近の文献を読み,討論する。受講者は各自リサーチクエスチョンを設定し,文献を検索し読み,その内容を他の受講者に紹介し,討論をリードすることを求められる。

- 【07】心理学研究会 (要)(1)(春学期)
- 【07】心理学研究会 (要)(1)(秋学期)
- 【04】心理学研究会 (2)(通年) 教授 山本 淳一
- 特別研究助教 石井 拓

授業科目の内容:

実験的行動分析を中心とした論文の発表と,それについての議論を中心に展開する。この授業を受講する者は,心理学研究会を続けて受講することが求められる。

テキスト:

相談の上決定する。

- 【07】心理学研究会 (要)(1)(春学期)
- 【07】心理学研究会 (要)(1)(秋学期)
- 【04】心理学研究会 (2)(通年) 教授 渡辺 茂

授業科目の内容:

前期はテキストの講読,後期は雑誌論文の講読を行う。

テキスト:

相談の上決定する。

- 【07】心理学研究会 (要)(1)(春学期)
- 【07】心理学研究会 (要)(1)(秋学期)
- 【04】心理学研究会 (2)(通年) 准教授 梅田 聡

授業科目の内容:

卒業論文に向けて,研究テーマを特定し,関連論文の精読,およびそれに関する討議を行う。必要な実験装置の操作方法や解析方法についても学ぶ。「心理学研究会」とともに履修されたい。

- 【07】心理学研究会 (要)(1)(春学期)
- 【07】心理学研究会 (要)(1)(秋学期)
- 【04】心理学研究会 (2)(通年) 教授 山本 淳一
- 特別研究助教 石井 拓

授業科目の内容:

卒業論文の完成を目指し,関連する論文の発表,ならびに研究経過の報告をする。この授業を受講する者は,心理学研究会1と続けて受講することが求められる。

- 【07】心理学研究会 (要)(1)(春学期)
- 【07】心理学研究会 (要)(1)(秋学期)
- 【04】心理学研究会 (2)(通年) 教授 山本 淳一

授業科目の内容:

発達心理学に関する卒業論文作成のための研究デザインの発表,中間報告を行う。また,研究テーマに関する論文をレビューし,自分の研究の位置づけを行う。

テキスト:

資料を配布します。

参考書:

資料を配布します。

- 【07】心理学研究会 (要)(1)(春学期)
- 【07】心理学研究会 (要)(1)(秋学期)
- 【04】心理学研究会 (2)(通年)
- 知覚の心理学 教授 増田 直 衛

授業科目の内容:

受講生の卒論テーマを中心とした研究論文を精読し,知覚心理学研究としての問題の所在を確かめる。

- 【07】心理学研究会 (要)(1)(春学期)  
 【07】心理学研究会 (要)(1)(秋学期)  
 【04】心理学研究会 (2)(通年) 教授 渡辺 茂

授業科目の内容:

実験データの分析を通じて、1)文献検索、2)研究目的、3)実験計画、4)実験技法、5)データ解析、6)論文のまとめ方を学ぶ

- 【07】心理学研究会 (要)(1)(春学期)  
 【07】心理学研究会 (要)(1)(秋学期)  
 【04】心理学研究会 (2)(通年) 人間の認知・記憶研究の実践 教授 伊東裕司

授業科目の内容:

人間の認知・記憶に関する最近の文献を読み、自分自身の研究テーマと関連付けて討論する。各受講者の卒業論文の研究について、随時進行状況を報告し、全員で討論を行う。

- 【07】心理学研究会 (要)(1)(春学期)  
 【07】心理学研究会 (要)(1)(秋学期)  
 【04】心理学研究会 (2)(通年) 准教授 梅田 聡

授業科目の内容:

卒業論文に向けて、研究テーマを特定し、関連論文の精読、およびそれに関する討議を行う。必要な実験装置の操作方法や解析方法についても学ぶ。「心理学研究会」とともに履修されたい。

## 選 択 科 目

- 【07】知覚心理学特殊(2)(春学期)  
 【04】知覚心理学 (2)(春学期) 逆さめがね実験から拓がる知覚の諸問題 講師 吉村浩一

授業科目の内容:

百年以上の歴史をもつ逆さめがね実験について、その歴史の解説と主な研究成果をまとめます。その研究から発展させた心理学的左右論を多角的に解説します。逆さめがねの世界への知覚順応理論を提案した Irvin Rock の知覚論全体を解説します。アニメーション研究など運動知覚研究との学際的研究を紹介します。

テキスト:

なし  
 参考書:  
 なし

- 【07】発達心理学特殊(2)(春学期)  
 【04】発達心理学 (2)(春学期) コミュニケーション能力の発達と脳機能 社会学研究科 特別研究准教授 皆川泰代

授業科目の内容:

乳幼児の音声言語の獲得、社会的認知の発達について代表的研究を紹介しつつ、行動学的研究、脳機能研究の方法論、理論について概説する。発達脳科学を理解するためには、基礎的な脳科学の知識や成人における脳機能の知識が必要になるので、適宜講義内容に加える。受身の講義ばかりでなく、論文を読んで討論を行ったり、実際に自分で実験を考案、体験するなど、できるだけ相互作用のある形態にしたい。

テキスト:

資料を配布します。  
 参考書:  
 授業内で随時紹介します。

- 【07】行動分析学特殊(2)(春学期)  
 【04】行動分析学 (2)(春学期) 人間の実験的行動分析 講師 小野浩一

授業科目の内容:

行動分析学における行動の原理は、基本的に生物種の違いを超えたものである。従って、論文にはしばしば動物を被験体とした研究と人間を対象とした研究が並んでいる。しかしながら、動物の行動と人間の行動が多くの面で異なっていることも確かである。

本講義では、実験的行動分析学と呼ばれる領域を中心に解説するが、その主な内容としては、(1)人間行動の特徴、(2)人間行動を実験的に研究する方法、(3)特に人間において発達している言語、社会、文化に関する行動分析的アプローチ、などが中心となろう。

参考書:

小野浩一著『行動の基礎=豊かな人間理解のために』培風館(2005年)

- 【07】認知心理学特殊(2)(春学期)  
 【04】認知心理学 (2)(春学期) 自伝的記憶と感情 講師 高橋雅延

授業科目の内容:

この授業では、自己に関する過去の出来事の記憶、すなわち自伝的記憶の最新の知見について学ぶために、感情による記憶のゆがみを取りあげる。その際、記憶心理学の枠組みだけにとらわれることなく、臨床心理学、神経心理学、発達心理学、法心理学などの知見を積極的に取りあげる。この授業を履修することにより、自伝的記憶とその方法論についての理解が深まるはずである。

授業は毎時間配布するプリントに基づいた講義形式であるが、各自の講義の理解度を把握するために、毎時間の終わりに10分程度のクイズを行う(平常点による評価)。また、授業時間外の学習として、適宜、紹介する参考文献による自学自習を含む。詳細は授業第1回目のオリエンテーション時に指示する

テキスト:

なし  
 参考書:  
 なし(授業内で適宜、紹介する)

- 【07】生物心理学特殊(2)(春学期)  
 【04】生物心理学 (2)(春学期) 行動神経科学による記憶研究 講師 菅 理江

授業科目の内容:

主に動物を対象とした、行動の変容と能の可塑性に着目した記憶研究について講義する。

テキスト:

特になし  
 参考書:

Squire, LR and Kandel, ER (1999) "Memory from mind to molecules", Scientific American Library, New York.  
 泰羅雅登・中村克樹監訳(2008)「カールソン神経科学テキスト 脳と行動」丸善

- 【07】心理学特殊 (2)(春学期)  
 【07】心理学特殊 (2)(秋学期)  
 【04】心理学特殊 (4)(通年) 行動薬理学(こころとくすり) 講師 高田孝二

授業科目の内容:

行動薬理学は、薬物の作用機序をヒトや動物の行動を通して捉えようとする一方、薬物効果を通して能の機能(こころのはたらき)を探る学問領域です。こころのはたらきに影響を与える物質(向精神物質)は治療薬として広く用いられているほか、酒などの嗜好品を介して日常的に摂取され、また乱用など社会問題を生じるものもあります。さらに、われわれは向精神物質を含め、毎日様々な化学物質にさらされており、これら化学物質が生体機能に様々な影響を与えることや、母体を介して次世代の機能にも影響しうることが知られています。本講義ではこれらについて、最新の知見を含め、解説します。

テキスト:

講義資料プリントを配布します。

- 【07】心理学特殊 (2)(秋学期)  
 【04】心理学特殊 (2)(秋学期) 聴知覚《auditory perception》の心理学 講師 境 敦史

授業科目の内容:

聴覚を介した知覚の諸特性について、視知覚と比較しながら述べる。

テキスト:

指定しない  
 参考書:  
 指定しない

- 【07】心理学特殊 (2)(春学期)  
 【04】心理学特殊 (2)(春学期) 司法における認知心理学的諸問題 教授 伊東裕司

授業科目の内容:

犯罪の捜査や裁判においては、人間の認知的な側面がさまざまな形でかわりを持ってくる。この授業では、司法における認知的な問題に対して、認知心理学的な研究がどのようにしてどのような解決を提供しているか、しつうのかについて論じる。具体的な問題としては、目撃者の記憶の正確さ、目撃証言の信頼性に関する問題、裁判員の思考や判断に

関する問題を中心に取り上げるが、嘘の検出、自白の信頼性の問題などにも簡単に触れる。

参考書：

- ・伊東・仲（編）特集 司法における心理学的問題。心理学評論 48（4），2005。
- ・一瀬・巖島・仲・浜田（編）目撃証言の研究，北大路書房。
- ・Sporer, Malpass, Koehnken（編）箱田・伊東（監訳）目撃者の心理学。ブレーン出版。

---

【07】心理学特殊（2）（秋学期）

【04】数理心理学（2）（秋学期）

心理現象の数理解析

環境情報学部 教授 渡辺利夫

---

授業科目の内容：

数理心理学は、数理モデルを構成することによって、心理現象を解明しようとする分野である。本講義では、学習、記憶、性格、知覚の分野をもとに数理モデルがどのように構成され、そして数理モデル構成によってどのようなことがわかっていくのかについて考えてゆく。

テキスト：

なし

参考書：

渡辺利夫著 フレッシュマンから大学院生までのデータ解析・R 言語 ナカニシヤ出版 2005

---

【07】臨床心理学（2）（春学期）

【07】臨床心理学（2）（秋学期）

【04】クリニカルワーク概説（4）（通年）

思春期の心理と学校臨床心理学

教職課程センター 教授 伊藤美奈子

---

授業科目の内容：

前期：青年期の入り口に当たる思春期の心理的発達に焦点づけながら、生涯発達における青年期（思春期）の意味とその精神病理について講義する。

後期：近年、ますます複雑化・深刻化する子どもの心の問題。学校現場では、そういう問題行動をどのようにとらえ、対処しているのだろうか。本年度は、とくに不登校に重点をおいて、その実情と学校における対応について講義する。スクールカウンセラー制度についても紹介しながら「学校」における教育臨床の現状と課題について考えていきたい。

テキスト：

伊藤美奈子著『思春期の心さがしと学びの現場』（北樹出版，2000年，1600円）

参考書：

伊藤美奈子編著『思春期・青年期臨床心理学』（朝倉書店，2006年）

---

【04】パーソナリティ理論概説（4）（通年）

---

休講

---

【04】認知臨床心理学（4）（通年）

---

休講

---

【04】発達臨床心理学（4）（通年）

---

休講

---

【04】言語障害臨床（4）（通年）

---

休講

---

## 教育学専攻

### 必修科目

【07】教育学概論 (2)(春学期)

【07】教育学概論 (2)(秋学期)

【04】教育学概論(4)(通年)

教育の生物学的基盤

[春]教授 安藤 寿康

[秋]教授 舟山 俊明

#### 【春学期】

授業科目の内容:

なぜ「人間は教育されなければならない唯一の被造物」(カント『教育学講義』)なのでしょう。それは「教育」が進化的に獲得したヒトという種に特有な環境へ適応戦略だったからと考えられます。教育とは生物としての人間がその生存と繁殖のために必要な資源(食料や配偶者だけでなく文化的知識・技能まで)をコントロールするために、生活史に対応して創り出した、ヒトとヒトと対象との間の三項関係の成立に起源を持つ互恵的利他行動システムと位置づけられます。またヒトは一人一人異なる遺伝的資源をもって生まれ、その内的な資源と外的資源を調整させて、できるだけ最適な適応戦略をとろうとしており、その活動に関与する互恵的利他行動システムでもあります。このような視点から、進化生物学と行動遺伝学に依拠して教育の理論的再構築を試み、古今東西の教育思想や教育制度を見直してみたいと思います。特に進化生物学的な視点を確かなものにするため、ふさわしいゲストスピーカーに最新の知見を紹介していただきながら、パネル討論を行うのも、本講義の特色の一つです。

予定されているゲストスピーカー: 入来篤史(サルの道具使用と教育の役割, 理化学研究所), 赤木和重(ヒトはいつから教えるか, 三重大学教育学部), デビッド・スプレイグ(生活史理論と教育, 農業環境技術研究所)

参考書:

プレマック & プレマック『心の発生と進化』(紀伊國屋書店), ギアリー『心の起源』培風館, 松沢哲郎『おおかさんになったアイ』(講談社), 岡ノ谷一夫『小鳥の歌からヒトの言葉へ』(岩波書店), 安藤寿康『心はどのように遺伝するか』(講談社), スプレイグ『サルの生涯, ヒトの生涯』(京都大学学術出版会), Moore & Dunham『ジョイント・アテンション』(ナカニシヤ書店)

#### 【秋学期】

授業科目の内容:

本講義の目的とするところは、これから教育学研究ないし教職の道に進みゆく諸君に対して、「教育問題の科学としての教育学」という考え方を、そしてその基礎となる「教育学的な視座」を理解してもらうことを中核にして、教育学研究への導入を行うところにあります。

現代の教育学の基礎は、17, 18 世紀における近代ヨーロッパ社会の成立と発展の中で成立したと言われます。したがってまずは、近代教育理論ないし近代教育思想を構成する理論的な枠組みの批判的な検討を、概念史研究や社会史研究の成果を顧慮しながら分析することが講義の焦点となります。その上で、現代に生きる教育の考え方を提示し、検討を加えることになります。

テキスト:

田中克佳『教育学』(通信教育テキスト)慶應義塾大学出版会 1993

参考書:

授業の中で適宜指示します。

【07】教育学原典講読 (1)(春学期)

【07】教育学原典講読 (1)(秋学期)

【04】教育学原典講読(2)(通年) 助教 藤澤 啓子

授業科目の内容:

本講義では、発達心理学に関する本(英文)を公表形式で輪読し、ディスカッションをおこないます。英語文献を読み進めるとともに、発達心理学に関する理解を深めることを目指します。

テキスト:

初回の授業時に指定します。

【07】教育学原典講読 (1)(春学期)

【07】教育学原典講読 (1)(秋学期)

【04】教育学原典講読(2)(通年) 助教 山梨 あや

授業科目の内容:

教育史に関する英語文献を読みます。

テキストを正確に読み、著者の意図を把握した上で、討論を行います。

テキスト:

初回の授業時に指定します。

参考書:

講義中に適宜指示します。

【07】教育学原典講読 (1)(春学期)

【07】教育学原典講読 (1)(秋学期)

【04】教育学原典講読(2)(通年) 講師 佐々木 掌子

授業科目の内容:

自己形成に関する心理学英語文献の講読をします。目標は、英語文献を正確に読みこなせるようになることです。また、文献を踏まえ、教育の視座からディスカッションをします。

テキスト:

初回の授業時に指定します。

【07】教育学原典講読 (1)(春学期)

【07】教育学原典講読 (1)(秋学期)

【04】教育学原典講読(2)(通年) 講師 朴 順南

授業科目の内容:

「人間形成論」に関わる英語文献を講読します。

授業は毎回数名の担当者の発表形式で進めていきますが、適宜ディスカッションを交えて全員の内容理解を深めていきます。ほかの出席者も積極的に議論に参加してください。英文テキストを表面的に読み進めるのではなく、一つ一つの概念を丁寧に理解していくことを重視します。

テキスト:

初回の授業時に指定します。

参考書:

授業の中で適宜紹介します。

【07】教育史 (2)(春学期)

【07】教育史 (2)(秋学期)

【04】教育史(4)(通年)

日本の「近代教育」を考える

教授 山本 正身

授業科目の内容:

「教育」を広く人間の成長を促す働きかけとしてとらえるならば、学校を中心として行われている組織的・計画的な教育は教育全体の一部にすぎず、またその歴史も人類史の中のほんの僅かな期間に認められるだけのものであるにすぎない。だが、今日において教育は学校教育を中心に展開され、学校の問題を抜きに教育を語ることはあり得ないような状況にさえなっている。

本講義では、学校を中心とする組織的・計画的な教育を国家が主導し、またそれを国家的規模において展開しているものごとを「近代教育」としてとらえ、この「近代教育」をめぐる諸問題を日本の事例を通して考察する。

春学期においては、「近代教育」の発足・確立の諸動向を主に明治期の事例を通して考察する。その際、「近代教育」とは異なる歴史文脈から形成された江戸時代の教育との対比に着目し、教育史における近世と近代とを画期する諸要因の分析に努める。

秋学期においては、「近代教育」確立後の日本教育史の諸動向について概説する。「近代教育」見直しの気運が兆した大正期、国家による教育統制が最も徹底された(その意味で「近代教育」の負の側面が最も露わになった)昭和戦前期、「近代教育」の見直しとともに起点を迎えつつも、やがて「近代教育」のより強固な再興を遂げた昭和戦後期などの歴史の流れを読み解くことで、日本近代教育の特質ないし問題性の把握に努める。

ただし、本講座は教育を題材とする史資料の精密な解読に基づく実証研究の成果を紹介することを主たる目的とするものではない。あるいは、日本の歴史の中に探られた教育に関する事実そのものの確かな把握を受講者に求めることを主眼とするものでもない。受講者には、組織的・計画的な教育(操作的に人間を形成していこうとする認識を前提とする)をもって唯一絶対の教育と見なす発想を相対化し、それを克服するための視点を確保することを目指して、日本教育史の事例に思想的格闘を挑まれることを期待したい。

テキスト:

特に指定しない。

参考書:

授業時に適宜指示する。

【07】教育学史 (2)(春学期)

【07】教育学史 (2)(秋学期)

【04】教育学史(4)(通年) 教授 眞壁 宏幹

授業科目の内容:

ヨーロッパにおける近代教育思想および近代教育学の歴史的展開を、社会的政治的文化的文脈を参照しつつ解説する。とくに、現代日本に生きる我々が教育や人間形成に関して思考したり行為したりする際、必ずどこかで準拠している諸表象(たとえば、学校、Representation, 自律、自由、道徳性、崇高、美、個の尊厳、啓蒙、市民、社会性、公共性、公教育制度、発達、個性、文化、伝統、教養、国民化、問題解決的思考、社

会化など)がどのように成立し、展開し、実践を規定していったかを考察する。また、同時に、教育を反省的に捉える知的営みの変遷を科学史的に考察することも忘れずに行きたい。

考察の資料としては、グレートブックスとそれに関する歴史的理論的研究、つまりテキストが中心となるが、さまざまな画像資料も積極的に利用したい。言語だけでは伝わらない思想の「質感」や無意識に共有されていたイメージを探ることも重要だと考えるからである。

テキスト:

なし  
参考書:  
毎回、参考文献を紹介する

【07】比較教育学 (2)(春学期)

【07】比較教育学 (2)(秋学期)

【04】比較教育学(4)(通年)

日米の学校制度の比較研究 講師 北野 秋男

授業科目の内容:

日米の学校制度、教育内容、教育評価などの違いを、現状に基づいて講義をする。(1)日本とアメリカの教育制度,(2)日本とアメリカのカリキュラム・授業内容,(3)日本とアメリカのテスト政策,(4)その他(アジアの国々の教育など)

テキスト:

北野秋男編『わかりやすく学ぶ教育制度』啓明出版

【07】教育心理学概論 (2)(春学期)

【07】教育心理学概論 (2)(秋学期)

【04】教育心理学概論(4)(通年) 教授 安藤 寿康

授業科目の内容:

人間の成長に関連するさまざまな心理学的に基本となる知見や研究方法論を紹介する。特に個人差と発達に焦点を当て、生命科学との関連を重視した心理学的教育学を描きたい。

【07】教育学演習 (3年)(要)(1)(春学期)

【07】教育学演習 (3年)(要)(1)(秋学期)

【07】教育学演習 (4年)(要)(1)(春学期)

【07】教育学演習 (4年)(要)(1)(秋学期)

【04】教育学演習 (3年)(2)(通年)

【04】教育学演習 (4年)(2)(通年) 教授 舟山 俊明

授業科目の内容:

本年度は「教育の人間学的基礎」というテーマで、一方で「心の哲学」を、他方で「哲学史」や「心理学史」を参考にしながら、19世紀後半から現代までの人間の自己理解の展開を追跡し、それが教育理論(教育学史)上いかなる影響を与え、今日いかなる意味をもっているのかを考えます。授業は講義と聴講者によるレポートと適宜織り交ぜて展開します。

テキスト:

宮沢康人『教育文化論 発達環境と教育関係』(放送大学大学院教材,放送大学教育振興会,初版2002)

履修者は初回授業までにテキストを手に入れておくこと。

参考書:

授業内で適宜指示する。

【07】教育学演習 (3年)(要)(1)(春学期)

【07】教育学演習 (3年)(要)(1)(秋学期)

【04】教育学演習 (3年)(2)(通年) 教授 眞壁 宏幹

授業科目の内容:

春学期:第二次世界大戦後のドイツ教育学に大きな刺激をあたえ続けたクラウス・モレンハウアーの名著『忘れられた連関』を読みつつ、近代教育のエレメンタリアを「思い出す」ことを試みる。近代教育思想を構成する諸要素の理解を目指すと同時に、教育思想史の方法としてのイコノロジーやピオグラフィー研究の可能性も考えてみたい。

秋学期:クラウス・モレンハウアーの『子どもは美をどう経験するか』や他の論文を読むことで、方法論的には子どもの絵や音楽表現の解釈学的ないしはイコノグラフィー的研究方法に馴染んでもらい、内容的には美的経験の人間形成論的意義を追求していただいたい。

テキスト:

春学期:クラウス・モレンハウアー『忘れられた連関』(みすず書房)。しかしこれは絶版品切れなので、コピーを用意する。

秋学期:クラウス・モレンハウアー『子どもは美をどう経験するか』(玉川大学出版部)。各自購入してほしい。

参考書:

適宜指示します。

【07】教育学演習 (3年)(要)(1)(春学期)

【07】教育学演習 (3年)(要)(1)(秋学期)

【07】教育学演習 (4年)(要)(1)(春学期)

【07】教育学演習 (4年)(要)(1)(秋学期)

【04】教育学演習 (3年)(2)(通年)

【04】教育学演習 (4年)(2)(通年)

教育史研究の技法を学ぶ 教授 山本 正身

授業科目の内容:

本演習は、日本の歴史(近世以降)の中からある教育上のテーマを探り出し、そのテーマに関わる共同研究を推進することを主要な活動としている。

今年度のテーマについては、「浮世絵から探る江戸教育史」というものを考えている。具体的な研究の取り組みは、(1)浮世絵(を中心とする江戸時代の絵画)に描かれた子どもの姿の変遷を歴史的に跡づけることで、日本版の「子どもの発見」の諸相を探る、(2)いわゆる「手習所」を描いた江戸時代絵画の蒐集・整理を行うことで、手習所の実相の視覚的把握の可能性を追求する、の二点である。研究スケジュールの大枠のみ挙げると、春学期においてはまず当該テーマに関する主要な先行研究の講読(受講者全員の分担報告に基づく)を行った上で、実際に江戸時代絵画の調査・蒐集・分析に努め、その成果報告を行ってもらう(研究グループを編成する)。秋学期には各グループから数度にわたる研究報告を行ってもらう、それを通して上記二つの課題に対する論考作業を展開する。そして最終的には、その成果を小冊子もしくはCDの形にしてまとめ上げる予定である。

ただし、共同研究のテーマは基本的にゼミ員との協議の上決定したいと考えているので、上記のテーマが変更になる可能性もある。従って、履修者には第一回目の授業時に共同研究テーマに関する各自の構想を発表してもらうことになる(それゆえ各自には十分な準備を踏まえて第一回目の授業に臨んでいただきたい。参加者に異存がなければ上記のテーマで共同研究を進めていく)。

なお、より具体的な研究方法やスケジュールなどの詳細については、参加者と相談の上決定する。

テキスト:

特に指定しない。

参考書:

授業時に適宜指示する。

【07】教育学演習 (3年)(要)(1)(春学期)

【07】教育学演習 (3年)(要)(1)(秋学期)

【07】教育学演習 (4年)(要)(1)(春学期)

【07】教育学演習 (4年)(要)(1)(秋学期)

【04】教育学演習 (3年)(2)(通年)

【04】教育学演習 (4年)(2)(通年)

教職課程センター 准教授 藤本 和久

授業科目の内容:

この演習では、さまざまな教育問題を、主として国際・異文化間比較の観点から研究する。日本をはじめとする世界各地の教育事情や教育システムの成立要因や構造を、「比較」研究の手法を用いて捉えることによって、各自にとって「あたりまえ」となっている「教育」概念を相対化し、再定義する視座や研究態度の習得をめざす。

なお、【テキスト】【参考書】【授業の計画】【履修者へのコメント】【成績評価方法】【質問・相談】の各事項については、以下のWeb Site(「学部ゼミ」のページ)に掲載する。

<http://matsusemi.jp.org>

【07】教育学演習 (3年)(要)(1)(春学期)

【07】教育学演習 (3年)(要)(1)(秋学期)

【07】教育学演習 (4年)(要)(1)(春学期)

【07】教育学演習 (4年)(要)(1)(秋学期)

【04】教育学演習 (3年)(2)(通年)

【04】教育学演習 (4年)(2)(通年)

言語文化研究所 教授 大津 由紀雄

授業科目の内容:

言語の認知科学について、文献を読んだり、議論したりする。どの文献を取り上げるかは未定である。言語教育や科学教育に関する担当者の考えについても議論する。議論好き、あるいは、議論好きになりたい学生をたくみに歓迎する。

第一回目の講義の際に、このコースの運営の仕方などについてくわしい説明をするので、受講予定者は必ず出席のこと。やむをえない理由で都合で出席できない場合は、必ず事前に担当者に連絡のこと。

テキスト:

第1回目講義時に提示する。

【07】教育学演習	(3年)(要)(1)(春学期)
【07】教育学演習	(3年)(要)(1)(秋学期)
【07】教育学演習	(4年)(要)(1)(春学期)
【07】教育学演習	(4年)(要)(1)(秋学期)
【04】教育学演習	(3年)(2)(通年)
【04】教育学演習	(4年)(2)(通年) 教授 安藤 寿康

**授業科目の内容：**

各自の関心に従いテーマを設定して心理学的な実証研究を行い、すぐれた卒業論文を作成することを最終的な目的とします。そのために内外のさまざまな文献(特に英語で書かれたもの)にあたり、担当者および他の演習履修者と活発なディスカッションを行い、実験や調査、フィールド・リサーチなどによって一次資料を収集します。履修者はこうした活動を通じて自分の問題意識を深め、その過程で人間の発達と教育に関して証拠に基づいて(evidence based)論理的・科学的に考えることを学んでほしいと思います。

【07】教育学演習	(3年)(要)(1)(春学期)
【07】教育学演習	(3年)(要)(1)(秋学期)
【07】教育学演習	(4年)(要)(1)(春学期)
【07】教育学演習	(4年)(要)(1)(秋学期)
【04】教育学演習	(3年)(2)(通年)
【04】教育学演習	(4年)(2)(通年)

教職課程センター 教授 鹿毛 雅治

**授業科目の内容：**

教育心理学に関する内外の文献を講読し、討論します。基本的に発表形式で進めていく予定です。使用する文献については、履修者諸君と相談しながら決めていきたいと思えます。常に教育的な問題関心を抱きながら、自らの研究対象を選び取りつつ、それに対する探求を協同的に深めていこうとする姿勢を履修者諸君に期待しています。

【07】教育学特殊 A(2)	(春学期)
【07】教育学特殊 B(2)	(秋学期)
【04】教育学特殊	(4)(通年)

[秋学期] 教育とアイデンティティ

[春] 教授 舟山 俊明  
[秋] 講師 朴 順南

**【春学期】**

**授業科目の内容：**

「精神科学の歴史と理論」というテーマで、19世紀後半から20世紀前半にかけての人文社会科学の方法論争をたどりながら、その学理論および歴史社会学的分析を介してその論争の意味を考え、併せて人文社会科学の今日状況の状況と問題性を取り上げます。参考文献等については初回授業の時に講義シラバスを含め関連プリントを配付します。

**テキスト：**

使用しない

**参考書：**

適宜指示するか、授業担当者がコピーを配布する。

**【秋学期】**

**授業科目の内容：**

現代社会における教育への要求は、一方で個人的観点からは多様化と個性化が、他方で社会的/国家的観点からは一元化と規範化が焦点とされながら、二つの両極的な要求に挟まれて深刻な理論的矛盾を抱えたものとなっている。こうした矛盾と同種の問題は、近代啓蒙主義以降、解放と同一化という教育のもつ二つの機能の矛盾として、常に近代教育理論の奥深くに通底する問題であり続けてきた。しかし、文化や価値や規範の多様化・相対化の進む現代社会では、同一化という教育の基本的な役割に根本的な疑いが突きつけられる一方で、そうした機能不全によって生じていると見なされる規範の動揺への社会的不安から、ますます教育による同一化が要求されるという悪循環の構造が生じているように思われる。教育学の課題として、絶対的なものへの全面的自己同一化によってもたらされてきた過去の悲慘をよく思い起こしながら、同一化が人間の生に対して持つ正と負の両側面、現代的条件の下での同一化の基盤の変化などを慎重に分析し検討する必要がある。

この授業では、たとえば M.ウオルツァーや C.テイラーらの現代コミュニティアニズムが提起する同一性=アイデンティティの文化的・歴史的規定性の問題や、A.ギデンズや Z.バウマンら社会学者の分析する現代的自己アイデンティティの動揺の諸相といった他領域の理論の検討を通じて、上記の問題が教育においてどのような問題を生じさせているのか、出席者全員で議論していきたい。出席者には、毎回指定した文献を読んで授業に積極的に参加することが求められる。

**テキスト：**

授業の中で適宜指示する。

**参考書：**

授業の中で適宜指示する。

【07】教育学特殊 C(2)	(春学期)
【07】教育学特殊 D(2)	(秋学期)
【04】教育学特殊	(4)(通年)

[春学期] 教育思想における声と文字 初期近代を中心に

[春] 講師 北詰 裕子  
[秋] 講師 東 敏徳

**【春学期】**

**授業科目の内容：**

文字を読み、書くことは人間形成においてどのような意味をもちうるのか、また一方で、言語の獲得と使用は、私たちが世界と関わる仕方をどのように形作っているのかを、西洋の教育思想を軸に考察します。特に、近代教育学の祖として位置付けられてきた J. A. コメニウスの教育思想を中心にしながら、その前後の時代における言語観や具体的な読み書き教育との影響関係をも含めて考察します。授業では各論的に、アウグスティヌス、中世における読みの問題、ルネサンス人文主義教育における古典、コメニウスにおける事物と言葉(世界の表象)、印刷術、書物と読者、一七世紀普遍言語運動、一八世紀の言語起源論等のテーマについての諸文献、あるいは研究論文の講読(レジュメ発表・ディスカッション)を中心に進めます。教育において根本的な言語を巡る諸問題を読み解き、議論することをとおして、今日の教育を考えるうえでの歴史的・哲学的な基礎知識の習得をめざすと同時に、教育という営みを考察する際、自明とされる前提を問い直しつつ問題を相対化・対象化する能力を養うことを目標とします。

**テキスト：**

講義時に適宜指示します。

**参考書：**

森田伸子『文字の経験』勁草書房・2005・その他については、各講義に適宜指示します。

**【秋学期】**

**授業科目の内容：**

古代ギリシアの教育思想の検討を通じて今日の現実の教育問題を考える理論的枠組みを考える。

**テキスト：**

『アリストテレスと生き方の教育』(ユージン伝、2004) 東 敏徳

**参考書：**

オリジナル・テキストのギリシア語原文と英仏独日の対訳を授業内で配付する。

【07】教育学特殊 F(2)	(春学期)
【07】教育学特殊 E(2)	(秋学期)
【04】教育学特殊	(4)(通年)

[春学期] 近代日本における教育の歴史社会学  
[秋学期] 近代日本における読書行為と教育

[春] 講師 佐々木 啓子  
[秋] 助教 山梨 あや

**【春学期】**

**授業科目の内容：**

日本の教育の史的研究は、制度史あるいは思想史を中心に展開されてきた。しかし、明治維新により近代化の道を歩み始めた日本が急速な発展を遂げたのは、政府主導による近代学校の組織化と制度的確立のみならず、人々の教育に対する強い期待があったからに他ならない。特に第一次世界大戦後に形成された都市の新中間層(官公吏、医師、弁護士、教員、銀行・会社員など)は、学歴や資格によってその地位を獲得した学歴エリートであった。身分制が崩壊し職業の世襲が事実上不可能なこれら新中間層は、教育を介在させて、その地位を再生産してきた。今日の学歴社会と教育拡大の初期の形態が戦間期(1920-30年代)における都市新中間層の教育要求にみることができるのである。

本講義の目的は、戦前期日本の社会経済構造の変化といったマクロな視点の中に教育を位置づけるとともに、教育を受けた側の学生・生徒およびその家族の思いといったミクロな視点を取り入れ、その接合を企図する。当時の学生・生徒の就学状況が生き生きと再現されるような文献を紹介しながら、教育の歴史社会学とは何かを考える講義としたい。

**テキスト：**

資料を配布するとともに講義時に適宜指示。

**参考書：**

文献リストを第1回講義時に配布しますが、主な文献は以下。  
天野郁夫『教育と近代化』玉川大学出版部、1997年  
天野郁夫『試験の社会史』東京大学出版会、1983年  
広田照幸『日本人のしつけは衰退したか』講談社文庫、1999年  
佐々木啓子『戦前期女子高等教育の量的拡大過程』東京大学出版会、2002年  
『産む・育てる・教える 匿名の教育史 1「教育 誕生と終焉」』藤原書店、1990年

教育学年報6『教育史像の再構築』世織書房, 1997年  
E. H. キンモンス, 広田照幸他訳『立身出世の社会史』玉川大学出版部, 1995年  
ブルデュー & パスロン, 石井洋一訳『遺産相続者たち 学生と文化』藤原書店, 1997年  
NIRA 政策研究『生活水準の歴史的研究』1988年 vol. 1. No. 2

### 【秋学期】

授業科目の内容:

本講義では、読書という行為が近代日本の教育にどのように位置付けられていったのかを考察します。

読書は学校教育の普及、印刷技術の向上、メディアの発達に根差したものであり、この意味において近代化の所産の一つであるといえます。さらに読書は教育と同様、人々が新たな知識や価値観と出会う契機となるものでした。

1900(明治30)年代以降、読書の人間形成作用に対する関心が高まりを見せ、読書は「教育」の範疇にあるものとして捉えられるようになります。読書行為は、学校教育、さらには社会教育の成立と密接に関わりながら普及してきました。本講義では読書行為の普及という視点から、近代日本の教育やその問題を歴史的に問い直したいと考えています。

テキスト:

特に指定しません。

参考書:

講義時に適宜指示します。

【07】教育学特殊 G(2)(春学期)

【07】教育学特殊 H(2)(秋学期)

【04】教育学特殊 (4)(通年)

[秋学期] 日本の教育の事実を歴史的側面から考察する

[春] 講師 吉野 剛 弘

[秋] 講師 小野 雅 章

### 【春学期】

授業科目の内容:

近代日本の旧制高等学校の入学試験とその受験準備教育機関(いわゆる予備校)の歴史について講じることにする。旧制高等学校は、そこに入学すれば帝国大学への入学が事実上保証されていたのであって、その入学試験は近代日本における高等教育への登竜門というべき存在であった(ただし、この場合慶應義塾をはじめとする私学はその埒外に置かれてしまうことには注意されたい)。また、旧制高等学校のほとんどは、戦後の教育制度改革の中で新制大学に包摂されており、その入学試験は現在の新制大学のそれと一定の連続性を持つ存在といえる。さらには、旧制高等学校の入学試験は、いくつかの理由からその準備教育機関の存在を要請することとなった。現代に比してきわめて進学率の低い中で、しかも男性だけに限られた問題ではあるが、実際に旧制高等学校の入学試験をめぐる諸問題は現在の入学試験をめぐる問題にも通じている。この点にも注意しつつ考察を進めていきたい。

テキスト:

毎回配布する史料によって進めていく。

参考書:

初回授業および必要に応じて適宜指示する。

### 【秋学期】

授業科目の内容:

教育・学習は、大人と子どもの社会関係のもので成立する。従って、政治経済などと同様、社会関係の基に成立する事象の意味を考察するためには、それらと類似する事例についての歴史を調べてみる必要性がある。

上述のような問題意識の中、本授業では近代日本に発生した教育の諸問題を考察しようとするものである。従来日本教育史の考察は、制度史または思想的な授業に偏りがちであった。本授業では、制度史的観点を視野に入れながら、教育や学習に関する「慣習」や「しきたり」の持つ意図・意味について考察していきたい。

テキスト:

使用しない。担当者が資料を用意して配付する。

参考書:

佐藤秀夫著/小野雅章・寺崎昌男・逸見勝亮・宮沢康人編『教育の文化史1』~『教育の文化史4』(阿叻社, 2004年~2005年)

【07】教育学特殊 I(2)(春学期)

【07】教育学特殊 J(2)(秋学期)

【04】教育学特殊 (4)(通年)

アメリカの学校選択理論 [春] 講師 長 嶺 宏 作

アメリカにおける教育機会の平等化メカニズムの形成

[秋] 講師 西 村 史 子

### 【春学期】

授業科目の内容:

本講義ではアメリカの学校選択の理論を検証し、日本の教育改革への示唆を得たい。日本においても東京 23 区のほとんどの学区で学校選択

が実施され、現実的な問題として浮上している。そこで日本の学校選択の理論に影響を与えた、アメリカの学校選択の理論を検証することで、その問題と意義を考えたい。

テキスト:

授業にて配布

参考書:

なし

### 【秋学期】

授業科目の内容:

本講義の目的は、アメリカ合衆国における教育機会の平等化メカニズムの形成を、教育行財政システムの改革をとらえて理解することにある。具体的には、1970年代以降の公立学校教育制度(k-12学年)における学区間格差の解消や各家庭の所得格差に伴う教育機会の不平等の改善をめざした政策がどのように展開し、制度として定着したかをたどる。

テキスト:

特に指定しない。適宜、講義資料を配布する。

参考書:

Allan Odden & Lawrence Picus, "School Finance: A policy Perspective," 4th ed., McGraw-Hill, 2007.

【07】教育学特殊 K(2)(春学期)

【07】教育学特殊 L(2)(秋学期)

【04】教育学特殊 (4)(通年)

[春学期] アメリカ合衆国大学史

[秋学期] 革新主義期アメリカの教育と思想

[春] 講師 坂 本 辰 朗

[秋] 講師 古 屋 恵 太

### 【春学期】

授業科目の内容:

春学期はアメリカ合衆国大学史を取り上げる。1936年のハーバード大学の成立から19世紀末の「ユニバシティの時代」へ、さらには、世界のCOE(center of excellence)へと、アメリカ合衆国の大学は350年余の歴史の中で大きく変貌する中、日本を含む各国の高等教育へ理念的にも制度的にも大きな影響をあたえてきた。本コースでは、比較教育史的な視点をも含め、アメリカ合衆国における higher learning の歴史を辿ってゆくことにしたい。

なお、このコースは、講義と同時に、履修者によるプレゼンテーションを併用してゆく。

テキスト:

使用しない。毎回、ハンドアウト(史料)を配布する。

参考書:

レファレンスリストを配布する。

### 【秋学期】

授業科目の内容:

この授業では、革新主義期(1890-1920)アメリカにおける教育を、より広い社会的分脈に位置付けて解説します。それは子どもの自己活動を重視し、児童中心主義の立場をとったといわれる進歩主義教育を社会統制と社会効率を志向したといわれる革新主義とのかかわりで分析し直すという作業でもあります。

前半は講義形式で授業を行い、後半は進歩主義教育の理論的指導者とされ、日本の教育に多大な影響を与えた(与えている)ジョン・デューイの学校論を演習形式で読解したいと思います。

テキスト:

J. デューイ『学校と社会 子どもとカリキュラム』(市村尚久訳 講談社 1998年 920円)

また、講義資料プリントを毎回授業時に配布します。

参考書:

講義中に適宜紹介します。

【07】教育学特殊 M(2)(春学期)

【07】教育学特殊 N(2)(秋学期)

【04】教育学特殊 (4)(通年) [春] 講師 岩 男 卓 実

[秋] 講師 安 治 陽 子

### 【春学期】

授業科目の内容:

「考えることを考える」をキーワードに、認知心理学のいくつかのトピックについて解説する。認知心理学では、心を知覚、記憶、思考といった「部品」に分解し、それぞれの「部品」の働きや、「部品」同士の相互作用を調べる。本講義では、記憶、思考、感情、思考と感情の関係といった問題を主に扱うことにする。認知心理学は、「取っつきにくい」、「わけ分からない」などと言われることが多いが、本講義ではできる限り分かりやすい説明を心がけ、日常的な問題とも可能な限り関連づけつつ、認知心理学のおもしろさや教育への応用可能性を理解してもらうことを目標とする。

テキスト：

テキストは用いず、授業時に配布するプリントを教材とする。

参考書：

講義中に紹介する。

### 【秋学期】

授業科目の内容：

社会情緒の発達について、乳幼児期を中心に概説する。人生の最早期から、他者との関係性がどのように構築されるのか、そこで人はどのような社会的発達を遂げていくのか、またその中で自己はどのように発達するのか、情動（感情）はどのような役割を持ち、いかに発達するのか、社会的認知能力はいかに機能しているのか、といった内容について、発達心理学の知見を紹介する。また、子どもの発達を追った映像を通して、子どもの実際の行動や生活の一端に触れ、具体的に理解を深めることができるようにしたい。

テキスト：

テキストは指定しないが、適宜参考文献を紹介し、プリントを配布する。

【07】教育学研究会 (要)(1)(春学期)

【07】教育学研究会 (要)(1)(秋学期)

【04】教育学研究会 (2)(通年)

教育学専攻生のための言語学

言語文化研究所 教授 大津 由紀雄

授業科目の内容：

言語教育のみならず、教育学ないしは教育について考えようとするとき、ことばの仕組みと機能に関する基礎的な理解はきわめて重要である。本年度は、「教育学特殊」の枠を利用して、教育学専攻生のための言語学を講じる。

言語学についての知識は必要ないが、好奇心が旺盛で、自分の頭でものを考えることができる、あるいは、できるようになりたいと思っていることが履修の前提条件である。受講希望者は必ず第一回目の講義に出席のこと。やむをえない都合で出席できない場合は、必ず事前に電子メール(oyukio@sfc.keio.ac.jp宛)で担当者に連絡のこと。

秋学期のみの受講は認めない。

テキスト：

文献リストを第1回講義にて配布する。英語の文献もあるので、ある程度の英語運用能力が必要である。

参考書：

文献リストを第1回講義にて配布する。

【07】教育学研究会 (要)(1)(春学期)

【07】教育学研究会 (要)(1)(秋学期)

【04】教育学研究会 (2)(通年) 教授 眞壁 宏 幹

授業科目の内容：

シンボル生成の解明に関わる研究プロジェクトを考慮中。くわしくは初回ゼミで。

テキスト：

なし。

参考書：

適宜、指示します。

【07】教育学研究会 (要)(1)(春学期)

【07】教育学研究会 (要)(1)(秋学期)

【07】教育学研究会 (要)(1)(春学期)

【07】教育学研究会 (要)(1)(秋学期)

【04】教育学研究会 (2)(通年)

【04】教育学研究会 (2)(通年)

教職課程センター 准教授 藤本 和 久

授業科目の内容：

卒業論文の完成を最終目標として、論文作成・執筆に必要な、テーマ設定の方法、先行研究の検討の仕方、資料の検索・収集・整理・批判、論拠や根拠および証拠にもとづいた議論の展開など、(比較)教育学研究の手法について学ぶ。具体的には、グループによる共同プロジェクト研究および各自の個人研究の報告と相互検討・討論を行うことで、上記の手法を身につけることになる。

教育の国際・異文化間比較研究、多文化状況における教育問題、大学・高等教育研究、英米語圏における教育の現状および歴史研究、比較教育思想(史)研究のいずれかの領域に関心のある学生を対象とする。

なお、【テキスト】【参考書】【授業の計画】【履修者へのコメント】【成績評価方法】【質問・相談】の各事項については、随時、以下の Web Site(「学部ゼミ」のページ)に掲載する。

<http://matsusemi.jpn.org>

【07】教育学研究会 (要)(1)(春学期)

【07】教育学研究会 (要)(1)(秋学期)

【07】教育学研究会 (要)(1)(春学期)

【07】教育学研究会 (要)(1)(秋学期)

【04】教育学研究会 (2)(通年)

【04】教育学研究会 (2)(通年) 教授 舟山 俊 明

授業科目の内容：

卒業論文指導。3年生は年度末にレポート(400字×50以上)を、4年生には卒論(400字×100以上)を提出するための様々な準備指導を行います。参加者には各自の作業につき年に2回の報告をしてもらい、相互に検討を行います。

【07】教育学研究会 (要)(1)(春学期)

【07】教育学研究会 (要)(1)(秋学期)

【07】教育学研究会 (要)(1)(春学期)

【07】教育学研究会 (要)(1)(秋学期)

【04】教育学研究会 (2)(通年)

【04】教育学研究会 (2)(通年)

卒業論文指導(日本教育史)

教授 山本 正 身

授業科目の内容：

卒業論文作成に向けての指導を行う。

本研究会として卒業論文作成の要件としていることは、少なくとも、(1)研究テーマに客観的意義が認められる(単に主観的に「知りたい」というだけではだめ)、(2)当該分野の先行研究調査が十分になされている、(3)当該分野の研究課題(未だに明らかにされていないことは何か)を指摘することができている、(4)研究において独自の視点や論点(内容や方法にまで独自性があれば申し分ない)が提示されている、(5)表現や記述が論理的かつ体系的になされている、の五点である。参加者には、最低限、春・秋学期二度の研究報告と、二度のレポート提出が課せられる。

なお、本研究会は、日本教育史、日本教育思想史に関心のある学生の参加を歓迎するが、広く日本の教育問題を考えたいと希望する学生も受け入れる。ただし、研究方法はあくまでも文献研究を中心とするものに限られる(いわゆる調査研究や実験研究の指導はできない)ことを付言しておく。

テキスト：

特に指定しない。

参考書：

授業時に適宜指示する。

【07】教育学研究会 (要)(1)(春学期)

【07】教育学研究会 (要)(1)(秋学期)

【07】教育学研究会 (要)(1)(春学期)

【07】教育学研究会 (要)(1)(秋学期)

【04】教育学研究会 (2)(通年)

【04】教育学研究会 (2)(通年)

言語文化研究所 教授 大津 由紀雄

授業科目の内容：

卒業論文の準備作業および作成指導を行う。言語理論、言語獲得(第一言語、第二言語)、言語理解、言語の脳科学、言語教育(母語教育、外国語教育)、科学教育、認知発達などに関心を持つ、意欲的な学生を歓迎する。

第一回目の講義の際に、このコースの運営の仕方などについてくわしい説明をするので、受講予定者は必ず出席のこと。やむをえない理由で都合で出席できない場合は、必ず事前に担当者に連絡のこと。

テキスト：

第1回目講義時に提示する。

参考書：

第1回目講義時に提示する。

【07】教育学研究会 (要)(1)(春学期)

【07】教育学研究会 (要)(1)(秋学期)

【07】教育学研究会 (要)(1)(春学期)

【07】教育学研究会 (要)(1)(秋学期)

【04】教育学研究会 (2)(通年)

【04】教育学研究会 (2)(通年)

教職課程センター 教授 鹿毛 雅 治

授業科目の内容：

卒業論文に向けての指導を行います。具体的には、自らの研究テーマを設定し、先行研究を調べ、適切な研究方法を選択し、結果を分析、考察する一連のプロセスについて、履修者全員が適宜、報告し、相互に意見交換、討論することが中心になります。



- 【07】教育学研究会 (要)(1)(春学期)
- 【07】教育学研究会 (要)(1)(秋学期)
- 【07】教育学研究会 (要)(1)(春学期)
- 【07】教育学研究会 (要)(1)(秋学期)
- 【04】教育学研究会 (2)(通年)
- 【04】教育学研究会 (2)(通年) 教授 安藤 寿 康

授業科目の内容：  
教育学演習とあわせて、卒論指導を行います。

## 選 択 科 目

- 【07】教育学文献研究 A (2)(春学期)
- 【07】教育学文献研究 B (2)(秋学期)
- 【04】教育学文献講読 (4)(通年) 教授 舟 山 俊 明

授業科目の内容：  
この授業は、発展的な教育学研究をするためには欠くことのできない先行研究調査の一環として、ドイツ語研究文献を調査し読解する技能を高める目的で設置された科目です。取り上げる具体的な文献は、履修者の関心に応じ選択します。基本的なドイツ語文法の知識があり辞書の使用法を心得ているならば履修は可能です。使用しないテキスト：  
適宜指示するか、授業担当者がコピーを配布する。

- 【07】教育学文献研究 C (2)(春学期)
- 【07】教育学文献研究 D (2)(秋学期)
- 【04】教育学文献講読 (4)(通年) 講師 敷 島 千 鶴

授業科目の内容：  
社会科学の実証研究(データに基づく研究)に関する英語論文を講読します。教育学・心理学・社会学の基礎となる文献から、最先端の文献まで幅広く扱いますが、領域は履修者の希望に応じます。何のための研究か、どのような方法を用いたか、何が解明されたのか、どのような意義があったのかなど、論文の内容を正しく理解することを旨とし、知見の含意についてディスカッションします。

- 【07】教育学文献研究 E (2)(春学期)
- 【07】教育学文献研究 F (2)(秋学期)
- 【04】教育学文献講読 (4)(通年) 講師 篠 大 輔

授業科目の内容：  
この授業は日本教育史に関心をもつ学生を対象に、日本教育史に関わる史料、文献を読解する技能を高めることを目的としています。取り上げる具体的な文献は西村茂樹の『日本道徳論』(1887年)を考えています。西村茂樹は明治初期に福沢諭吉らとともに明六社を結成した啓蒙知識人の一人であり、当時の教育にも多大な影響を与えた人物として知られています。『日本道徳論』の講読を通して、明治教育史に対する理解をより一層深めていくことが可能となります。『日本道徳論』は旧漢字、旧仮名遣いで書かれていますが、初学者でも辞書を引きながら読み進めていくことができます。授業のなかで読解に必要な辞書の使用法等についてもできる限り解説していきます。テキスト：  
授業で講読する文献はコピーしたものを配布します。参考書：  
必要に応じて適宜紹介します。

- 【07】教育測定実験 (要)(2)(春学期)
- 【07】教育測定実験 (要)(2)(秋学期)
- 【04】教育測定実験 (4)(通年) 助教 藤 澤 啓 子  
講師 垣 花 真 一郎

授業科目の内容：  
この講義は、教育科学的研究を実証的におこなうための方法を習得することを目的とします。講義内容は、1. 教育心理学の研究法・理論、2. 実験・調査の2つから成り立っています。具体的には、心理検査法、行動観察法、質問紙調査法の理論的背景および実施方法、実施後のレポートの作成法を学びます。また、実験および調査の結果をコンピューター(SPSS, Excel など)をもちいて統計的に分析する実習をおこないます。参考書：  
適宜、講義中に紹介します。

- 【07】教育研究法 (要)(2)(春学期)
- 【04】教育研究法 (2)(春学期)  
社会科学研究のための基礎統計学 講師 尾 崎 幸 謙

授業科目の内容：  
教育学・心理学等、社会科学全般における量的研究に統計学は欠かせないことができません。量的研究とは、アンケート調査など、数で表すことの可能なデータを収集し、データ分析の結果に基づいて知見を述べる研究のことです。本講義では、平均・標準偏差という統計学の基礎から授業を行います。最終的には、最も重要な分析方法の1つである分散分析を独力で分析可能なレベルに到達することを目標とします。分散分析を学ぶことにより、複数の教授法の効果の違い、男性と女性ではどちらが他者からの評価を気にする程度が高いかなど、因果の存在を客観的に探究することが可能になります。講義を聞いてノートをとるだけでは統計学は身につかないので、統計ソフト SPSS や EXCEL を使った実習を適宜組み入れます。実際に履修者に対してアンケート調査を実施し、分析実習に用いることも考えています。

テキスト：  
配布資料  
参考書：  
・よくわかる心理統計 山田 剛史(著), 村井 潤一郎(著) ミネルヴァ書房 2004  
・南風原 朝和(著) 心理統計学の基礎 統計的理解のために 有斐閣 2002

- 【07】教育研究法 (要)(2)(秋学期)
- 【04】教育研究法 (2)(秋学期)  
社会科学研究のための多変量解析 講師 尾 崎 幸 謙

授業科目の内容：  
前期開講の教育研究法 に引き続き、社会科学研究のための統計学の講義を行います。後期は特に、多変量解析と呼ばれる手法についての講義になります。多変量解析は数々の手法の総称であり、そこには因子分析・クラスター分析などが含まれます。因子分析を学ぶことで、例えば、アンケート調査の項目がいくつのまとまりも持っているのかを知ることが可能となります。また、クラスター分析を学ぶことで、例えば、教科の好き嫌いによって生徒を分類することが可能になります。前期同様、講義を聞いてノートをとるだけで統計学は身につかないので、統計ソフト SPSS や EXCEL を使った実習を適宜組み入れます。実際に履修者に対してアンケート調査を実施し、分析実習に用いることも考えています。

テキスト：  
配布資料  
参考書：  
・足立 浩平(著) 多変量データ解析 心理・教育・社会系のための入門 ナカニシヤ出版 2006  
・南風原 朝和(著) 心理統計学の基礎 統計的理解のために 有斐閣 2002

## 人間科学専攻

### 必修科目

#### 【07】【04】人間科学基礎(2)(春学期)

准教授 小林 ポオル

##### 授業科目の内容:

現代の都市生活者たる私たちのものの考え方や行動パターンには、どのような特徴があるのだろうか。

私たちはまわりの環境と相互作用を行うことで生活しているから、私たちがつくってきた社会・環境は逆に私たちの行動を構造的に規制してものの考えかたに大きな影響を与え、また人間関係のありかたにも影響を与えてきたはずである。

そこで、まず私たちが当然視することで暗黙のうちに私たちの行動を方向づけているものを考察することから始める。そして、それらが生活環境のどのようなメカニズムによってもたらされてきたのかを考える。具体的には、高度産業社会と規定される現代社会が、科学・技術に支えられたその生産システムをどのように作りあげ、私たちの行動をも組み込みながらどのように精緻化してきたのかを見、その中で人間のイメージがどのように変容してきたのかを考える。

しかし見方を変えれば、環境は自己の構造の投影と考えることもできる。それなら、自己の認識構造の言語構造が自己のイメージを形づくりながらどのように成立し、環境世界をどう成立させているのかを考察する必要があるだろう。そこで次に、このプロセスが現代社会のイメージをどのように構造化したのかという経路も考察したい。

これらを通じて現代社会のさまざまなイメージと自己のそれとの相互性を認識することで、視点の取り方による人間像・世界像の違い、いくつかの視点を総合することの難しさや面白さを経験してほしい。そして各自が人間を理解する道筋を考える出発点としてほしい。

##### 参考書:

随時配布する資料に明示する。

#### 【07】【04】人間科学研究法基礎(2)(秋学期)

准教授 織田 輝哉

##### 授業科目の内容:

人間をその諸活動から総合的に理解しようとするれば、研究手法に応じて異なる相を見せる人間像を統合する努力が不可欠である。現実の人間行動・人間性に対する洞察は、この複数の視点からの分析を統合する過程を通じて可能になる。

したがって、人間科学における研究法とは、それに依拠すれば自動的に研究が進行する便利な手順集ではない。問題解決のためのさまざまな種であり、ひな形である。人間科学を専攻する者は自らの関心・問題認識に応じてそれらを組み合わせ、改変し新たな研究スタイルを産み出しながら、戦略的に研究を進めていかねばならない。

本講義では、これへ向けての履修者の具体的研究の出発点を整備したい。そのために、現代のわれわれの生活を分析する上で有効であろうと思われるいくつかの概念や枠組みについて、また、資料分析技法の基礎概念について学んでもらう。授業は、講義とグループ討議・実習を組み合わせで行う。履修者が課題に関する討議に積極的に参加することで、単に知識や技術の習得に終わることなく、それらに具体的なイメージを持ち、手法の特質や限界・相対性を理解した上で、自分の問題意識の整理に役立てられるようになることを目的とする。

##### 参考書:

随時紹介する。

#### 【07】【04】人間科学諸領域(2)(秋学期)

准教授 北中 淳子

##### 授業科目の内容:

この授業では、現代社会における「心の病」について多元的な視点から考察する。

第一に「心の病」の歴史的形成をたどり、近代社会において正常・異常の境界線がどのように引きなおされ、精神病として心理学・精神医学の対象となったのかを考える。

第二に、現代社会のさまざまな「心の病」(鬱、ひきこもり、摂食障害、人格障害、自殺等)をとりあげ、個人病理の次元を超えた文化現象としてどのように理解できるのかを探る。また、治療を受け、医学的視点を内面化することによって、実際に人々の経験がどのように変容していくのかについても考察する。「心の病」の分析を通じて、個人・社会・文化の異なるレベルから総合人間科学に考えることの面白さを学んでもらいたい。

この科目は、第2学年次に履修することを原則とする。

##### テキスト:

医療人類学研究会編『文化現象としての医療』メディカ出版 1992年

#### 【07】【04】人間科学諸領域(2)(春学期)

社会心理のメカニズム 教授 鈴木 淳子

##### 授業科目の内容:

他者とのかかわりに関する社会心理学の多様な研究とその成果を紹介し、社会心理学的なものの見方、考え方、実験や調査の方法への理解を深めることを目的とする。

この科目は、第2学年次に履修することを原則とする。

##### テキスト:

特に使用しない。毎回講義資料プリントを配布する。

##### 参考書:

講義のなかで参考文献リストを配布する。

#### 【07】【04】人間科学諸領域(2)(春学期)

教授 鹿又 伸夫

##### 授業科目の内容:

人間と社会、つまり人間の相互影響過程の集積としての社会現象について、どのように理解して説明したら良いのか、社会科学とくに社会学の立場からの基本的な考え方を学んでいく。

この科目は、第2学年次に履修することを原則とする。

##### テキスト:

特に指定しない

##### 参考書:

授業中に紹介する。

#### 【07】【04】人間科学諸領域(2)(秋学期)

教授 宮坂 敬造

##### 授業科目の内容:

四つの人間科学諸領域コースのなかのひとつとして、文化要因に係わる人間行動と価値観、文化的相互作用・象徴表現行動と言説・心理特性を扱う。これらに関係する諸問題群を理論的・経験観察的・言説分析的にとらえる基本的見方を検討する。文化心理人類学、文化心理学、文化精神医学などにまたがる学際的統合的接近、全体人間科学的理解への基本姿勢を解説する。講義の流れとしては以下となるが、半年コースのかたちなので、一部をとりあげながら全体を示唆するというやりかたになる。

1. 序論 グローバリズム状況下、変革にある現代社会・世界の問題群と学問の関係
2. パラダイムと方法論 比較法、構造的動態理解
3. エスノセントリズムと「異文化」
4. 非言語的文化的コミュニケーション・認知と文化
5. 経済と文化 越境する移民動態
6. 社会組織と文化
7. 文化的自己とアイデンティティ
8. 宗教と医療
9. 多文化社会とエスニシティ・適応をめぐる医療人類学の問題
10. 芸術と文化

参考文献等は講義時にも指示するが、三田哲学会雑誌『別冊・文献案内』2007年版に、旧コース名「人間科学諸領域D」を詳しく掲載してあるので参照してほしい(<http://www.mita.cc.keio.ac.jp/myerspac/index.htm>)。また、面接調査法に関しても、同書の人間科学専攻の欄に、文献もふくめて解説したので参照してほしい。学期なかばに一回もちかえりの宿題提出の課題(レポート用紙数枚程度:HPにも掲載予定、基本用語理解度を問う小テストなど)があり、その意味で100人以上の履修者がいる講義とはいえ結果的に平常点が重視される性格の科目である。講義のほか、番外の補講として、土曜日等の時間帯に、「映像をとおしてみる文化の分析」と題して、土曜日等の時間帯に、「映像をとおしてみる文化の分析」と題して、稀少な価値をもつ映画鑑賞の教養講座機会を二回程度もうける予定。

#### 【07】【04】人間科学研究法(測定と記述)(4)(春学期集中)

准教授 小林 ポオル

##### 授業科目の内容:

意識調査など質問紙による調査を行うことは多い。しかし、これにより得られたデータを解析し、その内容を的確に把握する、ということは必ずしも容易ではない。本講義では、秋学期に開講する「人間科学研究」(データ解析)とあわせ、調査結果の解析を行うために必要な基本概念を解説する。また、実際にそれらの基本概念を用いた解析を演習することにより、卒論等の研究上実施した調査を解析する技術を履修者が習得することを目的とする。

質問紙により得られたデータは、便宜的に数値として表現されることが多い。しかし、これらの数値の使い方は名目的であり、一般的な意味での尺度を構成しない。つまり、通常行われている統計的手法の適用はかたがた制約を受ける。しかし、最終的には、それらカテゴリカルなデータから意味のある数量を構成し、項目間の関係を把握することが目的になる。

本講義では、ふたつの項目間の関係につき、その関係の記述・関係の強さの表現の方法を検討する。また、これらの方法を多くの項目間の関係にまで一般化するための基礎概念についても学習する。

【07】【04】人間科学研究法（データ解析）(4)(秋学期集中)  
准教授 小林 ポオル

授業科目の内容：

春学期講義「人間科学研究法」(測定と記述)で得られた知識から出発し、多くの項目から成る調査データの全体像を明らかにすることを目的とする。これを達成するために、単項目の分析・2項目間の関係の分析を繰り返し行うのは現実的ではない。解析作業が膨大になり、複雑な関係を見誤って間違った解析になる危険がある。このため、解析手段を拡張し、多くの項目から成るデータを一括して視覚的に表現し、全体的構造の把握を容易にする方策を考える。

【07】【04】人間科学研究法（観察・実験）(4)(秋学期集中)  
講師 篠田 潤子

授業科目の内容：

この講義では、具体的な研究方法を学びます。キーワードをもとに先行研究を検索し、

観察・実験の計画書を練り、データ収集を行います。

テキスト：

授業中に適宜紹介します。

【07】人間科学研究法（計量と解析）(セ)(2)(春学期)

【07】人間科学研究法（計量と解析）(セ)(2)(秋学期)

【04】人間科学研究法（計量と解析）(4)(通年)

准教授 織田 輝哉

授業科目の内容：

この授業では、主として社会学的研究で必要となる社会調査の実施方法・統計分析の技法を身に付けることを目標とする。具体的な内容は次のようなものを予定している。

- ・表計算ソフトの使い方
- ・社会調査の基礎
- ・統計処理の基礎
- ・データ処理とプレゼンテーション
- ・簡単なシミュレーション

なお、授業の性格上出席は必須であり、また人数も制限する場合があります。詳しくは初回の授業で説明する。

テキスト：

- ・西平重喜『統計調査法』培風館
- ・馬場浩也『SPSSで学ぶ統計分析入門』東洋経済新報社

【07】人間科学演習（ワークショップ）(セ)(1)(春学期)

【07】人間科学演習（ワークショップ）(セ)(1)(秋学期)

【04】人間科学演習（ワークショップ）(2)(通年)

「人間科学」を科学する 教授 鈴木 淳子  
教授 三井 宏隆

授業科目の内容：

関連図書の講読・討論を通して、「人間科学とは何か」を考える。

学期末に上記テーマに関するレポートの提出を求める。

テキスト：

「スタディーズ人間科学」(三井宏隆著、ブレイン出版、2008年、2400円)

参考書：

授業のなかで適宜紹介する。

【07】人間科学演習（洋書講読）(セ)(1)(春学期)

【07】人間科学演習（洋書講読）(セ)(1)(秋学期)

【04】人間科学演習（洋書講読）(2)(通年)

教授 宮坂 敬造

授業科目の内容：

人間もつ認知・感情、表現行動、言説を文化社会要因から研究する分野(文化・心理人類学を中心とする文化研究地平にたつ人間科学)に関わる洋書講読。あつかう内容は、人間科学専攻の科目では2年生の必修科目のほか、人間科学特殊(比較文化関係論)、人間科学特殊(開発と文化)に直接関係し、また、アメリカの多民族社会と文化、文化と技術、開発と文化、精神分析、臨床心理学、コミュニティー心理学、都市と景観などを扱う人間科学特殊諸科目に関連する。教材とする洋書は、文化心理人類学の標準的な教科書の一部、文化と感情の関連を研究する研究書の一部の章、文化人類学・比較文化心理学・医療人類学・文化精神医学関係の学会誌掲載論文の一部、カルチュラル・スタディーズや文化社会的パラダイム批判関係論文の一部から選択。それらの論文を参加者全員で講読するやりかたが主。春学期で基礎力をつけ、秋学期では、専門研究の論文にもっとなれていく方向に誘導し、学部生レベルの範囲内で

はあるが、専門用語理解をふくむ学術研究英語論文の読解訓練がねらい。具体的教材等は、初回のガイダンスで説明する。単位取得のためには、討論など普通以上の参加度が要求される科目。

【07】人間科学演習（調査法）(セ)(1)(春学期)

【07】人間科学演習（調査法）(セ)(1)(秋学期)

【04】人間科学演習（調査法）(2)(通年)

調査法 教授 鹿又 伸夫

授業科目の内容：

社会調査と計量分析の方法を扱う。社会調査の標準的な方法としての調査票調査によって収集されたデータにたいして統計モデルを適用する計量分析は、社会学の実証研究における中心的な方法として発展してきた。調査データアーカイブが充実することによって、近年ではとくにパネルデータ分析などの先端的な分析手法の展開が著しい。ここでは新たに発展してきた計量分析およびそれをもちいた研究について検討する。

テキスト：

授業中に指示する。

【07】【04】人間科学演習（文献講読）(2)(春学期集中)

講師 篠田 潤子

授業科目の内容：

社会心理学においては、身の回りの出来事、経験したすべてが研究の対象になり得ます。しかし、単なる思い付きにとどまらず、「研究」ということになり得ますと、まず先行研究に目を通すことが求められます。

この講義では、「同じ事象を、どのような切り口で研究に結びつけていくことができるのか」を主眼に、複数の文献を講読します。

テキスト：

テキストは授業中に適宜紹介します。

参考書：

三井宏隆・篠田潤子 2007 「人間科学セミナー」ナカニシヤ出版(参考書とします)

【07】【04】人間科学特殊（インタフェース論）(2)(秋学期)

准教授 小林 ポオル

授業科目の内容：

本講義では、われわれが外界の事物・システムに対して持っている環境イメージと、人間環境の相互作用の場であるインターフェースとを分析対象として考察を進める。

情報機器がブラックボックス化・高機能化するに伴い、機器が情報を一方的に送って使用者の論理的理解により作業達成を促進し、使用者は形式化された記号操作の系列で意志を効率的に転送するというインタフェースデザインは行詰まり、使用者の作業意欲を低下させている。機器の操作を、わけのわかった動きだけで構成すると、明確な目的が定まっている場合にはそれに効率的に近づける。しかし、「わけがわかる」とは言語ないし言語代替の抽象記号の系列で表現できることだから、これを志向するインタフェースは正しい操作と間違いの対比が明確で、無駄のない整合的な論理応答が可能だが、遊びがなく、面白くない。操作を他の状況と結び付けて有機的関係を作る契機がなく、使用者はイメージの広げようがないので、機器操作は単なる義務的手続きになってしまう。これは安直であるが無味乾燥な環境の出来をもたらししている。

また制御の自動化によりさまざまな作業から不安・危険を取り除けば、日常生活の面白さも同時に消滅する。これは同時に、記号的に整除されない実環境の先の見えないことに対抗してリアルタイムに何とかする訓練の機会の消失でもある。機器操作とは本来人間が環境に働きかけ、その結果に応じてその場でさらにやり方を考えるという相互作用それ自体の心地よさ・面白さに基盤を置くものはずである。

人間の環境への働きかけを利便性向上のために単一化するのでなく、その本来的な多様性を尊重し、実環境の両義性に積極的に対処するリアルタイムの相互作用をインタフェースデザインにどう結実させるかを考察しながら、履修者が『快適な』『豊かな』環境を考えることの広がりを実感し、さらに現代環境に対する自らの問題意識を明確化することを本講義の目的とする。

これらのことを考察する準備として、講義前半では、産業革命に始まる外部動力・機械の成立、形状デザインの変遷を追い、さらにそれらを自動制御する根幹装置であるコンピュータの基礎的構造と動作についても扱う。

【07】【04】人間科学特殊（キャリア発達論）(4)(春学期集中)

現代日本における「キャリア発達」の基底と諸相 その総合的理解  
名誉教授 南 隆 男

授業科目の内容：

1. まず最初に：この授業科目は、基本的に、文学部人間科学専攻に所属する学生を、さらには、同専攻の二年生諸君を、授業の対象者として想定し、開講・展開されていく授業科目です。(人間科学専攻の三・四年生のかたで「この授業の履修を強く希望す

る」場合は、第一回目の授業時にそのことを申し出て下さい。協議します!)

- さて、これを記しているいまは、奇しくも、平成 21 年 1 月 12 日、「成人の日」です。今年の「新成人」は 133 万人だそうですが、世界の長寿国となった日本、少子高齢化が世界最速で進行している日本社会、彼ら 133 万人は“どのような人生の軌跡を描いていく”でしょうか?
- みなさんも三年後には“学窓を巣立って世に出て行く”わけですが、いま現在、どんな職業世界に飛翔しようと思われていますか? あなたの職業生活、延いては、あなたの人生は、どのように展開・構築されていくのでしょうか?
- 本授業では、一年をかけて、以上のような問い掛けに、まずは、自己言及的に深く、そして、可能な限り実証的に、答えてみよう! そう念っています。キーワード的に要約すれば: 現代日本における「キャリア発達 (Career Development)」, とりわけ、「職業生活の発達 (Work-career Development)」に焦点を当て、その心理・社会的基底をば検討・吟味・考究すること、これが、本授業での課題です。
- ところで、言うまでもなく、私たちは“ひとりで生きている”わけではありません。生まれたばかりの赤ちゃんにとっては母親・父親が、学童期には先生・友人、とりわけ、同年齢同性の仲間集団が、思春期・青年期になれば異性の友人も、そして成人期に至り働き出したとき、最も影響力のある「人間行路の伴走者 (Convoys over the Life Course)」は上司であろう。信頼関係が上司との間に樹立され、職場の先達である、彼ないし彼女が「あなたの人生の良き相談相手 (Mentor)」であるとしたならば、それはとても幸せな事態ではあろう。

本授業の「サブタイトル」に付した『その総合的理解』の含意(のそのひとつ)は、例えば、以上のようなことでもあります。すなわち、『現代日本人の職業生活の発達』に焦点を当てるとしても、また、その『心理・社会的基底』をば考究するとしても、それは、“人間の一生涯を通しての発達”(Development through Life)の視座から考えられねばならないこと、そして同時に、“ひとびとが現に生き生活をしている時代の位相”(Life-course Perspective)への視点も必須となってくる、ということ!

テキスト:

授業の各回毎に「次週分の必読文献・資料」を配布します。それらがテキストとなります。

参考書:

参考図書として、とりあえずは:『南 隆男ほか/「組織・職務と人間行動 効率と人間尊重との調和」/ぎょうせい』『宗方比佐子ほか/「キャリア発達心理学 心理・組織・生涯発達」/川島書店』『渡辺三枝子ほか/「新版・キャリアの心理学 キャリア支援への発達のアプローチ」/ナカニシヤ出版』の三書を。

---

【07】【04】人間科学特殊(キャリア発達論)(4)(秋学期集中)  
現代日本における「キャリア発達」の基底と諸相 その総合的理解  
名誉教授 南 隆 男

---

授業科目の内容:

春学期の『人間科学特殊(キャリア発達論)』を継続・発展・深耕させての授業となります。

ちなみに、春学期の当該授業を履修しなかったかた、或いは、履修したが同科目への評価が「D」(不合格)であったとした場合、秋学期のこの授業への参画は出来なくなります。

夏休み中に企図された「調査研究プロジェクト」そのことの実施・実行 完遂が、秋学期の授業における達成目標です。

テキスト:

春学期と同様、授業の各回毎に「次週までに検討・吟味してくるべく資料」としての「調査結果・分析結果」が供覧・配布されます。それらが、秋学期授業における主要なテキストとなります!

参考書:

「調査研究プロジェクト」の進展に伴って、関連の参考文献また論文をば紹介・案内していくはずで。

---

【07】【04】人間科学特殊(スポーツメディア論)(2)(秋学期)  
講師 篠田 潤子

---

授業科目の内容:

スポーツ産業はマスメディアとの二人三脚で発展しました。本講義では、メディアにより発展したスポーツ“メディアスポーツ”の現場で働く人々の言説をもとに、フィールドにおける事象を多角的な視点でとらえ、理解を深めることを目的とします。実際にマスメディアの現場や、スポーツビジネスの現場で活躍されている方の話を直接伺う機会も設けます。

スポーツ普及に寄与したメディアの有用性、スポーツファンの視聴態度、報道にみられる人種問題、ジェンダー問題を取り上げる「スポーツ社会心理学(春学期)」を受講された上で本講義を受けることが望めます。

テキスト:

授業中に適宜紹介します。

参考書:

篠田潤子「スポーツとメディア」ブレーン出版

---

【07】【04】人間科学特殊(スポーツ社会心理学)(2)(春学期)  
講師 篠田 潤子

---

授業科目の内容:

スポーツを研究する学問領域は広範囲に及びます。この講義は、「スポーツ社会心理学」の立場から、スポーツを通して現代社会の有り様を考察することを目的としています。

テキスト:

授業中に適宜紹介します。

参考書:

三井宏隆・篠田潤子「スポーツ・テレビ・ファンの心理学」ナカニシヤ出版

---

【07】【04】人間科学特殊(意思決定論)(2)(秋学期)  
講師 山岸 侯彦

---

授業科目の内容:

本講では「意思決定の認知科学」を概観する。心理学者であるカーネマンをして、2002年ノーベル経済学賞を受賞せしめた功績の根幹となったのが、従来の数学的・経済学的思索に認知科学の見識をとりこんだ意思決定論に他ならない。今日、巷間には「行動ファイナンス」と銘打った新書が溢れ、新たな学問分野として「行動経済学」「神経経済学」等が名乗りを上げている。そうした動きに科学的基盤を提供した意思決定論を、この講義では紹介する。ただし文学部設置科目であるので、それに相応しい内容を提供する。即ち、「経済学やマーケティング理論の概説」は本講の目的ではない。意思決定と選択にまつわる心理学の主要な知見から、規範的統計や古典的経済学の予測に従わない人間行動がいかに説明可能かを解説する。

テキスト:

テキストは特に指定しない。

参考書:

広田・増田・坂上,(2006). 心理学が描くリスクの世界, 慶應義塾大学出版会. ISBN-10:4766412613

---

【07】【04】人間科学特殊(開発と文化)(2)(春学期)  
開発と文化の人類学: その理論と実践  
講師 関谷 雄一

---

授業科目の内容:

主として発展途上国の、人類学フィールドに見出される、開発と文化を巡る諸問題を取り上げる。そのアプローチは、人類学の文化相対主義的立場を中心として、理論と実践の双方から検討してみる。参加学生の意欲と能力により、発表や討論方式も取り入れる予定。学生の積極的参加を期待している。

テキスト:

適宜プリントを配布する。

参考書:

Marc Edelman & Angeliq ue Haugerud eds. The Anthropology of Development and Globalization Blackwell [2005]

---

【07】【04】人間科学特殊(芸術と人間)(2)(春学期)  
ナショナル・アイデンティティーと絵画  
講師 田中 秀隆

---

授業科目の内容:

ナショナリズム研究および、美術作品への社会学的なアプローチによって、絵画が、国民・民族・国家のアイデンティティーを表象する役割を持たされてきたことが、指摘されている。その典型的な例は、19世紀から20世紀の国民国家形成期に認められる。その時期は、フランスで誕生した印象派様式が国際的な絵画様式として普及していく時代でもあった。国際様式の中にいかに国民的な要素を盛り込むかという課題が画家にも意識されたのである。

講義では、ヨーロッパから遠く離れながら、文明国家たらんとしたオーストラリアを補助線に考えることで、同じようにヨーロッパから遠くにあり、西洋文明を志向した日本の近代絵画が抱えた課題をグローバルなものとして見直す視点を獲得することを目指す。

テキスト:

特に指定しません。

参考書:

Anne-Marie Willis “Illusions of identity: the art of nation”, Hale & Iremonger Pty Limited.

佐藤道信 『美術のアイデンティティー』吉川弘文館

有満保江 『オーストラリアのアイデンティティ』東京大学出版会

【07】【04】人間科学特殊(現代日本人のライフスタイル)(2)(春学期)  
講師 林 光

授業科目の内容:

企業が生活者とコミュニケーションを図ろうとするとき、生活者の価値観やライフスタイルなどを把握していれば有効なコミュニケーションを果たすことが出来る。広告コミュニケーションも、いまや一方的な情報発信ではこと足らず、マルチな手段と多角的な内容が求められている。生活研究者を20年続けてきた立場から、生活者把握の多様な方法とその分析手段から表現方法まで、具体的な例を交えながら考察していきたい。テキスト:

特になし  
参考書:  
特になし

【07】【04】人間科学特殊(現代日本人のライフスタイル)(2)(秋学期)  
ライフスタイルの多様化 講師 本庄 美佳

授業科目の内容:

本講義は、女性の社会進出によるライフスタイルの変容と、若い世代のライフスタイルの動向に焦点を当て、ライフスタイルの多様化について考えます。就職・結婚・出産・育児など若い世代のライフスタイルに大きな影響を与えるトピックについて、子どもを育てつつ、両立支援関連の業務もしている自分自身の経験も生かし、さまざまな素材を提供していきたいと思えます。また、そういうライフスタイルの多様化がもたらす、社会全体の変化の潮流も一緒に考えたいと思えます。テキスト:

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。  
参考書:  
特に指定しません。講義の際に随時紹介します。

【07】【04】人間科学特殊(精神病理学)(2)(秋学期)  
精神医学の基礎 医学部 専任講師 古茶 大樹

授業科目の内容:

精神病理学・精神症候学を中心に、精神医学の基礎について学びます。

テキスト:  
特に指定しません。講義プリントを配布します。  
参考書:  
濱田秀伯著「精神症候学」弘文堂 ¥8,000-

【07】【04】人間科学特殊(精神分析学)(2)(春学期)  
90分間、精神分析的に生きてみる 医学部 助教 嶋田 博之

授業科目の内容:

「精神分析」という言葉が意味することにはさまざまなものがあります。精神分析という学問領域において発展してきたさまざまな理論や、それらの理論を用いて行われるさまざまな臨床実践がその主なものでしょう。精神分析を学ぶ方法にも、文献や講義による理論的学習と、実践による体験的学習とがあり、この両方を自分の中で有機的につなげていくことが肝要です。体験的学習の素材は、何も自分が精神分析を受けたり、精神分析的な治療者になったりしなくても、私たちが生きている毎日の時間の中にもあふれているはずです。しかし、私たちはそのうちのどれくらいをじっくりと体験できているのでしょうか。講義の時間の中でも、理論だけに偏ることなく、私たち自身の体験もフルに活用しながら、人間理解の1つの方法としての精神分析を学ぶことが出来ないかと考えています。それは講義の90分間を精神分析的に生きてみることと言えるかもしれません。テキスト:

特に指定しません。講義でプリントなどの資料を適宜配布する予定です。  
参考書:  
特に指定していません。

【07】【04】人間科学特殊(都市生活と景観)(2)(春学期)  
自然・人間・都市(人間と自然との相互作用としての景観について) 講師 高山 啓子

授業科目の内容:

「都市の時代」といわれる現代において「景観」は大変重要な課題となっているが、人間にとって景観は、文明の発展、社会の形成などの面で、大変重要な意味を持っていた。

景観建築(Landscape Architecture)、景観計画(Landscape Planning)、景観工学(Landscape Engineering)など景観にかかわる学問は、自然科学、社会・人文科学、芸術、工学などさまざまな分野と関連した「境界領域」(interdisciplinary field)の学問であり、総合的あるいは包括的な(holistic)分野として注目されている。現代の世界は、高度な文明の発達段階にあるものの、私たちの住む都市の環境に目をやると、このよう

な文明が私たちの幸福や福祉の増進にかならずしも貢献しているとは限らないということに気づく。「景観とは何か」、「人間はどのようにして景観を造ってきたか」、「未来の景観づくりはどうあるべきか」について人間と環境との相互作用としての景観という視点から、欧米などの都市景観の変遷、東京都内のフィールドスタディなどを行いながら都市の環境・景観について実践的に学び、考えていく。

テキスト:

アーバンエコシステム(自然と共生する都市): A. スパーン著, 高山啓子訳, (環境コミュニケーションズ刊 4,300円)

参考書:

- ・ヒューマニティ&エンヴァイロメント: I. G. シモンズ著, 高山啓子監訳, 信山者サイテック刊。
- ・I. マックハーグ著, 下川辺淳監訳, デザインウィズネイチャー。
- ・I. マックハーグ: 共生への哲学, 緑の読本 Vol.56 環境コミュニケーションズ刊。他(授業の進行に合わせて紹介)

【07】【04】人間科学特殊(都市生活と景観)(2)(秋学期)

21世紀の景観創造と新たなライフスタイルの構築

自然との共生、快適性、歴史性・文化性に配慮した都市環境の創造  
講師 高山 啓子

授業科目の内容:

現在の都市景観は、さまざまな気候風土を舞台とした人間と自然との相互作用の結果であるが、文明のパラダイムが大きく変化中、都市景観形成の思想、目標の見直しが迫られている。このような状況下での都市環境ならびに景観形成のあり方について、水と緑など都市の自然環境、市街地、郊外、近郊の田園及び自然地域の景観の保全と形成など、具体的な事例を取り上げながら、時間・空間など様々な角度から考えていく。さらに、これとともに社会・文化的環境と景観、安全性・健康性・快適性と景観などについて、新しい都市づくりの視点を取り上げて検討する。テーマ: 「都市の森と広場」「市街地」「郊外」「都市近郊林」など。2回程度のフィールドスタディ(大名庭園、都市再開発など)を実施する予定。後半4回は、ゼミ形式で。

テキスト:

ヒューマニティ&エンヴァイロメント: I. G. シモンズ著, 高山啓子監訳 環境コミュニケーションズ刊

参考書:

社会文化史に見る都市の自然と公園緑地(連載)「緑の読本」: 高山啓子著, 環境コミュニケーションズ刊 Vol 49, 51, 52, 53, 55, 57, 58, 60, 61。  
アーバンエコシステム(自然と共生する都市): A. スパーン著, 高山啓子訳, 環境コミュニケーションズ刊。The Language of Landscape: A. W. Spirn 著, イェール大学出版会ほか

【07】【04】人間科学特殊(比較文化関係論)(2)(春学期)

教授 宮坂 敬造

授業科目の内容:

グローバル時代、文化が相互に関係交錯する事態とそれに呼応して現れた文化的価値観(象徴行動に通自する表象・言説)を社会文化象徴分析的に検討する。総論、グローバル化にともなう小規模・伝統社会の変化、象徴的儀礼行動の変化の諸相、民族・人種問題の再構成、メディアに媒介される文化、多民族多文化社会、ディアスポラ移民のアイデンティティ、シャーマン医療の変化、文化結合症候群再検討、多元的医療文化、戦争と人間の非合理性、映像人類学の諸問題などの話題を扱い、まとめと展望を検討する。分野としては、象徴文化(心理・認知)人類学、文化心理学を基底にし、トランスナショナル人類学の最新動向検討をまじえて一部医療人類学の話題を加えるという授業計画にそって展開。人間諸科学が扱う現代的諸問題を文化の次元に焦点をあわせて検討していく科目で、人間科学諸領域の科目を基礎とした次の段階の科目。2年生対象の前者で扱った話題をさらに詳しく検討していくというやりかたをとる。

参考書:

『文献案内』人間科学諸領域 (D) <http://www.mita.cc.keio.ac.jp/flet/myerspac/index.htm>の項目別参考書を参照。また、適宜、講義時に指示。

【07】【04】人間科学特殊(文化と技術)(2)(秋学期)

メディアコミュニケーション技術と社会文化

講師 木村 忠正

授業科目の内容:

1990年代以降、情報メディアネットワーク技術の革新が現代社会に大きな変革をもたらしてきた。では、それはどのようなベクトルをもち、今後どのような方向に進もうとしているのか?本授業は、こうした問いに対して、人類社会におけるコミュニケーション技術と社会・文化との関係という文化人類学的観点からアプローチする。

人類の最も大きな生物学的特徴の一つは、シンボル操作能力とシンボルを介したコミュニケーションにある。さらに、人間社会にとって重要な役割を果たしてきたのは、シンボルを媒介するメディアの発明、開発

とメディアコミュニケーションである。音声言語、図像表現、文字言語、印刷術などのメディアコミュニケーション技術は、人間社会に革命的变化をもたらした。そしてここ百数十年の間に、電話、映画(動画記憶・再生)、蓄音機、ラジオ、テレビと様々な電子的メディアが生み出され、1990年代から、デジタル、モバイル、ネットワーク技術における相乗的な技術革新を中核とし、インターネット、移動体通信メディアが爆発的に普及した。そこで本授業は、音声言語と文字言語、印刷術、電子メディア、デジタルネットワークといった情報メディアコミュニケーション技術と社会・文化との関係を探求しながら、現代社会を情報メディア社会として捉えることの意味について考える。

テキスト:

適宜プリントを配布する予定。

参考書:

- 木村忠正(2000)『デジタルデバイドとは何か』(岩波書店)
- 木村忠正(2004)『ネットワークリアリティ』(岩波書店)

【07】人間科学特殊(現代家族論)(セ)(2)(春学期)

【07】人間科学特殊(現代家族論)(セ)(2)(秋学期)

【04】人間科学特殊(現代家族論)(4)(通年)

[春学期]何が育児を支えるのか?

[秋学期]ジェンダー論の視点から

[春]講師 松田茂樹

[秋]講師 大貫拳学

### 【春学期】

授業科目の内容:

家族の主要な営みのひとつが子育てであるが、現代の子育ては少子化、共働化、格差社会、男女の役割分担の変容等、家族をとりまくさまざまな社会現象の交差点である。逆にいえば、子育ての現状とその背景をみていくと、現代社会がそして家族が抱えている問題を深く知ることができる。本講義では、実証研究の結果をもとに、現代の子育ての問題を通して、社会の問題をみていく。

テキスト:

松田茂樹, 2008, 『何が育児を支えるのか? 中庸なネットワークの強さ』勁草書房

参考書:

授業中に適宜紹介する。

### 【秋学期】

授業科目の内容:

私たちの多くが「家族」と呼んでいるものは、時代や地域を越えて普遍的に存在するものではない。「家族」と名づけられる集団や生活の形態は、歴史・文化・政治・経済等などの社会的文脈に規定される。家族社会学は、近代に生きる私たちが自明視している「家族」のあり方を、「近代家族」と呼び、その歴史的相対化を行ってきた。またフェミニズムなどの思想/運動は、近代家族内部における女性への抑圧や、近代家族を前提とした社会のあり方のさまざまな問題点を批判する。

本講義では、現在私たちが「家族」と呼んでいるものがどのように成立してきたのか、また、いかなる変容の過程にあるのかを考えたい。その際、とくに「ジェンダー」の視点を重視する。

テキスト:

特定のテキストは使用しない。

参考書:

参考文献等は適宜紹介するが、さしあたり以下をあげておく。

- ・落合恵美子, 2004, 『21世紀家族へ(第3版)』有斐閣
- ・加藤秀一・石田仁・海老原暁子, 2005, 『図解雑学 ジェンダー』ナツメ社

【07】人間科学特殊(コミュニティ心理学)(セ)(2)(春学期)

【07】人間科学特殊(コミュニティ心理学)(セ)(2)(秋学期)

【04】人間科学特殊(コミュニティ心理学)(4)(通年)

講師 久田 満

授業科目の内容:

コミュニティ心理学は、伝統的臨床心理学に対するアンチテーゼとして誕生した。わが国では臨床心理学の低位分野として位置づけられているが、近年欧米では、独立した1分野として、産業・組織心理学、公衆衛生学、精神腫瘍学、医療人類学等との連携を深めながら、その地位を確立しつつある。この授業では、「一つの見方」としてのコミュニティ・アプローチの実践例をできるだけ多く紹介し、このアプローチのわが国における応用可能性について論議したい。取り上げる例は、スクールカウンセリング、企業の風土改革、ドメスティック・バイオレンス、ホスピス病棟での終末期医療、中高年の自殺などである。

テキスト:

植村勝彦ほか編「よくわかるコミュニティ心理学」ミネルヴァ書房

参考書:

授業中に適宜、紹介する。

【07】人間科学特殊(パーソナリティ研究)(セ)(2)(春学期)

【07】人間科学特殊(パーソナリティ研究)(セ)(2)(秋学期)

【04】人間科学特殊(パーソナリティ研究)(4)(通年)

パーソナリティ心理学の理論と方法 講師 岩熊史朗

授業科目の内容:

われわれは、家族や知人のそれぞれを他の誰とも違う唯一無二の個人として認知し、それぞれの“人となり”を多少なりとも理解した上で生活をともにしています。このような個人の「人となり」「個性」「性格」などは、心理学において「パーソナリティ」という概念のもとに研究されてきました。この講義では、パーソナリティに関する主要な理論、研究方法、診断、評価技法を概観し、パーソナリティを把握するための視点についての理解を深めます。また、「人間が人間を理解する」ということの意味についても、社会心理学的な視点あるいは認識論的な視点から言及していく予定です。

テキスト:

指定しません。適宜ハンドアウトを配布します。

参考書:

- ・本明寛(編)「性格心理学新講座1 性格の理論」(金子書房, 1989年)
- ・杉山憲司・堀毛一也(編集)「性格研究の技法」(福村出版, 1999年)
- ・クラエ, B.(堀毛一也編訳)「社会的状況とパーソナリティ」(北大路書房, 1996年)
- ・ミッシェル, W.(詫摩武俊監訳)「パーソナリティの理論 状況主義的アプローチ」(誠信書房, 1992年)
- ・バー, V.(田中一彦訳)「社会的構築主義への招待 言説分析とは何か」(川島書店, 1997年)

【07】人間科学特殊(ライフスパン発達論)(セ)(2)(春学期)

【07】人間科学特殊(ライフスパン発達論)(セ)(2)(秋学期)

【04】人間科学特殊(ライフスパン発達論)(4)(通年)

講師 須田 誠

授業科目の内容:

人間の発達生涯にわたるが、この講義では、人間の生から死に至るまでの「生物-心理-社会」的な次元での変化とそれに伴う諸問題を取り上げる。

春学期では、「疾風怒濤の時期」と呼ばれる思春期/青年期について解説をする。思春期/青年期における急激な生物学的変化は、本人にどのような心理的/社会的事態をもたらすであろうか。例えば、友人や家族との関係および学校生活においてどのような事態をもたらすであろうか。虐待・非行・不登校・ひきこもり等のトピックを紹介し、皆さんと討議し、考察を深める。

秋学期では、成人期における「キャリア形成/キャリア発達」について解説をする。成人後の発達を促すのが仕事生活である。「仕事生活をいかに生きるか?」という問いとその答えが、成人期の本質である。キャリア形成/キャリア発達を考える際には、「自分らしさ」を追求することが強調されがちだが、もう一步踏み込んで「組織の中での自分らしさ」を追求することが必要不可欠である。従来の日本の経営下での受動的キャリアと、今日の我々に必要な自律的キャリアについて、個人・企業・教育の視点からメンタリング・リーダーシップ・メンタルヘルス等のトピックを紹介し、皆さんと討議し、考察を深める。

講義の内容そのものの理解だけではなく、ディスカッションやプレゼンテーションを実行/体験することも、本講義の目標である。

尚、この講義は「人間科学専攻」の「第2学年生」を対象としている。その他の学生諸君は履修をご遠慮いただく。

テキスト:

主に配布資料をもとに講義を行う。

参考書:

参考書は適宜紹介する。

【07】人間科学特殊(女性とキャリア)(セ)(2)(春学期)

【07】人間科学特殊(女性とキャリア)(セ)(2)(秋学期)

【04】人間科学特殊(女性とキャリア)(4)(通年)

ワーク・ライフ・バランスをめざして 教授 鈴木 淳子

授業科目の内容:

履修者が、キャリア形成と私生活のバランスをどのようにとれば心理的安寧、幸福感、健康を獲得できるかについて、主に社会心理学および産業・組織心理学の視点から考えることを目的とした講義である。

テキスト:

特に使用しない。毎回講義資料プリントを配布する。

参考書:

講義のなかで参考文献リストを配布する。

- 【07】人間科学特殊 (組織行動論)(セ)(2)(春学期)  
 【07】人間科学特殊 (組織行動論)(セ)(2)(秋学期)  
 【04】人間科学特殊 (組織行動論)(4)(通年)

組織における様々な現象を心理学の観点から分析する

講師 林 洋一郎

授業科目の内容:

組織行動論は、組織という社会の中で、人間がどのように考え、感じ、振る舞うかを科学的に探求する学問です。この学問は、心理学の概念や方法論と強く結びついており、産業・組織心理学とほぼ同義といってもよいほどです。

本講義の目的は、受講生が、1) 人事アセスメントに関する基礎知識に習熟し、組織行動論が科学と実践の学問であると理解すること、2) モチベーションやリーダーシップなど組織の運営を円滑に進めていく上で必要な概念を理解すること、3) 受講者のキャリア・デザインに役立つ理論や知見を提供し、進路選択の一助となることという3点です。

講義にあたっては、(時間の許す限り) ビデオ教材や実際の心理テスト等を用いて、具体的な事例にも触れるようにしたいと思います。

テキスト:

山口裕幸・金井篤子編『よくわかる産業・組織心理学』2007年、ミネルヴァ書房

参考書:

二村英幸著『人事アセスメント論 - 個と組織を生かす心理学の知恵』ミネルヴァ書房、2007年  
 Robbins, S., P., & Judge, T. A. 2008 *Organizational Behavior 13th Edition*, Prentice Hall College.

- 【07】人間科学特殊 (米国の多民族社会と文化)(セ)(2)(春学期)  
 【07】人間科学特殊 (米国の多民族社会と文化)(セ)(2)(秋学期)  
 【04】人間科学特殊 (米国の多民族社会と文化)(4)(通年)

米国およびカリブ海域における  
 アフリカ系の表現文化にみる多文化的状況

講師 三吉美加

授業科目の内容:

「黒人」の表現文化にみる社会的文化的多様性を理解しながら、エスニシティや人種に関する問題を考察していきます。

テキスト:

資料プリントを配布します。

- 【07】人間科学特殊 (幕末・明治維新期の日本人像)(セ)(2)(春学期)  
 【07】人間科学特殊 (幕末・明治維新期の日本人像)(セ)(2)(秋学期)  
 【04】人間科学特殊 (幕末・明治維新期の日本人像)(4)(通年)

自由民権思想の系譜

講師 川 澄 哲 夫

授業科目の内容:

徳川の封建社会は、老中田沼意次の明和、安永の時代になると、商品経済が著しく進展し、町人層が勢力を蓄えてきた。そのため民権が伸張し、社会に、自由で開放的な空気が漲っていた。そこから異国趣味が生まれ、蘭学が興った。そして西洋の実用科学が「医術・天文・地理・曆学皆蘭ヲ以テ精真ナリ」ということがわかり、そのような科学技術を生み出した社会を覗いてみると、そこは「法則・制度・善美を究尽した」理想郷であった。

とりわけヨーロッパは政治が行き届き、「人トシテ人ヲ貴ム」精神のあることを発見する。そして「貴ト八天子、諸侯ヲ云。卑キト八農夫商工ナリ」という儒学の教えと比べてみるのであった。前野良沢、司馬江漢、本多利明などは蘭学のこの面に目を向けた市井の蘭学者であった。

渡辺華山は、蘭学のこの面を現実の政治の場に持ち込もうとする。華山は天保三年(一八三二)年寄り役末席・海防係に押される。そして役職上、蘭学を通じて、外国の地理・制度・風俗など、見聞の及ぶかぎり、情報を集めることに努める。華山の西洋事情の研究は着々と進む。そのうち「ペートル」のロシアと、とりわけ「レビュグレーキ」(アメリカ合衆国)が、わずか五十年の間に「世界第一ノ殷(いん)富(ぶ)ノ国」となった根本原因が「物理ノ学」と「養才の政」(教育)にあることを知る。

華山は、アメリカの「共治ノ政」つまり「君長ヲ相立不レ申、賢才ヲ推テ官長ト致シ、百官ヲ設フケ、会議共治ト仕候」という政治形態に強く惹かれる。華山の西洋事情は福沢諭吉の西洋事情前史である。結局、華山は蛮社の獄の犠牲となり、自刃して果てる。一八四一年(天保十二年)十一月二十三日のことである。

ちょうどその頃、アメリカの捕鯨業が全盛時代を迎えていた。その捕鯨船団は、太平洋をそして日本の北はエトロフ島から、南は八重山諸島に至るまで、その白い帆布で埋めつくしていた。これらの捕鯨船に漂流中の日本人が頻々と救助される。彼ら漂流民の中には、若きよき時代のアメリカを訪れた者もいた。土佐の漁師の息子万次郎もその一人である。そこでは日本の将軍にあたる大統領が「人民の入れ札」によって選ばれ、しかも「四年交代」ということを知る。そして「民、百姓ナリトモ学問次第ニテ拳ケ用ヒラル」と職業選択の自由があった。町角で黒

人が、「アモチ・ジャンツマニ」と売られているのを見た者もいた。彼らが持ち帰ったアメリカ事情は識者に大きな衝撃を与える。

福沢諭吉は万次郎に惹かれる。彼は門閥制度のない国で暮らしていたからである。福沢は咸臨丸で万次郎と同行し、サンフランシスコで、「ワシントンの子孫」を体験する。

次いで文久の遣欧使節に加わって、二つの重要な出来事に遭遇する。一つはシンガポールで漂流民音吉に会い、阿片戦争や太平天国の乱について教わる。福沢の脱亜の思想はここに芽生えたといえよう。もう一つはパリで立ち寄った書店の主人が時の国務大臣某氏の実弟であること知った驚きである。欧米では人権が尊重され、人に妨げられることなく、天賦の才を伸ばすことができる。しかも土農工商の差別もない。諭吉は「祖国にどれほど自由が欠けているかを考える」と、もう眠ることさえできなくなってしまった。帰国後『西洋事情』初篇を書き上げ世に問う。

慶応三年(一八六七)、諭吉は再度アメリカへ渡る。この時、ワシントンで、時の大統領ジョンソンが散歩しているのに会う。

今度の福沢のアメリカ土産は多数の英書であった。従来、西洋の学問は、医学、兵学、天文学など技術面に限られていた。福沢は、この「西洋の学問を社会の人事に適用せん」として、歴史、政治、経済の学問に関する書物を求めて帰ってきた。

慶應四年閏四月、福沢は塾を鉄砲洲から芝新銭座に移し、時の年号をとって慶應義塾と名付けた。その結果、福沢は中津藩から独立し、洋学は封建社会から解放されることになった。新銭座では、ウェーランド修身論の感化によって塾内に自由平等の思想が充満していた。

テキスト:

毎回、講義資料プリントを配布します。

参考書:

鈴木孝夫監修川澄哲夫編著 資料日本英学史 1 巻上・下

- 【07】人間科学特殊 (臨床心理学)(セ)(2)(春学期)  
 【07】人間科学特殊 (臨床心理学)(セ)(2)(秋学期)  
 【04】人間科学特殊 (臨床心理学)(4)(通年)

講師 生田 倫子

授業科目の内容:

臨床心理学とは、様々な問題行動や心理的不適応、心理的病理について、改善をはかするための診断、治療、対応、予防を行う心理学の一分野である。この授業では、個々の心理療法の学派紹介にとどまらず、新たな枠組みを作りうる一つの統合体として、マクロな視点で俯瞰していくことを目的とする。

テキスト:

講座、臨床心理学、1巻、臨床心理学とは何か

- 【07】人間科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
 【07】人間科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
 【04】人間科学研究会 (2)(通年)

准教授 織田 輝 哉

授業科目の内容:

この研究会では、社会的な視点から、人間にかかわる様々な事象を分析的・科学的にとらえていく方法を身につけていくことを、ゆるやかな目標として設定しておきたいと思う。

研究会 では、社会学における合理的選択アプローチの基礎と応用について、相互的行動理論・ゲーム理論・社会的ジレンマ研究・ミクロマクロ問題・秩序問題等の課題を取り上げながら学習していく。

研究会 では、各自の卒業論文に向けての研究を、発表し、議論をする。また、社会学の基礎的な文献について、定期的な読書課題を与える。

- 【07】人間科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
 【07】人間科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
 【04】人間科学研究会 (2)(通年)

メディア・コミュニケーション研究所 教授 萩原 滋

授業科目の内容:

本研究会では、2年間の研究活動を通じて各自が選んだテーマの理解を深め、その成果を卒業論文に結実させることを目的としている。春学期に社会心理学のテキストを講読して基礎的な知識を習得した後、秋学期には各自が関心のあるテーマを選んで関連する文献を選んで発表を繰り返す、それに関する議論を通じて卒業論文の準備を進める。

テキスト:

社会心理学のテキストを指定する

参考書:

研究法に関する文献を指定する

- 【07】人間科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
 【07】人間科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
 【04】人間科学研究会 (2)(通年)

教授 三井 宏 隆

授業科目の内容:

卒論作成に向けて、社会心理学を中心とした研究の仕方を学ぶ。

テキスト：

「人間科学セミナー」(三井著, ナカニシヤ出版, 2007年, 2000円)

【07】人間科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】人間科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】人間科学研究会 (2)(通年)

休講

【07】人間科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】人間科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】人間科学研究会 (2)(通年) 教授 鈴木 淳子

授業科目の内容：

キャリアとジェンダーにかかわる社会心理学/産業・組織心理学の研究に興味をもつ男女学生を対象とし、卒業論文の完成を最終目標とする。また、論文完成までの各プロセスをたどることによって、社会的存在としての人間を科学的に研究するとはどのようなことなのかについての理解を深めることをめざす。

春学期にはテキストを講読し、基礎的な知識を得て、問題意識を明確化させる。秋学期には各自が関心のある研究テーマを選び、関連文献を検索し、その内容を発表し、全員で討論する。希望者は、秋学期後半に個人あるいはグループで研究テーマに関する小規模な質問紙調査を行い、結果を報告する。報告の内容(調査デザイン、分析結果など)について全員で検討する。

この研究会は研究が中心であるが、春秋学期の学習を通して、レジュメ・レポート作成、プレゼンテーション、質問紙作成などの各種スキルを実践によってより高めることも重視する。

テキスト：

第1回目の授業で履修者の興味を確認したうえで、授業の中で適宜指定する。

参考書：

講義のなかで参考文献リストを配布する。

【07】人間科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】人間科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】人間科学研究会 (2)(通年)  
階層移動とジェンダー格差 教授 鹿又 伸夫

授業科目の内容：

教育達成や職業達成などの世代間階層移動における機会格差とくに男女間の相違について扱う。

社会学の社会階層と社会移動研究では、子どもの学歴や職業などが親の学歴や職業に影響されることを明らかにしてきた。しかし、その影響がどのようにして作られるかというメカニズムについては、十分には解明されていない。また、影響メカニズムの男女間での相違はほとんどわかっていない。こうしたことに関連する諸研究を検討する。

テキスト：

授業中に指示する。

【07】人間科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】人間科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】人間科学研究会 (2)(通年) 教授 渡辺 秀樹

授業科目の内容：

家族社会学・教育社会学の文献を中心に講読する。参加者はサブゼミで基礎文献を講読し、学習した上で、研究会では、関心、テーマに基づく文献を取りあげる。

【07】人間科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】人間科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】人間科学研究会 (2)(通年) 准教授 北中 淳子

授業科目の内容：

この研究会では、現代社会における健康と病(特に「こころの病」)に関連した事象を、医療人類学的視点から分析していく。前半では医療人類学の基本的な文献を取り上げ、その報告と討論を中心に行う。後半では、各自が選んだテーマについて文献・フィールド調査を行い、発表・討論を重ねていきたい。

テキスト：

授業で指示する

【07】人間科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】人間科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】人間科学研究会 (2)(通年) 教授 宮坂 敬造

授業科目の内容：

人間科学としての比較文化研究(文化人類学・心理人類学・記号論・医療人類学・20世紀末のパラダイムのゆらぎを念頭に置きながら)に関

係した諸問題を扱い、ゼミ討論し、問題の見つけ方、発想の立て方、記号・分析総合の方法の一部を相互に訓練する。ある文化における小規模集団の象徴行動やそれが表象されたものをどう観察収集するのか、それに基づいてその文化の価値観、心情、アイデンティティを社会関係と関連させながらどう理解していくか(人々の言行を観察すると言ったが、それは「観察者」と「観察される人々」の間に進んでいく関係性に条件づけられるのではないか(更にいえば、社会経済的關係にも影響されながら前者後者の文化同士を背負った間文化的關係の場の中で互いに接触している-そのことを考えねばならぬのでは?)。このような問題意識を中心にもち、また構造論・現象学的視点・全体システム論の立場をからませた視点と、相互作用分析(象徴的コミュニケーション分析)、文化テキスト・ディスコース内容分析の方法意識を背景に置く。具体的には、比較文化に関連するサブテーマ(他者のイメージ・異文化理解・文化とアイデンティティ・文化と認知・感情・危機と通過儀礼・危機における象徴的行動・文化摩擦・文化と精神病理・身振りや空間の象徴的意味・芸能・絵画・舞踏と文化・サブカルチャー・大衆文化・小規模社会・ポスト現代の多民族複合社会・医療人類学など)等の問題領域の一部を取り上げてゆく。参考書はその都度指示。

【07】人間科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】人間科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】人間科学研究会 (2)(通年) 准教授 小林 ポオル

授業科目の内容：

我々を取りまく様々な事物はその表面的な現れ・機能とは別の働きかけを人間に対して行っている。もちろんそれらの事物 現代の環境 を作ってきたのは人間の側であるが、当初想定された機能と環境に組み込まれた現実のそれとは往々にして一致していない。現実には、ほとんどの環境は結果として形成されたものであって、比較的小さな個別変化が集積されることにより全く異なる機能を獲得したものである。

このような環境は単に科学技術のみの力によって形成されて来たわけではない。むしろ現代に至る科学技術の発展の原動力となったものが、この環境の変化をも支えてきたと考えるのが妥当であろう。そこでこれがどのような機制によって変遷を遂げて来たのか、またこの過程でおこった人間の側の反発・抵抗がどのような形で現れたかということを探ることからこの原動力と科学技術・現代の環境の間の関係を認識し、その上で我々にとっての人間的な環境を迫ることを課題とする。

【07】人間科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】人間科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】人間科学研究会 (2)(通年) 准教授 織田 輝哉

授業科目の内容：

この研究会では、社会学的な視点から、人間にかかわる様々な事象を分析的・科学的にとらえていく方法を身につけていくことを、ゆるやかな目標としておきたいと思う。

研究会 では、社会学における合理的選択アプローチの基礎と応用について、相互的行為理論・ゲーム理論・社会的ジレンマ研究・ミクロマクロ問題・秩序問題等の課題を取り上げながら学習していく。

研究会 では、各自の卒業論文に向けての研究を、発表し、議論をする。また、社会学の基礎的な文献について、定期的な読書課題を与える。

【07】人間科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】人間科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】人間科学研究会 (2)(通年)

休講

【07】人間科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】人間科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】人間科学研究会 (2)(通年) 准教授 小林 ポオル

授業科目の内容：

現代環境変化を総合的に理解するにあたって、その根底の原動力である我々の言語認識、およびそれを推し進める力について考察を進める。そのうえで、履修者各自が問題認識を深化させ、卒論を完成させるための支援を行う。

【07】人間科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】人間科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】人間科学研究会 (2)(通年) 教授 渡辺 秀樹

授業科目の内容：

4年生の卒業論文作成指導を中心に行う。



---

【07】人間科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】人間科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】人間科学研究会 (2)(通年)  
メディア・コミュニケーション研究所 教授 萩原 滋

---

授業科目の内容：

本研究会では、2年間の研究活動を通じて各自が選んだテーマの理解を深め、その成果を卒業論文に結実させることを目的としている。春学期には、3年生を中心に社会心理学のテキストを講読することになるが、4年生は、昨年度からの研究テーマを掘り下げて、卒業論文の制作の準備を具体的に進め、適宜、進行状況を発表する。

テキスト：

社会心理学のテキストを指定する

参考書：

研究法に関する文献を指定する

---

【07】人間科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】人間科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】人間科学研究会 (2)(通年) 教授 三井 宏 隆

---

授業科目の内容：

各自の卒論計画に従い、論文完成を目指す。

---

【07】人間科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】人間科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】人間科学研究会 (2)(通年) 准教授 北中 淳子

---

授業科目の内容：

この研究会では、医療人類学の最先端の研究からより専門的な論文をとりあげ、その報告と討論を中心に行う。後半は、卒業論文研究の発表を中心に進める予定である。

---

【07】人間科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】人間科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】人間科学研究会 (2)(通年) 教授 宮坂 敬造

---

授業科目の内容：

人間科学研究会（宮坂担当）と、基本的には共通の内容ですが、春学期は主として英語文献を使いながら報告・討論の訓練をおこないます。

さらに、この「研究会」は、四年生の卒論の構想、中間展開、完成にむけて、随時、発表・討論・指導もあわせておこないます。三年生は自身の三年生論文の展開・完成への参考にするため、「研究会」も同時に履修すること。

---

【07】【04】人間科学卒業研究(2)(秋学期)  
准教授 織田 輝哉  
准教授 北中 淳子

---

授業科目の内容：

この科目は、コースB（「人間科学研究会 の履修と卒業論文提出」を卒業要件としないコース）を選択した人間科学専攻4年生の必修科目である。

具体的な内容・評価の基準等を説明するので、第1回目の授業に必ず出席すること。また、この科目に関する掲示は必ず確認すること。

# 全専攻共通科目

現在、文学部は1学科17専攻を擁する。そのため、そのいずれかに所属する学生諸君はともすれば狭い専門分野にとらわれて、知識や学問に対する広い展望を見失いがちである。そうした不足を補い、学生諸君がより自由で柔軟な知的態度を身につけることができるようにと文学部が考え設置したのが全専攻共通科目である。特定の専攻分野に属さないもの、あるテーマを専攻横断的に扱うもの、諸種の語学、記念・寄附講座として設置されているものなど内容は多岐にわたるが、この多様と混沌にこそ、ある意味では文学部の真骨頂があり、さらには人間そのものの本質があると言えるのではないだろうか。学生諸君はどうかアンテナの数を増やし、感度を高めて、これらの科目の中からこれはというような発見や出会いや感動を拾い出していきたいと思う。

**【07】【04】教育学概論(学芸員)(2)(春学期)**  
教授 真壁 宏 幹

授業科目の内容:

美的経験がもつ人間形成論的意義は何だろうか。文化と教育の関係はどうあるべきなのだろうか。学校とミュージアムの連携は? こうした「根本問題」を考える際の視点を、日本やドイツにおける事例、研究を考察することで獲得してみたい。たとえば、ベルリンにあるいくつかのミュージアムの歴史と現状を、「あえて」人間形成論的観点から解釈し直すと、社会教育、文化伝達、大衆啓蒙の場としてだけではなく「人間形成Bildung」の場としての「ミュージアム」が見えてくるはずなのである。しかし、この時、「人間形成」なる語で、とくに「教育」との対比の中で、いったい何が考えられようとしているのだろうか。これが、まずは説明されねばならないだろう。しかし、複雑なことに、この語を説明しようとなると、我々はふたたび、いったんは「ミュージアム」を支えた人文主義の問題に引き戻されていく。ヨーロッパ近代において成立した「ミュージアム」と「人間形成」のこの深い相互関係を批判的に考察することで、「ミュージアム」と「人間形成」がもつ可能性を考えてみたい。

したがって、この講義は、専門知識の体系を伝える完成度の高い講義ではなく、文化と教育の関係への新しいまなざしを獲得しようという試みである。

テキスト:

なし

参考書:

適宜、講義中に指示する。

**【07】【04】生涯学習概論(2)(春学期)**  
生涯学習を拓く 講師 白石 克 己

授業科目の内容:

生涯にわたる学習をライフワイド(生活)、ライフタイム(一生涯)、ライフウェイ(生き方)という三つの視点で分析できる。

生涯にわたる学習機会を通学方式、遠隔方式、寄宿方式、広場方式に分け、その支援のあり方がわかる。

生涯にわたる発達を青少年期、成人期、高齢期に分け、その特徴に応じた支援のあり方がわかる。

生涯にわたって「善く生きる」ための支援のあり方がわかる

参考書:

- ・白石克己編著『生涯学習を拓く』ぎょうせい 2001
- ・白石克己著『生涯学習と通信教育』玉川大学出版部 1990
- ・白石克己編著『生涯学習論 自立と共生』実務教育出版 1997
- ・白石克己編著『ITで広がる学びの世界』ぎょうせい 2001

**【07】【04】視聴覚教育メディア論(2)(春学期)**  
画像ドキュメンテーションからメディア・リテラシーまで  
講師 波多野 宏 之

授業科目の内容:

本講義では、写真、ビデオ、CD-ROM等の視聴覚資料を見て感じることを重要視する。まず情報伝達手段、視聴覚資料・機材の歴史と現状を概観した後、画像の収集から利用に至る一連の過程、すなわち画像ドキュメンテーションの主要課題について検討する。第一に写真を中心とした画像資料の管理から画像データベースの構築に至る諸問題、Visual Resources キュレーターの仕事を考える。第二に画像の記述や分類、インターネットなどによる画像へのアクセス、デジタル画像の複製・表示や知的財産権について考察する。第三に画像情報の利用を容易にする画像索引からビジュアル・カルチャーの分析に至る方法としての画像の諸問題を考え、音声情報・音声メディアについての考察、メディアの理解と活用を図るメディア・リテラシーの検討でまとめる。

テキスト:

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

参考書:

- ・波多野宏之『画像ドキュメンテーションの世界』(第2刷) 勁草書房, 1995
- ・波多野宏之編著『デジタル技術とミュージアム』 勉誠出版, 2002
- ・松岡正剛監修『増補 情報の歴史』 NTT出版, 1996

**【07】博物館学 (セ)(2)(春学期)**  
**【07】博物館学 (セ)(2)(秋学期)**  
**【04】博物館学(4)(通年)** 講師 西田 宏 子  
講師 吉岡 明 美

授業科目の内容:

博物館を、そこで働くことの表現である展覧会を通じて理解してもらえるように授業を進める。毎回指定する展覧会を見学し、それをレポートにまとめてもらい、そのレポートから皆で共有できる部分を嗜すようにしたい。

**【07】博物館学実習 A(セ)(2)(春学期)**  
**【07】博物館学実習 A(セ)(2)(秋学期)**  
**【04】博物館学実習 A(3)(通年)** 教授 阿部 祥 人  
准教授(有期) 石神 裕 之  
講師 西田 宏 子

授業科目の内容:

博物館の学芸員の資格を得ようとする人のために置かれた博物館学講座の必修科目である。将来、学芸員として要求される博物館業務に関する知識、資料の扱い方などを現物を用いて実習を行う。従って、既に博物館学の講義を履修していることが望ましい。実習は毎時間連続した内容であるため、欠席はもちろん、遅刻も絶対にしないことが要求される。

なお、この講義は履修者の調整を行い、博物館学実習Aを履修する者と同Cを履修する者とに分ける。この振り分けの詳細な説明は4月の最初の授業で行うため、希望者はこれに必ず出席すること。そこで振り分けられた者以外は履修は認められない。

**【07】博物館学実習 B(セ)(2)(春学期)**  
**【07】博物館学実習 B(セ)(2)(秋学期)**  
**【04】博物館学実習 B(3)(通年)** 教授 杉本 智 俊  
准教授(有期) 石神 裕 之  
講師 西田 宏 子

授業科目の内容:

博物館学実習 Aに同じ

**【07】博物館学実習 C(セ)(2)(春学期)**  
**【07】博物館学実習 C(セ)(2)(秋学期)**  
**【04】博物館学実習 C(3)(通年)** 教授 山口 徹  
准教授(有期) 石神 裕 之  
講師 西田 宏 子

授業科目の内容:

博物館学実習 Aに同じ

**【07】博物館学実習 D(セ)(2)(春学期)**  
**【07】博物館学実習 D(セ)(2)(秋学期)**  
**【04】博物館学実習 D(3)(通年)** 教授 佐藤 孝 雄  
准教授(有期) 石神 裕 之  
講師 西田 宏 子

授業科目の内容:

博物館学実習 Aに同じ

【07】博物館学実習	A(セ)(2)(春学期)		
【07】博物館学実習	A(セ)(2)(秋学期)		
【04】博物館学実習	A(3)(通年)	准教授	後藤文子
	アート・センター	准教授(有期)	渡部葉
		講師	名児耶明
		講師	平塚泰三

授業科目の内容：

博物館学の学芸員の資格を得ようとする人のために置かれた博物館学講座の必修科目である。将来、学芸員として要求される博物館・美術館業務に関する知識、資料の扱い方など現物の美術品を用いて実習を行う。

なお、この博物館学実習 A・B は、平成 16 年度より開設され、本年度の新 2 年生および 3 年生の必修科目となる。平成 15 年度以前に 2 年生に進級した者は履修する必要がない。この博物館学実習 は、履修者の調整を行い、A を履修する者と B を履修する者とに分ける。博物館学実習 と同 履修の仕方や振り分けの説明は、4 月の最初の授業で行うので、希望者はこれに必ず出席すること。そこで振り分けられた者以外の履修は認められない。

参考書：

- ・『美術館と語る』日比野秀男編著、ベリかん社、1999 年。
- ・『現代美術館学』並水誠士・吉中充代・米屋優、昭和堂、1999 年。
- ・『版画の技法と表現』町田市立国際版画美術館編、改訂版、町田市立国際版画美術館、1991 年。
- ・K・ニコラウス『絵画学入門』黒江・大原訳、美術出版社、1985 年。

【07】博物館学実習	B(セ)(2)(春学期)		
【07】博物館学実習	B(セ)(2)(秋学期)		
【04】博物館学実習	B(3)(通年)	准教授	後藤文子
		講師	小林明子
		講師	名児耶明
		講師	平塚泰三
		講師	小野真弓

授業科目の内容：

博物館実習【04】 A / 博物館学実習 A・Aに同じ

【07】博物館学特殊	(資料論・有形)(セ)(2)(春学期)		
【07】博物館学特殊	(資料論・有形)(セ)(2)(秋学期)		
【04】博物館学特殊	(資料論・有形)(4)(通年)	准教授(有期)	石神裕之

授業科目の内容：

近年、博物館施設・展示内容の多角化の中で、博物館資料もまた多様化しつつある。それらの博物館資料のうち、特に考古資料や民族(民俗)資料など物質資料を中心として、その性質や特性を理解するとともに、分類・収集・登録・管理といった整理法や理化学分析や保存処理のあり方などについて解説する。またそうした結果を企画や展示に活かすための方法についても、特に地域の文化遺産活用の観点から実例を挙げつつ紹介したい。

テキスト：

使用しない。

参考書：

必要に応じて講義の中で紹介する。

【07】博物館学特殊	(資料論・展示・運営)(セ)(2)(春学期)		
【07】博物館学特殊	(資料論・展示・運営)(セ)(2)(秋学期)		
【04】博物館学特殊	(資料論・展示・運営)(4)(通年)	准教授	安藤広道

授業科目の内容：

日本の博物館・美術館は、現在、さまざまな問題を抱えています。本講義では、博物館・美術館における、資料、研究、展示、普及活動、運営などをめぐる問題点を取り上げ、それについて受講者とともに考えてみたいと思っています。私自身の横浜市歴史博物館、東京国立博物館の経験をお話するほか、東京近郊の博物館・美術館の学芸員、または博物館・美術館に関連した仕事をしている方々から、直接現場の声を聞く機会もできるだけたくさんつくりたいと考えています。また、全員にある博物館・美術館の展示を見学してもらい、それについて討論することも、数回行う予定です。受講者には、是非、見学者・利用者の立場からも、博物館・美術館の問題を積極的に論じていただきたいと思います。

テキスト：

使用しません。

参考書：

必要に応じて講義の中で紹介します。

【07】博物館学特殊	(展示・普及)(セ)(2)(春学期)		
【07】博物館学特殊	(展示・普及)(セ)(2)(秋学期)		
【04】博物館学特殊	(展示・普及)(4)(通年)	講師	足立拓朗

授業科目の内容：

考古学系博物館学の展示に関する以下の技術を解説。

1. 作品(発掘出土品・美術・工芸品)の展示ケースへの配置・設置
2. 作品の梱包・開梱、運搬
3. 解説パネルや図版パネルの作成・設置
4. 報告書・展示図録の作成
5. ポスター・チラシの作成
6. 企画展示の作業工程
7. 博物館広報活動
8. 講演会・展示解説の実施
9. 小中学校の課題学習との連携
10. 地域博物館としての活動

テキスト：

必要があれば授業中に指示

参考書：

『新版博物館学講座 9 博物館展示法』雄山閣出版。

【07】博物館学特殊	(企画・運営・教育)(セ)(2)(春学期)		
【07】博物館学特殊	(企画・運営・教育)(セ)(2)(秋学期)		
【04】博物館学特殊	(企画・運営・教育)(4)(通年)	現代の美術と美術館	[春]講師 平野千枝子
			[秋]講師 平塚泰三

【春学期】

授業科目の内容：

美術館の歴史と美術の歴史とは、さまざまに絡み合ってきました。転換期にある今日の美術館において、どのような活動が可能かを考えるために、近現代美術と美術館の関係を振り返って検討します。

テキスト：

特に指定しません。

参考書：

松宮秀治『ミュージアムの思想』白水社、2003 年。

【秋学期】

授業科目の内容：

東洋日本の古美術を収蔵する美術館の成り立ちや作品の特性にあわせた展示について、お話しします。

展覧会を見学してレポートを 3 回程度提出してもらいます。昨年は授業中に実作品やレプリカを使用して、受講者に取扱いや作品の検分してもらいました。履修者数にもよりますが、できれば作品を目の前にして受講者と検討などをしてみたいと考えています。

テキスト：

なし

参考書：

授業時に適時、指示します。

【07】漢文講読	(1)(春学期)		
【07】漢文講読	(1)(秋学期)		
【04】漢文講読	(2)(通年)	伝記や批評を読み、唐詩について考える	講師 今原和正

授業科目の内容：

すでに英語を学んでいる皆さんにとって、漢文の語法はそれほど難しいものではありません。漢文読解の難しさは、ひとつひとつの語の意味を吟味することにあります。授業では、返り点のうってない文章に「語釈」を付け、それにもとづいて文意を読みとり、自分で返り点をうつ練習をします。また、あわせて唐詩全般についての知識を身につけるとともに、通説にとらわれずに詩の解釈をするおもしろさを味わってもらおうと思っています。伝記資料としては「全唐詩小伝」、批評資料としては「唐詩鏡」の評語が主となります。とりあげる作品は初唐から晩唐までの比較的有名なものとししました。

テキスト：

講義資料プリントを配布します。

参考書：

- ・『唐詩鑑賞辞典』(前野原彬編)
- ・『漢文まとめと要点』(森野繁夫等・白帝社)
- ・『唐代の詩人 その伝記』(小川環樹編・大修館書店)

【07】漢文講読 (1)(春学期)

【07】漢文講読 (1)(秋学期)

【04】漢文講読 (2)(通年) 講師 阿部 順子

授業科目の内容:

中国の歴代の文学作品の中から一定の評価のある文章を選び、訓読を経て現代日本語に訳していきます。訓読の技術(返り点の打ち方,送り仮名(旧仮名づかい)の付け方,読み下し文への変換)や読解力を身に付けることと同時に,古代漢語の文章自体とその内容の面白さを味わうことを目的とします。

教材はなるべくジャンルが多岐にわたるように配慮します。哲学書,歴史書から小説まで,幅広い内容の文章を読んでいきます。また,比較的平易な文章を選びたいと思います。

最終的には,白文(句読点,返り点,送り仮名のないテキスト)に,自分で句読点,返り点,送り仮名を付けて読み下し文に直せるまでになることが目標です。

ただし,受講者の漢文学習歴の有無や素養の程度は問いません。みなさんの状況やペースとうまく折り合いをつけながら,授業を進めていきます。テキスト:

講師のほうで教材プリントを用意します。

参考書:

- ・コンパクトな漢和辞典(特に指定しない)
- ・『大漢和辞典』(諸橋轍次著,大修館書店刊) 図書館にあります。大部で高額なので個人では購入しないこと。

【07】【04】応用情報処理 (テキスト処理)(2)(秋学期)

講師 中島 玲子

授業科目の内容:

私たちは日々当たり前のようにコンピュータや携帯電話などでテキスト(文字列)を読み書きしていますが,その仕組みや処理方法についてはあまり理解されていません。この授業では,コンピュータおよびインターネットでテキストを扱うことに関する様々な問題を扱い,テキスト処理の方法やツールについて理解を深めることを目的とします。前半は文字コードおよびフォント,漢字コード,特殊文字や文字化けなどのさまざまな問題について学びます。後半は演習を通して各種のアプリケーションソフトやツールを用いた文字列処理を習得します。Perl プログラミングの基礎を含め,単語の切り出しや出現頻度の集計,分析などを行います。ほぼ毎回課題を出題します。

受講者は「基礎情報処理」を履修済または同等の知識を持つものとしてします。Windows およびメールソフトの基本操作に慣れていないと授業への参加は困難です。Word や Excel などのアプリケーションソフトの初歩的な使い方を学ぶ講義ではないので注意して下さい。

テキスト:

Web 上で資料を配布します。URL・パスワードは授業初回に提示します。

参考書:

授業中に適宜紹介します。

【07】【04】応用情報処理 (Excel)(2)(秋学期)

Excel を使ったデータ処理と Word を使った論文作成

講師 新居 雅行

授業科目の内容:

基礎情報処理を履修したレベルの学生を対象にデータ処理や論文作成につながる表計算ソフトやワープロ利用について説明します。特に Excel を利用したデータ処理や統計的な処理について,全体の7割近くの時間を割く予定です。Excel についての基本的なワークシート作成ができることと,統計の知識を前提とします。Excel の基本操作の復習,データの扱いの基本,関数を利用した統計処理,グラフ作成,相関,検定について説明します。また,応用的な事例としてアンケートの集計やシミュレーションのようなものも扱います。ワープロは論文を書くということに絞って操作方法等を説明します。ワープロや表計算の基本操作ができ,統計についてある程度は知っているか勉強をする意志があることが望ましいでしょう。

テキスト:

Web ページで用意します。

参考書:

講義中に示します。

【07】【04】応用情報処理 (情報社会の光と影)(2)(春学期)

教授(有期) 三浦 逸雄

授業科目の内容:

情報技術(IT)の進展は社会・経済環境に大きな影響を及ぼし,情報や知識が社会の様々な側面において重要な役割を果たしている。例えば,大学や研究機関の教育・研究活動,企業のグローバルな経済活動,国・地方レベルの行政サービス,さらには人々の日常生活においても情報は不可欠の要素になっている。しかし,コンピュータ犯罪やプライバシー侵

害など情報社会の進展に伴う弊害も強く指摘されている。そこで情報社会のプラス面とマイナス面の両方に光をあてて,現代社会がどのような方向に進むのかについて考える。

テキスト:

なし

参考書:

講義の中で随時紹介する。

【07】【04】応用情報処理 (情報技術)(2)(春学期)

情報技術に関する基本事項と最新トピック

准教授 原田 隆史

授業科目の内容:

コンピュータとネットワークの動作と仕組みを理解し,幅広い知識を身に付けることを目的として,様々なトピックについて解説します。たとえば,ハードウェアとソフトウェア,インターネットと WWW の基礎的な理論などについて,基本的なことから説明していく予定です。実際にコンピュータの内部を見るなど,できるだけ現物を見ることが出来る機会を設定して理解しやすいようにしていきたいと思っています。また,情報技術に関わる最近のトピックについても,できるだけとりあげて解説していく予定です。

テキスト:

指定しません。必要に応じて資料プリントを配布 または Web 上で公開します。

参考書:

授業で適宜指示します。

【07】【04】応用情報処理 (プログラム言語)(2)(秋学期)

Java によるプログラミングの基礎 講師 新居 雅行

授業科目の内容:

コンピュータを動かすために必要なソフトウェアを作成することをプログラミングと呼んでいます。この講義では,Java という言語を使ってソフトウェアを作成する方法を解説します。パソコンについての基本的な知識や,ファイルの作成や一般的な操作ができるという前提で,講義を進めます。また,インターネットを含むネットワーク利用についての基本知識もあるものとして解説を行いません。特にテキストファイルを含めた,ファイル処理については,きちんと理解した上で受講してください。ただし,プログラミングそのものについては,初歩から解説します。まず,プログラミングの概念と,知っておきたいことをまとめます。そして,プログラミングに必要なパソコンの操作を説明します。その後,実際にいるようなプログラムを作成するといった流れで講義を進めます。テキストは Web ページを利用します。

テキスト:

Web ページで用意します。

参考書:

講義中に示します。

【07】【04】応用情報処理 (ネットワーク技術)(2)(秋学期)

ネットワークの基盤技術とインターネット

准教授 原田 隆史

授業科目の内容:

ネットワークについて,その基盤技術から順を追って説明を行います。インターネットの基本技術である TCP/IP やネットワークサービス,ネットワークセキュリティについて学ぶことを目的としています。また,インターネットの発達にともなうまれてきたサービスについても概観します。

テキスト:

必要に応じて,適宜プリントを配布・または Web 上で公開します。

参考書:

必要に応じて,授業で適宜指示します。

【07】【04】応用情報処理 (WWW 技術)(2)(春学期)

講師 安形 輝

授業科目の内容:

この授業では,膨大な情報量を背景として急速に普及してきたメディアである World Wide Web (以下ウェブ)における,サーバ側のさまざまな知識と技術について,演習を通じてながら取得することを目的としています。ただし,膨大なウェブサーバ側の技術について限られた時間なかで扱うのは困難であるため,個人あるいはグループごとに,実際のウェブサービスを作成し,運用する演習を行います。そのなかで,ウェブに関する知識や技術を自ら積極的に学んでいくことを期待します

テキスト:

特に指定しません。

参考書:

特に指定しません。

【07】【04】情報と職業 (2)(秋学期)

准教授 原田 隆史

授業科目の内容:

現在の企業活動では「情報」が重要な役割を果たしていると言われます。これは、いわゆる「情報産業」において重要であるだけでなく、すべての産業分野において「情報」を効果的に利用することが必要不可欠となってきています。この科目では、情報産業に従事される方を中心に、各種の産業で「情報」を取り扱ってられる方々をお呼びして、「情報化」の実体化をお話していただく予定です。

本年度に実際に塾外から招く講師の方々は未定ですが、2008年度はハーティネス、NTT レゾナント、パナソニックモバイルコミュニケーションズ、角川マーケティング、横浜銀行、ソニーテクノクリエイティブ、三菱総合研究所、CISCO システムズ、音楽プロデューサーの方々にお願いいたします。

テキスト:

特に指定しません。必要に応じて、適宜プリントを配布 または Web 上で公開します。

参考書:

必要に応じて、授業で適宜指示します。

【07】【04】情報と倫理 (2)(春学期)

情報化社会を生きる上での倫理学 講師 福間 聡

授業科目の内容:

21世紀の情報化社会を生きる上で必要とされる倫理的知識・判断能力の涵養を目指します。現代社会は情報通信技術が偏在化しており、私たちがどのような行為をするにしても、既に何らかの情動的な制約・監視下におかれています。また他方では、このような社会にあつては私たちは意図せずして情報の「発信者」となっており、それがどのように他の人からや社会、そして環境といった「受信者・受信体」に対して影響を与えているのが分明では無くなっています。これらのことを踏まえて、21世紀の道徳的行為主体として必要とされる基礎的な能力とは何かについて本講義では考察します。

テキスト:

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

参考書:

Manson, N. C. and O'Neill, O. 2007. *Rethinking Informed Consent in Bioethics*, Cambridge UP.

水谷雅彦『情報の倫理学』(丸善, 2003年)

【07】【04】情報と倫理 (2)(秋学期)

休講

【07】中国語会話特殊 (1)(春学期)

【07】中国語会話特殊 (1)(秋学期)

【04】中国語会話特殊 (2)(通年)

初級広東語 講師 八木 麗 娟

授業科目の内容:

広東語は、主に中国広東省、香港、マカオ、そして世界中の華僑社会で話されている中国語方言です。

この授業では、広東語の発音から始め、基礎的な文法を学び、実際のシチュエーションに沿った実用会話の習得を目指します。適宜、香港の文化・習慣などの話題に触れたいと思います。

テキスト:

千島英一『CD エクスプレス』広東語』(白水社)

【07】中国語会話特殊 (1)(春学期)

【07】中国語会話特殊 (1)(秋学期)

【04】中国語会話特殊 (2)(通年)

閩南語(台湾語) 講師 小松 嵐

授業科目の内容:

入門・初心者向けの閩南語(台湾語)会話クラスです。

「閩」は福建省の古名で、閩地方東南部に分布する言語は閩南語と称されます。同系の閩南語が福建省外及び東南アジア、台湾にも分布しております。台湾では住民の60%以上が閩南語を話すことができることから、台湾第二の公用語とも言われます。本授業は閩南語の音声体系をはじめ、教会ローマ字表記法及び簡単な日常会話をおぼえ、閩南語のことわざや歌も取り入れたいと思います。

【07】西洋古典学 (2)(春学期)

【07】西洋古典学 (2)(秋学期)

【04】西洋古典学 (4)(通年)

言語文化研究所 専任講師 小池 和子

授業科目の内容:

ギリシア・ラテン文学の主な作家とその作品について学びます。各作家やその作品の内容を紹介するだけでなく、ギリシア・ラテン文学を読む時に必要な基礎的な知識(韻文・散文の違い、ジャンルの問題、作品の伝承など)についても適宜触れて行きたいと思ひます。

テキスト:

こちらで用意します。

【07】西洋古典研究会 (1)(春学期)

【07】西洋古典研究会 (1)(秋学期)

【04】西洋古典研究会(2)(通年) 教授 西村 太良

授業科目の内容:

古代ギリシア、ローマの歴史、文化などに興味を持つ人々を対象として、特に分野にこだわらずに演習方式で授業を行う。古典語の知識は必ずしも必要とはしない。資料などはその都度プリントを配布する。

【07】古典ギリシア語文献講読 (1)(春学期)

【07】古典ギリシア語文献講読 (1)(秋学期)

【04】古典ギリシア語文献講読 (2)(通年)

教授 西村 太良

授業科目の内容:

古典ギリシア語の初級文法を習得した人を対象として、テキストを購読する。

テキストについては受講者の希望も聞いたうえで決めることとしたいが、特に希望がないようであれば、エウリーピデースの「バツカイ」を再読してみたいと考えている。この作品はギリシア悲劇の問題作のひとつだが、様々な角度から読み直してみる価値があるだろう。

テキスト:

プリントを配布する。

参考書:

授業中紹介するが、いずれにしても辞書は必要。入手しやすいものとしては Liddell & Scott: Greek-English Lexicon Intermediate (Oxford UP) などがある。

【07】現代ギリシア語文献講読 (1)(春学期)

【07】現代ギリシア語文献講読 (1)(秋学期)

【04】現代ギリシア語文献講読 (2)(通年)

講師 ヴォルドカ、ゾイー

授業科目の内容:

現代ギリシア語で書かれた小説、エッセー、新聞記事などを読みながら、ギリシア語独特の表現や言い回しについて学んでいく。文学作品から最新の情報まで、言葉を通じてギリシアの重層的な文化を考えてみたい。

テキスト:

プリント

【07】ラテン語文献講読 (1)(春学期)

【07】ラテン語文献講読 (1)(秋学期)

【04】ラテン語文献講読 (2)(通年)

言語文化研究所 専任講師 小池 和子

授業科目の内容:

ローマ共和制末期~アウグストゥス時代の歴史にかかわるラテン語作品の講読。キケローの書簡や弁論、ホラティウスの詩を候補として考えているが、受講者の希望をきいた上で決定したい。

テキスト:

こちらで用意します。

【07】ラテン語文献講読 (1)(春学期)

【07】ラテン語文献講読 (1)(秋学期)

【04】ラテン語文献講読 (2)(通年)

休講

【07】ロシア語文献講読 (1)(春学期)

【07】ロシア語文献講読 (1)(秋学期)

【04】ロシア語文献講読 (2)(通年)

教授 ナコルチェフスキー、アンドリイ

授業科目の内容:

専攻科目に関連するロシア語の文章の講読

テキスト：  
未定

- 
- 【07】イタリア語文献講読 (1)(春学期)  
【07】イタリア語文献講読 (1)(秋学期)  
【04】イタリア語文献講読(2)(通年) 教授 白崎容子
- 

授業科目の内容：

読解力をつけることを目的とします。  
必修語学「イタリア語 / 」を履修した3年生以上の学生、系列外科目「イタリア語中級」履修者およびそれに準ずる学生が対象です。必修のイタリア語を履修した2年生、「初級」で文法を学んだばかりの学生でも、たとえば他のロマンス系言語の知識があり、イタリア語読解への熱意と気力を備えていれば、受講可能です。

テキスト：  
プリント

- 
- 【07】イタリア文学演習 (セ)(1)(春学期)  
【07】イタリア文学演習 (セ)(1)(秋学期)  
【04】イタリア文学演習(2)(通年) 教授 白崎容子
- 

授業科目の内容：

まずはイタリア文学の流れの概要を把握することを目指します。イタリア語原文と日本語訳を併用しつつ、ダンテ以降現代にいたるまでの作品をいくつか取りあげて、部分的に紹介し、解説していきます。  
また、文学の周辺の分野(オペラなど)にも目を向けながら、今年度は19世紀イタリアに特有の思潮「ヴェリズモ」(自然主義・写実主義のイタリア版)について考えてみたいと思います。

テキスト：  
プリント

参考書：  
『イタリア文学史』東京大学出版会

- 
- 【07】スペイン語圏文化研究 (セ)(1)(春学期)  
【07】スペイン語圏文化研究 (セ)(1)(秋学期)  
【04】スペイン語圏文化研究(2)(通年)  
スペイン文化史 教授 坂田幸子
- 

授業科目の内容：

中世から今日に至るまで、スペイン文化史上、重要なトピックをいくつか取り上げ、文献資料の講読、映像(映画やドキュメンタリー)の鑑賞、講師の解説などによって、スペイン文化やスペイン社会についての理解を深めます。取り上げるトピックはまだ具体的には決めていませんが、たとえば「多文化の共存」、「黄金時代(16, 17世紀)」、「ナポレオン戦争とスペイン」、「カタルーニャ・ルネッサンス」、「1927年世代の芸術家たち」、「スペイン内戦(1936-39)と文化人たち」、「現代スペインのサブカルチャー」、「多言語社会としての現代スペイン」などが候補です。

また、レポート作成の技術を身につけることも、この授業の大きな目標です。履修者それぞれがスペイン文化に関連するテーマを選び、それについて調べて発表し、レポートを書きます。春学期中にレポートのテーマを決め、夏休みに資料を探して読み、秋学期には研究発表、そしてレポートを作成します。提出されたレポートは講師が添削しますので、それをもとに手直しをし、一年間の勉強の成果として、レポートを完成させます。

テキスト：  
特にありません。

参考書：  
授業中に適宜、紹介します。

- 
- 【04】ライフサイエンス(4)(通年)
- 

休講

- 
- 【07】自然科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】自然科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】自然科学研究会 (2)(通年)  
細胞行動データベースを用いた教材作成をとおして生命科学を学ぶ  
教授 金子洋之
- 

授業科目の内容：

本塾で作成された「高次生命現象理解のための細胞行動データベース(Cell Behavior Database: CBDB)を基盤に、種々の文献や成書を紐解きながら、文系学生に多様な生命に対する興味を喚起する教材の作成を目指す。現在、「細胞歌留田」のプロトタイプを作成しているが、これを発展させる以外に「細胞双六」や「細胞クロスワードパズル」なども新規に作成していく。この作業過程で、生命科学が明らかにしてきた高次生命現象を理解することを目的とする。

テキスト：  
なし

参考書：  
なし

- 
- 【07】自然科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】自然科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】自然科学研究会 (2)(通年) 教授 高山博
- 

授業科目の内容：

人類学(自然人類学, 化石人類学), 進化学(形態レベル), 自然史分野に関わる卒論補助または卒論作成に役立つような演習形式の講義。初年度なので, 具体的には人類学, 進化学の基礎知識の習得, 基礎的文献の探索と講読を行う予定。

テキスト：  
指定しません。

参考書：  
指定しません。

- 
- 【07】自然科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】自然科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】自然科学研究会 (2)(通年) 教授 高山博
- 

授業科目の内容：

人類学(自然人類学, 化石人類学), 進化学(形態レベル), 自然史分野に関わる卒論補助または卒論作成に役立つような演習形式の講義。自然科学研究会 既習者および学部4年生のために開講するので, 人類学, 進化学の方法論, 研究成果等の吟味, 検証を通じて報告・論文作成の一助としたい。

テキスト：  
指定しません。

参考書：  
指定しません。

- 
- 【07】自然科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】自然科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】自然科学研究会 (2)(通年)  
実験を通じた化学の探求 教授 大場茂
- 

授業科目の内容：

実験を通して自然あるいは化学に関する理解を深めていきます。また, 履修者の希望にそって研究課題を設定し, 調査・発表を行います。取上げるテーマは, 例えば次のような分野が考えられます。鉱物などの結晶と物性, 環境とエネルギー問題, その他化学に関する素朴な疑問など。

テキスト：  
必要に応じてプリントを配布します。

- 
- 【07】自然科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】自然科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】自然科学研究会 (2)(通年)
- 

休講

- 
- 【07】自然科学研究会 (セ)(1)(春学期)  
【07】自然科学研究会 (セ)(1)(秋学期)  
【04】自然科学研究会 (2)(通年)
- 

休講

- 
- 【07】カウンセリング概論 (セ)(2)(春学期)  
【07】カウンセリング概論 (セ)(2)(秋学期)  
【04】カウンセリング概論(4)(通年) 講師 平野学
- 

授業科目の内容：

心の時代と言われる現代, カウンセリングは様々な点から注目されている。本講ではまず, (1) カウンセリングがどのようなものなのか, 歴史的な流れも踏まえつつ, 具体的にお話した後, (2) その訓練手法としてよく用いられている“ロールプレイ”も交えて, 話を聴く練習を若干試みたい。その後, (3), カウンセリングに関する重要な理論等を事例も交えながら学んでみたい。そして, (4) 実際に病院や保健所, 学生相談, 教育相談等でカウンセラー(臨床心理士)として働いている方々, および精神科医やHIV・エイズ関連者, 脱カルト関係者等もゲストとしてお招きし, 現場に即したカウンセリングのあり方や資格・訓練等の問題についても考えてみたい。(VTR等も多く使用したい)。尚, 全体を通し“臨床心理学入門”といった趣きもあるが, 受講者自身が自らを見つめ, 各々の成長に役立つ時間になるよう心がけたい。同時にカウンセリングという視点から現代社会のあり方や人間としての生き方等について, 改めて考えるきっかけとしたい。

参考書：  
・乾 吉佑・平野 学編『臨床心理士になるには』(ペリかん社)

- ・河合隼雄『カウンセリングを語る(上・下)』『カウンセリングを考える(上・下)』(共に創元社)『心理療法序説』(岩波書店)
- ・佐治守夫他編『カウンセリングを学ぶ』(東京大学出版会)
- ・小此木啓吾他編『精神分析セミナー(巻)精神療法の基礎』(岩崎学術出版社)

【07】カウンセリングワークショップ (セ)(2)(春学期)

【07】カウンセリングワークショップ (セ)(2)(秋学期)

【04】カウンセリングワークショップ(4)(通年)

講師 平野 学

授業科目の内容:

現代社会にあっては、知的なものが重視・評価されやすく、何かとアタマでかちになりやすい風潮がある。我々自身も、とかく自らの心や身体、そして体験をぞんざいにして過ごしがちではなかるうか。ここではこうした認識のもと、『カウンセリング概論』単位取得者(状況によっては履修中の者も認める可能性あり)に限定して、実習や体験学習を中心とするワークショップを行いたい。具体的には(1)カウンセリングの実際をデモンストレーションやVTRで見たり、小グループに分かれてロールプレイを行いつつ、じっくり自由な討議を重ねたい(特に秋学期にはロールプレイの逐語記録の詳細な検討等をいくつか試みたい)。加えて(2)自己理解を深めるための様々なエクササイズ(描画、感受性訓練、心理アセスメント、ヨーガ、サイコドラマ、箱庭、コラージュ他)を体験してもらう中、自らをバランス良く高めるきっかけを提供したい。本講は内容的にカウンセラーや臨床心理士、福祉職、教師等、人とかがかわる仕事に関心を有する学生諸君向けのものとなるうが、それ以外の諸君にとっても“対人コミュニケーション”のあり方等を、学び考えるきっかけにしてもらえたらと思っている。

参考書:

- ・佐治守夫他編『カウンセリングを学ぶ』(東京大学出版会)
- ・乾吉佑・平野学編『臨床心理士になるには』(ペリかん社)

【07】仏教学概論 (2)(春学期)

【07】仏教学概論 (2)(秋学期)

【04】仏教学概論(4)(通年)

休講

【07】ドイツ語名著研究 (セ)(1)(春学期)

【07】ドイツ語名著研究 (セ)(1)(秋学期)

【04】名著研究 (独)(2)(通年) 講師 針谷 寛

授業科目の内容:

1830~40年代ドイツの初期社会主義の理論的文献を読む。今年度は昨年度に続き、K. Marx, Oekonomisch-philosophische Manuskripte を所有概念を軸にして読む。一方ではカント、ヘーゲルなど近代社会理論の所有論、他方ではヴァイトリングやヘスなどの初期社会主義理論の所有論と比較しながらその歴史的、理論的特殊性を見ていきたい。

そこで使われている言葉がその時代の中でもっていた意味を手繰りながら読むことに留意する。

【07】フランス語名著研究 (セ)(1)(春学期)

【07】フランス語名著研究 (セ)(1)(秋学期)

【04】名著研究 (仏)(2)(通年)

休講

【07】【04】比較文学 (2)(春学期)

小説はどのように書かれているか 講師 菅原 克也

授業科目の内容:

比較文学研究のひとつのありかたとして、文学作品を広く一般的な立場から分析、考察するという態度がある。本講義では、欧米の小説や日本の小説を小説の書き方の一般的な技法という観点から横断的に考察する。すなわち、小説という文学形式について、その思想やメッセージの側からではなく、「かたち」の側から読んでゆくと、どのようなことが分かるか、あるいは小説という文学ジャンルはどのような書かれ方をしているのかも考えてみる。様々な批評理論を参照しつつ、具体的な例に即して解説する。

テキスト:

指定しない。

参考書:

講義中に紹介する。

【07】【04】比較文学 (2)(秋学期)

小説はどのように書かれているか 講師 菅原 克也

授業科目の内容:

春学期に続いて、小説の「かたち」についての考察を行う。秋学期には、小説の技法に加えて、一般的な修辞技法についても講義する。

テキスト:

指定しない。

参考書:

講義中に紹介する。

【07】【04】演劇の歴史 (2)(春学期)

日本演劇の歴史 教授 石川 透

授業科目の内容:

現在、世界各地には、さまざまな種類の演劇が伝えられ、演じられている。しかし、これまでの歴史の中で、埋もれてしまい、現在演じられていない演劇も数多く存在している。本講義では、それらを含めた日本の古典の作品を取り上げ、いかに作られ、いかに受け継がれたのかを、現存する演劇や資料と関わらせて考えてみたい。

【07】【04】演劇の歴史 (2)(秋学期)

西洋演劇の流れ 理工学部 教授 小菅 隼人

授業科目の内容:

演劇の世界では日々新しい上演が生み出されつつ、同時に、各地域に過去の文化的財産として戯曲や上演伝統が残されています。しかし、どのようなものであっても劇が演じられる時は、常に、目の前に繰り広げられるイベントとして「観客」は舞台の構成要素となります。劇場には、戯曲と俳優と観客が常に同時に存在しているのです。また、演劇においては、言語芸術の要素が舞踊・音楽・美術の要素と半ば整然と、半ば乱雑に混じりつつ総合芸術となります。したがって、演劇史は劇文学の歴史であると同時に、上演と鑑賞の歴史ともなります。この考え方に立って、秋学期の講義では、主として西洋演劇の流れを言語や地域の枠に限定せず、総合的に扱います。演劇のドラマとしての側面は、映画・テレビ・オペラ・ミュージカルなど様々な芸術と理念を共有するはずですし、パフォーマンスとしての側面は政治・経済・法律・社会・スポーツにおいても見出せるでしょう。その意味では、演劇を知ること、世界の見方を知ることでもあります。狭い意味での演劇に限らず、広く演劇的な現象に興味を持つ学生諸君の受講を歓迎します。

テキスト:

プリントを配布します。

参考書:

講義中指示します。

【07】英書講読 (1)(春学期)

【07】英書講読 (1)(秋学期)

【04】英書講読(2)(通年)

「ケルト」って何だろう 准教授 辺見 葉子

授業科目の内容:

「ケルト」という概念は実に捉えどころがない。また、近年その概念自体も大きく揺らぎつつあり、再考の動きが顕著である。

考古学、歴史学、言語学、文学など、さまざまな分野の論考を通して、「ケルト」とは一体何なのか、という問いに迫りたい。

テキスト:

Keio.jp から各自でダウンロード・プリントアウトして下さい。

参考書:

授業中に適宜紹介します。

【07】デジタル書物学 (2)(春学期)

教授 アーマー, アンドルー

教授 松田 隆美

新教育組織創造支援室 榎村 雅章

テキスト:

プリント配布

【07】デジタル書物学 (2)(秋学期)

教授 アーマー, アンドルー

教授 松田 隆美

新教育組織創造支援室 准教授(有期)榎村 雅章

授業科目の内容:

本講座は、文献・画像資料を扱う人文科学分野における情報処理の基本手法を、講義と実習を通じて習得できることを目的としている。思想、芸術、文学、歴史などの分野における網羅的な専門情報を収集して整理・分析し、わかりやすい形で公開することは、文学部が社会から要請され

ている活動であるという認識のもとに実際に HUMI プロジェクトで貴重書を対象としてそうした活動を続けている担当者らが、書物史の分野で具体的な課題を設定して、人文科学的な基礎知識や技術的背景に関する講義、ディスカッション、パソコンやデジタル画像入力機器などを用いたデジタル・コンテンツの制作実習、発表会（プレゼンテーション）などさまざまな形での授業によって、実践的に指導を進めて行く。

なお、本講座の前身英文学 上で記述の手法を体得して、博士論文にまで結実させた若手研究者も複数いるので、適宜経験談を披露してもらう予定である。

実習は次のような内容で行う予定である。

- ・ワープロを用いたテキスト（文書）情報の整理や、持論の展開（Microsoft Word や Adobe Acrobat を使用）
- ・デジタル画像やグラフィックと、専用ツールを用いたオンスクリーン・プレゼンテーション（Adobe Photoshop や Microsoft PowerPoint などを使用）
- ・データベースソフトを用いた情報のより高度な整理や、Web コンテンツの制作とインターネットを利用した公開（Filemaker Pro や Web ページ制作ソフトを使用）

授業の計画や実習課題など、本講座に関する情報は以下の URL を参照のこと。

<http://www.humi.keio.ac.jp/workshop/2009/>

教室は新図書館地下 1 階の「HUMI プロジェクト稀覯書研究室」とし、HUMI プロジェクトの持つ画像入力機器やワークステーションを用いて授業を進めるため、8 名程度を定員とする（状況に応じては他のパソコン教室を用いるかもしれない）。履修希望者多数の場合には、ガイダンス（初回の授業）で説明する方法（レポート・面接など）で、履修者の選抜を行う。なお、履修者はパソコン上でワープロによる文書作成、電子メールの送受信、Web ブラウザの利用といった程度のことです。できることを前提とする。また、ガイダンスを受けない者の履修の申請は認めない。

人文科学分野での情報の生産を自ら行い、それを社会に対して発信・公開したいという意欲を持つ諸君の参加を期待する。

この授業は通年で行うので、事情により秋学期のみ履修する者は、できるだけ早い段階に事前に担当者に連絡してガイダンスを受けて欲しい。

テキスト：

プリント配布

【07】論文フランス語（初級）（セ）（1）（春学期）

【07】論文フランス語（初級）（セ）（1）（秋学期）

【04】論文フランス語（初級）（2）（通年）

初級フランス語文法 教授 小倉 孝 誠

授業科目の内容：

1 年間でフランス語文法を習得し、フランス語で書かれたテキストを読めるようになることを目指します。

テキスト：

『エメ・ヴ・ラ・フランス？』（小倉孝誠・小倉和子、第三書房）CD と練習帳が付いている。

【07】論文フランス語（中級）（セ）（1）（春学期）

【07】論文フランス語（中級）（セ）（1）（秋学期）

【04】論文フランス語（中級）（2）（通年）

教授 宮 林 寛

授業科目の内容：

フランス語の初級文法を終えた学生諸君（学習暦 1 年程度）を対象にした講読の授業です。

春学期は現代フランス語に慣れていただくために、文法のおさらいも兼ねて新聞・雑誌からの抜粋を読みます。秋学期は履修者と相談のうえ、学術的な文献にも挑戦したいと思います。

テキスト：

大賀正喜編著『高速道路是非論』（駿河台出版社）

参考書：

必要に応じて指示します。

【07】比較精神史（セ）（2）（春学期）

【07】比較精神史（セ）（2）（秋学期）

【04】比較精神史（4）（通年）

准教授 エアトル、ヴォルフガング  
准教授 大 串 尚 代  
准教授 北 中 淳 子  
准教授 高 橋 勇

授業科目の内容：

授業では英語のみを用いますが、帰国子女ではない学生を対象とします。自分たちの問題意識を英語で表明し（プレゼンテーション）、討論を行なうことによって、英語の能力を鍛えることを目指します。必ずしも英語が得意でなくても、英語の運用と英語による意見の発信に関心のある方の参加を期待します。哲学、人間科学、アメリカ文学、イギリス文

学を専門とする各教員が、それぞれ関心のあるテーマを設定するので、種々の問題について多角的に考えるよい機会となるでしょう。

テキスト：

授業のガイダンス時に指定します。

【07】【04】環境問題と大学（2）（秋学期）

休講

【07】文章と表現（2）（春学期）

【07】文章と表現（2）（秋学期）

【04】文章と表現（4）（通年）

文学の現場からの報告 講師 加藤 宗 哉

授業科目の内容：

プロの文章とアマチュアの文章には違いがある。プロの書き手たちは暗黙の約束ごとに従って文章を書いている。その約束ごとを本講では説明する。文章は才能で書くのではなくテクニックで書く。具体的には「漢語・和語・外来語の使い分け」「オノマトペ・常套語・記号の危険性」に始まり、「いかに書き隠すか」まで、文学の現場でつねに問われる問題を紹介したい。

テキスト：

コピーを配布します。

参考書：

- ・季刊芸誌「三田文学」
- ・「三田文学名作選」



## 言語学関係講座について

本塾文学部には、現在のところ言語学専攻科はないが、文学部共通科目の枠内で、以下のように、言語学関係の科目が設置されている。それは、講座の種類・質・講師陣といった角度からみて、他大学の言語学専攻科に十分に匹敵する（あるいは、それ以上に充実した）内容をもっているといえる。したがって、専攻の如何にかかわらず、言語学に関心をもつ学生は、これらの講座を履修することによって、言語学の専門的な知識を身につけることができるであろう。なお、ここでいう「言語学」は、言語の諸相をあるがままに記述することばかりでなく、「なぜ言語はかくあるのか」という問いに対する解答を与える説明的理論（例えば生成文法理論）の構築をも目標としている学問であることを強調しておきたい。それは言語をめぐる隣接諸科学（心理学、哲学、論理学、コンピュータ・サイエンス、認知科学など）と密接にかかわりをもつものであり、その意味で学問に対する現代的要請に応えるものである。言語学関係の講座は次のようなカリキュラムのもとに構成されている。

・日吉設置講座：いずれも言語科学入門の役割を果たしている

「言語学」(春学期)

「言語学」(秋学期)

・三田設置講座

2年次での履修が望ましい

3,4年次での履修が望ましい

言語学概論 ・  
言語学概論 ・  
言語学概論 ・

言語学特殊 ・  
(生成文法初級)

言語学特殊 ・  
(記述言語学)

言語学特殊 ・ (生成文法中級)	—	言語学特殊 ・ (生成文法上級)
言語学特殊 ・ (意味論・語用論)	—	
言語学特殊 ・ (形態論)	—	
言語学特殊 ・ (音韻論)	—	
言語学特殊 ・ (言語心理学)	—	
言語学特殊 ・	—	言語学特殊 ・ (通時言語学)

科目名は [07学則] で統一させて表示していますのでご注意ください。また言語学関係講座は全専攻共通科目です。

なお、言語学関連科目として、英米英文学、仏文学、国文学、独文学、中国文学の各専攻科目に設置されている個別言語の研究（たとえば、英語学、フランス語学、国語学など）、および、哲学専攻・倫理学専攻の「哲学倫理学特殊」などもあわせて履修されたい。言語学に関して、履修上の問題をはじめ、さまざまな問題が生じた際には、遠慮なく以下の講座の担当者に相談されたい。

【07】言語学概論	(セ)(2)(春学期)
【07】言語学概論	(セ)(2)(秋学期)
【04】言語学概論	(4)(通年)
言語学への招待	経済学部 教授 星 浩 司

授業科目の内容：

この授業では、我々人間を人間たらしめている重要な属性の一つである「言語」とは何かという問題を科学的に考えていく。具体的には、「言語学」とは何か、また、「言語」とは何か、という根本的な問題から出発し、自然言語に共通して観察される諸特徴を概観した後、各論へと進む。各論では、前期に、音声学、音韻論、形態論の基礎を学び、後期に、統語論、意味論、語用論の基礎を学んでいく。全体を通じて、是非、科学的な言語観を理解してもらいたい。

テキスト：

星浩司著「言語学への扉」(慶應義塾大学出版会、2006)

参考書：

- ・井上和子, 原田かづ子, 阿部泰明 共著「生成言語学入門」(大修館書店, 1999)
- ・大津由紀雄 他 編著「言語研究入門：生成文法を学ぶ人のために」(研究社, 2002)

【07】言語学概論	(セ)(2)(春学期)
【07】言語学概論	(セ)(2)(秋学期)
【04】言語学概論	(4)(通年)
日英語比較言語学	講師 外 池 滋 生

授業科目の内容：

日本語と英語を音韻、形態、統語、意味に関して比較することから、これらの分野の基本的な捉え方を学び、とくに生成文法の枠組みで言語を比較することから言語の普遍的な部分を探ることができることをみます。

テキスト：

毎回プリントを配布します。

参考書：

「日英語対照による英語学概論」(くろしお出版)

【07】言語学概論	(セ)(2)(春学期)
【07】言語学概論	(セ)(2)(秋学期)
【04】言語学概論	(4)(通年)
ことばの仕組みとことばの発達	経済学部 教授 松 岡 和 美

授業科目の内容：

このクラスは初学者を対象に、言語学では「言語の何を」「どう科学的・客観的に扱うのか」についておおまかな理解が得られるように構成されている。前期のクラスでは、言語の研究のツールとして提案されている概念や方法論を紹介し、それがもたらす新しい知見を、世界の様々な言語データの分析を通して理解することを目的とする。後期クラスでは、前期クラスの内容を踏まえて、母語の発達過程を考察することでヒトの言語能力の本質についての理解を深める。学期末試験や課題においては、知識だけではなく、授業で扱った考え方をういてデータや問題を「どう説明するか」という能力の評価に重点を置く。

テキスト：

『ことばの科学ハンドブック』郡司隆男・西垣内泰介(編著)研究社三田メディアセンターリザーブブック(図書館旧館3階)に配架予定の資料を追加予習文献として使用する。

参考書：

順次、授業支援用ホームページ(URL後述)に掲載。

【07】言語学特殊	(セ)(2)(春学期)
【07】言語学特殊	(セ)(2)(秋学期)
【04】言語学特殊	(4)(通年)
生成文法入門	言語文化研究所 教授 大 津 由 紀 雄

授業科目の内容：

生成文法と呼ばれる認知科学理論の基本的考え方について講じたあと、現代英語を主たる対象として言語分析の訓練を行なう。

現代英語を対象とするのは、客体化しやすい外国語であり、かつ、受講者のほとんどの者になじみが深い言語であるからである。

現代英語についての知識は中学校卒業程度でよい。

テキスト：

渡辺明, 2009 『生成文法』東京大学出版会

【07】言語学特殊	(セ)(2)(春学期)
【07】言語学特殊	(セ)(2)(秋学期)
【04】言語学特殊	(4)(通年)
東南アジアの言語	言語文化研究所 教授 三 上 直 光

授業科目の内容：

東南アジア諸言語の諸相を一般的な見地から観察、分析する。取り上げるテーマとしては、系統と分布、文字、音韻・形態・統語などの特徴、言語と文化、言語問題、言語政策などを予定している。授業は、講義と履修者の発表を交えながら進めていく。

テキスト：

特に指定しない。

参考書：

その都度指示する。

【07】言語学特殊	(セ)(2)(春学期)
【07】言語学特殊	(セ)(2)(秋学期)
【04】言語学特殊	(4)(通年)
生成文法中級	講師 内 堀 朝 子

授業科目の内容：

生成文法研究は、近年、ミニマリスト・プログラムと呼ばれる研究プログラムの下で進められてきた。それによると、人間の脳内にはいわば言語器官とも言うべき独立した機構が存在すると考えられ、特に、その機構には、言語使用を可能にするために言語以外の領域(例えば、音声の調音・知覚に関わる領域など)から必然的に課される条件を最適な形で満たしながら、文を原則的には無限にかつ最も経済的に、生成し得る仕組みが備わっているとされる。本講義では、このような言語器官としての言語の諸特性を明らかにすることを目的とした最近の生成文法理論の枠組みについて、詳しく取上げる。

テキスト：

開講時に指示する。

参考書：

開講時に指示する。

【07】言語学特殊	(セ)(2)(春学期)
【07】言語学特殊	(セ)(2)(秋学期)
【04】言語学特殊	(4)(通年)
意味論	講師 柚 原 一 郎

授業科目の内容：

すでに言語学概論・現代英語学などの授業を受講している諸外国語・日本語専攻の学部生を対象に、現代言語学において「意味」がどのように取り扱われているかを概観する。春学期は意味論の研究領域、基礎的な概念・専門用語の理解と習得を目標にし、秋学期には、隣接の諸分野(論理学・文化人類学など)から、言語学がどのような影響をうけ、「意味」のいかなる側面が、どのような形で言語理論・文法理論の中に取り込まれてきたのか(あるいは格下げされてきたのか)を、20世紀(とりわけ後半)のアメリカ言語学の発達史と共に考える。

テキスト：

Saeed, John. (2009). *Semantics* (3rd edition). Wiley-Blackwell

参考書：

授集中に指示します。

【07】言語学特殊	(セ)(2)(春学期)
【07】言語学特殊	(セ)(2)(秋学期)
【04】言語学特殊	(4)(通年)
レキシコン理論	語の意味と統語
	経済学部 教授 杉 岡 洋 子

授業科目の内容：

最近の言語学では、レキシコンを単なる「辞書」と見るのではなく、語彙情報が持つ一般的な特性と構文の関係性を明らかにしてきました。この科目では、語彙情報がどのように文レベルの現象や語形成に関わるかについて、語彙概念意味論、生成レキシコン理論(Pustejovsky)などのアプローチを学びます。(主なトピックは「授業の計画」を見てください。)講義と演習形式の両方を使い、英語や日本語のデータを各自が分析する課題を通して、理論的知識にもとづいたデータ分析の面白さを味わえるようにしたいと考えています。

テキスト：

以下の本や関連論文から授業で指示する。

参考書：

- 影山太郎「語彙概念構造入門」小野尚之「クオリア構造入門」(『レキシコンフォーラム No. 4』2008)
- 小野尚之『生成語彙意味論』(くろしお出版, 2005)
- 影山太郎, 『形態論と意味』(くろしお出版, 1999)
- 伊藤たかね・杉岡洋子『語の仕組みと語形成』(研究社, 2001)
- James Pustejovsky, *The Generative Lexicon* (MIT Press, 1995)

---

【07】言語学特殊 (セ)(2)(春学期)

【07】言語学特殊 (セ)(2)(秋学期)

【04】言語学特殊 (4)(通年)

音声と音韻

講師 本間 猛

---

授業科目の内容：

日本語と英語の音声構造と音韻構造の相違点および共通点を探ることを通して、音声学・音韻論の基本概念を学ぶ。また、分析方法の基礎を理解し、応用できることを目指す。言語研究における音声・音韻の研究の位置付けを概観した後、言語音の産出のしくみを学ぶ。さらに、音素、音節、モーラ、語アクセント、文アクセント、リズム、イントネーションなどの音韻現象とその理論的側面について考察する。また、最近の理論である最適性理論 (Optimality Theory) についても解説する。

授業方法：講義にて基礎的な知識や基本概念を扱い、さらに練習問題で理解を深めるようにする。

テキスト：

窪園晴夫著 日英語対照による英語学演習シリーズ『音声学・音韻論』くろしお出版

参考書：

- ・窪園晴夫著『語形成と音韻構造』くろしお出版
  - ・窪園晴夫・太田聡著『音韻構造とアクセント』研究社
  - ・窪園晴夫・本間猛著『音節とモーラ』研究社
- 

【07】言語学特殊 (セ)(2)(春学期)

【07】言語学特殊 (セ)(2)(秋学期)

【04】言語学特殊 (4)(通年)

言語心理学

講師 磯部 美和

---

授業科目の内容：

言語心理学の一研究分野である第一言語 (母語) 獲得に焦点を当てる。「生成文法理論」という言語理論では、子どもが生後わずか数年のうちに抽象的で複雑な母語を身につけることができるのは、生まれながらにヒトに備わっている言語の知識と、生後受け取る言語経験の相互作用によると仮定されている。本授業では、英語や日本語の獲得を中心に、生成文法理論に基づく様々な言語獲得研究の成果を解説する。なお、希望があれば、他の研究分野 (第二言語獲得・言語理解 (統語解析)) についても紹介する。

テキスト：

特に指定しない。適宜プリントを配布する。

参考書：

適宜指示する。

---

【07】言語学特殊 (セ)(2)(春学期)

【07】言語学特殊 (セ)(2)(秋学期)

【04】言語学特殊 (4)(通年)

生成文法上級：GB理論からミニマリスト・プログラム

講師 今西 典子

---

授業科目の内容：

普遍文法と言語間変異・言語獲得という問題に焦点をあてながら、1980年代以降に展開している原理とパラメータのアプローチ (P&P) の基本的な考え方を概観し、P&P による GB 理論の各モジュール (X-bar 理論、理論、格理論、格理論、束縛理論、有界理論) がどのように働き合っているか、言語事象の様々な特徴が説明されるかをまず考察する。

次に、最近の理論の進展であるミニマリスト・プログラム (MP) の基本的な考え方を概観し、MP に基づく言語事象の分析を検討する。

テキスト：

講義資料プリントを配布する。

参考書：

講義の進度に即して、適宜指定する

---

【07】言語学特殊 (セ)(2)(春学期)

【07】言語学特殊 (セ)(2)(秋学期)

【04】言語学特殊 (4)(通年)

通時言語学

医学部 教授 児馬 修

---

授業科目の内容：

生成文法理論の基本的思考法を学びながら、言語 (文法) がなぜ、そして、どのように変化するか、という問題を中心に考察する。

テキスト：

*Diachronic Syntax* (by Ian Roberts) 2007年 Oxford University Press

参考書：

適宜指示する。

## 遠山記念音楽学講座について

1985年、音楽評論家で(財)日本近代音楽館(元遠山音楽財団)理事長であるとともに、東京文化会館館長、新国立劇場副理事長などを歴任された遠山一行氏から、当時の遠山音楽財団附属図書館に蒐集された中世・ルネサンス、現代の音楽に関する資料が寄贈された。資料には、図書ばかりでなく楽譜、レコード、マイクロフィルム等が含まれ、慶應義塾図書館(旧館)で「遠山音楽文庫」の名のもとに公開されている。また遠山記念音楽研究基金も慶應義塾に寄贈された。それを記念して開講されたのがこの講座である。

欧米においては、音楽学は総合大学で研究教育されており、遠山氏の寄贈は、我が国においても音楽学の研究教育が総合大学を中心におこなわれるべきとの信念にもとづいたものであった。氏は、慶應義塾こそそれに最もふさわしい大学であると判断された。遠山音楽文庫の開設によって、我が国の総合大学のなかで最大の音楽資料を有することになった慶應義塾は、音楽学に関する講座を充実するために、本講座を設置した。美学美術史学専攻には、すでに西洋音楽史を中心にした一連の講座が開設されているが、それを拡充するものであるとともに、音楽学および関連諸学を専門とするための基礎的スキル獲得のための内容も盛り込まれている。

【07】音楽学 (2)(春学期)

【07】音楽学 (2)(秋学期)

【04】音楽学 (4)(通年)

和声を主体とする楽曲分析の基礎 講師 二宮 洋

授業科目の内容:

クラシック音楽と言われる西洋古典芸術音楽の基盤である調性と、それを確立させる機能と和声を理解することが本講義の目的です。それは音楽全体の組み立てを見極めるのに不可欠な視点であり、我々の生活の周辺にある音楽全体に渡る理解の基礎ともなります。そして、それが楽曲全体の形式を含めた分析と理解につながる基礎となるのです。したがって、これらの学習に基礎知識の習得から始め、その展開として実際の楽曲を対象とした分析実習へと進めます。

テキスト:

特に指定しません。

参考書:

- ・島岡譲著「和声と形式のアナリゼ」
- ・同著「総合和声」(音楽之友社)など。

【07】音楽学 (2)(春学期)

【07】音楽学 (2)(秋学期)

【04】音楽学 (4)(通年)

[通年] 准教授 西川 尚 生

[春] 経済学部 准教授 石井 明

講師 藤井 孝一

[秋] 商学部 教授 佐藤 望

授業科目の内容:

音楽で卒業論文を書こうと考える人のための(1)音楽研究のさまざまな領域と研究方法の包括的な紹介,(2)西洋音楽史を中心にした個別領域の事例紹介と研究の現在,(3)音楽資料・文献の検索法の習得を軸にしています。(3)に関しては、三田メディアセンター・レファレンスの職員が担当し、授業内で実習をおこなう予定です。これまで音楽学について学んだことのない人も履修可能ですが、実習で使うパソコン台数の関係上、履修者は音楽で卒業論文を書くことを視野に入れている学生に限定します。

参考書:

授業内で指示します。

# 文化財科学

昭和 54 年財団法人松永記念館は、慶應義塾に文化財研究の振興と普及を計る目的で、松永記念文化財研究基金を寄贈された。本講座は、その主旨を記念し、義塾における文化財研究の普及と発達に資するために、昭和 62 年度より開設されたものである。

【07】文化財科学 (セ)(2)(春学期)

【07】文化財科学 (セ)(2)(秋学期)

【04】文化財科学 (4)(通年)

文化財資料を科学の目で見る

講師 富沢 威

授業科目の内容：

考古遺物や美術資料の化学組成の特徴や、製造の歴史や技法について講義する。また、鉛同位体分析法などの最近の研究で得られた成果について紹介する。授業では、自然科学の手法を応用する際の背景となる考え方や原理、適用範囲や留意点などについて述べる。

テキスト：

テキストは、特に指定しない。

参考書：

授業の際に紹介する。

【07】文化財科学 (セ)(2)(春学期)

【07】文化財科学 (セ)(2)(秋学期)

【04】文化財科学 (4)(通年)

文化財資料を科学の目で見る

講師 富沢 威

授業科目の内容：

年代測定法や DNA 解析法、アイソトープ食性解析法など、最近の進歩のなかから得られた成果について紹介する。

授業では、自然科学の手法を応用する際の背景となる考え方や原理、適用範囲や留意点などについても述べる。

テキスト：

テキストは特に指定しない。

参考書：

授業の際に紹介する。

## 芸術の現在

戦後の我が国で、学問の学際化の必要が叫ばれて久しい。

中世ヨーロッパの大学では、基本的な三学（trivium すなわち文法、修辞、論理 trivial という英語の形容詞はここから生まれた）と四学（quadrivium すなわち算術、音楽、幾何学、天文学）を修得すれば、修士号（Magister Artium：現在の M.A.）が与えられた。ところが現代では、学問が「総合から分析へ」と各方面に進歩した結果、領域の専門家とそれによる狭隘化をもたらした。今日では、本塾の文学部を例にとっても、学問は17の専攻に分かれ、専攻内ですらそれぞれの専門分野がより細分化している。そのため、中世のヨーロッパの知識人の目には、学生も教員も狭苦しいタコ壺の中で喘いでいるように見えるかもしれない現状を呈していることも事実であろう。

この閉鎖性を打破する試みがかなり以前から行われてきたことは確かである。比較 学と名付けられた学問の誕生もそのひとつといえよう。本講座も同様の試みとして、学問の名称にこだわることなく、文学部共通の専門科目として、設置されている。文学部の美学・芸術学領域の専任教員を中心に、場合によってはテーマを絞り、しかも扱う分野としては文学、歴史、音楽、美術、映画などの人文学（いや必要に応じて社会科学や自然科学の助けをも借りて）を縦横にクロスオーバーする主題を取り上げることが狙いである。

学問を総合的に見直すことが求められる今、「芸術の現在」という大きな枠組の設置には、少しでも学生、教員双方の視野を広げられればという願いが込められている。

【07】芸術の現在 (セ)(2)(春学期)

【07】芸術の現在 (セ)(2)(秋学期)

【04】芸術の現在(4)(通年)

新たな Art of Living の可能性 考え、そして行う

[春] 理工学部 教授 熊倉敬聡

[秋] 名誉教授 前田富士男

授業科目の内容：

20世紀は、地球上の多くの国・地域で、資本主義というシステムとイデオロギーが、人々の生(活)をデザインし、律してきました。しかし、しばらく前から、地球上の一部の人たちにしか恩恵をもたらさないそのシステムとイデオロギーに大きな疑問符が投げかけられています。ますます増える貧困、ますますエスカレートする地球温暖化、そして今や誰の目にも明らかな資本主義自体の大いなる危機。

また一方、資本主義の対極で、(近代)芸術を否定するという行為そのものを自己矛盾的に作品とすることにより生き延びてきた「現代芸術」も、ポストモダニズム以降、新たな創造の形式を見出せないまま衰退し、今や終焉の危機に瀕しています。

本授業では、これからの“芸術”(?)の可能性を、近代的な美学と資本主義を参照しつつも、その外部に向けて、改めて Art of Living (生のデザイン/生きる技)という視点から問い直したいと思っています。そして、その問い直しを理論的に深めるとともに、同時にささやかながらも参加者の現実の生活に変化をもたらさうような実践につなげていきたいと考えています。

ですから、本授業は、単なる講義や講読ではなく、むしろ参加者が主体のプレゼンテーション、ディスカッション、ワークショップ等によく時間を割くこととなります。また、新たな Art of living を考え・行ううえでヒントとなるような、多様な領域からの講師によるレクチャーも予定しています。そして、何よりも、皆さんと“楽しい”授業を作りたいと思います。

また秋学期には、前田による数回の特別授業を予定しています。慶應義塾大学アート・センターの土方巽、瀧口修造、イサム・ノグチ、油井正一のアーカイブを紹介しつつ、アート・アーカイブの活動と課題に即して、現代的な「知のデザイン」のありようについて議論する予定です。

テキスト：

特になし。

参考書：

熊倉敬聡『美学特殊 C』(慶應義塾大学出版会)

川俣正、ニコラス・ペーリー、熊倉敬聡『セルフ・エデュケーション

時代』(フィルムアート社)

## 久保田万太郎記念講座

久保田万太郎記念講座は慶應義塾出身で劇作家・俳人・小説家として活躍した久保田万太郎を記念する講座であり、万太郎の死後に遺贈された著作権を基金として昭和39年に設置された。本講座は「詩学」と「現代芸術」の二科目にわかれ、両科目とも、アカデミズムの枠を越えて、塾内だけにとどまらず広く塾外の有識者たちを招聘して塾生諸君を啓発しようという趣旨で開設されている。

「詩学」の第一回講師は、春学期が佐藤春夫、秋学期が西脇順三郎だった。爾来、土岐善麿、小泉信三、河上徹太郎、村野四郎、山本健吉、河盛好蔵、高津春繁、水原秋桜子、吉川幸次郎、五所平之助、篠田一士、田久保英夫、饗庭孝男、吉増剛造、林光、辻井喬、種村季弘等々の諸氏を迎えた。まことに絢爛豪華たる顔ぶれといえよう。

「現代芸術」は昭和40年に開設された。第一回講師は江藤淳、西義之、二宮孝顕、楠本健吉の四人である。さらに浅利慶太、中村真一郎、小田島雄志、中野孝次、原卓也、中村雄二郎、フランキー堺、米倉斉加年、大岡玲、桂文珍、辻仁成、島田雅彦、ねじめ正一、高橋源一郎、馳星周、泉麻人等々、多士済々の講師陣を迎えている。

昨年は千住明、加藤幸子、林えり子、高橋順子、車谷長吉、林望の諸氏が講筵に連なった。本年度は作家・映画監督・作詞家の秋元康、『赤毛のアン』の翻訳者で作家の松本侑子、博物学・幻想文学研究者で作家の荒俣宏の諸氏をお招きしている。本講座は文学部設置科目であるが受講に在籍学部を問うものではない。何学部にあっても基本となるのは哲学である。現代日本において優れた業績をあげている人々の警咳に接し教養と人格識見を涵養することこそが、いま塾生に求められている。文学芸術を愛好する塾生諸君の来聴を衷心より歓迎するものである。

久保田万太郎記念講座は「総合教育科目」なのでご注意ください。

---

### 【07】【04】現代芸術 (2)(春学期) 福 島 泰 樹

---

授業科目の内容：

福島泰樹です。世間からは絶叫歌人と呼ばれています。それは、言葉による魂の連帯（肉声の回復）を求めて世界各国を含む 1200 ステージもの過激なコンサート活動を続けてきたからです。ところで人は生まれ、労働し、愛し、死んでゆきます。死ななければならぬ私たちが叫ばずに、祈らずにいられるか。私の講義は、この問いかけから始まります。

言葉が存在の重みを失って久しい。言葉による人間の回復は可能か。天折詩人中原中也、富永太郎、立原道造、17歳の命を断った長澤延子、「恋いと革命」に敗れた学生歌人岸上大作、虚構と真実の切り岸を生きた寺山修司、22歳で自爆したデカダンスの画家村山槐多、至純な愛に殉じた特攻隊士穴沢利夫などが遺した言葉をテキストに、その痛切な実在（言葉の意味）を問いつつ、あなたの言葉（詩魂）を喚起させたい。

テキスト：

福島泰樹評論集『悲しみのエナジー 友よ、私が死んだとて』（三一書房：予価 1800 円）

---

### 【07】【04】現代芸術 (2)(秋学期) 悲しみの言葉 福 島 泰 樹

---

授業科目の内容：

春学期の内容を継続します。

---

### 【07】【04】詩学 (2)(春学期) 講 師 吉 増 剛 造

---

授業科目の内容：

1. 序論（すすめかた）
2. 堀口大学の耳の奥
3. 西脇順三郎と絵について
4. 石川啄木のローマ字日記
5. 萩原朔太郎と利根川
6. 瀧口修造の写真について

以下、中原中也、折口信夫、柳田国男等

テキスト：

講師が毎回用意をしてコピーして配ります。

---

### 【07】【04】詩学 (2)(秋学期) 講 師 吉 増 剛 造

---

授業科目の内容：

1. 序論（すすめ方）
2. W・B・イエイツとアイルランド
3. 柳田国男と遠野物語
4. 島尾敏雄と南島
5. パラル・ツェランの死
6. フランス詩はいま

以下、エミリー・ディキンソン、与謝野晶子、山頭九等

テキスト：

講師が毎回用意をしてコピーして配ります。

## 文学部アート・マネジメント講座 DNP 基金

福沢諭吉は、「国光発於美術」と書いたことがある。国の光は芸術によって発するというわけである。現在、日本では芸術が大量に消費されている。だが、自由な創造活動をとりにくく状況は厳しい。この矛盾を解決して、芸術創造を社会に解放してゆくためには、アーティスト、行政、企業、そして大学などの教育研究機関が、新しいパートナーシップを構築しなくてはならない。そのなかから、新しいアート・シーンを築き、本当に価値のあるものを後世に残すことを、実践的に考えるのが、この講座の目標である。

そのために、講師の他に、芸術とかかわりながら、各セクターで多くの問題を抱えつつも第一線で活躍中の人々がゲストとして登場、いま現在の問題を語る。それは講師との討論に発展することもある。

この種の講座が日本の大学に開設されたのは、慶應義塾が最初である。平成3年、本講座が開講されるや、企業、行政等も含め多くの人々がこの講座に強い関心を寄せた。なかでも大日本印刷株式会社 (DNP) は、慶應義塾におけるアート・マネジメントの研究と教育の発展のために「慶應義塾大学文学部アート・マネジメント講座 DNP 基金」を寄贈された。本講座はこの基金を活用して運営されている。

履修しようとするものは、最初の授業時に年間授業計画、レポート、受講についての詳しい説明をおこなうので必ず出席すること。

【07】アート・マネジメント (セ)(2)(春学期)

【07】アート・マネジメント (セ)(2)(秋学期)

【04】アート・マネジメント(4)(通年)教授 美山良夫  
講師 岩淵潤子  
講師 南條史生

【07】アート・プロデュース (セ)(2)(春学期)

【07】アート・プロデュース (セ)(2)(秋学期)

【04】アート・プロデュース(4)(通年)教授 美山良夫  
講師 金子哲理

### 授業科目の内容：

展示系のアートを軸にしたアート・マネジメントの概説。以下の4つのフレームで構成される。履修上の諸注意は、最初の授業時に配布するので、それらをふまえて履修登録を検討すること。

- 第1部：変貌する文化装置：制度としての「美術館」と脱美術館  
文化展示の多様な様態（日本および欧米における多様な文化展示とその目的）、美術館という「制度」の成立、空間の文化装置化：その多様な仕掛け（オルタナティブ・スペースなど）
- 第2部：美術品の流通と交流  
美術品の特性と画廊の仕事、最近の美術市場・美術館の問題点、オークションの仕組みと社会的役割、アート・フェアの役割・仕組み、古美術品の流通システムなど
- 第3部：美術展の企画と諸制度  
美術をめぐる文化政策、芸術支援（企業による事例の紹介と基本的な考え方）、美術展の企画から開催まで、美術品と著作権、保険
- 第4部：美術をめぐる活動のひろがり市民  
美術館の活動のひろがり 研究・情報・修復・美術館教育・ボランティア、市民による活動事例

### 参考書：

初回の授業で指示する。

### 授業科目の内容：

上演系のアートを軸にしたアート・マネジメントの概説。以下の4つのフレームで構成される。履修上の諸注意は、最初の授業時に配布するので、それらをふまえて履修登録を検討すること。

- 第1部：変貌する文化装置：制度としての「劇場」と脱劇場  
日本のホール その歴史と現状、劇場運営の基本、空間の文化装置化：その多様な仕掛けなど
- 第2部：文化装置のマネジメント  
公立ホールの運営、民間のホール運営、劇団の運営とマーケティング、舞台芸術の国際交流
- 第3部：芸術及び芸術家（団体）をめぐる制度と支援  
日本の文化政策と芸術支援・概説、財団の芸術支援とその課題、舞台芸術の市場規模と今後、イベントと保険
- 第4部：上演芸術をめぐる活動のひろがり市民  
企画づくりの実際：コンサート・ホールを例に、アートとNPO、ボランティアなど



## 極東証券寄附講座

本年度は極東証券の寄附により、以下の2科目が開講されることになった。

---

### 【07】【04】辞書・事典(2)(春学期)

辞書・事典万華鏡 教授 山下輝彦

---

#### 授業科目の内容：

辞書・事典はその時々のことばや文化を如実に写す鏡であり、また言葉や事柄の意味・用法を教えてくれる規範性を持った鑑である。今回、文学部の学生諸君を対象にオムニバス形式で行うこの講座は、語学辞書を中心に、文化史や藝術等の面を含めて、辞書編纂の歴史や内容を眺めようとするもので、各国語や情報処理のスペシャリスト、書誌学者、辞書史研究者らがガイド役を務める。印刷された書物形式のものが中心となるが、電子辞書・シソーラス等も取上げる。本講座を聴き、奥行きが深く幅も広い辞書の世界を知り、辞書・事典に親しみ有効に使いこなせるようになってほしい。

#### テキスト：

なし。コピー、映像等を適宜使用する。

#### 参考書：

各講師が授業時に紹介する。

---

### 【07】【04】文献学の世界(2)(秋学期)

名だたる蔵書家、隠れた蔵書家 教授 佐藤道生

---

#### 授業科目の内容：

本講座では、歴史学、文学、書誌学の各分野で文献学的方法を以て研究に従事する研究者 12～13 名がオムニバス形式で授業を担当し、各自の最新の研究成果を講じている。今年度のテーマは「蔵書家」である。日本、中国、ヨーロッパ、アメリカの著名な、或いは隠れた蔵書家を取り上げ、書籍にまつわるエピソードをまじえながら、その人物像、蔵書体系の特徴、後世の評価などを明らかにする。取り上げる人物は、日本人では例えば藤原道長、北条実時、徳川家康、水戸光圀、前田綱紀、脇坂安元など。

# 諸 研 究 所 設 置 講 座

教職課程センター  
言語文化研究所  
メディア・コミュニケーション研究所  
斯道文庫  
体育研究所  
福澤研究センター  
国際センター  
保健管理センター  
情報処理教育室  
アート・センター  
知的資産センター  
外国語教育研究センター  
グローバルセキュリティ研究所